設　計　書

工事名称　松戸市立第一中学校ほか９校体育館空調設備設置建築工事

工事場所　松戸市岩瀬５８７番地ほか９か所

期　　間　自　令和　７年　　月　　日
　　至　令和　８年　３月　１９日

設計年月日　　令和　７年　７月　　日

（工事価格　　）

前払金及工事出来高の内払回数については松戸市財務規則による。

参　考

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接工事費				
建築工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
第一中学校	1	式		
第一中学校（電気工事）	1	式		
第二中学校	1	式		
第三中学校	1	式		
第三中学校（電気工事）	1	式		
第四中学校	1	式		
第六中学校	1	式		
第六中学校（電気工事）	1	式		
小金中学校	1	式		
小金中学校（電気工事）	1	式		
栗ケ沢中学校	1	式		
新松戸南中学校	1	式		
新松戸南中学校（電気工事）	1	式		
和名ケ谷中学校	1	式		
和名ケ谷中学校（電気工事）	1	式		
小金北中学校	1	式		
計				

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
計				

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
電気設備工事	1	式		
計				

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
計				

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
計				

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
電気設備工事	1	式		
計				

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
計				

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
計				

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
電気設備工事	1	式		
計				

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
計				

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
電気設備工事	1	式		
計				

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
計				

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
計				

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
電気設備工事	1	式		
計				

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
計				

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
電気設備工事	1	式		
計				

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
計				

建築工事

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
鋼製戸改修	1	式		
窓フィルム改修	1	式		
環境配慮改修	1	式		
発生材処分	1	式		
計				

電気設備工事

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
電灯設備	1	式		
計				

建築工事

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
窓フィルム改修	1	式		
計				

建築工事

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
鋼製戸改修	1	式		
窓フィルム改修	1	式		
発生材処分	1	式		
計				

電気設備工事

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
電灯設備	1	式		
計				

建築工事

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
窓フィルム改修	1	式		
発生材処分	1	式		
計				

建築工事

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
鋼製戸改修	1	式		
窓フィルム改修	1	式		
環境配慮改修	1	式		
発生材処分	1	式		
計				

電気設備工事

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
電灯設備	1	式		
計				

建築工事				
名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
鋼製戸改修	1	式		
窓フィルム改修	1	式		
環境配慮改修	1	式		
発生材処分	1	式		
計				

電気設備工事

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
電灯設備	1	式		
計				

建築工事

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
鋼製戸改修	1	式		
窓フィルム改修	1	式		
環境配慮改修	1	式		
発生材処分	1	式		
計				

建築工事				
名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
鋼製戸改修	1	式		
窓フィルム改修	1	式		
環境配慮改修	1	式		
発生材処分	1	式		
計				

電気設備工事

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
電灯設備	1	式		
計				

建築工事

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
鋼製戸改修	1	式		
窓フィルム改修	1	式		
環境配慮改修	1	式		
発生材処分	1	式		
計				

電気設備工事

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
電灯設備	1	式		
計				

建築工事

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
窓フィルム改修	1	式		
計				

建築工事

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設	直接仮設	1	式		
計					
鋼製戸改修	撤去	1	式		
鋼製戸改修	新設	1	式		
計					
窓フィルム改修	撤去	1	式		
窓フィルム改修	新設	1	式		
計					
環境配慮改修	撤去	1	式		
計					
発生材処分	積込・運搬	1	式		
発生材処分	処分	1	式		
発生材処分	ｽｸﾗｯﾌﾟ	▲1	式		
計					

電気設備工事

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
電灯設備	電灯分岐	1	式		
計					

建築工事

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設	直接仮設	1	式		
計					
窓フィルム改修	新設	1	式		
計					

建築工事

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設	直接仮設	1	式		
計					
鋼製戸改修	撤去	1	式		
鋼製戸改修	新設	1	式		
計					
窓フィルム改修	新設	1	式		
計					
発生材処分	積込・運搬	1	式		
発生材処分	処分	1	式		
発生材処分	ｽｸﾗｯﾌﾟ	▲1	式		
計					

電気設備工事

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
電灯設備	電灯分岐	1	式		
計					

建築工事

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設	直接仮設	1	式		
計					
窓フィルム改修	撤去	1	式		
窓フィルム改修	新設	1	式		
計					
発生材処分	処分	1	式		
計					

建築工事

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設	直接仮設	1	式		
計					
鋼製戸改修	撤去	1	式		
鋼製戸改修	新設	1	式		
計					
窓フィルム改修	新設	1	式		
計					
環境配慮改修	撤去	1	式		
計					
発生材処分	積込・運搬	1	式		
発生材処分	処分	1	式		
発生材処分	ｽｸﾗｯﾌﾟ	▲1	式		
計					

電気設備工事

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
電灯設備	電灯分岐	1	式		
計					

建築工事

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設	直接仮設	1	式		
計					
鋼製戸改修	撤去	1	式		
鋼製戸改修	新設	1	式		
計					
窓フィルム改修	撤去	1	式		
窓フィルム改修	新設	1	式		
計					
環境配慮改修	撤去	1	式		
計					
発生材処分	積込・運搬	1	式		
発生材処分	処分	1	式		
発生材処分	ｽｸﾗｯﾌﾟ	▲1	式		
計					

電気設備工事

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
電灯設備	電灯分岐	1	式		
計					

建築工事

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設	直接仮設	1	式		
計					
鋼製戸改修	撤去	1	式		
鋼製戸改修	新設	1	式		
計					
窓フィルム改修	新設	1	式		
計					
環境配慮改修	撤去	1	式		
計					
発生材処分	積込・運搬	1	式		
発生材処分	処分	1	式		
発生材処分	ｽｸﾗｯﾌﾟ	▲1	式		
計					

建築工事

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設	直接仮設	1	式		
計					
鋼製戸改修	撤去	1	式		
鋼製戸改修	新設	1	式		
計					
窓フィルム改修	撤去	1	式		
窓フィルム改修	新設	1	式		
計					
環境配慮改修	撤去	1	式		
計					
発生材処分	積込・運搬	1	式		
発生材処分	処分	1	式		
発生材処分	ｽｸﾗｯﾌﾟ	▲1	式		
計					

電気設備工事

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
電灯設備	電灯分岐	1	式		
計					

建築工事

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設	直接仮設	1	式		
計					
鋼製戸改修	撤去	1	式		
鋼製戸改修	新設	1	式		
計					
窓フィルム改修	撤去	1	式		
窓フィルム改修	新設	1	式		
計					
環境配慮改修	撤去	1	式		
計					
発生材処分	積込・運搬	1	式		
発生材処分	処分	1	式		
発生材処分	ｽｸﾗｯﾌﾟ	▲1	式		
計					

電気設備工事

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
電灯設備	電灯分岐	1	式		
計					

建築工事

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設	直接仮設	1	式		
計					
窓フィルム改修	新設	1	式		
計					

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0001
養生		1	式			別紙 00-0002
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0003
外部足場	W900・ﾌﾞﾗｹｯﾄ足場 運搬費共	1	式			別紙 00-0004
内部足場 （外部足場共）	脚立足場	1	式			別紙 00-0005
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W1,000xH3,500	1	式			別紙 00-0006
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0007
計						

建築工事	鋼製戸改修			撤去		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鋼製戸撤去	両開き戸 枠共　集積共 戸当り、ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ,三方枠,沓摺含む	14.4	㎡			
ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	集積共	45.4	m			
ｶｯﾀｰ入れ	ﾓﾙﾀﾙ面　厚さ20～30mm	46.9	m			
ｶｯﾀｰ入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 厚さ20～30mm	54.1	m			
ｺﾝｸﾘｰﾄはつり	壁 厚30mm 集積共	5.1	㎡			
床ﾓﾙﾀﾙ撤去	集積共	1.8	㎡			
建具周囲はつり	RC 12cm 集積共	30.4	m			
縦羽目板 撤去	t=12	10.2	㎡			
EXPｺﾞﾑ撤去	W20	9	m			
木製幅木撤去	集積共	1.6	m			
木製廻縁撤去	集積共	9	m			
計						

建築工事	鋼製戸改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
【鋼製戸廻り】						
kSD-1 両開き ﾊﾝｶﾞｰ戸(材工共)	W1,800xH2,000 ｽﾃﾝﾚｽ三方枠,水切,ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ,ﾚｰﾙｶﾊﾞｰ,戸隙間ｺﾞﾑ(戸当りｺﾞﾑ,ﾗﾊﾞｰｽｶｰﾄ),引戸錠,水抜き,戸当りｺﾞﾑ,ｽﾃﾝﾚｽ沓摺,工場錆止め１回含む	4	か所			
壁改修下地調査費		21	m2			
外壁高圧水洗い （手間・損料共）	12MPA(120kg/cm2)	21	㎡			
ひび割れ部 ｴﾎﾟｷｼ樹脂ｼｰﾙ （材工共）	幅10mm程度	3	m			
ひび割れ部 (Uｶｯﾄｼｰﾘﾝｸﾞ充填) （材工共）	ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝｼｰﾘﾝｸﾞ　10×10～15mm ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ押え有り	3	m			
欠損部処理 （材工共）	100mm×100mm程度,平均深20mm程度 ﾊﾂﾘ、錆落ﾌﾞﾗｯｼﾝｸﾞ、ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ埋	8	か所			
ﾓﾙﾀﾙ浮部改修　部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入 （材工共）	一般部　16本／㎡	2	㎡			
既存塗膜除去面 不陸処理	C-2 厚1～2mm程度 こて塗り 塗装下地　ｺﾝｸﾘｰﾄ面	4.4	m2			
無収縮モルタル注入用型枠　（ｼｰﾘﾝｸﾞ共	片面 H50	17	m			
無収縮ﾓﾙﾀﾙ圧入 （材工共）	下枠（試験費共）	0.1	m3			
建具周囲防水 ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	44.4	m			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて ﾓﾙﾀﾙ仕上げ　　厚30	0.2	㎡			
建具周囲(外部) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×10	70.6	m			
建具周囲(外部下枠) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×15	14	m			
建具周囲(外部下枠) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 17×15	6.6	m			
EXPｺﾞﾑ	W20	9	m			
壁 杉縦羽目板	t12	10.2	㎡			
巾木 木製	米栂集成材H=150,t=20	1.6	m			

建築工事	鋼製戸改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
廻縁 木製	米栂集成材30x55	9	m			
壁下地木製胴縁	米栂40x21　縦横端部	23.2	m			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295　D10	1	式			
拡張アンカー	D10用 @500	32	本			
小計						
【塗装改修】						
ＤＰ塗り	亜鉛めっき鋼 1級 工場1回目錆止め含まず 現場1回塗り含む	48.3	㎡			
複層塗材 E	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　ゆず肌状 ﾛｰﾗｰ塗り ｼﾘｺﾝ系 水系 つやあり 上塗2回	21	㎡			
下地調整費	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　屋内外 C-1	16.6	㎡			
木部 ＥＰ－Ｇ塗り	素地A種 杉縦羽目板	10.2	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗り (糸幅300㎜以下)	木部　素地A種 巾木	1.6	m			
ＥＰ－Ｇ塗り (糸幅300㎜以下)	木部　素地A種 廻縁	9	m			
計						

建築工事	窓フィルム改修			撤去		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｶﾞﾗｽ撤去	集積共	12.5	㎡			
計						

建築工事	窓フィルム改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遮熱ﾌｨﾙﾑ	外貼　型板面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANO70SX同等	12.9	㎡			
遮熱ﾌｨﾙﾑ	外貼　型板面・網入面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANOMACRX同等	96.6	㎡			
網入型板ｶﾞﾗｽ	厚さ6.8 特寸 2.18㎡以下 ひし ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共	12.5	㎡			
計						

建築工事	環境配慮改修			撤去		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｱｽﾍﾞｽﾄ含有仕上げ塗材除去	集塵装置付きﾃﾞｨｽｸｸﾞﾗｲﾝﾀﾞｰ工法 養生(養生ｼｰﾄ、粉塵飛散防止剤)作業手間、荷揚げ(積込み、積下ろし、小運搬)、消耗品･機器損料、廃棄物二重梱包、清掃、積込共	1	式			
発生材運搬		1	式			
発生材処分	石綿含有産業廃棄物（特別管理型）	1	式			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0008
発生材運搬		1	式			別紙 00-0009
計						

建築工事	発生材処分			処分		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0010
計						

建築工事		発生材処分			ｽｸﾗｯﾌﾟ	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0011
計						

電気設備工事		電灯設備			電灯分岐	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
避難口誘導灯 取外し・再取付	C級　ｶﾞｰﾄﾞ付	4	個			
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
養生		1	式			別紙 00-0012
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0013
内部足場	脚立足場	1	式			別紙 00-0014
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W3,470xH2,700	1	式			別紙 00-0015
計						

建築工事	窓フィルム改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遮熱ﾌｨﾙﾑ	内貼 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANO70S同等	6.6	㎡			
遮熱ﾌｨﾙﾑ	内貼　網入面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANO90S同等	67.8	㎡			
飛散防止ﾌｨﾙﾑ	外貼　型板面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　SH2CLARX同等	0.1	㎡			
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0016
養生		1	式			別紙 00-0017
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0018
内部足場	脚立足場	1	式			別紙 00-0019
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W3,800xH3,000	1	式			別紙 00-0020
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0021
計						

建築工事	鋼製戸改修			撤去		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鋼製戸撤去	両開き戸 枠共　集積共 ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ,ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ,三方枠,沓摺含む	14.4	㎡			
ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	集積共	79	m			
ｶｯﾀｰ入れ	ﾓﾙﾀﾙ面　厚さ20～30mm	24.2	m			
ｶｯﾀｰ入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 厚さ20～30mm	42.1	m			
ｺﾝｸﾘｰﾄはつり	壁 厚30mm 集積共	5.3	㎡			
床ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	無筋　人力　集積共	0.1	m3			
建具周囲はつり	RC 12cm 集積共	32	m			
縦羽目板 撤去	t=15	15.8	㎡			
EXPｺﾞﾑ撤去	W20	11.5	m			
木製幅木撤去	集積共	1.6	m			
木製廻縁撤去	集積共	9.8	m			
計						

建築工事	鋼製戸改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
【鋼製戸廻り】						
kSD-1 両開き ﾊﾝｶﾞｰ戸(材工共)	W2,000xH2,000 ｽﾃﾝﾚｽ三方枠,水切,ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ,ﾚｰﾙｶﾊﾞｰ,戸隙間ｺﾞﾑ(戸当りｺﾞﾑ,ﾗﾊﾞｰｽｶｰﾄ),引戸錠,水抜き,戸当りｺﾞﾑ,ｽﾃﾝﾚｽ沓摺,工場錆止め１回含む	4	か所			
壁改修下地調査費		40.3	m2			
外壁高圧水洗い （手間・損料共）	12MPA(120kg/cm2)	40.3	㎡			
ひび割れ部 ｴﾎﾟｷｼ樹脂ｼｰﾙ （材工共）	幅10mm程度	4	m			
ひび割れ部 (Uｶｯﾄｼｰﾘﾝｸﾞ充填) （材工共）	ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝｼｰﾘﾝｸﾞ　10×10～15mm ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ押え有り	4	m			
欠損部処理 （材工共）	100mm×100mm程度,平均深20mm程度 ﾊﾂﾘ、錆落ﾌﾞﾗｯｼﾝｸﾞ、ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ埋	12	か所			
ﾓﾙﾀﾙ浮部改修　部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入 （材工共）	一般部　16本／㎡	2	㎡			
既存塗膜除去面 不陸処理	C-2 厚1～2mm程度 こて塗り 塗装下地　ｺﾝｸﾘｰﾄ面	4.5	m2			
無収縮モルタル注入用型枠　（ｼｰﾘﾝｸﾞ共	片面 H50	15.8	m			
無収縮ﾓﾙﾀﾙ圧入 （材工共）	下枠（試験費共）	0.1	m3			
建具周囲防水 ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	39.8	m			
建具周囲(外部) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×10	73	m			
建具周囲(外部下枠) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×15	15.8	m			
建具周囲(外部下枠) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 17×15	7.2	m			
EXPｺﾞﾑ	W20	11.5	m			
壁 杉縦羽目板	t15	15.8	㎡			
巾木 木製	米栂集成材H=150,t=20	1.6	m			
廻縁 木製	米栂集成材30x55	9.8	m			

建築工事	鋼製戸改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
壁下地木製胴縁	米栂40x21　縦横端部	24	m			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295　D10	1	式			
拡張アンカー	D10用 @500	36	本			
小計						
【塗装改修】						
ＤＰ塗り	亜鉛めっき鋼 1級 工場1回目錆止め含まず 現場1回塗り含む	47.2	㎡			
複層塗材 E	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　ゆず肌状 ﾛｰﾗｰ塗り ｼﾘｺﾝ系 水系 つやあり 上塗2回	32.9	㎡			
下地調整費	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　屋内外 C-1	35.8	㎡			
木部 OSCL塗り	素地A種 杉縦羽目板	15.8	㎡			
木部 OSCL塗り （糸幅300㎜以下）	木部　素地A種 巾木	1.6	m			
木部 OSCL塗り （糸幅300㎜以下）	木部　素地A種 廻縁	9.8	m			
計						

建築工事	窓フィルム改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遮熱ﾌｨﾙﾑ	内貼 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANO70S同等	62.9	㎡			
遮熱ﾌｨﾙﾑ	外貼　型板面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANO70SX同等	5.8	㎡			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0022
発生材運搬		1	式			別紙 00-0023
計						

建築工事	発生材処分			処分		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0024
計						

建築工事		発生材処分			ｽｸﾗｯﾌﾟ	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0025
計						

電気設備工事		電灯設備			電灯分岐	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
避難口誘導灯 取外し・再取付	C級　ｶﾞｰﾄﾞ付	4	個			
ﾌﾞﾗｹｯﾄﾗｲﾄ 取外し・再取付	40形	2	個			
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
養生		1	式			別紙 00-0026
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0027
外部足場 （内部足場共）		1	式			別紙 00-0028
内部足場	脚立足場	1	式			別紙 00-0029
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W4,480xH3,325	1	式			別紙 00-0030
計						

建築工事	窓フィルム改修			撤去		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｶﾞﾗｽ撤去	ｽﾃﾝﾄﾞｸﾞﾗｽ枠共撤去 AW-6	3.5	㎡			
窓ﾌｨﾙﾑ撤去	集積共	3.4	㎡			
計						

建築工事	窓フィルム改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遮熱ﾌｨﾙﾑ	内貼 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANO70S同等	97.5	㎡			
飛散防止ﾌｨﾙﾑ	内貼 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　SH2CLAR同等	3.4	㎡			
飛散防止ﾌｨﾙﾑ	外貼　型板面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　SH2CLARX同等	2.7	㎡			
計						

建築工事	発生材処分			処分		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0031
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0032
養生		1	式			別紙 00-0033
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0034
外部足場	W900・ﾌﾞﾗｹｯﾄ足場 運搬費共	1	式			別紙 00-0035
内部足場	脚立足場	1	式			別紙 00-0036
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W4,210xH3,400	1	式			別紙 00-0037
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0038
計						

建築工事	鋼製戸改修			撤去		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鋼製戸撤去	両開き戸 枠共　集積共 戸当り,ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ,ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ,三方枠, 沓摺含む	14.4	㎡			
ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	集積共	45.6	m			
ｶｯﾀｰ入れ	ﾓﾙﾀﾙ面　厚さ20～30mm	30.9	m			
ｶｯﾀｰ入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 厚さ20～30mm	68.4	m			
ｺﾝｸﾘｰﾄはつり	壁 厚30mm 集積共	5.1	㎡			
床ﾓﾙﾀﾙ撤去	集積共	2.1	㎡			
建具周囲はつり	RC 12cm 集積共	30.4	m			
縦羽目板 撤去	t=12	10	㎡			
EXPｺﾞﾑ撤去	W20	9	m			
木製幅木撤去	集積共	1.6	m			
木製廻縁撤去	集積共	9	m			
計						

建築工事	鋼製戸改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
【鋼製戸廻り】						
kSD-1,kSD-2 両開き ﾊﾝｶﾞｰ戸(材工共)	W1,800xH2,000 ｽﾃﾝﾚｽ三方枠,水切,ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ,ﾚｰﾙｶﾊﾞｰ,戸隙間ｺﾞﾑ(戸当りｺﾞﾑ,ﾗﾊﾞｰｽｶｰﾄ),引戸錠,水抜き,戸当りｺﾞﾑ,ｽﾃﾝﾚｽ沓摺,工場錆止め１回含む	4	か所			
壁改修下地調査費		22.2	m2			
外壁高圧水洗い （手間・損料共）	12MPA(120kg/cm2)	22.2	㎡			
ひび割れ部 ｴﾎﾟｷｼ樹脂ｼｰﾙ （材工共）	幅10mm程度	3	m			
ひび割れ部 (Uｶｯﾄｼｰﾘﾝｸﾞ充填) （材工共）	ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝｼｰﾘﾝｸﾞ　10×10～15mm ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ押え有り	3	m			
欠損部処理 （材工共）	100mm×100mm程度,平均深20mm程度 ﾊﾂﾘ、錆落ﾌﾞﾗｯｼﾝｸﾞ、ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ埋	8	か所			
ﾓﾙﾀﾙ浮部改修　部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入 （材工共）	一般部　16本／㎡	2	㎡			
既存塗膜除去面 不陸処理	C-2 厚1～2mm程度 こて塗り 塗装下地　ｺﾝｸﾘｰﾄ面	4.4	m2			
無収縮モルタル注入用型枠　（ｼｰﾘﾝｸﾞ共	片面 H70	16	m			
無収縮ﾓﾙﾀﾙ圧入 （材工共）	下枠（試験費共）	0.1	m3			
建具周囲防水 ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	44.4	m			
建具周囲(外部) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×10	70.4	m			
建具周囲(外部下枠) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×15	14	m			
建具周囲(外部下枠) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 17×15	6.4	m			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて ﾓﾙﾀﾙ仕上げ　W20	0.2	㎡			
EXPｺﾞﾑ	W20	9	m			
壁 杉縦羽目板	t12	10	㎡			
巾木 木製	米栂集成材H=150,t=20	1.6	m			

建築工事	鋼製戸改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
廻縁 木製	米栂集成材30x55	9	m			
壁下地木製胴縁	米栂40x21　縦横端部	23.2	m			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295　D10	1	式			
拡張アンカー	D10用 @500	32	本			
小計						
【塗装改修】						
ＤＰ塗り	亜鉛めっき鋼 1級 工場1回目錆止め含まず 現場1回塗り含む	47.2	㎡			
複層塗材 E	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　ゆず肌状 ﾛｰﾗｰ塗り ｼﾘｺﾝ系 水系 つやあり 上塗2回	22.2	㎡			
下地調整費	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　屋内外 C-1	17.8	㎡			
ＳＯＰ塗り	木部　工程A種 塗料1種 素地B種 杉縦羽目板	10	㎡			
ＳＯＰ塗り (糸幅300㎜以下)	木部　工程B種(屋内) 素地A種 巾木	1.6	m			
ＳＯＰ塗り (糸幅300㎜以下)	木部　工程B種(屋内) 素地A種 廻縁	9	m			
計						

建築工事	窓フィルム改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遮熱ﾌｨﾙﾑ	内貼 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANO70S同等	136	㎡			
遮熱ﾌｨﾙﾑ	外貼　型板面・網入面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANOMACRX同等	64	㎡			
遮熱ﾌｨﾙﾑ	内貼　網入面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANO90S同等	3.3	㎡			
計						

建築工事	環境配慮改修			撤去		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｱｽﾍﾞｽﾄ含有仕上げ塗材除去	集塵装置付きﾃﾞｨｽｸｸﾞﾗｲﾝﾀﾞｰ工法 養生(養生ｼｰﾄ、粉塵飛散防止剤)作業手間、荷揚げ(積込み、積下ろし、小運搬)、消耗品･機器損料、廃棄物二重梱包、清掃、積込共	1	式			
発生材運搬		1	式			
発生材処分	石綿含有産業廃棄物（特別管理型）	1	式			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0039
発生材運搬		1	式			別紙 00-0040
計						

建築工事	発生材処分			処分		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0041
計						

建築工事	発生材処分			ｽｸﾗｯﾌﾟ		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0042
計						

電気設備工事		電灯設備			電灯分岐	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
避難口誘導灯 取外し・再取付	C級　ｶﾞｰﾄﾞ付	4	個			
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0043
養生		1	式			別紙 00-0044
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0045
外部足場	W900・ﾌﾞﾗｹｯﾄ足場 運搬費共	1	式			別紙 00-0046
内部足場	脚立足場	1	式			別紙 00-0047
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W4,210xH3,400	1	式			別紙 00-0048
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0049
計						

建築工事	鋼製戸改修			撤去		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鋼製戸撤去	両開き戸 枠共　集積共 ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ,ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ,三方枠,沓摺含む	15	㎡			
ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	集積共	62	m			
ｶｯﾀｰ入れ	ﾓﾙﾀﾙ面　厚さ20～30mm	47.5	m			
ｶｯﾀｰ入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 厚さ20～30mm	54.3	m			
ｺﾝｸﾘｰﾄはつり	壁 厚30mm 集積共	9.2	㎡			
床ﾓﾙﾀﾙ撤去	集積共	2.1	㎡			
建具周囲はつり	RC 12cm 集積共	23.6	m			
縦羽目板 撤去	t=12	10.1	㎡			
EXPｺﾞﾑ撤去	W20	9.2	m			
木製幅木撤去	集積共	1.6	m			
木製廻縁撤去	集積共	9.2	m			
計						

建築工事	鋼製戸改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
【鋼製戸廻り】						
kSD-1 両開き ﾊﾝｶﾞｰ戸(材工共)	W1,840xH2,035 ｽﾃﾝﾚｽ三方枠,水切,ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ,ﾚｰﾙｶﾊﾞｰ,戸隙間ｺﾞﾑ(戸当りｺﾞﾑ,ﾗﾊﾞｰｽｶｰﾄ),引戸錠,水抜き,戸当りｺﾞﾑ,ｽﾃﾝﾚｽ沓摺,工場錆止め１回含む	4	か所			
壁改修下地調査費		21.6	m2			
外壁高圧水洗い （手間・損料共）	12MPA(120kg/cm2)	21.6	㎡			
ひび割れ部 ｴﾎﾟｷｼ樹脂ｼｰﾙ （材工共）	幅10mm程度	3	m			
ひび割れ部 (Uｶｯﾄｼｰﾘﾝｸﾞ充填) （材工共）	ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝｼｰﾘﾝｸﾞ　10×10～15mm ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ押え有り	3	m			
欠損部処理 （材工共）	100mm×100mm程度,平均深20mm程度 ﾊﾂﾘ、錆落ﾌﾞﾗｯｼﾝｸﾞ、ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ埋	8	か所			
ﾓﾙﾀﾙ浮部改修　部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入 （材工共）	一般部　16本／㎡	2	㎡			
既存塗膜除去面 不陸処理	C-2 厚1～2mm程度 こて塗り 塗装下地　ｺﾝｸﾘｰﾄ面	4.4	m2			
無収縮モルタル注入用型枠　（ｼｰﾘﾝｸﾞ共	片面 H50	15.1	m			
無収縮ﾓﾙﾀﾙ圧入 （材工共）	下枠（試験費共）	0.1	m3			
建具周囲防水 ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	44.8	m			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて ﾓﾙﾀﾙ仕上げ　　厚30	0.5	㎡			
建具周囲(外部) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×10	71.1	m			
建具周囲(外部下枠) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×15	14	m			
建具周囲(外部下枠) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 17×15	6.2	m			
EXPｺﾞﾑ	W20	9.2	m			
壁 杉縦羽目板	t12	10.1	㎡			
巾木 木製	米栂集成材H=150,t=20	1.6	m			

建築工事	鋼製戸改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
廻縁 木製	米栂集成材30x55	9.2	m			
壁下地木製胴縁	米栂40x21　縦横端部	23.6	m			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295　D10	1	式			
拡張アンカー	D10用 @500	32	本			
小計						
【塗装改修】						
ＤＰ塗り	鋼製建具面　1級 素地ごしらえ及び下塗り別途	48.7	㎡			
複層塗材 E	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　ゆず肌状 ﾛｰﾗｰ塗り ｼﾘｺﾝ系 水系 つやあり 上塗2回	21.6	㎡			
下地調整費	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　屋内外 C-1	17.2	㎡			
木部 OSCL塗り	素地A種 杉縦羽目板	10.1	㎡			
ＳＯＰ塗り (糸幅300㎜以下)	木部　工程B種(屋内) 素地A種 巾木	1.6	m			
木部 OSCL塗り (糸幅300㎜以下)	木部　素地A種 廻縁	9.2	m			
計						

建築工事	窓フィルム改修			撤去		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｶﾞﾗｽ撤去	集積共	1	㎡			
計						

建築工事	窓フィルム改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遮熱ﾌｨﾙﾑ	内貼 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANO70S同等	103	㎡			
遮熱ﾌｨﾙﾑ	外貼　型板面・網入面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANOMACRX同等	113	㎡			
網入型板ｶﾞﾗｽ	厚さ6.8 特寸 2.18㎡以下 ひし ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共	1	㎡			
計						

建築工事	環境配慮改修			撤去		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｱｽﾍﾞｽﾄ含有仕上げ塗材除去	集塵装置付きﾃﾞｨｽｸｸﾞﾗｲﾝﾀﾞｰ工法 養生(養生ｼｰﾄ、粉塵飛散防止剤)作業手間、荷揚げ(積込み、積下ろし、小運搬)、消耗品･機器損料、廃棄物二重梱包、清掃、積込共	1	式			
発生材運搬		1	式			
発生材処分	石綿含有産業廃棄物（特別管理型）	1	式			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0050
発生材運搬		1	式			別紙 00-0051
計						

建築工事		発生材処分			処分	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0052
計						

建築工事		発生材処分			ｽｸﾗｯﾌﾟ	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0053
計						

電気設備工事		電灯設備			電灯分岐	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
避難口誘導灯 取外し・再取付	C級　ｶﾞｰﾄﾞ付	4	個			
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
墨出し		1	式			別紙 00-0054
養生		1	式			別紙 00-0055
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0056
内部足場	脚立足場	1	式			別紙 00-0057
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W3,880xH3,000	1	式			別紙 00-0058
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0059
計						

建築工事	鋼製戸改修			撤去		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
鋼製戸撤去	両開き戸 枠共　集積共 戸当り,ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ,ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ含む	14.4	㎡			
ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	集積共	59.2	m			
ｶｯﾀｰ入れ	ﾓﾙﾀﾙ面　厚さ20～30mm	18.2	m			
ｶｯﾀｰ入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 厚さ20～30mm	49	m			
ｺﾝｸﾘｰﾄはつり	壁 厚30mm 集積共	3.9	㎡			
床ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	無筋　人力　集積共	0.1	m3			
建具周囲はつり	RC 12cm 集積共	24	m			
天然目化粧合板撤去	t=15	3.3	㎡			
EXPｺﾞﾑ撤去	W20	8.6	m			
木製幅木撤去	集積共	0.8	m			
木製額縁撤去	t=25	18	m			
計						

建築工事	鋼製戸改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
【鋼製戸廻り】						
kSD-1 両開き ﾊﾝｶﾞｰ戸(材工共)	W2,000xH2,000 ｽﾃﾝﾚｽ三方枠,水切,ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ,ﾚｰﾙｶﾊﾞｰ,戸隙間ｺﾞﾑ(戸当りｺﾞﾑ,ﾗﾊﾞｰｽｶｰﾄ),引戸錠,水抜き,戸当りｺﾞﾑ,ｽﾃﾝﾚｽ沓摺,工場錆止め１回含む	3	か所			
壁改修下地調査費		55.1	m2			
外壁高圧水洗い （手間・損料共）	12MPA(120kg/cm2)	55.1	㎡			
ひび割れ部 ｴﾎﾟｷｼ樹脂ｼｰﾙ （材工共）	幅10mm程度	7	m			
ひび割れ部 (Uｶｯﾄｼｰﾘﾝｸﾞ充填) （材工共）	ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝｼｰﾘﾝｸﾞ　10×10～15mm ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ押え有り	7	m			
欠損部処理 （材工共）	100mm×100mm程度,平均深20mm程度 ﾊﾂﾘ、錆落ﾌﾞﾗｯｼﾝｸﾞ、ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ埋	20	か所			
ﾓﾙﾀﾙ浮部改修　部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入 （材工共）	一般部　16本／㎡	4	㎡			
既存塗膜除去面 不陸処理	C-2 厚1～2mm程度 こて塗り 塗装下地　ｺﾝｸﾘｰﾄ面	7.9	m2			
無収縮モルタル注入用型枠　（ｼｰﾘﾝｸﾞ共	片面 H50	11.6	m			
無収縮ﾓﾙﾀﾙ圧入 （材工共）	下枠（試験費共）	0.7	m3			
建具周囲防水 ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	29.4	m			
建具周囲(外部) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×10	54	m			
建具周囲(外部下枠) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×15	11.4	m			
建具周囲(外部下枠) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 17×15	5.1	m			
EXPｺﾞﾑ	W20	8.6	m			
壁　木製額縁	米栂集成材 w150xt25	19.4	m			
壁下地木製胴縁	米栂90x45　縦横端部	36	m			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295　D10	1	式			

建築工事	鋼製戸改修		新設			
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
拡張アンカー	D10用 @500	27	本			
小計						
【塗装改修】						
ＤＰ塗り	亜鉛めっき鋼 1級 工場1回目錆止め含まず 現場1回塗り含む	35.4	㎡			
複層塗材 E	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　ゆず肌状 ﾛｰﾗｰ塗り ｼﾘｺﾝ系 水系 つやあり 上塗2回	55.1	㎡			
下地調整費	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　屋内外 C-1	47.2	㎡			
ＳＯＰ塗り （糸幅300㎜以下）	木部　　工程B種(屋内) 素地A種 額縁	19.4	m			
計						

建築工事	窓フィルム改修		新設			
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遮熱ﾌｨﾙﾑ	内貼 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANO70S同等	32.1	㎡			
遮熱ﾌｨﾙﾑ	内貼　網入面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANO90S同等	32.1	㎡			
計						

建築工事	環境配慮改修				撤去	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｱｽﾍﾞｽﾄ含有仕上げ塗材除去 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	集塵装置付きﾃﾞｨｽｸｸﾞﾗｲﾝﾀﾞｰ工法 外壁複層塗材撤去,真空掃除機損料, ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ2重包装,諸経費共	1	式			
発生材運搬		1	式			
発生材処分	石綿含有産業廃棄物（特別管理型）	1	式			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0060
発生材運搬		1	式			別紙 00-0061
計						

建築工事		発生材処分			処分	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0062
計						

建築工事		発生材処分			ｽｸﾗｯﾌﾟ	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0063
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0064
養生		1	式			別紙 00-0065
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0066
外部足場	W900・ﾌﾞﾗｹｯﾄ足場 運搬費共	1	式			別紙 00-0067
内部足場	脚立足場	1	式			別紙 00-0068
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0069
計						

建築工事	鋼製戸改修			撤去		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鋼製戸撤去	両開き戸 枠共　集積共 戸当り、ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ,三方枠,沓摺,工場錆止め１回含む	14.4	㎡			
ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	集積共	45.1	m			
ｶｯﾀｰ入れ	ﾓﾙﾀﾙ面　厚さ20～30mm	46.9	m			
ｶｯﾀｰ入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 厚さ20～30mm	54.1	m			
ｺﾝｸﾘｰﾄはつり	壁 厚30mm 集積共	5.1	㎡			
床ﾓﾙﾀﾙ撤去	集積共	1.6	㎡			
建具周囲はつり	RC 12cm 集積共	23.2	m			
縦羽目板 撤去	t=12	10.3	㎡			
EXPｺﾞﾑ撤去	W20	9	m			
木製幅木撤去	集積共	1.6	m			
木製廻縁撤去	集積共	9	m			
木製額縁撤去	ｔ=25	15.2				
屋根材とりこわし （集積共） （手間）	折板　H=85	18.2	㎡			
計						

建築工事	鋼製戸改修			新設		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
【鋼製戸廻り】						
kSD-1 両開き ﾊﾝｶﾞｰ戸(材工共)	W1,800xH2,000 ｽﾃﾝﾚｽ三方枠,水切,ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ,ﾚｰﾙｶﾊﾞｰ,戸隙間ｺﾞﾑ(戸当りｺﾞﾑ,ﾗﾊﾞｰｽｶｰﾄ),引戸錠,水抜き,戸当りｺﾞﾑ,ｽﾃﾝﾚｽ沓摺,工場錆止め１回含む	4	か所			
壁改修下地調査費		21	m2			
外壁高圧水洗い （手間・損料共）	12MPA(120kg/cm2)	21	㎡			
ひび割れ部 ｴﾎﾟｷｼ樹脂ｼｰﾙ （材工共）	幅10mm程度	3	m			
ひび割れ部 (Uｶｯﾄｼｰﾘﾝｸﾞ充填) （材工共）	ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝｼｰﾘﾝｸﾞ　10×10～15mm ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ押え有り	3	m			
欠損部処理 （材工共）	100mm×100mm程度,平均深20mm程度 ﾊﾂﾘ、錆落ﾌﾞﾗｯｼﾝｸﾞ、ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ埋	8	か所			
ﾓﾙﾀﾙ浮部改修　部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入 （材工共）	一般部　16本／㎡	2	㎡			
既存塗膜除去面 不陸処理	C-2 厚1～2mm程度 こて塗り 塗装下地　ｺﾝｸﾘｰﾄ面	4.4	m2			
無収縮モルタル注入用型枠　（ｼｰﾘﾝｸﾞ共	片面 H70	15.2	m			
無収縮ﾓﾙﾀﾙ圧入 （材工共）	下枠（試験費共）	1.2	m3			
建具周囲防水 ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	44.4	m			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて ﾓﾙﾀﾙ仕上げ　　W20	0.2	㎡			
建具周囲(外部) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×10	52.4	m			
建具周囲(外部下枠) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×15	32	m			
建具周囲(外部下枠) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 17×15	6.4	m			
EXPｺﾞﾑ	W20	9	m			
壁 杉縦羽目板	t12	10.3	㎡			
巾木 木製	米栂集成材H=150,t=20	1.7	m			

建築工事	鋼製戸改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
廻縁 木製	米栂集成材30x50	9	m			
壁下地木製胴縁	米栂40x21　縦横端部	23.2	m			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295　D10	1	式			
拡張アンカー	D10用 @500	32	本			
屋根 ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板	重ね式　t=0.6　H=85 ﾀｲﾄﾌﾚｰﾑ共	1	式			
【塗装改修】						
ＤＰ塗り	亜鉛めっき鋼 1級 工場1回目錆止め含まず 現場1回塗り含む	47.2	㎡			
複層塗材 E	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　ゆず肌状 ﾛｰﾗｰ塗り ｼﾘｺﾝ系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	21	㎡			
下地調整費	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　屋内外 C-1	16.6	㎡			
木部 OSCL塗り	素地A種 杉縦羽目板	10.3	㎡			
木部 OSCL塗り (糸幅300㎜以下)	木部　素地A種 廻縁	9	m			
木部 ＳＯＰ塗り (糸幅300㎜以下)	木部　　工程B種(屋内) 素地A種 巾木	1.7	m			
計						

建築工事	窓フィルム改修			撤去		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｶﾞﾗｽ撤去	集積共	3	㎥			
計						

建築工事	窓フィルム改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遮熱ﾌｨﾙﾑ	内貼　網入面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANO90S同等	6.1	㎡			
遮熱ﾌｨﾙﾑ	外貼　型板面・網入面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANOMACRX同等	208	㎡			
飛散防止ﾌｨﾙﾑ	内貼 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　SH2CLAR同等	8.1	㎡			
網入型板ｶﾞﾗｽ	厚さ6.8 特寸 2.18㎡以下 ひし ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共	3	㎡			
計						

建築工事	環境配慮改修				撤去	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｱｽﾍﾞｽﾄ含有仕上げ塗材除去 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	集塵装置付きﾃﾞｨｽｸｸﾞﾗｲﾝﾀﾞｰ工法 外壁複層塗材撤去，真空掃除機損料， ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ2重包装，諸経費共	1	式			
発生材運搬		1	式			
発生材処分	石綿含有産業廃棄物（特別管理型）	1	式			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0070
発生材運搬		1	式			別紙 00-0071
計						

建築工事		発生材処分			処分	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0072
計						

建築工事		発生材処分			ｽｸﾗｯﾌﾟ	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0073
計						

電気設備工事		電灯設備			電灯分岐	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
避難口誘導灯 取外し・再取付	C級　ｶﾞｰﾄﾞ付	4	個			
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0074
養生		1	式			別紙 00-0075
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0076
外部足場	W900・ﾌﾞﾗｹｯﾄ足場 運搬費共	1	式			別紙 00-0077
内部足場	脚立足場	1	式			別紙 00-0078
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り 約W1,000xH3,500	1	式			別紙 00-0079
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0080
枝払い	剪定（高木 1本） 強剪定 幹回り40～60cm	1	式			
計						

建築工事	鋼製戸改修			撤去		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鋼製戸撤去	両開き戸 枠共　集積共 ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ,三方枠,沓摺, 戸当り含む	11.1	㎡			
ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	集積共	31.6	m			
ｶｯﾀｰ入れ	ﾓﾙﾀﾙ面　厚さ20～30mm	35.5	m			
ｶｯﾀｰ入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 厚さ20～30mm	40.6	m			
ｺﾝｸﾘｰﾄはつり	壁 厚30mm 集積共	3.8	㎡			
床ﾓﾙﾀﾙ撤去	集積共	1.2	㎡			
建具周囲はつり	RC 12cm 集積共	22.8	m			
縦羽目板 撤去	t=12	7.7	㎡			
EXPｺﾞﾑ撤去	W20	6.8	m			
木製幅木撤去	集積共	1.2	m			
木製廻縁撤去	集積共	6.8	m			
ﾓﾙﾀﾙ金ゴテ撤去 巾木	集積共	0.1	㎡			
計						

建築工事	鋼製戸改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
【鋼製戸廻り】						
kSD-1 両開き ﾊﾝｶﾞｰ戸(材工共)	W1,800xH2,000 ｽﾃﾝﾚｽ三方枠,水切,ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ,ﾚｰﾙｶﾊﾞｰ,戸隙間ｺﾞﾑ(戸当りｺﾞﾑ,ﾗﾊﾞｰｽｶｰﾄ),引戸錠,水抜き,戸当りｺﾞﾑ,ｽﾃﾝﾚｽ沓摺,工場錆止め１回含む	3	か所			
壁改修下地調査費		16.1	m2			
外壁高圧水洗い （手間・損料共）	12MPA(120kg/cm2)	16.1	㎡			
ひび割れ部 ｴﾎﾟｷｼ樹脂ｼｰﾙ （材工共）	幅10mm程度	2	m			
ひび割れ部 (Uｶｯﾄｼｰﾘﾝｸﾞ充填) （材工共）	ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝｼｰﾘﾝｸﾞ　10×10～15mm ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ押え有り	2	m			
欠損部処理 （材工共）	100mm×100mm程度,平均深20mm程度 ﾊﾂﾘ、錆落ﾌﾞﾗｯｼﾝｸﾞ、ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ埋	6	か所			
ﾓﾙﾀﾙ浮部改修　部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入 （材工共）	一般部　16本／㎡	1	㎡			
既存塗膜除去面 不陸処理	C-2 厚1～2mm程度 こて塗り 塗装下地　ｺﾝｸﾘｰﾄ面	2.3	m2			
無収縮モルタル注入用型枠　（ｼｰﾘﾝｸﾞ共	片面 H70	3.5	m			
無収縮ﾓﾙﾀﾙ圧入 （材工共）	下枠（試験費共）	1.2	m3			
建具周囲防水 ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	33.3	m			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて ﾓﾙﾀﾙ仕上げ　W20	0.2	㎡			
幅木ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて 出幅木　高さ100	1.2	m			
建具周囲(外部) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×10	52.5	m			
建具周囲(外部下枠) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×15	7	m			
建具周囲(外部下枠) ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 17×15	5.1	m			
EXPｺﾞﾑ	W20	6.8	m			
壁 杉縦羽目板	t12	7.7	㎡			

建築工事	鋼製戸改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
巾木 木製	米栂集成材H=150, t=20	1.2	m			
廻縁 木製	米栂集成材30x55	6.8	m			
壁下地木製胴縁	米栂40x21　縦横端部	17.4	m			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295　D10	1	式			
拡張アンカー	D10用 @500	24	本			
小計						
【塗装改修】						
ＤＰ塗り	亜鉛めっき鋼 1級 工場1回目錆止め含まず 現場1回塗り含む	35.4	㎡			
複層塗材 E	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　ゆず肌状 ﾛｰﾗｰ塗り ｼﾘｺﾝ系 水系 つやあり 上塗2回	16.1	㎡			
下地調整費	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　屋内外 C-1	13.8	㎡			
木部 OSCL塗り	素地A種 杉縦羽目板	7.7	㎡			
木部 OSCL塗り (糸幅300㎜以下)	木部　素地A種 廻縁	6.8	m			
木部 ＳＯＰ塗り (糸幅300㎜以下)	木部　工程B種(屋内) 素地A種 巾木	1.2	m			
計						

建築工事	窓フィルム改修			撤去		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｶﾞﾗｽ撤去	集積共	5.5	㎡			
計						

建築工事	窓フィルム改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遮熱ﾌｨﾙﾑ	内貼　網入面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANO90S同等	3.8	㎡			
遮熱ﾌｨﾙﾑ	外貼　型板面・網入面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　NANOMACRX同等	211	㎡			
飛散防止ﾌｨﾙﾑ	外貼　型板面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　SH2CLARX同等	2	㎡			
網入型板ｶﾞﾗｽ	厚さ6.8 特寸 2.18㎡以下 ひし ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共	5.5	㎡			
計						

建築工事	環境配慮改修	撤去				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｱｽﾍﾞｽﾄ含有仕上げ塗材除去	集塵装置付きﾃﾞｨｽｸｸﾞﾗｲﾝﾀﾞｰ工法 養生(養生ｼｰﾄ、粉塵飛散防止剤) 作業手間、荷揚げ(積込み、積下ろし、小運搬)、消耗品･機器損料、廃棄物二重梱包、清掃、積込共	1	式			
発生材運搬		1	式			
発生材処分	石綿含有産業廃棄物（特別管理型）	1	式			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0081
発生材運搬		1	式			別紙 00-0082
計						

建築工事		発生材処分			処分	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0083
計						

建築工事		発生材処分			ｽｸﾗｯﾌﾟ	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0084
計						

電気設備工事	電灯設備			電灯分岐		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
避難口誘導灯 取外し・再取付	C級　ｶﾞｰﾄﾞ付	3	個			
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
養生		1	式			別紙 00-0085
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0086
内部仕上足場 (ﾛｰﾘﾝｸﾞﾀﾜｰ)	ﾛｰﾘﾝｸﾞﾀﾜｰ(運搬含む) 養生用コンパネ+ブルーシート	1	式			
内部足場		1	式			別紙 00-0087
計						

建築工事	窓フィルム改修			新設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遮熱ﾌｨﾙﾑ	内貼　ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ SH2CL-P+NANO70S同等	6.5	㎡			
遮熱ﾌｨﾙﾑ	内貼　ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ SH2CL-P+NANO70S同等	64.6	㎡			
遮熱ﾌｨﾙﾑ	内貼　ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ SH2CL-P+NANO70S同等	3.8	㎡			
飛散防止ﾌｨﾙﾑ	内貼 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　SH2CLAR同等	18	㎡			
飛散防止ﾌｨﾙﾑ	外貼　型板面 ｽﾘｰｴﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ　SH2CLARX同等	22.8	㎡			
計						

建築工事		直接仮設			直接仮設	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0001
墨出し(外壁改修)	ﾀｲﾙ･ﾓﾙﾀﾙ塗替等 一般	5.1	㎡			
特殊作業員		0.5	人			
計						
養生		1	式			別紙 00-0002
養生(外壁改修)		30	㎡			
養生(内部改修)	個別改修	18	㎡			
養生(内部改修)	塗装塗替え程度	15.3	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0003
整理清掃後片付け(外壁改修)		30	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	18	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	塗装塗替え程度	15.3	㎡			
計						

建築工事		直接仮設			直接仮設	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
外部足場	W900・ﾌﾞﾗｹｯﾄ足場 運搬費共	1	式			別紙 00-0004
枠組本足場 (手すり先行方式)	W900　12m未満 1カ月　(GL～) 運搬費含む	238	㎡			
枠組本足場 (手すり先行方式)	W600　12m未満 1カ月　(GL～) 運搬費含む	27	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 1カ月　(GL～) 運搬費含む	51	m			
枠組本足場 (手すり先行方式)	手摺先行型　ﾌﾞﾗｹｯﾄ　H10m未満 1カ月 運搬費含む	84.6	㎡			
金網式養生枠	H=2.0m 運搬費含む	142	㎡			
ﾈｯﾄ状養生ｼｰﾄ	W900　12m未満 1カ月　(GL～) 運搬費含む	110	㎡			
計						
内部足場 (外部足場共)	脚立足場	1	式			別紙 00-0005
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場　一般 -	28.1	㎡			
計						
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W1,000xH3,500	1	式			別紙 00-0006
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W1,000xH3,500	2	か所			
計						
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0007
開口部養生	合板張り養生	4	か所			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0008
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.15	m3			
発生材積込み	ﾎﾞｰﾄﾞ・木材類 人力	0.14	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0009
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 10.5km以下	1	m3			
計						

建築工事		発生材処分		処分		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0010
建設廃材処分費	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ廃材　処分地区：東葛	0.35	t			
建設廃材処分費	陶器・ｶﾞﾗｽ廃材　処分地区：東葛	0.1	m3			
建設廃材処分費	木材　処分地区：東葛	0.14	m3			
建設廃材処分費	安定型混合廃棄物　処分地区：東葛	0.23	m3			
計						

建築工事		発生材処分			ｽｸﾗｯﾌﾟ	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0011
ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	H２	0.48	t			
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
養生		1	式			別紙 00-0012
養生(内部改修)	塗装塗替え程度	60.8	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0013
整理清掃後片付け(内部改修)	塗装塗替え程度	60.8	㎡			
計						
内部足場	脚立足場	1	式			別紙 00-0014
内部仕上足場(改修)	階高4.0m以下 脚立足場　一般 運搬費含む	43.6	㎡			
計						
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W3,470xH2,700	1	式			別紙 00-0015
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W3,470xH2,700	12	か所			
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0016
墨出し(外壁改修)	ﾀｲﾙ･ﾓﾙﾀﾙ塗替等 一般	7.4	㎡			
特殊作業員		0.5	人			
計						
養生		1	式			別紙 00-0017
養生(外壁改修)		31.7	㎡			
養生(内部改修)	個別改修	18	㎡			
養生(内部改修)	塗装塗替え程度	43.7	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0018
整理清掃後片付け(外壁改修)		31.7	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	18	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	塗装塗替え程度	43.7	㎡			
計						
内部足場	脚立足場	1	式			別紙 00-0019
内部仕上足場(改修)	階高4.0m以下 脚立足場　一般 -	62.8	㎡			
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W3,800xH3,000	1	式			別紙 00-0020
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W3,800xH3,000	10	か所			
計						
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0021
開口部養生	合板張り養生	4	か所			
計						

建築工事	発生材処分			積込・運搬		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0022
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.18	m3			
発生材積込み	ﾎﾞｰﾄﾞ・木材類 人力	0.3	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0023
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 10.5km以下	1	m3			
計						

建築工事		発生材処分			処分	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0024
建設廃材処分費	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ廃材　処分地区：東葛	0.42	t			
建設廃材処分費	木材　処分地区：東葛	0.3	m3			
建設廃材処分費	安定型混合廃棄物　処分地区：東葛	0.29	m3			
計						

建築工事		発生材処分			ｽｸﾗｯﾌﾟ	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0025
ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	H２	0.54	t			
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
養生		1	式			別紙 00-0026
養生(内部改修)	塗装塗替え程度	51.6	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0027
整理清掃後片付け (内部改修)	塗装塗替え程度	48.1	㎡			
計						
外部足場 （内部足場共）		1	式			別紙 00-0028
枠組本足場 (手すり先行方式)	W900　12m未満 1カ月　(GL～) 運搬費含む	69.8	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 1カ月　(GL～) 運搬費含む	18	m			
金網式養生枠	H=2.0m 運搬費含む	28.8	㎡			
ﾈｯﾄ状養生ｼｰﾄ	W900　12m未満 1カ月　(GL～) 運搬費含む	44.4	㎡			
計						
内部足場	脚立足場	1	式			別紙 00-0029
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場　一般 運搬費含む	39.8	㎡			
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W4,480xH3,325	1	式			別紙 00-0030
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W4,480xH3,325	8	か所			
計						

建築工事		発生材処分			処分	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0031
建設廃材処分費	陶器・ｶﾞﾗｽ廃材　処分地区：東葛	0.1	m3			
建設廃材処分費	安定型混合廃棄物　処分地区：東葛	0.1	m3			
計						

建築工事		直接仮設			直接仮設	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0032
墨出し(外壁改修)	ﾀｲﾙ･ﾓﾙﾀﾙ塗替等 一般	4.8	㎡			
特殊作業員		0.5	人			
計						
養生		1	式			別紙 00-0033
養生(外壁改修)		32.1	㎡			
養生(内部改修)	個別改修	18	㎡			
養生(内部改修)	塗装塗替え程度	93.3	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0034
整理清掃後片付け(外壁改修)		32.1	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	18	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	塗装塗替え程度	93.3	㎡			
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
外部足場	W900・ﾌﾞﾗｹｯﾄ足場 運搬費共	1	式			別紙 00-0035
枠組本足場 (手すり先行方式)	W900　12m未満 1カ月　(GL～) 運搬費含む	281	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 1カ月　(GL～) 運搬費含む	78	m			
枠組本足場 (手すり先行方式)	手摺先行型　ﾌﾞﾗｹｯﾄ　H10m未満 1カ月 運搬費含む	281	㎡			
金網式養生枠	H=2.0m 運搬費含む	78	㎡			
ﾈｯﾄ状養生ｼｰﾄ	W900　12m未満 1カ月　(GL～) 運搬費含む	148	㎡			
計						
内部足場	脚立足場	1	式			別紙 00-0036
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場　一般 -	92.4	㎡			
計						
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W4,210xH3,400	1	式			別紙 00-0037
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W4,210xH3,400	16	か所			
計						
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0038
開口部養生	合板張り養生	4	か所			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0039
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.19	m3			
発生材積込み	ﾎﾞｰﾄﾞ・木材類 人力	0.14	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0040
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 10.5km以下	1	m3			
計						

建築工事		発生材処分			処分	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0041
建設廃材処分費	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ廃材　処分地区：東葛	0.44	t			
建設廃材処分費	木材　処分地区：東葛	0.14	m3			
建設廃材処分費	安定型混合廃棄物　処分地区：東葛	0.24	m3			
計						

建築工事		発生材処分			ｽｸﾗｯﾌﾟ	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0042
ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	H２	0.48	t			
計						

建築工事		直接仮設		直接仮設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0043
墨出し(外壁改修)	ﾀｲﾙ･ﾓﾙﾀﾙ塗替等 一般	4.8	㎡			
特殊作業員		0.5	人			
計						
養生		1	式			別紙 00-0044
養生(外壁改修)		29.9	㎡			
養生(内部改修)	個別改修	9	㎡			
養生(内部改修)	塗装塗替え程度	36.7	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0045
整理清掃後片付け(外壁改修)		29.9	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	9	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	塗装塗替え程度	36.7	㎡			
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
外部足場	W900・ﾌﾞﾗｹｯﾄ足場 運搬費共	1	式			別紙 00-0046
枠組本足場 (手すり先行方式)	W900　12m未満 1カ月　(GL～) 運搬費含む	216	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 1カ月　(GL～) 運搬費含む	38.4	m			
枠組本足場 (手すり先行方式)	手摺先行型　ﾌﾞﾗｹｯﾄ　H10m未満 1カ月 運搬費含む	216	㎡			
金網式養生枠	H=2.0m 運搬費含む	38	㎡			
ﾈｯﾄ状養生ｼｰﾄ	W900　12m未満 1カ月　(GL～) 運搬費含む	154	㎡			
計						
内部足場	脚立足場	1	式			別紙 00-0047
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場　一般 -	60.1	㎡			
計						
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W4,210xH3,400	1	式			別紙 00-0048
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W4,210xH3,400	8	か所			
計						
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0049
開口部養生	合板張り養生	4	か所			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0050
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.28	m3			
発生材積込み	ﾎﾞｰﾄﾞ・木材類 人力	0.17	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0051
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 10.5km以下	1	m3			
計						

建築工事		発生材処分			処分	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0052
建設廃材処分費	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ廃材　処分地区：東葛	0.65	t			
建設廃材処分費	陶器・ｶﾞﾗｽ廃材　処分地区：東葛	0.1	m3			
建設廃材処分費	木材　処分地区：東葛	0.17	m3			
建設廃材処分費	安定型混合廃棄物　処分地区：東葛	0.25	m3			
計						

建築工事		発生材処分			ｽｸﾗｯﾌﾟ	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0053
ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	H２	0.5	t			
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0054
墨出し(外壁改修)	ﾀｲﾙ･ﾓﾙﾀﾙ塗替等 一般	5.5	㎡			
特殊作業員		0.5	人			
計						
養生		1	式			別紙 00-0055
養生(外壁改修)		23.2	㎡			
養生(内部改修)	個別改修	13.3	㎡			
養生(内部改修)	塗装塗替え程度	49.7	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0056
整理清掃後片付け(外壁改修)		23.2	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	13.3	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	塗装塗替え程度	49.7	㎡			
計						
内部足場	脚立足場	1	式			別紙 00-0057
内部仕上足場(改修)	階高4.0m以下 脚立足場　一般 運搬費含む	50.4	㎡			
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W3,880xH3,000	1	式			別紙 00-0058
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W3,880xH3,000	10	か所			
計						
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0059
開口部養生	合板張り養生	3	か所			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0060
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.12	m3			
発生材積込み	ﾎﾞｰﾄﾞ・木材類 人力	0.17	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0061
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 10.5km以下	1	m3			
計						

建築工事		発生材処分			処分	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0062
建設廃材処分費	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ廃材　処分地区：東葛	0.28	t			
建設廃材処分費	木材　処分地区：東葛	0.17	m3			
建設廃材処分費	安定型混合廃棄物　処分地区：東葛	0.19	m3			
計						

建築工事		発生材処分		ｽｸﾗｯﾌﾟ		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0063
ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	H２	0.4	t			
計						

建築工事		直接仮設			直接仮設	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0064
墨出し(外壁改修)	ﾀｲﾙ･ﾓﾙﾀﾙ塗替等 一般	4	㎡			
特殊作業員		0.5	人			
計						
養生		1	式			別紙 00-0065
養生(外壁改修)		32.1	㎡			
養生(内部改修)	個別改修	18	㎡			
養生(内部改修)	塗装塗替え程度	3.6	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0066
整理清掃後片付け(外壁改修)		32.1	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	18	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	塗装塗替え程度	3.6	㎡			
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
外部足場	W900・ﾌﾞﾗｹｯﾄ足場 運搬費共	1	式			別紙 00-0067
枠組本足場 (手すり先行方式)	W900　12m未満 1カ月　(GL～) 運搬費含む	432	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 1カ月　(GL～) 運搬費含む	78	m			
枠組本足場 (手すり先行方式)	手摺先行型　ﾌﾞﾗｹｯﾄ　H10m未満 1カ月 運搬費含む	432	㎡			
金網式養生枠	H=2.0m 運搬費含む	78	㎡			
ﾈｯﾄ状養生ｼｰﾄ	W900　12m未満 1カ月　(GL～) 運搬費含む	312	㎡			
計						
内部足場	脚立足場	1	式			別紙 00-0068
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場　一般 -	25	㎡			
計						
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0069
開口部養生	合板張り養生	4	か所			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0070
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.15	m3			
発生材積込み	ﾎﾞｰﾄﾞ・木材類 人力	0.15	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0071
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 10.5km以下	1	m3			
計						

建築工事		発生材処分			処分	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0072
建設廃材処分費	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ廃材　処分地区：東葛	0.35	t			
建設廃材処分費	陶器・ｶﾞﾗｽ廃材　処分地区：東葛	0.1	m3			
建設廃材処分費	木材　処分地区：東葛	0.15	m3			
建設廃材処分費	安定型混合廃棄物　処分地区：東葛	0.23	m3			
計						

建築工事	発生材処分			ｽｸﾗｯﾌﾟ		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0073
ｽｸﾗｯﾌﾟ 控除	H２	0.48	t			
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0074
墨出し(外壁改修)	ﾀｲﾙ･ﾓﾙﾀﾙ塗替等 一般	3	㎡			
特殊作業員		0.5	人			
計						
養生		1	式			別紙 00-0075
養生(外壁改修)		24.1	㎡			
養生(内部改修)	個別改修	13.5	㎡			
養生(内部改修)	塗装塗替え程度	7.1	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0076
整理清掃後片付け(外壁改修)		24.1	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	13.5	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	塗装塗替え程度	7.1	㎡			
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
外部足場	W900・ﾌﾞﾗｹｯﾄ足場 運搬費共	1	式			別紙 00-0077
枠組本足場 (手すり先行方式)	W900　12m未満 1カ月　(GL～) 運搬費含む	432	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 1カ月　(GL～) 運搬費含む	78	m			
枠組本足場 (手すり先行方式)	手摺先行型　ﾌﾞﾗｹｯﾄ　H10m未満 1カ月 運搬費含む	432	㎡			
金網式養生枠	H=2.0m 運搬費含む	78	㎡			
ﾈｯﾄ状養生ｼｰﾄ	W900　12m未満 1カ月　(GL～) 運搬費含む	312	㎡			
計						
内部足場	脚立足場	1	式			別紙 00-0078
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場　一般 -	20	㎡			
計						
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り 約W1,000xH3,500	1	式			別紙 00-0079
ｷﾞｬﾗﾘｰ落下防止	単管ﾊﾟｲﾌﾟ、ﾈｯﾄ張り W1,000xH3,500	1	か所			
計						
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0080
開口部養生	合板張り養生	3	か所			
計						

建築工事		発生材処分			積込・運搬	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0081
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.11	m3			
発生材積込み	ﾎﾞｰﾄﾞ・木材類 人力	0.11	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0082
撤去材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 10.5km以下	1	m3			
計						

建築工事		発生材処分			処分	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分		1	式			別紙 00-0083
建設廃材処分費	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ廃材　処分地区：東葛	0.26	t			
建設廃材処分費	陶器・ｶﾞﾗｽ廃材　処分地区：東葛	0.1	m3			
建設廃材処分費	木材　処分地区：東葛	0.11	m3			
建設廃材処分費	安定型混合廃棄物　処分地区：東葛	0.21	m3			
計						

建築工事		発生材処分		ｽｸﾗｯﾌﾟ		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲1	式			別紙 00-0084
ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	H２	0.36	t			
計						

建築工事	直接仮設			直接仮設		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
養生		1	式			別紙 00-0085
養生(内部改修)	塗装塗替え程度	92.2	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0086
整理清掃後片付け(内部改修)	塗装塗替え程度	92.2	㎡			
計						
内部足場		1	式			別紙 00-0087
内部仕上足場(改修)	階高4.0m以下 脚立足場　一般 -	48.9	㎡			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
交通誘導員Ｂ	交通誘導員Ｂ（その他率含む）	6	人			
仮囲い	ｶﾗｰｺｰﾝ・ｺｰﾝﾊﾞｰ	20	m			
仮囲い	ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ　H1.8m	23.4	m			
石綿粉塵濃度測定	作業前･中･後：1点 足場設置中：1点	4	か所			
小計	第一中学校					
交通誘導員Ｂ	交通誘導員Ｂ（その他率含む）	4	人			
仮囲い	ｶﾗｰｺｰﾝ・ｺｰﾝﾊﾞｰ	38	m			
小計	第二中学校					
交通誘導員Ｂ	交通誘導員Ｂ（その他率含む）	4	人			
仮囲い	ｶﾗｰｺｰﾝ・ｺｰﾝﾊﾞｰ	36	m			
仮囲い	ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ　H1.8m	36	m			
小計	第三中学校					
交通誘導員Ｂ	交通誘導員Ｂ（その他率含む）	6	人			
仮囲い	ｶﾗｰｺｰﾝ・ｺｰﾝﾊﾞｰ	40	m			
石綿粉塵濃度測定	作業前･中･後：1点 足場設置中：1点	4	か所			
小計	第四中学校					
交通誘導員Ｂ	交通誘導員Ｂ（その他率含む）	6	人			
仮囲い	ｶﾗｰｺｰﾝ・ｺｰﾝﾊﾞｰ	66	m			
石綿粉塵濃度測定	作業前･中･後：1点 足場設置中：1点	4	か所			
小計	第六中学校					

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
交通誘導員Ｂ	交通誘導員Ｂ（その他率含む）	6	人			
仮囲い	ｶﾗｰｺｰﾝ・ｺｰﾝﾊﾞｰ	38	m			
仮囲い	ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ　H1.8m	18	m			
石綿粉塵濃度測定	作業前･中･後：1点 足場設置中：1点	4	か所			
小計	小金中学校					
交通誘導員Ｂ	交通誘導員Ｂ（その他率含む）	4	人			
仮囲い	ｶﾗｰｺｰﾝ・ｺｰﾝﾊﾞｰ	28	m			
仮囲い	ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ　H1.8m	9	m			
石綿粉塵濃度測定	作業前･中･後：1点	3	か所			
小計	栗ケ沢中学校					
交通誘導員Ｂ	交通誘導員Ｂ（その他率含む）	6	人			
仮囲い	ｶﾗｰｺｰﾝ・ｺｰﾝﾊﾞｰ	22	m			
石綿粉塵濃度測定	作業前･中･後：1点 足場設置中：1点	4	か所			
小計	新松戸南中学校					
交通誘導員Ｂ	交通誘導員Ｂ（その他率含む）	6	人			
仮囲い	ｶﾗｰｺｰﾝ・ｺｰﾝﾊﾞｰ	26	m			
石綿粉塵濃度測定	作業前･中･後：1点 足場設置中：1点	4	か所			
小計	和名ケ谷中学校					
交通誘導員Ｂ	交通誘導員Ｂ（その他率含む）	4	人			
仮囲い	ｶﾗｰｺｰﾝ・ｺｰﾝﾊﾞｰ	46	m			

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
小計	小金北中学校					
計						

現場説明書

1.工事名称　　松戸市立第一中学校ほか９校体育館空調設備設置建築工事

2.工事場所　　松戸市岩瀬５８７番地ほか９か所

3.説明事項

・工事期間中は現場内の整理整頓及び敷地周辺環境に配慮すること。

・契約後、各施工計画書及び施工図等は遅滞なく作成し承諾を得ること。

・騒音、振動発生する作業を行う場合は、事前に学校関係者と十分協議し作業を行うこと。

・関連法規を遵守し、安全に対して最大限に配慮し工事中の事故防止に努めること。

・同時期に電気設備工事・機械設備工事の体育館空調設備設置工事も行われるため、工程及び資材置き場等、工事間の調整を密に行うこと。

＜工程について＞

・工事の日程等は、施設管理者及び関係者に事前に周知を図ること。

＜共通仮設について＞

・材料搬出入時等は交通誘導員を適宜配置し、安全確保に努めること。

・生徒、職員及び施設利用者の安全や動線の確保されるように仮設計画をし、安全管理を十分に行うこと。

＜週休2日制適用工事について＞

・本工事は、週休2日工事である（発注者指定方式）。

・受注者は、現場閉所（休息）による週休2日工事として取り組むこと。なお、予定価格には4週8休達成相当の経費を補正している。

・週休2日制の実施にあたっては、「松戸市営繕工事週休2日工事試行実施要領」に基づき行うこと。

＜注意事項＞

提出書類は松戸市建築工事提出書類等一覧表による。

検査・立会は松戸市建築工事検査・立会一覧表による。

落札者は契約締結後、書式データ・図面データ等をお渡しするのでCD-RW等を

建築保全課へ持参すること。

松戸市立第一中学校ほか９校体育館空調設備設置建築工事

	松戸市立第一中学校	
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	改修工事特記仕様書-1	No Scale
A-02	改修工事特記仕様書-2	No Scale
A-03	改修工事特記仕様書-3	No Scale
A-04	改修工事特記仕様書-4	No Scale
A-05	配置図・案内図・仕上表	1:3000,1:500
A-06	１階平面図	1:100
A-07	２階平面図	1:100
A-08	改修前・改修後 建具表キープラン	1:200
A-09	改修前 建具表	1:50
A-10	改修後 建具表	1:50
A-11	部分詳細図	1:30
A-12	仮設計画図（案）	1:200,1:500

	松戸市立第二中学校	
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	改修工事特記仕様書-1	No Scale
A-02	改修工事特記仕様書-2	No Scale
A-03	改修工事特記仕様書-3	No Scale
A-04	改修工事特記仕様書-4	No Scale
A-05	案内図・配置図・仕上表	1:2500,1:500
A-06	１階平面図	1:100
A-07	２階平面図	1:100
A-08	３階平面図	1:200
A-09	改修前・改修後 建具表キープラン	1:400
A-10	改修前・改修後 建具表	1:50
A-11	内部仮設計画図（案）	1:200
A-12	外部仮設計画図（案）	1:300

	松戸市立第三中学校	
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	改修工事特記仕様書-1	No Scale
A-02	改修工事特記仕様書-2	No Scale
A-03	改修工事特記仕様書-3	No Scale
A-04	改修工事特記仕様書-4	No Scale
A-05	配置図・案内図・仕上表	1:2500,1:700
A-06	１階平面図	1:100
A-07	２階平面図	1:100
A-08	改修前・改修後 建具表キープラン	1:200
A-09	改修前・改修後 建具表	1:50
A-10	部分詳細図	1:30
A-11	仮設計画図（案）	1:200,1:500

	松戸市立第四中学校	
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	改修工事特記仕様書-1	No Scale
A-02	改修工事特記仕様書-2	No Scale
A-03	改修工事特記仕様書-3	No Scale
A-04	改修工事特記仕様書-4	No Scale
A-05	配置図・案内図・仕上表	1:2500,1:700
A-06	１階平面図	1:100
A-07	２階平面図	1:100
A-08	３階平面図	1:100
A-09	改修前・改修後 建具キープラン	1:200
A-10	改修前 建具表	1:50
A-11	改修後 建具表	1:50
A-12	内部仮設計画図（案）	1:200
A-13	外部仮設計画図（案）	1:300

	松戸市立第六中学校	
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	改修工事特記仕様書-１	No Scale
A-02	改修工事特記仕様書-２	No Scale
A-03	改修工事特記仕様書-３	No Scale
A-04	改修工事特記仕様書-４	No Scale
A-05	配置図・案内図・仕上表	1:2500,1:600
A-06	１階平面図	1:100
A-07	２階平面図	1:100
A-08	改修前・改修後 建具表キープラン	1:200
A-09	改修前・改修後 建具表	1:50
A-10	部分詳細図	1:30
A-11	仮設計画図（案）	1:200,1:500

	松戸市立小金中学校	
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	改修工事特記仕様書-１	No Scale
A-02	改修工事特記仕様書-２	No Scale
A-03	改修工事特記仕様書-３	No Scale
A-04	改修工事特記仕様書-４	No Scale
A-05	配置図・案内図・仕上表	1:2500,1:600
A-06	１階平面図	1:100
A-07	２階平面図	1:100
A-08	改修前・改修後 建具表キープラン	1:200
A-09	改修前 建具表	1:50
A-10	改修後 建具表	1:50
A-11	部分詳細図	1:30
A-12	仮設計画図（案）	1:200,1:500

	松戸市立栗ケ沢中学校	
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	改修工事特記仕様-１	No Scale
A-02	改修工事特記仕様-２	No Scale
A-03	改修工事特記仕様-３	No Scale
A-04	改修工事特記仕様-４	No Scale
A-05	配置図・案内図・仕上表	1:2500, 1:1100
A-06	１階平面図	1:100
A-07	２階平面図	1:100
A-08	改修前・改修後 建具キープラン	1:200
A-09	改修前・改修後 建具表	1:50
A-10	部分詳細図	1:30
A-11	仮設計画図（案）	1:200, 1:500

	松戸市立新松戸南中学校	
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	改修工事特記仕様書-1	No Scale
A-02	改修工事特記仕様書-2	No Scale
A-03	改修工事特記仕様書-3	No Scale
A-04	改修工事特記仕様書-4	No Scale
A-05	配置図・案内図・仕上表	1:2200, 1:600
A-06	１階平面図	1:100
A-07	２階平面図	1:100
A-08	改修前・改修後 建具表キープラン	1:200
A-09	改修前 建具表	1:50
A-10	改修後 建具表	1:50
A-11	部分詳細図	1:30
A-12	仮設計画図（案）	1:200, 1:500

	松戸市立和名ケ谷中学校	
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	改修工事特記仕様書-１	No Scale
A-02	改修工事特記仕様書-２	No Scale
A-03	改修工事特記仕様書-３	No Scale
A-04	改修工事特記仕様書-４	No Scale
A-05	配置図・案内図・仕上表	1:2500, 1:400
A-06	１階平面図	1:100
A-07	２階平面図	1:100
A-08	改修前・改修後 建具表キープラン	1:200
A-09	改修前 建具表	1:50
A-10	改修後 建具表	1:50
A-11	部分詳細図	1:30
A-12	仮設計画図（案）	1:200, 1:400

	松戸市立小金北中学校	
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	改修工事特記仕様書-１	No Scale
A-02	改修工事特記仕様書-２	No Scale
A-03	改修工事特記仕様書-３	No Scale
A-04	改修工事特記仕様書-４	No Scale
A-05	配置図・案内図・仕上表	1:2500, 1:700
A-06	１階平面図	1:100
A-07	２階平面図	1:100
A-08	改修前・改修後 建具表キープラン	1:200
A-09	改修前 建具表-1	1:50
A-10	改修前 建具表-2	1:50
A-11	改修後 建具表-1	1:50
A-12	改修後 建具表-2	1:50
A-13	仮設計画図（案）	1:200, 1:500

松戸市立第一中学校体育館空調設備設置建築工事

図面リスト	
意匠図	
図面番号	図面名称
A-00	表紙・図面リスト
A-01	改修工事特記仕様書-1
A-02	改修工事特記仕様書-2
A-03	改修工事特記仕様書-3
A-04	改修工事特記仕様書-4
A-05	配置図・案内図・仕上表
A-06	１階平面図
A-07	２階平面図
A-08	改修前・改修後 建具表キープラン
A-09	改修前 建具表
A-10	改修後 建具表
A-11	部分詳細図
A-12	仮設計画図（案）

工事名	松戸市立第一中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	No Scale	図面番号	A-00
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

松戸市立第一中学校体育館空調設備設置建築工事　　令和　7年　2月

仕　様　書

Ⅰ　工事概要

1. 工事場所　　松戸市岩瀬５８７番地

2. 敷地面積　　29,833㎡

3. 改修建物概要
用　　途：中学校（体育館）
構　　造：S造
階　　数：地上２階
延べ面積：1,199㎡(アリーナ)

4. 工事内容

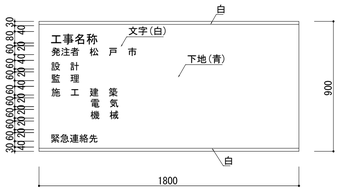
工事種目	工事範囲
2　仮設工事	足場設置・資材置場・ガードフェンス
3　防水改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴うシーリング
4　外壁改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴う仕上材塗替
5　建具改修工事	SDハンガードア 撤去・新設、ガラス改修工事（フィルム張を含む）
6　内装改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴う内壁塗装、SDハンガードア塗装
7　塗装改修工事	–
9　環境配慮改修工事	SDハンガードア 撤去に伴うアスベスト含有外壁仕上げ材部分除去
10　その他	–

Ⅱ建築工事仕様

1. 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様に記載されれいない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）(令和4年版)」(以下、「改修標仕」という。)及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「標仕」という)による。

2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に◯印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、･印の付いたものを適用する。
･印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
･印と※印の付いた場合は共に適用する。
(3) 特記事項に記載の［　　］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(5) G 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。

松戸市建築工事現場表示板仕様



(1)材料
1) 耐水合板（ラワン厚み12mm SOP仕上げ）
2) 枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。

(2)注意事項
1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	①運用基準等	･松戸市建築工事に関する提出書類 ･工事写真の撮り方 建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ･松戸市建築工事現場表示板仕様
	②工事実績情報サービス（CORINS）への登録	※ 適用する　[1.1.4]
	③施工計画書	･工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。　[1.2.2] ･施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。 ･施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。 ･施工図等の内容を変更する必要が生じた場合は監督職員に報告する。
	4 電気保安技術者	・工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。　[1.3.3]
	⑤施工条件	※　現場説明書による　[1.3.5]
	⑥発生材の処理等	※ 現場説明書による　・場外搬出適正処理　[1.3.12]
	⑦材料の品質等	[1.4.2] 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 (3)安定的な供給が可能であること。 (4)法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。 (5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（(社)公共建築協会 他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
	8 化学物質を放散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 2)保温材、衝撃材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 3)接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ―2―エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 5)1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFoo規格品
	9 特別な材料の工法	様仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	⑩ 技能士	[1.6.2]

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立作業)
コンクリート工事	・型枠施工
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築　・ALCパネル施工
防水工事	・アスファルト防水工事作業　・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塗膜防水工事作業　・シーリング防水工事作業
石工事	・石材施工(石張り施工)
タイル工事	・タイル張り
木工事	・建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金(内外装板金作業)
金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)
左官工事	･左官
建具工事	･サッシ施工 ･ガラス施工 ・自動ドア施工 ･鋼製建具施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工
塗装工事	･塗装(建築塗装作業)
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業　・ボード仕上げ工事作業 ・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)　・表装(壁装作業)
植栽工事	・造園

	11 化学物質の濃度測定	[1.6.9] 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定　・行う 測定対象室　・－ 測定箇所数　・－
	⑫ 完成図等	※作成する　・作成しない　[1.8.1～3][表1.8.1] ※完成図　ＣＡＤデータ

章	項　目	特　記　事　項
	13 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。 分類・規格 / 撮影箇所数 / 撮影部数 / 原版の大きさ(mm) ・カラー　外部(　)　内部(　)　※1　・6　※100×125以上 ※キャビネ版 ・ぺた焼き ・(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出) ※カラー半切木製パネル　外部(　)　内部(　)　※2　・ 324×400(mm) ・電子データ　外部(　)　内部(　)　※2　※200万画素以上 ※300dpi以上 100×125以上の原版を使う場合は、監督職員にあらかじめぺた焼を提出し確認を受ける。 電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)
	⑭ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。　[2.1.1]
	15 設計GL	※図示　・設計GL＝現状GL
	⑯ 工事写真	※着工前、完成写真2部　工事工程写真1部
	⑰ ワンデーレスポンスの実施	ワンデーレスポンスの取り組みについて 1. この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは 受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程 3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。 4. 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。
	⑱ 火災保険等	※火災保険等の証券等の写しを提出すること。
2 仮設工事	① 足場その他	内部足場　種別　※脚立、足場板　・棚足場　[2.2.1] 外部足場　手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。　[2.2.1][表2.2.1] 屋根工事及び小屋組みの建方工事における墜落事故防止対策はJIS A 8971に基づき設置すること。 材料、撤去材等の運搬方法　[2.2.1][表2.2.1] ・A種　※B種　・C種　・D種　・E種 ・定置する足場、作業構台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。
	② 養生	既存部分の養生　※ビニールシート　・合板　厚12　[2.3.1] 既存家具等の養生　※ビニールシート　・ 固定家具等の養生　※行う　・行わない
	3 仮設間仕切り	仮設間仕切り等の種別　[2.3.2][表2.3.1] 種別 / 下地 / 仕上材(厚さ mm) / 充てん材 / 塗装 ・A種　※軽量鉄骨　・合板(※9.0 ・ラワン　) / ※無し ・B種　・木下地　※せっこうボード(※12.5 ・　) / 厚さ mm ・片面 ・C種　・単管下地　防炎シート ・仮設扉　※木製扉　※合板張り程度 / ※無し ・鋼製扉　※片面フラッシュ程度 / ・有り
	4 監督職員事務所	規模及び仕上げの程度は現場説明書による。　[2.4.1]
	⑤ 工事用水	構内既存の施設　・利用できない　※利用できる(※有償　・無償)　[2.4.1] ※子メータを設置する。
	⑥ 工事電力	構内既存の施設　※利用できない　･利用できる(※有償　・無償)　[2.4.1]
	7 防音パネル	※アルミ製(解体作業期間)
	8 仮囲	・キャスターゲート　W= 3.0 m、H= 1.8 m、　箇所 ・キャスターゲート　W= 6.0 m、H= 1.8 m、1箇所
	⑨ 仮囲い	・万能鋼板　H= 2.0 m、L=　m、　箇所 ※成型鋼板　H= 2.0 m、L=　m、　箇所　・図示 ･ガードフェンス　H= 1.8 m　箇所　・図示
	10 仮設道路	・砕石敷(厚さ　mm　幅　mm) L=　m (砕石は、再生クラッシャランを使用) ・鋼板敷(厚さ　mm　幅　mm　L=　m)　枚
3 防水改修工事	1 アスファルト防水	[3.3.2][表3.1.1][表3.3.3～10] 防水改修工法の種類 / 施工箇所 / 新規防水層の種別 保護防水 ※P1B ・P1B1 ・T1B1 / ・B-1 ※B-2 / ・B1-1 ※B1-2 保護防水 ・P2A1 / ・A1-1 ※A1-2 水 ※P2A / ・A-1 ※A-2 露出防水 ・M4C / ・C-1 ※C-2 露出防水 ・M3D ・P0D / ・D-1 ※D-2 屋内防水 ・P1E ・P2E / ・E-1 ※E-2 〈保護層は図示による〉 アスファルトの種類　※3種　・4種　[3.2.2][3.3.2] 保護コンクリートのコンクリート種類　・普通コンクリート(18N/＊ S=18mm)　[3.3.2][8.11.1] (溶接金網　径6mm　100mm×100mm敷設) P0D工法の二重ドレン　※設けない　・設ける　[3.2.5] M3D、P0D工法の脱気装置　※設けない　・設ける　[3.3.3] 既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合)　・除去する　[3.2.6] 断熱工法の断熱材　厚さ(mm)　※25　・　[3.3.2] ただし、特定フロンを含まないもの。 立上り部の保護　[3.3.2] ・れんがの種類　※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形コンクリートブロックとする。 ・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ15mm
	2 改質アスファルトシート防水	[3.4.2][表3.1.1][表3.4.1～3] 防水改修工法の種類 / 施工箇所 / 新規防水層の種別 / 厚さ(mm) ・M4AS工法 / ・AS-1　・AS-2　・AS-3 ・M3AS工法 / ・AS-4　・AS-5　・AS-6 ・P0AS工法 ・M3ASI工法 / ・ASI-1　・ASI-2 ・M4ASI工法 ・P0ASI工法 脱気装置　※設けない　・設ける

章	項　目	特　記　事　項
	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	[3.5.2][表3.1.1][表3.5.1～3] 防水改修工法の種類 / 施工箇所 / 新規防水層の種別 / 仕上げ塗料等 / 使用分類 ・P0S工法 / ・S-F1　・S-M1 / ・カラー / ※非歩行 ・L3S工法 / ・S-F2　・S-M2 / ・シルバー / ・軽歩行 ・S3S工法 ・M4S工法 / ・S-M1　・S-M2 ・P0SI工法 / ・SI-F1　・SI-M1 ・L3SI工法 / 講堂屋根 階段室A下り屋根 / ・SI-F2　・SI-M2 ・S4SI工法 / ・SI-M3 脱気装置　※設けない　・設ける　[3.5.3] 目地処理　PCコンクリート　[3.5.4]
	4 塗膜防水	[3.6.2～4][表3.1.1][表3.6.1] 防水改修工法の種類 / 施工箇所 / 新規防水層の種別 ・L4X工法 / ※図示 / ・X-1(絶縁工法) ・P0X工法 / ・X-2(密着工法) 既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合)　・活膜を残す　[3.2.6] 脱気装置　※設けない　・設ける　[3.6.3]
	5 脱気装置	[3.3.2][3.4.2][3.5.2][3.6.2][表3.1.1] 種類 / 材質 / 設置数量 ・平面部脱気型 / ・ポリエチレン樹脂　・ABS樹脂 ・ステンレス　・鋳鉄 / ・約50㎡当たり1箇所 ・立上り部脱気型 / ・合成ゴム　・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス　・銅 / ・(　)㎡当たり1箇所
	⑥ シーリング	シーリング改修工法の種類　[3.1.4]　[表3.1.2] ･シーリング充填　・シーリング再充填工法　・シーリング打替え ・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所　[3.7.2]　[表3.7.1] ※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする 施工箇所 / シーリング材の種類　(記号) ・打ち継ぎ目地、伸縮目地 / ・ポリウレタン系(PU-2)仕上げあり ･新設建具廻り、金属取合い / ･変成シリコーン系(MS-2)仕上げなし ･ガラス廻り / ･シリコーン系(SR-1)
	7 とい	[3.8.2]　[表3.8.1] といの材種　・配管用鋼管　※カラー硬質塩化ビニル管　・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU) G 鋼管製といの防露　[3.8.2]　[表3.8.3] ・次の箇所は行わない(　　) 防露材のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆　・ 掃除口　※有り　・無し　・ たてどい受金物の取付け　[3.8.3]
	8 アルミニウム製笠木	[3.9.2～3]　[表3.9.1] 種類 / 呼称肉厚(mm) / 製品幅(mm) / 固定間隔 / 備考 ・150形 / ※1.1程度 / ※150 / 固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの / 隅角部及び突き当り部等の役物は本体製造所の仕様による。 ・300形 / ※1.8以上 / ※300 ・350形 / ※2.0以上 / ※350 板材折曲げ形の取付工法　・図示　[3.9.3]
	9 折板葺	(13.3.2～3) 形式 / ※重ね形　・はぜ締め形　・ 形状(mm) / 山高(　)　山ピッチ(　)　板厚　・0.6　※0.8 材料(規格等) / ※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(GGLCCR-20-AZ150) 軒先面戸板 / ※有り　・無し 断熱材 / ・有り(種別：　厚さ：　mm)　※無し 耐火性能 / ・30分耐火　※無し
	⑩ 保証期間	※ 10年保証とする。
4 外壁改修工事 共通事項	① 施工数量調査	調査範囲　※外壁改修範囲　・図示の範囲　[1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。　また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び剥落を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。 調査報告書の部数　※2部　・ 既存塗装面外壁補修想定数量 補修項目 / 外壁 ひび割れ 0.2mm未満 / ３．０ｍ ひび割れ 0.2mm以上 / ３．０ｍ 欠損部（100×100程度） / ８箇所 一般部浮き / ２．０㎡ 塗膜脆弱部(既存塗膜除去部) / ４．４㎡

工事名	松戸市立第一中学校体育館空調設備設置建築工事
図面名	改修工事特記仕様書-1
作成年月日	令和7年2月10日
変更年月日	－
縮尺	No Scale
図面番号	A-01
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号
松戸市　街づくり部　建築保全課	

章	項目	特記事項
4 外壁改修工事 共通事項	②改修材料	⊙既製調合モルタル

保水率 (%)	単位容積質量 (kg/ℓ)	接着強さ(N/*) 標準時	接着強さ(N/*) 温冷繰り返し後	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/*)
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上

⊙パテ状エポキシ樹脂

初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0N/*以上	6.0N/*以上	50.0N/*以上	30.0N/*以上	3.0(%)以上

a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・可とう性エポキシ樹脂

性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性
引張強さ	1.0N/*以上	1.0N/*以上	1.0N/*以上	最大引張応力 1.0N/*以上
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10.0%以上

比重　表示値±0.10
押出し性　60秒以下
スランプ　3mm以下
加熱減量　5%以下
a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・タイル部分張替え工法用材料

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度(N/*)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
凝集破壊率(%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ(N/*)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上
伸び(%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上

貯蔵安定性　容積と粘土に著しい変化がないこと。
耐熱性　JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。
a.外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.タイル、石材、下地等侵すものでないこと。
c.「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。
e.ずれ抵抗性があること。
f.混錬終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。

⊙エポキシ樹脂モルタル

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0N/*以上	20.0N/*以上	10.0N/*以上

a.こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。
b.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
c.「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。
d.形状に異常が無く、垂れが生じないこと。
e.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。

⊙ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの種類
合成ゴム系、アクリル系、エチレン一酢ビ系等

曲げ強さ (N/*)	圧縮強さ (N/*)	接着強さ(N/*) 標準時	接着強さ(N/*) 湿潤時	接着強さ(N/*) 低温時
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態　垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。
透水性　裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
3以上	3.0%以下	0.5N/*以上	5.0N/*以上	15%以下	6.0N/*以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

・吸水調整材

項目	全固形分(%)	吸水性(g)	接着強度(N/*)	界面破断率 (%)
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁	①ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※製造所の仕様による	
⊙手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※ 50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り) ※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法：)

⊙Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	品質・規格等	備考
⊙シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタル充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

⊙シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6]
⊙パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

	②欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む)	⊙充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ⊙エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ポリマーセメントモルタル
	③浮き部改修工法	⊙アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法(16本/㎡) [4.1.4][4.4.10] (モルタル笠木・パラペット天端部分)
	4 巾木モルタル塗	・樹脂モルタル T3

章	項目	特記事項
4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	1 既存モルタル塗りの撤去	・行う(※監督職員の指示による)
	2 ひび割れ部改修工法	・既存モルタル撤去工法(範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)

※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.2][4.4.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300		
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り) ※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法：)

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

・シール工法(亀裂が0.2mm未満) [4.1.4][4.2.2][4.4.7]
(※既存モルタル面 ～既存躯体コンクリート面)。
・パテ状エポキシ樹脂(JIA A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [4.2.2][4.6.3]
(※シール工法の範囲 ・監督職員の指示による)

| | 3 欠損部改修工法 | ・既存モルタル面の欠損部 [4.1.4][4.4.8～9]

改修工法の種類	材料	品質・規格等
・充填工法	エポキシ樹脂モルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕4.2.2(7)による	塗り厚25mmを超える場合の補強
		※行う ・行わない ・図示

| | 4 浮き部改修工法 | [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ※狭幅部：5本/m	※25	※狭幅部：5本/m		※25ml
・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml

アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。

	5 巾木モルタル塗	・樹脂モルタル T3
4-3 外壁改修工事 タイル仕上げ外壁	1 既存タイル張りの撤去	・外壁タイル張り全面 ・部分撤去 [4.5.2] 撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張り付けモルタルまで ・タイルのみ
	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面(・コンクリート面 ・モルタル面)

※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5]

	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	
注入工法				

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4]
・行う(抜き取り部の補修方法：)

・Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

	3 欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む)	・充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ・エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ポリマーセメントモルタル

章	項目	特記事項
	4 浮き部改修工法	[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16			※25ml
・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml
・注入口付アンカーピニング	※9	※16	※9	※16	※50ml
エポキシ樹脂注入タイル固定工法					

アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。

	5 下地処理	サンダーケレンの上、モルタル薄塗 [4.2.2][4.6.3]
	6 タイルクリーニング	工業用塩酸
4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	①既存塗装等の撤去及び下地処理	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※補強範囲 図示	・ひび割れ部改修工法
※高圧水洗工法 加圧力 ※12MPa程度	※塗替え範囲 図示	・浮き部改修工法
⊙塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	・欠損部改修工法
・水洗いエ法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

塗膜はく離剤 [4.2.2]

	②下地調整材	※下地調整材C-1 (既存塗装除去部分) [4.2.2][4.6.3] ※微弾性フィラー (既存吹付タイル面・既存複層塗材面) [4.2.2][4.6.3]
	③仕上げ塗材仕上げ	種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4]

種類	呼び名	仕上げの形状	上塗材の種類
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・砂壁状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 ・凸凹状 ・平たん状	耐候性 ※耐候形3種 ・耐候形1種 溶媒 ※水系 ・弱溶剤系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ウレタン系 ⊙シリコン系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材 ※行う
⊙複層仕上塗材(既存塗装除去部分)	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材Si ⊙複層塗材E ・複層塗材RE ・複層塗材RS ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	⊙ゆず肌状 ・凸部処理 ・凸凹状	
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ※ゆず肌状	

防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2](15.6.2)
※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。
※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。

	4 その他の仕上げ	・基礎巾木仕上塗材 ※エスケー化研㈱ ベースプロテクト同等品とする ※菊水化学工業㈱ 基礎ｶﾞｰﾄﾞ同等品とする ・水性反応硬化形軒天用仕上塗材 ※エスケー化研㈱ ノキフレッシュ同等品とする ※菊水化学工業㈱ ノキテンファイン同等品とする ・ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し保護仕上げ塗材 ※エスケー化研㈱ セラミRC-FR工法同等品とする
5 建具改修工事	①改修工法の適用	[5.1.3]

種類	かぶせ工法	撤去工法	備考
・アルミニウム製建具	・有り	・有り	
⊙鋼製建具 ⊙外部	・有り	⊙有り	
・内部			
・鋼製軽量建具			
・ステンレス製建具			
・自動ドア開閉装置			
・重量シャッター			

	2 見本の製作等	・特殊な建具の仮組(建具符号 :) [5.1.5]
	3 アルミ製建具	外部に面する建具 [5.2.2][表5.2.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	※A-3	※Ⅲ-4	※70	・図示
・B種	S-5	・	・	・100	
・C種	S-6	A-4	Ⅳ-5	100	

章	項目	特記事項
		表面処理 [5.2.4][表5.2.2]
・BA-1種 ・BA-2種(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
		屋内建具
表面処理 ※C-1種又はB-1種 [5.2.4][表5.2.2]
・C-2種又はB-2種(ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
	4 網戸	防虫網 [5.2.3]
網の種別 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ※ステンレス(SUS316)製
形 式 ・外部可動式 ※固定式
	⑤鋼製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1]
耐風圧性能の適用は建具表による
特定防火設備戸 ・適用する [5.4.4]
	6 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1～2]
	7 ステンレス製建具	簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2]
耐風圧性能の適用は建具表による
表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ [5.6.4]
曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5]
防火戸 ・適用する [5.1.4]
	8 自動ドア開閉装置	※製造所標準製作の規定寸法許容差による [5.8.2～4][表5.8.1～5]

開閉方法	検出装置の種類
※引き戸	・光線(反射)センサー ・熱線センサー
・多機能トイレ出入口引き戸	・音波センサー ・光電センサー ・タッチスイッチ
	・押しボタンスイッチ ・多機能トイレスイッチ

・凍結防止装置(適用箇所は建具表による) |
| | 9 自閉式上吊り引戸装置 | 品質規格 ※改修標仕5.9.3による。 [5.9.3][表5.9.1]
・製造所標準仕様による。 |
| | 10 木製建具 | ※建具表による。
かまち戸の樹種 かまち( ) 鏡板( ) (16.7.2)(表16.7.2)
ふすまの上張り ※新鳥の子程度又はビニル紙程度(押入れ等の裏面は除く) (表16.7.3)
・鳥の子
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.7.2)
※F☆☆☆☆ ・非ホルムアルデヒド系接着剤 |
| | ⑪建具用金物 | マスターキー ・製作する ※製作しない [5.7.4]
建具用金物 [5.7.2][表5.7.1～3]
錠類はシリンダー箱錠(レバーハンドル)とする。
なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。
⊙図示による
吊金物
・丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい)
・ピボットヒンジ |
| | ⑫ガラス | 建具表による [5.13.2]
・ガラスブロック 改修標仕5.13.5 [5.13.5]

寸法(mm)	色調	パターン	防火認定
	※クリア ・熱線反射		※無し
	・乳白 ・カラー( )		・有り

| | ⑬ガラス留め材及び溝 | ガラス留め材 [5.13.2～3]

建具の種類	種類
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット(FIX部はシーリング材)
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。 |
| | ⑭ガラス用フィルム | 名称 種類 張り面 性能値

名称	種類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	
・目かくしフィルム			
⊙遮熱フィルム	第2種	※内張り ⊙外張り	飛散防止性能あり

品質JIS A 5759による
建具表による [5.13.2] |
| | 15 重量シャッター | [5.10.2][表5.10.1]

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能( )N/㎡
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能( )N/㎡
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

品質JIS A 4705による
開閉機能
※上部電動式(手動併用) ・上部手動式
危害防止機構 ※障害物感知装置(自動閉鎖型) [5.10.2]
・シャッターの二段降下方式
一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない [5.10.2] |
| | 16 軽量シャッター | [5.11.2][表5.10.1]
開閉形式
※手動式 ・上部電動式(手動併用)
スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 [5.11.3]
形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4]
ガイドレール等 [表5.10.2]
※鋼板製 ・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm)
耐風圧性能( )N/㎡ |

工事名	松戸市立第一中学校体育館空調設備設置建築工事
図面名	改修工事特記仕様書-2
作成年月日	令和7年2月10日 / 変更年月日 / －
縮尺	No Scale / 図面番号 / A-02
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号
松戸市 街づくり部 建築保全課	

章	項目	特記事項
5 建具改修工事	17 オーバーヘッドドア	[5.13.2～5][表5.13.1～2]

セクション材料による区分	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 (SUS304)

耐風圧性能(　　)N/㎡　JIS A 4715

18 かご錠　市販品
形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

章	項目	特記事項
6 内装改修工事	① 改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 [6.1.3] ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・図示の範囲 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま。 ・図示の範囲
	2 既存床の撤去並びに下地補修	ビニル床シート等の除去　※仕上げ材のみ(接着剤とも) [6.2.2] ・鋼製床組下地とも(※図示の範囲　・除去範囲全て) カラードフロアの撤去　・機械的除去工法　・目荒し工法 改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の案内　・
	3 既存壁の撤去並びに下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2][4.3.10] ・図示 ・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強　※行う　・行わない)
	④ 木下地等 (AP-1、2)	木材の品質　図示 [6.5.2][表6.5.1] ※改修標準仕様書6.5.2による　・市販品 代用樹種　※改修標仕6.5.4による [6.5.2][表6.5.2] ・代用樹種を適用しない箇所(　　) 保存処理木材を適用する箇所(　　)

⑤ 集成材等 G (額縁等) [6.5.2]

品名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・米栂　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	・1種 ※2種 ・3種	・	
・造作用集成材	※1等 ・2等	・タモ	
・化粧ばり造作用集成材	※1等 ・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

⑥ 接着剤 [6.5.3]
※F☆☆☆☆
・非ホルムアルデヒド系接着剤

7 防腐、防蟻処理　行う箇所(　　) [6.5.5]
防腐処理　※行う(※図示　　)
防蟻処理　・行う(※図示　　)
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。

8 床板張り　フローリング及び繊甲板張り床 [6.5.8][6.11.2][表6.5.8]

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合　板	t12mm
		・パーティクルボード	t15mm
床板	※単層フローリング(共仕19.5.2による)	ホルムアルデヒドの放散量	※F☆☆☆☆　・
	・繊甲板	※ひのき	

※フクビ　フリーフロアCP-F同等品

9 軽量鉄骨天井下地　野縁等の種類 [6.6.2]［表6.6.1～2］
屋外(・19形 ※25形)　屋内(※19形 ・25形　※角スタッド工法 65形)
既存の埋込みインサート　・使用する ※使用しない [6.6.4]
あと施工アンカーの確認試験　・行う ※行わない

10 軽量鉄骨壁下地　スタッドの高さが5mを超える場合　※図示 [6.7.3]［表6.7.1］

11 ビニル床シート張り [6.8.2]

種類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)
※発砲層のないもの	※NC ・	※無地 ・マーブル柄	※2.5
・発砲層のあるもの		※柄物 ・無地	
・防滑性ビニル床シート	・NF ・NC	・柄物 ・無地	・2.5
・防汚性ビニルシート			・2.0

工法　※熱溶接工法 ・突付け(施工箇所:　　) [6.8.3]
・防汚性ビニルシート：下記同等品とする。
ロンシール工業㈱ヤニタリウム　t=2.0
タキロンシーアイ㈱ネオクリーン　t=2.0
東リ㈱消臭ＮＳトワレＮＷ　t=2.0
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

12 ビニル床タイル張り [6.8.2]

種類	JISの記号	厚さ(mm)	備考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS		
・ホモジニアスビニル床タイル	HT		

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

13 帯電防止床タイル張り [6.8.2]

種類	厚さ(mm)	性能
※コンポジションビニル床タイル	※2 ・	体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	1.0×10⁷Ω以下、または、
		漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
		1.0×10⁷Ω未満

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

14 視覚障害者用床タイル(誘導用及び注意喚起用床材)　ブロックパターンはJIS T 9251による [6.8.2]
色彩は黄色を原則とする。
屋内　※塩化ビニル製　・磁器又は石器質タイル(※300 ・　　)
・レンジコンクリート製
屋外　※レンジコンクリート製　・磁器又は石器質タイル(※300 ・　　)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

15 ビニル幅木　高さ (mm)　・60　・75　・100 [6.8.2]
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

章	項目	特記事項
	16 合成樹脂塗床	[6.10.2～3][表6.10.1～8]

種類	仕上の種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ工法(※平滑 ・防滑) ・厚膜流しのべ工法(※平滑 ・防滑) ・樹脂モルタル工法(※平滑 ・防滑) ・薄膜型塗床工法(※平滑)

ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970　※F☆☆☆☆　・

17 フローリング張り [6.11.2～7][表6.11.1～6]

種別	材種	工法	仕上塗装等	備考
・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品	
・大型積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
・単層フローリング	・ブナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
	・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品	
・フローリングブロック	・ブナ	・直張り	※塗装品	

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

18 畳敷き [6.12.2～3][表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
改修標仕 表6.5.10による床組	※B種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種　・

19 ポリスチレンフォーム床下地材　畳下地　厚さ(mm)　※40 ・65 ・80
フローリング類　厚さ(mm)　※80 ・95

20 カーペット敷き　・織じゅうたん [6.9.2～3][表6.9.1～2]

種別	パイル糸の種類	帯電性	色柄等	備考
・A種	・そ毛糸	人体帯電圧	※無地	
・B種	・紡毛糸	※3kV以下	・柄物(標準品)	
・C種	・紡毛糸			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タフテッドカーペット(JIS L 4405) [6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	パイル長(mm)	工法	備考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法	
	※4～6　・	・グリッパー工法	
・レベルループパイル	※4　・		
・カット、ループ併用			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タイルカーペット [6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	種類	規格	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※第一種	※500×500	※6.5	
	・第二種			
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下(フリーアクセスフロア新設範囲)

21 石膏ボードその他のボード張り [6.13.2][表6.13.1]

種類	厚さ(mm)　規格
・硬質木毛セメント板 G	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板 G	・15　・20　・25　・
・ケイ酸カルシウム板	タイプ2(無石綿)　(・6　・8　・　)
・ロックウール化粧吸音板	※フラットタイプ (※9(不燃)　・12　・　) ・凸凹タイプ (※12(不燃)　・15　・19　・　)
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)	※フラットタイプ9(不燃) ・凸凹タイプ(※12 ・15)(不燃)
・せっこうボード	・12.5(不燃)・9.5(準不燃)
・不燃積層せっこうボード	9.5(不燃)・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)
・シージングせっこうボード	・12.5(不燃)・9.5(不燃)
・強化せっこうボード	・12.5(不燃)・21.0(不燃)
・せっこうラスボード	・9.5　・12.5
・化粧せっこうボード	・9.5(準不燃)
・化粧せっこうボード(木目)	・12.5(不燃)幅440mm程度 模様(※柾目　・板目)専用下地材付き
・難燃合板 G	・生地、透明塗料塗り(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗り(ラワン合板程度)厚さ・12
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による　厚さ ・4.0
・ミディアムデンシティファイバーボード G	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード G	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボーイ(素地) G ※規制対象外　・第三種	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・研磨板　(・スタンダード　・テンパード)
・インシュレーションボード G	A級(・天井仕上　・内装仕上　・　) ・9　・12　・15　・18　・
・フレキシブル板	厚さ　・5.0
・(有孔)シナ合板	厚さ　・5.0

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
・適用する　※適用しない

22 吸音材 [表6.13.1]

種類	規格番号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	JIS A 6301	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	JIS A 6301	※25　・

23 壁紙張り(掲示用クロス) [6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維(織物)	プラ(ビニル)	その他(化学繊維)	紙	防火性能	備考
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	

下地調整 [6.14.3][表7.2.4][表7.2.7]
モルタル、プラスター面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
せっこうボード面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　F☆☆☆☆ [6.14.2]
サンゲツ・リリカラー製品同等品とする。

章	項目	特記事項
	24 モルタル塗り	吸水調整材 [6.15.3]

全面形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/mm²)	界面破断率(%)
表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)
防水剤の種類　建築用モルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント質量の5%	JIS R 5201の試験において	70%以上	95%以上	80%以上
以下	始発　1時間以上			
	終結　10時間以内			

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。
既製目地材　※適用しない　・適用する

25 タイル張り　タイルの種類 [6.16.3]

施工箇所	形状寸法	きじ 磁器	きじ 石器	きじ 陶器	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 有り	役物 無し	色 標準	色 特注	再生材の適用 G	備考

役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う(※外装タイル　・　　)
内装タイル　※内装タイル接着剤張り　JIS A 5548 有機系接着剤
接着剤のホルムアルデヒド　※F☆☆☆☆　・

26 セルフレベリング材塗り　セルフレベリング材の種類 [6.17.2][表6.17.1]

種類	フロー値(cm)	凝結時間 始発(分)	凝結時間 終結(時間)	圧縮強度(N/mm²)	下地接着強度(N/mm²)	表面接着強度(N/mm²)	長さ変化(%)	衝撃	備考
せっこう系	19以上	45以上	20以上	15以上	0.5以上	0.4以上	0.05以下	割れ及び剥がれないこと	
セメント系				20以上	0.7以上	0.5以上	0.12以下		

試験方法：日本建築学会品質規準JASS 15 M-103による。

27 断熱材 (19.9.2～3)

種類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	※25 ・100	特定フロンを使用しないもの
	※3種b (スキン層付)	・接地部分	※25	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	——	特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級　・2級
		・一般部	※25	

JIS A 9521に基づく発砲プラスチック
断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。

28 浴室天井材　市販品

材質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	・準不燃品	※200	廻縁は縞付きとし製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	・塗装品 ・木目調		※300 ・100	

29 フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	構法	仕上り高(mm)	適用地震時 水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は各内装工事による。
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付対応　※製造所の標準仕様　(コンセント本体は別途設備工事)
コンセントの箇所数は図示
配線用取出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1箇所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り(※固定式　・可変式　・施工箇所は図示)

30 可動間仕切 (20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式		※鋼板	※メラミン樹脂又は	・有り	・有り
・スタッドパネル式		(※0.6 ・0.8)	アクリル樹脂焼付	(　)	・無し
・パネル式		・		・無し	

遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

31 移動間仕切 (20.2.4)

遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ (36db以上)		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は「23壁紙張り」による。

32 トイレブース　表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板 t40(アルミ製コーナーエッジ付き　指詰め防止) (20.2.5)
※紙巻器設置位置については下地補強を行うこと。
・特殊UV塗装硬質セメント板(標準色　アルミ製コーナーエッジ(ステンカラー)付き)
笠　木　※アルミ製　・ステンレス製
足形状　※幅木タイプ(ステンレス製)　・足金物タイプ
※防水型(ステンレス巻き)

33 階段滑り止め　材　種　ステンレスSUS304 (20.2.6)
形　状　ピールタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り(・ステンレス製　※ビニル製)　・無し
幅(mm)　約35
取付工法　※接着工法　・埋込工法

34 手すり

種別	施工箇所
※笠木受け：アルミ押出形材 笠木：半硬質創傷被製樹脂 二層成形φ40mm	スロープ
・樹脂被覆Φ34	

35 黒板及びホワイトボード (20.2.8)

種類		寸法(mm)	色彩	備考
・黒板	※焼付		※緑　・黒	・平面　※曲面
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面

章	項目	特記事項
	36 表示	衝突防止表示　・図示(市販品　・ステンレス製　径約30mm　・　　) (20.2.10) (　・両面　・片面　) ・無し 表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。 製造所　監督職員の承諾する製造所。
	37 ブラインド	・既存再使用する(養生方法:　　) [2.3.1][5.1.6] ・新設する (20.2.12)

形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横形	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
・縦形	・1本操作コード	・アルミスラット	・80
	※2本操作コード	・クロススラット	・100

38 ロールスクリーン　防炎性能　※有り
製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する (20.2.13)

施工箇所	装置 電動	装置 手引	性能 防炎性能	備考

39 カーテン(暗幕、緞帳等)　・既存再使用する(養生方法：取外し再取付) [2.3.1][5.1.6]
・新設する (20.2.14)

施工箇所	形式 片引	形式 引分	装置 電動	装置 ひも引	装置 手引	ひだの種類	性能	備考

40 カーテンレール　・既存再使用する [5.1.6]
・新設する (20.2.14)
材　種　JIS A 4802 ・アルミニウム製　※ステンレス製
形　式　・片引き　・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)

41 カーテンボックス及びブラインドボックス　※既存再使用する。 [5.1.6]
・新設する。
・市販品(アルミニウム製)
溝幅×深さ(mm)　・90×150　※120×150　・150×80　・
色　彩　※B-1　・B-2(※ブラウン　・ブラック　・ステンレスカラー)
※図示

41 天井点検口　材　質　※アルミニウム製(※額縁タイプ　・目地タイプ)　・既存取外し、再取付

42 床点検口　材　質　・アルミニウム製(受け枠　※アルミ製　・ステンレス製)
・ステンレス製(受け枠　・ステンレス製(防水、防臭型))

43 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	耐荷重による種類

44 流し台ユニット

種類	寸法(L=　mm)	適用内容	規格・品質等
・流し台	・900　・1200　・1500	・トラップ付き	
・コンロ台	・600　・700	・バックガード　・有り	
・吊り戸棚	・1200　・900　・600		
・水切り棚	・1200　・900	・トラップ付き	
・作業台	・900　・1200　・1500		

45 屋内掲示板　枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発砲シート張り　・

46 ライニング天板　材　種　・メラミン樹脂化粧板張り(芯材：集成材)　・人工大理石
奥行き(mm)　※図示

47 用具入れ　材質　メラミン樹脂系化粧板 (12.2.2)(19.7.2)
形状、寸法　※図示
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

49 室名札等　・突出し型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(　　箇所)
・平付け型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(　　箇所)
・ピクトサイン　材質：ｱﾙﾐ　ｱﾙﾏｲﾄｼﾙﾊﾞｰ、絵柄：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：200×200　(　7　箇所)
・階数表示　材質：ｽﾃﾝﾚｽ　ﾍｱﾗｲﾝ、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ150×150　(　　箇所)

50 鋼製床下地(体育館用)　部材規格　大引き、根太鋼：※JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板、亜鉛付着量Z12以上)
U字金具、支持台：※JIS G 3302SGHCと同等以上(亜鉛付着量Z12以上)
緩衝材：※JIS K 6385(A種防振ゴム)
※三洋工業㈱ スリーベース101タイプ同等品とする。

51 アルミ製移動階段　・セノー㈱　HE9724(アルミ合金製、アルマイト処理焼付塗装)同等品とする。

52 救助袋　・垂直式　○階用

工事名	松戸市立第一中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修工事特記仕様書-3		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	—
縮尺	No Scale	図面番号	A-03
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		

松戸市　街づくり部　建築保全課

章	項目	特記事項
7 塗装改修工事	①材料	塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。 [7.1.2～3] 屋内で使用する場合のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は監督職員と協議する。 [7.1.8]
	②下地調整	[7.2.2～7][表7.2.1～7]

下地面の種類	下地調整の種別	備考
木部	・RA種 ※RB種	新規面はRA種
鉄鋼面	・RA種 ※RB種	
亜鉛めっき鋼面	・RA種 ※RB種	
モルタル、プラスター面	・RA種 ※RB種	
コンクリート、ALC及び押出成形	・RA種 ※RB種	
セメント板面	・RA種 ※RB種	
せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種	

既存下地面等のひび割れ部補修 [表7.2.5～6]
※行う ・行わない
※錆止め JIS K 5674

3 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) [7.5.2][表7.5.1]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考
木部	・A種 ※B種	※B種	下塗りJASS 18 M-304
			中塗り及び上塗りJIS K 5516
鉄鋼面	・A種 ※B種	※B種	穴埋め及びパテかいJASS 18 M-110
			中塗り及び上塗りJIS K 5516

④鉄鋼面耐候性塗料塗り(DP) [7.8.2～4][表7.8.1～3]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考
鉄面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5659
亜鉛めっき面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5659
コンクリート、押出成形セメント板面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5658

下塗りJASS 18 M-109

⑤つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) [7.9.2][表7.9.1]
新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
塗替えの種別 ・A種 ※B種
下塗りJIS K 5663 中塗り及び上塗りJIS K 5660

6 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) [7.10.2][表7.10.1]
新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

7 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T) [7.11.2][表7.11.1]
新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種別
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種
	・RC種	※C-3種
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種 ・B種
	・RC種	・C-1種 ・C-2種

下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

8 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) [7.11.2][表7.11.1]
・A種 ※B種
1液形JASS 18 M-301 2液形JASS 18 M-502

9 オイルステイン塗り(OS) [7.12.2]
ワトコオイル製品同等品とする。

10 木材保護塗料塗り(WP) [7.13.2][表7.13.1]
・A種 ※B種
JASS 18 M-307

11 ポリウレタン樹脂塗装(2-UC) フローリングブロック面の塗り種別 ・A種 ※B種

8 耐震改修工事		『耐震補強工事構造特記仕様書』による。

章	項目	特記事項
9 環境配慮(グリーン)改修工事	①一般事項	アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法 [9.1.3] ・封じ込め処理 ・囲い込み処理除去工法 ○除去工法 アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 ○図示 分析によるアスベスト(ｱｸﾁﾉﾗｲﾄ、ｱﾓｻｲﾄ、ｱﾝｿﾌｨﾗｲﾄ、ｸﾘｿﾀｲﾙ、ｸﾛﾝﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾚﾓﾗｲﾄ)含有の調査 ・行う(下表による) ○行わない

材料名	調査方法	1材料あたりの試料数
	・JIS A 1481による	※3

	2 アスベスト含有吹付材除去工事	吹付アスベストの施工数量調査を行う。 アスベスト粉塵濃度測定 ※行う 測定時期及び場所等については下表による。

測定時期	測定場所	測定点数(各処理作業室毎)	備考
処理作業前	処理作業室内	2又は3点	
	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通
処理作業中	処理作業室内	2点	
	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認
	負圧・除塵装置の排出口(処理作業室外の場合) 施工区画周辺又は敷地境界	1点 4方向各1点	除塵装置の性能確認
処理作業後	処理作業室内	2点	
(隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通

(注)処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。
処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。

建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署
本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

	3 アスベスト含有吹付材囲い込み工事	軽鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ(核スタッド工法 65形@300)とし、既存天井面には触れない。 関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課 ・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署 養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。 アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。 —内部測定点内訳— 〈1階： 点、2階： 点、3階： 点〉 詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。
	4 アスベスト成形板の処理工事	処理を行うアスベスト成形板の仕様等 ・仕上表による [9.1.5]

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲
石綿板	4	便所
人研ブロック	30	便所

施工調査
アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。
調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。
(1)アスベスト成形板使用部位の確認。
(2)アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。
(3)アスベスト成形板使用数量の確認。

	⑤アスベスト含有仕上塗材の除去	アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験的一部除去作業の方法 (1)試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は□500mm程度とする。 (2)試験的除去は剥離剤併用手工具ケレン工法にて実施。 アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法 ○部分除去 ・全面除去 アスベスト含有仕上塗材部分除去作業 (1)部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。 (2)建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。 なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。 (集塵機付きｻﾞｲｽｸｻﾝﾀﾞｰ工法同等とすること) (3)除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。 (4)アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任) 石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。 (5)廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任) (6)アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。 (7)関係官公署に届出を行う。 (大気汚染防止法→松戸市環境保全課 労働安全衛生法→柏労働基準監督署) (8)本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。
	6 外断熱改修工事	断熱材の種類 [9.2.2]

材料名		厚さ(mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム	
・硬質ウレタンフォーム	・フェノールフォーム	
・ロックウール	・グラスウール	

外装材の種類 [9.2.2]

防火性能

既存外壁仕上材の撤去 ・有り ・無し [9.2.3]
下地面の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様

通気層 ・有り(mm) ・なし [9.2.4]
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。
特記無き事項は、製造所の仕様による。

章	項目	特記事項
	7 ガラス改修工事	複層ガラスの厚さ 建具表による [5.14.2] 断熱性・日射遮蔽性による区分 ※U3-1 ・U3-2
	8 屋上緑化改修工事	特記事項は図示 [9.4.2]
	9 透水性アスファルト舗装改修工事	路盤材料 [9.5.4][表9.5.3] ※再生クラッシャラン(RC-40) ・クラッシャラン(C-40)又はクラッシャランスラグ(CS-40) 透水性の高いものを使用する。 遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.5.3] ・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 ・ 厚さは図示 ・凍上抑制層 ※再生クラッシャラン ・クラッシャラン 切込み砂利 ・砂 厚さは図示 盛土に用いる材料 [9.5.3][表9.5.1] ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 路床安定処理 ※添加材料による安定処理 [9.5.3][表9.5.2] 種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰( ) ・消石灰( ) 添加量 kg/㎥(目標CBR ※5以上 ・ 路床土の支持力比試験 ※行う(※乱した土 ・乱さない土) 路床締固め度の試験 ※行う アスファルト混合物 [9.5.6][表9.5.5] 車道部 ※改質アスファルトⅠ型 歩道部 ※ストレートアスファルト 透水性舗装 [9.5.9] アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う
	10 その他 1 舗装工事	歩行者用通路コンクリート版の厚さ ※70mm ・ (22.5.2)(表22.5.1)

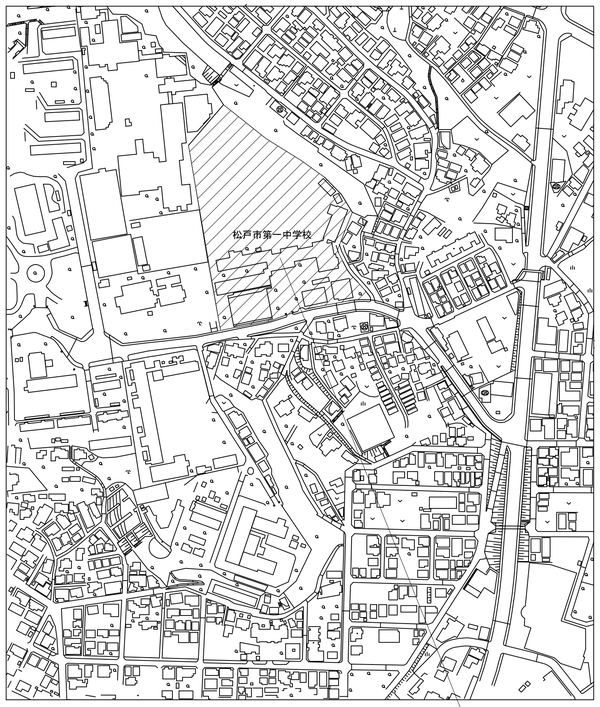
部位	設計基準強度(N/mm)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40 砕石の場合20又は25
歩行者用通路	18	8	砂利の場合25 砕石の場合20

砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1)
種別 ・A種 ・B種

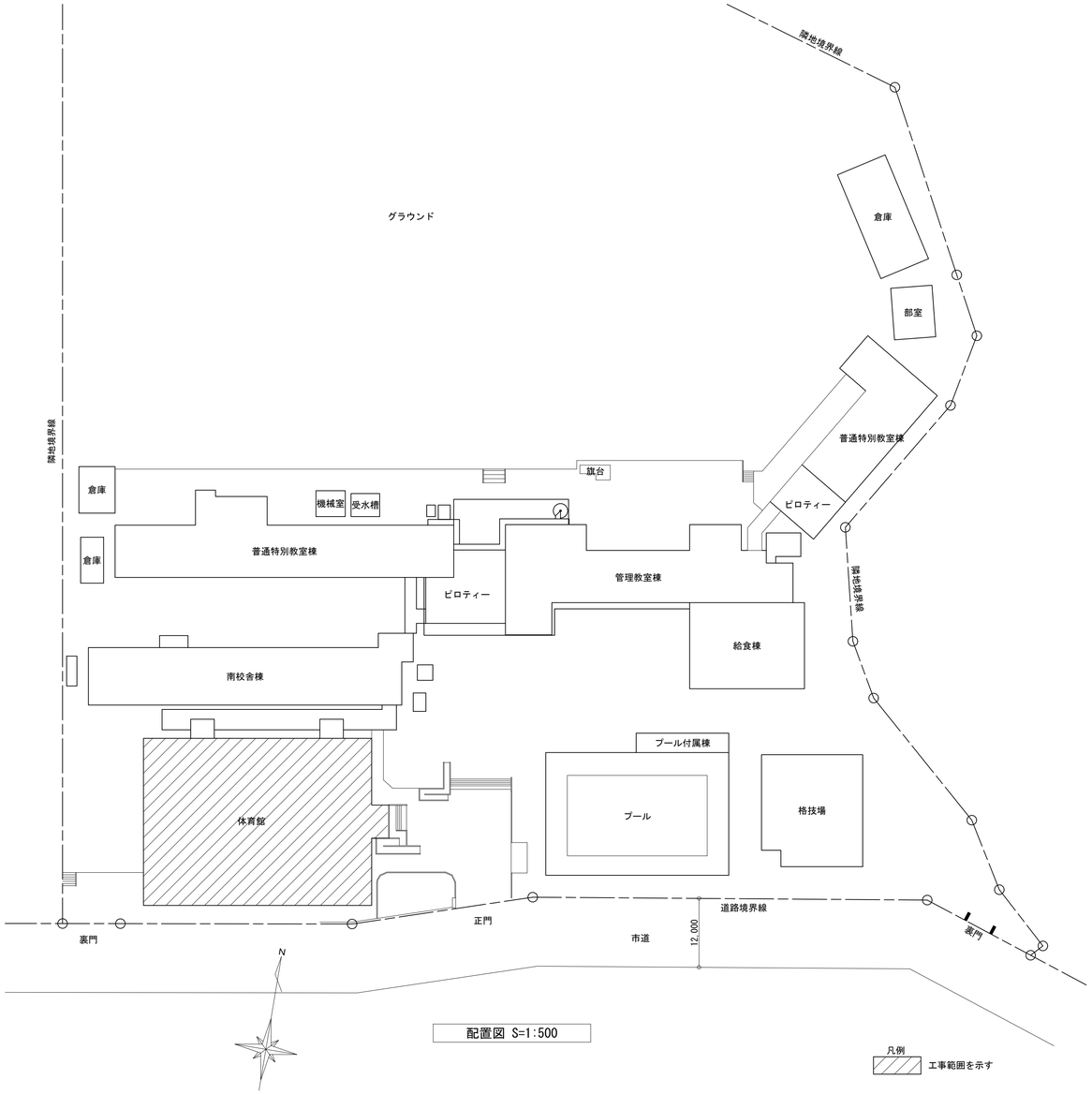
2 植栽工事 植樹 (22.3.2)

樹種	寸法	数量	備考

工事名	松戸市立第一中学校体育館空調設備設置建築工事
図面名	改修工事特記仕様書-4
作成年月日	令和7年2月10日
変更年月日	－
縮尺	No Scale
図面番号	A-04
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号
松戸市 街づくり部 建築保全課	



案内図 S=1:3000



配置図 S=1:500

外部仕上表

部位		仕上	備考
外壁	改修前	1F:コンクリート打放し、アクリルリシン吹付（アスベスト含有） 2F:カラー鋼板スパンドレル張（断熱材入）	一部撤去 既存のまま
	改修後	1F:下地補修の上、複層塗材E 2F:-	一部新設
出入口	改修前	床:モルタル金ゴテ	一部撤去
	改修後	床:モルタル金ゴテ	一部新設

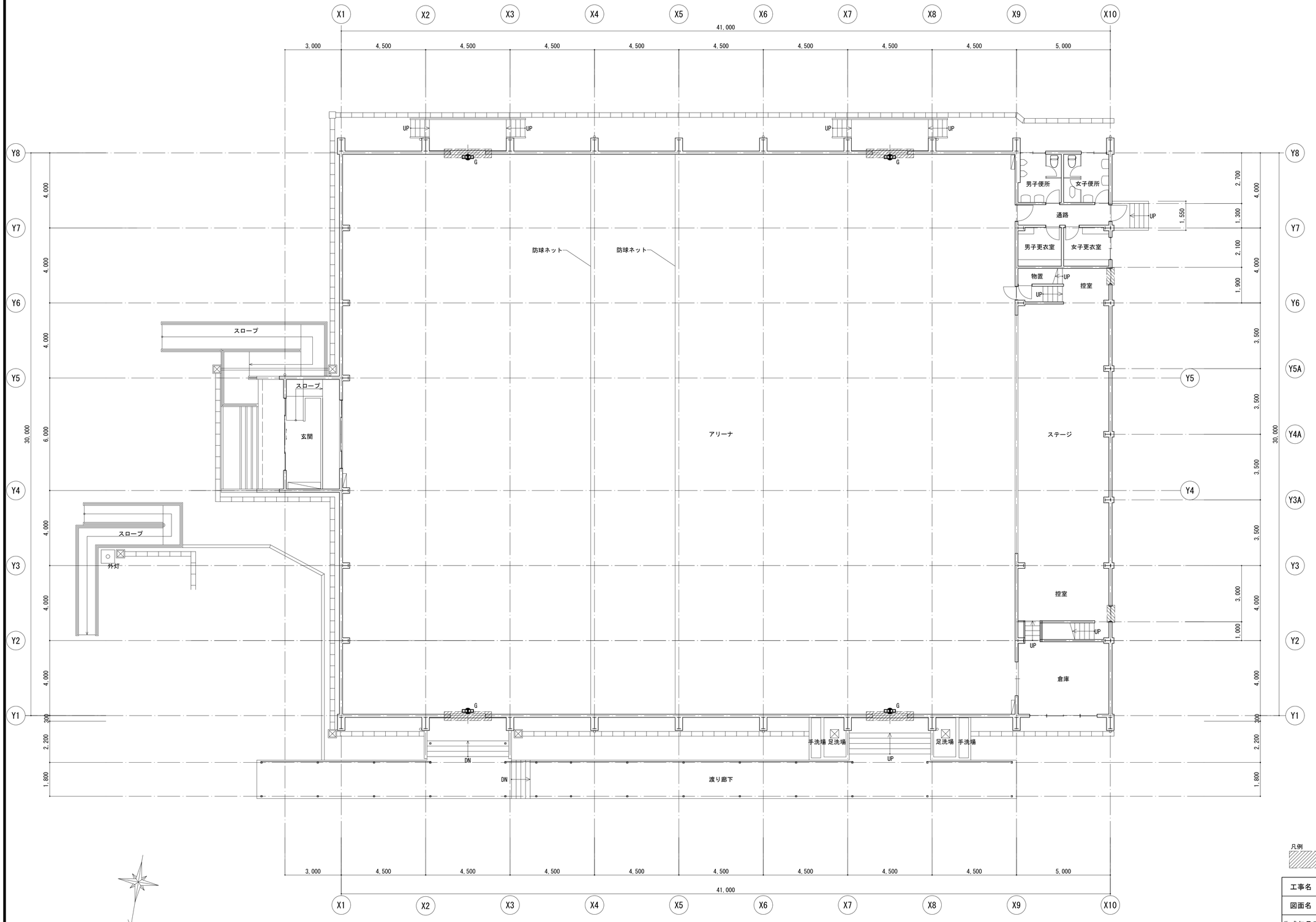
凡例、特記事項

	記号	塗料名		材料	認定番号		
塗料凡例	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント	内装材認定			特記事項	内装仕上材、屋根裏木毛セメント板は、全てF☆☆☆☆とする
	2-UC	ポリウレタン樹脂塗装					塗装材（塗料）は、全てF☆☆☆☆とする
	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り					建築材料は、全てアスベスト含有材でない材料を使用とする
	DP	鉄鋼面耐候性塗料塗り					
	複層塗材E	合成樹脂エマルジョン系複層仕上材					

内部仕上表

階	室 名		床	床高さ	改修内容範囲		巾 木	床高さ	改修内容範囲		壁(柱・梁型)	改修内容範囲		天 井	天井高さ	改修内容範囲	廻縁	備 考
1	アリーナ	改修前	大型積層フローリング、カバ t18（表面単板6mm造材）無塗装品 2-UC EXPゴム	±0	既存のまま 一部撤去	改修前	米桐 t=20 EP-G	＋150	一部撤去	改修前	2F :シナ有孔合板t=6目透張り EG-P 1F :ラワン竪羽目t=12張り EG-P	既存のまま 一部撤去	改修前	木毛マグネシウム板t=25、鉄骨表し部:SOP ギャラリー部:水性反応硬化形軒天用仕上塗材	直天	既存のまま 既存のまま	ラワン 30x55	ギャラリー床下天井部：アスベスト含有
		改修後	- EXPゴムt=20	±0	- 一部新設	改修後	米桐集成材H150 t=20 EP-G	＋150	一部新設	改修後	2F :- 1F :杉竪羽目t=12張り EG-P	新設	改修後	-			米桐集成材 30x55 EP-G	
2	ギャラリー	改修前	モルタル金ゴテ、樹脂系塗装床（ノンスリップ型）	±0	既存のまま	改修前	モルタル金ゴテ EP-G	＋150	既存のまま	改修前	壁 :シナ有孔合板t=6目透張り EP-G 腰壁:一部モルタル金ゴテ EP-G	既存のまま 既存のまま	改修前	アリーナに含む		既存のまま		
		改修後	-			改修後	-			改修後	-		改修後	-				

工事名	松戸市立第一中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図・仕上表		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:3000、1:500	図面番号	A-05
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



N

1. 特記なき記号は下記による。

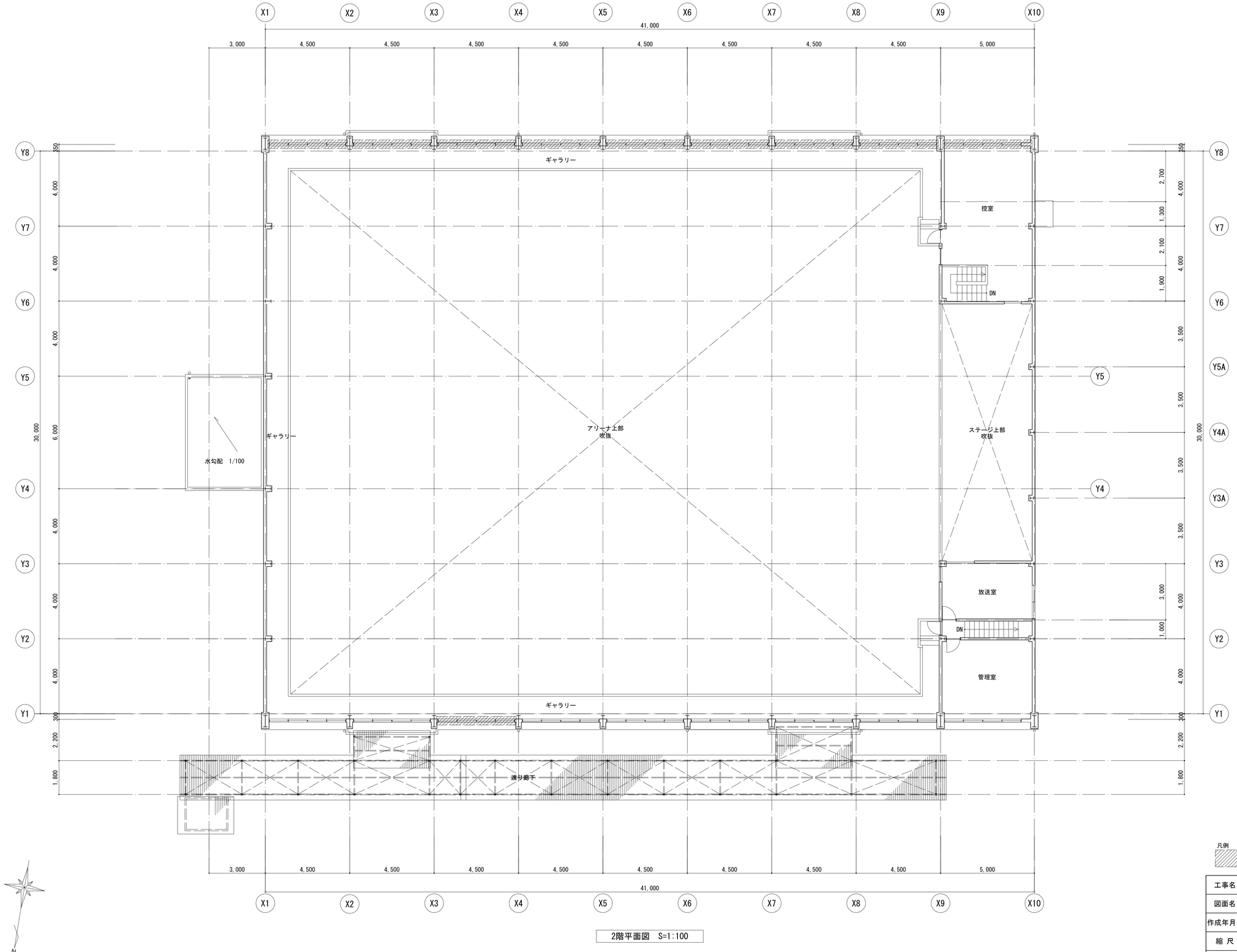
G　避難口誘導灯　C級　ｶﾞｰﾄﾞ付　（取外し・再取付建築工事）

1階平面図　S=1:100

凡例

改修範囲を示す

工事名	松戸市立第一中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	1階平面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1：100	図面番号	A-06
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



2階平面図 S=1:100

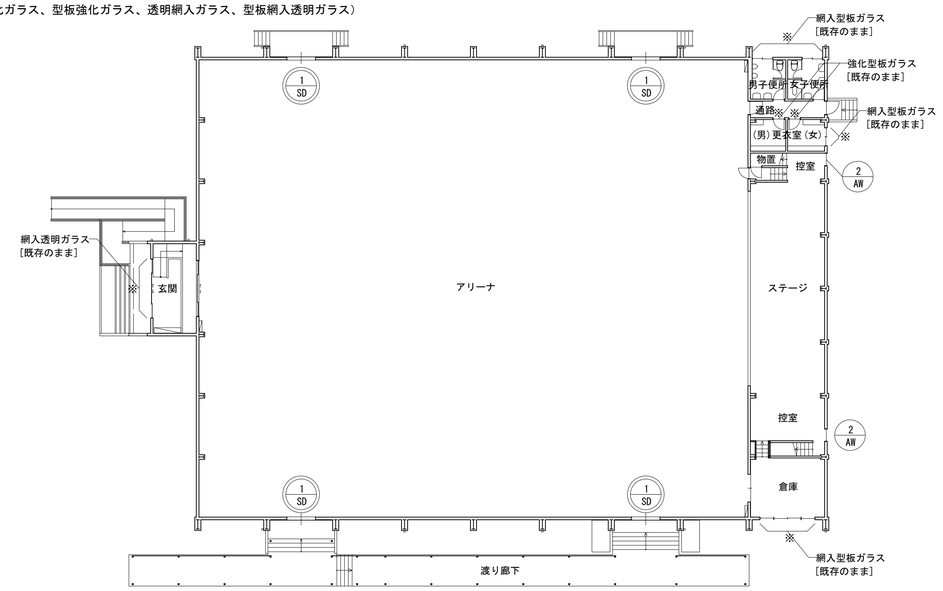
凡例

改修範囲を示す

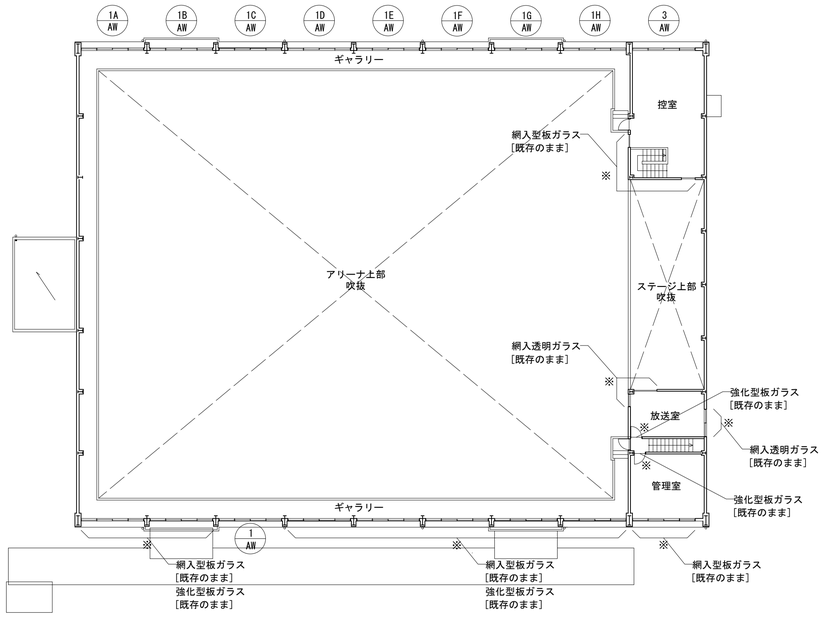
工事名	松戸市立第一中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	2階平面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:100	図面番号	A-07
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前

※印：当該部分のガラスについては、以下の２条件に該当する場合、フィルムは施工せず、既存のままとする。
①外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓、かつ、北側に面する窓
または、外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓以外の窓
②ガラス種類が以下のいずれか
（透明強化ガラス、型板強化ガラス、透明網入ガラス、型板網入透明ガラス）



1階キープラン　S=1:200

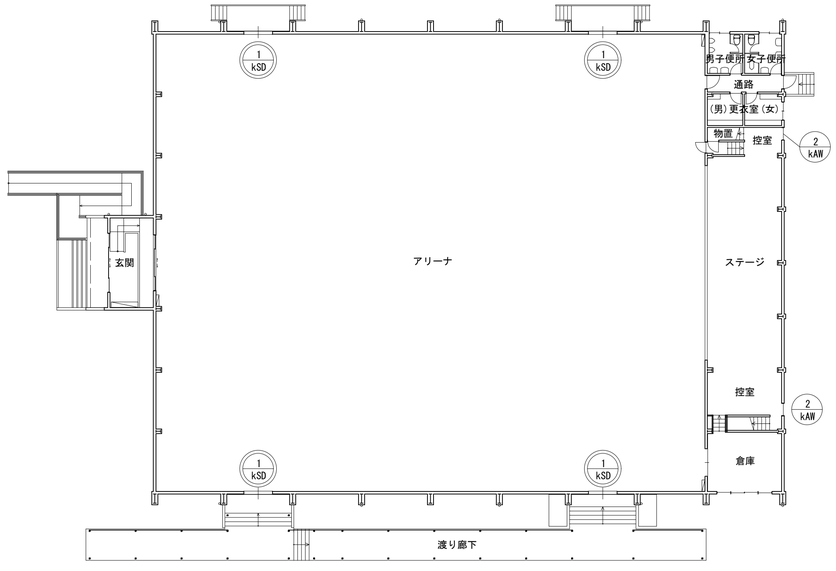


2階キープラン　S=1:200

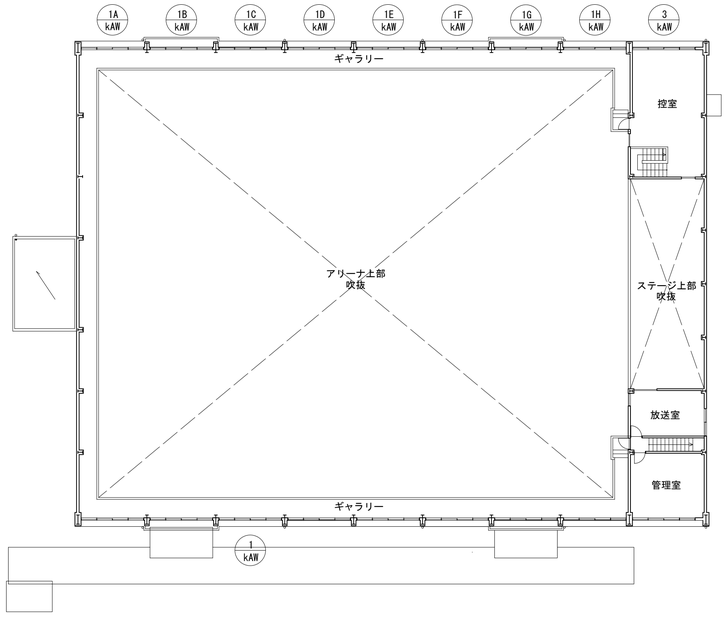
撤去建具を示す

既存建具を示す

改修後



1階キープラン　S=1:200



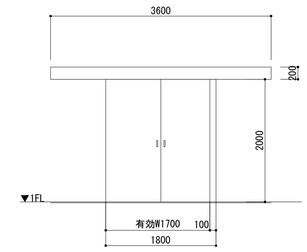
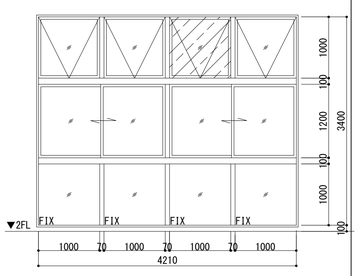
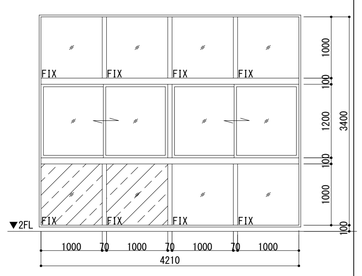
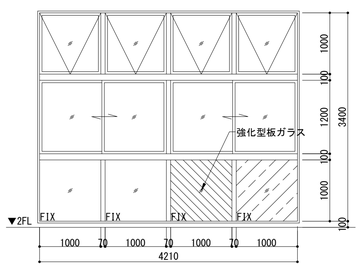
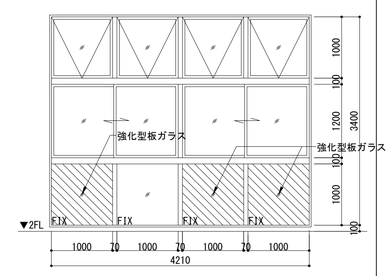
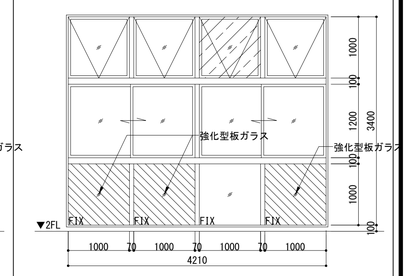
2階キープラン　S=1:200

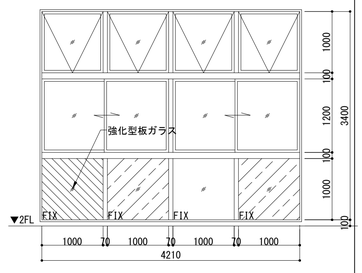
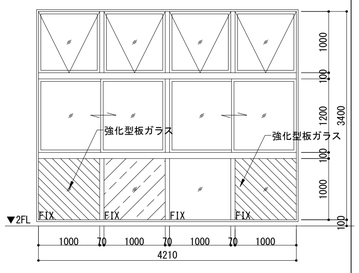
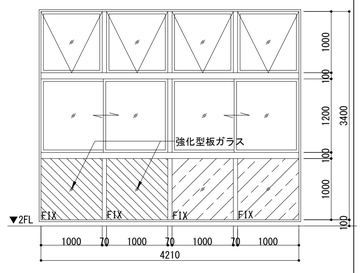
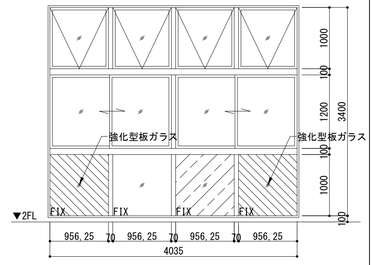
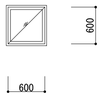
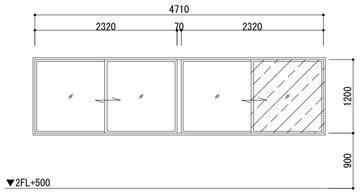
新設建具を示す

既存建具を示す

工事名	松戸市立第一中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修前・改修後 建具キープラン		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:200	図面番号	A-08
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

改修前

符号・数量	1 SD アリーナ　数量 4	1 AW ギャラリー　数量 1	1A AW ギャラリー　数量 1	1B AW ギャラリー　数量 1	1C AW ギャラリー　数量 1	1D AW ギャラリー　数量 1
姿　図						
形　式	鋼製両引きハンガードア	内倒排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	連窓引違い窓、欄間及び下部FIX窓（前方にブレース有）	内倒排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	内倒排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	内倒排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓
材質・仕上	焼付塗装　見込40	見込100　アルミ	見込100　アルミ	見込100　アルミ	見込100　アルミ	見込100　アルミ
硝　子		網入型板ガラスt=6.8	網入型板ガラスt=6.8	網入型板ガラスt=6.8　一部：強化型板ガラスt=5（姿図参照）	網入型板ガラスt=6.8　一部：強化型板ガラスt=5（姿図参照）	網入型板ガラスt=6.8　一部：強化型板ガラスt=5（姿図参照）
付属金物	ブラケット、ドアハンガー、戸車、大型船底引手、シリンダー錠、 付属金物一式、スチールアングル戸、鋼材t=1.6、枠廻りステンレスt=1.5	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
撤去内容	撤去(三方枠、沓摺、レール共)（部分詳細図参照）	網入型板ガラスt=6.8[撤去]	網入型板ガラスt=6.8[撤去]	網入型板ガラスt=6.8[撤去]		網入型板ガラスt=6.8[撤去]

符号・数量	1E AW ギャラリー　数量 1	1F AW ギャラリー　数量 1	1G AW ギャラリー　数量 1	1H AW ギャラリー　数量 1	2 AW 控室　数量 2	3 AW 控室　数量 1
姿　図						
形　式	内倒排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	内倒排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	内倒排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	内倒排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	スベリ出し窓	連窓引違い窓
材質・仕上	見込100　アルミ	見込100　アルミ	見込100　アルミ	見込100　アルミ	見込70　アルミ	見込70　アルミ
硝　子	網入型板ガラスt=6.8　一部：強化型板ガラスt=5（姿図参照）	網入型板ガラスt=6.8　一部：強化型板ガラスt=5（姿図参照）	網入型板ガラスt=6.8　一部：強化型板ガラスt=5（姿図参照）	網入型板ガラスt=6.8　一部：強化型板ガラスt=5（姿図参照）	網入型板ガラス　t=6.8	網入型板ガラス　t=6.8
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
撤去内容	網入型板ガラスt=6.8[撤去]	網入型板ガラスt=6.8[撤去]	網入型板ガラスt=6.8[撤去]	網入型板ガラスt=6.8[撤去]		網入型板ガラスt=6.8[撤去]

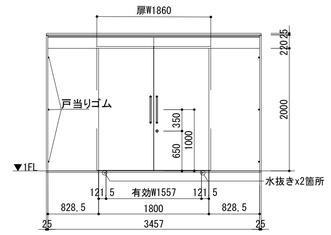
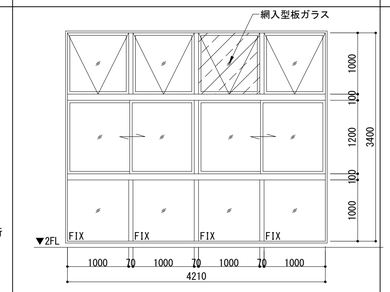
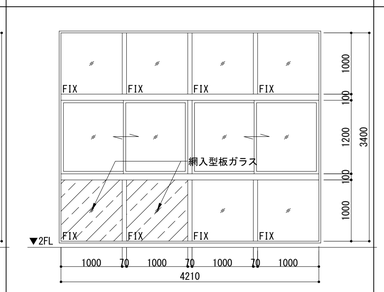
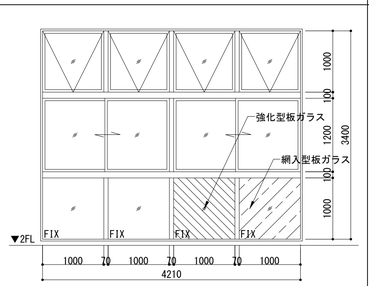
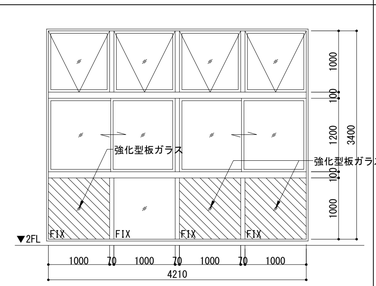
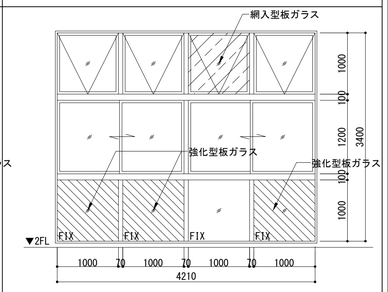
符号・数量						
姿　図						
形　式						
材質・仕上						
硝　子						
付属金物						
撤去内容						

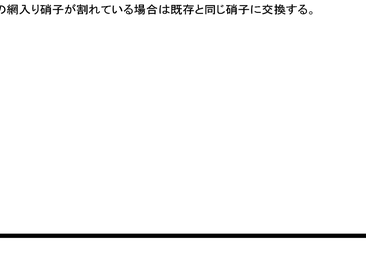
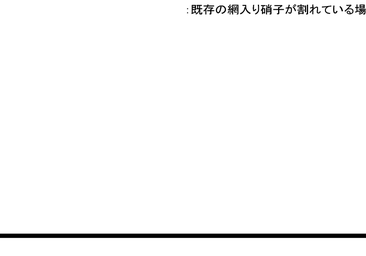
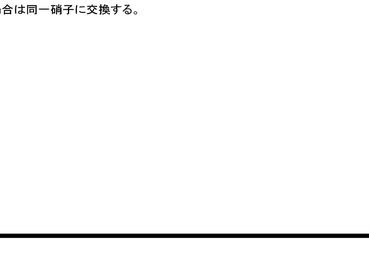
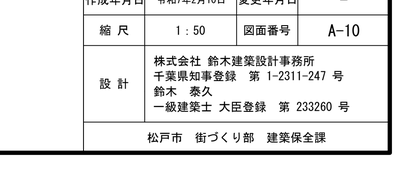
凡　例

- ガラス撤去範囲を示す（ひび割れガラス）
- 現況の強化型板ガラスの範囲を示す
- 撤去建具を示す
- 既存建具を示す

工事名	松戸市立第一中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修前 建具表		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:50	図面番号	A-09
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

改修後

符号・数量	1 kSD アリーナ　数量 4	1 kAW ギャラリー　数量 1	1A kAW ギャラリー　数量 1	1B kAW ギャラリー　数量 1	1C kAW ギャラリー　数量 1	1D kAW ギャラリー　数量 1
姿　図						
形　式	鋼製両引きハンガードア	内倒排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	連窓引違い窓、欄間及び下部FIX窓（前方にブレース有）	内倒排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	内倒排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	内倒排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓
材質・仕上	DP　枠見込285、戸見込40	見込100　アルミ	見込100　アルミ	見込100　アルミ	見込100　アルミ	見込100　アルミ
硝　子		網入型板ガラスt=6.8	網入型板ガラスt=6.8	網入型板ガラスt=6.8　一部：型板強化ガラスt=5（姿図参照）	網入型板ガラスt=6.8　一部：型板強化ガラスt=5（姿図参照）	網入型板ガラスt=6.8　一部：型板強化ガラスt=5（姿図参照）
付属金物	ドアハンドル、引戸錠、ガイドローラー、駆動装置、戸当りゴム、付属金物一式 スチールフラッシュ戸、鋼材t=1.6、枠廻りステンレスt=1.5	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
改修内容	新設（部分詳細図参照）	網入型板ガラスt=6.8[新設]	網入型板ガラス④フィルム張[新設](外貼)、網入型板ガラスt=6.8[新設]、	強化型板ガラス②フィルム張[新設](外貼)、網入型板ガラスt=6.8[新設] 網入型板ガラス④フィルム張[新設](外貼)	強化型板ガラス②フィルム張[新設](外貼) 網入型板ガラス④フィルム張[新設](外貼)	強化型板ガラス②フィルム張[新設](外貼)、網入型板ガラスt=6.8[新設] 網入型板ガラス④フィルム張[新設](外貼)

符号・数量	1E kAW ギャラリー　数量 1	1F kAW ギャラリー　数量 1	1G kAW ギャラリー　数量 1	1H kAW ギャラリー　数量 1	2 kAW 控室　数量 2	3 kAW 控室　数量 1
姿　図						
形　式	内倒排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	内倒排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	内倒排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	内倒排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	スベリ出し窓	連窓引違い窓
材質・仕上	見込100　アルミ	見込100　アルミ	見込100　アルミ	見込100　アルミ	見込70　アルミ	見込70　アルミ
硝　子	網入型板ガラスt=6.8　一部：型板強化ガラスt=5（姿図参照）	網入型板ガラスt=6.8　一部：型板強化ガラスt=5（姿図参照）	網入型板ガラスt=6.8　一部：型板強化ガラスt=5（姿図参照）	網入型板ガラスt=6.8　一部：型板強化ガラスt=5（姿図参照）	網入型板ガラス　t=6.8	網入型板ガラス　t=6.8
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
改修内容	強化型板ガラス②フィルム張[新設](外貼)、網入型板ガラスt=6.8[新設] 網入型板ガラス④フィルム張[新設](外貼)	強化型板ガラス②フィルム張[新設](外貼)、網入型板ガラスt=6.8[新設] 網入型板ガラス④フィルム張[新設](外貼)	強化型板ガラス②フィルム張[新設](外貼)、網入型板ガラスt=6.8[新設] 網入型板ガラス④フィルム張[新設](外貼)	強化型板ガラス②フィルム張[新設](外貼)、網入型板ガラスt=6.8[新設] 網入型板ガラス④フィルム張[新設](外貼)	網入型板ガラス④フィルム張[新設](外貼)	網入型板ガラス④フィルム張[新設](外貼)、網入型板ガラスt=6.8[新設]、

■遮熱・飛散防止フィルム貼り仕様一覧表（外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓）

既存硝子＼方角		東・西・南	北
透明硝子	内貼	① 遮熱フィルム 3M　NANO70S	⑤ 飛散防止フィルム ３M　SH2CLAR
型硝子	外貼	② 遮熱フィルム 3M　NANO70SX	⑥ 飛散防止フィルム ３M　SH2CLARX
強化透明硝子	内貼	① 遮熱フィルム 3M　NANO70S	既存のまま
● 強化型硝子	外貼	② 遮熱フィルム 3M　NANO70SX	既存のまま
網入り透明硝子	内貼	③ 遮熱フィルム 3M　NANO90S	既存のまま
● 網入り型硝子	外貼	④ 遮熱フィルム 3M　NANOMACRX	既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは3Mジャパン(株)同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、**北側の強化硝子・網入り硝子**に飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入り硝子が割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

■飛散フィルム貼り仕様一覧表
（外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓**以外の窓・・・放送室、器具庫、控室、便所など**）

既存硝子＼		全方角・内部
透明硝子	内貼	⑤ 飛散防止フィルム ３M　SH2CLAR
型硝子	外貼	⑥ 飛散防止フィルム ３M　SH2CLARX
強化透明硝子	—	既存のまま
強化型硝子	—	既存のまま
網入り透明硝子	—	既存のまま
網入り型硝子	—	既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは3Mジャパン(株)同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、**強化硝子・網入り硝子**に飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入り硝子が割れている場合は同一硝子に交換する。

凡　例

ガラス新設範囲を示す(網入型板ガラスt=6.8)
※ガラス留め、シーリング打替え、セッティングブロック等、副資材を含む

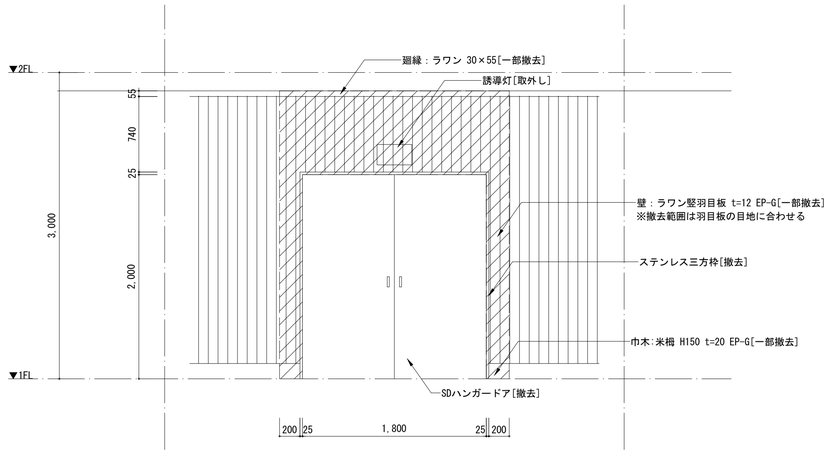
強化型板ガラスの範囲を示す

新設建具を示す

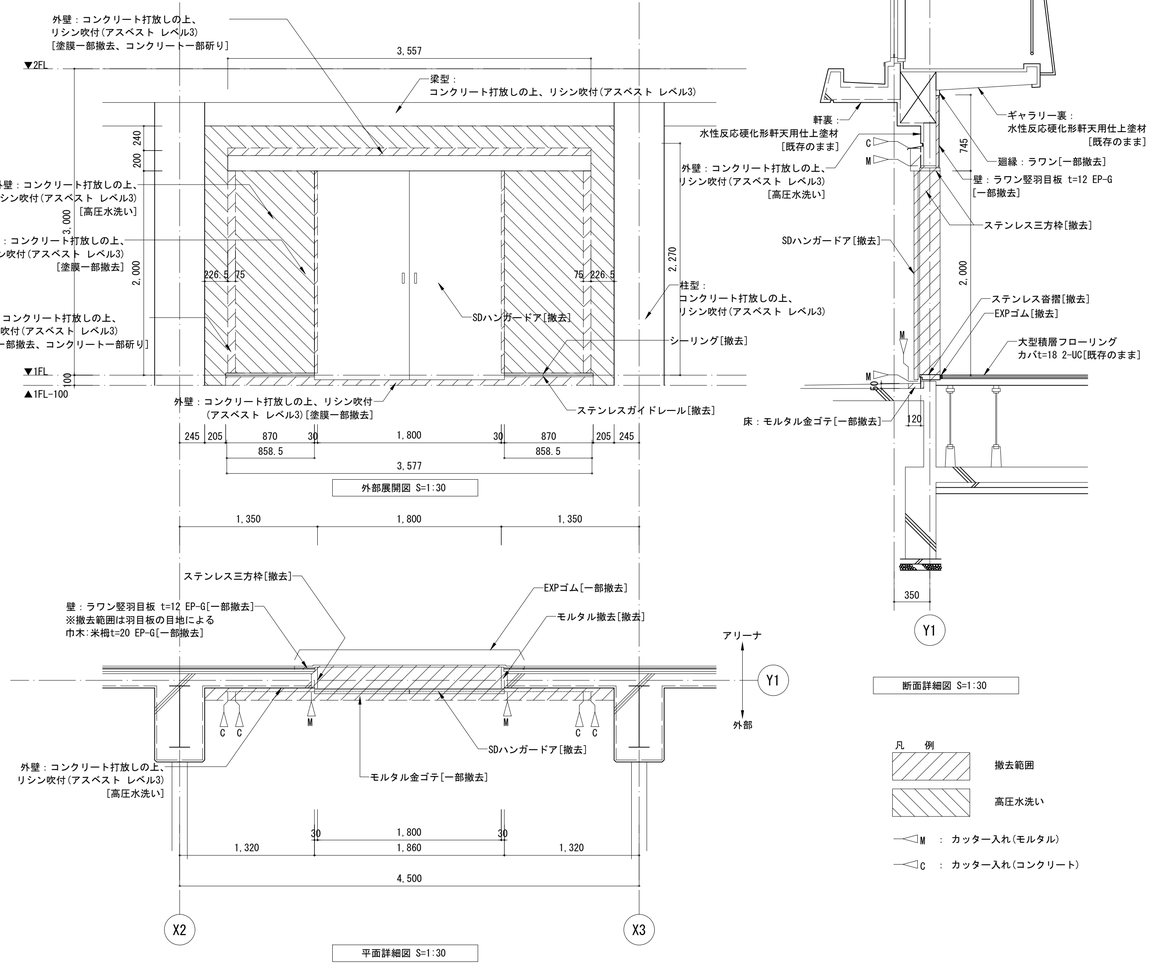
既存建具を示す

工事名	松戸市立第一中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修後 建具表		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	1：50	図面番号	A-10
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

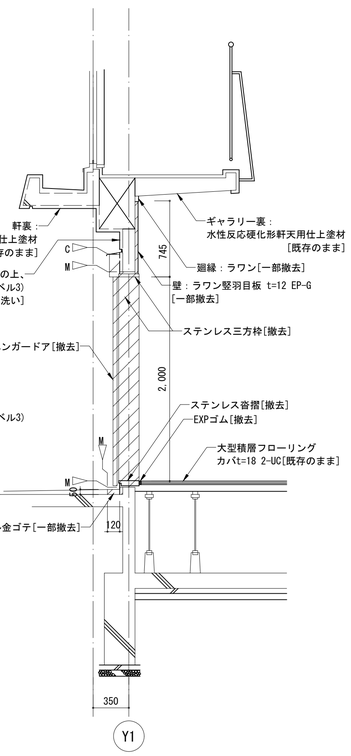
改修前



内部展開図 S=1:30



外部展開図 S=1:30



断面詳細図 S=1:30

平面詳細図 S=1:30

凡　例

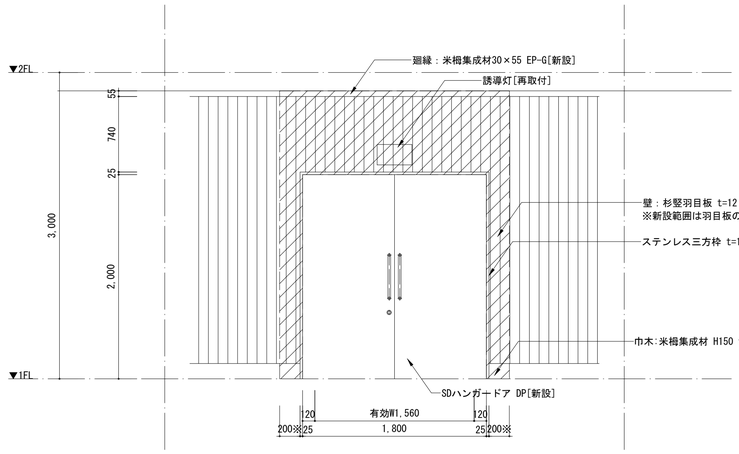
撤去範囲

高圧水洗い

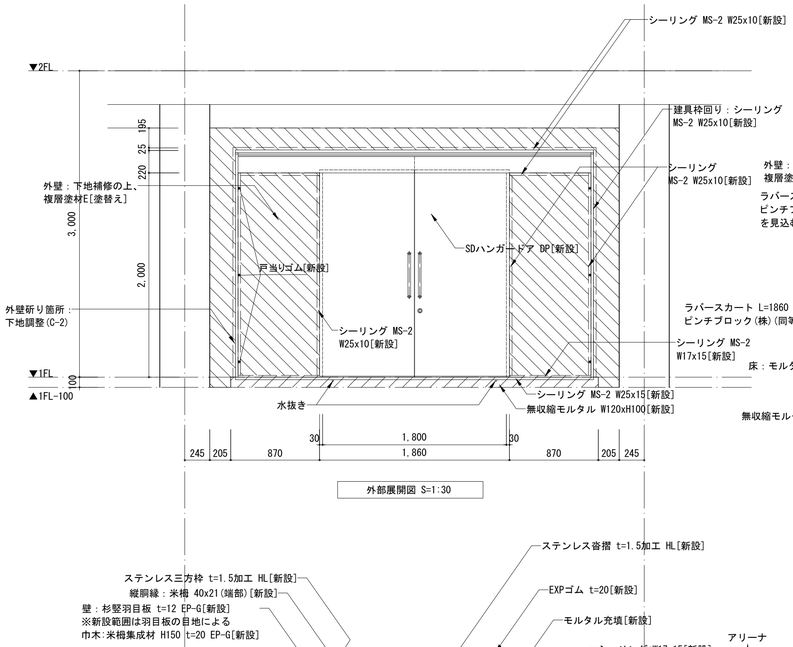
M　：　カッター入れ(モルタル)

C　：　カッター入れ(コンクリート)

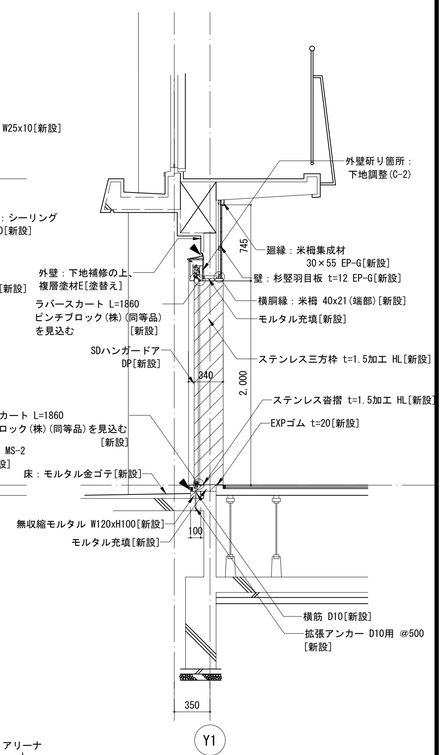
改修後



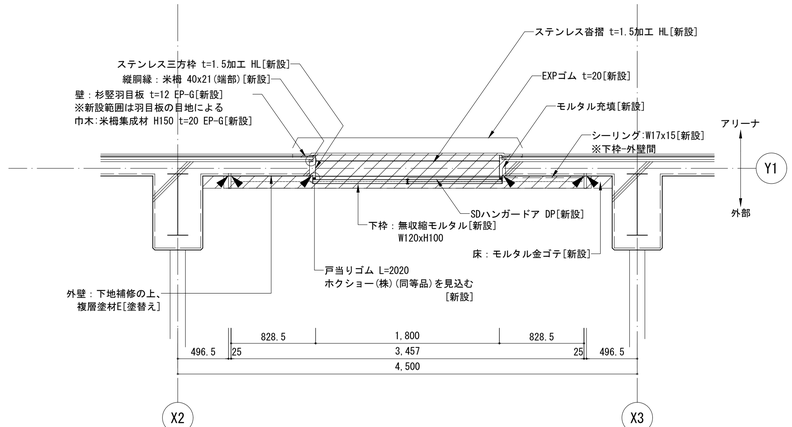
内部展開図 S=1:30



外部展開図 S=1:30



断面詳細図 S=1:30



平面詳細図 S=1:30

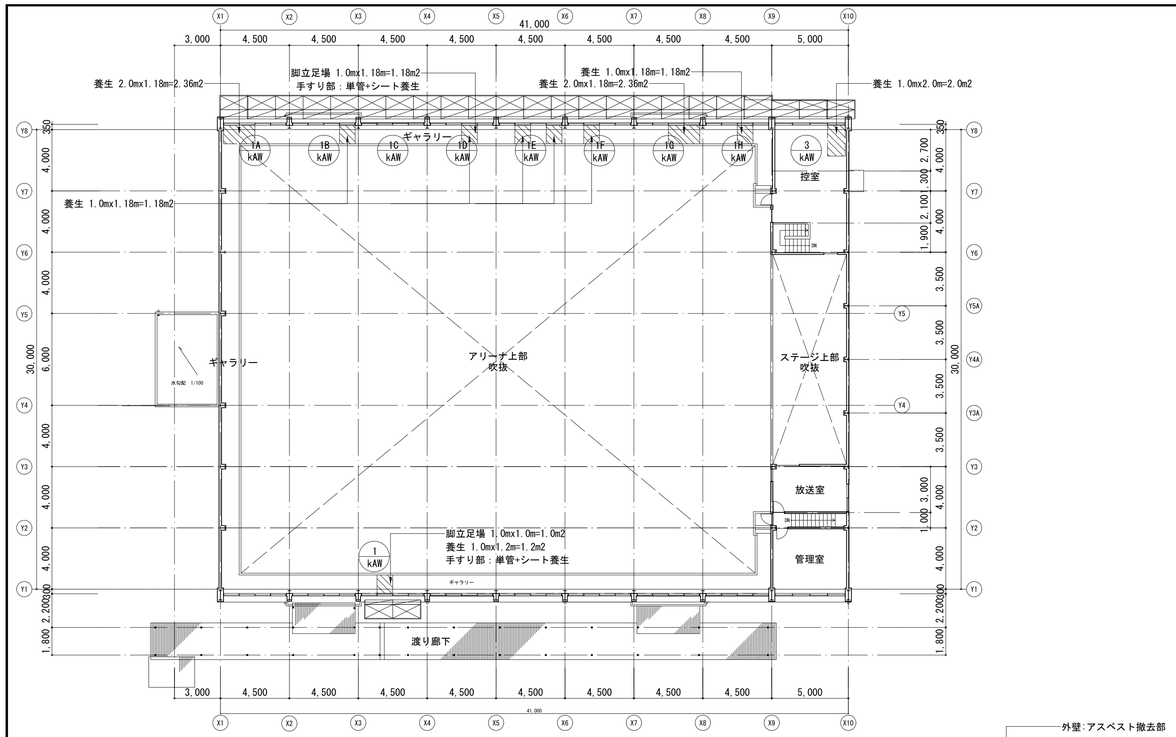
凡　例

新設範囲

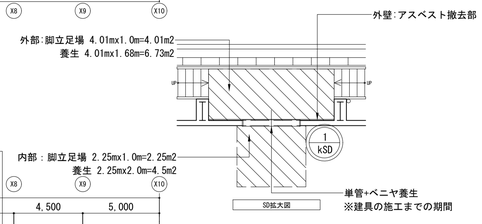
塗替え範囲

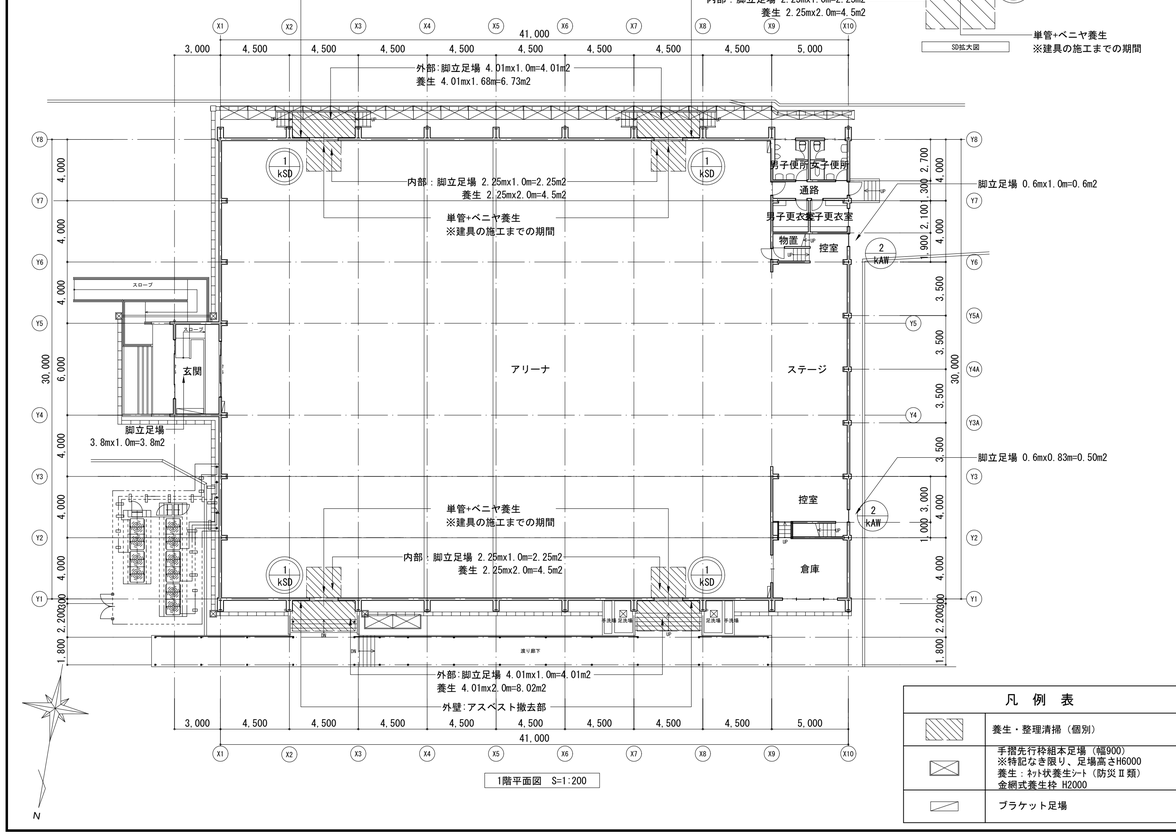
▶　：　シーリング（ＭＳ−２）

工事名	松戸市立第一中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	部分詳細図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	−
縮　尺	1：30	図面番号	A-11
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



2階平面図 S=1:200

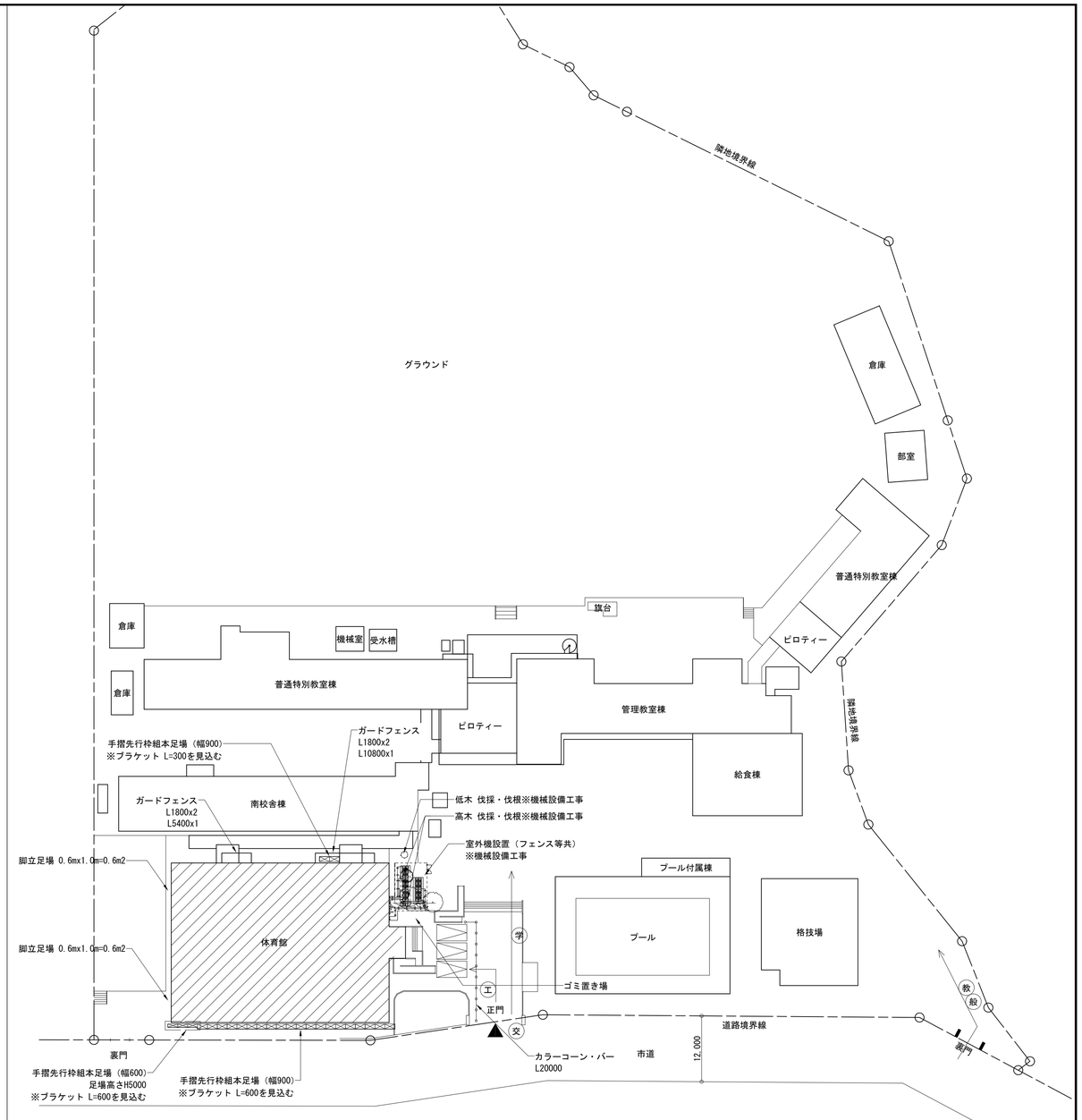




1階平面図 S=1:200

N

凡 例 表	
	養生・整理清掃（個別）
	手摺先行枠組本足場（幅900） ※特記なき限り、足場高さH6000 養生：ネット状養生シート(防災Ⅱ類) 金網式養生枠 H2000
	ブラケット足場



配置図 S=1:500

N

凡 例 表	
	手摺先行枠組本足場（幅900） ※特記なき限り、足場高さH6000 養生：ネット状養生シート(防災Ⅱ類) 金網式養生枠 H2000
▼	作業員出入口
交	交通誘導員
学	生徒・学校関係者を示す
教	教員車両を示す
般	一般車両を示す
エ	工事車両を示す
—— ——	ガードフェンス H1800
——○——	カラーコーン・バー

凡例
工事範囲を示す

＜全体仮設計画＞

1. 学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・バー）を設置する
2. 足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
3. 工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900x600程度を公衆の見やすい場所に設置
4. 工事に使用する重機は、低振動タイプのものとし低速走行にて振動を抑えるものとする
5. 工事に使用する搬重機（クレー車等）は、安全上十分なものを使用すること
6. 登下校時の車両の出入りはしないこと

＜特記事項＞

・本図面は参考図として工事を行う際に、必要な仮設を検討し、請負者負担で設置すること。
・仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。

工事名	松戸市立第一中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計画図（案）		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1：200、1：500	図面番号	A-12
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

松戸市立第二中学校体育館空調設備設置建築工事

図面リスト	
意匠図	
図面番号	図面名称
A-00	表紙・図面リスト
A-01	改修工事特記仕様書-1
A-02	改修工事特記仕様書-2
A-03	改修工事特記仕様書-3
A-04	改修工事特記仕様書-4
A-05	案内図・配置図・仕上表
A-06	１階平面図
A-07	２階平面図
A-08	３階平面図
A-09	改修前・改修後 建具表キープラン
A-10	改修前・改修後 建具表
A-11	内部仮設計画図（案）
A-12	外部仮設計画図（案）

工事名	松戸市立第二中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	No Scale	図面番号	A-00
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

松戸市立第二中学校体育館空調設備設置建築工事

令和　7年　2月

仕　様　書

Ⅰ　工事概要

1. 工事場所　　松戸市小山６８５番地

2. 敷地面積　　15,751㎡

3. 改修建物概要

用　　途	中学校（体育館）
構　　造	RC造
階　　数	地上３階
延べ面積	1,066㎡（アリーナ）

4. 工事内容

工事種目	工事範囲
2　仮設工事	足場設置・資材置場
3　防水改修工事	–
4　外壁改修工事	–
5　建具改修工事	ガラス改修工事（フィルム張を含む）
6　内装改修工事	–
7　塗装改修工事	–
9　環境配慮改修工事	–
10　その他	–

Ⅱ建築工事仕様

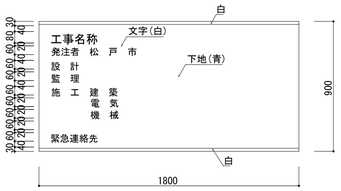
1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されれいない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「改修標仕」という。）及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下「標仕」という）による。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に◯印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、・印の付いたものを適用する。
　・印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
　・印と※印の付いた場合は共に適用する。
(3) 特記事項に記載の［　　］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(5) G 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。

松戸市建築工事現場表示板仕様



(1)材料
1) 耐水合板（ラワン厚み12mm SOP仕上げ）
2) 枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。

(2)注意事項
1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	①運用基準等	・松戸市建築工事に関する提出書類 ・工事写真の撮り方 建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ・松戸市建築工事現場表示板仕様
	②工事実績情報サービス（CORINS）への登録	※ 適用する　［1.1.4］
	③施工計画書	・工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。　［1.2.2］ ・施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。 ・施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。 ・施工図等の内容を変更する必要が生じた場合は監督職員に報告する。
	4 電気保安技術者	・ 工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。　［1.3.3］
	⑤施工条件	※　現場説明書による　［1.3.5］
	⑥発生材の処理等	※ 現場説明書による　・場外搬出適正処理　［1.3.12］
	⑦材料の品質等	［1.4.2］ 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 (3)安定的な供給が可能であること。 (4)法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。 (5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（(社)公共建築協会 他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
	8 化学物質を放散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 2)保温材、衝撃材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 3)接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 5)1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFoo規格品
	⑨特別な材料の工法	様仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	10 技能士	［1.6.2］

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	・鉄筋施工（鉄筋組立作業）
コンクリート工事	・型枠施工
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築　・ALCパネル施工
防水工事	・アスファルト防水工事作業　・合成ゴム系シート防水工事作業
	・塗膜防水工事作業　・シーリング防水工事作業
石工事	・石材施工（石張り施工）
タイル工事	・タイル張り
木工事	・建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金（内外装板金作業）
金属工事	・内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）
左官工事	・左官
建具工事	・サッシ施工　・ガラス施工　・自動ドア施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工　・サッシ施工　・ガラス施工
塗装工事	・塗装（建築塗装作業）
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業　・ボード仕上げ工事作業
	・内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）・表装（壁装作業）
植栽工事	・造園

	11 化学物質の濃度測定	［1.6.9］ 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定　・行う 測定対象室　・－ 測定箇所数　・－
	⑫完成図等	※作成する　・作成しない　［1.8.1～3］［表1.8.1］ ※完成図　ＣＡＤデータ

章	項　目	特　記　事　項
	13 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。 分類・規格 / 撮影箇所数 外観（　）内観（　） / 撮影部数 ※1　・6 / 原版の大きさ(㎜) ※100×125以上　・ ・カラー　※キャピキ版　・べた焼き　・（他に外観正面1カットのみ5枚（カラーキャピキ版）提出） ※カラー半切木製パネル 324×400(㎜) 外観（　）内観（　） ※2 ・電子データ 外観（　）内観（　） ※2 ※200万画素以上 ※300dpi以上 100×125以上の原版を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。 電子データはRGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。）
	⑭設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	15 設計GL	※図示　・設計GL＝現状GL
	⑯工事写真	※着工前、完成写真2部　工事工程写真1部
	⑰ワンデーレスポンスの実施	ワンデーレスポンスの取り組みについて 1. この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは 受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程 3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。 4. 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。
	⑱火災保険等	※火災保険等の証券等の写しを提出すること。
2 仮設工事	①足場その他	内部足場　種別　※脚立、足場板　・棚足場　［2.2.1］ 外部足場　手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。　［2.2.1］［表2.2.1］ 屋根工事及び小屋組みの建方工事における墜落事故防止対策はJIS A 8971に基づき設置すること。 材料、撤去材等の運搬方法　［2.2.1］［表2.2.1］ ・A1種　※B種　・C種　・D種　・E種 ・定置する足場、作業構台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。
	②養生	既存部分の養生　※ビニールシート　・合板　厚12　［2.3.1］ 既存家具等の養生　※ビニールシート　・ 固定家具等の養生　※行う　・行わない
	3 仮設間仕切り	仮設間仕切り等の種類　［2.3.1］［表2.3.1］ 種別 / 下地 / 仕上材（厚さ ㎜） / 充てん材 / 塗装 ・A種 / ※軽量鉄骨 / ・合板（※9.0 ・ラワン　） / ※無し ・B種 / ・木下地 / ※せっこうボード（※12.5 ・　） / 厚さ ㎜ / ・片面 ・C種 / ・単管下地 / 防炎シート ・仮設扉 / ※木製扉 / ※合板張り程度 / ※無し ・鋼製扉 / ※片面フラッシュ程度 / ・有り
	4 監督職員事務所	規模及び仕上げの程度は現場説明書による。　［2.4.1］
	⑤工事用水	構内既存の施設　・利用できない　※利用できる（※有償　・無償）　［2.4.1］ ※子メータを設置する。
	⑥工事電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）　［2.4.1］
	7 防音パネル	※アルミ製（解体作業期間）
	8 仮囲	・キャスターゲート　W= 3.0 m、H= 1.8 m、　箇所 ・キャスターゲート　W= 6.0 m、H= 1.8 m、1箇所
	9 仮囲い	・万能鋼板　H= 2.0 m、L=　m、　箇所 ※成型鋼板　H= 2.0 m、L=　m、　箇所　・図示 ・ガードフェンス　H= 1.8 m　箇所　・図示
	10 仮設道路	・砕石敷（厚さ　㎜　幅　㎜）L=　m （砕石は、再生クラッシャランを使用） ・鋼板敷（厚さ　㎜　幅　㎜　L=　m）　枚
3 防水改修工事	1 アスファルト防水	［3.3.2］［表3.1.1］［表3.3.3～10］

防水改修工法の種類		施工箇所	新規防水層の種別
保護防水	※P1B		・B-1　※B-2
	・P1B|　・T1B|		・B-1　※B-2
	・P2A|		・A-1　※A-2
	※P2A		・A-1　※A-2
露出防水	・M4C		・C-1　※C-2
	・M3D　・P0D		・D-1　※D-2
屋内防水	・P1E　・P2E		・E-1　※E-2 （保護層は図示による）

アスファルトの種類　※3種　・4種　［3.2.2］［3.3.2］
保護コンクリートのコンクリート種類　・普通コンクリート（18N/＊ S=18㎜）　［3.3.2］［8.11.1］
（溶接金網　径6㎜　100㎜×100㎜敷設）
P0D工法の二重ドレン　※設けない　・設ける　［3.2.5］
M3D、P0D工法の脱気装置　※設けない　・設ける　［3.3.3］
既存露出防水層表面の仕上げ塗装（M4C工法の場合）　・除去する　［3.2.6］
断熱工法の断熱材　厚さ（㎜）　※25　・　［3.3.2］
ただし、特定フロンを含まないもの。
立上り部の保護　［3.3.2］
・れんがの種類　※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形コンクリートブロックとする。
・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ15㎜

2 改質アスファルトシート防水　［3.4.2］［表3.1.1］［表3.4.1～3］

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	厚さ(㎜)
・M4AS工法		・AS-1　・AS-2　・AS-3	
・M3AS工法		・AS-4　・AS-5　・AS-6	
・P0AS工法			
・M3ASI工法		・ASI-1　・ASI-2	
・M4ASI工法			
・P0ASI工法			

脱気装置　※設けない　・設ける

章	項　目	特　記　事　項
	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	［3.5.2］［表3.1.1］［表3.5.1～3］

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料等	使用分類
・P0S工法		・S-F1　・S-M1	・カラー	※非歩行
・L3S工法		・S-F2　・S-M2	・シルバー	・軽歩行
・S3S工法				
・M4S工法		・S-M1　・S-M2		
・P0SI工法		・SI-F1　・SI-M1		
・L3SI工法	講堂屋根 階段室A下り屋根	・SI-F2　・SI-M2		
・S4SI工法		・SI-M3		

脱気装置　※設けない　・設ける　［3.5.3］
目地処理　PCコンクリート　［3.5.4］

4 塗膜防水　［3.6.2～4］［表3.1.1］［表3.6.1］

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別
・L4X工法	※図示	・X-1（絶縁工法）
・P0X工法		・X-2（密着工法）

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装（L4X工法の場合）　・活膜を残す　［3.2.6］
脱気装置　※設けない　・設ける　［3.6.3］

5 脱気装置　［3.3.2］［3.4.2］［3.5.2］［3.6.2］［表3.1.1］

種　類	材　質	設置数量
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂　・ABS樹脂 ・ステンレス　・鋳鉄	・約50㎡当たり1箇所
・立上り部脱気型	・合成ゴム　・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス　・銅	・（　　）㎡当たり1箇所

6 シーリング　［3.1.4］　［表3.1.2］
・シーリング改修工法の種類
・シーリング充填　・シーリング再充填工法　・シーリング打替え
・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法

シーリング材の種類、施工箇所　［3.7.2］　［表3.7.1］
※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類　（記号）
・打ち継ぎ目地、伸縮目地	・ポリウレタン系（PU-2）仕上げあり
・新設建具廻り、金属取合い	・変成シリコーン系（MS-2）仕上げなし
・ガラス廻り	・シリコーン系（SR-1）

7 とい　［3.8.2］　［表3.8.1］
といの材種
・配管用鋼管　※カラー硬質塩化ビニル管　・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管（REP-VU）G
鋼管製といの防露　［3.8.2］　［表3.8.3］
・次の箇所に行わない（　　）
防露材のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・
掃除口　※有り　・無し　・
たてどい受金物の取付け　［3.8.3］

8 アルミニウム製笠木　［3.9.2～3］　［表3.9.1］

種　類	呼称肉厚(㎜)	製品幅(㎜)	固定間隔	備　考
・150形	※1.1程度	※150	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突き当り部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	※1.8以上	※300		
・350形	※2.0以上	※350		

板材折曲げ形の取付工法　・図示　［3.9.3］

9 折板葺　（13.3.2～3）

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・
形状（㎜）	山高（　）　山ピッチ（　）　板厚　・0.6　※0.8
材　料（規格等）	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯（GGLCCR-20-AZ150）
軒先面戸板	※有り　・無し
断熱材	・有り（種別：　　厚さ：　　㎜）　※無し
耐火性能	・30分耐火　※無し

⑩保証期間　※ 10年保証とする。

4 外壁改修工事 共通事項

施工数量調査　調査範囲　※外壁改修範囲（庇上裏含む）　・図示の範囲　［1.5.2］
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。　また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び剥落を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。
調査報告書の部数　※2部　・

工事名	松戸市立第二中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修工事特記仕様書-1		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	No Scale	図面番号	A-01
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

4 外壁改修工事 共通事項

2 改修材料

・既製調合モルタル

保水率 (%)	単位容積質量 (kg/ℓ)	接着強さ(N/*) 標準時	接着強さ(N/*) 温冷繰り返し後	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/*)
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上

・パテ状エポキシ樹脂

初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0N/*以上	6.0N/*以上	50.0N/*以上	30.0N/*以上	3.0(%)以上

a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c. 常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・可とう性エポキシ樹脂

性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性
引張強さ	1.0N/*以上	1.0N/*以上	1.0N/*以上	最大引張応力 1.0N/*以上
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10.0%以上

比重　表示値±0.10
揮出し性　60秒以下
スランプ　3mm以下
加熱減量　5%以下
a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c. 常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・タイル部分張替え工法用材料

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度(N/*)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
凝集破壊率(%)	70以上	50以上	50以上	50以上	50以上
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ(N/*)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上
伸び(%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上

貯蔵安定性　容積と粘土に著しい変化がないこと。
耐熱性　JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。
a. 外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b. タイル、石材、下地等侵すものでないこと。
c. 「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。
e. ずれ抵抗性があること。
f. 混錬終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。

・エポキシ樹脂モルタル

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0N/*以上	20.0N/*以上	10.0N/*以上

a. こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。
b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。
d. 形状に異常が無く、垂れが生じないこと。
e. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。

・ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの種類
合成ゴム系、アクリル系、エチレン一酢ビ系等

曲げ強さ	圧縮強さ	接着強さ(N/*) 標準時	接着強さ(N/*) 湿潤時	接着強さ(N/*) 低温時
(N/*)	(N/*)			
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態　垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。
透水性　裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
3以上	3.0%以下	0.5N/*以上	5.0N/*以上	15%以下	6.0N/*以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

・吸水調整材

項目	全固形分(%)	吸水性(g)	接着強度(N/*)	界面破断率(%)
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁

1 ひび割れ部改修工法

※ 樹脂注入工法　[4.1.4][4.3.4]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※製造所の仕様による	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※ 50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料　[4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り)　※行わない　[4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法：　)

・Uカットシール材充填工法　[4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタル充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIS A 6024	

・シール工法　[4.1.4][4.2.2][4.3.6]
・パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

2 欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む)

・充填工法　[4.1.4][4.2.2][4.3.7]
・エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024)
・ポリマーセメントモルタル

3 浮き部改修工法

・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法(16本/㎡)　[4.1.4][4.4.10]
(モルタル笠木・パラペット天端部分)

4 巾木モルタル塗

・樹脂モルタル　T3

4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁

1 既存モルタル塗りの撤去

・行う(※監督職員の指示による)

2 ひび割れ部改修工法

・既存モルタル撤去工法(範囲は図示　撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)
※ 樹脂注入工法　[4.1.4][4.4.2][4.4.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300		
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料　[4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り)　※行わない　[4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法：　)

・Uカットシール材充填工法　[4.1.4][4.2.2][4.3.5]

注入工法の種類	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIS A 6024	

・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修　[4.2.2][4.6.3]
(※シール工法の範囲　・監督職員の指示による　)

3 欠損部改修工法

・既存モルタル面の欠損部　[4.1.4][4.4.8～9]

改修工法の種類	材料	品質・規格等
・充填工法	エポキシ樹脂モルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕4.2.2(7)による	塗り厚25mmを超える場合の補強
		※行う ・行わない ・図示

4 浮き部改修工法

[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数 (本/㎡) 指定部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ※狭幅部：5本/m	※25			※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml

アンカーピン　[4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。
注入口付アンカーピン　[4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。

5 巾木モルタル塗

・樹脂モルタル　T3

4-3 外壁改修工事 タイル仕上げ外壁

1 既存タイル張りの撤去

・外壁タイル張り全面　・部分撤去　[4.5.2]
撤去範囲　※下地モルタルまで　・張り付けモルタルまで　・タイルのみ

2 ひび割れ部改修工法

改修箇所　※既存タイル張り面
・既存タイル撤去面(・コンクリート面　・モルタル面)
※樹脂注入工法　[4.1.4][4.3.4][4.5.5]

	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料　[4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り)　※行わない　[4.3.4]
・行う(抜き取り部の補修方法：　)

・Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分)　[4.1.4][4.2.2][4.3.5～6]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

3 欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む)

・充填工法　[4.1.4][4.2.2][4.3.7]
・エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024)
・ポリマーセメントモルタル

4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁

1 既存塗装等の撤去及び下地処理

既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法　[4.6.3][表4.6.1～4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※補強範囲　図示	・ひび割れ部改修工法
※高圧水洗工法 加圧力 ※12MPa程度	※塗替え範囲　図示	・浮き部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	・欠損部改修工法
・水洗いし工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

塗装はく離剤　[4.2.2]

2 下地調整材

※下地調整材C-1　(既存塗装除去部分)　[4.2.2][4.6.3]
※微弾性フィラー　(既存吹付タイル面・既存複層塗材面)
[4.2.2][4.6.3]

3 仕上げ塗材仕上げ

種類、仕上げの形状、工法　[4.1.4][4.2.2][表4.2.4]

種類	呼び名	仕上げの形状	上塗材の種類
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・砂壁状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 ・凸凹状 ・平たん状	耐候性　※耐候形3種 ・耐候形1種 溶媒　※水系 ・弱溶剤系 ・溶剤系 樹脂　※アクリル系 ・ウレタン系 ・シリコン系 外観　※つやあり ・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材　※行う
・複層仕上塗材(既存塗装除去部分)	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE 複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・複層塗材RS ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凸凹状	
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ※ゆず肌状	

防火材料の指定が必要な場合　[4.2.2](15.6.2)
※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。
※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。

4 その他の仕上げ

・基礎巾木仕上塗材　※エスケー化研㈱　ベースプロテクト同等品とする
※菊水化学工業㈱　基礎ガード同等品とする
・水性反応硬化形軒天用仕上塗材　※エスケー化研㈱　スキフレッシュ同等品とする
※菊水化学工業㈱　ノキテンファイン同等品とする
・ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し保護仕上げ塗材　※エスケー化研㈱　セラミRC-FR工法同等品とする

5 建具改修工事

1 改修工法の適用

[5.1.3]

種類	かぶせ工法	撤去工法	備考
・アルミニウム製建具	・有り	・有り	
・鋼製建具 ・外部	・有り	・有り	
・内部			
・鋼製軽量建具			
・ステンレス製建具			
・自動ドア開閉装置			
・重量シャッター			

2 見本の製作等

・特殊な建具の仮組(建具符号　:　)　[5.1.5]

3 アルミ製建具

外部に面する建具　[5.2.2][表5.2.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	・図示
・B種	S-5	・	・	・100	
・C種	S-6	A-4	W-5	100	

4 浮き部改修工法

・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法(16本/㎡)　[4.1.4][4.4.10]
(モルタル笠木・パラペット天端部分)

5 巾木モルタル塗

・樹脂モルタル　T3

1 既存塗装等の撤去及び下地処理

既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法　[4.6.3][表4.6.1～4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※補強範囲　図示	・ひび割れ部改修工法
※高圧水洗工法 加圧力 ※12MPa程度	※塗替え範囲　図示	・浮き部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	・欠損部改修工法
・水洗いし工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

塗装はく離剤　[4.2.2]

2 下地調整材

※下地調整材C-1　(既存塗装除去部分)　[4.2.2][4.6.3]
※微弾性フィラー　(既存吹付タイル面・既存複層塗材面)
[4.2.2][4.6.3]

3 仕上げ塗材仕上げ

種類、仕上げの形状、工法　[4.1.4][4.2.2][表4.2.4]

種類	呼び名	仕上げの形状	上塗材の種類
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・砂壁状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 ・凸凹状 ・平たん状	耐候性　※耐候形3種 ・耐候形1種 溶媒　※水系 ・弱溶剤系 ・溶剤系 樹脂　※アクリル系 ・ウレタン系 ・シリコン系 外観　※つやあり ・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材　※行う
・複層仕上塗材(既存塗装除去部分)	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE 複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・複層塗材RS ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凸凹状	
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ※ゆず肌状	

防火材料の指定が必要な場合　[4.2.2](15.6.2)
※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。
※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。

4 その他の仕上げ

・基礎巾木仕上塗材　※エスケー化研㈱　ベースプロテクト同等品とする
※菊水化学工業㈱　基礎ガード同等品とする
・水性反応硬化形軒天用仕上塗材　※エスケー化研㈱　スキフレッシュ同等品とする
※菊水化学工業㈱　ノキテンファイン同等品とする
・ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し保護仕上げ塗材　※エスケー化研㈱　セラミRC-FR工法同等品とする

5 建具改修工事

1 改修工法の適用　[5.1.3]

種類	かぶせ工法	撤去工法	備考
・アルミニウム製建具	・有り	・有り	
・鋼製建具 ・外部	・有り	・有り	
・内部			
・鋼製軽量建具			
・ステンレス製建具			
・自動ドア開閉装置			
・重量シャッター			

2 見本の製作等　・特殊な建具の仮組(建具符号　:　)　[5.1.5]

3 アルミ製建具　外部に面する建具　[5.2.2][表5.2.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	・図示
・B種	S-5	・	・	・100	
・C種	S-6	A-4	W-5	100	

4 浮き部改修工法

[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数 (本/㎡) 指定部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16			※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法					※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml
・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	※9	※16	※50ml
エポキシ樹脂注入タイル固定工法					

アンカーピン　[4.2.2]
材質　※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。

5 下地処理　サンダーケレンの上、モルタル薄塗　[4.2.2][4.6.3]

6 タイルクリーニング　工業用塩酸

表面処理　[5.2.4][表5.2.2]
・BA-1種　・BA-2種(※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)

屋内建具
表面処理　※C-1種又はB-1種　[5.2.4][表5.2.2]
・C-2種又はB-2種(ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)

4 網戸　防虫網　[5.2.3]
網の種別　・ガラス繊維入り合成樹脂製　・合成樹脂製　※ステンレス(SUS316)製
形　式　・外部可動式　※固定式

5 鋼製建具　簡易気密型ドアセットの適用は建具表による　[5.4.2][表5.4.1]
耐風圧性能の適用は建具表による
特定防火設備戸　・適用する　[5.4.4]

6 鋼製軽量建具　簡易気密型ドアセットの適用は建具表による　[5.5.2][表5.5.1～2]

7 ステンレス製建具　簡易気密型ドアセットの適用は特記による　[5.6.2]
耐風圧性能の適用は建具表による
表面仕上げ　※HL仕上げ　・鏡面仕上げ　[5.6.4]
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ(補強有り)　[5.6.5]
防火戸　・適用する　[5.1.4]

8 自動ドア開閉装置　※製造所標準製作の規定寸法許容差による　[5.8.2～4][表5.8.1～5]

開閉方法	検出装置の種類
※引き戸	・光線(反射)センサー　・熱線センサー
・多機能トイレ出入口引き戸	・音波センサー　・光電センサー　・タッチスイッチ
	・押しボタンスイッチ　・多機能トイレスイッチ

・凍結防止装置(適用箇所は建具表による)

9 自閉式上吊り引戸装置　品質規格　※改修標仕5.9.3による。　[5.9.3][表5.9.1]
・製造所標準仕様による。

10 木製建具
※建具表による。
かまち戸の樹種　かまち(　)　鏡板(　)　(16.7.2)(表16.7.2)
ふすまの上張り　※新鳥の子程度又はビニル紙程度(押入れ等の裏面は除く)　(表16.7.3)
・鳥の子
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量　(16.7.2)
※F☆☆☆☆　・非ホルムアルデヒド系接着剤

11 建具用金物　マスターキー　・製作する　※製作しない　[5.7.4]
建具用金物　[5.7.2][表5.7.1～3]
錠類はシリンダー箱錠(レバーハンドル)とする。
なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。
吊金物
・丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい)
・ピボットヒンジ

12 ガラス　建具表による　[5.13.2]
・ガラスブロック　改修標仕5.13.5　[5.13.5]

寸法(mm)	色調	パターン	防火認定
	※クリア　・熱線反射		※無し
	・乳白　・カラー(　)		・有り

13 ガラス留め材及び溝　ガラス留め材　[5.13.2～3]

建具の種類	種類
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット(FIX部はシーリング材)
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。

⑭ ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
㊒ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D1
・目かくしフィルム			
・遮熱フィルム	第2種	㊒内張り ・外張り	飛散防止性能あり

品質JIS A 5759による
建具表による　[5.13.2]

15 重量シャッター　[5.10.2][表5.10.1]

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能(　)N/㎡
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能(　)N/㎡
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

品質JIS A 4705による
開閉機能
※上部電動式(手動併用)　・上部手動式
危害防止機構　※障害物感知装置(自動閉鎖型)　[5.10.2]
・シャッターの二段降下方式
一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない　[5.10.2]

16 軽量シャッター　[5.11.2][表5.10.1]
開閉形式
※手動式　・上部電動式(手動併用)
スラット　材質　※塗装溶融亜鉛めっき鋼板　[5.11.3]
形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形　[5.11.4]
ガイドレール等　[表5.10.2]
※鋼板製　・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm)
耐風圧性能(　)N/㎡

工事名	松戸市立第二中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修工事特記仕様書-2		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮尺	No Scale	図面番号	A-02
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

5 建具改修工事

17 オーバーヘッドドア [5.13.2～5][表5.13.1～2]

セクション材料による区分	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ	※バランス式	・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	・ステンレス鋼板
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	(SUS304)
		・バーチカル形	

耐風圧性能(　　)N/㎡　JIS A 4715

18 かぎ箱

市販品
形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

6 内装改修工事

1 改修範囲 [6.1.3]

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲

天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま。
・図示の範囲

2 既存床の撤去並びに下地補修 [6.2.2]

ビニル床シート等の除去　※仕上げ材のみ(接着剤とも)
・鋼製床組下地とも(※図示の範囲　・除去範囲全て)

カラードフロアの撤去　・機械的除去工法　・目荒し工法

改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の案内　・

3 既存壁の撤去並びに下地補修 [6.3.2][4.3.10]

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修
・図示
・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強　※行う　・行わない)

4 木下地等 (AP-1、2) [6.5.2][表6.5.1]

木材の品質　図示
※改修標準仕様書6.5.2による　・市販品

代用樹種　※改修標仕表6.5.4による [6.5.2][表6.5.2]
・代用樹種を適用しない箇所(　　)

保存処理木材を適用する箇所(　　)

5 集成材等 G (額縁等) [6.5.2]

品　名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・米栂　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	・1種 ※2種 ・3種	・	
・造作用集成材	※1等 ・2等	・タモ	
・化粧ばり造作用集成材	※1等 ・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

6 接着剤 [6.5.3]

※F☆☆☆☆
・非ホルムアルデヒド系接着剤

7 防腐、防蟻処理 [6.5.5]

行う箇所(　　)
防腐処理　※行う(※図示　　)
防蟻処理　・行う(※図示　　)
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。

8 床板張り [6.5.8][6.11.2][表6.5.8]

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合　板	t12mm
		・パーティクルボード	t15mm
床板	※単層フローリング(共仕19.5.2による)	ホルムアルデヒドの放散量	※F☆☆☆☆　・
	・縁甲板	※ひのき	

※フクビ　フリーフロアCP-F同等品

9 軽量鉄骨天井下地 [6.6.2][表6.6.1～2]

野縁等の種類
屋外(・19形 ※25形)　屋内(※19形 ・25形　※角スタッド工法 65形)

既存の埋込みインサート　・使用する ※使用しない [6.6.4]

あと施工アンカーの確認試験　・行う ※行わない

10 軽量鉄骨壁下地 [6.7.3][表6.7.1]

スタッドの高さが5mを超える場合　※図示

11 ビニル床シート張り [6.8.2]

種　類	JISの記号	色　柄	厚さ(mm)
※発砲層のないもの	※NC ・	※無地 ・マーブル柄	※2.5
・発砲層のあるもの		※柄物 ・無地	
・防滑性ビニル床シート	・NF ・NC	・柄物 ・無地	・2.5
・防汚性ビニルシート			・2.0

工法　※熱溶接工法 ・突付け(施工箇所:　　) [6.8.3]

・防汚性ビニルシート：下記同等品とする。
ロンシール工業㈱ヤニタリウム　t=2.0
タキロンシーアイ㈱ネオクリーン　t=2.0
東リ㈱消臭ＮＳトワレＮＷ　t=2.0

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

12 ビニル床タイル張り [6.8.2]

種　類	JISの記号	厚さ(mm)	備　考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS		
・ホモジニアスビニル床タイル	HT		

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

13 帯電防止床タイル張り [6.8.2]

種　類	厚さ(mm)	性　能
※コンポジションビニル床タイル	※2 ・	体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	1.0×10⁷Ω以下、または、
		漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
		1.0×10⁷Ω未満

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

14 視覚障害者用床タイル (誘導用及び注意喚起用床材) [6.8.2]

ブロックパターンはJIS T 9251による
色彩は黄色を原則とする。
屋内　※塩化ビニル製　・磁器又は石器質タイル(※300 ・　　)
・レンジコンクリート製
屋外　※レンジコンクリート製　・磁器又は石器質タイル(※300 ・　　)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

15 ビニル幅木 [6.8.2]

高さ (mm)　・60　・75　・100
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

16 合成樹脂塗床 [6.10.2～3][表6.10.1～8]

種　類	仕上の種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ工法(※平滑 ・防滑)
	・厚膜流しのべ工法(※平滑 ・防滑)
	・樹脂モルタル工法(※平滑 ・防滑)
	・薄膜型塗床工法(※平滑)

ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970　※F☆☆☆☆　・

17 フローリング張り [6.11.2～7][表6.11.1～6]

種　別	材　種	工　法	仕上塗装等	備考
・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品	
・大型積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
・単層フローリング	・ブナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
	・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品	
・フローリングブロック	・ブナ	・直張り	※塗装品	

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

18 畳敷き [6.12.2～3][表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
改修標仕 表6.5.10による床組	※B種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種　・

19 ポリスチレンフォーム床下地材

畳下地　厚さ(mm)　※40　・65　・80
フローリング類　厚さ(mm)　※80　・95

20 カーペット敷き

・繊じゅうたん [6.9.2～3][表6.9.1～2]

種　別	パイル糸の種類	帯電性	色柄等	備考
・A種	・そ毛糸	人体帯電圧	※無地	
・B種	・紡毛糸	※3kV以下	・柄物(標準品)	
・C種	・紡毛糸			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タフテッドカーペット(JIS L 4405) [6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	パイル長(mm)	工　法	備考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法	
	※4～6　・	・グリッパー工法	
・レベルループパイル	※4　・		
・カット、ループ併用			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タイルカーペット [6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	種　類	規　格	総厚さ(mm)	備　考
※ループパイル	※第一種	※500×500	※6.5	
	・第二種			
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下(フリーアクセスフロア新設範囲)

21 石膏ボードその他のボード張り [6.13.2][表6.13.1]

種　類	厚さ(mm)　規格
・硬質木毛セメント板 G	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板 G	・15　・20　・25　・
・ケイ酸カルシウム板	タイプ2(無石綿)　(・6　・8　・　)
・ロックウール化粧吸音板	※フラットタイプ(※9(不燃)　・12　・　) ・凸凹タイプ(※12(不燃)　・15　・19　・　)
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)	※フラットタイプ9(不燃) ・凸凹タイプ(※12　・15)(不燃)
・せっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(準不燃)
・不燃積層せっこうボード	9.5(不燃)　・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)
・シージングせっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(不燃)
・強化せっこうボード	・12.5(不燃)　・21.0(不燃)
・せっこうラスボード	・9.5　・12.5
・化粧せっこうボード	・9.5(準不燃)
・化粧せっこうボード(木目)	・12.5(不燃)幅440mm程度 模様(※柾目　・板目)専用下地材付き
・難燃合板 G	・生地、透明塗料塗り(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗り(ラワン合板程度)厚さ・12
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による　厚さ　・4.0
・ミディアムデンシティファイバーボード G	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード G	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボーイ(素地) G ※規制対象外　・第三種	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・研磨板　(・スタンダード　・テンパード)
・インシュレーションボード G	A級(・天井仕上　・内装仕上　・　) ・9　・12　・15　・18　・
・フレキシブル板	厚さ　・5.0
・(有孔)シナ合板	厚さ　・5.0

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
・適用する　※適用しない

22 吸音材 [表6.13.1]

種　類	規格番号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	JIS A 6301	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	JIS A 6301	※25　・

23 壁紙張り (掲示用クロス) [6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維(織物)	プラ(ビニル)	その他(化学繊維)	紙	防火性能	備　考
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	

下地調整 [6.14.3][表7.2.4][表7.2.7]
モルタル、プラスター面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
せっこうボード面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)

壁紙のホルムアルデヒドの放散量　F☆☆☆☆ [6.14.2]

サンゲツ・リリカラー製品同等品とする。

24 モルタル塗り

吸水調整材 [6.15.3]

全固形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/㎟)	界面破断率(%)
表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)
防水剤の種類　建築用モルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間		曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント質量の5%	JIS R 5201の試験において		70%以上	95%以上	80%以上
以下	始発	1時間以上			
	終結	10時間以内			

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。
既製目地材　※適用しない　・適用する

25 タイル張り

タイルの種類 [6.16.3]

施工箇所	形状寸法	きじ 磁器	きじ 石器	きじ 陶器	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 有り	役物 無し	色 標準	色 特注	再生材の適用 G	備考

役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う(※外装タイル　・　　)
内装タイル　※内装タイル接着剤張り　JIS A 5548 有機系接着剤
接着剤のホルムアルデヒド　※F☆☆☆☆　・

26 セルフレベリング材塗り

セルフレベリング材の種類 [6.17.2][表6.17.1]

種類	フロー値(cm)	凝結時間 始発(分)	凝結時間 終結(時間)	圧縮強度(N/㎟)	下地接着強度(N/㎟)	表面接着強度(N/㎟)	長さ変化(%)	衝　撃	備　考
せっこう系	19以上	45以上	20以上	15以上	0.5以上	0.4以上	0.05以下	割れ及び剥がれないこと	
セメント系				20以上	0.7以上	0.5以上	0.12以下		

試験方法：日本建築学会品質規準JASS 15 M-103による。

27 断熱材 (19.9.2～3)

種類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	※25 ・100	特定フロンを使用しないもの
	※3種b(スキン層付)	・接地部分	※25	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	——	特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級　・2級
		・一般部	※25	

JIS A 9521に基づく発砲プラスチック
断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。

28 浴室天井材

市販品

材　質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	・準不燃品	※200	廻縁は縁付きとし製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	・塗装品		※300	
	・木目調		・100	

29 フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	構　法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
	・パネル構法		・1.0 G	・3,000 G	・帯電防止床タイル	
	・溝構法		・0.6 G	・5,000 G	・タイルカーペット	
	・パネル構法		・1.0 G	・3,000 G	・帯電防止床タイル	
	・溝構法		・0.6 G	・5,000 G	・タイルカーペット	
	・パネル構法		・1.0 G	・3,000 G	・帯電防止床タイル	
	・溝構法		・0.6 G	・5,000 G	・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は各内装工事による。
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付対応　※製造所の標準仕様　(コンセント本体は別途設備工事)
コンセントの箇所数は図示
配線用取出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1箇所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り(※固定式　・可変式　：施工箇所は図示)

30 可動間仕切 (20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式		※鋼板	※メラミン樹脂又は	・有り	・有り
・スタッドパネル式		(※0.6　・0.8)	アクリル樹脂焼付	(　)	・無し
・パネル式		・		・無し	

遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

31 移動間仕切 (20.2.4)

遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ(36db以上)		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は「23壁紙張り」による。

32 トイレブース

表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板 t40(アルミ製コーナーエッジ付き　指詰め防止) (20.2.5)
※紙巻器設置位置については下地補強を行うこと。
・特殊UV塗装硬質セメント板(標準色　アルミ製コーナーエッジ(ステンカラー)付き)
笠　木　※アルミ製　・ステンレス製
足形状　※幅木タイプ(ステンレス製)　・足金物タイプ
※防水型(ステンレス巻き)

33 階段滑り止め (20.2.6)

材　種　ステンレスSUS304
形　状　ビニルタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り(・ステンレス製　※ビニル製)　・無し
幅(mm)　約35
取付工法　※接着工法　・埋込工法

34 手すり

種　別	施工箇所
※笠木受け：アルミ押出形材 笠木：半硬質耐候製樹脂 二層成形φ40mm	スロープ
・樹脂被覆Φ34	

35 黒板及びホワイトボード (20.2.8)

種　類		寸　法(mm)	色　彩	備　考
・黒板	※焼付		※緑　・黒	・平面　※曲面
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面

36 表示 (20.2.10)

衝突防止表示　・図示(市販品　・ステンレス製　径約30mm　・　　)
(　・両面　・片面　)
・無し
表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。
製造所　監督職員の承諾する製造所。

37 ブラインド [2.3.1][5.1.6]

・既存再使用する(養生方法：　　)
・新設する (20.2.12)

形　式	種　類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横形	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
・縦形	・1本操作コード	・アルミスラット	・80
	※2本操作コード	・クロススラット	・100

38 ロールスクリーン (20.2.13)

防炎性能　※有り
製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する

施工箇所	装　置 電動	装　置 手引	性　能 防炎性能	備　考

39 カーテン (暗幕、緞帳等) [2.3.1][5.1.6]

・既存再使用する(養生方法：取外し再取付)
・新設する (20.2.14)

施工箇所	形　式 片引	形　式 引分	装　置 電動	装　置 ひも引	装　置 手引	ひだの種類	性　能	備　考

40 カーテンレール [5.1.6] (20.2.14)

・既存再使用する
・新設する
材　種　JIS A 4802 ・アルミニウム製　※ステンレス製
形　式　・片引き　・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)

41 カーテンボックス及びブラインドボックス [5.1.6]

※既存再使用する。
・新設する。
・市販品(アルミニウム製)
溝幅×深さ(mm)　・90×150　※120×150　・150×80　・
色　彩　※B-1　・B-2(※ブラウン　・ブラック　・ステンレスカラー)
※図示

41 天井点検口

材　質　※アルミニウム製(※額縁タイプ　・目地タイプ)　・既存取外し、再取付

42 床点検口

材　質　・アルミニウム製(受け枠　※アルミ製　・ステンレス製)
・ステンレス製(受け枠　・ステンレス製(防水、防臭型))

43 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	耐荷重による種類

44 流し台ユニット

種　類	寸法(L=　mm)	適用内容	規格・品質等
・流し台	・900　・1200　・1500	・トラップ付き	
・コンロ台	・600　・700	・バックガード　・有り	
・吊り戸棚	・1200　・900　・600		
・水切り棚	・1200　・900	・トラップ付き	
・作業台	・900　・1200　・1500		

45 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発砲シート張り　・

46 ライニング天板

材　種　・メラミン樹脂化粧板張り(芯材：集成材)　・人工大理石
奥行き(mm)　※図示

47 用具入れ (12.2.2)(19.7.2)

材質　メラミン樹脂系化粧板
形状、寸法　※図示
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

49 室名札等

・突出し型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｶﾞﾗｽ：ｱｸﾘﾙﾎﾞｰﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(　　箇所)
・平付け型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｶﾞﾗｽ：ｱｸﾘﾙﾎﾞｰﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(　　箇所)
・ピクトサイン　材質：ｱﾙﾐ　ｱﾙﾏｲﾄｼﾙﾊﾞｰ、絵柄：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：200×200　(　7　箇所)
・階数表示　材質：ｽﾃﾝﾚｽ　ﾍｱﾗｲﾝ、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ150×150　(　　箇所)

50 鋼製床下地(体育館用)

部材規格　大引き、根太鋼：※JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板、亜鉛付着量Z12以上)
U字金具、支持台：※JIS G 3302SGHCと同等以上(亜鉛付着量Z12以上)
緩衝材：※JIS K 6385(A種防振ゴム)
※三洋工業㈱ スリーベース101タイプ同等品とする。

51 アルミ製移動階段

・セノー㈱　HE9724(アルミ合金製、アルマイト処理焼付塗装)同等品とする。

52 救助袋

・垂直式　○階用

工事名	松戸市立第二中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修工事特記仕様書-3		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	—
縮　尺	No Scale	図面番号	A-03
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		

松戸市　街づくり部　建築保全課

7 塗装改修工事

1 材料

塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。 [7.1.2～3]
屋内で使用する場合のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・
改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は監督職員と協議する。 [7.1.8]

2 下地調整 [7.2.2～7][表7.2.1～7]

下地面の種類	下地調整の種別	備 考
木部	・RA種 ※RB種	新規面はRA種
鉄鋼面	・RA種 ※RB種	
亜鉛めっき鋼面	・RA種 ※RB種	
モルタル、プラスター面	・RA種 ※RB種	
コンクリート、ALC及び押出成形	・RA種 ※RB種	
セメント板面	・RA種 ※RB種	
せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種	

既存下地面等のひび割れ部補修 [表7.2.5～6]
※行う ・行わない
※錆止め JIS K 5674

3 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) [7.5.2][表7.5.1]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備 考
木部	・A種 ※B種	※B種	下塗りJASS 18 M-304
			中塗り及び上塗りJIS K 5516
鉄鋼面	・A種 ※B種	※B種	穴埋め及びパテかいJASS 18 M-110
			中塗り及び上塗りJIS K 5516

4 鉄鋼面耐候性塗料塗り(DP) [7.8.2～4][表7.8.1～3]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備 考
鉄面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5659
亜鉛めっき面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5659
コンクリート、押出成形セメント板面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5658

下塗りJASS 18 M-109

5 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) [7.9.2][表7.9.1]
新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
塗替えの種別 ・A種 ※B種
下塗りJIS K 5663 中塗り及び上塗りJIS K 5660

6 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) [7.10.2][表7.10.1]
新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

7 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T) [7.11.2][表7.11.1]
新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種別
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種
	・RC種	※C-3種
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種 ・B種
	・RC種	・C-1種 ・C-2種

下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

8 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) [7.11.2][表7.11.1]
・A種 ※B種
1液形JASS 18 M-301 2液形JASS 18 M-502

9 オイルステイン塗り(OS) [7.12.2]
ワトコオイル製品同等品とする。

10 木材保護塗料塗り(WP) [7.13.2][表7.13.1]
・A種 ※B種
JASS 18 M-307

11 ポリウレタン樹脂塗装(2-UC)
フローリングブロック面の塗り種別 ・A種 ※B種

8 耐震改修工事

『耐震補強工事構造特記仕様書』による。

9 環境配慮(グリーン)改修工事

1 一般事項

アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法 [9.1.3]
・封じ込め処理 ・囲い込み処理除去工法 ・除去工法
アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 ・図示
分析によるアスベスト(ｱｸﾁﾉﾗｲﾄ、ｱﾓｻｲﾄ、ｱﾝｿﾌｨﾗｲﾄ、ｸﾘｿﾀｲﾙ、ｸﾛｼﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾚﾓﾗｲﾄ)含有の調査
・行う(下表による) ・行わない

材料名	調査方法	1材料あたりの試料数
	・JIS A 1481による	※3

2 アスベスト含有吹付材除去工事

吹付アスベストの施工数量調査を行う。

アスベスト粉塵濃度測定 ※行う

測定時期及び場所等については下表による。

測定時期	測定場所	測定点数(各処理作業室毎)	備 考
処理作業前	処理作業室内	2又は3点	
	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通
処理作業中	処理作業室内	2点	
	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認
	負圧・除塵装置の排出口(処理作業室外の場合)	1点	除塵装置の性能確認
	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
処理作業後	処理作業室内	2点	
(隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通

(注)処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。
処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。

建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署
本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

3 アスベスト含有吹付材囲い込み工事

軽鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ(核スタッド工法 65形@300)とし、既存天井面には触れない。
関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署
養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。
アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。
―内部測定点内訳―
<1階： 点、2階： 点、3階： 点>
詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議決定すること。

4 アスベスト成形板の処理工事

処理を行うアスベスト成形板の仕様等 ・仕上表による [9.1.5]

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲
石綿板	4	便所
人研ブロック	30	便所

施工調査
アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。
調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。
(1)アスベスト成形板使用部位の確認。
(2)アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。
(3)アスベスト成形板使用数量の確認。

5 アスベスト含有仕上塗材の除去

アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験的一部除去作業の方法
(1)試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は□500mm程度とする。
(2)試験的除去は剥離剤併用手工具ケレン工法にて実施。

アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法 ・部分除去 ・全面除去

アスベスト含有仕上塗材部分除去作業
(1)部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。
(2)建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。
なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
(集塵機付きｻﾞｲｽｸｻﾝﾀﾞｰ工法同等とすること)
(3)除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
(4)アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
(5)廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
(6)アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
(7)関係官公署に届出を行う。
(大気汚染防止法→松戸市環境保全課 労働安全衛生法→柏労働基準監督署)
(8)本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

6 外断熱改修工事

断熱材の種類 [9.2.2]

材料名		厚さ(mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム	
・硬質ウレタンフォーム	・フェノールフォーム	
・ロックウール	・グラスウール	

外装材の種類 [9.2.2]

防火性能

既存外壁仕上材の撤去 ・有り ・無し [9.2.3]
下地面の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様

通気層 ・有り(mm) ・なし [9.2.4]
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。
特記無き事項は、製造所の仕様による。

7 ガラス改修工事

複層ガラスの厚さ 建具表による [5.14.2]
断熱性・日射遮蔽性による区分 ※U3-1 ・U3-2

8 屋上緑化改修工事

特記事項は図示 [9.4.2]

9 透水性アスファルト舗装改修工事

路盤材料 [9.5.4][表9.5.3]
※再生クラッシャラン(RC-40)
・クラッシャラン(C-40)又はクラッシャランスラグ(CS-40)
透水性の高いものを使用する。

遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.5.3]
・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 ・
厚さは図示
・凍上抑制層 ※再生クラッシャラン ・クラッシャラン 切込み砂利 ・砂
厚さは図示

盛土に用いる材料 [9.5.3][表9.5.1]
・A種 ※B種 ・C種 ・D種

路床安定処理
※添加材料による安定処理 [9.5.3][表9.5.2]
種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種
・生石灰( ) ・消石灰( )
添加量 kg/㎥(目標CBR ※5以上 ・
路床土の支持力比試験 ※行う(※乱した土 ・乱さない土)
路床締固め度の試験 ※行う

アスファルト混合物 [9.5.6][表9.5.5]
車道部 ※改質アスファルトⅠ型
歩道部 ※ストレートアスファルト

透水性舗装 [9.5.9]
アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う

10 その他

1 舗装工事

歩行者用通路コンクリート版の厚さ ※70mm ・ (22.5.2)(表22.5.1)

部 位	設計基準強度(N/㎟)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40
			砕石の場合20又は25
歩行者用通路	18	8	砂利の場合25
			砕石の場合20

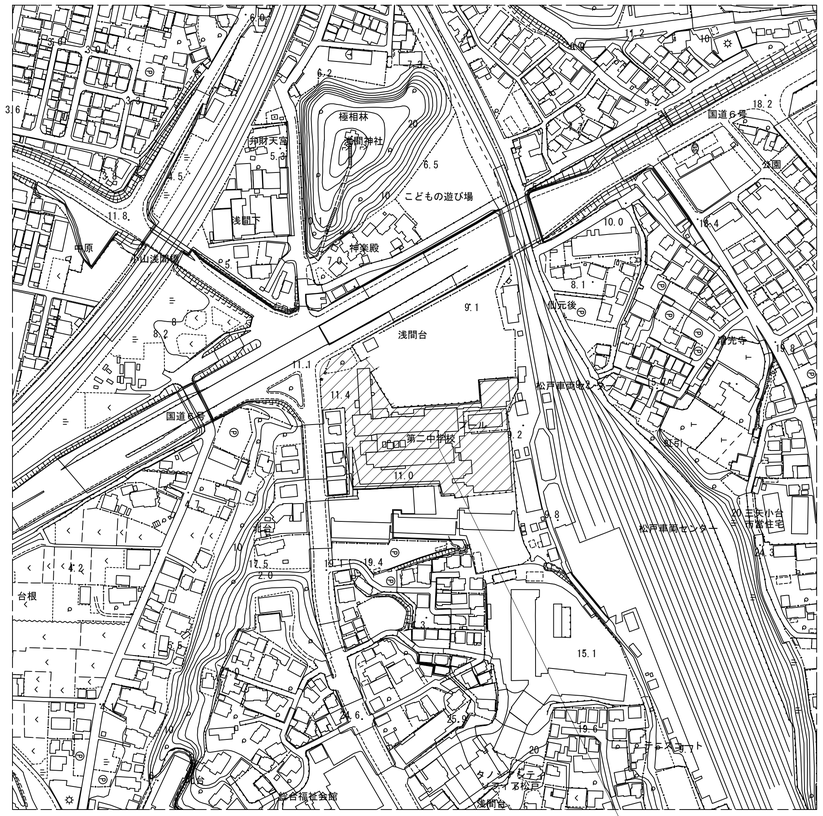
砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1)
種別 ・A種 ・B種

2 植栽工事

植樹 (22.3.2)

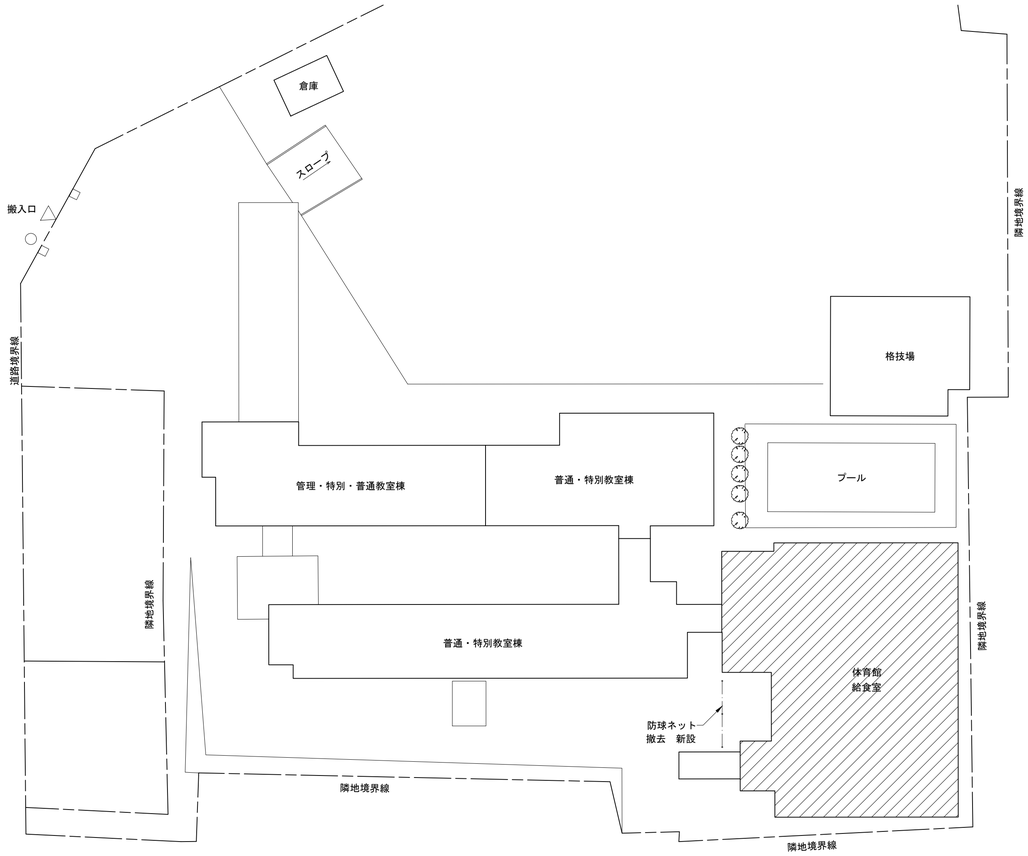
樹 種	寸 法	数 量	備 考

工事名	松戸市立第二中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修工事特記仕様書-4		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	No Scale	図面番号	A-04
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



N

案内図　1：2500



N

配置図　1：500

凡例
工事範囲を示す

外部仕上表

部位		仕上	備考
外壁	改修前	コンクリート打放し吹付タイル、コンクリート増打t=20、外巾木：コンクリート打放し目地分かれの上吹付タイル（アスベスト）	既存のまま
		目地：ウレタン系シーリング10x15	既存のまま
	改修後		

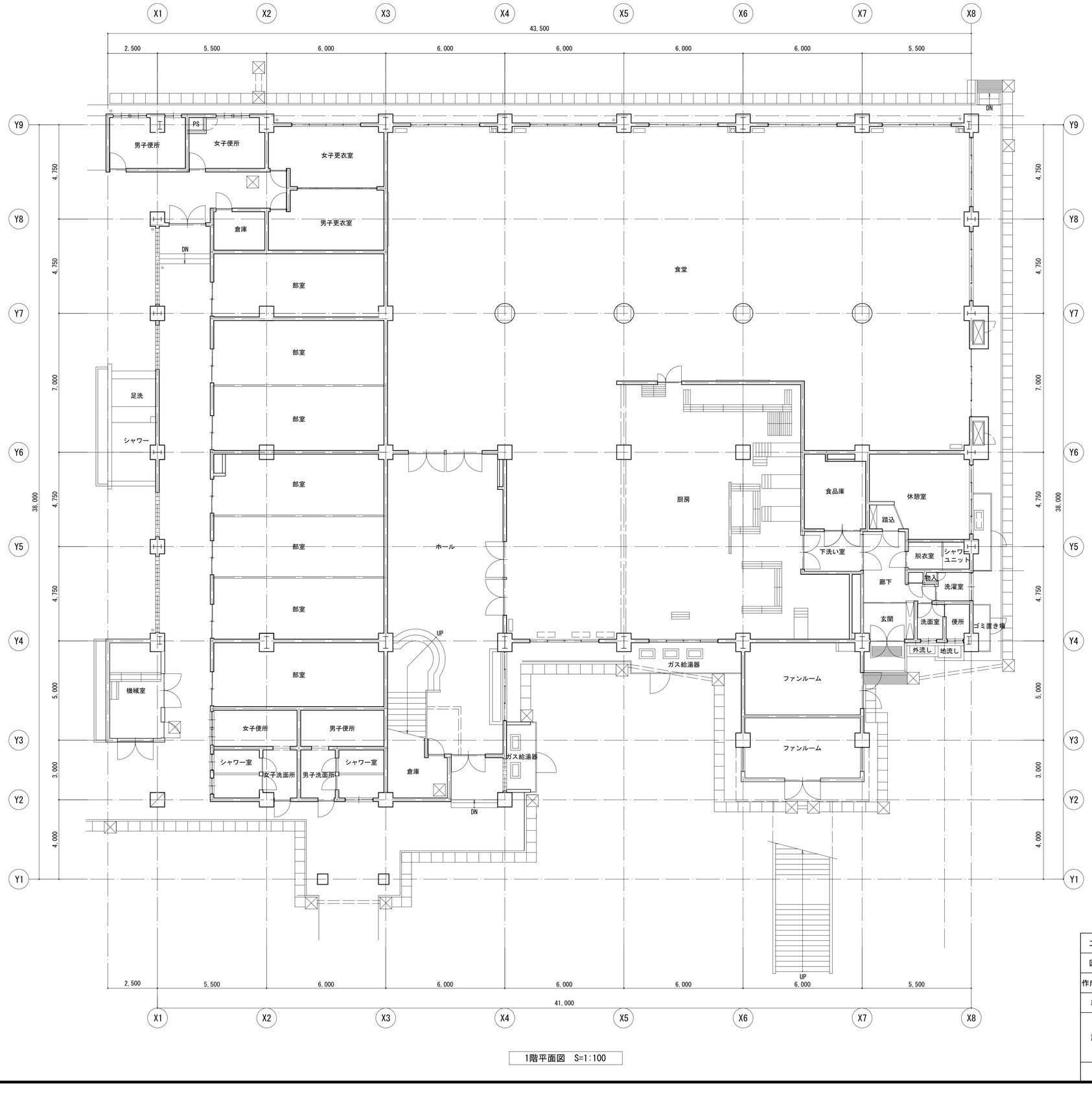
凡例、特記事項

塗料凡例	記号	塗料名	内装材認定	材料	認定番号	特記事項	内装仕上材、屋根裏木毛セメント板は、全てF☆☆☆☆とする
	OSCL	オイルステイン+クリヤラッカー塗り		LGS	軽量鉄骨下地		塗装材（塗料）は、全てF☆☆☆☆とする
	DP	鉄鋼面耐候性塗料塗り					建築材料は、全てアスベスト含有材でない材料を使用とする

内部仕上表

階	室名		床	床高さ	改修内容範囲		巾木	床高さ	改修内容範囲		壁(柱・梁型)		天井	天井高さ	改修内容範囲	廻縁	備考
1	アリーナ	改修前	体育館用鋼製床下地（遮音タイプ）構造用合板t=15 特殊フローリングボードt=18（乱尺張り） モルタル塗材：アスベスト含有		既存のまま	改修前	ラワンOSCL	+100	既存のまま	改修前	木胴縁下地　ラワンt=21　竪羽目張りOSCL LGS下地　木片セメント仮t=16の上　ラワンt=21　竪羽目張りOSCL 腰上部：LGS下地　木片セメント板t=18の上吹付タイル	改修前	グラスウールボードt=25　表し		既存のまま		スポーツミラー
		改修後				改修後	ラワンOSCL	+100		改修後		改修後					
2	ギャラリー	改修前	モルタル金ゴテ下地、エポキシ樹脂系塗床（ノンスリップタイル） モルタル塗材：アスベスト含有	-1000	既存のまま	改修前	モルタル金ゴテt=20	+100	既存のまま	改修前	コンクリート打放し補修の上　吹付タイル	改修前	ギャラリー部：コンクリート打放し吹付タイル アスベスト含有		既存のまま		木製カーテンボックス
		改修後	-	-1000		改修後	-	+100		改修後	-	改修後	-				-

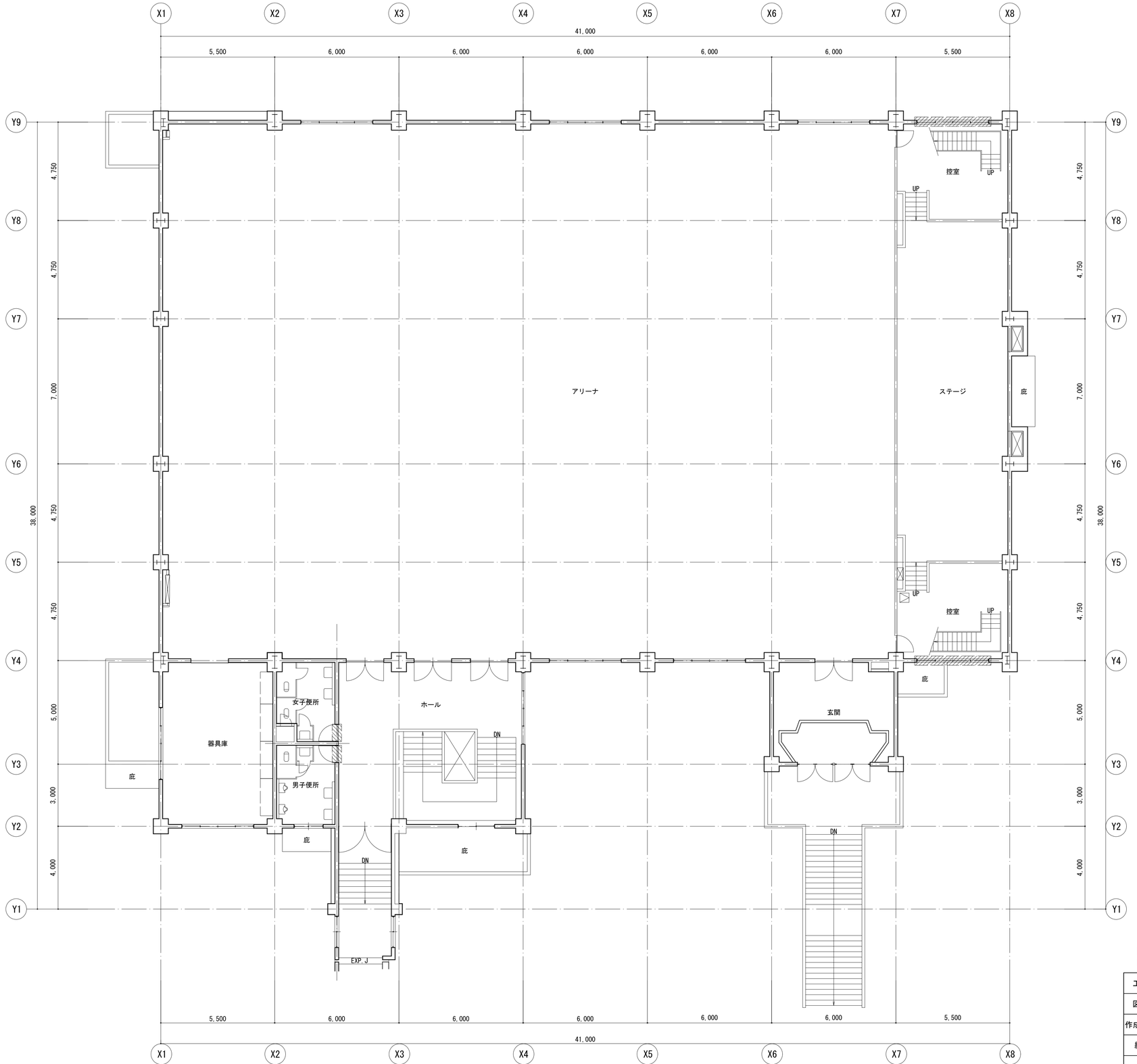
工事名	松戸市立第二中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図・仕上表		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮尺	1:2500、1:500	図面番号	A-05
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



1階平面図　S=1:100

N

工事名	松戸市立第二中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	1階平面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:100	図面番号	A-06
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

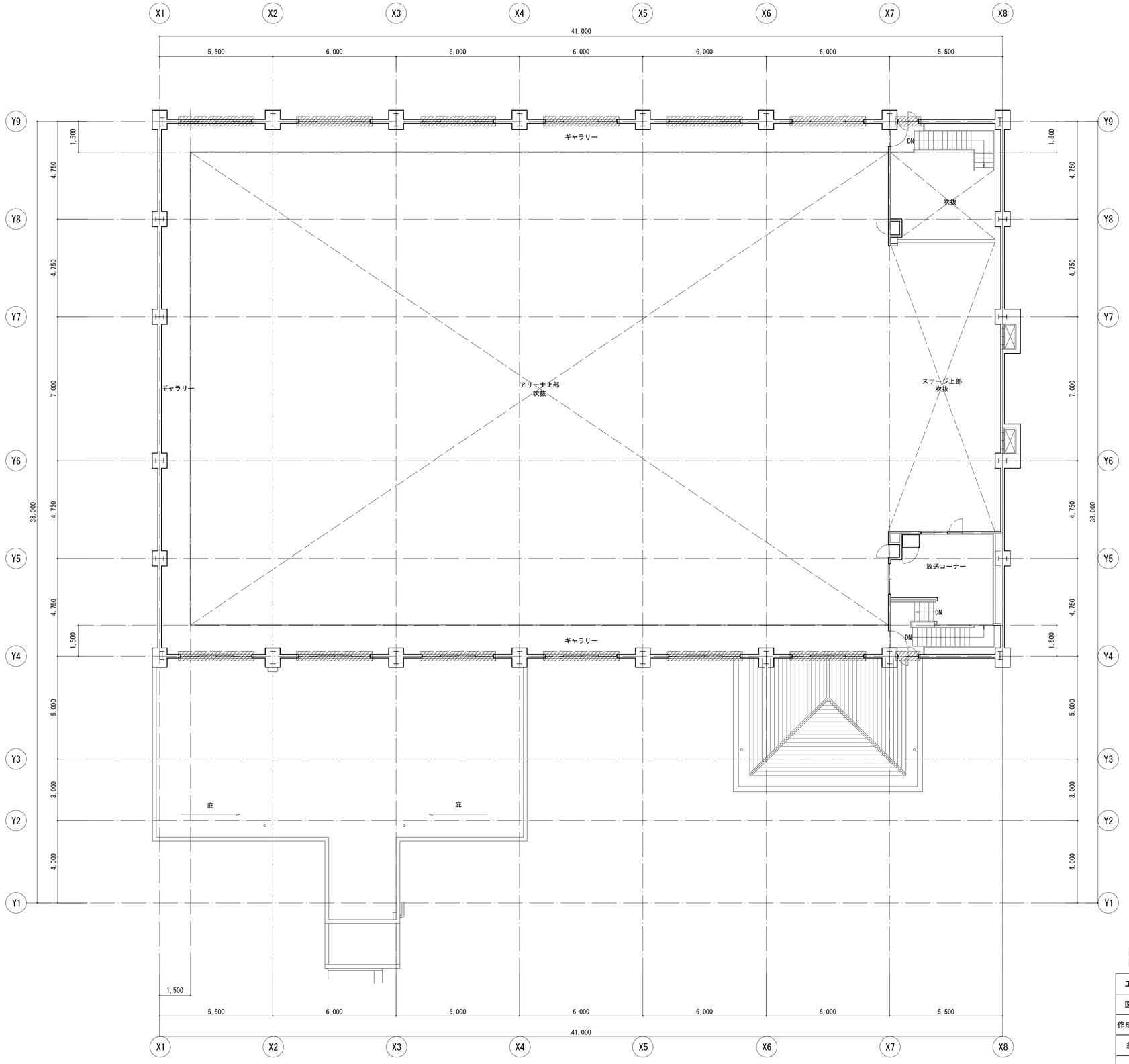


2階平面図　S=1:100

凡例

改修範囲を示す

工事名	松戸市立第二中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	2階平面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:100	図面番号	A-07
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



凡例

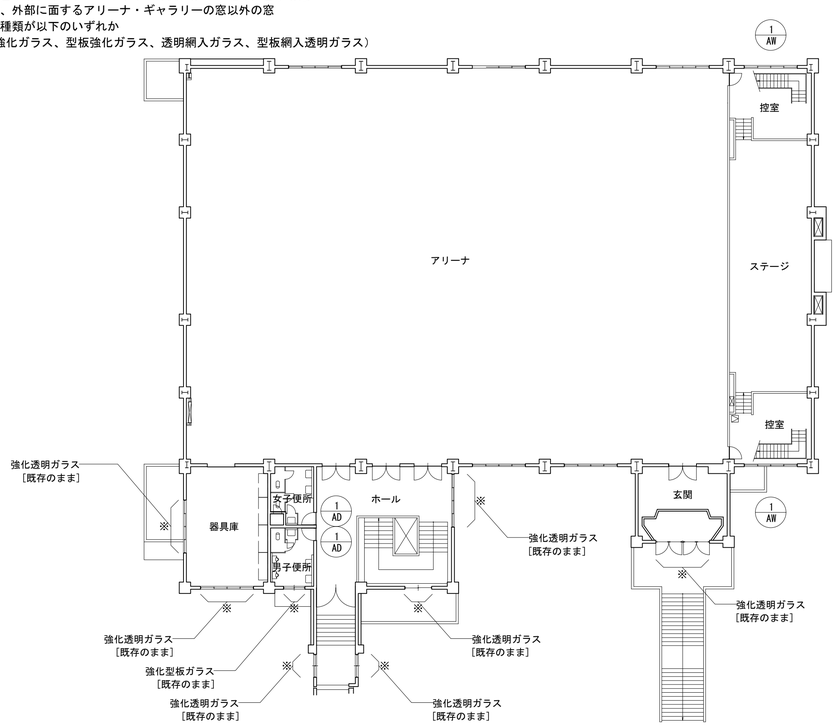
改修範囲を示す

3階平面図　S=1:100

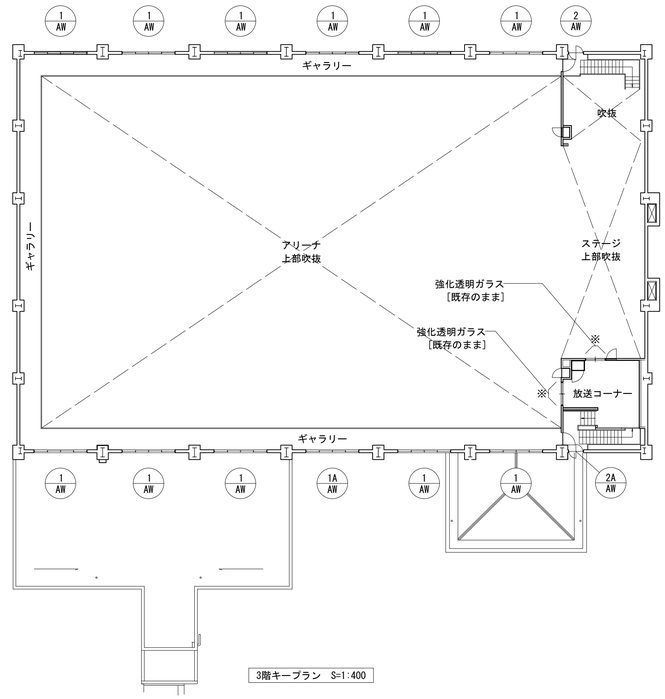
工事名	松戸市立第二中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	3階平面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:100	図面番号	A-08
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

改修前

※印：当該部分のガラスについては、以下の２条件に該当する場合、フィルムは施工せず、既存のままとする。
①外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓、かつ、北側に面する窓
または、外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓以外の窓
②ガラス種類が以下のいずれか
（透明強化ガラス、型板強化ガラス、透明網入ガラス、型板網入透明ガラス）



2階キープラン　S=1:400

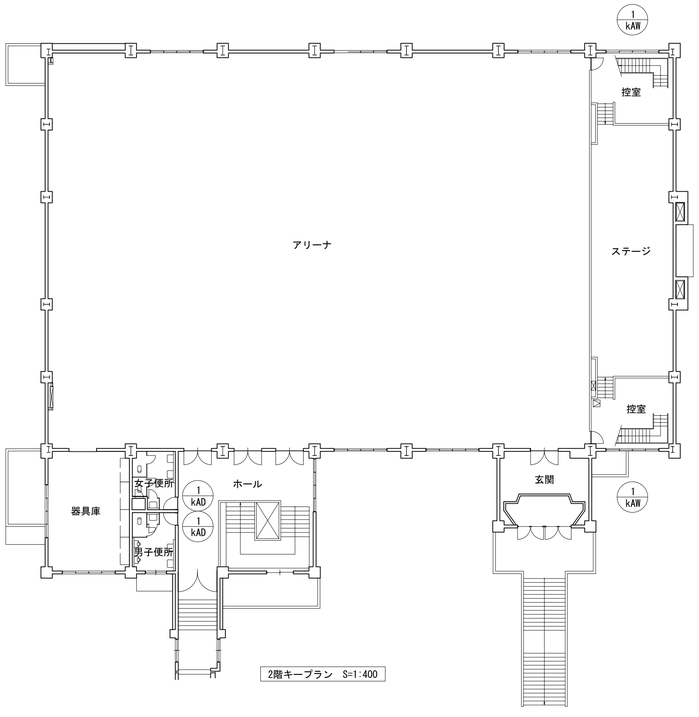


3階キープラン　S=1:400

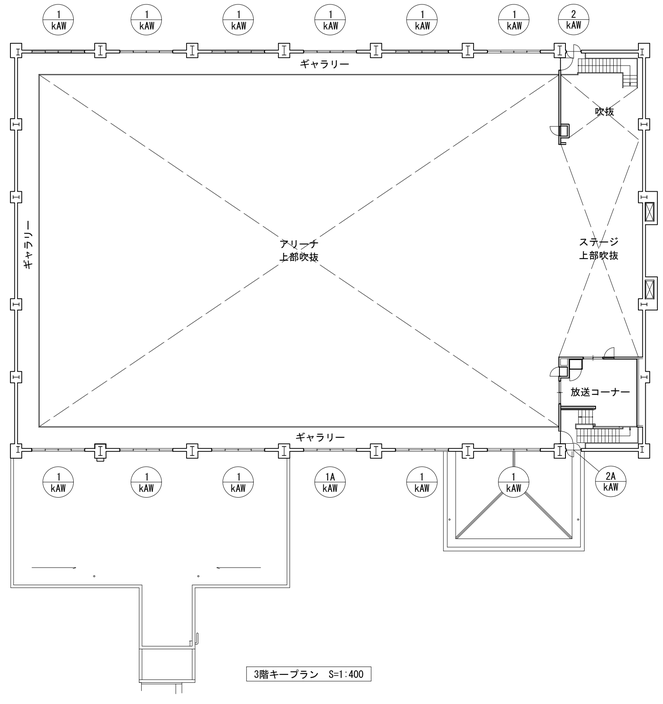
N

※ 既存建具を示す

改修後



2階キープラン　S=1:400



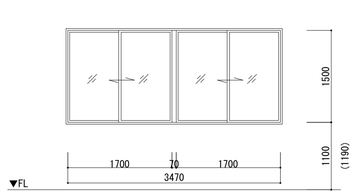
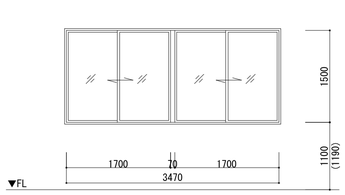
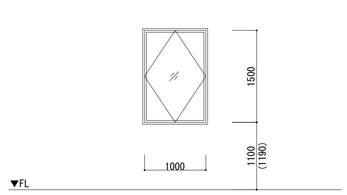
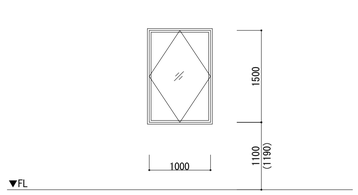
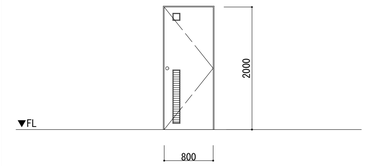
3階キープラン　S=1:400

N

※ 既存建具を示す

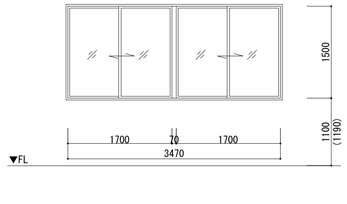
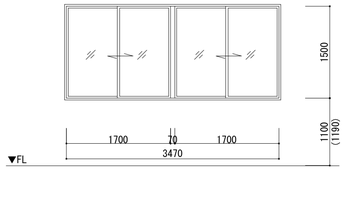
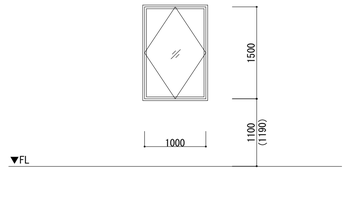
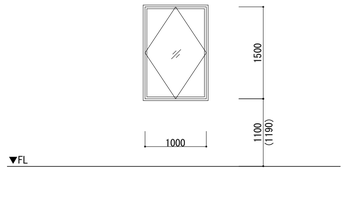
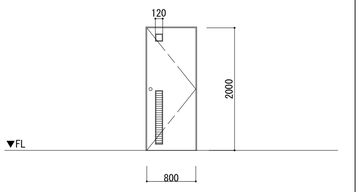
工事名	松戸市立第二中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修前・改修後 建具キープラン		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:400	図面番号	A-09
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

改修前

符号・数量	1 AW 控室、ギャラリー　数量 13	1A AW ギャラリー　数量 1	2 AW ギャラリー　数量 1	2A AW ギャラリー　数量 1	1 AD 2階便所　数量 2	
姿 図	（ ）内は、ギャラリー依りの腰高さを示す 	（ ）内は、ギャラリー依りの腰高さを示す 	（ ）内は、ギャラリー依りの腰高さを示す 	（ ）内は、ギャラリー依りの腰高さを示す 		
形　式	連窓引違い窓	連窓引違い窓	縦軸回転窓	縦軸回転窓	片開きフラッシュ戸	
材質・仕上	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込45　アルミ	
硝　子	網入透明ガラス　t=6.8	強化透明ガラス　t=5	網入透明ガラスt=6.8	強化透明ガラスt=5	型板ガラス　t=4	
付属金物	付属金物一式、四方枠取付用アングル・水切（アルミ）	付属金物一式、四方枠取付用アングル・水切（アルミ）	付属金物一式、四方枠取付用アングル・水切（アルミ）	付属金物一式、四方枠取付用アングル・水切（アルミ）　クレセント鍵付	付属金物一式、三方アルミ額縁付き、丁番、ドアクローザー、空錠、握玉	
撤去内容						

既存建具を示す

改修後

符号・数量	1 kAW 控室、ギャラリー　数量 13	1A kAW ギャラリー　数量 1	2 kAW ギャラリー　数量 1	2A kAD ギャラリー　数量 1	1 kAD 2階便所　数量 2	
姿 図	（ ）内は、ギャラリー依りの腰高さを示す 	（ ）内は、ギャラリー依りの腰高さを示す 	（ ）内は、ギャラリー依りの腰高さを示す 	（ ）内は、ギャラリー依りの腰高さを示す 		
形　式	連窓引違い窓	連窓引違い窓	縦軸回転窓	縦軸回転窓	片開きフラッシュ戸	
材質・仕上	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込45　アルミ	
硝　子	網入透明ガラス　t=6.8	強化透明ガラス　t=5	網入透明ガラスt=6.8	強化透明ガラスt=5	型板ガラス　t=4	
付属金物	付属金物一式、四方枠取付用アングル・水切（アルミ）	付属金物一式、四方枠取付用アングル・水切（アルミ）	付属金物一式、四方枠取付用アングル・水切（アルミ）	付属金物一式、四方枠取付用アングル・水切（アルミ）、クレセント鍵付	付属金物一式、三方アルミ額縁付き、丁番、ドアクローザー、空錠、握玉	
改修内容	網入透明ガラス③フィルム張[新設]　（内貼）	強化透明ガラス①フィルム張[新設]（内貼）	網入透明ガラス③フィルム張[新設]　（内貼）	強化透明ガラス①フィルム張[新設]（内貼）	型板ガラス⑥フィルム張[新設]（外貼）	

■遮熱・飛散防止フィルム貼り仕様一覧表（外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓）

既存硝子＼方角		東・西・南	北
透明硝子	内貼	① 遮熱フィルム 3M　NAN070S	⑤ 飛散防止フィルム 3M　SH2CLAR
型硝子	外貼	② 遮熱フィルム 3M　NAN070SX	⑥ 飛散防止フィルム 3M　SH2CLARX
● 強化透明硝子	内貼	① 遮熱フィルム 3M　NAN070S	既存のまま
強化型硝子	外貼	② 遮熱フィルム 3M　NAN070SX	既存のまま
● 網入り透明硝子	内貼	③ 遮熱フィルム 3M　NAN090S	既存のまま
網入り型硝子	外貼	④ 遮熱フィルム 3M　NANOMACRX	既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは3Mジャパン（株）同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、北側の強化硝子・網入り硝子に飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　：既存の網入り硝子が割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

■飛散フィルム貼り仕様一覧表

（外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓以外の窓・・・放送室、器具庫、控室、便所など）

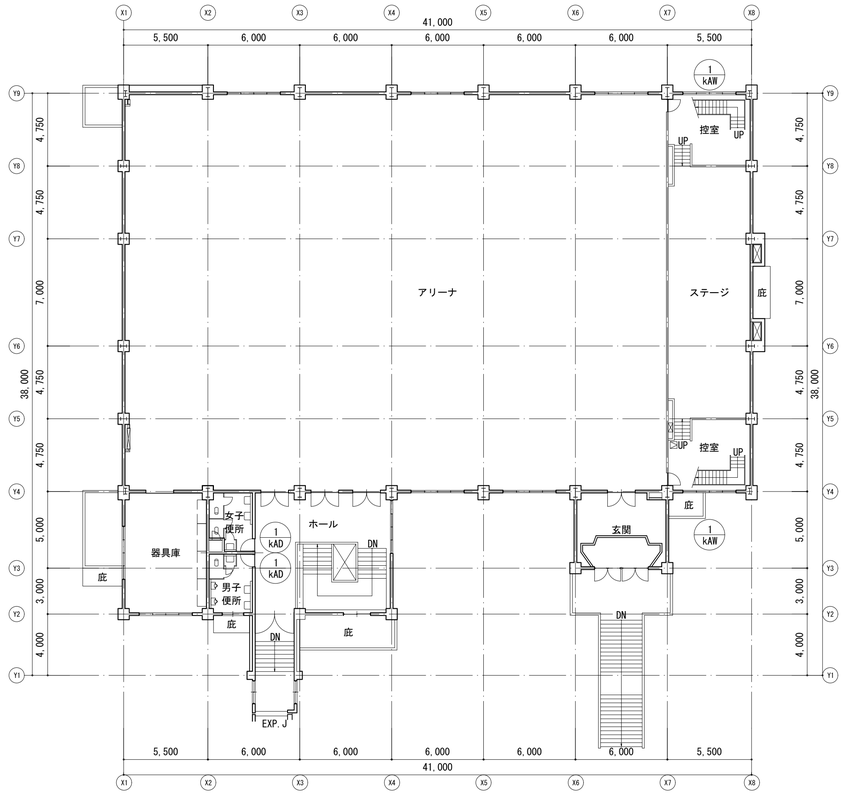
既存硝子＼		全方角・内部
透明硝子	内貼	⑤ 飛散防止フィルム 3M　SH2CLAR
● 型硝子	外貼	⑥ 飛散防止フィルム 3M　SH2CLARX
強化透明硝子	—	既存のまま
強化型硝子	—	既存のまま
網入り透明硝子	—	既存のまま
網入り型硝子	—	既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは3Mジャパン（株）同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、強化硝子・網入り硝子に飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　：既存の網入り硝子が割れている場合は同一硝子に交換する。

凡　例

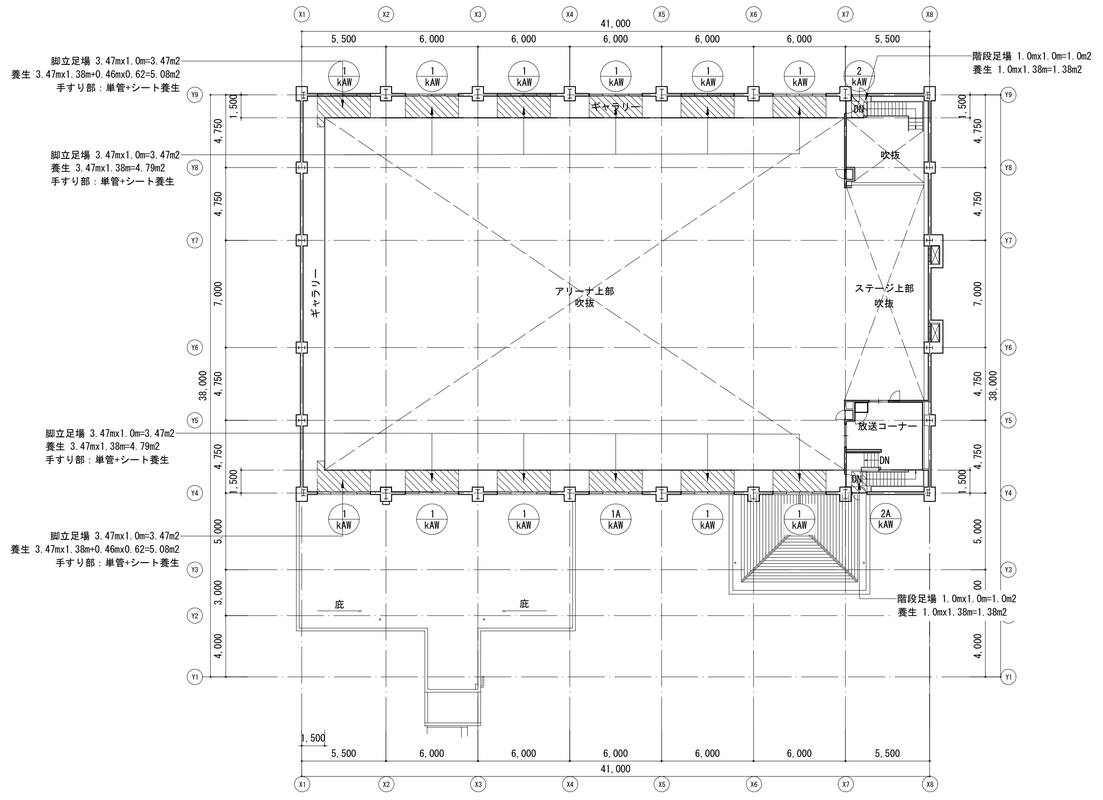
既存建具を示す

工事名	松戸市立第二中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修前・改修後 建具表		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	1:50	図面番号	A-10
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



2階平面図　S=1:200

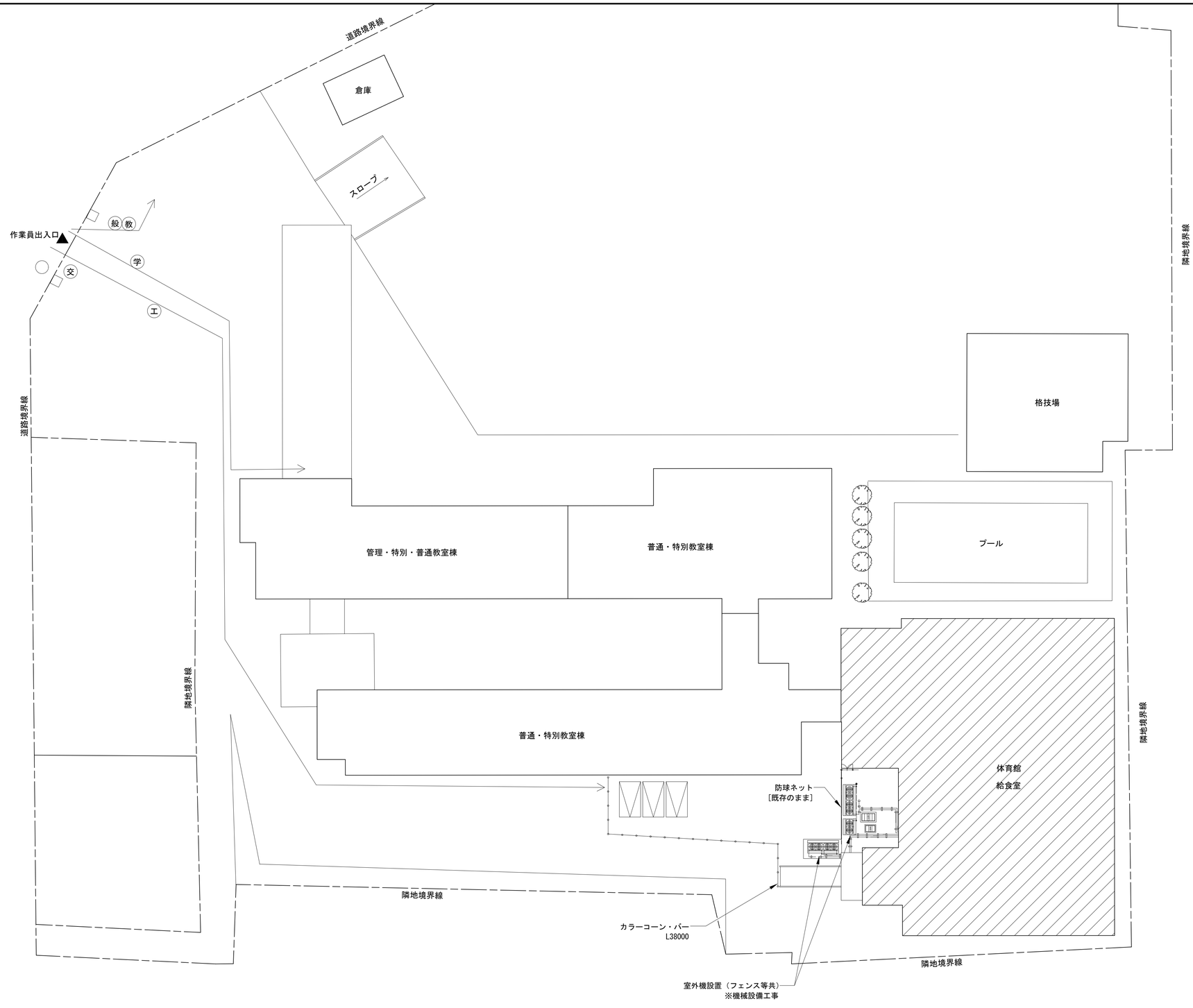
1階平面図　S=1:200



3階平面図　S=1:200

凡　例　表	
	養生・整理清掃（搬入路）
	養生・整理清掃（個別）

工事名	松戸市立第二中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	内部仮設計画図（案）		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	1:200	図面番号	A-11
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



N

凡　例　表	
▼	作業員出入口
交	交通誘導員
学	生徒・学校関係者を示す
教	教員車両を示す
般	一般車両を示す
工	工事車両を示す

＜全体仮設計画＞

1. 学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・バー）を設置する
2. 足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
3. 工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900x600程度を公衆の見やすい場所に設置
4. 工事に使用する重機は、低振動タイプのものとし低速走行にて振動を抑えるものとする
5. 工事に使用する揚重機（クレー車等）は、安全上十分なものを使用すること
6. 登下校時の車両の出入りはしないこと

＜特記事項＞

・本図面は参考図として工事を行う際に、必要な仮設を検討し、請負者負担で設置する
　こと。
・仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。

配置図　1：300

凡例　工事範囲を示す

工事名	松戸市立第二中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	外部仮設計画（案）		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	1:300	図面番号	A-12
設　計	株式会社　鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

松戸市立第三中学校体育館空調設備設置建築工事

図面リスト	
意匠図	
図面番号	図面名称
A-00	表紙・図面リスト
A-01	改修工事特記仕様書-1
A-02	改修工事特記仕様書-2
A-03	改修工事特記仕様書-3
A-04	改修工事特記仕様書-4
A-05	配置図・案内図・仕上表
A-06	1階平面図
A-07	2階平面図
A-08	改修前・改修後 建具表キープラン
A-09	改修前・改修後 建具表
A-10	部分詳細図
A-11	仮設計画図（案）

工事名	松戸市立第三中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	No Scale	図面番号	A-00
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

松戸市立第三中学校体育館空調設備設置建築工事

令和　７年　２月

仕　様　書

Ⅰ　工事概要

1. 工事場所　　松戸市馬橋２．０８０番地

2. 敷地面積　　19,533㎡

3. 改修建物概要
用　　途：中学校（体育館）
構　　造：S造
階　　数：地上２階
延べ面積：1,158㎡(アリーナ)

4. 工事内容

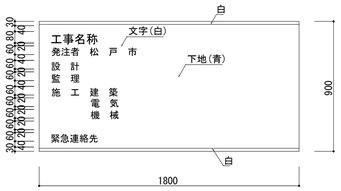
工事種目	工事範囲
2　仮設工事	足場設置・資材置場・ガードフェンス
3　防水改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴うシーリング
4　外壁改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴う仕上材塗替
5　建具改修工事	SDハンガードア 撤去・新設、ガラス改修工事（フィルム張を含む）
6　内装改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴う内壁 一部撤去・新設
7　塗装改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴う内壁塗装、SDハンガードア塗装
9　環境配慮改修工事	－
10　その他	－

Ⅱ建築工事仕様

1. 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様に記載されれいない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）(令和4年版)」(以下、「改修標仕」という。)及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「標仕」という)による。

2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、・印の付いたものを適用する。
・印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
・印と※印の付いた場合は共に適用する。
(3) 特記事項に記載の［　　］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(5) G 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。

松戸市建築工事現場表示板仕様



(1)材料
1) 耐水合板（ラワン厚み12mm SOP仕上げ）
2) 枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。

(2)注意事項
1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	①運用基準等	・松戸市建築工事に関する提出書類 ・工事写真の撮り方 建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ・松戸市建築工事現場表示板仕様
	②工事実績情報サービス（CORINS）への登録	※ 適用する　[1.1.4]
	③施工計画書	・工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。　[1.2.2] ・施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。 ・施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。 ・施工図等の内容を変更する必要が生じた場合は監督職員に報告する。
	4 電気保安技術者	・工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。　[1.3.3]
	⑤施工条件	※　現場説明書による　[1.3.5]
	⑥発生材の処理等	※ 現場説明書による　・場外搬出適正処理　[1.3.12]
	⑦材料の品質等	[1.4.2] 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 (3)安定的な供給が可能であること。 (4)法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。 (5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（(社)公共建築協会 他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
	8 化学物質を放散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 2)保温材、衝撃材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 3)接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ―2―エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 5)1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFoo規格品
	9 特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	⑩ 技能士	[1.6.2]

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	・鉄筋施工（鉄筋組立作業）
コンクリート工事	・型枠施工
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築　・ALCパネル施工
防水工事	・アスファルト防水工事作業　・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塗膜防水工事作業　・シーリング防水工事作業
石工事	・石材施工（石張り施工）
タイル工事	・タイル張り
木工事	・建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金（内外装板金作業）
金属工事	・内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）
左官工事	・左官
建具工事	・サッシ施工　・ガラス施工　・自動ドア施工　・鋼製建具施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工　・サッシ施工　・ガラス施工
塗装工事	・塗装（建築塗装作業）
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業　・ボード仕上げ工事作業 ・内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）・表装（壁装作業）
植栽工事	・造園

章	項　目	特　記　事　項
	11 化学物質の濃度測定	[1.6.9] 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定　・行う 測定対象室　・－ 測定箇所数　・－
	⑫ 完成図等	※作成する　・作成しない　[1.8.1～3][表1.8.1] ※完成図　ＣＡＤデータ
2 仮設工事	13 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。 分類・規格 / 撮影箇所数 外部(　)内部(　) / 撮影部数 ※1・6 / 原版の大きさ(mm) ※100×125以上 ・カラー　※キャピネ版　・ぺた焼き　・(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャピネ版)提出) ※カラー半切木製パネル 324×400(mm) 外部(　)内部(　) ※2 ・電子データ 外部(　)内部(　) ※2 ※200万画素以上 ※300dpi以上 100×125以上の原版を使う場合は、監督職員にあらかじめぺた焼を提出し確認を受ける。 電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)
	⑭ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。　[2.1.1]
	15 設計GL	※図示　・設計GL＝現状GL
	⑯ 工事写真	※着工前、完成写真2部　工事工程写真1部
	⑰ ワンデーレスポンスの実施	ワンデーレスポンスの取り組みについて 1. この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは 受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程 3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。 4. 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。
	⑱ 火災保険等	※火災保険等の証券等の写しを提出すること。
	① 足場その他	内部足場　種別　※脚立、足場板　・棚足場　[2.2.1] 外部足場　手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。　[2.2.1][表2.2.1] 屋根工事及び小屋組みの建方工事における墜落事故防止対策はJIS A 8971に基づき設置すること。 材料、撤去材等の運搬方法　[2.2.1][表2.2.1] ・A1種　※B種　・C種　・D種　・E種 ・定置する足場、作業構台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。
	② 養生	既存部分の養生　※ビニールシート　・合板　厚12　[2.3.1] 既存家具等の養生　※ビニールシート　・ 固定家具等の養生　※行う　・行わない
	3 仮設間仕切り	仮設間仕切り等の種類　[2.3.2][表2.3.1] 種別 / 下地 / 仕上材(厚さ mm) / 充てん材 / 塗装 ・A種 / ※軽量鉄骨 / ・合板(※9.0 ・ラワン　) / / ※無し ・B種 / ・木下地 / ※せっこうボード(※12.5 ・　) / 厚さ mm / ・片面 ・C種 / ・単管下地 / 防炎シート / / ・仮設扉 / ※木製扉 / ※合板張り程度 / / ※無し ・鋼製扉 / ※片面フラッシュ程度 / / ・有り
	4 監督職員事務所	規模及び仕上げの程度は現場説明書による。　[2.4.1]
	⑤ 工事用水	構内既存の施設　・利用できない　※利用できる(※有償　・無償)　[2.4.1] ※子メータを設置する。
	⑥ 工事電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる(※有償　・無償)　[2.4.1]
	7 防音パネル	※アルミ製(解体作業期間)
	8 仮門	・キャスターゲート　W= 3.0 m、H= 1.8 m、　箇所 ・キャスターゲート　W= 6.0 m、H= 1.8 m、1箇所
	⑨ 仮囲い	・万能鋼板　H= 2.0 m、L=　m、　箇所 ※成型鋼板　H= 2.0 m、L=　m、　箇所　・図示 ・ガードフェンス　H= 1.8 m　箇所　・図示
	10 仮設道路	・砕石敷(厚さ　mm　幅　mm) L=　m (砕石は、再生クラッシャランを使用) ・鋼板敷(厚さ　mm　幅　mm　L=　m)　枚
3 防水改修工事	1 アスファルト防水	[3.3.2][表3.1.1][表3.3.3～10] 防水改修工法の種類 / 施工箇所 / 新規防水層の種別 保護防水 ※P1B / ・P1B1　・T1B1 / ・B-1　※B-2 ・B-1　※B1-2 ・P2A1 / ・A1-1　※A1-2 水 ※P2A / ・A-1　※A-2 露出防水 ・M4C / ・C-1　※C-2 ・M3D　・P0D / ・D-1　※D-2 屋内防水 ・P1E　・P2E / ・E-1　※E-2 (保護層は図示による) アスファルトの種類　※3種　・4種　[3.2.2][3.3.2] 保護コンクリートのコンクリート種類　・普通コンクリート(18N/＊ S=18mm)　[3.3.2][8.11.1] (溶接金網　径6mm　100mm×100mm敷設) P0D工法の二重ドレン　※設けない　・設ける　[3.2.5] M3D、P0D工法の脱気装置　※設けない　・設ける　[3.3.3] 既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合)　・除去する　[3.2.6] 断熱工法の断熱材　厚さ(mm)　※25　・　[3.3.2] ただし、特定フロンを含まないもの。 立上り部の保護　[3.3.2] ・れんがの種類　※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形コンクリートブロックとする。 ・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ15mm
	2 改質アスファルトシート防水	[3.4.2][表3.1.1][表3.4.1～3] 防水改修工法の種類 / 施工箇所 / 新規防水層の種別 / 厚さ(mm) ・M4AS工法 / / ・AS-1　・AS-2　・AS-3 / ・M3AS工法 ・P0AS工法 / / ・AS-4　・AS-5　・AS-6 / ・M3ASI工法 ・M4ASI工法 ・P0ASI工法 / / ・ASI-1　・ASI-2 / 脱気装置　※設けない　・設ける
	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	[3.5.2][表3.1.1][表3.5.1～3] 防水改修工法の種類 / 施工箇所 / 新規防水層の種別 / 仕上げ塗料等 / 使用分類 ・P0S工法 / / ・S-F1　・S-M1 / ・カラー / ※非歩行 ・L3S工法 / / ・S-F2　・S-M2 / ・シルバー / ・軽歩行 ・S3S工法 / / / / ・M4S工法 / / ・S-M1　・S-M2 / / ・P0SI工法 / / ・SI-F1　・SI-M1 / / ・L3SI工法 / 講堂屋根 階段室A下り屋根 / ・SI-F2　・SI-M2 / / ・S4SI工法 / / ・SI-M3 / / 脱気装置　※設けない　・設ける　[3.5.3] 目地処理　PCコンクリート　[3.5.4]
	4 塗膜防水	[3.6.2～4][表3.1.1][表3.6.1] 防水改修工法の種類 / 施工箇所 / 新規防水層の種別 ・L4X工法 / ※図示 / ・X-1(絶縁工法) ・P0X工法 / / ・X-2(密着工法) 既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合)　・活膜を残す　[3.2.6] 脱気装置　※設けない　・設ける　[3.6.3]
	5 脱気装置	[3.3.2][3.4.2][3.5.2][3.6.2][表3.1.1] 種類 / 材質 / 設置数量 ・平面部脱気型 / ・ポリエチレン樹脂　・ABS樹脂　・ステンレス　・鋳鉄 / ・約50㎡当たり1箇所 ・立上り部脱気型 / ・合成ゴム　・塩化ビニル樹脂　・ステンレス　・銅 / ・(　　)㎡当たり1箇所
	⑥ シーリング	シーリング改修工法の種類　[3.1.4]　[表3.1.2] ・シーリング充填　・シーリング再充填工法　・シーリング打替え ・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所　[3.7.2]　[表3.7.1] ※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする 施工箇所 / シーリング材の種類　(記号) ・打ち継ぎ目地、伸縮目地 / ・ポリウレタン系(PU-2)仕上げあり ・新設建具廻り、金属取合い / ・変成シリコーン系(MS-2)仕上げなし ・ガラス廻り / ・シリコーン系(SR-1)
	7 とい	[3.8.2]　[表3.8.1] といの材種 ・配管用鋼管　※カラー硬質塩化ビニル管　・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU) G 鋼管製といの防露　[3.8.2]　[表3.8.3] ・次の箇所は行わない(　　) 防露材のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・ 掃除口　※有り　・無し　・ たてどい受金物の取付け　[3.8.3]
	8 アルミニウム製笠木	[3.9.2～3]　[表3.9.1] 種類 / 呼称肉厚(mm) / 製品幅(mm) / 固定間隔 / 備考 ・150形 / ※1.1程度 / ※150 / 固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの / 隅角部及び突き当り部等の役物は本体製造所の仕様による。 ・300形 / ※1.8以上 / ※300 ・350形 / ※2.0以上 / ※350 板材折曲げ形の取付工法　・図示　[3.9.3]
	9 折板葺	(13.3.2～3) 形式 / ※重ね形　・はぜ締め形　・ 形状(mm) / 山高(　)　山ピッチ(　)　板厚　・0.6　※0.8 材料(規格等) / ※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(GGLCCR-20-AZ150) 軒先面戸板 / ※有り　・無し 断熱材 / ・有り(種別：　厚さ：　mm)　※無し 耐火性能 / ・30分耐火　※無し
	⑩ 保証期間	※ 10年保証とする。
4 外壁改修工事 共通事項	① 施工数量調査	調査範囲　※外壁改修範囲　・図示の範囲　[1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。　また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び剥落を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。 調査報告書の部数　※2部　・ 既存塗装面外壁補修想定数量 補修項目 / 外壁 ひび割れ 0.2mm未満 / ４．０ｍ ひび割れ 0.2mm以上 / ４．０ｍ 欠損部（100×100程度） / １２箇所 一般部浮き / ２．０㎡ 塗膜脆弱部(既存塗膜除去部) / ４．５㎡

工事名	松戸市立第三中学校体育館空調設備設置建築工事
図面名	改修工事特記仕様書-1
作成年月日	令和7年2月10日
変更年月日	－
縮尺	No Scale
図面番号	A-01
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号
松戸市　街づくり部　建築保全課	

章	項目	特記事項
4 外壁改修工事 共通事項	②改修材料	⊙既製調合モルタル

保水率 (%)	単位容積質量 (kg/l)	接着強さ(N/*) 標準時	接着強さ(N/*) 温冷繰り返し後	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/*)
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上

⊙パテ状エポキシ樹脂

初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0N/*以上	6.0N/*以上	50.0N/*以上	30.0N/*以上	3.0(%)以上

a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・可とう性エポキシ樹脂

性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性
引張強さ	1.0N/*以上	1.0N/*以上	1.0N/*以上	最大引張応力 1.0N/*以上
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10.0%以上

比重　表示値±0.10
押出し性　60秒以下
スランプ　3mm以下
加熱減量　5%以下
a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・タイル部分張替え工法用材料

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度(N/*)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
凝集破壊率(%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ(N/*)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上
伸び(%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上

貯蔵安定性　容積と粘土に著しい変化がないこと。
耐熱性　JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。
a.外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.タイル、石材、下地等侵すものでないこと。
c.「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。
e.ずれ抵抗性があること。
f.混錬終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。

⊙エポキシ樹脂モルタル

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0N/*以上	20.0N/*以上	10.0N/*以上

a.こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。
b.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
c.「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。
d.形状に異常が無く、垂れが生じないこと。
e.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。

⊙ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの種類
合成ゴム系、アクリル系、エチレン一酢ビ系等

曲げ強さ (N/*)	圧縮強さ (N/*)	接着強さ(N/*) 標準時	接着強さ(N/*) 湿潤時	接着強さ(N/*) 低温時
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態　垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。
透水性　裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
3以上	3.0%以下	0.5N/*以上	5.0N/*以上	15%以下	6.0N/*以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

・吸水調整材

項目	全固形分(%)	吸水性(g)	接着強度(N/*)	界面破断率 (%)
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁	①ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※製造所の仕様による	
⊙手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※ 50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り) ※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法：)

⊙Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	品質・規格等	備考
⊙シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタル充填
	ポリウレタン系シーリング材	※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

⊙シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6]
⊙パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

	②欠損部改修工法 (鉄筋爆裂補修含む)	⊙充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ⊙エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ポリマーセメントモルタル
	③浮き部改修工法	⊙アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法(16本/㎡) [4.1.4][4.4.10] (モルタル笠木・パラペット天端部分)
	4 巾木モルタル塗	・樹脂モルタル T3

4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	1 既存モルタル塗りの撤去	・行う(※監督職員の指示による)
	2 ひび割れ部改修工法	・既存モルタル撤去工法(範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)

※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.2][4.4.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300		
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り) ※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法：)

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIS A 6024	

・シール工法(亀裂が0.2mm未満) [4.1.4][4.2.2][4.4.7]
(※既存モルタル面 →既存躯体コンクリート面)。
・パテ状エポキシ樹脂(JIA A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [4.2.2][4.6.3]
(※シール工法の範囲 ・監督職員の指示による)

3 欠損部改修工法 ・既存モルタル面の欠損部 [4.1.4][4.4.8～9]

改修工法の種類	材料	品質・規格等
・充填工法	エポキシ樹脂モルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕4.2.2(7)による	塗り厚25mmを超える場合の補強
		※行う ・行わない ・図示

4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ※狭幅部：5本/m	※25	※狭幅部：5本/m		※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml

アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。

5 巾木モルタル塗 ・樹脂モルタル T3

4-3 外壁改修工事 タイル仕上げ外壁	1 既存タイル張りの撤去	・外壁タイル張り全面 ・部分撤去 [4.5.2] 撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張り付けモルタルまで ・タイルのみ
	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面(・コンクリート面 ・モルタル面)

※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り) ※行わない [4.3.4]
・行う(抜き取り部の補修方法：)

・Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

	3 欠損部改修工法 (鉄筋爆裂補修含む)	・充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ・エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ポリマーセメントモルタル

4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	①既存塗装等の撤去及び下地処理	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※補強範囲 図示	・ひび割れ部改修工法
※高圧水洗工法 加圧力 ※12MPa程度	※塗替え範囲 図示	・浮き部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	・欠損部改修工法
・水洗いし法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

塗装はく離剤 [4.2.2]

②下地調整材 ※下地調整材C-1 (既存塗装除去部分) [4.2.2][4.6.3]
※微弾性フィラー (既存吹付タイル面・既存複層塗材面)
[4.2.2][4.6.3]

③仕上げ塗材仕上げ 種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4]

種類	呼び名	仕上げの形状	上塗材の種類
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・砂壁状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 ・凸凹状 ・平たん状	耐候性 ※耐候形3種 ・耐候形1種 溶媒 ※水系 ・弱溶剤系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ウレタン系 ⊙シリコン系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材 ※行う
⊙複層仕上塗材(既存塗装除去部分)	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材Si ⊙複層塗材E ・複層塗材RE ・複層塗材RS ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	⊙ゆず肌状 ・凸部処理 ・凸凹状	
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ※ゆず肌状	

防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2](15.6.2)
※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。
※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。

4 その他の仕上げ
・基礎巾木仕上塗材 ※エスケー化研㈱ ベースプロテクト同等品とする ※菊水化学工業㈱ 基礎ｶﾞｰﾄﾞ同等品とする
・水性反応硬化形軒天用仕上塗材 ※エスケー化研㈱ ノキフレッシュ同等品とする ※菊水化学工業㈱ ノキテンファイン同等品とする
・ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し保護仕上げ塗材 ※エスケー化研㈱ セラミRC-FR工法同等品とする

5 下地処理 サンダーケレンの上、モルタル薄塗 [4.2.2][4.6.3]

6 タイルクリーニング 工業用塩酸

5 建具改修工事	①改修工法の適用	[5.1.3]

種類	かぶせ工法	撤去工法	備考
・アルミニウム製建具	・有り	・有り	
⊙鋼製建具 ⊙外部	・有り	⊙有り	
・内部			
・鋼製軽量建具			
・ステンレス製建具			
・自動ドア開閉装置			
・重量シャッター			

	2 見本の製作等	・特殊な建具の仮組(建具符号 :) [5.1.5]

3 アルミ製建具 外部に面する建具 [5.2.2][表5.2.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	・図示
・B種	S-5	・	・	・100	
・C種	S-6	A-4	W-5	100	

章	項目	特記事項
		表面処理 [5.2.4][表5.2.2] ・BA-1種 ・BA-2種(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
		屋内建具 表面処理 ※C-1種又はB-1種 [5.2.4][表5.2.2] ・C-2種又はB-2種(ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
	4 網戸	防虫網 [5.2.3] 網の種別 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ※ステンレス(SUS316)製 形式 ・外部可動式 ※固定式
	⑤鋼製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1] 耐風圧性能の適用は建具表による 特定防火設備戸 ・適用する [5.4.4]
	6 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1～2]
	7 ステンレス製建具	簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による 表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・適用する [5.1.4]
	8 自動ドア開閉装置	※製造所標準製作の規定寸法許容差による [5.8.2～4][表5.8.1～5]

開閉方法	検出装置の種類
※引き戸	・光線(反射)センサー ・熱線センサー
・多機能トイレ出入口引き戸	・音波センサー ・光電センサー ・タッチスイッチ
	・押しボタンスイッチ ・多機能トイレスイッチ

・凍結防止装置(適用箇所は建具表による)

	9 自閉式上吊り引戸装置	品質規格 ※改修標仕5.9.3による。 [5.9.3][表5.9.1] ・製造所標準仕様による。
	10 木製建具	※建具表による。 かまち戸の樹種 かまち( ) 鏡板( ) (16.7.2)(表16.7.2) ふすまの上張り ※新鳥の子程度又はビニル紙程度(押入れ等の裏面は除く) (表16.7.3) ・鳥の子 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.7.2) ※F☆☆☆ ・非ホルムアルデヒド系接着剤
	⑪建具用金物	マスターキー ・製作する ※製作しない [5.7.4] 建具用金物 [5.7.2][表5.7.1～3] 錠類はシリンダー箱錠(レバーハンドル)とする。 なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。 ⊙図示による 吊金物 ・丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい) ・ピボットヒンジ
	12 ガラス	建具表による [5.13.2] ・ガラスブロック 改修標仕5.13.5 [5.13.5]

寸法(mm)	色調	パターン	防火認定
	※クリア ・熱線反射		※無し
	・乳白 ・カラー( )		・有り

	13 ガラス留め材及び溝	ガラス留め材 [5.13.2～3]

建具の種類	種類
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット(FIX部はシーリング材)
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。

⑭ガラス用フィルム	名称	種類	張り面	性能値
	※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D1
	・目かくしフィルム			
	⊙遮熱フィルム	第2種	※内張り ⊙外張り	飛散防止性能あり

品質JIS A 5759による
建具表による [5.13.2]

15 重量シャッター	[5.10.2][表5.10.1]

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能( )N/㎡
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能( )N/㎡
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

品質JIS A 4705による
開閉機能
※上部電動式(手動併用) ・上部手動式
危害防止機構 ※障害物感知装置(自動開鎖型) [5.10.2]
・シャッターの二段降下式
一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない [5.10.2]

16 軽量シャッター	[5.11.2][表5.10.1]

開閉形式
※手動式 ・上部電動式(手動併用)
スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 [5.11.3]
形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4]
ガイドレール等 [表5.10.2]
※鋼板製 ・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm)
耐風圧性能( )N/㎡

工事名	松戸市立第三中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修工事特記仕様書-2		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮尺	No Scale	図面番号	A-02
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

5 建具改修工事

17 オーバーヘッドドア [5.13.2〜5][表5.13.1〜2]

セクション材料による区分	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ	※バランス式	・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	・ステンレス鋼板
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	(SUS304)
		・バーチカル形	

耐風圧性能(　　)N/㎡　JIS A 4715

18 かぎ箱

市販品

形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

6 内装改修工事

① 改修範囲 [6.1.3]

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。

・図示の範囲

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲

※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。

・図示の範囲

天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修

※既存のまま。

・図示の範囲

2 既存床の撤去並びに下地補修 [6.2.2]

ビニル床シート等の除去　※仕上げ材のみ(接着剤とも)

・鋼製床組下地とも(※図示の範囲　・除去範囲全て)

カラードフロアの撤去　・機械的除去工法　・目荒し工法

改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の案内　・

3 既存壁の撤去並びに下地補修 [6.3.2][4.3.10]

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修

・図示

・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強　※行う　・行わない)

④ 木下地等 (AP-1、2) [6.5.2][表6.5.1]

木材の品質　図示

※改修標準仕様書6.5.2による　・市販品

代用樹種　※改修標仕表6.5.4による [6.5.2][表6.5.2]

・代用樹種を適用しない箇所(　　)

保存処理木材を適用する箇所(　　)

⑤ 集成材等 Ⓖ (額縁等) [6.5.2]

品　名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・米栂　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	・1種　※2種　・3種	・	
・造作用集成材	※1等　・2等	・タモ	
・化粧ばり造作用集成材	※1等　・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

⑥ 接着剤 [6.5.3]

※F☆☆☆☆

・非ホルムアルデヒド系接着剤

7 防腐、防蟻処理 [6.5.5]

行う箇所(　　)

防腐処理　※行う(※図示　　)

防蟻処理　・行う(※図示　　)

防腐、防蟻処理の種類、品質

表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。

8 床板張り フローリング及び縁甲板張り床 [6.5.8][6.11.2][表6.5.8]

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合　板	t12mm
		・パーティクルボード	t15mm
床板	※単層フローリング(共仕19.5.2による)		ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆　・
	・縁甲板		※ひのき

※フクビ　フリーフロアCP-F同等品

9 軽量鉄骨天井下地 野縁等の種類 [6.6.2][表6.6.1〜2]

屋外(・19形 ※25形)　屋内(※19形　・25形　※角スタッド工法 65形)

既存の埋込みインサート　・使用する ※使用しない [6.6.4]

あと施工アンカーの確認試験　・行う ※行わない

10 軽量鉄骨壁下地 スタッドの高さが5mを超える場合　※図示 [6.7.3][表6.7.1]

11 ビニル床シート張り [6.8.2]

種　類	JISの記号	色　柄	厚さ(mm)
※発砲層のないもの	※NC　・	※無地　・マーブル柄	※2.5
・発砲層のあるもの		※柄物　・無地	
・防滑性ビニル床シート	・NF　・NC	・柄物　・無地	・2.5
・防汚性ビニルシート			・2.0

工法　※熱溶接工法　・突付け(施工箇所:　　) [6.8.3]

・防汚性ビニルシート：下記同等品とする。

ロンシール工業㈱ヤニタリウム　t=2.0

タキロンシーアイ㈱ネオクリーン　t=2.0

東リ㈱消臭ＮＳトワレＮＷ　t=2.0

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

12 ビニル床タイル張り [6.8.2]

種　類	JISの記号	厚さ(mm)	備　考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS		
・ホモジニアスビニル床タイル	HT		

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

13 帯電防止床タイル張り [6.8.2]

種　類	厚さ(mm)	性　能
※コンポジションビニル床タイル	※2　・	体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	1.0×10⁷Ω以下、または、
		漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
		1.0×10⁷Ω未満

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

14 視覚障害者用床タイル(誘導用及び注意喚起用床材) [6.8.2]

ブロックパターンはJIS T 9251による

色彩は黄色を原則とする。

屋内　※塩化ビニル製　・磁器又は石器質タイル(※300　・　　)

・レンジコンクリート製

屋外　※レンジコンクリート製　・磁器又は石器質タイル(※300　・　　)

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

15 ビニル幅木 [6.8.2]

高さ　(mm)　・60　・75　・100

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

16 合成樹脂塗床 [6.10.2〜3][表6.10.1〜8]

種　類	仕上の種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ工法(※平滑　・防滑)
	・厚膜流しのべ工法(※平滑　・防滑)
	・樹脂モルタル工法(※平滑　・防滑)
	・薄膜型塗床工法(※平滑)

ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970　※F☆☆☆☆　・

17 フローリング張り [6.11.2〜7][表6.11.1〜6]

種　別	材　種	工　法	仕上塗装等	備考
・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品	
・大型積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
・単層フローリング	・ブナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
	・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品	
・フローリングブロック	・ブナ	・直張り	※塗装品	

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

18 畳敷き [6.12.2〜3][表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
改修標仕 表6.5.10による床組	※B種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種　・

19 ポリスチレンフォーム床下地材 畳下地　厚さ(mm)　※40　・65　・80

フローリング類　厚さ(mm)　※80　・95

20 カーペット敷き

・織じゅうたん [6.9.2〜3][表6.9.1〜2]

種　別	パイル糸の種類	帯電性	色柄等	備考
・A種	・そ毛糸	人体帯電圧	※無地	
・B種	・紡毛糸	※3kV以下	・柄物(標準品)	
・C種	・紡毛糸			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タフテッドカーペット(JIS L 4405) [6.9.2〜3][表6.9.1〜2]

パイル形状	パイル長(mm)	工　法	備考
・カットパイル	※5〜7　・	※全面接着工法	
	※4〜6　・	・グリッパー工法	
・レベルループパイル	※4　・		
・カット、ループ併用			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タイルカーペット [6.9.2〜3][表6.9.1〜2]

パイル形状	種　類	規　格	総厚さ(mm)	備　考
※ループパイル	※第一種	※500×500	※6.5	
	・第二種			
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下(フリーアクセスフロア新設範囲)

21 石膏ボードその他のボード張り [6.13.2][表6.13.1]

種　類	厚さ(mm)　規格
・硬質木毛セメント板 Ⓖ	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板 Ⓖ	・15　・20　・25　・
・ケイ酸カルシウム板	タイプ2(無石綿)　(・6　・8　・　)
・ロックウール化粧吸音板	※フラットタイプ (※9(不燃)　・12　・　) ・凸凹タイプ (※12(不燃)　・15　・19　・　)
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)	※フラットタイプ9(不燃) ・凸凹タイプ(※12　・15)(不燃)
・せっこうボード	・12.5(不燃)・9.5(準不燃)
・不燃積層せっこうボード	9.5(不燃)・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)
・シージングせっこうボード	・12.5(不燃)・9.5(不燃)
・強化せっこうボード	・12.5(不燃)・21.0(不燃)
・せっこうラスボード	・9.5　・12.5
・化粧せっこうボード	・9.5(準不燃)
・化粧せっこうボード(木目)	・12.5(不燃)幅440mm程度 模様(※柾目　・板目)専用下地材付き
・難燃合板 Ⓖ	・生地、透明塗料塗り(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗り(ラワン合板程度)厚さ・12
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による　厚さ　・4.0
・ミディアムデンシティファイバーボード Ⓖ	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード Ⓖ	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボーイ(素地) Ⓖ ※規制対象外　・第三種	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・研磨板　(・スタンダード　・テンパード)
・インシュレーションボード Ⓖ	A級(・天井仕上　・内装仕上　・　) ・9　・12　・15　・18　・
・フレキシブル板	厚さ　・5.0
・(有孔)シナ合板	厚さ　・5.0

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材

・適用する　※適用しない

22 吸音材 [表6.13.1]

種　類	規格番号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	JIS A 6301	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	JIS A 6301	※25　・

23 壁紙張り(掲示用クロス) [6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維(織物)	プラ(ビニル)	その他(化学繊維)	紙	防火性能	備　考
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	

下地調整 [6.14.3][表7.2.4][表7.2.7]

モルタル、プラスター面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)

せっこうボード面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)

壁紙のホルムアルデヒドの放散量　F☆☆☆☆ [6.14.2]

サンゲツ・リリカラー製品同等品とする。

24 モルタル塗り 吸水調整材 [6.15.3]

全面形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/㎟)	界面破断率(%)
表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)

防水剤の種類　建築用モルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間		曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント質量の5%	JIS R 5201の試験において		70%以上	95%以上	80%以上
以下	始発　1時間以上				
	終結　10時間以内				

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。

既製目地材　※適用しない　・適用する

25 タイル張り タイルの種類 [6.16.3]

施工箇所	形状寸法	きじ 磁器	きじ 石器	きじ 陶器	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 有り	役物 無し	色 標準	色 特注	再生材の適用 Ⓖ	備考

役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする。

タイルの見本焼き　※行わない　・行う(※外装タイル　・　　)

内装タイル　※内装タイル接着剤張り　JIS A 5548 有機系接着剤

接着剤のホルムアルデヒド　※F☆☆☆☆　・

26 セルフレベリング材塗り セルフレベリング材の種類 [6.17.2][表6.17.1]

種類	フロー値(cm)	凝結時間 始発(分)	凝結時間 終結(時間)	圧縮強度(N/㎟)	下地接着強度(N/㎟)	表面接着強度(N/㎟)	長さ変化(%)	衝　撃	備　考
せっこう系	19以上	45以上	20以上	15以上	0.5以上	0.4以上	0.05以下	割れ及び剥がれないこと	
セメント系				20以上	0.7以上	0.5以上	0.12以下		

試験方法：日本建築学会品質規準JASS 15 M-103による。

27 断熱材 (19.9.2〜3)

種類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	※25 ・100	特定フロンを使用しないもの
	※3種b (スキン層付)	・接地部分	※25	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	——	特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級　・2級
		・一般部	※25	

JIS A 9521に基づく発砲プラスチック

断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。

28 浴室天井材 市販品

材　質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	・準不燃品	※200	廻縁は縞付きとし製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	・塗装品 ・木目調		※300 ・100	

29 フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	構　法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。

表面仕上げ材の品質・規格等は各内装工事による。

スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示

コンセント等の取付対応　※製造所の標準仕様　(コンセント本体は別途設備工事)

コンセントの箇所数は図示

配線用取出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1箇所以上

フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合

※20〜30パーセント　・

空調用吹き出しパネル　※無し

・有り(※固定式　・可変式　：施工箇所は図示)

30 可動間仕切 (20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式		※鋼板	※メラミン樹脂又は	・有り	・有り
・スタッドパネル式		(※0.6　・0.8)	アクリル樹脂焼付	(　)	・無し
・パネル式		・		・無し	

遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する。

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

31 移動間仕切 (20.2.4)

遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ (36db以上)		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は「23壁紙張り」による。

32 トイレブース 表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板 t40(アルミ製コーナーエッジ付き　指詰め防止) (20.2.5)

※紙巻器設置位置については下地補強を行うこと。

・特殊UV塗装硬質セメント板(標準色　アルミ製コーナーエッジ(ステンカラー)付き)

笠　木　※アルミ製　・ステンレス製

足形状　※幅木タイプ(ステンレス製)　・足金物タイプ

※防水型(ステンレス巻き)

33 階段滑り止め 材　種　ステンレスSUS304 (20.2.6)

形　状　ビニルタイヤ入り

両端フラットエンド　※有り(・ステンレス製　※ビニル製)　・無し

幅(mm)　約35

取付工法　※接着工法　・埋込工法

34 手すり

種　別	施工箇所
※笠木受け：アルミ押出形材	スロープ
笠木：半硬質耐候製樹脂 二層成形φ40mm	
・樹脂被覆Φ34	

35 黒板及びホワイトボード (20.2.8)

種　類		寸　法(mm)	色　彩	備　考
・黒板	※焼付		※緑　・黒	・平面　※曲面
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面

36 表示 衝突防止表示　・図示(市販品　・ステンレス製　径約30mm　・　　) (20.2.10)

(　・両面　・片面　)

・無し

表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210による。

誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。

製造所　監督職員の承諾する製造所。

37 ブラインド

・既存再使用する(養生方法:　　) [2.3.1][5.1.6]

・新設する (20.2.12)

形　式	種　類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横形	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
・縦形	・1本操作コード	・アルミスラット	・80
	※2本操作コード	・クロススラット	・100

38 ロールスクリーン 防炎性能　※有り

製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する (20.2.13)

施工箇所	装　置 電動	装　置 手引	性　能 防炎性能	備　考

39 カーテン(暗幕、緞帳等)

・既存再使用する(養生方法：取外し再取付) [2.3.1][5.1.6]

・新設する (20.2.14)

施工箇所	形　式 片引	形　式 引分	装　置 電動	装　置 ひも引	装　置 手引	ひだの種類	性　能	備　考

40 カーテンレール ・既存再使用する [5.1.6]

・新設する (20.2.14)

材　種　JIS A 4802 ・アルミニウム製　※ステンレス製

形　式　・片引き　・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)

41 カーテンボックス及びブラインドボックス ※既存再使用する。 [5.1.6]

・新設する。

・市販品(アルミニウム製)

溝幅×深さ(mm)　・90×150　※120×150　・150×80　・

色　彩　※B-1　・B-2(※ブラウン　・ブラック　・ステンレスカラー)

※図示

41 天井点検口 材　質　※アルミニウム製(※額縁タイプ　・目地タイプ)　・既存取外し、再取付

42 床点検口 材　質　・アルミニウム製(受け枠　※アルミ製　・ステンレス製)

・ステンレス製(受け枠　・ステンレス製(防水、防臭型))

43 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	耐荷重による種類

44 流し台ユニット

種　類	寸法(L=　mm)	適用内容	規格・品質等
・流し台	・900　・1200　・1500	・トラップ付き	
・コンロ台	・600　・700	・バックガード　・有り	
・吊り戸棚	・1200　・900　・600		
・水切り棚	・1200　・900	・トラップ付き	
・作業台	・900　・1200　・1500		

45 屋内掲示板 枠の材質　※アルミニウム製

表面の材質　※塩ビ発砲シート張り　・

46 ライニング天板 材　種　・メラミン樹脂化粧板張り(芯材：集成材)　・人工大理石

奥行き(mm)　※図示

47 用具入れ 材質　メラミン樹脂系化粧板 (12.2.2)(19.7.2)

形状、寸法　※図示

合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

49 室名札等

・突出し型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(　　箇所)

・平付け型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(　　箇所)

・ピクトサイン　材質：ｱﾙﾐ　ｱﾙﾏｲﾄｼﾙﾊﾞｰ、絵柄：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：200×200　(　7　箇所)

・階数表示　材質：ｽﾃﾝﾚｽ　ﾍｱﾗｲﾝ、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ150×150　(　　箇所)

50 鋼製床下地(体育館用) 部材規格　大引き、根太鋼：※JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板、亜鉛付着量Z12以上)

U字金具、支持台：※JIS G 3302SGHCと同等以上(亜鉛付着量Z12以上)

緩衝材：※JIS K 6385(A種防振ゴム)

※三洋工業㈱ スリーベース101タイプ同等品とする。

51 アルミ製移動階段 ・セノー㈱　HE9724(アルミ合金製、アルマイト処理焼付塗装)同等品とする。

52 救助袋 ・垂直式　○階用

工事名	松戸市立第三中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修工事特記仕様書-3		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	—
縮　尺	No Scale	図面番号	A-03
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		

松戸市　街づくり部　建築保全課

7 塗装改修工事

①材料 [7.1.2～3]

塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。
屋内で使用する場合のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は監督職員と協議する。 [7.1.8]

②下地調整 [7.2.2～7][表7.2.1～7]

下地面の種類	下地調整の種別	備　考
木部	・RA種 ※RB種	新規面はRA種
鉄鋼面	・RA種 ※RB種	
亜鉛めっき鋼面	・RA種 ※RB種	
モルタル、プラスター面	・RA種 ※RB種	
コンクリート、ALC及び押出成形	・RA種 ※RB種	
セメント板面	・RA種 ※RB種	
せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種	

既存下地面等のひび割れ部補修 [表7.2.5～6]
※行う　・行わない
※錆止め　JIS K 5674

3 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) [7.5.2][表7.5.1]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
木部	・A種　※B種	※B種	下塗りJASS 18 M-304
			中塗り及び上塗りJIS K 5516
鉄鋼面	・A種　※B種	※B種	穴埋め及びパテかいJASS 18 M-110
			中塗り及び上塗りJIS K 5516

④鉄鋼面耐候性塗料塗り(DP) [7.8.2～4][表7.8.1～3]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
鉄面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5659
亜鉛めっき面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5659
コンクリート、押出成形セメント板面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5658

下塗りJASS 18 M-109

5 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) [7.9.2][表7.9.1]

新規の塗りの種別　・A種　※B種
塗替えの種別　・A種　※B種
下塗りJIS K 5663　中塗り及び上塗りJIS K 5660

6 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) [7.10.2][表7.10.1]

新規の塗りの種別　・A種　※B種
下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

7 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T) [7.11.2][表7.11.1]

新規の塗りの種別　・A種　※B種
塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種別
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種
	・RC種	※C-3種
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種　・B種
	・RC種	・C-1種　・C-2種

下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

8 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) [7.11.2][表7.11.1]

・A種　※B種
1液形JASS 18 M-301　2液形JASS 18 M-502

⑨オイルステイン塗り(OS) [7.12.2]

ワトコオイル製品同等品とする。

10 木材保護塗料塗り(WP) [7.13.2][表7.13.1]

・A種　※B種
JASS 18 M-307

11 ポリウレタン樹脂塗装(2-UC)

フローリングブロック面の塗り種別　・A種　※B種

8 耐震改修工事

『耐震補強工事構造特記仕様書』による。

9 環境配慮（グリーン）改修工事

1 一般事項

アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法 [9.1.3]
・封じ込め処理　・囲い込み処理除去工法　・除去工法
アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事　・図示
分析によるアスベスト(ｱﾌｶﾞﾝﾗｲﾄ、ｱﾓｻｲﾄ、ｱﾝｿﾌｨﾗｲﾄ、ｸﾘｿﾀｲﾙ、ｸﾛｼﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾚﾓﾗｲﾄ)含有の調査
・行う(下表による)　・行わない

材料名	調査方法	1材料あたりの試料数
	・JIS A 1481による	※3

2 アスベスト含有吹付け材除去工事

吹付アスベストの施工数量調査を行う。

アスベスト粉塵濃度測定　※行う

測定時期及び場所等については下表による。

測定時期	測定場所	測定点数(各処理作業室毎)	備　考
処理作業前	処理作業室内	2又は3点	
	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通
処理作業中	処理作業室内	2点	
	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認
	負圧・除塵装置の排出口(処理作業室外の場合)	1点	除塵装置の性能確認
	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
処理作業後	処理作業室内	2点	
(隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通

(注)処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。
処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。

建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
関係官公署に届出を行う。　・大気汚染防止法に関する届出　松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出　柏労働基準監督署
本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

3 アスベスト含有吹付け材囲い込み工事

軽鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ(核スタッド工法 65形@300)とし、既存天井面には触れない。
関係官公署に届出を行う。　・大気汚染防止法に関する届出　松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出　柏労働基準監督署
養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。
アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。
―内部測定点内訳―
〈1階：　点、2階：　点、3階：　点〉
詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。

4 アスベスト成形板の処理工事

処理を行うアスベスト成形板の仕様等　・仕上表による [9.1.5]

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲
石綿板	4	便所
人研ブロック	30	便所

施工調査
アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。
調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。
(1)アスベスト成形板使用部位の確認。
(2)アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。
(3)アスベスト成形板使用数量の確認。

5 アスベスト含有仕上塗材の除去

アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験的一部除去作業の方法
(1)試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は□500mm程度とする。
(2)試験的除去は剥離剤併用手工具ケレン工法にて実施。

アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法　・部分除去　・全面除去

アスベスト含有仕上塗材部分除去作業
(1)部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。
(2)建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。
なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
(集塵機付きｻﾞｲｽｸｻﾝﾀﾞｰ工法同等とすること)
(3)除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
(4)アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
(5)廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
(6)アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
(7)関係官公署に届出を行う。
(大気汚染防止法→松戸市環境保全課 労働安全衛生法→柏労働基準監督署)
(8)本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

6 外断熱改修工事

断熱材の種類 [9.2.2]

材料名		厚さ(mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム	
・硬質ウレタンフォーム	・フェノールフォーム	
・ロックウール	・グラスウール	

外装材の種類 [9.2.2]

防火性能

既存外壁仕上材の撤去　・有り　・無し [9.2.3]
下地面の清掃及び下地調整　※断熱材製造所の指定する仕様

通気層　・有り(　mm)　・なし [9.2.4]
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。
特記無き事項は、製造所の仕様による。

7 ガラス改修工事

複層ガラスの厚さ　建具表による [5.14.2]
断熱性・日射遮蔽性による区分　※U3-1　・U3-2

8 屋上緑化改修工事

特記事項は図示 [9.4.2]

9 透水性アスファルト舗装改修工事

路盤材料 [9.5.4][表9.5.3]
※再生クラッシャラン(RC-40)
・クラッシャラン(C-40)又はクラッシャランスラグ(CS-40)
透水性の高いものを使用する。

遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.5.3]
・遮断層　※川砂、海砂又は良質な山砂　・
厚さは図示
・凍上抑制層　※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　切込み砂利　・砂
厚さは図示

盛土に用いる材料 [9.5.3][表9.5.1]
・A種　※B種　・C種　・D種

路床安定処理
※添加材料による安定処理 [9.5.3][表9.5.2]
種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントB種
・生石灰(　)　・消石灰(　)
添加量　kg/㎥(目標CBR ※5以上　・
路床土の支持力比試験　※行う(※乱した土　・乱さない土)
路床締固め度の試験　※行う

アスファルト混合物 [9.5.6][表9.5.5]
車道部　※改質アスファルトⅠ型
歩道部　※ストレートアスファルト

透水性舗装 [9.5.9]
アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う

10 その他

1 舗装工事

歩行者用通路コンクリート版の厚さ　※70mm　・ (22.5.2)(表22.5.1)

部　位	設計基準強度(N/mm²)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40
			砕石の場合20又は25
歩行者用通路	18	8	砂利の場合25
			砕石の場合20

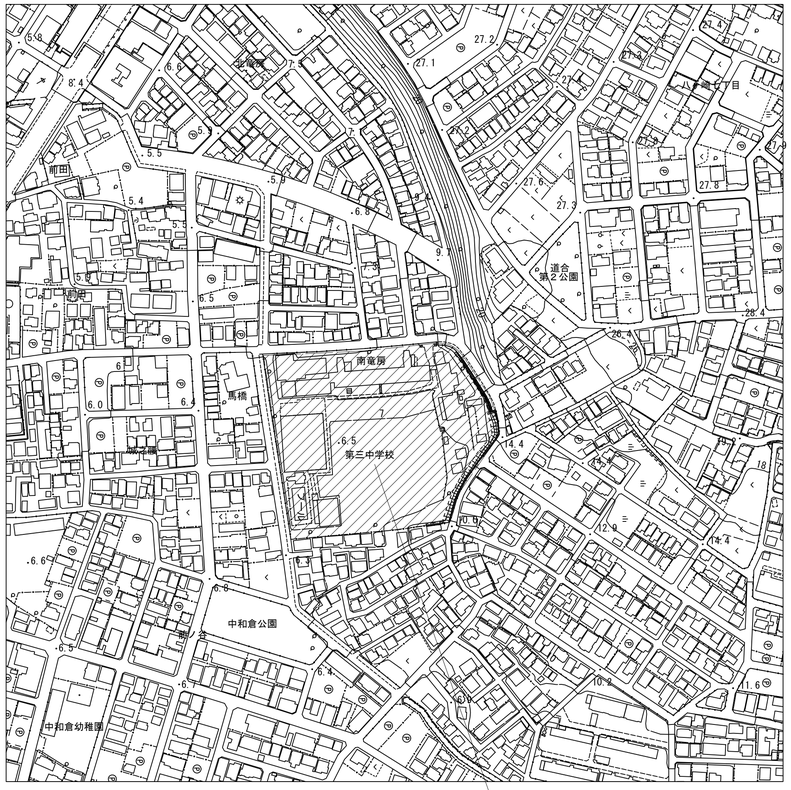
砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1)
種別　・A種　・B種

2 植栽工事

植樹 (22.3.2)

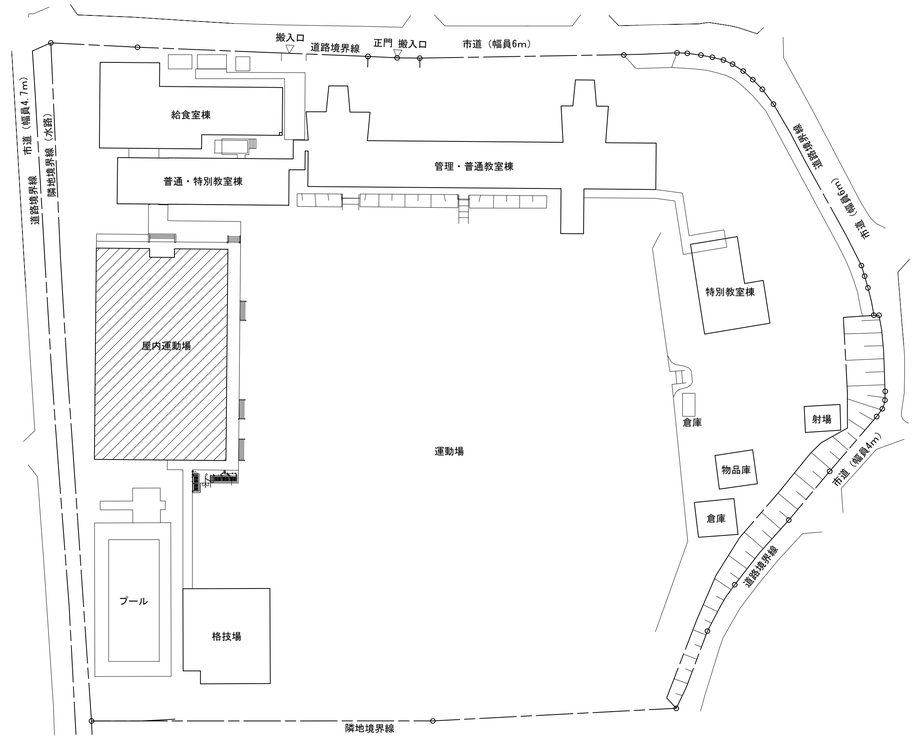
樹　種	寸　法	数　量	備　考

工事名	松戸市立第三中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修工事特記仕様書-4		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	No Sclae	図面番号	A-04
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



N

案内図　1：2500



N

配置図　1：700

凡例
工事範囲を示す

外部仕上表

部位		仕上	備考
外壁	改修前	1F:コンクリート打放し保護塗装（ウレタン樹脂系塗装） 2F:化粧鋼板横張り（断熱材入り）	一部撤去 既存のまま
	改修後	1F:下地補修の上、複層塗材E	一部新設
出入口	改修前	床:コンクリート	一部撤去
	改修後	床:−	−

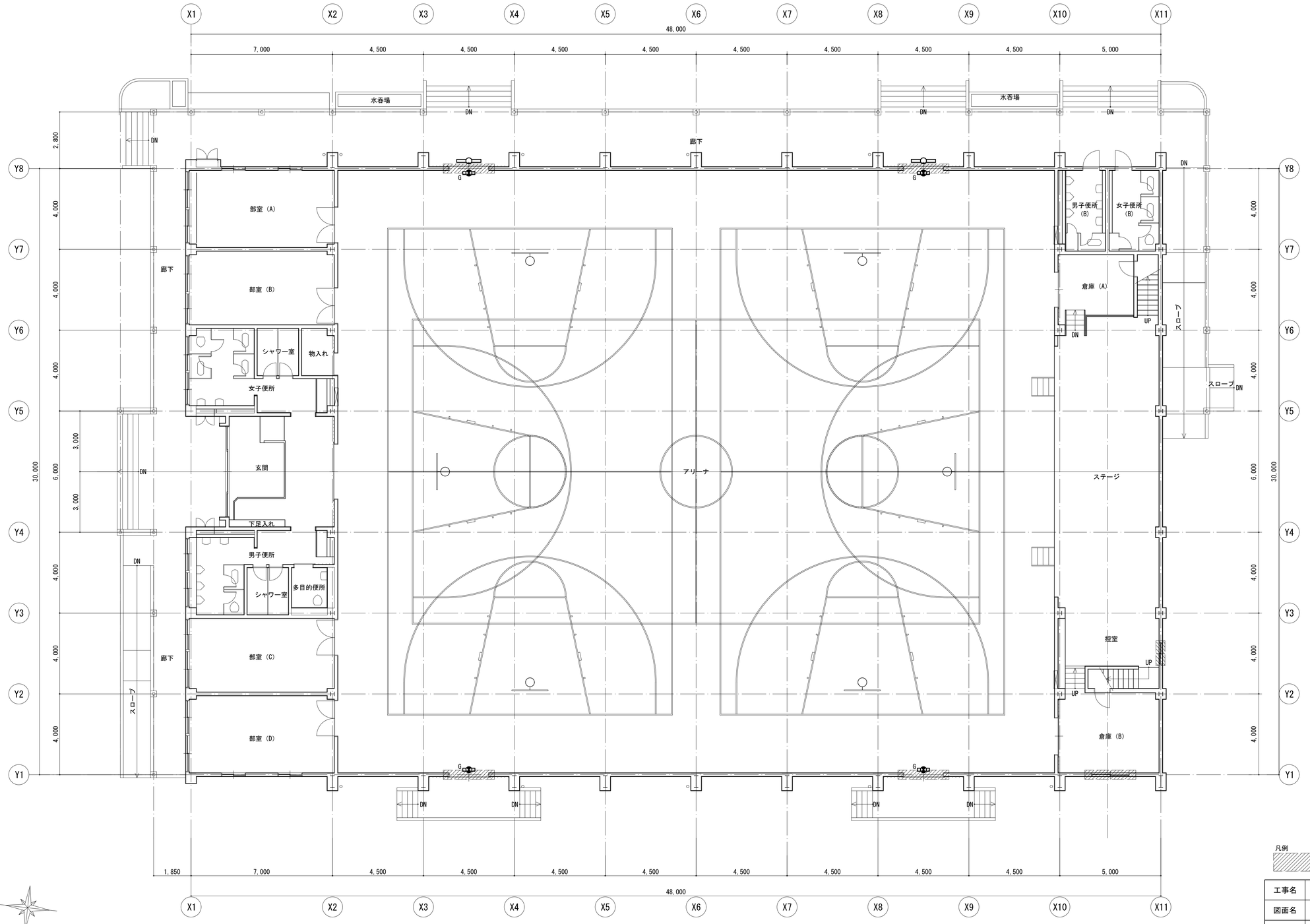
凡例、特記事項

	記号	塗料名		材料	認定番号		内装仕上材、屋根裏木毛セメント板は、全てF☆☆☆☆とする
塗料凡例	OP	油性調合ペイント	内装材認定			特記事項	塗装材（塗料）は、全てF☆☆☆☆とする
	OSCL	オイルステイン+クリヤラッカー塗り					建築材料は、全てアスベスト含有材でない材料を使用とする
	EP	合成樹脂エマルションペイント塗り					
	DP	鉄鋼面耐候性塗料塗り					
	複層塗材E	合成樹脂エマルジョン系複層仕上材					

内部仕上表

階	室 名		床	床高さ	改修内容範囲		巾 木	床高さ	改修内容範囲		壁(柱・梁型)	改修内容範囲		天 井	天井高さ	改修内容範囲	廻縁	備 考
1	アリーナ	改修前	ポリウレタン樹脂塗装3回塗りカバ積層合板フローリング特殊貼り t=18 EXPゴム	±0	既存のまま 一部撤去	改修前	ラワンt=25　OSCL	＋100	既存のまま 一部撤去	改修前	1F：ラワン竪羽目板t=15　OSCL ※撤去範囲は羽目板の目地に合わせる	一部撤去	改修前	カラー木毛セメント板t=25 ギャラリー部:コンクリート打放し EP(アスベスト含有)	直天	既存のまま 既存のまま	ラワン OSCL 30x55	
		改修後	− EXPゴムt=20	±0	一部新設	改修後	米栂集成材t=25 OSCL	＋100	一部新設	改修後	1F：杉竪羽目板t=15　OSCL ※新設範囲は羽目板の目地に合わせる	一部新設	改修後	−			米栂集成材 OSCL 30x55	
2	ギャラリー	改修前	モルタル金ゴテ＋長尺塩ビシートt=2.0	±0	既存のまま	改修前	ラワンt=25　OSCL	＋100	既存のまま	改修前	有孔シナ合板t=5.5目透し　OP	既存のまま	改修前	アリーナに含む		既存のまま		
		改修後	−			改修後	−			改修後	−		改修後	−				

工事名	松戸市立第三中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図・仕上表		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	−
縮 尺	1:2500 1:700	図面番号	A-05
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



凡例

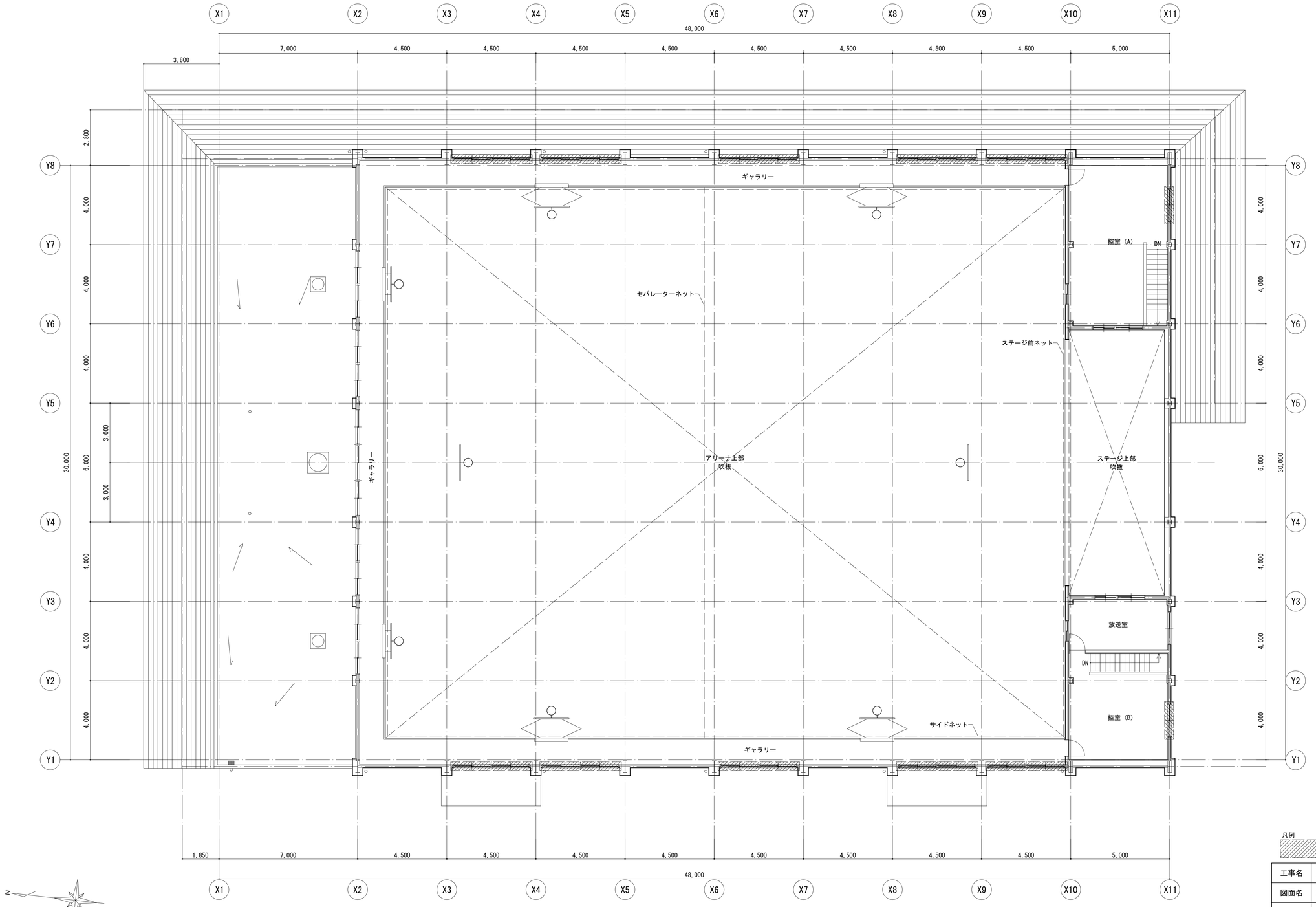
改修範囲を示す

1. 特記なき記号は下記による。

G	避難口誘導灯　C級　ｶﾞｰﾄﾞ付	（取外し・再取付 建築工事）
	ﾌﾞﾗｹｯﾄﾗｲﾄ　40形	（取外し・再取付 建築工事）

1階平面図　S=1:100

工事名	松戸市立第三中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	1階平面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1：100	図面番号	A-06
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



2階平面図　S=1:100

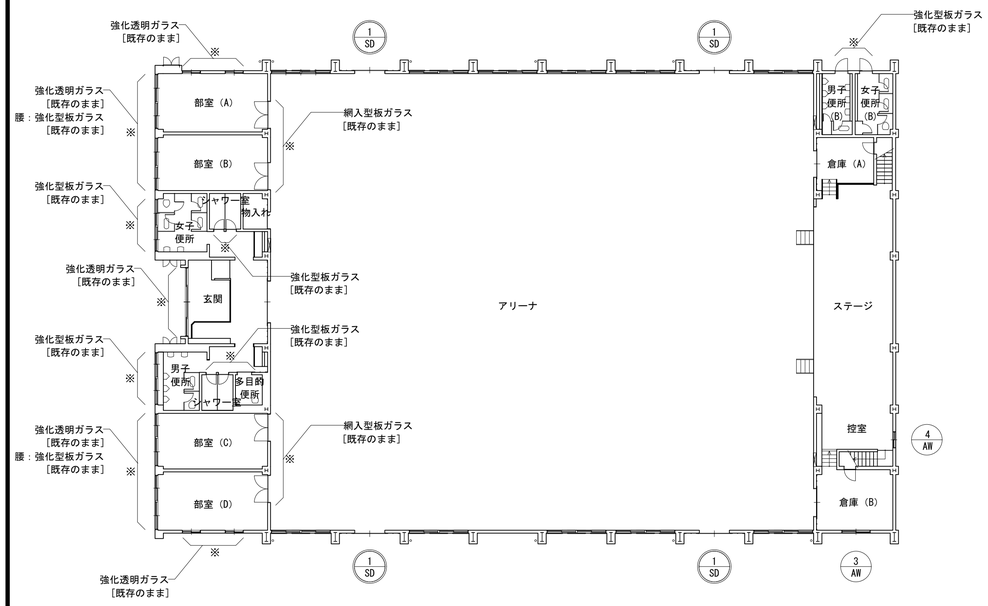
凡例

改修範囲を示す

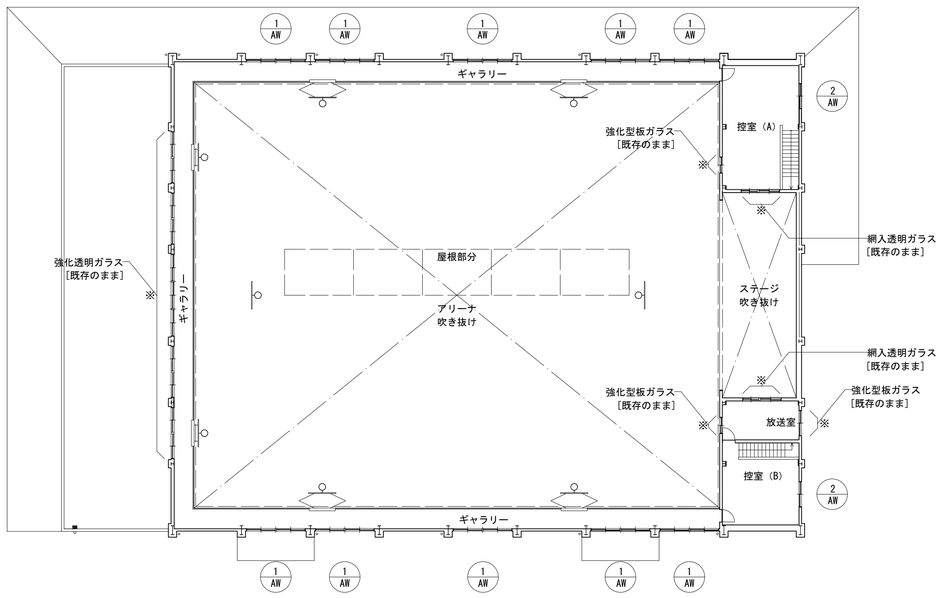
工事名	松戸市立第三中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	2階平面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:100	図面番号	A-07
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

改修前

※印：当該部分のガラスについては、以下の２条件に該当する場合、フィルムは施工せず、既存のままとする。
①外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓、かつ、北側に面する窓
または、外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓以外の窓
②ガラス種類が以下のいずれか
（透明強化ガラス、型板強化ガラス、透明網入ガラス、型板網入透明ガラス）



1階キープラン　S=1:200

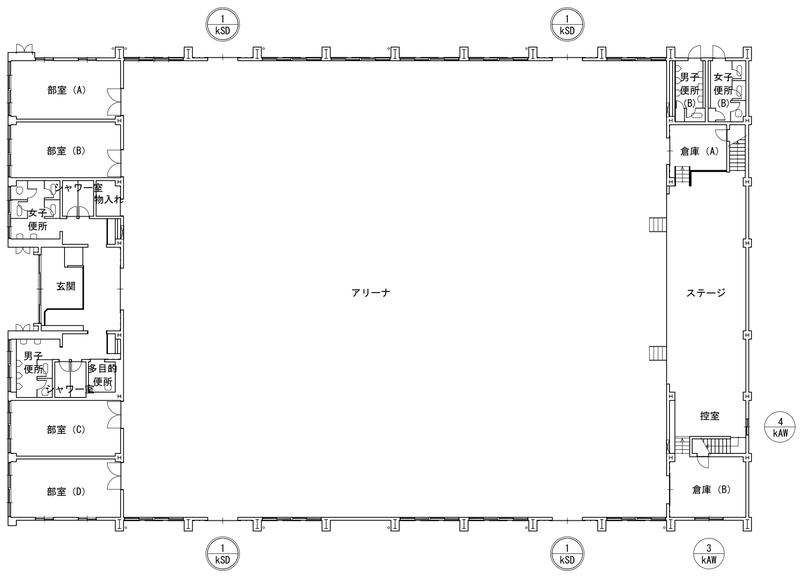


2階キープラン　S=1:200

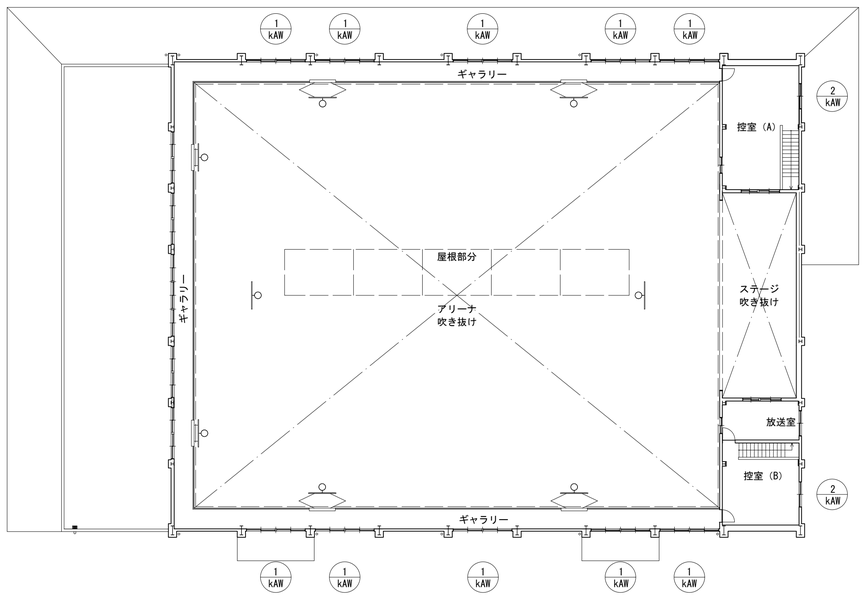
撤去建具を示す

既存建具を示す

改修後



1階キープラン　S=1:200



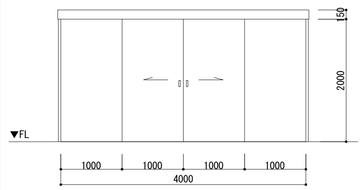
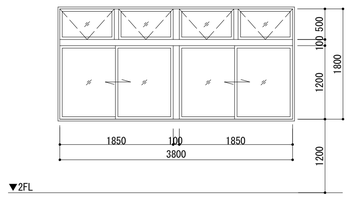
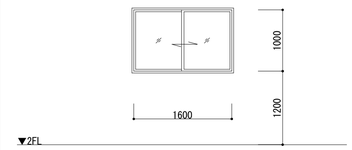
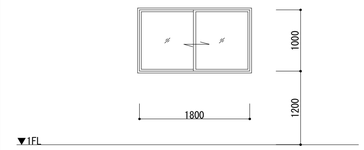
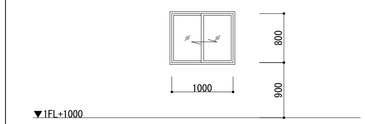
2階キープラン　S=1:200

新設建具を示す

既存建具を示す

工事名	松戸市立第三中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修前・改修後　建具キープラン		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:200	図面番号	A-08
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

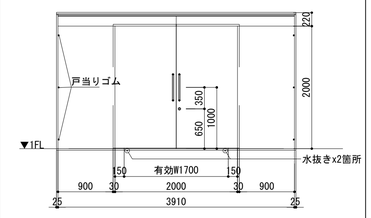
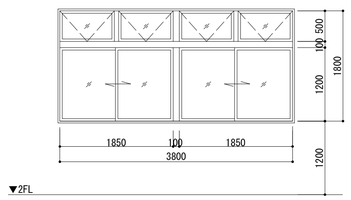
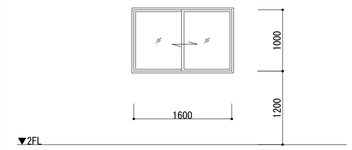
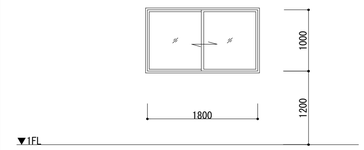
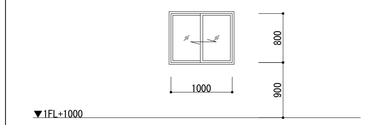
改修前

符号・数量	1 SD アリーナ　数量 4	1 AW ギャラリー（桁）　数量 10	2 AW 控室　数量 2	3 AW 倉庫　数量 1	4 AW 控室　数量 1	
姿　図						
形　式	両引きハンガー引き戸	内側排煙窓付き連窓引違い窓	引違い窓	引違い窓	引違い窓	
材質・仕上	見込40　スチール　OP	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込70　アルミ	
硝　子		強化透明ガラス　t=4	強化型板ガラス　t=4	強化型板ガラス　t=4	強化型板ガラス　t=4	
付属金物	ハンガー車、ハンガーレール、ガイドレール、ガイドローラー ストッパー（戸当り）、中央戸当り、継ぎ受け、レールカバー、引手、鎌錠	付属金物一式、戸車、戸当り、はずれ止め、クレセント　外倒しランマ オペレーター仕様	付属金物一式、戸車、戸当り、はずれ止め、クレセント	付属金物一式、戸車、戸当り、はずれ止め、クレセント	付属金物一式、戸車、戸当り、はずれ止め、クレセント	
撤去内容	撤去（三方枠、袖摺、レール共）（部分詳細図参照）					

撤去建具を示す

既存建具を示す

改修後

符号・数量	1 kSD アリーナ　数量 4	1 kAW ギャラリー（桁）　数量 10	2 kAW 控室　数量 2	3 kAW 倉庫　数量 1	4 kAW 控室　数量 1	
姿　図						
形　式	鋼製両引きハンガードア	内側排煙窓付き連窓引違い窓	引違い窓	引違い窓	引違い窓	
材質・仕上	DP　枠見込320	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込70　アルミ	
硝　子		強化透明ガラス　t=4	強化型板ガラス　t=4	強化型板ガラス　t=4	強化型板ガラス　t=4	
付属金物	ドアハンドル、引戸錠、ガイドローラー、駆動装置、戸当りゴム、付属金物一式 ステールフラッシュ戸、鋼材t=1.6、枠廻りステンレスt=1.5	付属金物一式、戸車、戸当り、はずれ止め、クレセント　外倒しランマ オペレーター仕様	付属金物一式、戸車、戸当り、はずれ止め、クレセント	付属金物一式、戸車、戸当り、はずれ止め、クレセント	付属金物一式、戸車、戸当り、はずれ止め、クレセント	
改修内容	新設（部分詳細図参照）	フィルム張①[新設]（内貼）	フィルム張②[新設]（外貼）	フィルム張②[新設]（外貼）	フィルム張②[新設]（外貼）	

■遮熱・飛散防止フィルム貼り仕様一覧表（外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓）

既存硝子＼方角		東・西・南	北
透明硝子	内貼	① 遮熱フィルム 3M　NANO70S	⑤ 飛散防止フィルム ３M　SH2CLAR
型硝子	外貼	② 遮熱フィルム 3M　NANO70SX	⑥ 飛散防止フィルム ３M　SH2CLARX
● 強化透明硝子	内貼	① 遮熱フィルム 3M　NANO70S	既存のまま
● 強化型硝子	外貼	② 遮熱フィルム 3M　NANO70SX	既存のまま
網入り透明硝子	内貼	③ 遮熱フィルム 3M　NANO90S	既存のまま
網入り型硝子	外貼	④ 遮熱フィルム 3M　NANOMACRX	既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは3Mジャパン(株)同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、**北側の強化硝子・網入り硝子**に飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入り硝子が割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

■飛散フィルム貼り仕様一覧表
（外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓**以外の窓**・・・放送室、器具庫、控室、便所など）

既存硝子＼		全方角・内部
透明硝子	内貼	⑤ 飛散防止フィルム ３M　SH2CLAR
型硝子	外貼	⑥ 飛散防止フィルム ３M　SH2CLARX
強化透明硝子	—	既存のまま
強化型硝子	—	既存のまま
網入り透明硝子	—	既存のまま
網入り型硝子	—	既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは3Mジャパン(株)同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、**強化硝子・網入り硝子**に飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入り硝子が割れている場合は同一硝子に交換する。

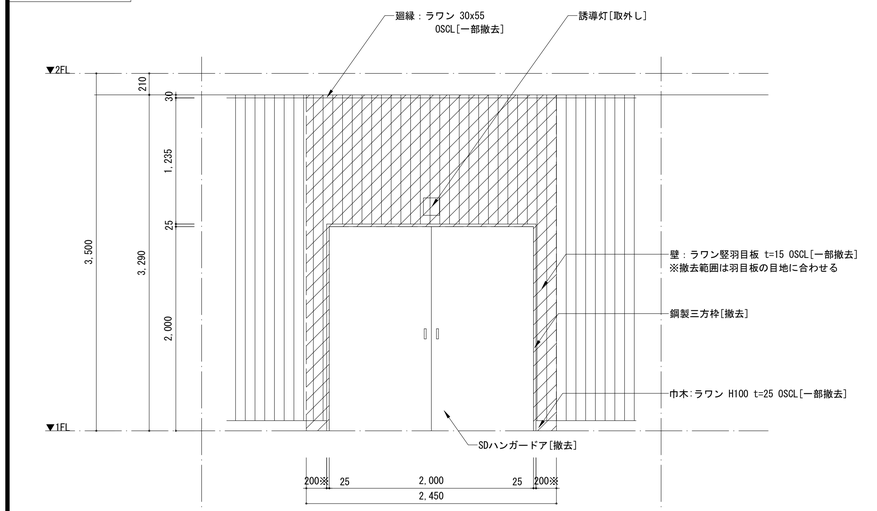
凡　例

新設建具を示す

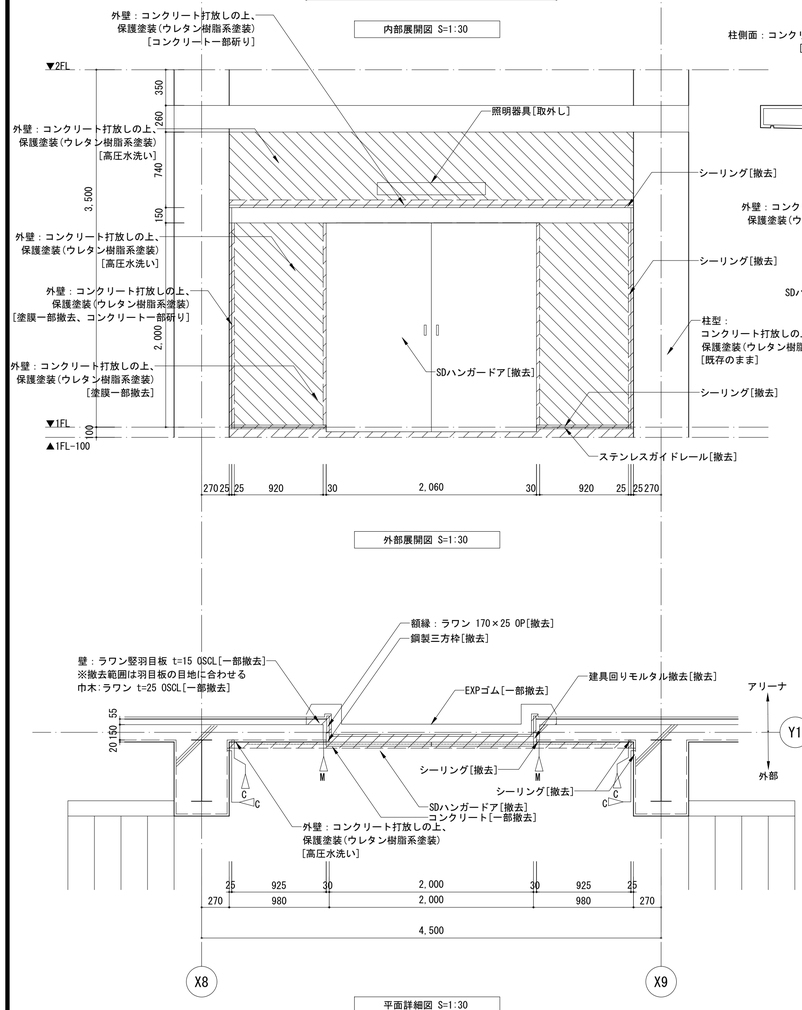
既存建具を示す

工事名	松戸市立第三中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修前・改修後　建具表		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	1:50	図面番号	A-09
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

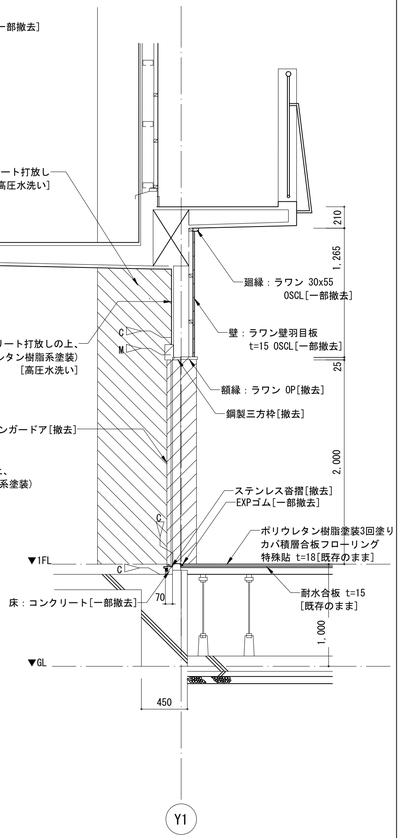
改修前



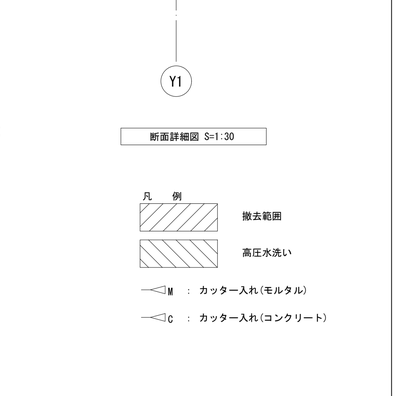
内部展開図 S=1:30



外部展開図 S=1:30



平面詳細図 S=1:30



断面詳細図 S=1:30

凡　例

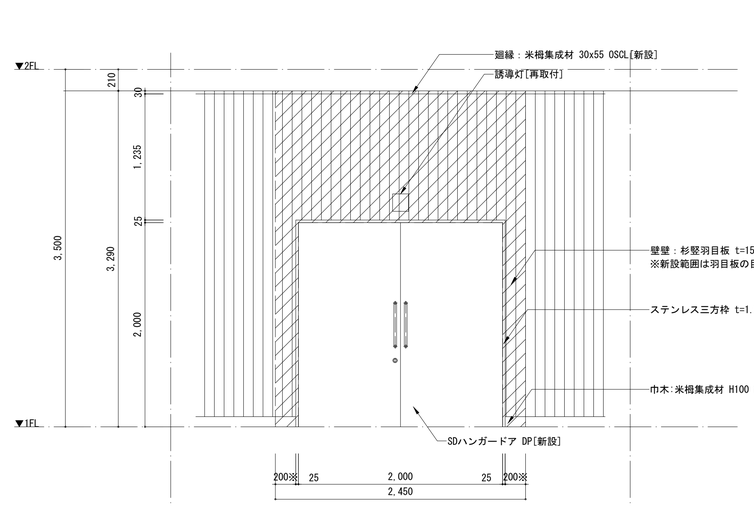
撤去範囲

高圧水洗い

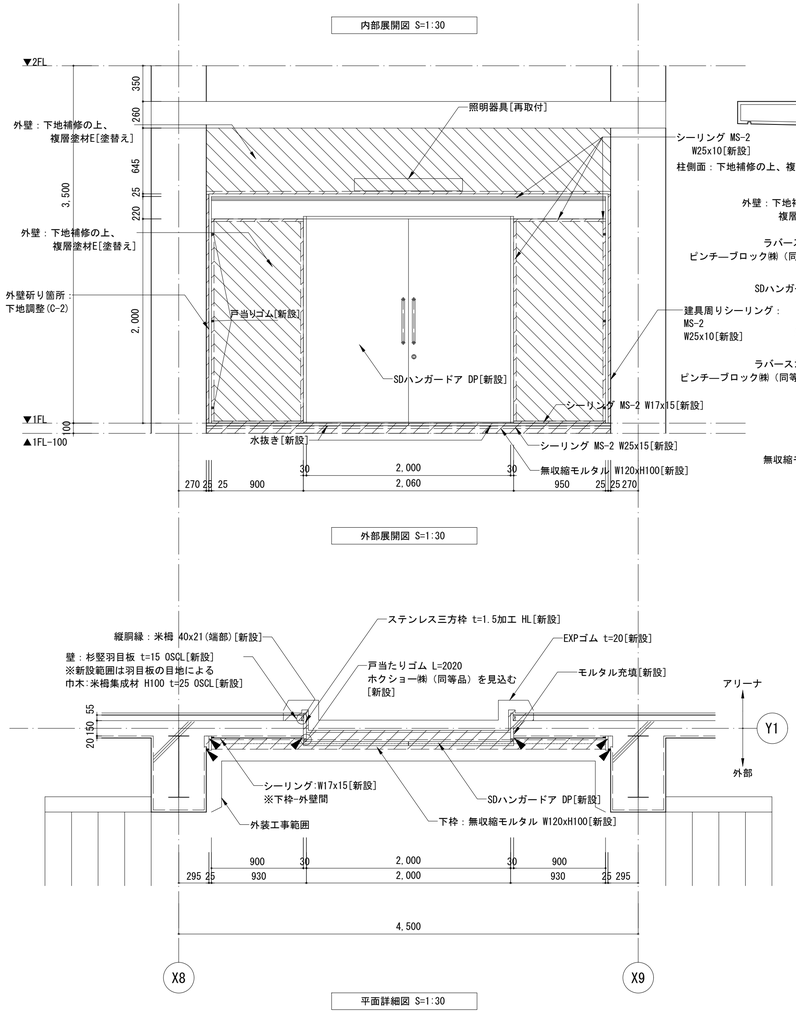
M　：　カッター入れ(モルタル)

C　：　カッター入れ(コンクリート)

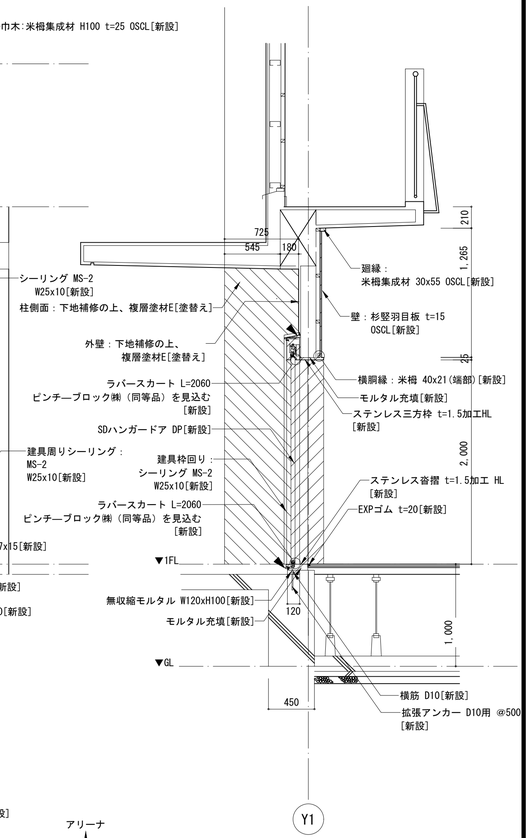
改修後



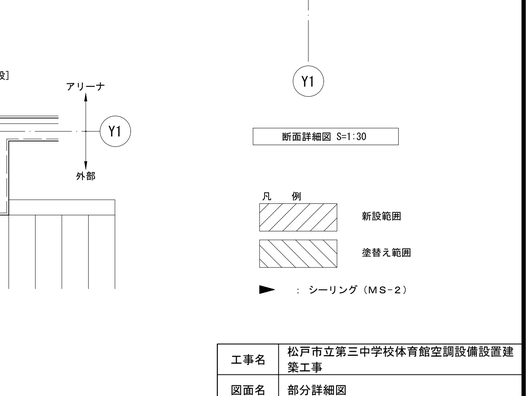
内部展開図 S=1:30



外部展開図 S=1:30



平面詳細図 S=1:30



断面詳細図 S=1:30

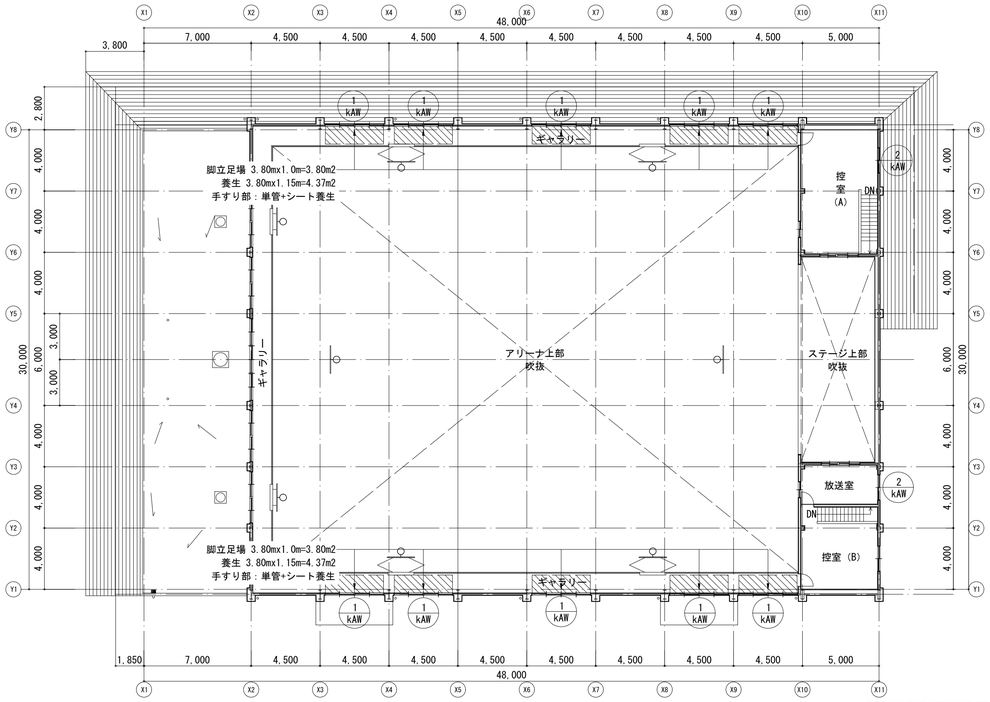
凡　例

新設範囲

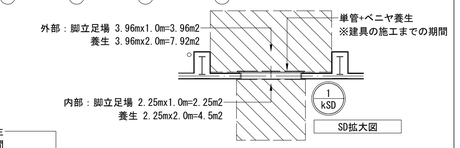
塗替え範囲

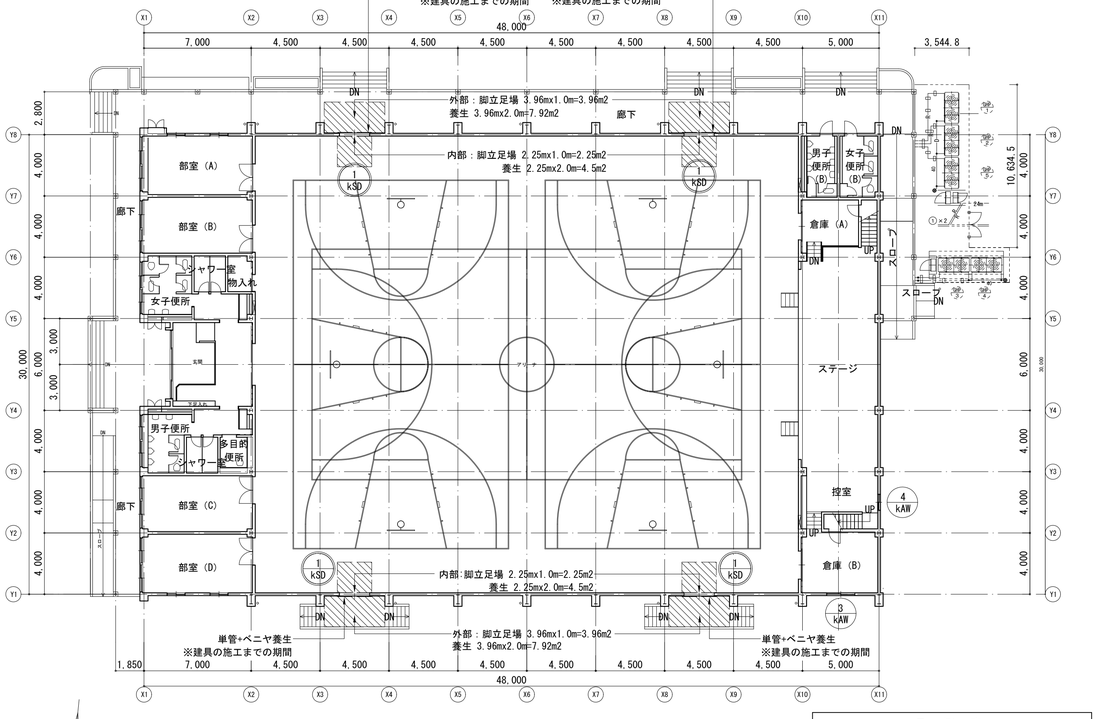
►　：　シーリング（MS-2）

工事名	松戸市立第三中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	部分詳細図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	1:30	図面番号	A-10
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



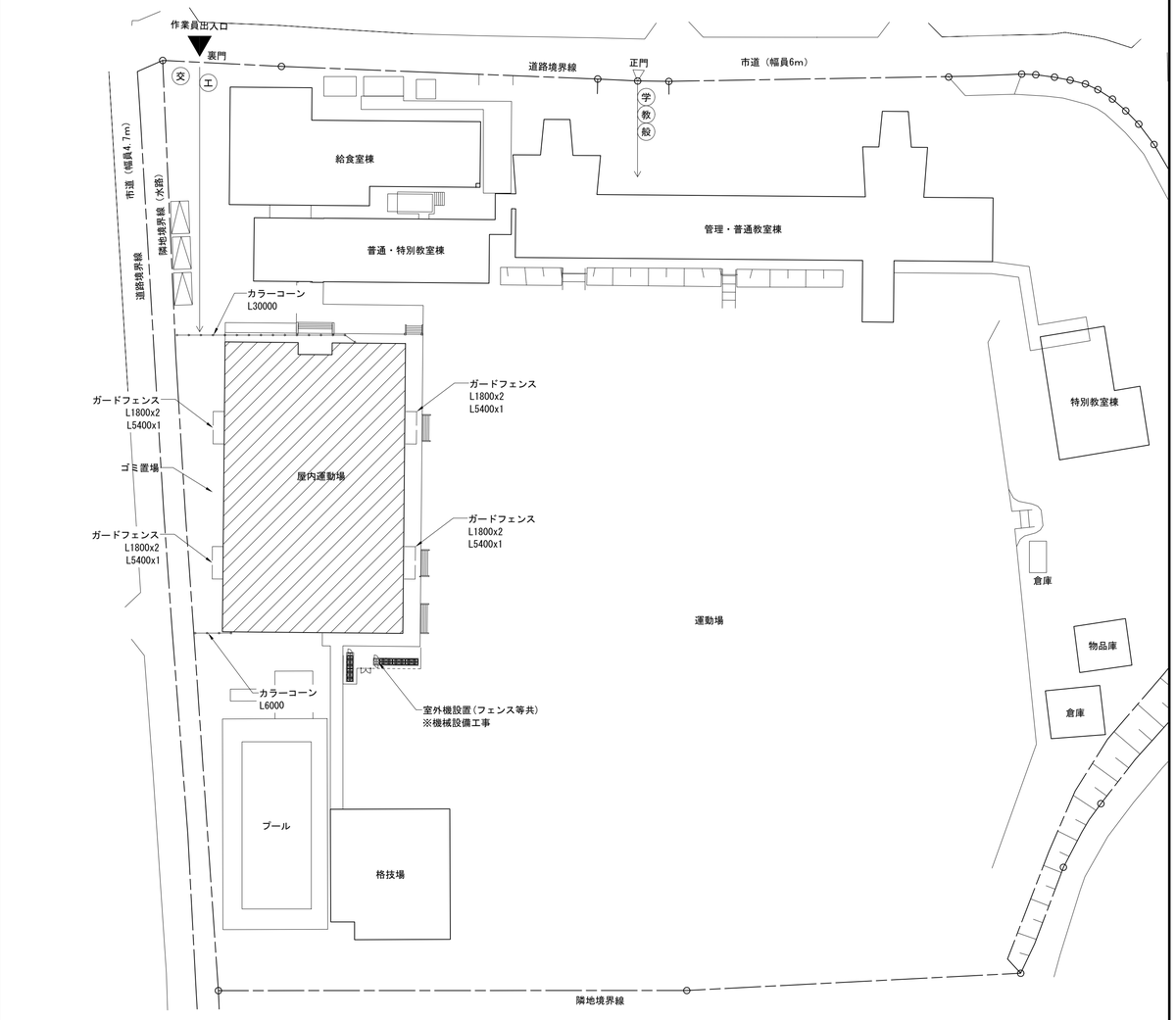
2階平面図　S=1:200





1階平面図　S=1:200

凡　例　表	
	養生・整理清掃（個別）



配置図　S=1:500

凡例
工事範囲を示す

N

凡　例　表	
▼	作業員出入口
交	交通誘導員
学	生徒・学校関係者を示す
教	教員車両を示す
般	一般車両を示す
エ	工事車両を示す
——	ガードフェンス H1800
○—○	カラーコーン・バー

＜全体仮設計画＞

1. 学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・バー）を設置する
2. 足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
3. 工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900x600程度を公衆の見やすい場所に設置
4. 工事に使用する重機は、低振動タイプのものとし低速走行にて振動を抑えるものとする
5. 工事に使用する揚重機（クレーン車等）は、安全上十分なものを使用すること
6. 登下校時の車両の出入りはしないこと

＜特記事項＞

・本図面は参考図として工事を行う際に、必要な仮設を検討し、請負者負担で設置すること。
・仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。

工事名	松戸市立第三中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計画図（案）		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	1:200 1:500	図面番号	A-11
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

松戸市立第四中学校体育館空調設備設置建築工事

図面リスト	
意匠図	
図面番号	図面名称
A-00	表紙・図面リスト
A-01	改修工事特記仕様書-1
A-02	改修工事特記仕様書-2
A-03	改修工事特記仕様書-3
A-04	改修工事特記仕様書-4
A-05	配置図・案内図・仕上表
A-06	１階平面図
A-07	２階平面図
A-08	３階平面図
A-09	改修前・改修後 建具キープラン
A-10	改修前 建具表
A-11	改修後 建具表
A-12	内部仮設計画図（案）
A-13	外部仮設計画図（案）

工事名	松戸市立第四中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	No Scale	図面番号	A-00
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

松戸市立第四中学校体育館空調設備設置建築工事

令和　7年　2月

仕　様　書

Ⅰ　工事概要

1. 工事場所　　松戸市五香西一丁目６番地の１

2. 敷地面積　　22,057㎡

3. 改修建物概要
用　　途：中学校（体育館）
構　　造：　RC造
階　　数：　地上３階
延べ面積：　1,106㎡(アリーナ)

4. 工事内容

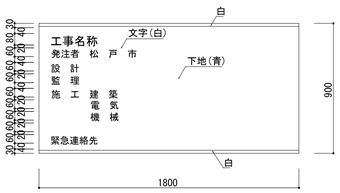
工事種目	工事範囲
2　仮設工事	足場設置・資材置場
3　防水改修工事	–
4　外壁改修工事	–
5　建具改修工事	フィルム張
6　内装改修工事	–
7　塗装改修工事	–
8　耐震改修工事	–
9　環境配慮改修工事	–
10　その他	–

Ⅱ建築工事仕様

1. 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様に記載されれいない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）(令和4年版)」(以下、「改修標仕」という。)及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「標仕」という)による。

2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に◯印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、・印の付いたものを適用する。
・印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
・印と※印の付いた場合は共に適用する。
(3) 特記事項に記載の［　　］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(5) Ⓖ 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。

松戸市建築工事現場表示板仕様



(1)材料
1) 耐水合板（ラワン厚み12mm SOP仕上げ）
2) 枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。

(2)注意事項
1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	①運用基準等	・松戸市建築工事に関する提出書類 ・工事写真の撮り方 建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ・松戸市建築工事現場表示板仕様
	②工事実績情報サービス（CORINS）への登録	※ 適用する　［1.1.4］
	③施工計画書	・工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。　［1.2.2］ ・施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。 ・施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。 ・施工図等の内容を変更する必要が生じた場合は監督職員に報告する。
	4 電気保安技術者	・ 工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。　［1.3.3］
	⑤施工条件	※　現場説明書による　［1.3.5］
	⑥発生材の処理等	※ 現場説明書による　・場外搬出適正処理　［1.3.12］
	⑦材料の品質等	［1.4.2］ 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 (3)安定的な供給が可能であること。 (4)法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。 (5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（(社)公共建築協会 他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
	8 化学物質を放散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 2)保温材、衝撃材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 3)接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 5)1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFoo規格品
	⑨特別な材料の工法	様仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	⑩技能士	［1.6.2］

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	・鉄筋施工（鉄筋組立作業）
コンクリート工事	・型枠施工
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築　・ALCパネル施工
防水工事	・アスファルト防水工事作業　・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塗膜防水工事作業　・シーリング防水工事作業
石工事	・石材施工（石張り施工）
タイル工事	・タイル張り
木工事	・建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金（内外装板金作業）
金属工事	・内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）
左官工事	・左官
建具工事	・サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工
塗装工事	・塗装（建築塗装作業）
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業　・ボード仕上げ工事作業 ・内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）・表装（壁装作業）
植栽工事	・造園

章	項　目	特　記　事　項
	11 化学物質の濃度測定	［1.6.9］ 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定　・行う 測定対象室　・－ 測定箇所数　・－
	⑫完成図等	※作成する　・作成しない　［1.8.1～3］［表1.8.1］ ※完成図　ＣＡＤデータ
	13 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。 分類・規格 / 撮影箇所数 / 撮影部数 / 原版の大きさ(㎜) ・カラー ※キャピキ版 ・べた焼き ・（他に外観正面1カットのみ5枚（カラーキャピキ版）提出）：外部(　)内部(　)：※1 ・6：※100×125以上 ・ ※カラー半切木製パネル 324×400(㎜)：外部(　)内部(　)：※2 ・電子データ：外部(　)内部(　)：※2：※200万画素以上 ※300dpi以上 100×125以上の原版を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。 電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。）
	⑭設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	15 設計GL	※図示　・設計GL＝現状GL
	⑯工事写真	※着工前、完成写真2部　工事工程写真1部
	⑰ワンデーレスポンスの実施	ワンデーレスポンスの取り組みについて 1. この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは 受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程 3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。 4. 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。
	⑱火災保険等	※火災保険等の証券等の写しを提出すること。
2 仮設工事	①足場その他	内部足場　種別　※脚立、足場板　・棚足場　［2.2.1］ 外部足場　手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。　［2.2.1］［表2.2.1］ 屋根工事及び小屋組みの建方工事における墜落事故防止対策はJIS A 8971に基づき設置すること。 材料、撤去材等の運搬方法　［2.2.1］［表2.2.1］ ・A1種　※B種　・C種　・D種　・E種 ・定置する足場、作業構台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。
	②養生	既存部分の養生　※ビニールシート　・合板　厚12　［2.3.1］ 既存家具等の養生　※ビニールシート　・ 固定家具等の養生　※行う　・行わない
	3 仮設間仕切り	仮設間仕切り等の種類　［2.3.1］［表2.3.1］ 種別 / 下地 / 仕上材(厚さ ㎜) / 充てん材 / 塗装 ・A種：※軽量鉄骨：・合板(※9.0 ・ラワン　)：：※無し ・B種：・木下地：※せっこうボード(※12.5 ・　)：厚さ ㎜：・片面 ・C種：・単管下地：防炎シート： ・仮設扉：※木製扉 ・鋼製扉：※合板張り程度 ※片面フラッシュ程度：※無し ・有り
	4 監督職員事務所	規模及び仕上げの程度は現場説明書による。　［2.4.1］
	⑤工事用水	構内既存の施設　・利用できない　※利用できる(※有償　・無償)　［2.4.1］ ※子メータを設置する。
	⑥工事電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる(※有償　・無償)　［2.4.1］
	7 防音パネル	※アルミ製(解体作業期間)
	8 仮門	・キャスターゲート　W= 3.0 m、H= 1.8 m、　箇所 ・キャスターゲート　W= 6.0 m、H= 1.8 m、1箇所
	9 仮囲い	・万能鋼板　H= 2.0 m、L=　m、　箇所 ※成型鋼板　H= 2.0 m、L=　m、　箇所　・図示 ・ガードフェンス　H= 1.8 m　箇所　・図示
	10 仮設道路	・砕石敷(厚さ　㎜　幅　㎜)　L=　m (砕石は、再生クラッシャランを使用) ・鋼板敷(厚さ　㎜　幅　㎜　L=　m)　枚
3 防水改修工事	1 アスファルト防水	［3.3.2］［表3.1.1］［表3.3.3～10］

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別
保護防水 ※P1B		・B-1　※B-2
保護防水 ・P1B1　・T1B1		・B1-1　※B1-2
保護防水 ・P2A1		・A1-1　※A1-2
水下 ※P2A		・A-1　※A-2
露出防水 ・M4C		・C-1　※C-2
露出防水 ・M3D　・P0D		・D-1　※D-2
屋内防水 ・P1E　・P2E		・E-1　※E-2（保護層は図示による）

アスファルトの種類　※3種　・4種　［3.2.2］［3.3.2］
保護コンクリートのコンクリート種類　・普通コンクリート(18N/＊ S=18㎜)　［3.3.2］［8.11.1］
(溶接金網　径6㎜　100㎜×100㎜敷設)
P0D工法の二重ドレン　※設けない　・設ける　［3.2.5］
M3D、P0D工法の脱気装置　※設けない　・設ける　［3.3.3］
既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合)　・除去する　［3.2.6］
断熱工法の断熱材　厚さ(㎜)　※25　・　［3.3.2］
ただし、特定フロンを含まないもの。
立上り部の保護　［3.3.2］
・れんがの種類　※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形コンクリートブロックとする。
・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ15㎜

2 改質アスファルトシート防水　［3.4.2］［表3.1.1］［表3.4.1～3］

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	厚さ(㎜)
・M4AS工法		・AS-1　・AS-2　・AS-3	
・M3AS工法 ・P0AS工法		・AS-4　・AS-5　・AS-6	
・M3ASI工法 ・M4ASI工法 ・P0ASI工法		・ASI-1　・ASI-2	

脱気装置　※設けない　・設ける

章	項　目	特　記　事　項
	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	［3.5.2］［表3.1.1］［表3.5.1～3］

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料等	使用分類
・P0S工法		・S-F1　・S-M1	・カラー ・シルバー	※非歩行 ・軽歩行
・L3S工法		・S-F2　・S-M2		
・S3S工法				
・M4S工法		・S-M1　・S-M2		
・P0SI工法		・SI-F1　・SI-M1		
・L3SI工法	講堂屋根 階段室A下り屋根	・SI-F2　・SI-M2		
・S4SI工法		・SI-M3		

脱気装置　※設けない　・設ける　［3.5.3］
目地処理　PCコンクリート　［3.5.4］ |
| | 4 塗膜防水 | ［3.6.2～4］［表3.1.1］［表3.6.1］

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別
・L4X工法	※図示	・X-1（絶縁工法）
・P0X工法		・X-2（密着工法）

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合)　・活膜を残す　［3.2.6］
脱気装置　※設けない　・設ける　［3.6.3］ |
| | 5 脱気装置 | ［3.3.2］［3.4.2］［3.5.2］［3.6.2］［表3.1.1］

種類	材質	設置数量
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂　・ABS樹脂 ・ステンレス　・鋳鉄	・約50㎡当たり1箇所
・立上り部脱気型	・合成ゴム　・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス　・銅	・(　　)㎡当たり1箇所
	6 シーリング	シーリング改修工法の種類　［3.1.4］［表3.1.2］ ・シーリング充填　・シーリング再充填工法　・シーリング打替え ・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所　［3.7.2］［表3.7.1］ ※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類　(記号)
・打ち継ぎ目地、伸縮目地	・ポリウレタン系(PU-2)仕上げあり
・新設建具廻り、金属取合い	・変成シリコーン系(MS-2)仕上げなし
・ガラス廻り	・シリコーン系(SR-1)

| | 7 とい | といの材種　［3.8.2］［表3.8.1］
・配管用鋼管　※カラー硬質塩化ビニル管　・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU) Ⓖ
鋼管製といの防露　［3.8.2］［表3.8.3］
・次の箇所は行わない(　　)
防露材のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・
掃除口　※有り　・無し　・
たてどい受金物の取付け　［3.8.3］ |
| | 8 アルミニウム製笠木 | ［3.9.2～3］［表3.9.1］

種類	呼称肉厚(㎜)	製品幅(㎜)	固定間隔	備考
・150形	※1.1程度	※150	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突き当り部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	※1.8以上	※300		
・350形	※2.0以上	※350		

板材折曲げ形の取付工法　・図示　［3.9.3］ |
| | 9 折板葺 | (13.3.2～3)

形式	※重ね形　・はぜ締め形　・
形状(㎜)	山高(　)　山ピッチ(　)　板厚　・0.6　※0.8
材料(規格等)	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(GGLCCR-20-AZ150)
軒先面戸板	※有り　・無し
断熱材	・有り(種別：　厚さ：　㎜)　※無し
耐火性能	・30分耐火　※無し

	⑩保証期間	※ 10年保証とする。
4 外壁改修工事 共通事項	施工数量調査	調査範囲　※外壁改修範囲(庇上裏含む)　・図示の範囲　［1.5.2］ 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。　また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び剥落を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。 調査報告書の部数　※2部　・

工事名	松戸市立第四中学校体育館空調設備設置建築工事
図面名	改修工事特記仕様書-1
作成年月日	令和7年2月10日
変更年月日	－
縮尺	No Scale
図面番号	A-01
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号
松戸市　街づくり部　建築保全課	

章	項目	特記事項
4 外壁改修工事 共通事項	2 改修材料	・既製調合モルタル

保水率 (%)	単位容積質量 (kg/ℓ)	接着強さ(N/＊) 標準時	接着強さ(N/＊) 温冷繰り返し後	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/＊)
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上

・パテ状エポキシ樹脂

初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0N/＊以上	6.0N/＊以上	50.0N/＊以上	30.0N/＊以上	3.0(%)以上

a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・可とう性エポキシ樹脂

性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性
引張強さ	1.0N/＊以上	1.0N/＊以上	1.0N/＊以上	最大引張応力 1.0N/＊以上
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10.0%以上

比重　表示値±0.10
押出し性　60秒以下
スランプ　3mm以下
加熱減量　5%以下
a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・タイル部分張替え工法用材料

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度(N/＊)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
凝集破壊率(%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ(N/＊)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上
伸び(%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上

貯蔵安定性　容積と粘土に著しい変化がないこと。
耐熱性　JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。
a.外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.タイル、石材、下地等侵すものでないこと。
c.「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。
e.ずれ抵抗性があること。
f.混錬終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。

・エポキシ樹脂モルタル

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0N/＊以上	20.0N/＊以上	10.0N/＊以上

a.こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。
b.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
c.「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。
d.形状に異常が無く、垂れが生じないこと。
e.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。

・ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの種類
合成ゴム系、アクリル系、エチレン一酢ビ系等

曲げ強さ (N/＊)	圧縮強さ (N/＊)	接着強さ(N/＊) 標準時	接着強さ(N/＊) 湿潤時	接着強さ(N/＊) 低温時
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態　垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。
透水性　裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
3以上	3.0%以下	0.5N/＊以上	5.0N/＊以上	15%以下	6.0N/＊以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

・吸水調整材

項目	全固形分(%)	吸水性(g)	接着強度(N/＊)	界面破断率 (%)
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

章	項目	特記事項
4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁	1 ひび割れ部改修工法	※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※製造所の仕様による	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※ 50～100	※40 ・	
注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り) ※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法：)

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

・シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6]
・パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

	2 欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む)	・充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ・エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ポリマーセメントモルタル
	3 浮き部改修工法	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法(16本/㎡) [4.1.4][4.4.10] (モルタル笠木・パラペット天端部分)
	4 巾木モルタル塗	・樹脂モルタル T3

章	項目	特記事項
4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	1 既存モルタル塗りの撤去	・行う(※監督職員の指示による)
	2 ひび割れ部改修工法	・既存モルタル撤去工法(範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)

※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.2][4.4.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300		
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り) ※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法：)

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

・シール工法(亀裂が0.2mm未満) [4.1.4][4.2.2][4.4.7]
(※既存モルタル面 →既存躯体コンクリート面)。
・パテ状エポキシ樹脂(JIA A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [4.2.2][4.6.3]
(※シール工法の範囲 ・監督職員の指示による)

	3 欠損部改修工法	・既存モルタル面の欠損部 [4.1.4][4.4.8～9]

改修工法の種類	材料	品質・規格等
・充填工法	エポキシ樹脂モルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕4.2.2(7)による	塗り厚25mmを超える場合の補強
		※行う ・行わない ・図示

	4 浮き部改修工法	[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ※狭幅部：5本/m	※25	※狭幅部：5本/m		※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml

アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。

	5 巾木モルタル塗	・樹脂モルタル T3
4-3 外壁改修工事 タイル仕上げ外壁	1 既存タイル張りの撤去	・外壁タイル張り全面 ・部分撤去 [4.5.2] 撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張り付けモルタルまで ・タイルのみ
	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面(・コンクリート面 ・モルタル面)

※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4]
・行う(抜き取り部の補修方法：)

・Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

	3 欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む)	・充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ・エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ポリマーセメントモルタル

章	項目	特記事項
	4 浮き部改修工法	[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16			※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml
・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	※9	※16	※50ml
エポキシ樹脂注入タイル固定工法					

アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。

	5 下地処理	サンダーケレンの上、モルタル薄塗 [4.2.2][4.6.3]
	6 タイルクリーニング	工業用塩酸
4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	1 既存塗装等の撤去及び下地処理	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※補強範囲 図示	・ひび割れ部改修工法
※高圧水洗工法 加圧力 ※12MPa程度	※塗替え範囲 図示	・浮き部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	・欠損部改修工法
・水洗いし工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

塗装はく離剤 [4.2.2]

	2 下地調整材	※下地調整材C-1 (既存塗装除去部分) [4.2.2][4.6.3] ※微弾性フィラー (既存吹付タイル面・既存複層塗材面) [4.2.2][4.6.3]
	3 仕上げ塗材仕上げ	種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4]

種類	呼び名	仕上げの形状	上塗材の種類
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・砂壁状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 ・凸凹状 ・平たん状	耐候性 ※耐候形3種 ・耐候形1種 溶媒 ※水系 ・弱溶剤系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ウレタン系 ・シリコン系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材 ※行う
・複層仕上塗材(既存塗装除去部分)	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE 複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・複層塗材RS ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	・ゆず肌状 ・凸凹処理 ・凸凹状	
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ※ゆず肌状	

防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2](15.6.2)
※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。
※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。

	4 その他の仕上げ	・基礎巾木仕上塗材 ※エスケー化研㈱ ベースプロテクト同等品とする ※菊水化学工業㈱ 基礎ｶﾞｰﾄﾞ同等品とする
		・水性反応硬化形軒天用仕上塗材 ※エスケー化研㈱ ユキフレッシュ同等品とする ※菊水化学工業㈱ ノキテンファイン同等品とする
		・ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し保護仕上げ塗材 ※エスケー化研㈱ セラミRC-FR工法同等品とする
5 建具改修工事	1 改修工法の適用	[5.1.3]

種類	かぶせ工法	撤去工法	備考
・アルミニウム製建具	・有り	・有り	
・鋼製建具 ・外部	・有り	・有り	
・内部			
・鋼製軽量建具			
・ステンレス製建具			
・自動ドア開閉装置			
・重量シャッター			

	2 見本の製作等	・特殊な建具の仮組(建具符号 :) [5.1.5]
	3 アルミ製建具	外部に面する建具 [5.2.2][表5.2.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	※A-3	※Ⅲ-4	※70	・図示
・B種	S-5	・	・	・100	
・C種	S-6	A-4	Ⅳ-5	100	

章	項目	特記事項
		表面処理 [5.2.4][表5.2.2] ・BA-1種 ・BA-2種(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
		屋内建具 表面処理 ※C-1種又はB-1種 [5.2.4][表5.2.2] ・C-2種又はB-2種(ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
	4 網戸	防虫網 [5.2.3] 網の種別 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ※ステンレス(SUS316)製 形 式 ・外部可動式 ※固定式
	5 鋼製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1] 耐風圧性能の適用は建具表による 特定防火設備戸 ・適用する [5.4.4]
	6 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1～2]
	7 ステンレス製建具	簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による 表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・適用する [5.1.4]
	8 自動ドア開閉装置	※製造所標準製作の規定寸法許容差による [5.8.2～4][表5.8.1～5]

開閉方法	検出装置の種類
※引き戸	・光線(反射)センサー ・熱線センサー
・多機能トイレ出入口引き戸	・音波センサー ・光電センサー ・タッチスイッチ
	・押しボタンスイッチ ・多機能トイレスイッチ

・凍結防止装置(適用箇所は建具表による)

	9 自閉式上吊り引戸装置	品質規格 ※改修標仕5.9.3による。 [5.9.3][表5.9.1] ・製造所標準仕様による。
	10 木製建具	※建具表による。 かまち戸の樹種 かまち( ) 鏡板( ) (16.7.2)(表16.7.2) ふすまの上張り ※新鳥の子程度又はビニル紙程度(押入れ等の裏面は除く) (表16.7.3) ・鳥の子 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.7.2) ※F☆☆☆ ・非ホルムアルデヒド系接着剤
	11 建具用金物	マスターキー ・製作する ※製作しない [5.7.4] 建具用金物 [5.7.2][表5.7.1～3] 錠類はシリンダー箱錠(レバーハンドル)とする。 なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。 吊金物 ・丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい) ・ピボットヒンジ
	12 ガラス	建具表による [5.13.2] ・ガラスブロック 改修標仕5.13.5 [5.13.5]

寸法(mm)	色調	パターン	防火認定
	※クリア ・熱線反射		※無し
	・乳白 ・カラー( )		・有り

	13 ガラス留め材及び溝	ガラス留め材 [5.13.2～3]

建具の種類	種類
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット(FIX部はシーリング材)
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。

⑭	ガラス用フィルム	

名称	種類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D1
・目かくしフィルム			
・遮熱フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止性能あり

品質JIS A 5759による
建具表による [5.13.2]

	15 重量シャッター	[5.10.2][表5.10.1]

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能( )N/㎡
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能( )N/㎡
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

品質JIS A 4705による
開閉機能
※上部電動式(手動併用) ・上部手動式
危害防止機構 ※障害物感知装置(自動開錠型) [5.10.2]
・シャッターの二段降下方式
一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない [5.10.2]

	16 軽量シャッター	[5.11.2][表5.10.1]

開閉形式
※手動式 ・上部電動式(手動併用)
スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 [5.11.3]
形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4]
ガイドレール等 [表5.10.2]
※鋼板製 ・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm)
耐風圧性能( )N/㎡

工事名	松戸市立第四中学校体育館空調設備設置建築工事
図面名	改修工事特記仕様書-2
作成年月日	令和7年2月10日
変更年月日	－
縮尺	No Scale
図面番号	A-02
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号
	松戸市 街づくり部 建築保全課

5 建具改修工事

17 オーバーヘッドドア [5.13.2～5][表5.13.1～2]

セクション材料による区分	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ	※バランス式	・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	・ステンレス鋼板
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	(SUS304)
		・バーチカル形	

耐風圧性能(　　)N/㎡　JIS A 4715

18 かぎ箱

市販品
形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

6 内装改修工事

1 改修範囲 [6.1.3]

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲

天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま。
・図示の範囲

2 既存床の撤去並びに下地補修 [6.2.2]

ビニル床シート等の除去　※仕上げ材のみ(接着剤とも)
・鋼製床組下地とも(※図示の範囲　・除去範囲全て)

カラードフロアの撤去　・機械的除去工法　・目荒し工法

改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の案内　・

3 既存壁の撤去並びに下地補修 [6.3.2][4.3.10]

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修
・図示
・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強　※行う　・行わない)

4 木下地等 (AP-1、2) [6.5.2][表6.5.1]

木材の品質　図示
※改修標準仕様書6.5.2による　・市販品

代用樹種　※改修標仕6.5.4による [6.5.2][表6.5.2]
・代用樹種を適用しない箇所(　　)

保存処理木材を適用する箇所(　　)

5 集成材等 G (額縁等) [6.5.2]

品　名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・米栂　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	・1種　※2種　・3種	・	
・造作用集成材	※1等　・2等	・タモ	
・化粧ばり造作用集成材	※1等　・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

6 接着剤 [6.5.3]

※F☆☆☆☆
・非ホルムアルデヒド系接着剤

7 防腐、防蟻処理 [6.5.5]

行う箇所(　　)
防腐処理　※行う(※図示　　)
防蟻処理　・行う(※図示　　)
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。

8 床板張り [6.5.8][6.11.2][表6.5.8]

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合　板	t12mm
		・パーティクルボード	t15mm
床板	※単層フローリング(共仕19.5.2による)	ホルムアルデヒドの放散量	※F☆☆☆☆　・
	・縁甲板	※ひのき	

※フクビ　フリーフロアCP-F同等品

9 軽量鉄骨天井下地 [6.6.2][表6.6.1～2]

野縁等の種類
屋外(・19形　※25形)　屋内(※19形　・25形　※角スタッド工法 65形)

既存の埋込みインサート　・使用する　※使用しない [6.6.4]

あと施工アンカーの確認試験　・行う　※行わない

10 軽量鉄骨壁下地 [6.7.3][表6.7.1]

スタッドの高さが5mを超える場合　※図示

11 ビニル床シート張り [6.8.2]

種　類	JISの記号	色　柄	厚さ(mm)
※発砲層のないもの	※NC　・	※無地　・マーブル柄	※2.5
・発砲層のあるもの		※柄物　・無地	
・防滑性ビニル床シート	・NF　・NC	・柄物　・無地	・2.5
・防汚性ビニル床シート			・2.0

工法　※熱溶接工法　・突付け(施工箇所:　　) [6.8.3]

・防汚性ビニルシート：下記同等品とする。
ロンシール工業㈱ヤニタリウム　t=2.0
タキロンシーアイ㈱ネオクリーン　t=2.0
東リ㈱消臭ＮＳトワレＮＷ　t=2.0

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

12 ビニル床タイル張り [6.8.2]

種　類	JISの記号	厚さ(mm)	備　考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS		
・ホモジニアスビニル床タイル	HT		

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

13 帯電防止床タイル張り [6.8.2]

種　類	厚さ(mm)	性　能
※コンポジションビニル床タイル	※2　・	体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	1.0×10⁷Ω以下、または、
		漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
		1.0×10⁷Ω未満

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

14 視覚障害者用床タイル (誘導用及び注意喚起用床材) [6.8.2]

ブロックパターンはJIS T 9251による
色彩は黄色を原則とする。
屋内　※塩化ビニル製　・磁器又は石器質タイル(※300　・　　)
・レンジコンクリート製
屋外　※レンジコンクリート製　・磁器又は石器質タイル(※300　・　　)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

15 ビニル幅木 [6.8.2]

高さ　(mm)　・60　・75　・100
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

16 合成樹脂塗床 [6.10.2～3][表6.10.1～8]

種　類	仕上の種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ工法(※平滑　・防滑)
	・厚膜流しのべ工法(※平滑　・防滑)
	・樹脂モルタル工法(※平滑　・防滑)
	・薄膜型塗床工法(※平滑)

ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970　※F☆☆☆☆　・

17 フローリング張り [6.11.2～7][表6.11.1～6]

種　別	材　種	工　法	仕上塗装等	備考
・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品	
・大型積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
・単層フローリング	・ブナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
	・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品	
・フローリングブロック	・ブナ	・直張り	※塗装品	

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

18 畳敷き [6.12.2～3][表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
改修標仕 表6.5.10による床組	※B種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種　・

19 ポリスチレンフォーム床下地材

畳下地　厚さ(mm)　※40　・65　・80
フローリング類　厚さ(mm)　※80　・95

20 カーペット敷き [6.9.2～3][表6.9.1～2]

・織じゅうたん

種　別	パイル糸の種類	帯電性	色柄等	備考
・A種	・そ毛糸	人体帯電圧	※無地	
・B種	・紡毛糸	※3kV以下	・柄物(標準品)	
・C種	・紡毛糸			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タフテッドカーペット(JIS L 4405) [6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	パイル長(mm)	工　法	備考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法	
	※4～6　・	・グリッパー工法	
・レベルループパイル	※4　・		
・カット、ループ併用			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タイルカーペット [6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	種　類	規　格	総厚さ(mm)	備　考
※ループパイル	※第一種	※500×500	※6.5	
	・第二種			
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下(フリーアクセスフロア新設範囲)

21 石膏ボードその他のボード張り [6.13.2][表6.13.1]

種　類	厚さ(mm)　規格
・硬質木毛セメント板 G	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板 G	・15　・20　・25　・
・ケイ酸カルシウム板	タイプ2(無石綿)　(・6　・8　・　)
・ロックウール化粧吸音板	※フラットタイプ (※9(不燃)　・12　・　) ・凸凹タイプ (※12(不燃)　・15　・19　・　)
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)	※フラットタイプ9(不燃) ・凸凹タイプ(※12　・15)(不燃)
・せっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(準不燃)
・不燃積層せっこうボード	9.5(不燃)　化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)
・シージングせっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(不燃)
・強化せっこうボード	・12.5(不燃)　・21.0(不燃)
・せっこうラスボード	・9.5　・12.5
・化粧せっこうボード	・9.5(準不燃)
・化粧せっこうボード(木目)	・12.5(不燃)幅440mm程度 模様(※柾目　・板目)専用下地材付き
・難燃合板 G	・生地、透明塗料塗り(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗り(ラワン合板程度)厚さ・12
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による　厚さ　・4.0
・ミディアムデンシティファイバーボード G	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード G	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボーイ(素地) G	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ※規制対象外　・第三種　・研磨板　(・スタンダード　・テンパード)
・インシュレーションボード G	A級(・天井仕上　・内装仕上　・　) ・9　・12　・15　・18　・
・フレキシブル板	厚さ　・5.0
・(有孔)シナ合板	厚さ　・5.0

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
・適用する　※適用しない

22 吸音材 [表6.13.1]

種　類	規格番号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	JIS A 6301	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	JIS A 6301	※25　・

23 壁紙張り (掲示用クロス) [6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維(織物)	プラ(ビニル)	その他(化学繊維)	紙	防火性能	備　考
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	

下地調整 [6.14.3][表7.2.4][表7.2.7]
モルタル、プラスター面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
せっこうボード面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)

壁紙のホルムアルデヒドの放散量　F☆☆☆☆ [6.14.2]
サンゲツ・リリカラ一製品同等品とする。

24 モルタル塗り

吸水調整材 [6.15.3]

全面形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/㎟)	界面破断率(%)
表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)
防水剤の種類　建築用モルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間		曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント質量の5%	JIS R 5201の試験において		70%以上	95%以上	80%以上
以下	始発	1時間以上			
	終結	10時間以内			

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。
既製目地材　※適用しない　・適用する

25 タイル張り

タイルの種類 [6.16.3]

施工箇所	形状寸法	きじ			うわぐすり		役物		色		再生材の適用 G	備考
		磁器	石器	陶器	施ゆう	無ゆう	有り	無し	標準	特注		

役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う(※外装タイル　・　　)
内装タイル　※内装タイル接着剤張り　JIS A 5548 有機系接着剤
接着剤のホルムアルデヒド　※F☆☆☆☆　・

26 セルフレベリング材塗り

セルフレベリング材の種類 [6.17.2][表6.17.1]

種類	フロー値(cm)	凝結時間 始発(分)	凝結時間 終結(時間)	圧縮強度(N/㎟)	下地接着強度(N/㎟)	表面接着強度(N/㎟)	長さ変化(%)	衝撃	備考
せっこう系	19以上	45以上	20以上	15以上	0.5以上	0.4以上	0.05以下	割れ及び剥がれないこと	
セメント系				20以上	0.7以上	0.5以上	0.12以下		

試験方法：日本建築学会品質規準JASS 15 M-103による。

27 断熱材 (19.9.2～3)

種類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	※25 ・100	特定フロンを使用しないもの
	※3種b (スキン層付)	・接地部分	※25	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	——	特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級　・2級
		・一般部	※25	

JIS A 9521に基づく発泡プラスチック
断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。

28 浴室天井材

市販品

材　質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	・準不燃品	※200	廻縁は縁付きとし製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	・塗装品 ・木目調		※300 ・100	

29 フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	構　法	仕上り高(mm)	適用地震時 水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は各内装工事による。
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付対応　※製造所の標準仕様　(コンセント本体は別途設備工事)
コンセントの箇所数は図示
配線用取出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1箇所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り(※固定式　・可変式　・施工箇所は図示)

30 可動間仕切 (20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式		※鋼板	※メラミン樹脂又は	・有り	・有り
・スタッドパネル式		(※0.6　・0.8)	アクリル樹脂焼付	(　)	・無し
・パネル式		・		・無し	

遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

31 移動間仕切 (20.2.4)

遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ (36db以上)		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は「23壁紙張り」による。

32 トイレブース

表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板 t40(アルミ製コーナーエッジ付き　指詰め防止)　(20.2.5)
※紙巻器設置位置については下地補強を行うこと。
・特殊UV塗装硬質セメント板(標準色　アルミ製コーナーエッジ(ステンカラー)付き)
笠　木　※アルミ製　・ステンレス製
足形状　※幅木タイプ(ステンレス製)　・足金物タイプ
※防水型(ステンレス巻き)

33 階段滑り止め (20.2.6)

材　種　ステンレスSUS304
形　状　ビニルタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り(・ステンレス製　※ビニル製)　・無し
幅(mm)　約35
取付工法　※接着工法　・埋込工法

34 手すり

種　別	施工箇所
※笠木受け：アルミ押出形材 笠木：半硬質副検製樹脂 二層成形φ40mm	スロープ
・樹脂被覆Φ34	

35 黒板及びホワイトボード (20.2.8)

種　類		寸　法(mm)	色　彩	備　考
・黒板	※焼付		※緑　・黒	・平面　※曲面
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面

36 表示

衝突防止表示　・図示(市販品　・ステンレス製　径約30mm　・　　) (20.2.10)
(　・両面　・片面　)
・無し
表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。
製造所　監督職員の承諾する製造所。

37 ブラインド

・既存再使用する(養生方法:　　) [2.3.1][5.1.6]
・新設する (20.2.12)

形　式	種　類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横形	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
・縦形	・1本操作コード ※2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

38 ロールスクリーン

防炎性能　※有り
製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する (20.2.13)

施工箇所	装　置 電動	装　置 手引	性　能 防炎性能	備　考

39 カーテン (暗幕、緞帳等)

・既存再使用する(養生方法：取外し再取付) [2.3.1][5.1.6]
・新設する (20.2.14)

施工箇所	形　式 片引	形　式 引分	装　置 電動	装　置 ひも引	装　置 手引	ひだの種類	性　能	備　考

40 カーテンレール

・既存再使用する [5.1.6]
・新設する (20.2.14)
材　種　JIS A 4802・アルミニウム製　※ステンレス製
形　式　・片引き　・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)

41 カーテンボックス及びブラインドボックス

※既存再使用する。 [5.1.6]
・新設する。
・市販品(アルミニウム製)
溝幅×深さ(mm)　・90×150　※120×150　・150×80　・
色　彩　※B-1　・B-2(※ブラウン　・ブラック　・ステンレスカラー)
※図示

41 天井点検口

材　質　※アルミニウム製(※額縁タイプ　・目地タイプ)　・既存取外し、再取付

42 床点検口

材　質　・アルミニウム製(受け枠　※アルミ製　・ステンレス製)
・ステンレス製(受け枠　・ステンレス製(防水、防臭型))

43 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	耐荷重による種類

44 流し台ユニット

種　類	寸法(L=　mm)	適用内容	規格・品質等
・流し台	・900　・1200　・1500	・トラップ付き	
・コンロ台	・600　・700	・バックガード　・有り	
・吊り戸棚	・1200　・900　・600		
・水切り棚	・1200　・900	・トラップ付き	
・作業台	・900　・1200　・1500		

45 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発砲シート張り　・

46 ライニング天板

材　種　・メラミン樹脂化粧板張り(芯材：集成材)　・人工大理石
奥行き(mm)　※図示

47 用具入れ

材質　メラミン樹脂系化粧板 (12.2.2)(19.7.2)
形状、寸法　※図示
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

49 室名札等

・突出し型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(　　箇所)
・平付け型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(　　箇所)
・ピクトサイン　材質：ｱﾙﾐ　ｱﾙﾏｲﾄｼﾙﾊﾞｰ、絵柄：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：200×200　(　7　箇所)
・階数表示　材質：ｽﾃﾝﾚｽ　ﾍｱﾗｲﾝ、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ150×150　(　　箇所)

50 鋼製床下地 (体育館用)

部材規格　大引き、根太鋼：※JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板、亜鉛付着量Z12以上)
U字金具、支持台：※JIS G 3302SGHCと同等以上(亜鉛付着量Z12以上)
緩衝材：※JIS K 6385(A種防振ゴム)
※三洋工業㈱ スリーベース101タイプ同等品とする。

51 アルミ製移動階段

・セノー㈱　HE9724(アルミ合金製、アルマイト処理焼付塗装)同等品とする。

52 救助袋

・垂直式　○階用

工事名	松戸市立第四中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修工事特記仕様書-3		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	—
縮　尺	No Scale	図面番号	A-03
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		

松戸市　街づくり部　建築保全課

7 塗装改修工事

1 材料 [7.1.2～3]

塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。
屋内で使用する場合のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は監督職員と協議する。 [7.1.8]

2 下地調整 [7.2.2～7][表7.2.1～7]

下地面の種類	下地調整の種別	備　考
木部	・RA種 ※RB種	新規面はRA種
鉄鋼面	・RA種 ※RB種	
亜鉛めっき鋼面	・RA種 ※RB種	
モルタル、プラスター面	・RA種 ※RB種	
コンクリート、ALC及び押出成形	・RA種 ※RB種	
セメント板面	・RA種 ※RB種	
せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種	

既存下地面等のひび割れ部補修 [表7.2.5～6]
※行う　・行わない
※錆止め　JIS K 5674

3 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) [7.5.2][表7.5.1]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
木部	・A種　※B種	※B種	下塗りJASS 18 M-304
			中塗り及び上塗りJIS K 5516
鉄鋼面	・A種　※B種	※B種	穴埋め及びパテかいJASS 18 M-110
			中塗り及び上塗りJIS K 5516

4 鉄鋼面耐候性塗料塗り(DP) [7.8.2～4][表7.8.1～3]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
鉄面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5659
亜鉛めっき面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5659
コンクリート、押出成形セメント板面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5658

下塗りJASS 18 M-109

5 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) [7.9.2][表7.9.1]

新規の塗りの種別　・A種　※B種
塗替えの種別　・A種　※B種
下塗りJIS K 5663　中塗り及び上塗りJIS K 5660

6 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) [7.10.2][表7.10.1]

新規の塗りの種別　・A種　※B種
下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

7 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T) [7.11.2][表7.11.1]

新規の塗りの種別　・A種　※B種
塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種別
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種
	・RC種	※C-3種
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種　・B種
	・RC種	・C-1種　・C-2種

下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

8 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) [7.11.2][表7.11.1]

・A種　※B種
1液形JASS 18 M-301　2液形JASS 18 M-502

9 オイルステイン塗り(OS) [7.12.2]

ワトコオイル製品同等品とする。

10 木材保護塗料塗り(WP) [7.13.2][表7.13.1]

・A種　※B種
JASS 18 M-307

11 ポリウレタン樹脂塗装(2-UC)

フローリングブロック面の塗り種別　・A種　※B種

8 耐震改修工事

『耐震補強工事構造特記仕様書』による。

9 環境配慮（グリーン）改修工事

1 一般事項 [9.1.3]

アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法
・封じ込め処理　・囲い込み処理除去工法　・除去工法
アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事　・図示
分析によるアスベスト(ｱﾌｶﾞﾉﾗｲﾄ、ｱﾓｻｲﾄ、ｱﾝｿﾌｨﾗｲﾄ、ｸﾘｿﾀｲﾙ、ｸﾛｼﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾚﾓﾗｲﾄ)含有の調査
・行う(下表による)　・行わない

材料名	調査方法	1材料あたりの試料数
	・JIS A 1481による	※3

2 アスベスト含有吹付材除去工事

吹付アスベストの施工数量調査を行う。

アスベスト粉塵濃度測定　※行う

測定時期及び場所等については下表による。

測定時期	測定場所	測定点数(各処理作業室毎)	備　考
処理作業前	処理作業室内	2又は3点	
	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通
処理作業中	処理作業室内	2点	
	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認
	負圧・除塵装置の排出口(処理作業室外の場合)	1点	除塵装置の性能確認
	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
処理作業後	処理作業室内	2点	
(隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通

(注)処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。
処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。

建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
関係官公署に届出を行う。　・大気汚染防止法に関する届出　松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出　柏労働基準監督署
本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

3 アスベスト含有吹付材囲い込み工事

軽鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ(核スタッド工法 65形@300)とし、既存天井面には触れない。
関係官公署に届出を行う。　・大気汚染防止法に関する届出　松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出　柏労働基準監督署
養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。
アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。
―内部測定点内訳―
〈1階：　点、2階：　点、3階：　点〉
詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。

4 アスベスト成形板の処理工事

処理を行うアスベスト成形板の仕様等　・仕上表による [9.1.5]

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲
石綿板	4	便所
人研ブロック	30	便所

施工調査
アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。
調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。
(1)アスベスト成形板使用部位の確認。
(2)アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。
(3)アスベスト成形板使用数量の確認。

5 アスベスト含有仕上塗材の除去

アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験的一部除去作業の方法
(1)試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は□500mm程度とする。
(2)試験的除去は剥離剤併用手工具ケレン工法にて実施。

アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法　・部分除去　・全面除去

アスベスト含有仕上塗材部分除去作業
(1)部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。
(2)建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。
なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
(集塵機付きﾃﾞｨｽｸｻﾝﾀﾞｰ工法同等とすること)
(3)除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
(4)アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
(5)廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
(6)アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
(7)関係官公署に届出を行う。
(大気汚染防止法→松戸市環境保全課 労働安全衛生法→柏労働基準監督署)
(8)本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

6 外断熱改修工事

断熱材の種類 [9.2.2]

材料名		厚さ(mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム	
・硬質ウレタンフォーム	・フェノールフォーム	
・ロックウール	・グラスウール	

外装材の種類 [9.2.2]

防火性能

既存外壁仕上材の撤去　・有り　・無し [9.2.3]
下地面の清掃及び下地調整　※断熱材製造所の指定する仕様

通気層　・有り(　mm)　・なし [9.2.4]
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。
特記無き事項は、製造所の仕様による。

7 ガラス改修工事

複層ガラスの厚さ　建具表による [5.14.2]
断熱性・日射遮蔽性による区分　※U3-1　・U3-2

8 屋上緑化改修工事

特記事項は図示 [9.4.2]

9 透水性アスファルト舗装改修工事

路盤材料 [9.5.4][表9.5.3]
※再生クラッシャラン(RC-40)
・クラッシャラン(C-40)又はクラッシャランスラグ(CS-40)
透水性の高いものを使用する。

遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.5.3]
・遮断層　※川砂、海砂又は良質な山砂　・
厚さは図示
・凍上抑制層　※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　切込み砂利　・砂
厚さは図示

盛土に用いる材料 [9.5.3][表9.5.1]
・A種　※B種　・C種　・D種

路床安定処理
※添加材料による安定処理 [9.5.3][表9.5.2]
種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントB種
・生石灰(　)　・消石灰(　)
添加量　kg/㎥(目標CBR ※5以上　・
路床土の支持力比試験　※行う(※乱した土　・乱さない土)
路床締固め度の試験　※行う

アスファルト混合物 [9.5.6][表9.5.5]
車道部　※改質アスファルトⅠ型
歩道部　※ストレートアスファルト

透水性舗装 [9.5.9]
アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う

10 その他

1 舗装工事

歩行者用通路コンクリート版の厚さ　※70mm　・ (22.5.2)(表22.5.1)

部　位	設計基準強度(N/mm)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40
			砕石の場合20又は25
歩行者用通路	18	8	砂利の場合25
			砕石の場合20

砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1)
種別　・A種　・B種

2 植栽工事

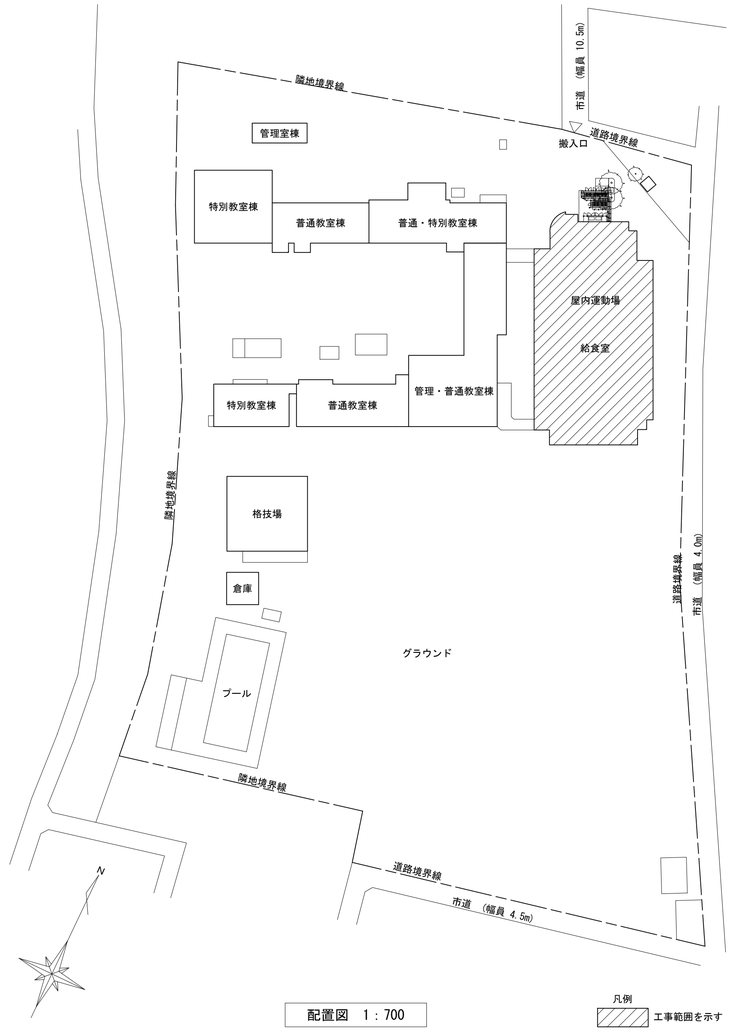
植樹 (22.3.2)

樹　種	寸　法	数　量	備　考

工事名	松戸市立第四中学校体育館空調設備設置建築工事
図面名	改修工事特記仕様書-4
作成年月日	令和7年2月10日
変更年月日	－
縮　尺	No Scale
図面番号	A-04
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号
松戸市　街づくり部　建築保全課	



案内図　1：2500



配置図　1：700

凡例
工事範囲を示す

外部仕上表

部位		仕上	備考
外壁	改修前	RC部:コンクリート打放し＋吹付タイル　フッ素樹脂塗料凸部処理（アスベスト含有）	既存のまま
		巾木:コンクリート打放し目地割れ＋薄塗りモルタル	既存のまま
		ALC部:鉄骨下地＋ALC t=50 （一時間耐火仕様）＋吹付タイル（フッ素樹脂塗料凸部処理、フィラー共）	既存のまま
	改修後		

凡例、特記事項

	記号	塗料名		材料	認定番号		内装仕上材、屋根裏木毛セメント板は、全てF☆☆☆☆とする
塗料凡例	OSCL	オイルステイン＋クリヤラッカー塗り	内装材認定	ALC	軽量気泡コンクリート	特記事項	塗装材（塗料）は、全てF☆☆☆☆とする
	OP	油性調合ペイント					建築材料は、全てアスベスト含有材でない材料を使用とする

内部仕上表

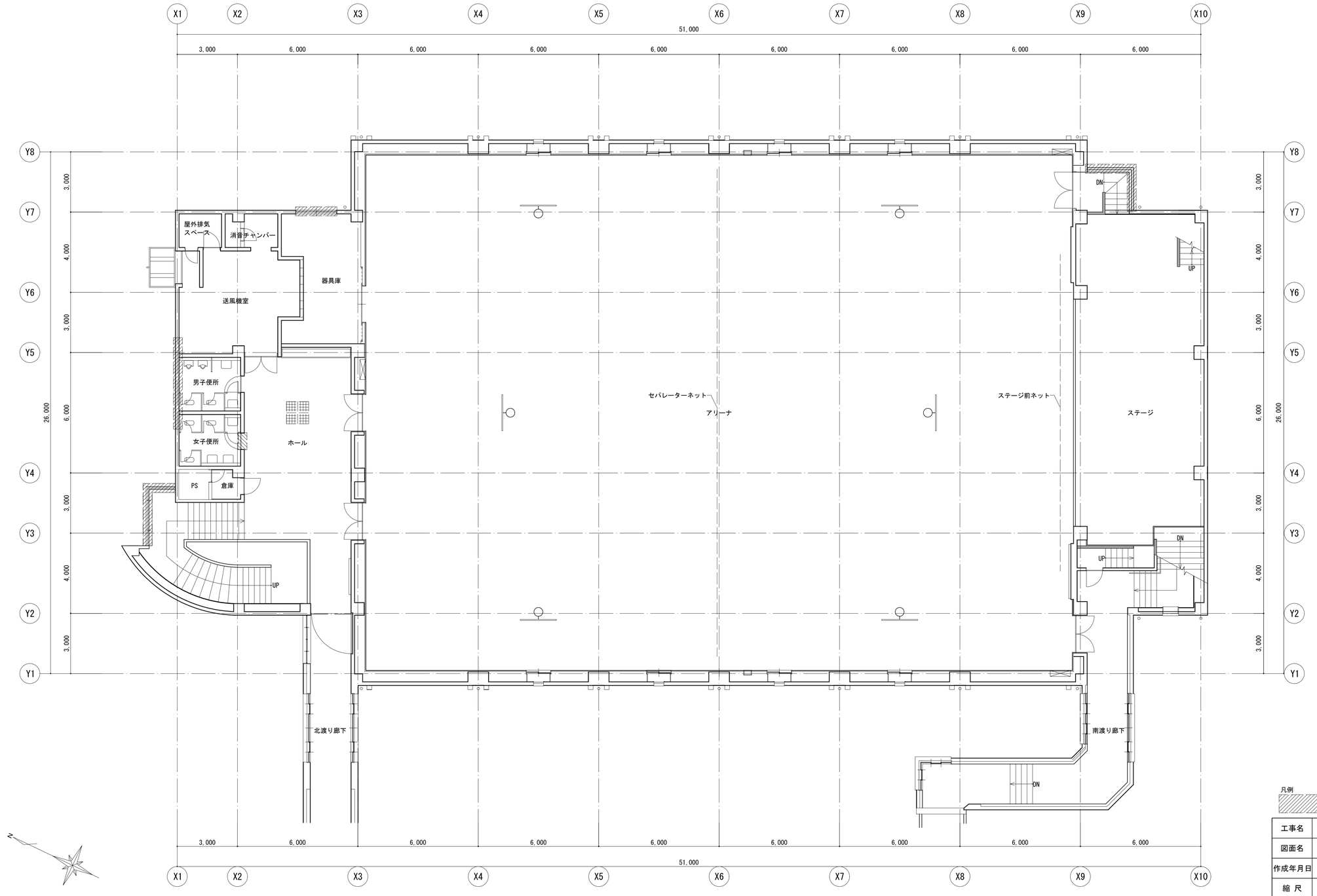
階	室 名		床	床高さ	改修内容範囲		巾 木	床高さ	改修内容範囲		壁(柱・梁型)		天 井	天井高さ	改修内容範囲	廻縁	備 考
1	アリーナ	改修前	体育館用鋼製床下地（制震タイプ）＋コンパネt=15＋カバサクラフローリングボード 特殊張りt=18 ポリウレタン樹脂塗装（2液型、3回塗り）		既存のまま	改修前	ラワン OSCL		既存のまま	改修前	ラワン OSCL 木軸（杉等）＋ラワン合板t=9＋シナ合板t=5.5 敷目地貼接着剤 併用ビス止め　100角タイル:陶磁器タイル100x100　OP	改修前	グラスウールボード 鉄骨部:エポキシ塗装樹脂系塗装		既存のまま		
		改修後				改修後				改修後		改修後	-				
2	ギャラリー	改修前	モルタル金ゴテ仕上t=30 エポキシ樹脂系塗床		既存のまま	改修前	モルタル金ゴテ仕上t=30 エポキシ樹脂系塗床	＋75	既存のまま	改修前	打放しケイ酸質系複層仕上材 ウレタンエナメル仕上 軽量下地＋グラスウールt=25＋有孔フレキ板t=6敷目地貼 ＋寒冷沙裏打　壁吹付材：アスベスト含有	改修前	ギャラリー部：打放しケイ酸質系複層仕上材 ウレタンエナメル仕上（アスベスト）		既存のまま		
		改修後	-			改修後	-	＋75		改修後	-	改修後	-				

工事名	松戸市立第四中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図・仕上表		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:2500 1:700	図面番号	A-05
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

災害用マンホール　備蓄倉庫 H=2450
災害用トイレ
低木
Φ250
H3500
樹木
H=15000
Φ400
石碑
W=1500
D=900
H=900
樹木
H=15000
Φ400
メッシュフェンス
ゴミ・屋外機置場
地流し
流し
厨房便所
食品庫
厨房前室
厨房
下処理
食堂
事務休憩室
食堂ホール
洗濯・脱衣室
シャワー
PS
DN
玄関ホール
倉庫1
UP
部室1
部室2
部室3
部室4
部室5
女子シャワー室
男子シャワー室
女子便所
男子便所
UP
南階段
UP
倉庫２
DN
DN
流し
地流し
X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10
51,000
3,000 6,000 6,000 6,000 6,000 6,000 6,000 6,000 6,000
Y8 Y7 Y6 Y5 Y4 Y3 Y2 Y1
26,000
3,000 4,000 3,000 6,000 3,000 4,000 3,000
N

1階平面図　S=1:100

工事名	松戸市立第四中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	1階平面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1：100	図面番号	A-06
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

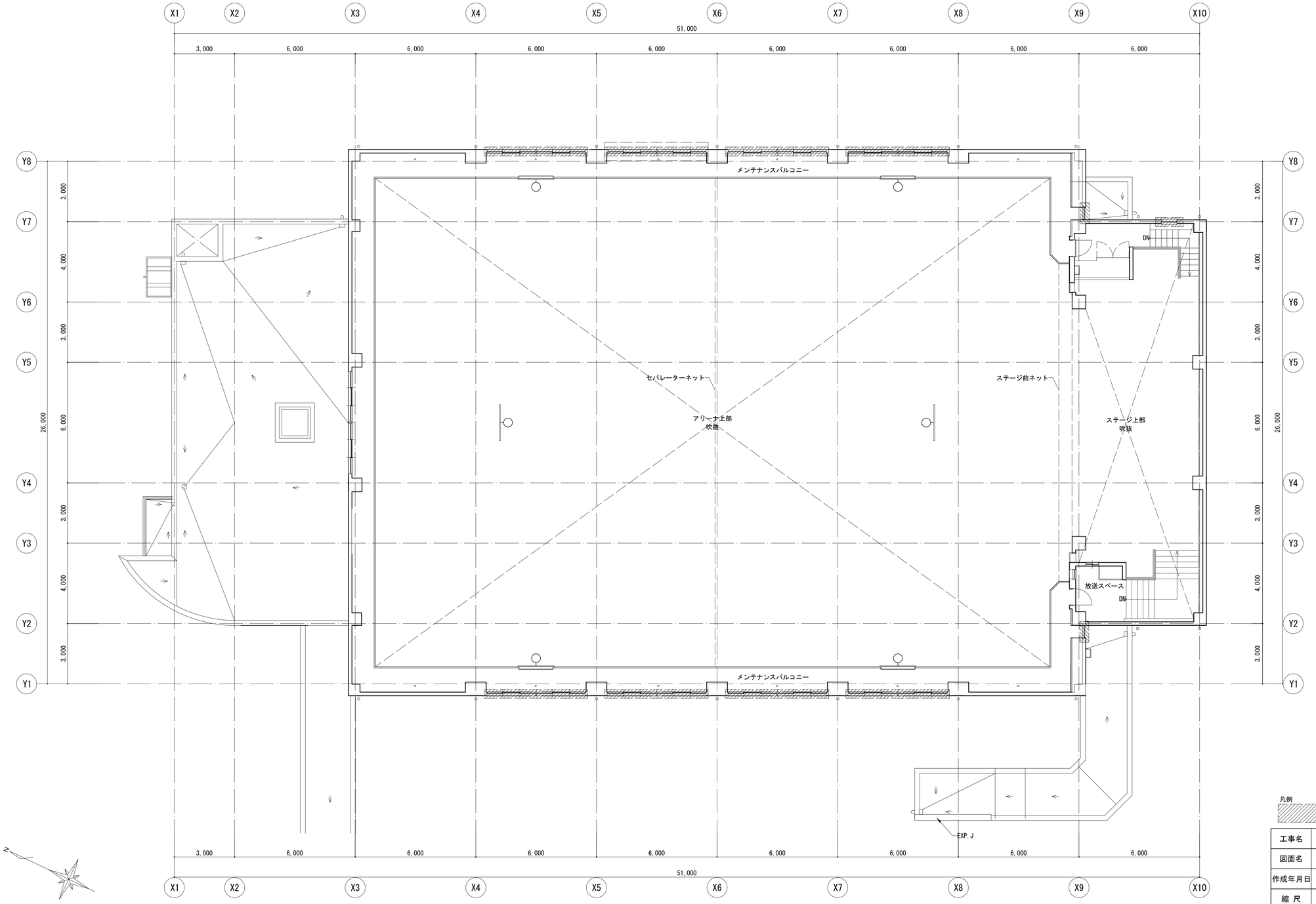


2階平面図　S=1:100

凡例

改修範囲を示す

工事名	松戸市立第四中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	2階平面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1：100	図面番号	A-07
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



3階平面図　S=1:100

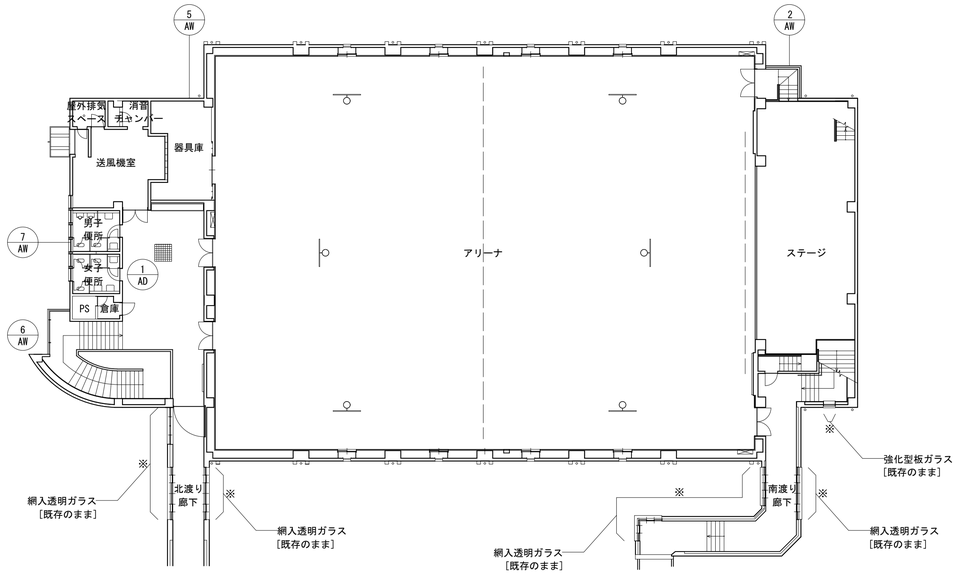
凡例

改修範囲を示す

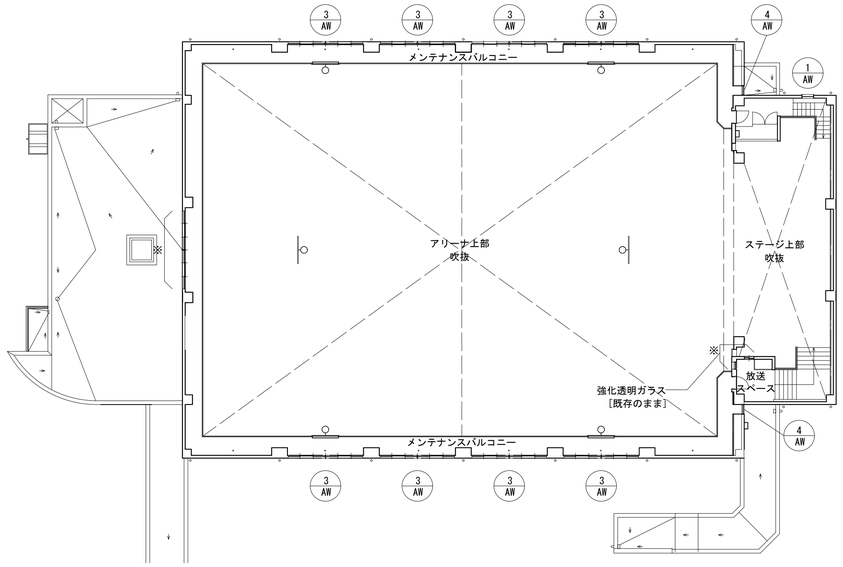
工事名	松戸市立第四中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	3階平面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1：100	図面番号	A-08
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

改修前

※印：当該部分のガラスについては、以下の２条件に該当する場合、フィルムは施工せず、既存のままとする。
①外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓、かつ、北側に面する窓
　または、外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓以外の窓
②ガラス種類が以下のいずれか
（透明強化ガラス、型板強化ガラス、透明網入ガラス、型板網入透明ガラス）



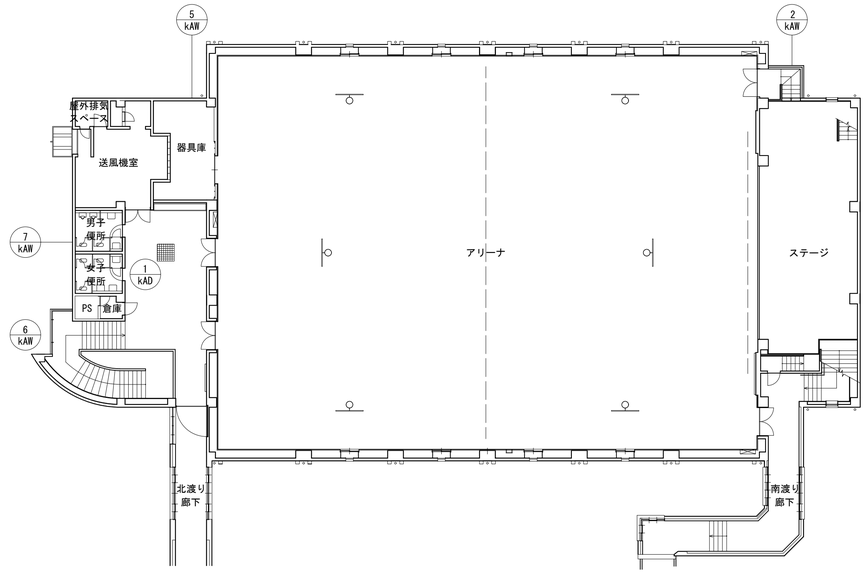
2階キープラン　S=1:200



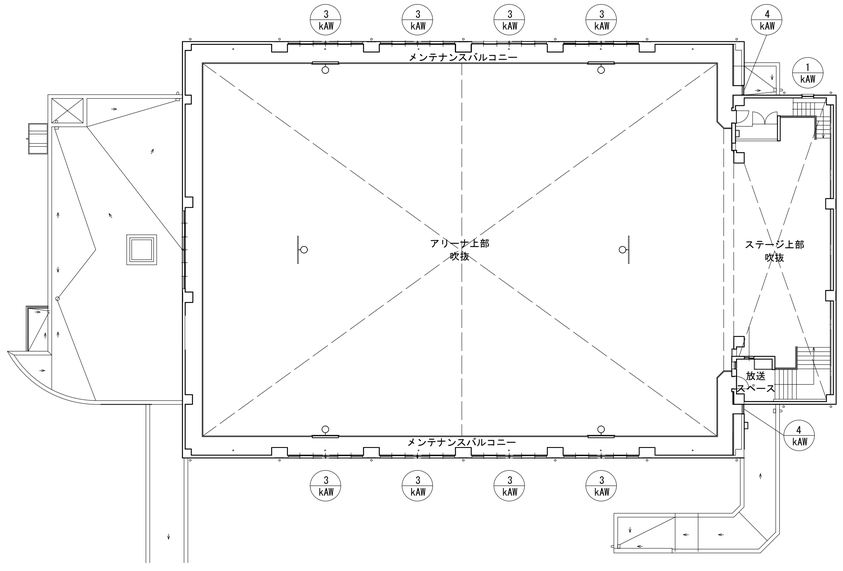
3階キープラン　S=1:200

※ 既存建具を示す

改修後



2階キープラン　S=1:200

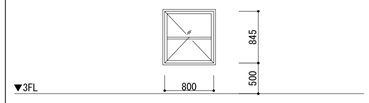
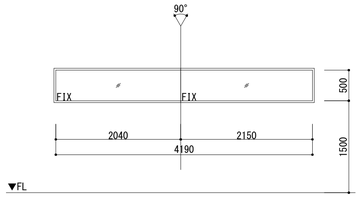
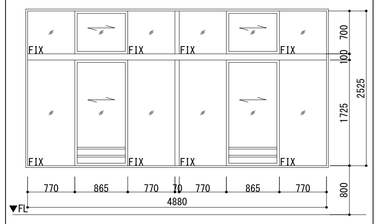
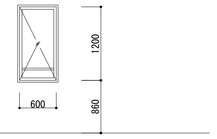
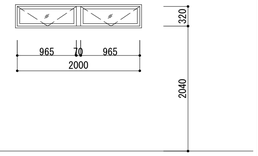
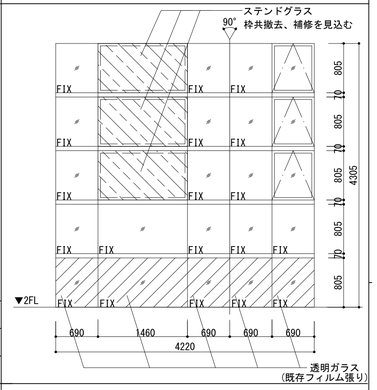


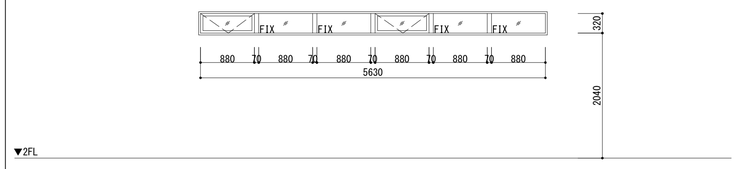
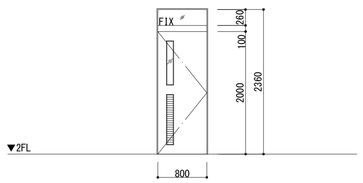
3階キープラン　S=1:200

※ 既存建具を示す

工事名	松戸市立第四中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修前・改修後 建具キープラン		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:200	図面番号	A-09
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

改修前

符号・数量	1 AW ステージ　数量 1	2 AW ステージ　数量 1	3 AW メンテナンスバルコニー　数量 8	4 AW メンテナンスバルコニー　数量 2	5 AW 器具庫　数量 1	6 AW 階段踊り場　数量 1
姿 図						
形 式	縦絞り出し窓	FIX窓	自由化引き窓	辷り出し窓	内倒し窓	カーテンウォール
材質・仕上	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込70　SUSカラー
硝 子	強化透明ガラス　t=4	強化透明ガラス　t=4	強化透明ガラス　t=5	強化透明ガラス　t=4	型板ガラス　t=4	強化透明ガラスt=5　ステンドグラス有 腰：透明ガラスt=5
付属金物	付属金物一式　手摺	付属金物一式	付属金物一式　手摺	付属金物一式　手摺　※西側のみ箱錠	付属金物一式	付属金物一式　手摺、結露受、ガラスフィルム張り
撤去内容						既存フィルム[撤去]、ステンドグラス[撤去]

符号・数量	7 AW 男子便所　女子便所　送風機室　数量 1	1 AD 女子便所　数量 1
姿 図		
形 式	内倒し窓＋FIX窓	ランマ（FIX）付片開き額入りフラッシュ戸（ガラリ付き）
材質・仕上	見込70　アルミ	見込70　アルミ
硝 子	型板ガラス　t=4	型板ガラス　t=4
付属金物	付属金物一式	付属金物一式　箱錠
撤去内容		

符号・数量		
姿 図		
形 式		
材質・仕上		
硝 子		
付属金物		
撤去内容		

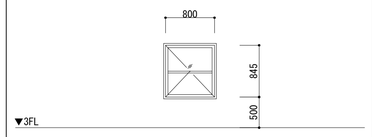
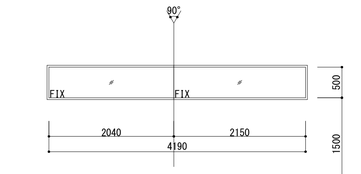
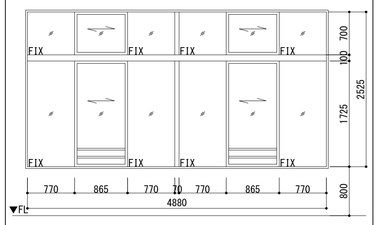
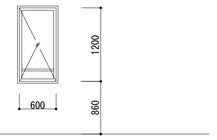
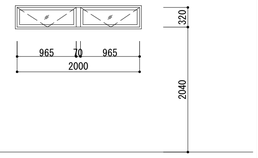
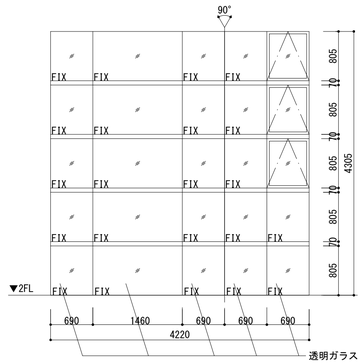
ガラス撤去範囲を示す（ひび割れガラス）

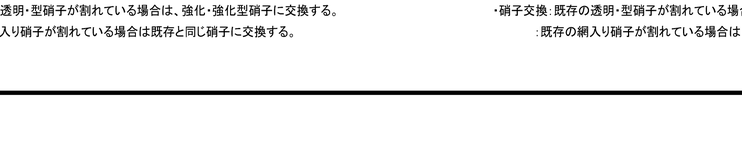
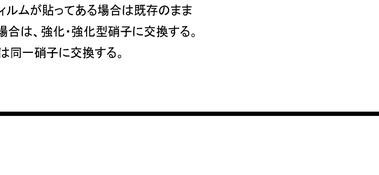
既存フィルムを示す

既存建具を示す

工事名	松戸市立第四中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修前 建具表		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:50	図面番号	A-10
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

改修後

符号・数量	1 kAW ステージ　数量 1	2 kAW ステージ　数量 1	3 kAW メンテナンスバルコニー　数量 8	4 kAW メンテナンスバルコニー　数量 2	5 kAW 器具庫　数量 1	6 kAW 階段踊り場　数量 1
姿 図						
形 式	縦絞り出し窓	FIX窓	自由化引き窓	辷り出し窓	内倒し窓	カーテンウォール
材質・仕上	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込70　SUSカラー
硝 子	強化透明ガラス　t=4	強化透明ガラス　t=4	強化透明ガラス　t=5	強化透明ガラス　t=4	型板ガラス　t=4	強化透明ガラスt=5　ステンドグラス有 腰：透明ガラスt=5
付属金物	付属金物一式　手摺	付属金物一式	付属金物一式　手摺	付属金物一式　手摺　※西側のみ箱錠	付属金物一式	付属金物一式　手摺、結露受
改修内容	フィルム張①[新設](内貼)	フィルム張①[新設](内貼)	フィルム張①[新設](内貼)	フィルム張①[新設](内貼)	フィルム張⑥[新設](外貼)	透明ガラス⑤フィルム張[新設](内貼)

符号・数量	7 kAW 男子便所　女子便所　送風機室　数量 1	1 kAD 女子便所　数量 1
姿 図		
形 式	内倒し窓＋FIX窓	ランマ（FIX)付片開き額入りフラッシュ戸（ガラリ付き）
材質・仕上	見込70　アルミ	見込70　アルミ
硝 子	型板ガラス　t=4	型板ガラス　t=4
付属金物	付属金物一式	付属金物一式　箱錠
改修内容	フィルム張⑥[新設](外貼)	フィルム張⑥[新設](外貼)

■遮熱・飛散防止フィルム貼り仕様一覧表（外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓）

既存硝子＼方角		東・西・南	北
透明硝子	内貼	① 遮熱フィルム 3M　NAN070S	⑤ 飛散防止フィルム ３M　SH2CLAR
型硝子	外貼	② 遮熱フィルム 3M　NAN070SX	⑥ 飛散防止フィルム ３M　SH2CLARX
● 強化透明硝子	内貼	① 遮熱フィルム 3M　NAN070S	既存のまま
強化型硝子	外貼	② 遮熱フィルム 3M　NAN070SX	既存のまま
網入り透明硝子	内貼	③ 遮熱フィルム 3M　NAN090S	既存のまま
網入り型硝子	外貼	④ 遮熱フィルム 3M　NANOMACRX	既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは3Mジャパン(株)同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、**北側の強化硝子・網入り硝子**に飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入り硝子が割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

■飛散フィルム貼り仕様一覧表
（外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓**以外の窓**・・・放送室、器具庫、控室、便所など）

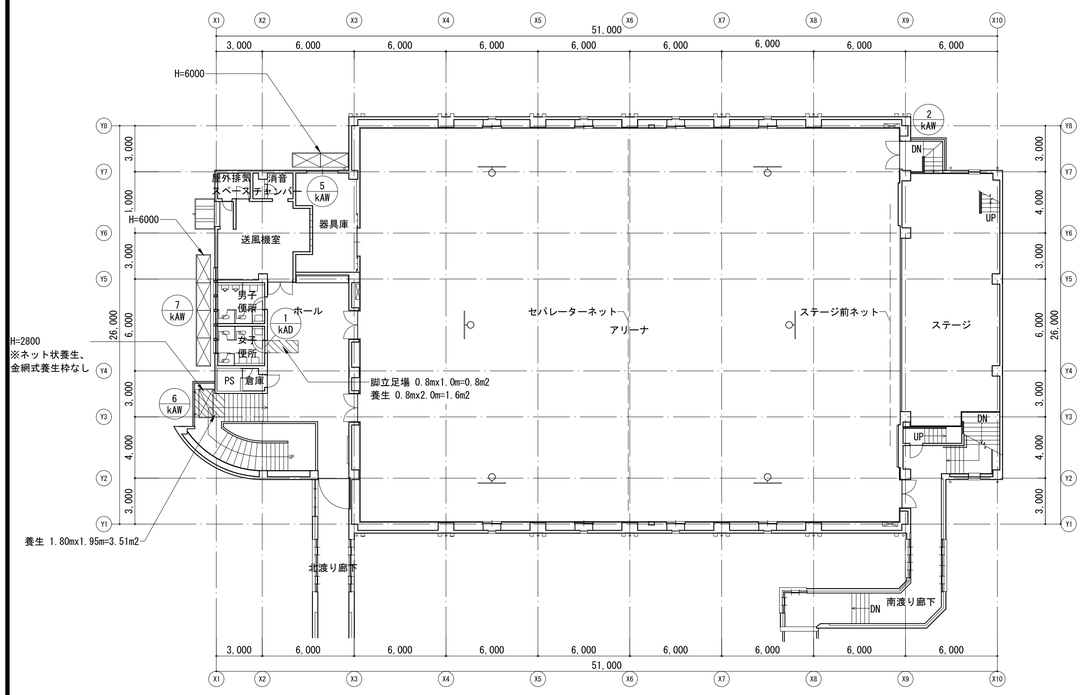
既存硝子＼		全方角・内部
● 透明硝子	内貼	⑤ 飛散防止フィルム ３M　SH2CLAR
● 型硝子	外貼	⑥ 飛散防止フィルム ３M　SH2CLARX
強化透明硝子	—	既存のまま
強化型硝子	—	既存のまま
網入り透明硝子	—	既存のまま
網入り型硝子	—	既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは3Mジャパン(株)同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、**強化硝子・網入り硝子**に飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入り硝子が割れている場合は同一硝子に交換する。

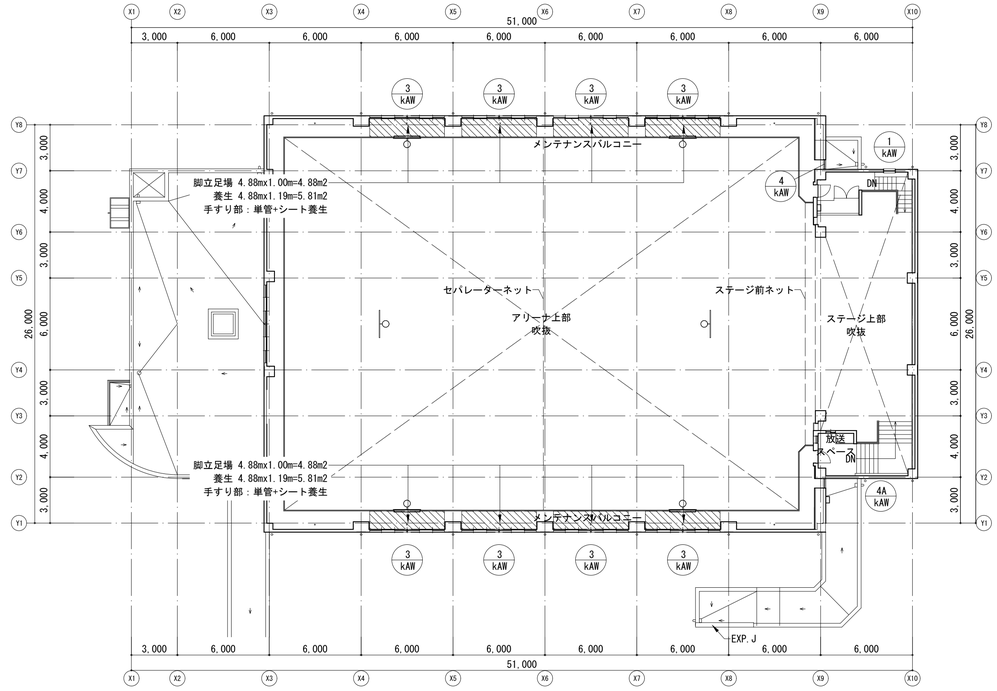
凡　例

＊ ＊　既存建具を示す

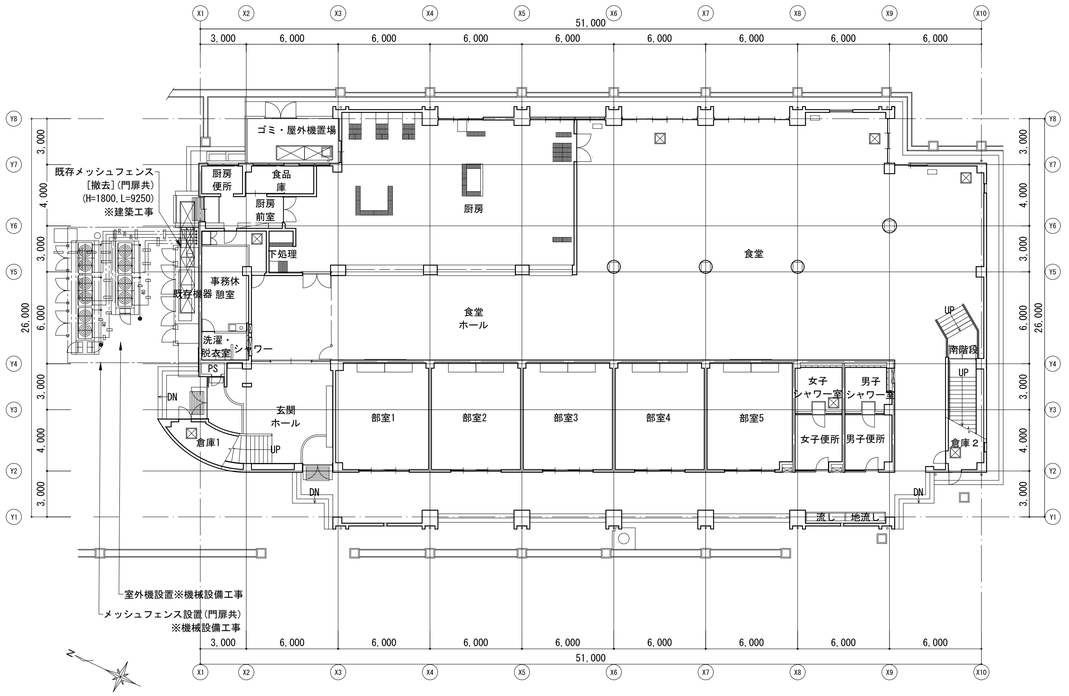
工事名	松戸市立第四中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修後 建具表		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:50	図面番号	A-11
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



2階平面図　S=1:200



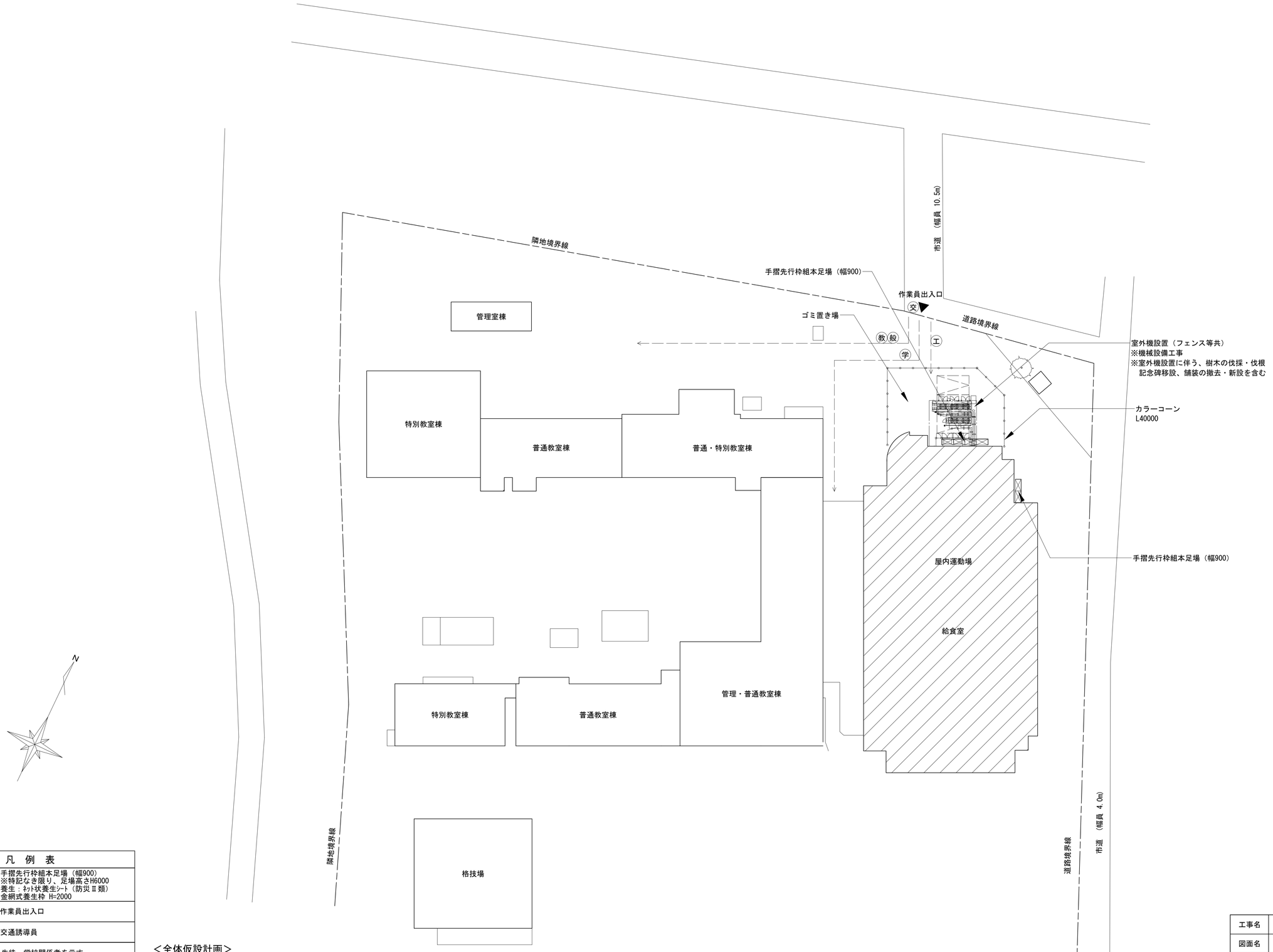
3階平面図　S=1:200



1階平面図　S=1:200

凡　例　表	
	手摺先行枠組本足場（幅900） ※特記なき限り、足場高さH6000 養生 ネット状養生シート（防災Ⅱ類） 金網式養生枠 H=2000
	養生・整理清掃（個別）

工事名	松戸市立第四中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	内部仮設計画図（案）		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	1：200	図面番号	A-12
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



凡　例　表	
⊠	手摺先行枠組本足場（幅900） ※特記なき限り、足場高さH6000 養生：ﾈｯﾄ状養生ｼｰﾄ（防災Ⅱ類） 金網式養生枠 H=2000
▼	作業員出入口
交	交通誘導員
学	生徒・学校関係者を示す
教	教員車両を示す
般	一般車両を示す
工	工事車両を示す
○——○	カラーコーン・バー

＜全体仮設計画＞

1. 学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・バー）を設置する
2. 足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
3. 工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900x600程度を公衆の見やすい場所に設置
4. 工事に使用する重機は、低振動タイプのものとし低速走行にて振動を抑えるものとする
5. 工事に使用する揚重機（クレー車等）は、安全上十分なものを使用すること
6. 登下校時の車両の出入りはしないこと

＜特記事項＞

・本図面は参考図として工事を行う際に、必要な仮設を検討し、請負者負担で設置すること。
・仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。

配置図　1：300

工事名	松戸市立第四中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	外部仮設計画図（案）		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	1：300	図面番号	A-13
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

松戸市立第六中学校体育館空調設備設置建築工事

図面リスト	
意匠図	
図面番号	図面名称
A-00	表紙・図面リスト
A-01	改修工事特記仕様書－１
A-02	改修工事特記仕様書－２
A-03	改修工事特記仕様書－３
A-04	改修工事特記仕様書－４
A-05	配置図・案内図・仕上表
A-06	１階平面図
A-07	２階平面図
A-08	改修前・改修後 建具表キープラン
A-09	改修前・改修後 建具表
A-10	部分詳細図
A-11	仮設計画図（案）

工事名	松戸市立第六中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	No Scale	図面番号	A-00
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

松戸市立第六中学校体育館空調設備設置建築工事

令和　7年　2月

仕　様　書

Ⅰ　工事概要

1. 工事場所　松戸市千駄堀１，３４１番地

2. 敷地面積　26,712㎡

3. 改修建物概要
用　　途：中学校（体育館）
構　　造：S造
階　　数：地上２階
延べ面積：1,175㎡(アリーナ)

4. 工事内容

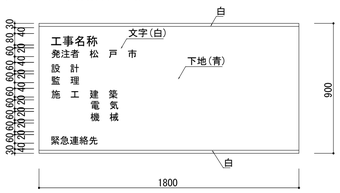
工事種目	工事範囲
2　仮設工事	足場設置・資材置場
3　防水改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴うシーリング
4　外壁改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴う仕上材塗替
5　建具改修工事	SDハンガードア 撤去・新設、ガラス改修工事（フィルム張を含む）
6　内装改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴う内装工事
7　塗装改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴う内壁塗装、SDハンガードア塗装
8　耐震改修工事	SDハンガードア 撤去に伴うアスベスト含有外壁仕上げ材部分除去
9　環境配慮改修工事	SDハンガードア 撤去に伴うアスベスト含有外壁仕上げ材部分除去
10　その他	－

Ⅱ建築工事仕様

1. 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様に記載されれいない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）(令和4年版)」(以下、「改修標仕」という。)及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「標仕」という)による。

2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、・印の付いたものを適用する。
・印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
・印と※印の付いた場合は共に適用する。
(3) 特記事項に記載の［　　］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(5) G 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。

松戸市建築工事現場表示板仕様



(1)材料
1) 耐水合板（ラワン厚み12mm SOP仕上げ）
2) 枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。

(2)注意事項
1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	①運用基準等	・松戸市建築工事に関する提出書類 ・工事写真の撮り方 建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ・松戸市建築工事現場表示板仕様
	②工事実績情報サービス（CORINS）への登録	※ 適用する　[1.1.4]
	③施工計画書	・工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。　[1.2.2] ・施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。 ・施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。 ・施工図等の内容を変更する必要が生じた場合は監督職員に報告する。
	4 電気保安技術者	・工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。　[1.3.3]
	⑤施工条件	※　現場説明書による　[1.3.5]
	⑥発生材の処理等	※ 現場説明書による　・場外搬出適正処理　[1.3.12]
	⑦材料の品質等	[1.4.2] 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 (3)安定的な供給が可能であること。 (4)法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。 (5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（(社)公共建築協会 他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
	8 化学物質を放散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 2)保温材、衝撃材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 3)接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 5)1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFoo規格品
	⑨特別な材料の工法	様仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	⑩技能士	[1.6.2]

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立作業)
コンクリート工事	・型枠施工
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築　・ALCパネル施工
防水工事	・アスファルト防水工事作業　・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塗膜防水工事作業　・シーリング防水工事作業
石工事	・石材施工(石張り施工)
タイル工事	・タイル張り
木工事	・建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金(内外装板金作業)
金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)
左官工事	・左官
建具工事	・サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア施工 ・鋼製建具施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工
塗装工事	・塗装(建築塗装作業)
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業　・ボード仕上げ工事作業 ・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)　・表装(壁装作業)
植栽工事	・造園

章	項　目	特　記　事　項
	11 化学物質の濃度測定	[1.6.9] 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定　・行う 測定対象室　・－ 測定箇所数　・－
	⑫完成図等	※作成する　・作成しない　[1.8.1～3][表1.8.1] ※完成図　ＣＡＤデータ
2 仮設工事	①足場その他	内部足場　種別　※脚立、足場板　・棚足場　[2.2.1] 外部足場　手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。　[2.2.1][表2.2.1] 屋根工事及び小屋組みの建方工事における墜落事故防止対策はJIS A 8971に基づき設置すること。 材料、撤去材等の運搬方法　[2.2.1][表2.2.1] ・A1種　※B1種　・C1種　・D1種　・E1種 ・定置する足場、作業構台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。
	②養生	既存部分の養生　※ビニールシート　・合板　厚12　[2.3.1] 既存家具等の養生　※ビニールシート　・ 固定家具等の養生　※行う　・行わない
	3 仮設間仕切り	仮設間仕切り等の種別　[2.3.2][表2.3.1] 種　別 / 下　地 / 仕上材(厚さ　mm) / 充てん材 / 塗　装 ・A種 / ※軽量鉄骨 / ・合板(※9.0 ・ラワン　) / ※無し ・B種 / ・木下地 / ※せっこうボード(※12.5 ・　) / 厚さ　mm / ・片面 ・C種 / ・単管下地 / 防炎シート ・仮設扉 / ※木製扉 / ※合板張り程度 / ※無し ・鋼製扉 / ※片面フラッシュ程度 / ・有り
	4 監督職員事務所	規模及び仕上げの程度は現場説明書による。　[2.4.1]
	⑤工事用水	構内既存の施設　・利用できない　※利用できる(※有償　・無償)　[2.4.1] ※子メータを設置する。
	⑥工事電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる(※有償　・無償)　[2.4.1]
	7 防音パネル	※アルミ製(解体作業期間)
	8 仮囲	・キャスターゲート　W= 3.0 m、H= 1.8 m、　箇所 ・キャスターゲート　W= 6.0 m、H= 1.8 m、1箇所
	9 仮囲い	・万能鋼板　H= 2.0 m、L=　m、　箇所 ※成型鋼板　H= 2.0 m、L=　m、　箇所　・図示 ・ガードフェンス　H= 1.8 m　箇所　・図示
	10 仮設道路	・砕石敷(厚さ　mm　幅　mm)　L=　m (砕石は、再生クラッシャランを使用) ・鋼板敷(厚さ　mm　幅　mm　L=　m)　枚
3 防水改修工事	1 アスファルト防水	[3.3.2][表3.1.1][表3.3.3～10] 防水改修工法の種類 / 施工箇所 / 新規防水層の種別 保護防水 / ※P1B ・P1B1 ・T1B1 / / ・B-1 ※B-2 ・B1-1 ※B1-2 保護防水 / ・P2A1 / / ・A1-1 ※A1-2 水露出防水 / ※P2A ・M4C / / ・A-1 ※A-2 ・C-1 ※C-2 防水 / ・M3D ・P0D / / ・D-1 ※D-2 屋内防水 / ・P1E ・P2E / / ・E-1 ※E-2 〈保護層は図示による〉 アスファルトの種類　※3種　・4種　[3.2.2][3.3.2] 保護コンクリートのコンクリート種類　・普通コンクリート(18N/＊ S=18mm)　[3.3.2][8.11.1] (溶接金網　径6mm　100mm×100mm敷設) P0D工法の二重ドレン　※設けない　・設ける　[3.2.5] M3D、P0D工法の脱気装置　※設けない　・設ける　[3.3.3] 既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合)　・除去する　[3.2.6] 断熱工法の断熱材　厚さ(mm)　※25　・　[3.3.2] ただし、特定フロンを含まないもの。 立上り部の保護　[3.3.2] ・れんがの種類　※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形コンクリートブロックとする。 ・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ15mm
	2 改質アスファルトシート防水	[3.4.2][表3.1.1][表3.4.1～3] 防水改修工法の種類 / 施工箇所 / 新規防水層の種別 / 厚さ(mm) ・M4AS工法 / / ・AS-1 ・AS-2 ・AS-3 / ・M3AS工法 ・P0AS工法 / / ・AS-4 ・AS-5 ・AS-6 / ・M3ASI工法 ・M4ASI工法 ・P0ASI工法 / / ・ASI-1 ・ASI-2 / 脱気装置　※設けない　・設ける

章	項　目	特　記　事　項
	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	[3.5.2][表3.1.1][表3.5.1～3] 防水改修工法の種類 / 施工箇所 / 新規防水層の種別 / 仕上げ塗料等 / 使用分類 ・P0S工法 / / ・S-F1 ・S-M1 / ・カラー ・シルバー / ※非歩行 ・軽歩行 ・L3S工法 / / ・S-F2 ・S-M2 ・S3S工法 / / / / ・M4S工法 / / ・S-M1 ・S-M2 ・P0SI工法 / / ・SI-F1 ・SI-M1 ・L3SI工法 / 講堂屋根 階段室A下り屋根 / ・SI-F2 ・SI-M2 ・S4SI工法 / / ・SI-M3 脱気装置　※設けない　・設ける　[3.5.3] 目地処理　PCコンクリート　[3.5.4]
	4 塗膜防水	[3.6.2～4][表3.1.1][表3.6.1] 防水改修工法の種類 / 施工箇所 / 新規防水層の種別 ・L4X工法 / ※図示 / ・X-1(絶縁工法) ・P0X工法 / / ・X-2(密着工法) 既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合)　・活膜を残す　[3.2.6] 脱気装置　※設けない　・設ける　[3.6.3]
	5 脱気装置	[3.3.2][3.4.2][3.5.2][3.6.2][表3.1.1] 種　類 / 材　質 / 設置数量 ・平面部脱気型 / ・ポリエチレン樹脂　・ABS樹脂 ・ステンレス　・鋳鉄 / ・約50㎡当たり1箇所 ・立上り部脱気型 / ・合成ゴム　・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス　・銅 / ・(　　)㎡当たり1箇所
	⑥シーリング	シーリング改修工法の種類　[3.1.4]　[表3.1.2] ・シーリング充填　・シーリング再充填工法　・シーリング打替え ・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所　[3.7.2]　[表3.7.1] ※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする 施工箇所 / シーリング材の種類　(記号) ・打ち継ぎ目地、伸縮目地 / ・ポリウレタン系(PU-2)仕上げなし ・新設建具廻り、金属取合い / ・変成シリコーン系(MS-2)仕上げなし ・ガラス廻り / ・シリコーン系(SR-1)
	7 とい	[3.8.2]　[表3.8.1] といの材種　・配管用鋼管　※カラー硬質塩化ビニル管　・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU) G 鋼管製といの防露　[3.8.2]　[表3.8.3] ・次の箇所に行わない(　　) 防露材のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆　・ 掃除口　※有り　・無し　・ たてどい受金物の取付け　[3.8.3]
	8 アルミニウム製笠木	[3.9.2～3]　[表3.9.1] 種　類 / 呼称肉厚(mm) / 製品幅(mm) / 固定間隔 / 備　考 ・150形 / ※1.2種度 / ※150 / 固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの / 隅角部及び突き当り部等の役物は本体製造所の仕様による。 ・300形 / ※1.8以上 / ※300 ・350形 / ※2.0以上 / ※350 板材折曲げ形の取付工法　・図示　[3.9.3]
	9 折板葺	(13.3.2～3) 形　式 / ※重ね形　・はぜ締め形　・ 形状　(mm) / 山高(　)　山ピッチ(　)　板厚　・0.6　※0.8 材　料 / ※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (規格等) / (CGLCCR-20-AZ150) 軒先面戸板 / ※有り　・無し 断熱材 / ・有り(種別：　厚さ：　mm)　※無し 耐火性能 / ・30分耐火　※無し
	⑩保証期間	※ 10年保証とする。
4 外壁改修工事共通事項	①施工数量調査	調査範囲　※外壁改修範囲　・図示の範囲　[1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。　また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び剥落を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。 調査報告書の部数　※2部　・ 既存塗装面外壁補修想定数量 補修項目 / 外壁 ひび割れ 0.2mm未満 / ３．０ｍ ひび割れ 0.2mm以上 / ３．０ｍ 欠損部（100×100程度） / ８箇所 一般部浮き / ２．０㎡ 塗膜脆弱部(既存塗膜除去部) / ４．４㎡

工事名	松戸市立第六中学校体育館空調設備設置建築工事
図面名	改修工事特記仕様書-1
作成年月日	令和7年2月10日
変更年月日	－
縮　尺	No Scale
図面番号	A-01
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号
松戸市　街づくり部　建築保全課	

章	項目	特記事項
4 外壁改修工事 共通事項	②改修材料	⊙既製調合モルタル

保水率 (%)	単位容積質量 (kg/ℓ)	接着強さ(N/＊) 標準時	接着強さ(N/＊) 温冷繰り返し後	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/＊)
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上

⊙パテ状エポキシ樹脂

初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0N/＊以上	6.0N/＊以上	50.0N/＊以上	30.0N/＊以上	3.0(%)以上

a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・可とう性エポキシ樹脂

性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性
引張強さ	1.0N/＊以上	1.0N/＊以上	1.0N/＊以上	最大引張応力 1.0N/＊以上
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10.0%以上

比重　表示値±0.10
押出し性　60秒以下
スランプ　3mm以下
加熱減量　5%以下
a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・タイル部分張替え工法用材料

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度(N/＊)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
凝集破壊率(%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ(N/＊)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上
伸び(%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上

貯蔵安定性　容積と粘土に著しい変化がないこと。
耐熱性　JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。
a.外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.タイル、石材、下地等侵すものでないこと。
c.「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。
e.ずれ抵抗性があること。
f.混錬終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。

⊙エポキシ樹脂モルタル

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0N/＊以上	20.0N/＊以上	10.0N/＊以上

a.こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。
b.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
c.「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。
d.形状に異常が無く、垂れが生じないこと。
e.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。

⊙ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの種類
合成ゴム系、アクリル系、エチレン一酢ビ系等

曲げ強さ (N/＊)	圧縮強さ (N/＊)	接着強さ(N/＊) 標準時	接着強さ(N/＊) 湿潤時	接着強さ(N/＊) 低温時
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態　垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。
透水性　裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
3以上	3.0%以下	0.5N/＊以上	5.0N/＊以上	15%以下	6.0N/＊以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

・吸水調整材

項目	全固形分(%)	吸水性(g)	接着強度(N/＊)	界面破断率 (%)
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

章	項目	特記事項
4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁	①ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※製造所の仕様による	
⊙手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※ 50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り) ※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法：)

⊙Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	品質・規格等	備考
⊙シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタル充填
	ポリウレタン系シーリング材	※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

⊙シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6]
⊙パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

	②欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む)	⊙充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ⊙エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ポリマーセメントモルタル
	③浮き部改修工法	⊙アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法(16本/㎡) [4.1.4][4.4.10] (モルタル笠木・パラペット天端部分)
	4 巾木モルタル塗	・樹脂モルタル T3

章	項目	特記事項
4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	1 既存モルタル塗りの撤去	・行う(※監督職員の指示による)
	2 ひび割れ部改修工法	・既存モルタル撤去工法(範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)

※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.2][4.4.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300		
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り) ※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法：)

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

・シール工法(亀裂が0.2mm未満) [4.1.4][4.2.2][4.4.7]
(※既存モルタル面 →既存躯体コンクリート面)。
・パテ状エポキシ樹脂(JIA A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [4.2.2][4.6.3]
(※シール工法の範囲 ・監督職員の指示による)

| | 3 欠損部改修工法 | ・既存モルタル面の欠損部 [4.1.4][4.4.8～9]

改修工法の種類	材料	品質・規格等
・充填工法	エポキシ樹脂モルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕4.2.2(7)による	塗り厚25mmを超える場合の補強
		※行う ・行わない ・図示

| | 4 浮き部改修工法 | [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ※狭幅部：5本/m	※25	※狭幅部：5本/m		※25ml
・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml

アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。

	5 巾木モルタル塗	・樹脂モルタル T3
4-3 外壁改修工事 タイル仕上げ外壁	1 既存タイル張りの撤去	・外壁タイル張り全面 ・部分撤去 [4.5.2] 撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張り付けモルタルまで ・タイルのみ
	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面(・コンクリート面 ・モルタル面)

※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4]
・行う(抜き取り部の補修方法：)

・Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

	3 欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む)	・充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ・エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ポリマーセメントモルタル

章	項目	特記事項
	4 浮き部改修工法	[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16			※25ml
・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml
・注入口付アンカーピニング	※9	※16	※9	※16	※50ml
エポキシ樹脂注入タイル固定工法					

アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。

	5 下地処理	サンダーケレンの上、モルタル薄塗 [4.2.2][4.6.3]
	6 タイルクリーニング	工業用塩酸
4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	①既存塗装等の撤去及び下地処理	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※補強範囲 図示	・ひび割れ部改修工法
※高圧水洗工法 加圧力 ※12MPa程度	※塗替え範囲 図示	・浮き部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	・欠損部改修工法
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

塗装はく離剤 [4.2.2]

	②下地調整材	※下地調整材C-1 (既存塗装除去部分) [4.2.2][4.6.3] ※微弾性フィラー (既存吹付タイル面・既存複層塗材面) [4.2.2][4.6.3]
	③仕上げ塗材仕上げ	種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4]

種類	呼び名	仕上げの形状	上塗材の種類
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・砂壁状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 ・凸凹状 ・平たん状	耐候性 ※耐候形3種 ・耐候形1種 溶媒 ※水系 ・弱溶剤系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ウレタン系 ⊙シリコン系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材 ※行う
⊙複層仕上塗材(既存塗装除去部分)	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材Si ⊙複層塗材E ・複層塗材RE ・複層塗材RS ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	⊙ゆず肌状 ・凸部処理 ・凸凹状	
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ※ゆず肌状	

防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2](15.6.2)
※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。
※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。

	4 その他の仕上げ	・基礎巾木仕上塗材 ※エスケー化研㈱ ベースプロテクト同等品とする ※菊水化学工業㈱ 基礎ｶﾞｰﾄﾞ同等品とする ・水性反応硬化形軒天用仕上塗材 ※エスケー化研㈱ ノキフレッシュ同等品とする ※菊水化学工業㈱ ノキテンファイン同等品とする ・ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し保護仕上げ塗材 ※エスケー化研㈱ セラミRC-FR工法同等品とする
5 建具改修工事	①改修工法の適用	[5.1.3]

種類	かぶせ工法	撤去工法	備考
・アルミニウム製建具	・有り	・有り	
⊙鋼製建具 ⊙外部	・有り	⊙有り	
・内部			
・鋼製軽量建具			
・ステンレス製建具			
・自動ドア開閉装置			
・重量シャッター			

	2 見本の製作等	・特殊な建具の仮組(建具符号 :) [5.1.5]
	3 アルミ製建具	外部に面する建具 [5.2.2][表5.2.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	・図示
・B種	S-5	・	・	・100	
・C種	S-6	A-4	W-5	100	

章	項目	特記事項
		表面処理 [5.2.4][表5.2.2]
・BA-1種 ・BA-2種(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
		屋内建具
表面処理 ※C-1種又はB-1種 [5.2.4][表5.2.2]
・C-2種又はB-2種(ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
	4 網戸	防虫網 [5.2.3]
網の種別 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ※ステンレス(SUS316)製
形 式 ・外部可動式 ※固定式
	⑤鋼製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1]
耐風圧性能の適用は建具表による
特定防火設備戸 ・適用する [5.4.4]
	6 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1～2]
	7 ステンレス製建具	簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2]
耐風圧性能の適用は建具表による
表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ [5.6.4]
曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5]
防火戸 ・適用する [5.1.4]
	8 自動ドア開閉装置	※製造所標準製作の規定寸法許容差による [5.8.2～4][表5.8.1～5]

開閉方法	検出装置の種類
※引き戸	・光線(反射)センサー ・熱線センサー
・多機能トイレ出入口引き戸	・音波センサー ・光電センサー ・タッチスイッチ
	・押しボタンスイッチ ・多機能トイレスイッチ

・凍結防止装置(適用箇所は建具表による) |
| | 9 自閉式上吊り引戸装置 | 品質規格 ※改修標仕5.9.3による。 [5.9.3][表5.9.1]
・製造所標準仕様による。 |
| | 10 木製建具 | ※建具表による。
かまち戸の樹種 かまち( ) 鏡板( ) (16.7.2)(表16.7.2)
ふすまの上張り ※新鳥の子程度又はビニル紙程度(押入れ等の裏面は除く) (表16.7.3)
・鳥の子
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.7.2)
※F☆☆☆ ・非ホルムアルデヒド系接着剤 |
| | ⑪建具用金物 | マスターキー ・製作する ※製作しない [5.7.4]
建具用金物 [5.7.2][表5.7.1～3]
錠類はシリンダー箱錠(レバーハンドル)とする。
なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。
⊙図示による
吊金物
・丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい)
・ピボットヒンジ |
| | 12 ガラス | 建具表による [5.13.2]
・ガラスブロック 改修標仕5.13.5 [5.13.5]

寸法(mm)	色調	パターン	防火認定
	※クリア ・熱線反射		※無し
	・乳白 ・カラー( )		・有り

| | 13 ガラス留め材及び溝 | ガラス留め材 [5.13.2～3]

建具の種類	種類
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット(FIX部はシーリング材)
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。

| | ⑭ガラス用フィルム | 名称 種類 張り面 性能値

名称	種類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D1
・目かくしフィルム			
⊙遮熱フィルム	第2種	※内張り ⊙外張り	飛散防止性能あり

品質JIS A 5759による
建具表による [5.13.2] |
| | 15 重量シャッター | [5.10.2][表5.10.1]

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能( )N/㎡
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能( )N/㎡
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

品質JIS A 4705による
開閉機能
※上部電動式(手動併用) ・上部手動式
危害防止機構 ※障害物感知装置(自動開錠型) [5.10.2]
・シャッターの二段降下方式
一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない [5.10.2] |
| | 16 軽量シャッター | [5.11.2][表5.10.1]
開閉形式
※手動式 ・上部電動式(手動併用)
スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 [5.11.3]
形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4]
ガイドレール等 [表5.10.2]
※鋼板製 ・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm)
耐風圧性能( )N/㎡ |

工事名	松戸市立第六中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修工事特記仕様書-2		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮尺	No Scale	図面番号	A-02
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

章	項目	特記事項
5 建具改修工事	17 オーバーヘッドドア	[5.13.2～5][表5.13.1～2]

セクション材料による区分

開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ	※バランス式	・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	・ステンレス鋼板
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	(SUS304)
		・バーチカル形	

耐風圧性能(　　)N/㎡　JIS A 4715

18 かぎ箱　市販品

形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

6 内装改修工事	①改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 [6.1.3] ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・図示の範囲 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま。 ・図示の範囲
	2 既存床の撤去並びに下地補修	ビニル床シート等の除去　※仕上げ材のみ(接着剤とも) [6.2.2] ・鋼製床組下地とも(※図示の範囲　・除去範囲全て) カラードフロアの撤去　・機械的除去工法　・目荒し工法 改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の案内　・
	3 既存壁の撤去並びに下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2][4.3.10] ・図示 ・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強　※行う　・行わない)
	④木下地等 (AP-1、2)	木材の品質　図示 [6.5.2][表6.5.1] ※改修標準仕様書6.5.2による　・市販品 代用樹種　※改修標仕表6.5.4による [6.5.2][表6.5.2] ・代用樹種を適用しない箇所(　　) 保存処理木材を適用する箇所(　　)

⑤集成材等 G (額縁等) [6.5.2]

品名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	○米栂　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	・1種 ※2種 ・3種	・	
・造作用集成材	※1等 ・2等	・タモ	
・化粧ばり造作用集成材	※1等 ・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

⑥接着剤 [6.5.3]

※F☆☆☆☆
・非ホルムアルデヒド系接着剤

7 防腐、防蟻処理　行う箇所(　　) [6.5.5]
防腐処理　※行う(※図示　　)
防蟻処理　・行う(※図示　　)
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。

8 床板張り　フローリング及び繊甲板張り床 [6.5.8][6.11.2][表6.5.8]

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合　板	t12mm
		・パーティクルボード	t15mm
床板	※単層フローリング(共仕19.5.2による)		ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆　・
	・繊甲板		※ひのき

※フクビ　フリーフロアCP-F同等品

9 軽量鉄骨天井下地　野縁等の種類 [6.6.2][表6.6.1～2]
屋外(・19形 ※25形)　屋内(※19形 ・25形　※角スタッド工法 65形)
既存の埋込みインサート　・使用する ※使用しない [6.6.4]
あと施工アンカーの確認試験　・行う ※行わない

10 軽量鉄骨壁下地　スタッドの高さが5mを超える場合　※図示 [6.7.3][表6.7.1]

11 ビニル床シート張り [6.8.2]

種類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)
※発砲層のないもの	※NC ・	※無地 ・マーブル柄	※2.5
・発砲層のあるもの		※柄物 ・無地	
・防滑性ビニル床シート	・NF ・NC	・柄物 ・無地	・2.5
・防汚性ビニル床シート			・2.0

工法　※熱溶接工法 ・突付け(施工箇所:　　) [6.8.3]
・防汚性ビニルシート：下記同等品とする。
ロンシール工業㈱/ナニタリウム　t=2.0
タキロンシーアイ㈱/ネオクリーン　t=2.0
東リ㈱/消臭ＮＳトワレＮＷ　t=2.0

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

12 ビニル床タイル張り [6.8.2]

種類	JISの記号	厚さ(mm)	備考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS		
・ホモジニアスビニル床タイル	HT		

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

13 帯電防止床タイル張り [6.8.2]

種類	厚さ(mm)	性能
※コンポジションビニル床タイル	※2 ・	体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	1.0×10⁷Ω以下、または、
		漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
		1.0×10⁷Ω未満

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

14 視覚障害者用床タイル(誘導用及び注意喚起用床材)　ブロックパターンはJIS T 9251による [6.8.2]
色彩は黄色を原則とする。
屋内　※塩化ビニル製　・磁器又は石器質タイル(※300 ・　　)
・レンジコンクリート製
屋外　※レンジコンクリート製　・磁器又は石器質タイル(※300 ・　　)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

15 ビニル幅木　高さ (mm)　・60　・75　・100 [6.8.2]
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

章	項目	特記事項
6 合成樹脂塗床		[6.10.2～3][表6.10.1～8]

種類	仕上の種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ工法(※平滑 ・防滑)
	・厚膜流しのべ工法(※平滑 ・防滑)
	・樹脂モルタル工法(※平滑 ・防滑)
	・薄膜型塗床工法(※平滑)

ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970　※F☆☆☆☆　・

17 フローリング張り [6.11.2～7][表6.11.1～6]

種別	材種	工法	仕上塗装等	備考
・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品	
・大型積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
・単層フローリング	・ブナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
	・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品	
・フローリングブロック	・ブナ	・直張り	※塗装品	

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

18 畳敷き [6.12.2～3][表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
改修標仕 表6.5.10による床組	※B種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種　・

19 ポリスチレンフォーム床下地材　畳下地　厚さ(mm)　※40 ・65 ・80
フローリング類　厚さ(mm)　※80 ・95

20 カーペット敷き　・織じゅうたん [6.9.2～3][表6.9.1～2]

種別	パイル糸の種類	帯電性	色柄等	備考
・A種	・そ毛糸	人体帯電圧	※無地	
・B種	・紡毛糸	※3kV以下	・柄物(標準品)	
・C種	・紡毛糸			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タフテッドカーペット(JIS L 4405) [6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	パイル長(mm)	工法	備考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法	
	※4～6　・	・グリッパー工法	
・レベルループパイル	※4　・		
・カット、ループ併用			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タイルカーペット [6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	種類	規格	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※第一種	※500×500	※6.5	
	・第二種			
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下(フリーアクセスフロア新設範囲)

21 石膏ボードその他のボード張り [6.13.2][表6.13.1]

種類	厚さ(mm)　規格
・硬質木毛セメント板 G	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板 G	・15　・20　・25　・
・ケイ酸カルシウム板	タイプ2(無石綿)　(・6　・8　・　)
・ロックウール化粧吸音板	※フラットタイプ (※9(不燃)　・12　・　) ・凸凹タイプ (※12(不燃)　・15　・19　・　)
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)	※フラットタイプ9(不燃) ・凸凹タイプ(※12 ・15)(不燃)
・せっこうボード	・12.5(不燃)・9.5(準不燃)
・不燃積層せっこうボード	9.5(不燃)・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)
・シージングせっこうボード	・12.5(不燃)・9.5(不燃)
・強化せっこうボード	・12.5(不燃)・21.0(不燃)
・せっこうラスボード	・9.5　・12.5
・化粧せっこうボード	・9.5(準不燃)
・化粧せっこうボード(木目)	・12.5(不燃)幅440mm程度 模様(※柾目　・板目)専用下地材付き
・難燃合板 G	・生地、透明塗料塗り(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗り(ラワン合板程度)厚さ・12
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による　厚さ ・4.0
・ミディアムデンシティファイバーボード G	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード G	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボーイ(素地) G	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ※規制対象外　・第三種　・研磨板　(・スタンダード　・テンパード)
・インシュレーションボード G	A級(・天井仕上　・内装仕上　・　) ・9　・12　・15　・18　・
・フレキシブル板	厚さ　・5.0
・(有孔)シナ合板	厚さ　・5.0

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
・適用する　※適用しない

22 吸音材 [表6.13.1]

種類	規格番号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	JIS A 6301	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	JIS A 6301	※25　・

23 壁紙張り(掲示用クロス) [6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維(織物)	プラ(ビニル)	その他(化学繊維)	紙	防火性能	備考
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	
						・不燃 ・準不燃 ・難燃	

下地調整 [6.14.3][表7.2.4][表7.2.7]
モルタル、プラスター面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
せっこうボード面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　F☆☆☆☆ [6.14.2]
サンゲツ・リリカラー製品同等品とする。

章	項目	特記事項
24 モルタル塗り	吸水調整材	[6.15.3]

全固形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/㎟)	界面破断率(%)
表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)
防水剤の種類　建築用モルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間		曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント質量の5%	JIS R 5201の試験において		70%以上	95%以上	80%以上
以下	始発	1時間以上			
	終結	10時間以内			

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。
既製目地材　※適用しない　・適用する

25 タイル張り　タイルの種類 [6.16.3]

施工箇所	形状寸法	きじ			うわぐすり		役物		色		再生材の適用 G	備考
		磁器	石器	陶器	施ゆう	無ゆう	有り	無し	標準	特注		

役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う(※外装タイル　・　　)
内装タイル　※内装タイル接着剤張り　JIS A 5548 有機系接着剤
接着剤のホルムアルデヒド　※F☆☆☆☆　・

26 セルフレベリング材塗り　セルフレベリング材の種類 [6.17.2][表6.17.1]

種類	フロー値(cm)	凝結時間 始発(分)	凝結時間 終結(時間)	圧縮強度(N/㎟)	下地接着強度(N/㎟)	表面接着強度(N/㎟)	長さ変化(%)	衝撃	備考
せっこう系	19以上	45以上	20以上	15以上	0.5以上	0.4以上	0.05以下	割れ及び剥がれないこと	
セメント系				20以上	0.7以上	0.5以上	0.12以下		

試験方法：日本建築学会品質規準JASS 15 M-103による。

27 断熱材 (19.9.2～3)

種類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	※25 ・100	特定フロンを使用しないもの
	※3種b (スキン層付)	・接地部分	※25	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	——	特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級　・2級
		・一般部	※25	

JIS A 9521に基づく発砲プラスチック
断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。

28 浴室天井材　市販品

材質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	・準不燃品	※200	廻縁は樋付きとし製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	・塗装品 ・木目調		※300 ・100	

29 フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	構法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は各内装工事による。
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付対応　※製造所の標準仕様　(コンセント本体は別途設備工事)
コンセントの箇所数は図示
配線用取出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1箇所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り(※固定式　・可変式　・施工箇所は図示)

30 可動間仕切 (20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式		※鋼板	※メラミン樹脂又は	・有り	・有り
・スタッドパネル式		(※0.6 ・0.8)	アクリル樹脂焼付	(　)	・無し
・パネル式		・		・無し	

遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

31 移動間仕切 (20.2.4)

遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ (36db以上)		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は「23壁紙張り」による。

32 トイレブース　表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板 t40(アルミ製コーナーエッジ付き　指詰め防止) (20.2.5)
※紙巻器設置位置については下地補強を行うこと。
・特殊UV塗装硬質セメント板(標準色　アルミ製コーナーエッジ(ステンカラー)付き)
笠　木　※アルミ製　・ステンレス製
足形状　※幅木タイプ(ステンレス製)　・足金物タイプ
※防水型(ステンレス巻き)

33 階段滑り止め　材　種　ステンレスSUS304 (20.2.6)
形　状　ピールタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り(・ステンレス製　※ビニル製)　・無し
幅(mm)　約35
取付工法　※接着工法　・埋込工法

34 手すり

種別	施工箇所
※笠木受け：アルミ押出形材 笠木：半硬質耐候製樹脂 二層成形φ40mm ・樹脂被覆Φ34	スロープ

35 黒板及びホワイトボード (20.2.8)

種類		寸法(mm)	色彩	備考
・黒板	※焼付		※緑　・黒	・平面　※曲面
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面

章	項目	特記事項
36 表示		衝突防止表示　・図示(市販品　・ステンレス製　径約30mm　・　　) (20.2.10) (　・両面　・片面　) ・無し 表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。 製造所　監督職員の承諾する製造所。
37 ブラインド		・既存再使用する(養生方法:　　) [2.3.1][5.1.6] ・新設する (20.2.12)

形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横形	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
・縦形	・1本操作コード	・アルミスラット	・80
	※2本操作コード	・クロススラット	・100

38 ロールスクリーン　防炎性能　※有り
製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する (20.2.13)

施工箇所	装置 電動	装置 手引	性能 防炎性能	備考

39 カーテン(暗幕、緞帳等)　・既存再使用する(養生方法：取外し再取付) [2.3.1][5.1.6]
・新設する (20.2.14)

施工箇所	形式 片引	形式 引分	装置 電動	装置 ひも引	装置 手引	ひだの種類	性能	備考

40 カーテンレール　・既存再使用する [5.1.6]
・新設する (20.2.14)
材　種　JIS A 4802 ・アルミニウム製　※ステンレス製
形　式　・片引き　・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)

41 カーテンボックス及びブラインドボックス　※既存再使用する。 [5.1.6]
・新設する。
・市販品(アルミニウム製)
溝幅×深さ(mm)　・90×150　※120×150　・150×80　・
色　彩　※B-1　・B-2※ブラウン　・ブラック　・ステンレスカラー)
※図示

41 天井点検口　材　質　※アルミニウム製(※額縁タイプ)　・目地タイプ)　・既存取外し、再取付

42 床点検口　材　質　・アルミニウム製(受け枠　※アルミ製　・ステンレス製)
・ステンレス製(受け枠　・ステンレス製(防水、防臭型))

43 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	耐荷重による種類

44 流し台ユニット

種類	寸法(L=　mm)	適用内容	規格・品質等
・流し台	・900　・1200　・1500	・トラップ付き	
・コンロ台	・600　・700	・バックガード　・有り	
・吊り戸棚	・1200　・900　・600		
・水切り棚	・1200　・900	・トラップ付き	
・作業台	・900　・1200　・1500		

45 屋内掲示板　枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発砲シート張り　・

46 ライニング天板　材　種　・メラミン樹脂化粧板張り(芯材：集成材)　・人工大理石
奥行き(mm)　※図示

47 用具入れ　材質　メラミン樹脂系化粧板 (12.2.2)(19.7.2)
形状、寸法　※図示
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

49 室名札等　・突出し型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(　　箇所)
・平付け型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(　　箇所)
・ピクトサイン　材質：ｱﾙﾐ　ｱﾙﾏｲﾄｼﾙﾊﾞｰ、絵柄：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：200×200　(　7　箇所)
・階数表示　材質：ｽﾃﾝﾚｽ　ﾍｱﾗｲﾝ、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ150×150　(　　箇所)

50 鋼製床下地(体育館用)　部材規格　大引き、根太鋼：※JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板、亜鉛付着量Z12以上)
U字金具、支持台：※JIS G 3302SGHCと同等以上(亜鉛付着量Z12以上)
緩衝材：※JIS K 6385(A種防振ゴム)
※三洋工業㈱ スリーベース101タイプ同等品とする。

51 アルミ製移動階段　・セノー㈱　HE9724(アルミ合金製、アルマイト処理焼付塗装)同等品とする。

52 救助袋　・垂直式　○階用

工事名	松戸市立第六中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修工事特記仕様書-3		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮尺	No Scale	図面番号	A-03
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

7 塗装改修工事

①材料 [7.1.2～3]

塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。

屋内で使用する場合のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は監督職員と協議する。 [7.1.8]

②下地調整 [7.2.2～7][表7.2.1～7]

下地面の種類	下地調整の種別	備　考
木部	・RA種 ※RB種	新規面はRA種
鉄鋼面	・RA種 ※RB種	
亜鉛めっき鋼面	・RA種 ※RB種	
モルタル、プラスター面	・RA種 ※RB種	
コンクリート、ALC及び押出成形	・RA種 ※RB種	
セメント板面	・RA種 ※RB種	
せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種	

既存下地面等のひび割れ部補修 [表7.2.5～6]

※行う　・行わない

※錆止め　JIS K 5674

③合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) [7.5.2][表7.5.1]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
木部	・A種　※B種	※B種	下塗りJASS 18 M-304
			中塗り及び上塗りJIS K 5516
鉄鋼面	・A種　※B種	※B種	穴埋め及びパテかいJASS 18 M-110
			中塗り及び上塗りJIS K 5516

④鉄鋼面耐候性塗料塗り(DP) [7.8.2～4][表7.8.1～3]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
鉄面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5659
亜鉛めっき面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5659
コンクリート、押出成形セメント板面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5658

下塗りJASS 18 M-109

5 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) [7.9.2][表7.9.1]

新規の塗りの種別　・A種　※B種

塗替えの種別　・A種　※B種

下塗りJIS K 5663　中塗り及び上塗りJIS K 5660

6 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) [7.10.2][表7.10.1]

新規の塗りの種別　・A種　※B種

下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

7 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T) [7.11.2][表7.11.1]

新規の塗りの種別　・A種　※B種

塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種別
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種
	・RC種	※C-3種
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種　・B種
	・RC種	・C-1種　・C-2種

下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

8 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) [7.11.2][表7.11.1]

・A種　※B種

1液形JASS 18 M-301　2液形JASS 18 M-502

9 オイルステイン塗り(OS) [7.12.2]

ワトコオイル製品同等品とする。

10 木材保護塗料塗り(WP) [7.13.2][表7.13.1]

・A種　※B種

JASS 18 M-307

11 ポリウレタン樹脂塗装(2-UC)

フローリングブロック面の塗り種別　・A種　※B種

8 耐震改修工事

『耐震補強工事構造特記仕様書』による。

9 環境配慮（グリーン）改修工事

①一般事項 [9.1.3]

アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法

・封じ込め処理　・囲い込み処理除去工法　・除去工法

アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事　・図示

分析によるアスベスト(ｱｸﾁﾉﾗｲﾄ、ｱﾓｻｲﾄ、ｱﾝｿﾌｨﾗｲﾄ、ｸﾘｿﾀｲﾙ、ｸﾛｼﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾚﾓﾗｲﾄ)含有の調査

・行う(下表による)　・行わない

材料名	調査方法	1材料あたりの試料数
	・JIS A 1481による	※3

2 アスベスト含有吹付材除去工事

吹付アスベストの施工数量調査を行う。

アスベスト粉塵濃度測定　※行う

測定時期及び場所等については下表による。

測定時期	測定場所	測定点数(各処理作業室毎)	備　考
処理作業前	処理作業室内	2又は3点	
	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通
処理作業中	処理作業室内	2点	
	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認
	負圧・除塵装置の排出口(処理作業室外の場合) 施工区画周辺又は敷地境界	1点 4方向各1点	除塵装置の性能確認
処理作業後	処理作業室内	2点	
(隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通

(注)処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。

処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。

建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。

除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。

アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)

石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。

廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)

アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。

関係官公署に届出を行う。　・大気汚染防止法に関する届出　松戸市環境保全課

・労働安全衛生法に関する届出　柏労働基準監督署

本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

3 アスベスト含有吹付材囲い込み工事

軽鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ(核スタッド工法 65形@300)とし、既存天井面には触れない。

関係官公署に届出を行う。　・大気汚染防止法に関する届出　松戸市環境保全課

・労働安全衛生法に関する届出　柏労働基準監督署

養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。

アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。

―内部測定点内訳―

〈1階：　点、2階：　点、3階：　点〉

詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。

4 アスベスト成形板の処理工事

処理を行うアスベスト成形板の仕様等　・仕上表による [9.1.5]

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲
石綿板	4	便所
人研ブロック	30	便所

施工調査

アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。

調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。

(1)アスベスト成形板使用部位の確認。

(2)アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。

(3)アスベスト成形板使用数量の確認。

⑤アスベスト含有仕上塗材の除去

アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験的一部除去作業の方法

(1)試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は□500mm程度とする。

(2)試験的除去は剥離剤併用手工具ケレン工法にて実施。

アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法　・部分除去　・全面除去

アスベスト含有仕上塗材部分除去作業

(1)部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。

(2)建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。

なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。

(集塵機付きﾃﾞｨｽｸｻﾝﾀﾞｰ工法同等とすること)

(3)除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。

(4)アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)

石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習修了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。

(5)廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)

(6)アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。

(7)関係官公署に届出を行う。

(大気汚染防止法→松戸市環境保全課 労働安全衛生法→柏労働基準監督署)

(8)本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

6 外断熱改修工事

断熱材の種類 [9.2.2]

材料名		厚さ(mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム	
・硬質ウレタンフォーム	・フェノールフォーム	
・ロックウール	・グラスウール	

外装材の種類 [9.2.2]

防火性能

既存外壁仕上材の撤去　・有り　・無し [9.2.3]

下地面の清掃及び下地調整　※断熱材製造所の指定する仕様

通気層　・有り(　mm)　・なし [9.2.4]

試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。

特記無き事項は、製造所の仕様による。

7 ガラス改修工事

複層ガラスの厚さ　建具表による [5.14.2]

断熱性・日射遮蔽性による区分　※U3-1　・U3-2

8 屋上緑化改修工事

特記事項は図示 [9.4.2]

9 透水性アスファルト舗装改修工事

路盤材料 [9.5.4][表9.5.3]

※再生クラッシャラン(RC-40)

・クラッシャラン(C-40)又はクラッシャランスラグ(CS-40)

透水性の高いものを使用する。

遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.5.3]

・遮断層　※川砂、海砂又は良質な山砂　・

厚さは図示

・凍上抑制層　※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　切込み砂利　・砂

厚さは図示

盛土に用いる材料 [9.5.3][表9.5.1]

・A種　※B種　・C種　・D種

路床安定処理

※添加材料による安定処理 [9.5.3][表9.5.2]

種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントB種

・生石灰(　)　・消石灰(　)

添加量　kg/㎥(目標CBR ※5以上　・

路床土の支持力比試験　※行う(※乱した土　・乱さない土)

路床締固め度の試験　※行う

アスファルト混合物 [9.5.6][表9.5.5]

車道部　※改質アスファルトⅠ型

歩道部　※ストレートアスファルト

透水性舗装 [9.5.9]

アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う

10 その他

1 舗装工事

歩行者用通路コンクリート版の厚さ　※70mm　・ (22.5.2)(表22.5.1)

部　位	設計基準強度(N/mm)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40 砕石の場合20又は25
歩行者用通路	18	8	砂利の場合25 砕石の場合20

砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1)

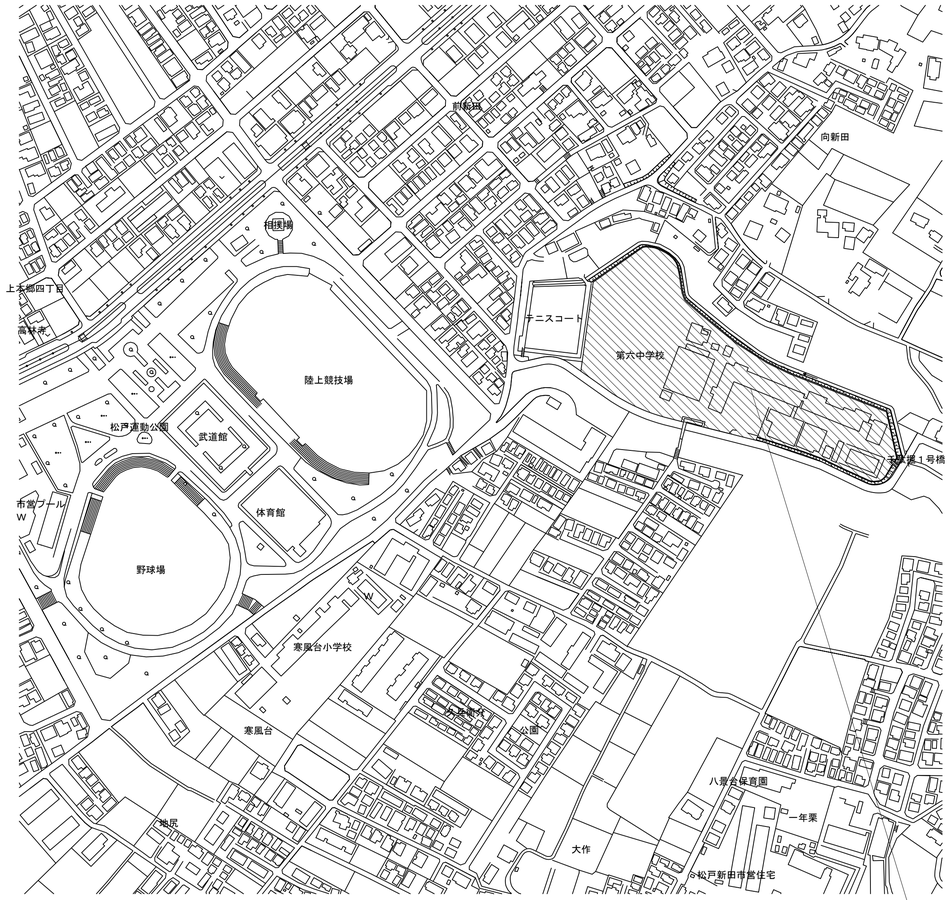
種別　・A種　・B種

2 植栽工事

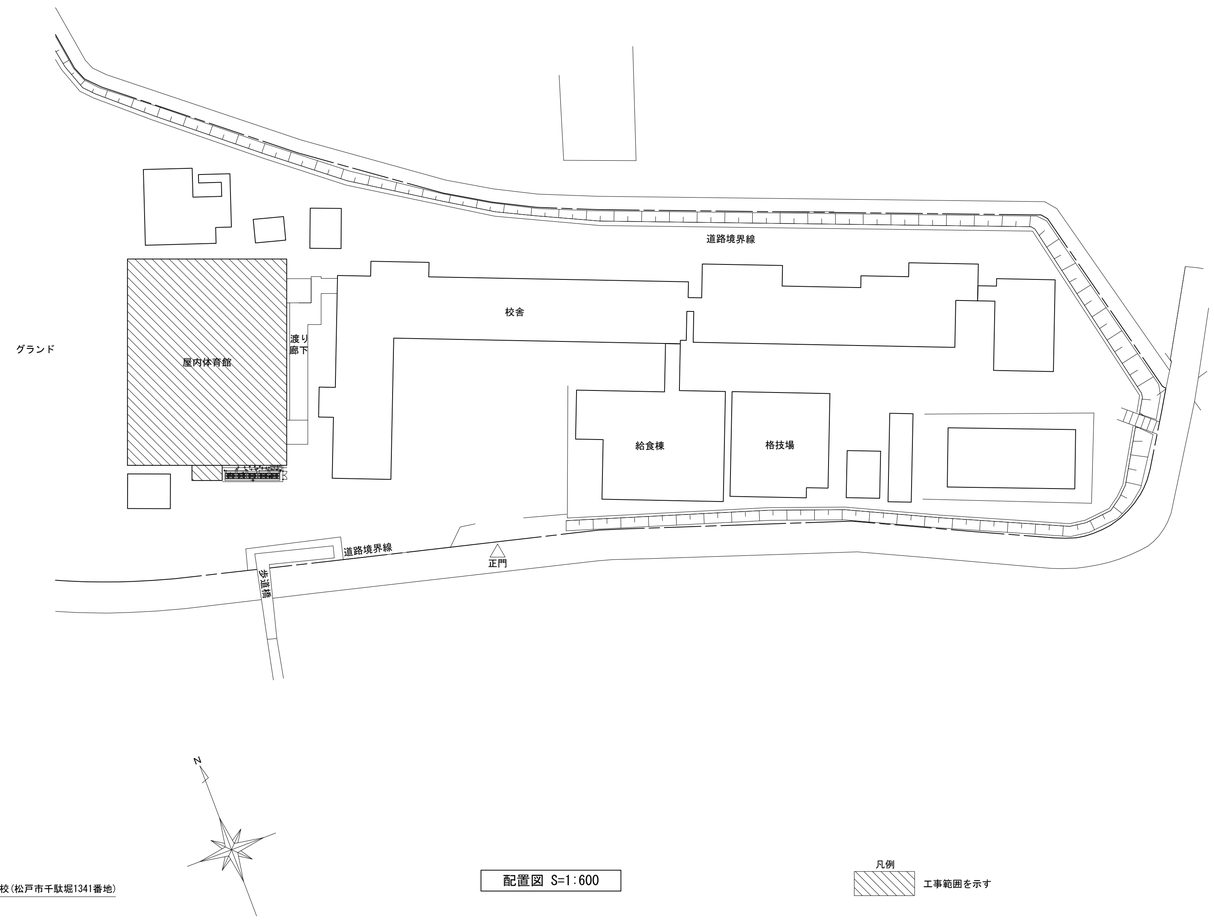
植樹 (22.3.2)

樹　種	寸　法	数　量	備　考

工事名	松戸市立第六中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修工事特記仕様書-4		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	No Scale	図面番号	A-04
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



案内図 S=1:2500



配置図 S=1:600

凡例

工事範囲を示す

外部仕上表

部位		仕上	備考
外壁	改修前	1F:コンクリート打放しの上、アクリルリシン吹付　微弾性フィラーの上、複層塗材E（上塗り:ポリウレタン樹脂塗水性エナメル）（アスベスト含有） 2F:カラー鉄板製スパンドレル（断熱材入り）張り	一部撤去 既存のまま
	改修後	1F:下地補修の上、複層塗材E 2F:-	一部塗替え
出入口	改修前	コンクリート	一部撤去
	改修後	モルタル金ゴテ	一部新設

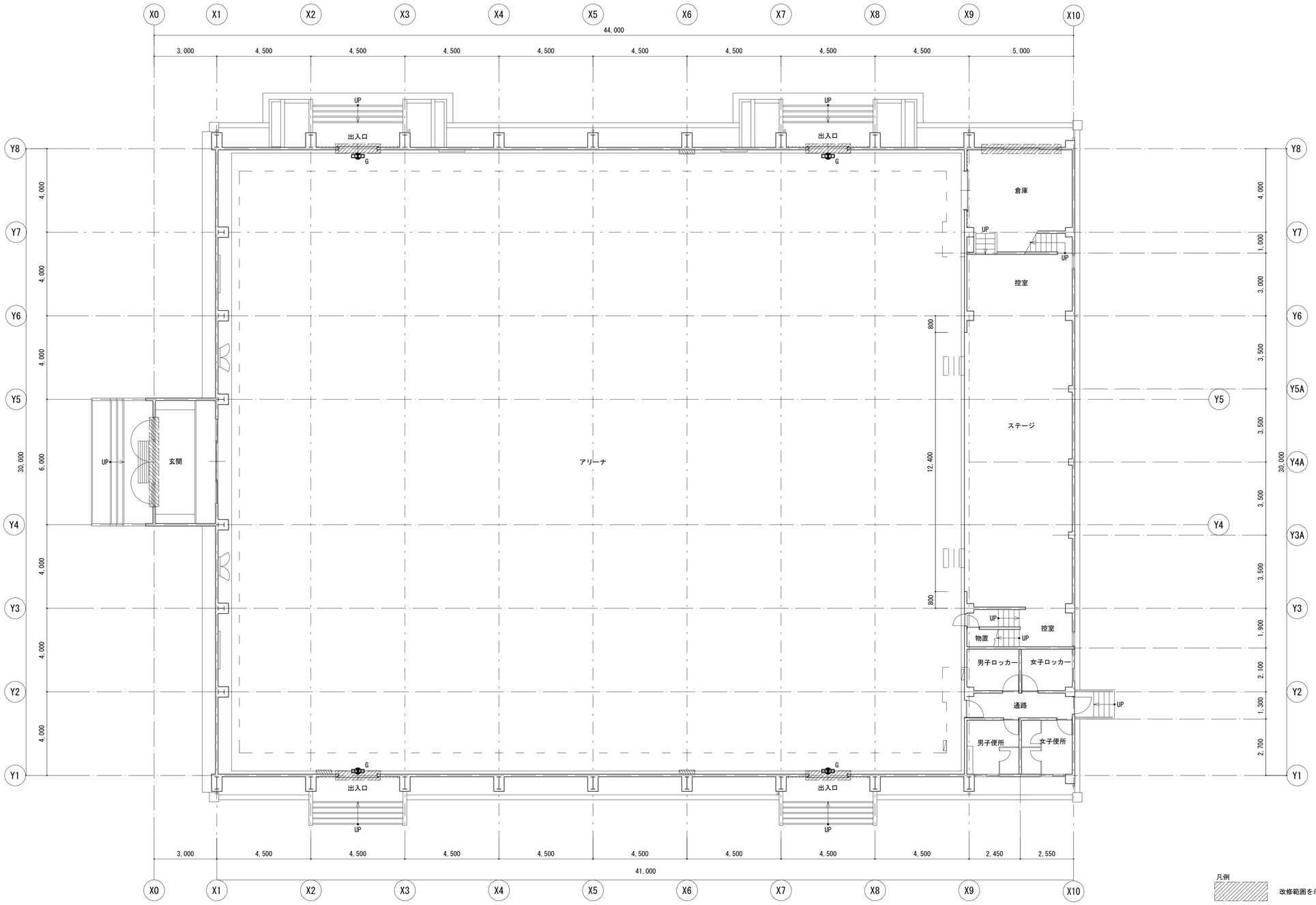
凡例、特記事項

	記号	塗料名	内装材認定	材料	認定番号	特記事項	
塗料凡例	SOP	合成樹脂調合ペイント塗装					内装仕上材、屋根裏木毛セメント板は、全てF☆☆☆☆とする
	EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り					塗装材（塗料）は、全てF☆☆☆☆とする
	2-UC	2液形ポリウレタン樹脂ワニス塗装					建築材料は、全てアスベスト含有材でない材料を使用とする
	DP	鉄鋼面耐候性塗料塗り					
	複層塗装E	合成樹脂エマルジョン系複層仕上材					

内部仕上表

階	室 名	床		床高さ	改修内容範囲	巾 木		床高さ	改修内容範囲	壁(柱・梁型)		改修内容範囲	天 井		天井高さ	改修内容範囲	廻縁	備 考
1	アリーナ	改修前	耐水合板t=15の上、単層フローリングt=18特殊張り 2-UC塗装 EXPゴム		既存のまま 一部撤去	改修前	ラワンt=20 SOP	+150	一部撤去	改修前	ラワン竪羽目板t=12 張り化粧ビス止め ※撤去範囲は羽目板の目地に合わせる	一部撤去	改修前	木毛カラーボードt=20表し 木毛カラーボードt=25表し		既存のまま	ラワン	
		改修後	- EXPゴムt=20		 一部新設	改修後	米桐集成材t=20 SOP		一部新設	改修後	杉竪羽目板t=12 SOP ※新設範囲は羽目板の目地に合わせる	一部新設	改修後	-			米桐集成材 50x30 SOP	
2	ギャラリー	改修前	モルタル金ゴテ、樹脂系塗床（ノンスリップ型）一部ウレタン系塗材		既存のまま	改修前	モルタル金ゴテ　EP ラワン　SOP	+100	既存のまま	改修前	有孔シナ合板t=5.5　目透し貼り　SOP	既存のまま	改修前	ギャラリー部：ベニヤ仮枠打放し EP		既存のまま		
		改修後	-			改修後	-			改修後	-		改修後	-				

工事名	松戸市立第六中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図・仕上表		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	-
縮 尺	1:2500 1:600	図面番号	A-05
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



1階平面図　S=1:100

N

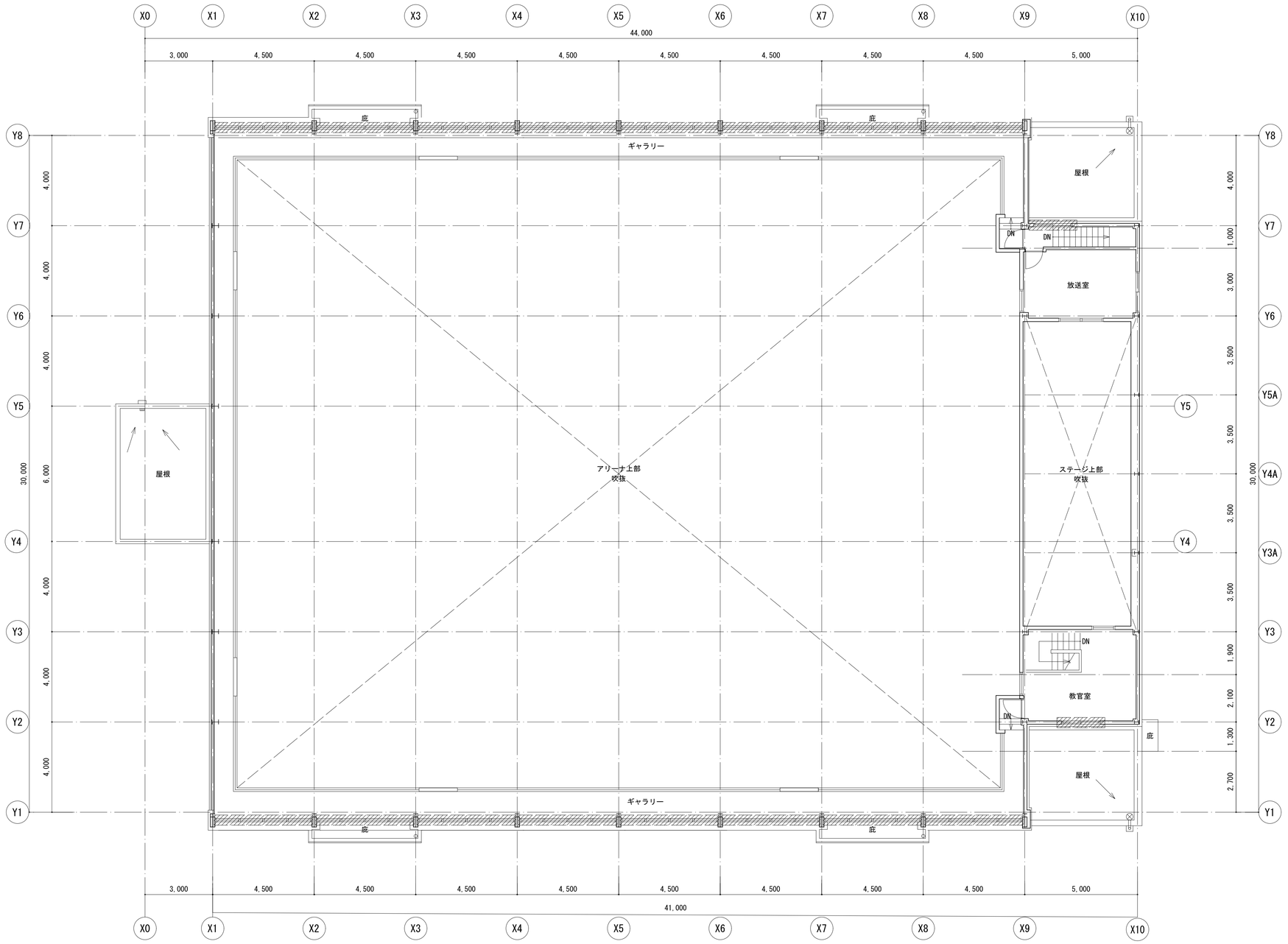
1. 特記なき記号は下記による。

G　避難口誘導灯　C級　ｶﾞｰﾄﾞ付　（取外し・再取付建築工事）

凡例

改修範囲を示す

工事名	松戸市立第六中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	1階平面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1：100	図面番号	A-06
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



2階平面図　S=1:100

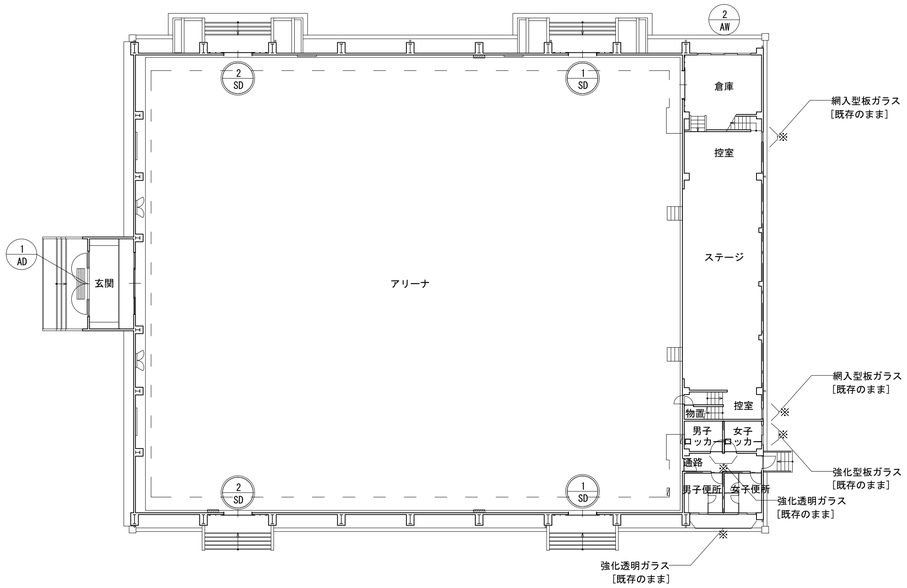
凡例

改修範囲を示す

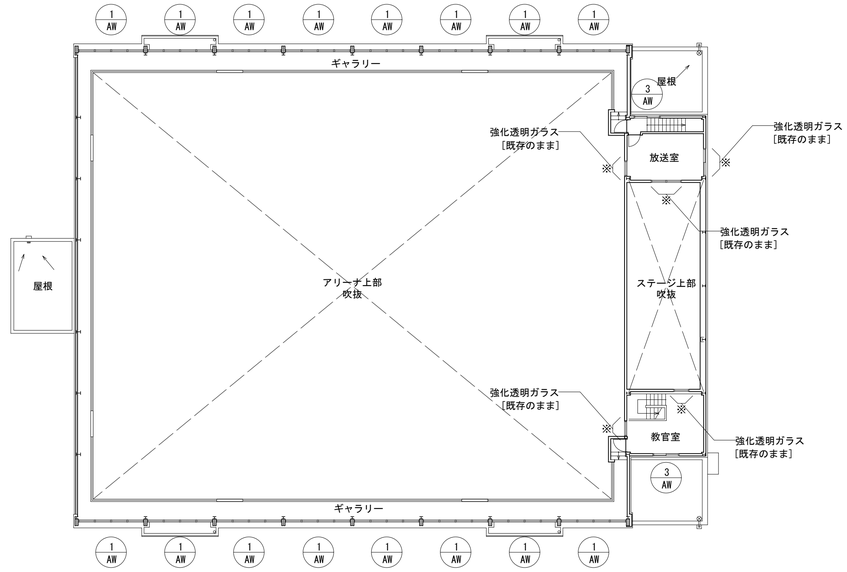
工事名	松戸市立第六中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	2階平面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1：100	図面番号	A-07
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

改修前

※印：当該部分のガラスについては、以下の２条件に該当する場合、フィルムは施工せず、既存のままとする。
①外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓、かつ、北側に面する窓
または、外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓以外の窓
②ガラス種類が以下のいずれか
（透明強化ガラス、型板強化ガラス、透明網入ガラス、型板網入透明ガラス）



1階キープラン　S=1:200

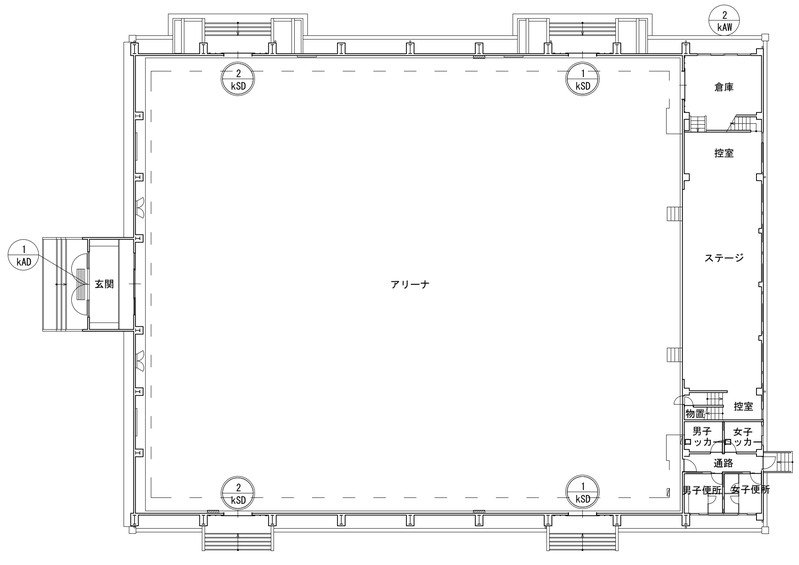


2階キープラン　S=1:200

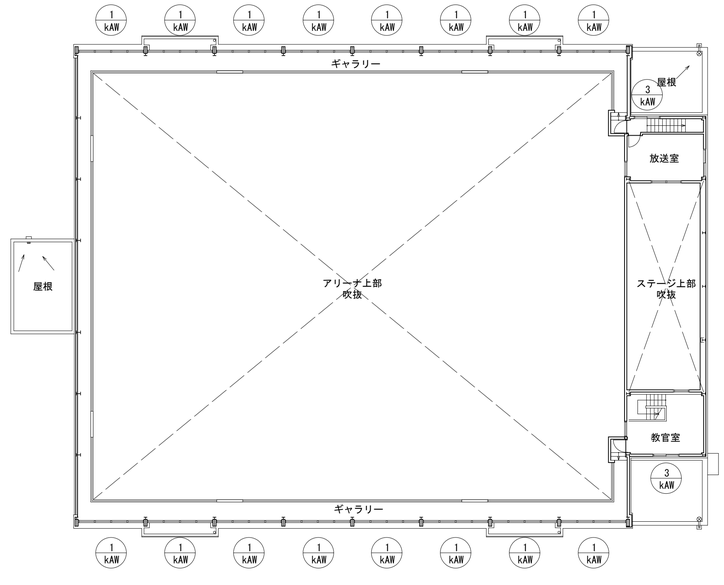
撤去建具を示す

既存建具を示す

改修後



1階キープラン　S=1:200



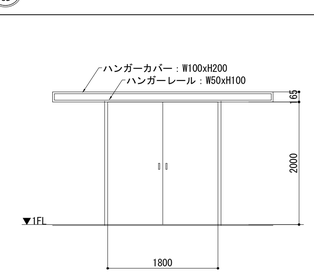
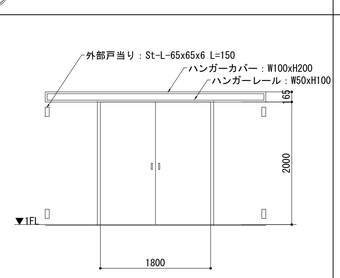
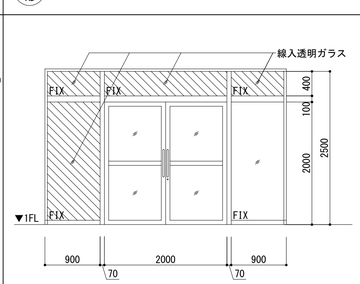
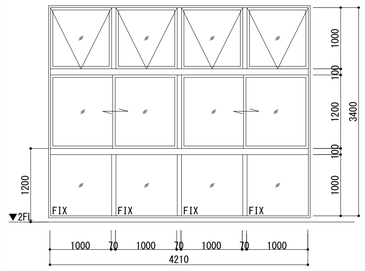
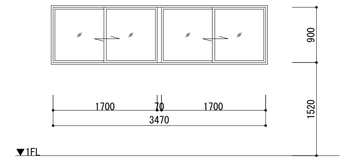
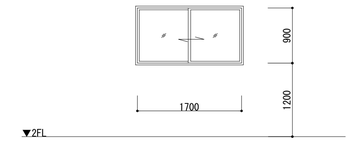
2階キープラン　S=1:200

新設建具を示す

既存建具を示す

工事名	松戸市立第六中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修前・改修後 建具キープラン		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:200	図面番号	A-08
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

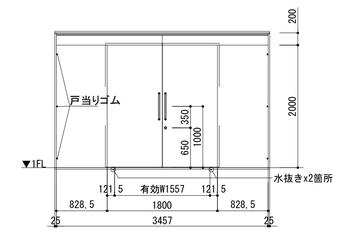
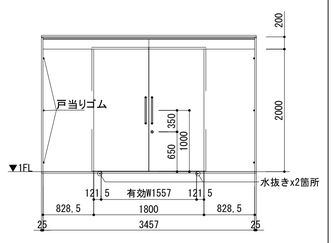
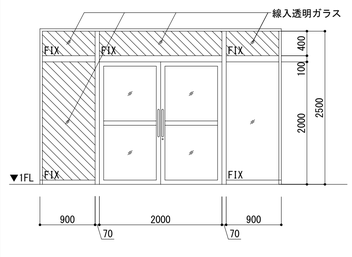
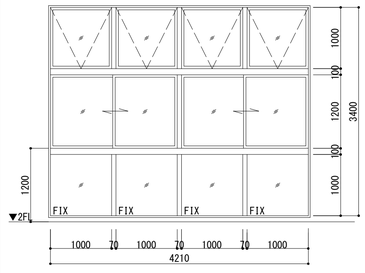
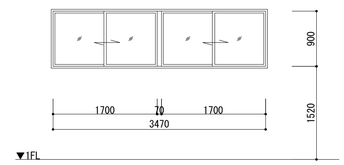
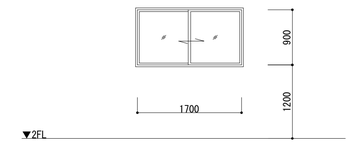
改修前

符号・数量	1 SD アリーナ　数量 2	2 SD アリーナ　数量 2	1 AD 玄関　数量 1	1 AW ギャラリー　数量 16	2 AW 倉庫　数量 1	3 AW 階段室・教官室・放送室　数量 2
姿　図						
形　式	ハンガー式引き分け戸	ハンガー式引き分け戸	ランマFIX窓付袖付両開きドア	内倒排煙窓付連窓引違い窓　下部FIX窓	連窓引違い窓	引違い窓
材質・仕上	ドア見込40　スチールフラッシュ　OP	ドア見込40　スチールフラッシュ（鉄板t=1.6）　OP	見込100　アルミ（B-1種）	見込100　アルミ（B-1種）	見込70　アルミ（B-1種）	見込70　アルミ（B-1種）
硝　子	-	-	網入透明ガラスt=6.8 一部：線入透明ガラスt=6.8	強化透明ガラス　t=3 腰：網入型板ガラスt=6.8	強化透明ガラス　t=3	強化透明ガラス　t=3
付属金物	ブラケット、ドアハンガー、戸車、レール、引手、シリンダー錠 三方枠・沓摺：ステンレス	ブラケット、ドアハンガー、戸車、レール、引手、シリンダー錠 三方枠・沓摺：ステンレス	フロアヒンジ、取手ステンレス製（ヘアーライン仕上）、シリンダー錠	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
撤去内容	撤去（三方枠、沓摺、レール共）（部分詳細参照）	撤去（三方枠、沓摺、レール共）（部分詳細参照）				

撤去建具を示す

既存建具を示す

改修後

符号・数量	1 kSD アリーナ　数量 2	2 kSD アリーナ　数量 2	1 kAD 玄関　数量 1	1 kAW ギャラリー　数量 16	2 kAW 倉庫　数量 1	3 kAW 階段室・教官室・放送室　数量 2
姿　図						
形　式	鋼製両引きハンガードア	鋼製両引きハンガードア	ランマFIX窓付袖付両開きドア	内倒排煙窓付連窓引違い窓　下部FIX	連窓引違い窓	引違い窓
材質・仕上	DP　枠見込255	DP　枠見込255	見込100　アルミ（B-1種）	見込100　アルミ（B-1種）	見込70　アルミ（B-1種）	見込70　アルミ（B-1種）
硝　子			網入透明ガラスt=6.8 一部：線入透明ガラスt=6.8	強化透明ガラス　t=3 腰：網入型板ガラスt=6.8	強化透明ガラス　t=3	強化透明ガラス　t=3
付属金物	ドアハンドル、引戸錠、ガイドローラー、駆動装置、戸当りゴム、付属金物一式 スチールフラッシュ戸、鋼材t=1.6、枠廻りステンレスt=1.5	ドアハンドル、引戸錠、ガイドローラー、駆動装置、戸当りゴム、付属金物一式 スチールフラッシュ戸、鋼材t=1.6、枠廻りステンレスt=1.5	フロアヒンジ、取手ステンレス製（ヘアーライン仕上）、シリンダー錠	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
改修内容	新設（部分詳細図参照）	新設（部分詳細図参照）	線入透明ガラス③フィルム張[新設]（内貼）	強化透明ガラス①フィルム張[新設]（内貼） 網入型板ガラス④フィルム張[新設]（外貼）	強化透明ガラス①フィルム張[新設]（内貼）	強化透明ガラス①フィルム張[新設]（内貼）

■遮熱・飛散防止フィルム貼り仕様一覧表（外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓）

既存硝子＼方角		東・西・南	北
透明硝子	内貼	① 遮熱フィルム 3M　NANO70S	⑤ 飛散防止フィルム ３M　SH2CLAR
型硝子	外貼	② 遮熱フィルム 3M　NANO70SX	⑥ 飛散防止フィルム ３M　SH2CLARX
● 強化透明硝子	内貼	① 遮熱フィルム 3M　NANO70S	既存のまま
強化型硝子	外貼	② 遮熱フィルム 3M　NANO70SX	既存のまま
● 網入り透明硝子	内貼	③ 遮熱フィルム 3M　NANO90S	既存のまま
● 網入り型硝子	外貼	④ 遮熱フィルム 3M　NANOMACRX	既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは3Mジャパン(株)同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、**北側の強化硝子・網入り硝子**に飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入り硝子が割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

■飛散フィルム貼り仕様一覧表

（外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓**以外の窓・・・**放送室、器具庫、控室、便所など）

既存硝子＼		**全方角・内部**
透明硝子	内貼	⑤ 飛散防止フィルム ３M　SH2CLAR
型硝子	外貼	⑥ 飛散防止フィルム ３M　SH2CLARX
強化透明硝子	—	既存のまま
強化型硝子	—	既存のまま
網入り透明硝子	—	既存のまま
網入り型硝子	—	既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは3Mジャパン(株)同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、**強化硝子・網入り硝子**に飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入り硝子が割れている場合は同一硝子に交換する。

凡　例

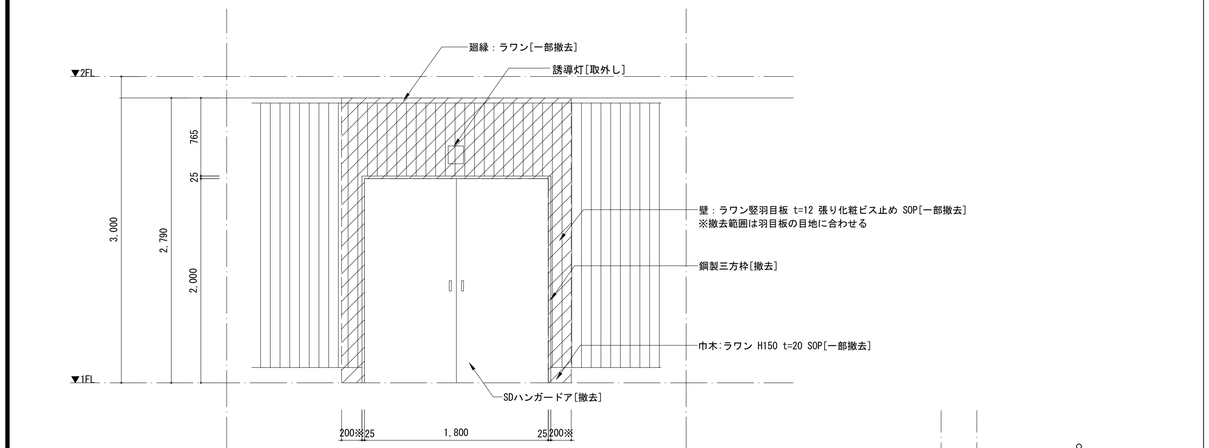
線入透明ガラスの範囲を示す

撤去・新設建具を示す

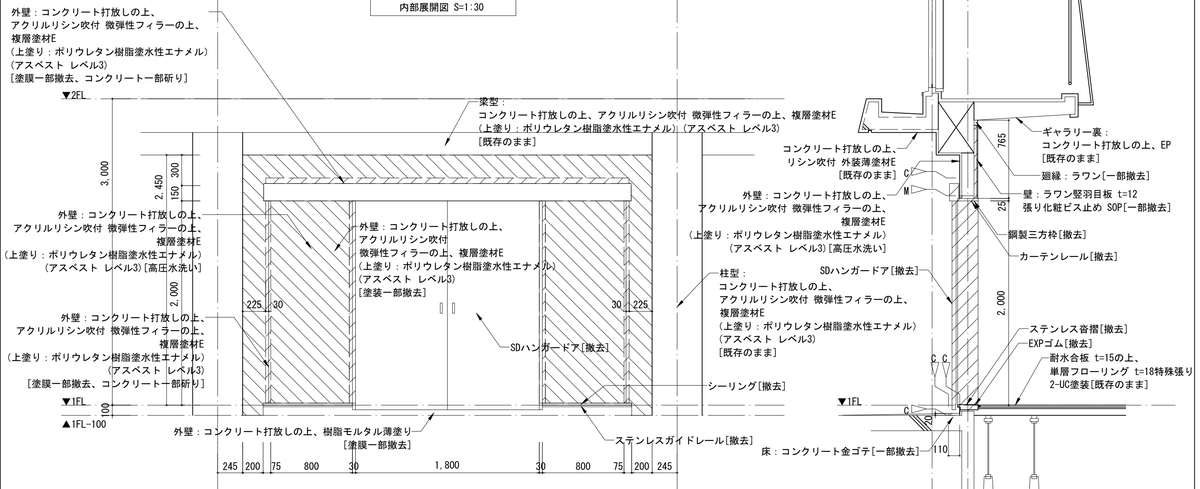
既存建具を示す

工事名	松戸市立第六中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修前・改修後 建具表		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	1:50	図面番号	A-09
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

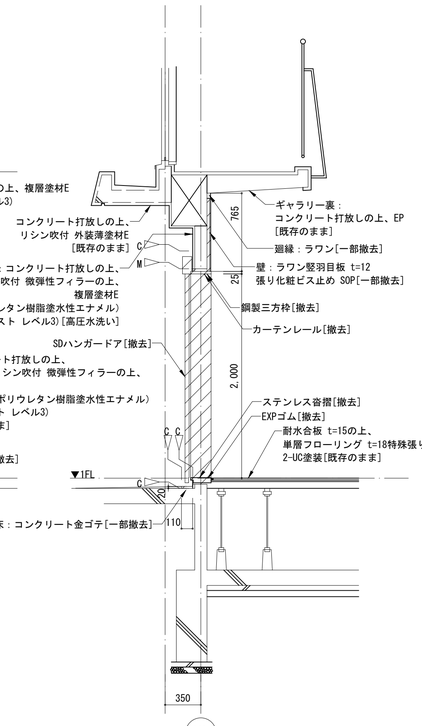
改修前



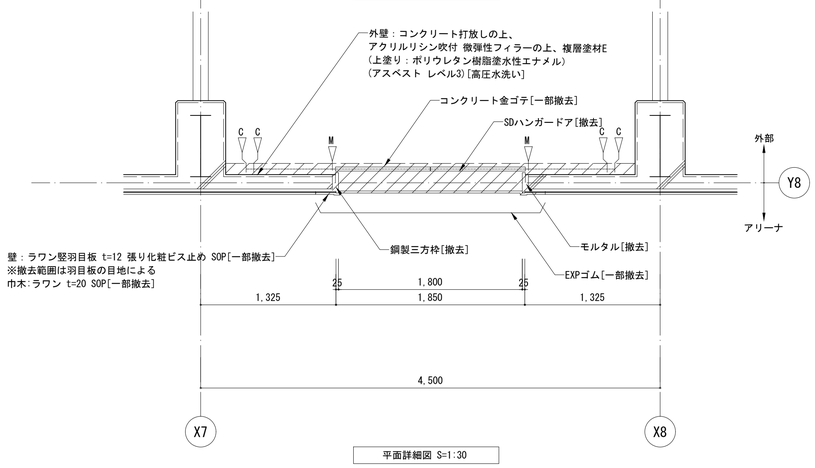
内部展開図 S=1:30



外部展開図 S=1:30



断面詳細図 S=1:30



平面詳細図 S=1:30

凡　例

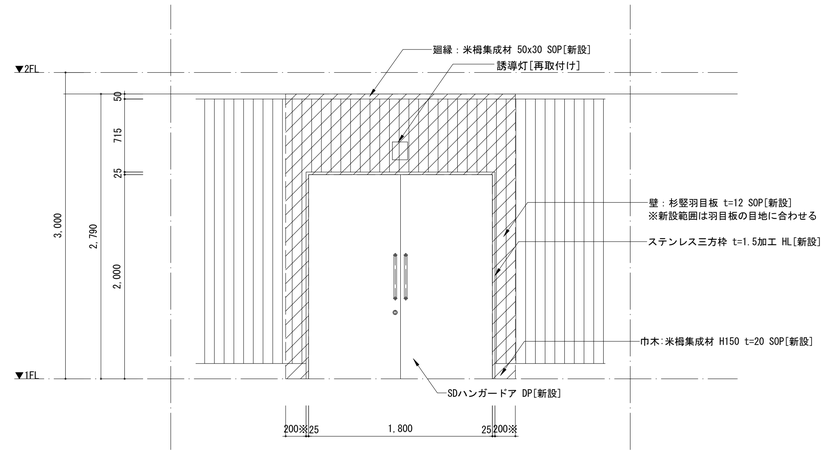
撤去範囲

高圧水洗い

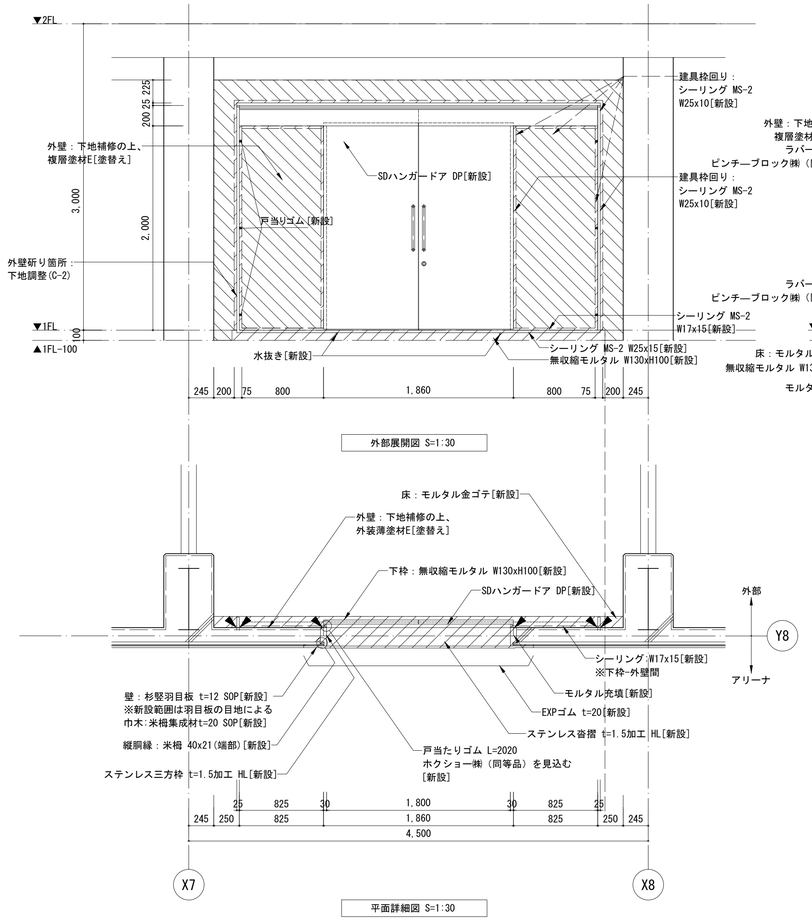
M　：　カッター入れ(モルタル)

C　：　カッター入れ(コンクリート)

改修後

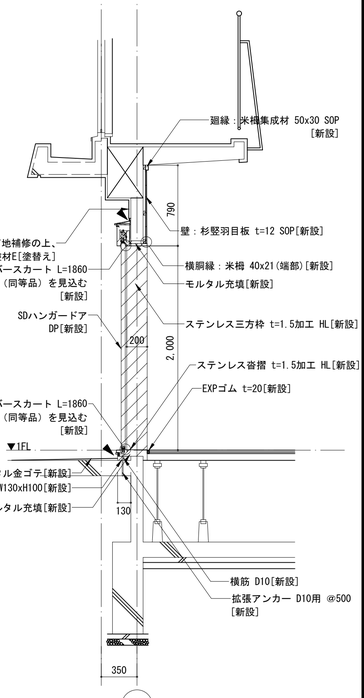


内部展開図 S=1:30



外部展開図 S=1:30

平面詳細図 S=1:30



断面詳細図 S=1:30

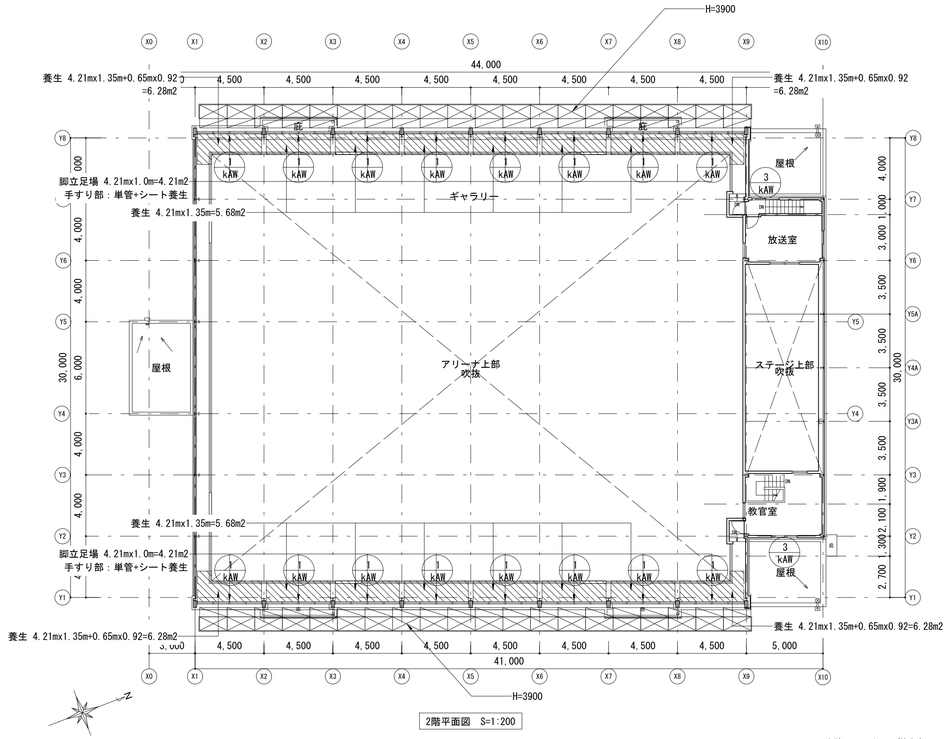
凡　例

新設範囲

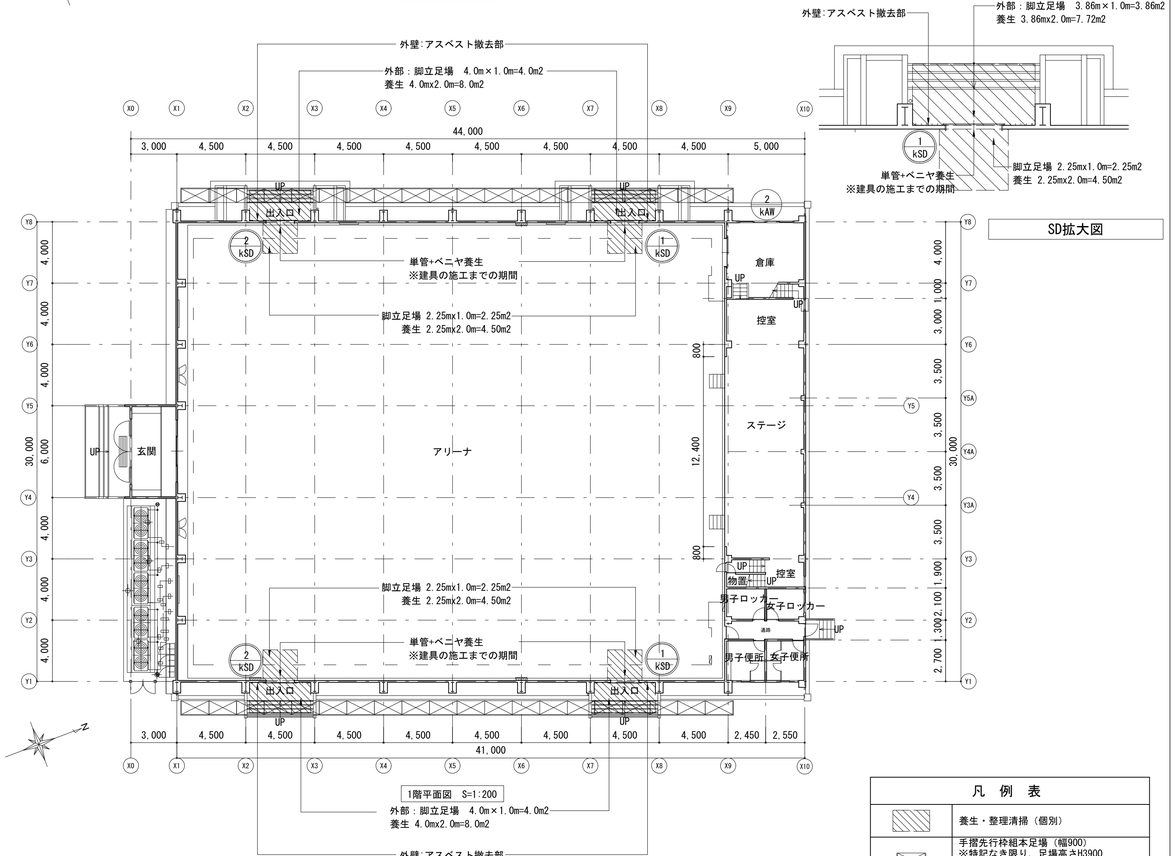
塗替え範囲

►　：　シーリング（MS-2）

工事名	松戸市立第六中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	部分詳細図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	1:30	図面番号	A-10
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



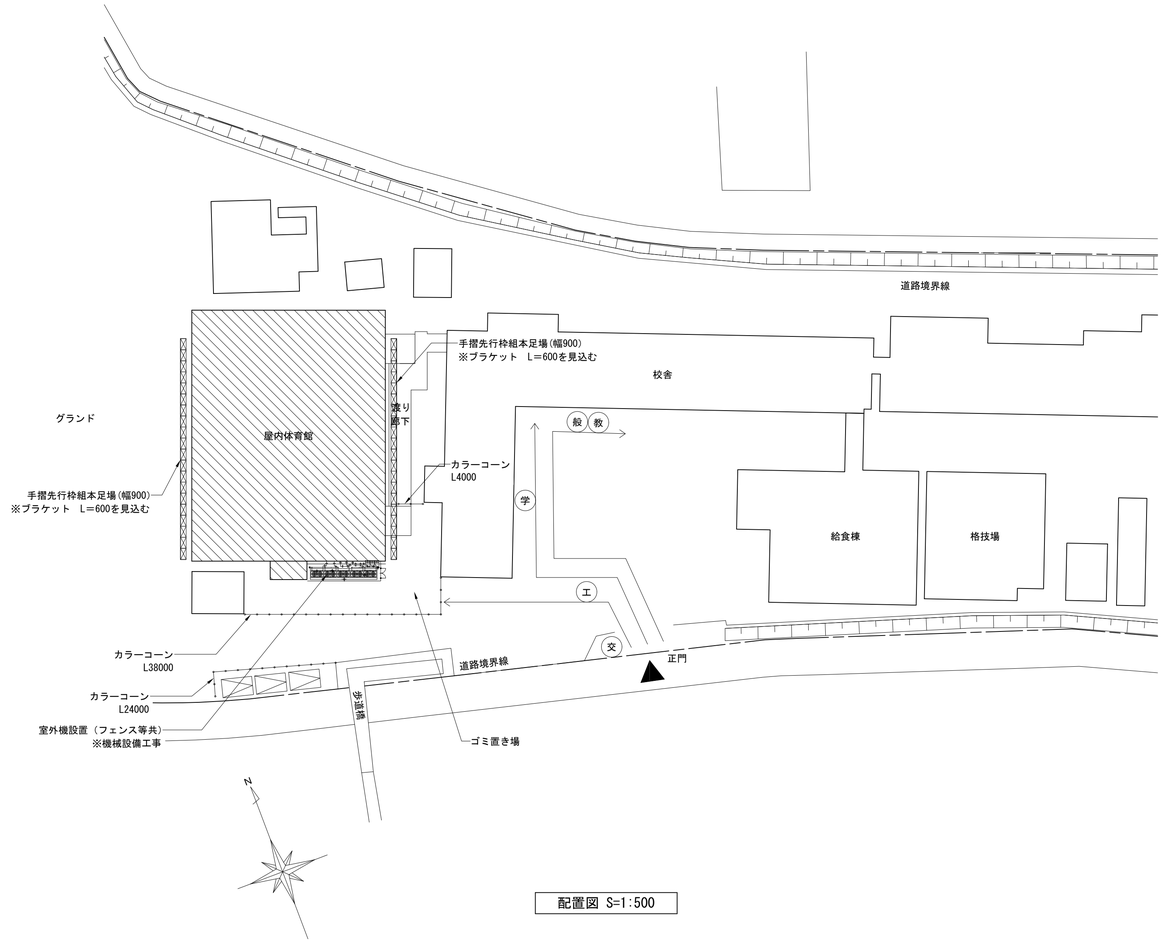
2階平面図　S=1:200



1階平面図　S=1:200

SD拡大図

凡　例　表	
	養生・整理清掃（個別）
	手摺先行枠組本足場（幅900） ※特記なき限り、足場高さH3900 養生：ﾈｯﾄ状養生ｼｰﾄ（防災Ⅱ類） 金網式養生枠
	ブラケット足場



配置図　S=1:500

凡　例　表	
	手摺先行枠組本足場（幅900） ※特記なき限り、足場高さH6000 養生：ﾈｯﾄ状養生ｼｰﾄ（防災Ⅱ類） 金網式養生枠H2000
▼	作業員出入口
交	交通誘導員
学	生徒・学校関係者を示す
教	教員車両を示す
般	一般車両を示す
工	工事車両を示す
	カラーコーン・バー

＜全体仮設計画＞

1. 学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・バー）を設置する
2. 足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
3. 工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900x600程度を公衆の見やすい場所に設置
4. 工事に使用する重機は、低振動タイプのものとし低速走行にて振動を抑えるものとする
5. 工事に使用する場重機（クレー車等）は、安全上十分なものを使用すること
6. 登下校時の車両の出入りはしないこと

＜特記事項＞

・本図面は参考図として工事を行う際に、必要な仮設を検討し、請負者負担で設置すること。
・仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。

工事名	松戸市立第六中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計画図（案）		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	1:200 1:500	図面番号	A-11
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

松戸市立小金中学校体育館空調設備設置建築工事

図面リスト	
意匠図	
図面番号	図面名称
A-00	表紙・図面リスト
A-01	改修工事特記仕様書−１
A-02	改修工事特記仕様書−２
A-03	改修工事特記仕様書−３
A-04	改修工事特記仕様書−４
A-05	配置図・案内図・仕上表
A-06	１階平面図
A-07	２階平面図
A-08	改修前・改修後 建具表キープラン
A-09	改修前 建具表
A-10	改修後 建具表
A-11	部分詳細図
A-12	仮設計画図（案）

工事名	松戸市立小金中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	−
縮 尺	No Scale	図面番号	A-00
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

松戸市立小金中学校体育館空調設備設置建築工事

令和　７年　２月

仕　様　書

Ⅰ　工事概要

1. 工事場所　　松戸市新松戸北二丁目１６番地の１１

2. 敷地面積　　21,010㎡

3. 改修建物概要
用　　途：中学校（体育館）
構　　造：S造
階　　数：地上２階
延べ面積：1,180㎡(アリーナ)

4. 工事内容

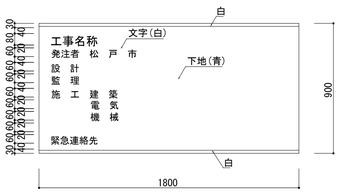
工事種目	工事範囲
2　仮設工事	足場設置・資材置場・ガードフェンス
3　防水改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴うシーリング
4　外壁改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴う仕上材塗替
5　建具改修工事	SDハンガードア 撤去・新設、ガラス改修工事（フィルム張を含む）
6　内装改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴う内装工事
7　塗装改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴う内壁塗装、SDハンガードア塗装
8　耐震改修工事	SDハンガードア 撤去に伴うアスベスト含有外壁仕上げ材部分除去
10　その他	－

Ⅱ建築工事仕様

1. 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様に記載されれいない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）(令和4年版)」(以下、「改修標仕」という。)及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「標仕」という)による。

2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に◯印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、･印の付いたものを適用する。
･印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
･印と※印の付いた場合は共に適用する。
(3) 特記事項に記載の［　　］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(5) Ⓖ 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。

松戸市建築工事現場表示板仕様



(1)材料
1) 耐水合板（ラワン厚み12mm SOP仕上げ）
2) 枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。

(2)注意事項
1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	①運用基準等	･ 松戸市建築工事に関する提出書類 ･ 工事写真の撮り方 建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ･ 松戸市建築工事現場表示板仕様
	②工事実績情報サービス（CORINS）への登録	※ 適用する　[1.1.4]
	③施工計画書	･ 工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。　[1.2.2] ･ 施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。 ･ 施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。 ･ 施工図等の内容を変更する必要が生じた場合は監督職員に報告する。
	4 電気保安技術者	･ 工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。　[1.3.3]
	⑤施工条件	※　現場説明書による　[1.3.5]
	⑥発生材の処理等	※ 現場説明書による　･場外搬出適正処理　[1.3.12]
	⑦材料の品質等	[1.4.2] 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 (3)安定的な供給が可能であること。 (4)法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。 (5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（(社)公共建築協会 他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
	8 化学物質を放散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 2)保温材、衝撃材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 3)接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 5)1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFoo規格品
	9 特別な材料の工法	様仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	⑩ 技能士	[1.6.2]

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	・鉄筋施工（鉄筋組立作業）
コンクリート工事	・型枠施工
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築　・ALCパネル施工
防水工事	・アスファルト防水工事作業　・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塗膜防水工事作業　・シーリング防水工事作業
石工事	・石材施工（石張り施工）
タイル工事	・タイル張り
木工事	・建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金（内外装板金作業）
金属工事	・内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）
左官工事	･左官
建具工事	･サッシ施工 ･ガラス施工 ・自動ドア施工 ･鋼製建具施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工
塗装工事	･塗装(建築塗装作業)
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業　・ボード仕上げ工事作業 ・内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）・表装（壁装作業）
植栽工事	・造園

章	項　目	特　記　事　項
	11 化学物質の濃度測定	[1.6.9] 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定　・行う 測定対象室　・－ 測定箇所数　・－
	⑫ 完成図等	※作成する　・作成しない　[1.8.1～3][表1.8.1] ※完成図　ＣＡＤデータ
	13 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	撮影部数	原版の大きさ(㎜)
・カラー ※キャビネ版 ・ぺた焼き ・(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出)	外部(　)　内部(　)	※1　・6	※100×125以上 ・
※カラー半切木製パネル 324×400(㎜)	外部(　)　内部(　)	※2	
・電子データ	外部(　)　内部(　)	※2	※200万画素以上 ※300dpi以上

100×125以上の原版を使う場合は、監督職員にあらかじめぺた焼を提出し確認を受ける。
電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)

	⑭設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	15 設計GL	※図示　・設計GL＝現状GL
	⑯工事写真	※着工前、完成写真2部　工事工程写真1部
	⑰ワンデーレスポンスの実施	ワンデーレスポンスの取り組みについて 1. この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは 受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程 3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。 4. 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。
	⑱火災保険等	※火災保険等の証券等の写しを提出すること。
2 仮設工事	①足場その他	内部足場　種別　※脚立、足場板　・棚足場　[2.2.1] 外部足場　手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。　[2.2.1][表2.2.1] 屋根工事及び小屋組みの建方工事における墜落事故防止対策はJIS A 8971に基づき設置すること。 材料、撤去材等の運搬方法　[2.2.1][表2.2.1] ・A1種　※B1種　・C1種　・D1種　・E1種 ・定置する足場、作業構台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。
	②養生	既存部分の養生　※ビニールシート　・合板　厚12　[2.3.1] 既存家具等の養生　※ビニールシート　・ 固定家具等の養生　※行う　・行わない
	3 仮設間仕切り	仮設間仕切り等の種別　[2.3.2][表2.3.1]

種　別	下　地	仕上材(厚さ　㎜)	充てん材	塗　装
・A種	※軽量鉄骨	・合板(※9.0 ・ラワン　)		※無し
・B種	・木下地	※せっこうボード(※12.5 ・　)	厚さ　㎜	・片面
・C種	・単管下地	防炎シート		
・仮設扉	※木製扉	※合板張り程度		※無し
	・鋼製扉	※片面フラッシュ程度		・有り

	4 監督職員事務所	規模及び仕上げの程度は現場説明書による。　[2.4.1]
	⑤工事用水	構内既存の施設　・利用できない　※利用できる(※有償　・無償)　[2.4.1] ※子メータを設置する。
	⑥工事電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる(※有償　・無償)　[2.4.1]
	7 防音パネル	※アルミ製(解体作業期間)
	8 仮門	・キャスターゲート　W= 3.0 m、H= 1.8 m、　箇所 ・キャスターゲート　W= 6.0 m、H= 1.8 m、1箇所
	⑨仮囲い	・万能鋼板　H= 2.0 m、L=　m、　箇所 ※成型鋼板　H= 2.0 m、L=　m、　箇所　・図示 ･ガードフェンス　H= 1.8 m　箇所　･図示
	10 仮設道路	・砕石敷(厚さ　㎜　幅　㎜)　L=　m (砕石は、再生クラッシャランを使用) ・鋼板敷(厚さ　㎜　幅　㎜　L=　m)　枚
3 防水改修工事	1 アスファルト防水	[3.3.2][表3.1.1][表3.3.3～10]

防水改修工法の種類		施工箇所	新規防水層の種別
保護防水	※P1B		・B-1　※B-2
	・P1B[　・T1B]		・B1-1　※B1-2
	・P2A[		・A1-1　※A1-2
水	※P2A		・A-1　※A-2
露出防水	・M4C		・C-1　※C-2
	・M3D　・P0D		・D-1　※D-2
屋内防水	・P1E　・P2E		・E-1　※E-2 (保護層は図示による)

アスファルトの種類　※3種　・4種　[3.2.2][3.3.2]
保護コンクリートのコンクリート種類　・普通コンクリート(18N/＊ S=18mm)　[3.3.2][8.11.1]
(溶接金網　径6mm　100mm×100mm敷設)
PODエ法の二重ドレン　※設けない　・設ける　[3.2.5]
M3D、PODエ法の脱気装置　※設けない　・設ける　[3.3.3]
既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4Cエ法の場合)　・除去する　[3.2.6]
断熱エ法の断熱材　厚さ(㎜)　※25　・　[3.3.2]
ただし、特定フロンを含まないもの。
立上り部の保護　[3.3.2]
・れんがの種類　※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形コンクリートブロックとする。
・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ15㎜

	2 改質アスファルトシート防水	[3.4.2][表3.1.1][表3.4.1～3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	厚さ(㎜)
・M4AS工法		・AS-1　・AS-2　・AS-3	
・M3AS工法 ・P0AS工法		・AS-4　・AS-5　・AS-6	
・M3ASI工法 ・M4ASI工法 ・P0ASI工法		・ASI-1　・ASI-2	

脱気装置　※設けない　・設ける

章	項　目	特　記　事　項
	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	[3.5.2][表3.1.1][表3.5.1～3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料等	使用分類
・P0S工法		・S-F1　・S-M1	・カラー ・シルバー	※非歩行 ・軽歩行
・L3S工法		・S-F2　・S-M2		
・S3S工法				
・M4S工法		・S-M1　・S-M2		
・P0SI工法		・SI-F1　・SI-M1		
・L3SI工法	講堂屋根 階段室A下り屋根	・SI-F2　・SI-M2		
・S4SI工法		・SI-M3		

脱気装置　※設けない　・設ける　[3.5.3]
目地処理　PCコンクリート　[3.5.4]

	4 塗膜防水	[3.6.2～4][表3.1.1][表3.6.1]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別
・L4X工法	※図示	・X-1(絶縁工法)
・P0X工法		・X-2(密着工法)

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合)　・活膜を残す　[3.2.6]
脱気装置　※設けない　・設ける　[3.6.3]

	5 脱気装置	[3.3.2][3.4.2][3.5.2][3.6.2][表3.1.1]

種　類	材　質	設置数量
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂　・ABS樹脂 ・ステンレス　・鋳鉄	・約50㎡当たり1箇所
・立上り部脱気型	・合成ゴム　・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス　・銅	・(　　)㎡当たり1箇所

	⑥シーリング	シーリング改修工法の種類　[3.1.4]　[表3.1.2] ･シーリング充填　・シーリング再充填工法　・シーリング打替え ・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所　[3.7.2]　[表3.7.1] ※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類　(記号)
・打ち継ぎ目地、伸縮目地	・ポリウレタン系(PU-2)仕上げなし
･新設建具廻り、金属取合い	･変成シリコーン系(MS-2)仕上げなし
・ガラス廻り	・シリコーン系(SR-1)

	7 とい	[3.8.2]　[表3.8.1] といの材種　・配管用鋼管　※カラー硬質塩化ビニル管　・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU) Ⓖ 鋼管製といの防露　[3.8.2]　[表3.8.3] ・次の箇所は行わない(　　) 防露材のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆　・ 掃除口　※有り　・無し　・ たてどい受金物の取付け　[3.8.3]
	8 アルミニウム製笠木	[3.9.2～3]　[表3.9.1]

種　類	呼称肉厚(㎜)	製品幅(㎜)	固定間隔	備　考
・150形	※1.1程度	※150	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突き当り部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	※1.8以上	※300		
・350形	※2.0以上	※350		

板材折曲げ形の取付工法　・図示　[3.9.3]

	9 折板葺	(13.3.2～3)

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・
形状　(㎜)	山高(　　)　山ピッチ(　　)　板厚　・0.6　※0.8
材　料	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯
(規格等)	(CGLCCR-20-AZ150)
軒先面戸板	※有り　・無し
断熱材	・有り(種別：　　厚さ：　　㎜)　※無し
耐火性能	・30分耐火　※無し

	⑩ 保証期間	※ 10年保証とする。
4 外壁改修工事 共通事項	①施工数量調査	調査範囲　※外壁改修範囲　・図示の範囲　[1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。　また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び剥落を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。 調査報告書の部数　※2部　・

既存塗装面外壁補修想定数量

補修項目	外壁
ひび割れ 0.2mm未満	３．０ｍ
ひび割れ 0.2mm以上	３．０ｍ
欠損部（100×100程度）	８箇所
一般部浮き	２．０㎡
塗膜脆弱部(既存塗膜除去部)	４．４㎡

工事名	松戸市立小金中学校体育館空調設備設置建築工事
図面名	改修工事特記仕様書-1
作成年月日	令和7年2月10日
変更年月日	－
縮　尺	No Scale
図面番号	A-01
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号
松戸市　街づくり部　建築保全課	

章	項目	特記事項
4 外壁改修工事 共通事項	②改修材料	⊙既製調合モルタル

保水率 (%)	単位容積質量 (kg/ℓ)	接着強さ(N/＊) 標準時	接着強さ(N/＊) 温冷繰り返し後	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/＊)
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上

⊙パテ状エポキシ樹脂

初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0N/＊以上	6.0N/＊以上	50.0N/＊以上	30.0N/＊以上	3.0(%)以上

a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・可とう性エポキシ樹脂

性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性
引張強さ	1.0N/＊以上	1.0N/＊以上	1.0N/＊以上	最大引張応力 1.0N/＊以上
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10.0%以上

比重　表示値±0.10
押出し性　60秒以下
スランプ　3mm以下
加熱減量　5%以下
a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・タイル部分張替え工法用材料

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度(N/＊)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
凝集破壊率(%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ(N/＊)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上
伸び(%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上

貯蔵安定性　容積と粘土に著しい変化がないこと。
耐熱性　JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。
a.外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.タイル、石材、下地等侵すものでないこと。
c.「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。
e.ずれ抵抗性があること。
f.混錬終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。

⊙エポキシ樹脂モルタル

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0N/＊以上	20.0N/＊以上	10.0N/＊以上

a.こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。
b.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
c.「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。
d.形状に異常が無く、垂れが生じないこと。
e.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。

⊙ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの種類
合成ゴム系、アクリル系、エチレン一酢ビ系等

曲げ強さ (N/＊)	圧縮強さ (N/＊)	接着強さ(N/＊) 標準時	接着強さ(N/＊) 湿潤時	接着強さ(N/＊) 低温時
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態　垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。
透水性　裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
3以上	3.0%以下	0.5N/＊以上	5.0N/＊以上	15%以下	6.0N/＊以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

・吸水調整材

項目	全固形分(%)	吸水性(g)	接着強度(N/＊)	界面破断率 (%)
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

章	項目	特記事項
4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁	①ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※製造所の仕様による	
⊙手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※ 50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り) ※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法：)

⊙Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	品質・規格等	備考
⊙シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタル充填
	ポリウレタン系シーリング材	※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

⊙シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6]
⊙パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

	②欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む)	⊙充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ⊙エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ポリマーセメントモルタル
	③浮き部改修工法	⊙アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法(16本/㎡) [4.1.4][4.4.10] (モルタル笠木・パラペット天端部分)
	4 巾木モルタル塗	・樹脂モルタル T3

章	項目	特記事項
4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	1 既存モルタル塗りの撤去	・行う(※監督職員の指示による)
	2 ひび割れ部改修工法	・既存モルタル撤去工法(範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)

※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.2][4.4.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300		
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り) ※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法：)

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

・シール工法(亀裂が0.2mm未満) [4.1.4][4.2.2][4.4.7]
(※既存モルタル面 →既存躯体コンクリート面)。
・パテ状エポキシ樹脂(JIA A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [4.2.2][4.6.3]
(※シール工法の範囲 ・監督職員の指示による)

3 欠損部改修工法

・既存モルタル面の欠損部 [4.1.4][4.4.8～9]

改修工法の種類	材料	品質・規格等
・充填工法	エポキシ樹脂モルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕4.2.2(7)による	塗り厚25mmを超える場合の補強
		※行う ・行わない ・図示

4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ※狭幅部：5本/m	※25 ※狭幅部：5本/m			※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml

アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。

5 巾木モルタル塗 ・樹脂モルタル T3

章	項目	特記事項
4-3 外壁改修工事 タイル仕上げ外壁	1 既存タイル張りの撤去	・外壁タイル張り全面 ・部分撤去 [4.5.2] 撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張り付けモルタルまで ・タイルのみ
	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面(・コンクリート面 ・モルタル面)

※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4]
・行う(抜き取り部の補修方法：)

・Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

	3 欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む)	・充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ・エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ポリマーセメントモルタル

章	項目	特記事項
	4 浮き部改修工法	[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16			※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml
・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	※9	※16	※50ml
エポキシ樹脂注入タイル固定工法					

アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。

	5 下地処理	サンダーケレンの上、モルタル薄塗 [4.2.2][4.6.3]
	6 タイルクリーニング	工業用塩酸
4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	①既存塗装等の撤去及び下地処理	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※補強範囲 図示	・ひび割れ部改修工法
※高圧水洗工法 加圧力 ※12MPa程度	※塗替え範囲 図示	・浮き部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	・欠損部改修工法
・水洗いエ法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

塗膜はく離剤 [4.2.2]

	②下地調整材	※下地調整材C-1 (既存塗装除去部分) [4.2.2][4.6.3] ※微弾性フィラー (既存吹付タイル面・既存複層塗材面) [4.2.2][4.6.3]
	③仕上げ塗材仕上げ	種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4]

種類	呼び名	仕上げの形状	上塗材の種類
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・砂壁状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 ・凸凹状 ・平たん状	耐候性 ※耐候形3種 ・耐候形1種 溶媒 ※水系 ・弱溶剤系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ウレタン系 ⊙シリコン系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材 ※行う
⊙複層仕上塗材(既存塗装除去部分)	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材Si ⊙複層塗材E ・複層塗材RE ・複層塗材RS ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	⊙ゆず肌状 ・凸凹処理 ・凸凹状	
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ※ゆず肌状	

防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2](15.6.2)
※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。
※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。

	4 その他の仕上げ	・基礎巾木仕上塗材 ※エスケー化研㈱ ベースプロテクト同等品とする ※菊水化学工業㈱ 基礎ｶﾞｰﾄﾞ同等品とする ・水性反応硬化形軒天用仕上塗材 ※エスケー化研㈱ ノキフレッシュ同等品とする ※菊水化学工業㈱ ノキテンファイン同等品とする ・ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し保護仕上げ塗材 ※エスケー化研㈱ セラミRC-FR工法同等品とする
5 建具改修工事	①改修工法の適用	[5.1.3]

種類	かぶせ工法	撤去工法	備考
・アルミニウム製建具	・有り	・有り	
⊙鋼製建具	⊙外部 ・有り	⊙有り	
	・内部		
・鋼製軽量建具			
・ステンレス製建具			
・自動ドア開閉装置			
・重量シャッター			

	2 見本の製作等	・特殊な建具の仮組(建具符号 :) [5.1.5]
	3 アルミ製建具	外部に面する建具 [5.2.2][表5.2.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	・図示
・B種	S-5	・	・	・100	
・C種	S-6	A-4	W-5	100	

章	項目	特記事項
		表面処理 [5.2.4][表5.2.2] ・BA-1種 ・BA-2種(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
		屋内建具 表面処理 ※C-1種又はB-1種 [5.2.4][表5.2.2] ・C-2種又はB-2種(ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
	4 網戸	防虫網 [5.2.3] 網の種別 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ※ステンレス(SUS316)製 形 式 ・外部可動式 ※固定式
	⑤鋼製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1] 耐風圧性能の適用は建具表による 特定防火設備戸 ・適用する [5.4.4]
	6 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1～2]
	7 ステンレス製建具	簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による 表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・適用する [5.1.4]
	8 自動ドア開閉装置	※製造所標準製作の規定寸法許容差による [5.8.2～4][表5.8.1～5]

開閉方法	検出装置の種類
※引き戸	・光線(反射)センサー ・熱線センサー
・多機能トイレ出入口引き戸	・音波センサー ・光電センサー ・タッチスイッチ
	・押しボタンスイッチ ・多機能トイレスイッチ

・凍結防止装置(適用箇所は建具表による)

	9 自閉式上吊り引戸装置	品質規格 ※改修標仕5.9.3による。 [5.9.3][表5.9.1] ・製造所標準仕様による。
	10 木製建具	※建具表による。 かまち戸の樹種 かまち( ) 鏡板( ) (16.7.2)(表16.7.2) ふすまの上張り ※新鳥の子程度又はビニル紙程度(押入れ等の裏面は除く) (表16.7.3) ・鳥の子 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.7.2) ※F☆☆☆ ・非ホルムアルデヒド系接着剤
	⑪建具用金物	マスターキー ・製作する ※製作しない [5.7.4] 建具用金物 [5.7.2][表5.7.1～3] 錠類はシリンダー箱錠(レバーハンドル)とする。 なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。 ⊙図示による 吊金物 ・丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい) ・ピボットヒンジ
	12 ガラス	建具表による [5.13.2] ・ガラスブロック 改修標仕5.13.5 [5.13.5]

寸法(mm)	色調	パターン	防火認定
	※クリア ・熱線反射		※無し
	・乳白 ・カラー( )		・有り

	13 ガラス留め材及び溝	ガラス留め材 [5.13.2～3]

建具の種類	種類
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット(FIX部はシーリング材)
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。

	⑭ガラス用フィルム	名称	種類	張り面	性能値
		※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D1
		・目かくしフィルム			
		⊙遮熱フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止性能あり

品質JIS A 5759による
建具表による [5.13.2]

	15 重量シャッター	[5.10.2][表5.10.1]

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能( )N/㎡
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能( )N/㎡
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

品質JIS A 4705による
開閉機能
※上部電動式(手動併用) ・上部手動式
危害防止機構 ※障害物感知装置(自動開錠型) [5.10.2]
・シャッターの二段降下式
一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない [5.10.2]

	16 軽量シャッター	[5.11.2][表5.10.1]

開閉形式
※手動式 ・上部電動式(手動併用)
スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 [5.11.3]
形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4]
ガイドレール等 [表5.10.2]
※鋼板製 ・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm)
耐風圧性能( )N/㎡

工事名	松戸市立小金中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修工事特記仕様書-2		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮尺	No Scale	図面番号	A-02
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

章	項目	特記事項
5 建具改修工事	17 オーバーヘッドドア	[5.13.2～5][表5.13.1～2]

セクション材料による区分	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 (SUS304)

耐風圧性能(　　)N/㎡　JIS A 4715

18 かご箱

市販品
形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

章	項目	特記事項
6 内装改修工事	①改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 [6.1.3] ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・図示の範囲 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま。 ・図示の範囲
	2 既存床の撤去並びに下地補修	ビニル床シート等の除去　※仕上げ材のみ(接着剤とも) [6.2.2] ・鋼製床組下地とも(※図示の範囲　・除去範囲全て) カラードフロアの撤去　・機械的除去工法　・目荒し工法 改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の案内　・
	3 既存壁の撤去並びに下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2][4.3.10] ・図示 ・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強　※行う　・行わない)
	④木下地等 (AP-1、2)	木材の品質　図示 [6.5.2][表6.5.1] ※改修標準仕様書6.5.2による　・市販品 代用樹種　※改修標仕表6.5.4による [6.5.2][表6.5.2] ・代用樹種を適用しない箇所(　　) 保存処理木材を適用する箇所(　　)

⑤集成材等 G (額縁等) [6.5.2]

品名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	○米栂　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	・1種 ※2種 ・3種	・	
・造作用集成材	※1等 ・2等	・タモ	
・化粧ばり造作用集成材	※1等 ・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

⑥接着剤 [6.5.3]

※F☆☆☆☆
・非ホルムアルデヒド系接着剤

7 防腐、防蟻処理 [6.5.5]

行う箇所(　　)
防腐処理　※行う(※図示　　)
防蟻処理　・行う(※図示　　)
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。

8 床板張り [6.5.8][6.11.2][表6.5.8]

フローリング及び繊甲板張り床

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合　板	t12mm
		・パーティクルボード	t15mm
床板	※単層フローリング(共仕19.5.2による)	ホルムアルデヒドの放散量	※F☆☆☆☆　・
	・繊甲板	※ひのき	

※フクビ　フリーフロアCP-F同等品

9 軽量鉄骨天井下地 [6.6.2]　[表6.6.1～2]

野縁等の種類
屋外(・19形 ※25形)　屋内(※19形 ・25形　※角スタッド工法 65形)
既存の埋込みインサート　・使用する ※使用しない [6.6.4]
あと施工アンカーの確認試験　・行う ※行わない

10 軽量鉄骨壁下地 スタッドの高さが5mを超える場合　※図示 [6.7.3]　[表6.7.1]

11 ビニル床シート張り [6.8.2]

種類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)
※発砲層のないもの	※NC　・	※無地 ・マーブル柄	※2.5
・発砲層のあるもの		※柄物 ・無地	
・防滑性ビニル床シート	・NF ・NC	・柄物 ・無地	・2.5
・防汚性ビニル床シート			・2.0

工法　※熱溶接工法　・突付け(施工箇所:　　) [6.8.3]
・防汚性ビニルシート：下記同等品とする。
ロンシール工業㈱ナニタリウム　t=2.0
タキロンシーアイ㈱ネオクリーン　t=2.0
東リ㈱消臭ＮＳトワレＮＷ　t=2.0

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

12 ビニル床タイル張り [6.8.2]

種類	JISの記号	厚さ(mm)	備考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS		
・ホモジニアスビニル床タイル	HT		

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

13 帯電防止床タイル張り [6.8.2]

種類	厚さ(mm)	性能
※コンポジションビニル床タイル	※2　・	体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	1.0×10⁷Ω以下、または、
		漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
		1.0×10⁷Ω未満

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

14 視覚障害者用床タイル(誘導用及び注意喚起用床材) [6.8.2]

ブロックパターンはJIS T 9251による
色彩は黄色を原則とする。
屋内　※塩化ビニル製　・磁器又は石器質タイル(※300　・　　)
・レンジコンクリート製
屋外　※レンジコンクリート製　・磁器又は石器質タイル(※300　・　　)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

15 ビニル幅木 [6.8.2]

高さ　(mm)　・60　・75　・100
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

章	項目	特記事項
	16 合成樹脂塗床	[6.10.2～3][表6.10.1～8]

種類	仕上の種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ工法(※平滑　・防滑) ・厚膜流しのべ工法(※平滑　・防滑) ・樹脂モルタル工法(※平滑　・防滑) ・薄膜型塗床工法(※平滑)

ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970　※F☆☆☆☆　・

17 フローリング張り [6.11.2～7][表6.11.1～6]

種別	材種	工法	仕上塗装等	備考
・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品	
・大型積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
・単層フローリング	・ブナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
	・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品	
・フローリングブロック	・ブナ	・直張り	※塗装品	

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

18 畳敷き [6.12.2～3][表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
改修標仕 表6.5.10による床組	※B種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種　・

19 ポリスチレンフォーム床下地材 畳下地　厚さ(mm)　※40　・65　・80
フローリング類　厚さ(mm)　※80　・95

20 カーペット敷き

・織じゅうたん [6.9.2～3][表6.9.1～2]

種別	パイル糸の種類	帯電性	色柄等	備考
・A種	・そ毛糸	人体帯電圧	※無地	
・B種	・紡毛糸	※3kV以下	・柄物(標準品)	
・C種	・紡毛糸			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タフテッドカーペット(JIS L 4405) [6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	パイル長(mm)	工法	備考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法	
	※4～6　・	・グリッパー工法	
・レベルループパイル	※4　・		
・カット、ループ併用			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タイルカーペット [6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	種類	規格	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※第一種	※500×500	※6.5	
	・第二種			
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下(フリーアクセスフロア新設範囲)

21 石膏ボードその他のボード張り [6.13.2][表6.13.1]

種類	厚さ(mm)　規格
・硬質木毛セメント板 G	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板 G	・15　・20　・25　・
・ケイ酸カルシウム板	タイプ2(無石綿)　(・6　・8　・　)
・ロックウール化粧吸音板	※フラットタイプ (※9(不燃)　・12　・　) ・凸凹タイプ (※12(不燃)　・15　・19　・　)
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)	※フラットタイプ9(不燃) ・凸凹タイプ(※12　・15)(不燃)
・せっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(準不燃)
・不燃積層せっこうボード	9.5(不燃)　・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)
・シージングせっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(不燃)
・強化せっこうボード	・12.5(不燃)　・21.0(不燃)
・せっこうラスボード	・9.5　・12.5
・化粧せっこうボード	・9.5(準不燃)
・化粧せっこうボード(木目)	・12.5(不燃)幅440mm程度 模様(※柾目　・板目)専用下地材付き
・難燃合板 G	・生地、透明塗料塗り(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗り(ラワン合板程度)厚さ・12
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による　厚さ　・4.0
・ミディアムデンシティファイバーボード G	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード G	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボーイ(素地) G ※規制対象外　・第三種	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・研磨板　(・スタンダード　・テンパード)
・インシュレーションボード G	A級(・天井仕上　・内装仕上　・　) ・9　・12　・15　・18　・
・フレキシブル板	厚さ　・5.0
・(有孔)シナ合板	厚さ　・5.0

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
・適用する　※適用しない

22 吸音材 [表6.13.1]

種類	規格番号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	JIS A 6301	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	JIS A 6301	※25　・

23 壁紙張り(掲示用クロス) [6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維(織物)	プラ(ビニル)	その他(化学繊維)	紙	防火性能	備考
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	

下地調整 [6.14.3][表7.2.4][表7.2.7]
モルタル、プラスター面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
せっこうボード面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　F☆☆☆☆ [6.14.2]
サンゲツ・リリカラー製品同等品とする。

章	項目	特記事項
	24 モルタル塗り	吸水調整材 [6.15.3]

全面形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/mm²)	界面破断率(%)
表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)
防水剤の種類　建築用モルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント質量の5%	JIS R 5201の試験において	70%以上	95%以上	80%以上
以下	始発　1時間以上			
	終結　10時間以内			

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。
既製目地材　※適用しない　・適用する

25 タイル張り [6.16.3]

施工箇所	形状寸法	きじ 磁器	きじ 石器	きじ 陶器	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 有り	役物 無し	色 標準	色 特注	再生材の適用 G	備考

役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う(※外装タイル　・　　)
内装タイル　※内装タイル接着剤張り　JIS A 5548 有機系接着剤
接着剤のホルムアルデヒド　※F☆☆☆☆　・

26 セルフレベリング材塗り

セルフレベリング材の種類 [6.17.2][表6.17.1]

種類	フロー値(cm)	凝結時間 始発(分)	凝結時間 終結(時間)	圧縮強度(N/mm²)	下地接着強度(N/mm²)	表面接着強度(N/mm²)	長さ変化(%)	衝撃	備考
せっこう系	19以上	45以上	20以上	15以上	0.5以上	0.4以上	0.05以下	割れ及び剥がれないこと	
セメント系				20以上	0.7以上	0.5以上	0.12以下		

試験方法：日本建築学会品質規準JASS 15 M-103による。

27 断熱材 (19.9.2～3)

種類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	※25 ・100	特定フロンを使用しないもの
	※3種b (スキン層付)	・接地部分	※25	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	——	特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級　・2級
		・一般部	※25	

JIS A 9521に基づく発砲プラスチック
断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。

28 浴室天井材

市販品

材質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	・準不燃品	※200	廻縁は樋付きとし製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	・塗装品 ・木目調		※300 ・100	

29 フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	構法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は各内装工事による。
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付対応　※製造所の標準仕様　(コンセント本体は別途設備工事)
コンセントの箇所数は図示
配線用取出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1箇所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り(※固定式　・可変式　・施工箇所は図示)

30 可動間仕切 (20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式		※鋼板	※メラミン樹脂又は	・有り	・有り
・スタッドパネル式		(※0.6　・0.8)	アクリル樹脂焼付	(　)	・無し
・パネル式		・		・無し	

遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

31 移動間仕切 (20.2.4)

遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ (36db以上)		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は「23壁紙張り」による。

32 トイレブース

表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板 t40(アルミ製コーナーエッジ付き　指詰め防止) (20.2.5)
※紙巻器設置位置については下地補強を行うこと。
・特殊UV塗装硬質セメント板(標準色　アルミ製コーナーエッジ(ステンカラー)付き)
笠　木　※アルミ製　・ステンレス製
足形状　※幅木タイプ(ステンレス製)　・足金物タイプ
※防水型(ステンレス巻き)

33 階段滑り止め

材　種　ステンレスSUS304 (20.2.6)
形　状　ビニルタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り(・ステンレス製　※ビニル製)　・無し
幅(mm)　約35
取付工法　※接着工法　・埋込工法

34 手すり

種別	施工箇所
※笠木受け：アルミ押出形材 笠木：半硬質耐候製樹脂 二層成形φ40mm ・樹脂被覆Φ34	スロープ

35 黒板及びホワイトボード (20.2.8)

種類		寸法(mm)	色彩	備考
・黒板	※焼付		※緑　・黒	・平面　※曲面
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面

章	項目	特記事項
	36 表示	衝突防止表示　・図示(市販品　・ステンレス製　径約30mm　・　　) (20.2.10) (　・両面　・片面　) ・無し 表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。 製造所　監督職員の承諾する製造所。
	37 ブラインド	・既存再使用する(養生方法:　　) [2.3.1][5.1.6] ・新設する (20.2.12)

形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横形	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
・縦形	・1本操作コード	・アルミスラット	・80
	※2本操作コード	・クロススラット	・100

38 ロールスクリーン 防炎性能　※有り
製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する (20.2.13)

施工箇所	装置 電動	装置 手引	性能 防炎性能	備考

39 カーテン(暗幕、緞帳等)
・既存再使用する(養生方法：取外し再取付) [2.3.1][5.1.6]
・新設する (20.2.14)

施工箇所	形式 片引	形式 引分	装置 電動	装置 ひも引	装置 手引	ひだの種類	性能	備考

40 カーテンレール ・既存再使用する [5.1.6]
・新設する (20.2.14)
材　種　JIS A 4802　・アルミニウム製　※ステンレス製
形　式　・片引き　・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)

41 カーテンボックス及びブラインドボックス ※既存再使用する。 [5.1.6]
・新設する。
・市販品(アルミニウム製)
溝幅×深さ(mm)　・90×150　※120×150　・150×80　・
色　彩　※B-1　・B-2(※ブラウン　・ブラック　・ステンレスカラー)
※図示

41 天井点検口 材　質　※アルミニウム製(※額縁タイプ　・目地タイプ)　・既存取外し、再取付

42 床点検口 材　質　・アルミニウム製(受け枠　※アルミ製　・ステンレス製)
・ステンレス製(受け枠　・ステンレス製(防水、防臭型))

43 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	耐荷重による種類

44 流し台ユニット

種類	寸法(L=　mm)	適用内容	規格・品質等
・流し台	・900　・1200　・1500	・トラップ付き	
・コンロ台	・600　・700	・バックガード　・有り	
・吊り戸棚	・1200　・900　・600		
・水切り棚	・1200　・900	・トラップ付き	
・作業台	・900　・1200　・1500		

45 屋内掲示板 枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発砲シート張り　・

46 ライニング天板 材　種　・メラミン樹脂化粧板張り(芯材：集成材)　・人工大理石
奥行き(mm)　※図示

47 用具入れ 材質　メラミン樹脂系化粧板 (12.2.2)(19.7.2)
形状、寸法　※図示
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

49 室名札等
・突出し型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(　　箇所)
・平付け型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(　　箇所)
・ピクトサイン　材質：ｱﾙﾐ　ｱﾙﾏｲﾄｼﾙﾊﾞｰ、絵柄：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：200×200　(　7　箇所)
・階数表示　材質：ｽﾃﾝﾚｽ　ﾍｱﾗｲﾝ、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ150×150　(　　箇所)

50 鋼製床下地(体育館用) 部材規格　大引き、根太鋼：※JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板、亜鉛付着量Z12以上)
U字金具、支持台：※JIS G 3302SGHCと同等以上(亜鉛付着量Z12以上)
緩衝材：※JIS K 6385(A種防振ゴム)
※三洋工業㈱ スリーベース101タイプ同等品とする。

51 アルミ製移動階段 ・セノー㈱　HE9724(アルミ合金製、アルマイト処理焼付塗装)同等品とする。

52 救助袋 ・垂直式　○階用

工事名	松戸市立小金中学校体育館空調設備設置建築工事
図面名	改修工事特記仕様書-3
作成年月日	令和7年2月10日
変更年月日	－
縮尺	No Scale
図面番号	A-03
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号

松戸市　街づくり部　建築保全課

7 塗装改修工事

①材料 [7.1.2～3]

塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。

屋内で使用する場合のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は監督職員と協議する。 [7.1.8]

②下地調整 [7.2.2～7][表7.2.1～7]

下地面の種類	下地調整の種別	備　考
木部	・RA種 ※RB種	新規面はRA種
鉄鋼面	・RA種 ※RB種	
亜鉛めっき鋼面	・RA種 ※RB種	
モルタル、プラスター面	・RA種 ※RB種	
コンクリート、ALC及び押出成形	・RA種 ※RB種	
セメント板面	・RA種 ※RB種	
せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種	

既存下地面等のひび割れ部補修 [表7.2.5～6]

※行う　・行わない

※錆止め　JIS K 5674

③合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) [7.5.2][表7.5.1]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
木部	・A種　※B種	※B種	下塗りJASS 18 M-304
			中塗り及び上塗りJIS K 5516
鉄鋼面	・A種　※B種	※B種	穴埋め及びパテかいJASS 18 M-110
			中塗り及び上塗りJIS K 5516

④鉄鋼面耐候性塗料塗り(DP) [7.8.2～4][表7.8.1～3]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
鉄面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5659
亜鉛めっき面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5659
コンクリート、押出成形セメント板面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5658

下塗りJASS 18 M-109

5 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) [7.9.2][表7.9.1]

新規の塗りの種別　・A種　※B種

塗替えの種別　・A種　※B種

下塗りJIS K 5663　中塗り及び上塗りJIS K 5660

6 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) [7.10.2][表7.10.1]

新規の塗りの種別　・A種　※B種

下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

7 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T) [7.11.2][表7.11.1]

新規の塗りの種別　・A種　※B種

塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種別
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種
	・RC種	※C-3種
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種　・B種
	・RC種	・C-1種　・C-2種

下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

8 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) [7.11.2][表7.11.1]

・A種　※B種

1液形JASS 18 M-301　2液形JASS 18 M-502

⑨オイルステイン塗り(OS) [7.12.2]

ワトコオイル製品同等品とする。

10 木材保護塗料塗り(WP) [7.13.2][表7.13.1]

・A種　※B種

JASS 18 M-307

11 ポリウレタン樹脂塗装(2-UC)

フローリングブロック面の塗り種別　・A種　※B種

8 耐震改修工事

『耐震補強工事構造特記仕様書』による。

9 環境配慮(グリーン)改修工事

①一般事項 [9.1.3]

アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法

・封じ込め処理　・囲い込み処理除去工法　(・)除去工法

アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事　(・)図示

分析によるアスベスト(ｱｸﾁﾉﾗｲﾄ、ｱﾓｻｲﾄ、ｱﾝｿﾌｨﾗｲﾄ、ｸﾘｿﾀｲﾙ、ｸﾛｼﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾚﾓﾗｲﾄ)含有の調査

・行う(下表による)　(・)行わない

材料名	調査方法	1材料あたりの試料数
	・JIS A 1481による	※3

2 アスベスト含有吹付材除去工事

吹付アスベストの施工数量調査を行う。

アスベスト粉塵濃度測定　※行う

測定時期及び場所等については下表による。

測定時期	測定場所	測定点数(各処理作業室毎)	備　考
処理作業前	処理作業室内	2又は3点	
	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通
処理作業中	処理作業室内	2点	
	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認
	負圧・除塵装置の排出口(処理作業室外の場合) 施工区画周辺又は敷地境界	1点 4方向各1点	除塵装置の性能確認
処理作業後	処理作業室内	2点	
(隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通

(注)処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。

処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。

建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。

除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。

アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)

石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。

廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)

アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。

関係官公署に届出を行う。　・大気汚染防止法に関する届出　松戸市環境保全課

・労働安全衛生法に関する届出　柏労働基準監督署

本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

3 アスベスト含有吹付材囲い込み工事

軽鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ(核スタッド工法 65形@300)とし、既存天井面には触れない。

関係官公署に届出を行う。　・大気汚染防止法に関する届出　松戸市環境保全課

・労働安全衛生法に関する届出　柏労働基準監督署

養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。

アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。

―内部測定点内訳―

〈1階：　点、2階：　点、3階：　点〉

詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。

4 アスベスト成形板の処理工事

処理を行うアスベスト成形板の仕様等　・仕上表による [9.1.5]

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲
石綿板	4	便所
人研ブロック	30	便所

施工調査

アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。

調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。

(1)アスベスト成形板使用部位の確認。

(2)アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。

(3)アスベスト成形板使用数量の確認。

⑤アスベスト含有仕上塗材の除去

アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験的一部除去作業の方法

(1)試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は□500mm程度とする。

(2)試験的除去は剥離剤併用手工具ケレン工法にて実施。

アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法　(・)部分除去　・全面除去

アスベスト含有仕上塗材部分除去作業

(1)部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。

(2)建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。

なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。

(集塵機付きﾃﾞｨｽｸｻﾝﾀﾞｰ工法同等とすること)

(3)除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。

(4)アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)

石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。

(5)廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)

(6)アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。

(7)関係官公署に届出を行う。

(大気汚染防止法→松戸市環境保全課 労働安全衛生法→柏労働基準監督署)

(8)本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

6 外断熱改修工事

断熱材の種類 [9.2.2]

材料名		厚さ(mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム	
・硬質ウレタンフォーム	・フェノールフォーム	
・ロックウール	・グラスウール	

外装材の種類 [9.2.2]

防火性能

既存外壁仕上材の撤去　・有り　・無し [9.2.3]

下地面の清掃及び下地調整　※断熱材製造所の指定する仕様

通気層　・有り(　mm)　・なし [9.2.4]

試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。

特記無き事項は、製造所の仕様による。

7 ガラス改修工事 [5.14.2]

複層ガラスの厚さ　建具表による

断熱性・日射遮蔽性による区分　※U3-1　・U3-2

8 屋上緑化改修工事 [9.4.2]

特記事項は図示

9 透水性アスファルト舗装改修工事

路盤材料 [9.5.4][表9.5.3]

※再生クラッシャラン(RC-40)

・クラッシャラン(C-40)又はクラッシャランスラグ(CS-40)

透水性の高いものを使用する。

遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.5.3]

・遮断層　※川砂、海砂又は良質な山砂　・

厚さは図示

・凍上抑制層　※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　切込み砂利　・砂

厚さは図示

盛土に用いる材料 [9.5.3][表9.5.1]

・A種　※B種　・C種　・D種

路床安定処理

※添加材料による安定処理 [9.5.3][表9.5.2]

種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントB種

・生石灰(　)　・消石灰(　)

添加量　kg/㎥(目標CBR ※5以上　・

路床土の支持力比試験　※行う(※乱した土　・乱さない土)

路床締固め度の試験　※行う

アスファルト混合物 [9.5.6][表9.5.5]

車道部　※改質アスファルトⅠ型

歩道部　※ストレートアスファルト

透水性舗装 [9.5.9]

アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う

10 その他

1 舗装工事

歩行者用通路コンクリート版の厚さ　※70mm　・ (22.5.2)(表22.5.1)

部　位	設計基準強度(N/mm)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40 砕石の場合20又は25
歩行者用通路	18	8	砂利の場合25 砕石の場合20

砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1)

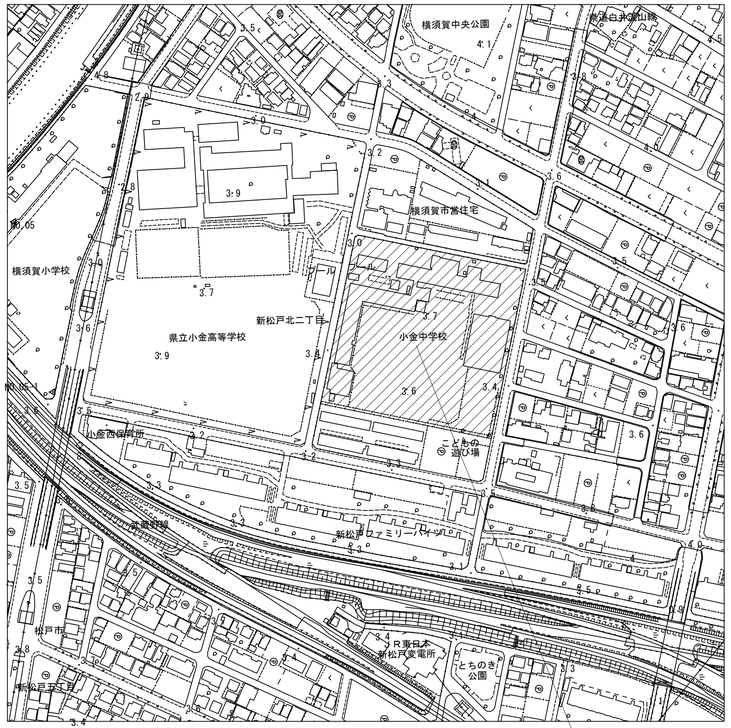
種別　・A種　・B種

2 植栽工事

植樹 (22.3.2)

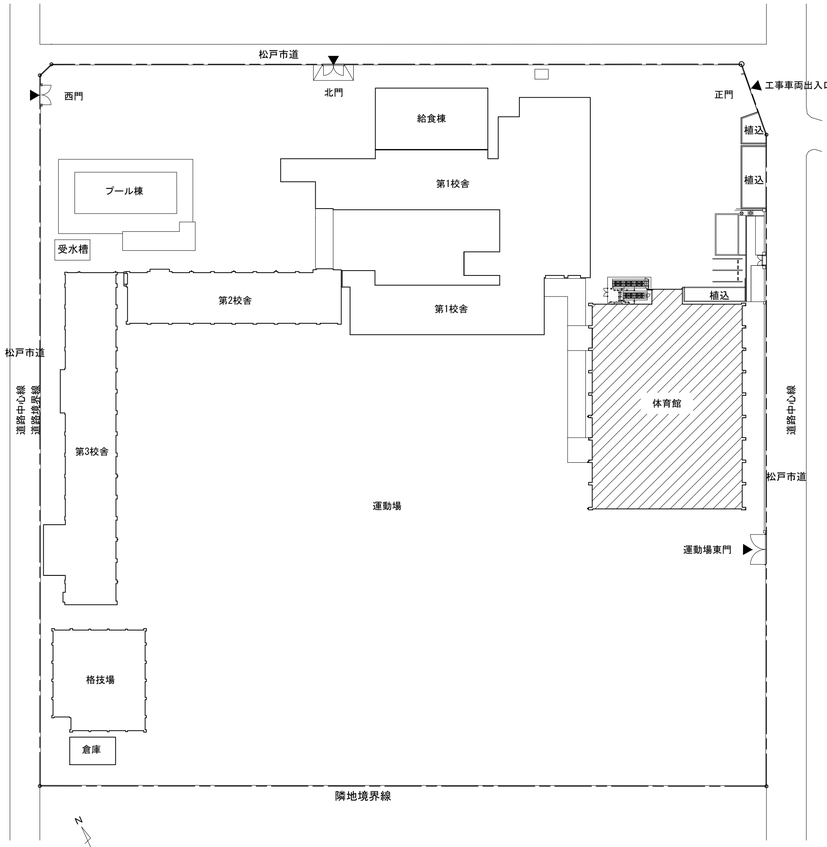
樹　種	寸　法	数　量	備　考

工事名	松戸市立小金中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修工事特記仕様書-4		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	No Scale	図面番号	A-04
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



N

案内図　1：2500



N

配置図　1：600

凡例

工事範囲を示す

外部仕上表

部位		仕上	備考
外壁	改修前	1F:コンクリート打放し吹付タイル複層塗材E(アスベスト含有) 2F:カラー鋼板スパンドレル張（断熱材裏打ち）	一部撤去 既存のまま
	改修後	1F:下地補修の上、複層塗材E 2F:-	一部塗替え
出入口	改修前	モルタル金ゴテ	一部撤去
	改修後	モルタル金ゴテ	一部新設

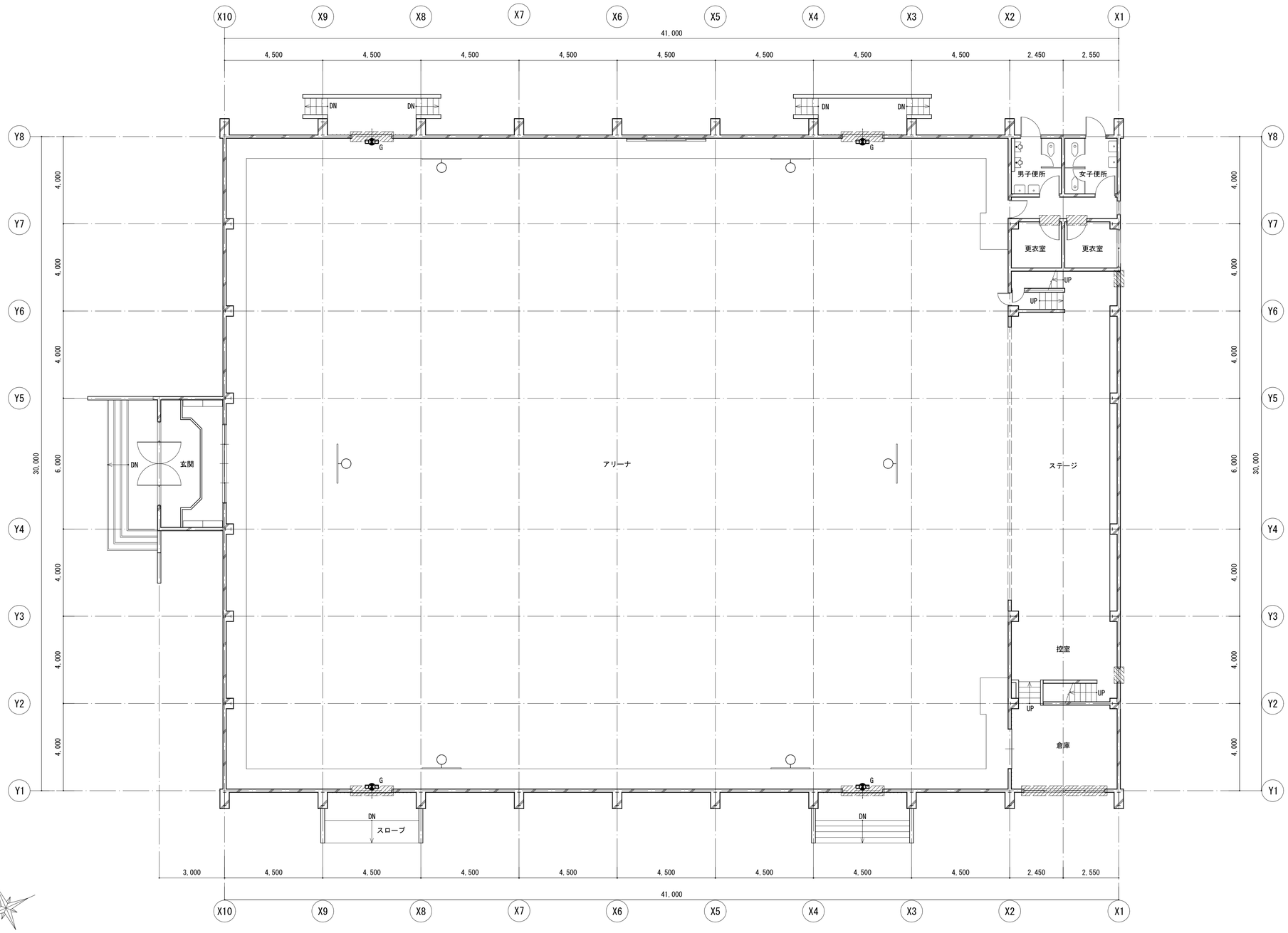
凡例、特記事項

	記号	塗料名		材料	認定番号		
塗料凡例	OP	油性調合ペイント	内装材認定			特記事項	内装仕上材、屋根裏木毛セメント板は、全てF☆☆☆☆とする
	OSCL	オイルステイン+クリヤラッカー塗り					塗装材（塗料）は、全てF☆☆☆☆とする
	VP	塩化ビニールペイント					建築材料は、全てアスベスト含有材でない材料を使用とする
	DP	鉄鋼面耐候性塗料塗り					
	SOP	合成樹脂調合ペイント					
	複層塗材E	合成樹脂エマルジョン系複層仕上材					

内部仕上表

階	室 名	床		床高さ	改修内容範囲	巾 木		床高さ	改修内容範囲	壁(柱・梁型)		改修内容範囲	天 井		天井高さ	改修内容範囲	廻縁	備 考
1	アリーナ	改修前	大型積層フローリングかば材塗装品 t=15 隠特殊張り EXPゴム		既存のまま 一部撤去	改修前	ラワン OP	＋150	一部撤去	改修前	ラワン竪羽目板 t=15 OSCL ※撤去範囲は羽目板の目地に合わせる	一部撤去	改修前	カラー木毛板t=25 鉄骨表し部 OP ケレン水洗い錆止め1回OP2回		既存のまま	ラワンOSCL	
		改修後	- EXPゴムt=20		一部新設	改修後	米栂集成材t=20 SOP	＋150	一部新設	改修後	杉竪羽目板 t=15 OS ※新設範囲は羽目板の目地に合わせる	一部新設	改修後	-			米栂集成材 50x30 OS	
2	ギャラリー	改修前	樹脂系塗床、ポリウレタンゆず肌仕上 モルタル金ゴテ下地の上、長尺塩ビシートt=25 長尺シート：アスベスト含有		既存のまま	改修前	モルタル金ゴテ VP	＋100	既存のまま	改修前	木胴縁下地有孔シナ合板t=5.5 OP 鉄骨部：OP、ケレン錆止め1回OP2回	既存のまま	改修前	ギャラリー部：アクリルゴム素塗装 下地処理の上吹付タイルトップのみ ローラー塗装（アスベスト）		既存のまま		
		改修後	-			改修後	-			改修後	-		改修後	-				

工事名	松戸市立小金中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図・仕上表		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:2500 1:600	図面番号	A-05
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



1. 特記なき記号は下記による。

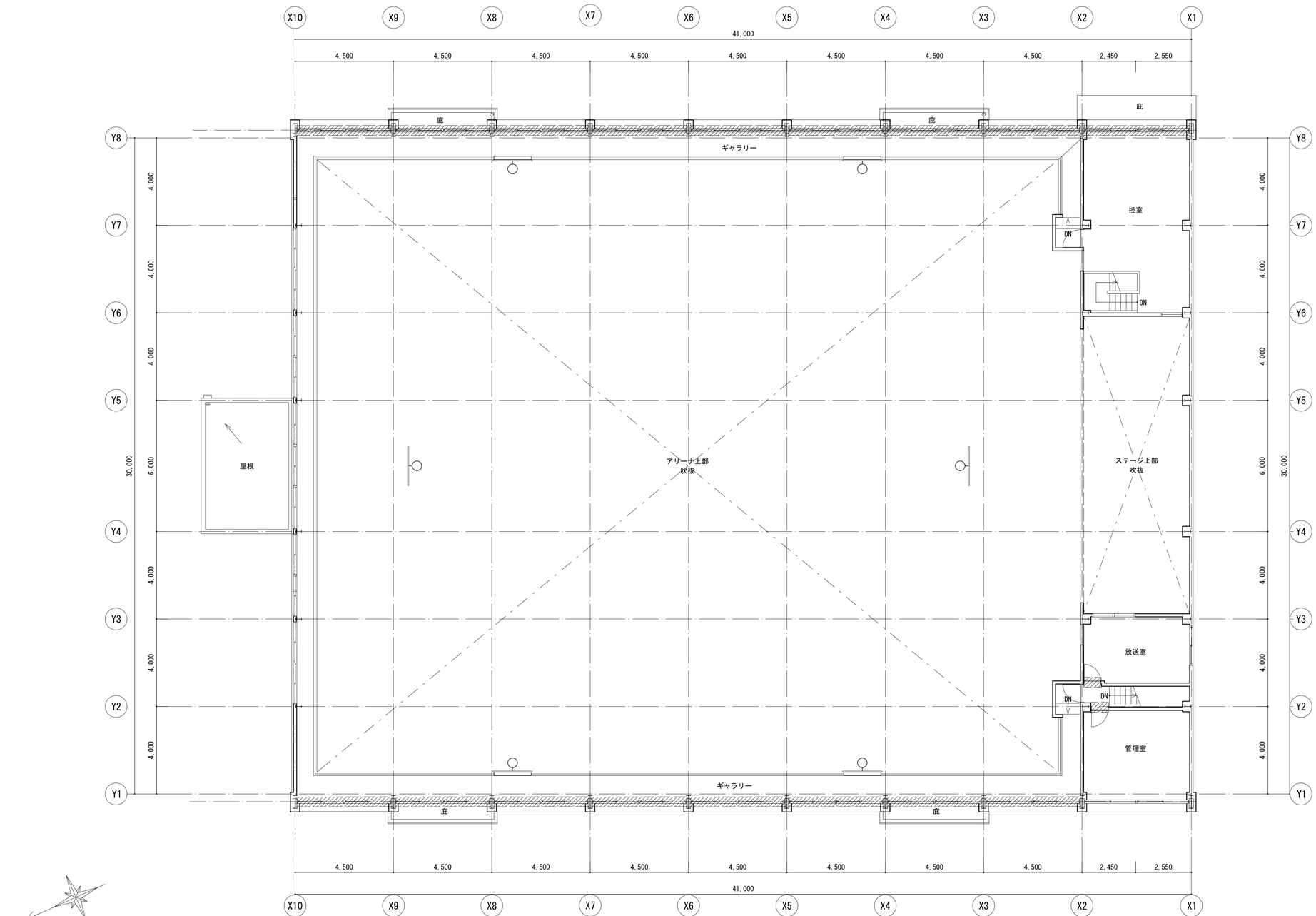
G　避難口誘導灯　C級　ｶﾞｰﾄﾞ付　（取外し・再取付建築工事）

1階平面図　S=1:100

凡例

改修範囲を示す

工事名	松戸市立小金中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	1階平面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1：100	図面番号	A-06
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



2階平面図　S=1:100

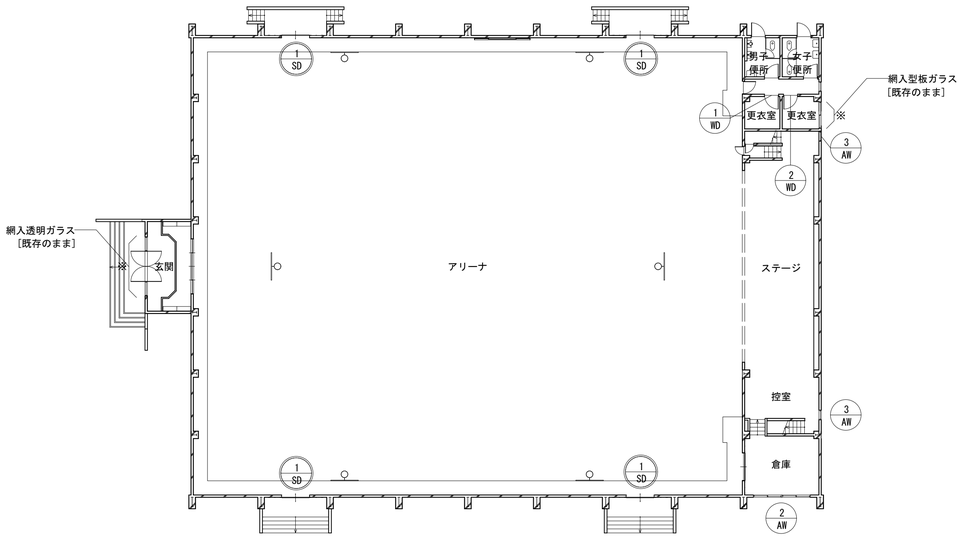
凡例

改修範囲を示す

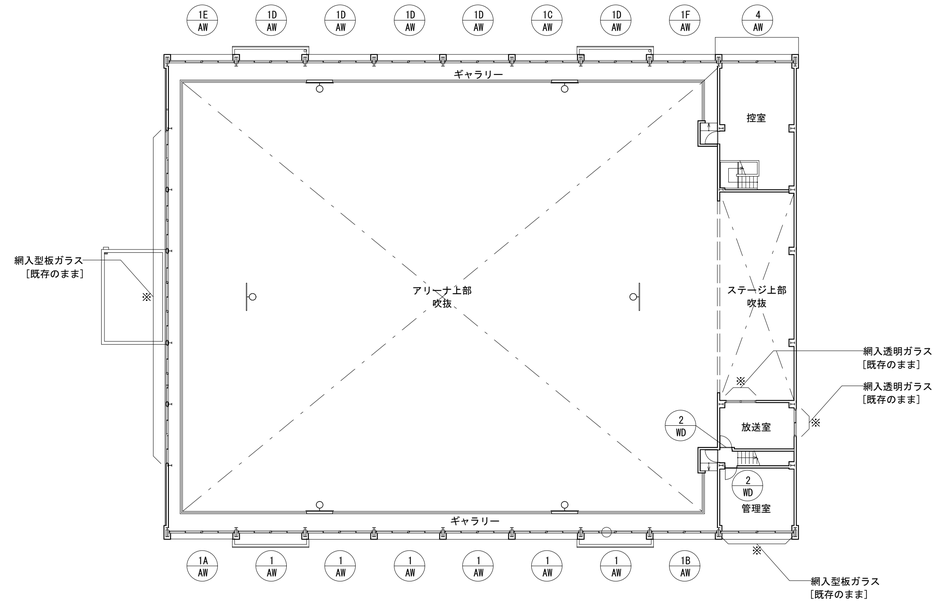
工事名	松戸市立小金中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	2階平面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1：100	図面番号	A-07
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

改修前

※印：当該部分のガラスについては、以下の２条件に該当する場合、フィルムは施工せず、既存のままとする。
①外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓、かつ、北側に面する窓
または、外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓以外の窓
②ガラス種類が以下のいずれか
（透明強化ガラス、型板強化ガラス、透明網入ガラス、型板網入透明ガラス）



1階キープラン　S=1:200

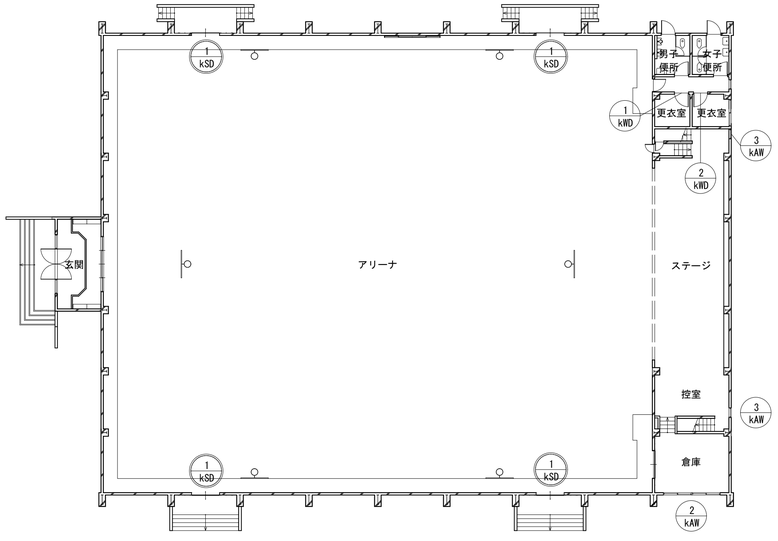


2階キープラン　S=1:200

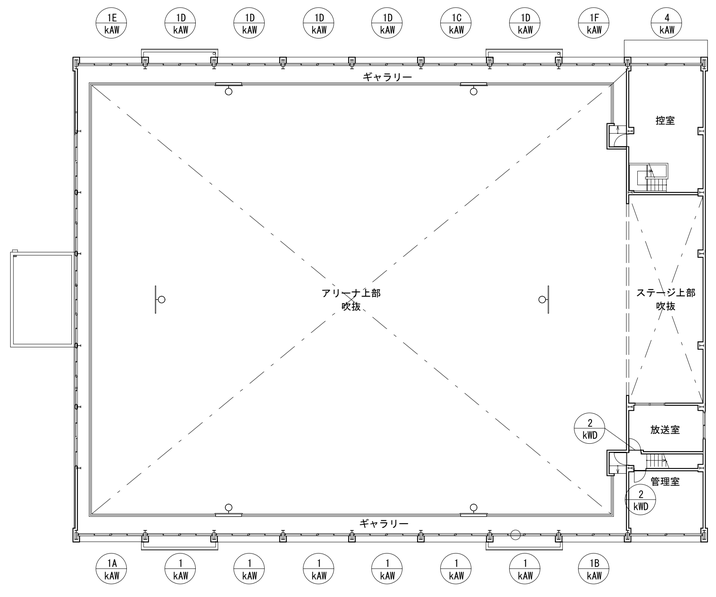
撤去建具を示す

既存建具を示す

改修後



1階キープラン　S=1:200



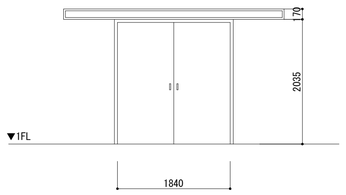
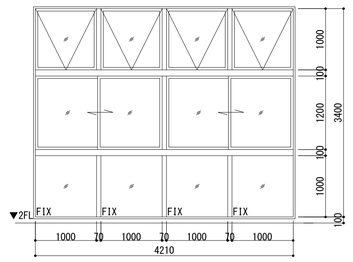
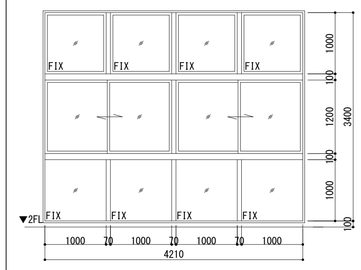
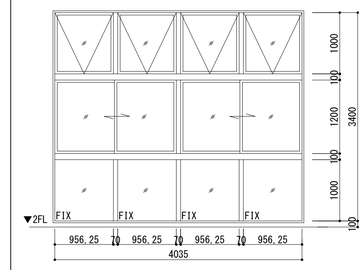
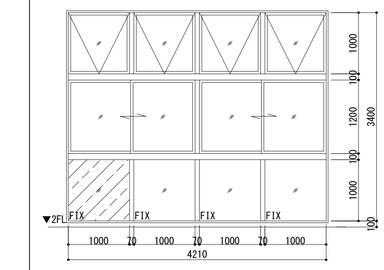
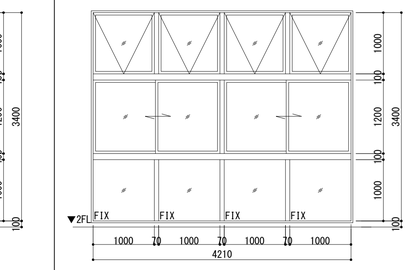
2階キープラン　S=1:200

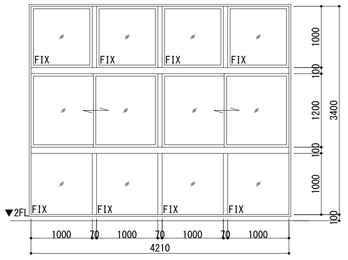
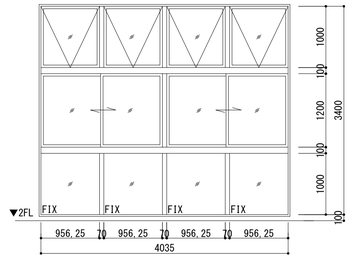
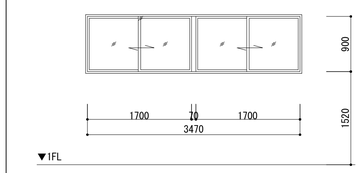
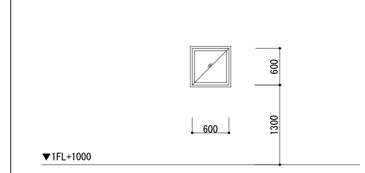
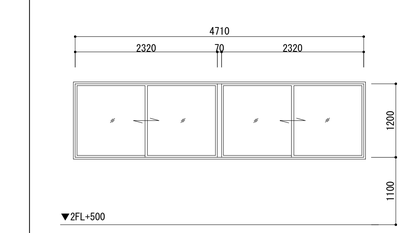
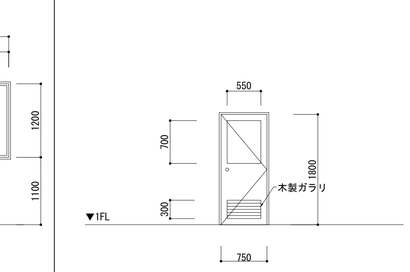
新設建具を示す

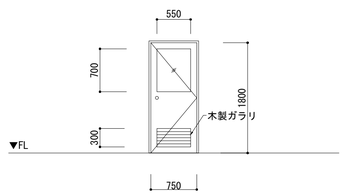
既存建具を示す

工事名	松戸市立小金中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修前・改修後　建具キープラン		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:200	図面番号	A-08
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

改修前

符号・数量	1 SD アリーナ　数量 4	1 AW ギャラリー　数量 6	1A AW ギャラリー　数量 1	1B AW ギャラリー　数量 1	1C AW ギャラリー　数量 1	1D AW ギャラリー　数量 5
姿 図						
形 式	鋼製両引きハンガードア	内倒排煙窓付連窓引違い窓　下部FIX窓	連窓引違い窓（ランマ及び下部FIX）	内倒排煙窓付連窓引違い窓　下部FIX窓	内倒排煙窓付連窓引違い窓　下部FIX窓	内倒排煙窓付連窓引違い窓　下部FIX窓
材質・仕上	ドア見込40　スチール（OP）	見込100　アルミ	見込100　アルミ	見込100　アルミ	見込100　アルミ	見込100　アルミ
硝 子	-	強化透明ガラス　t=4.0	強化透明ガラス　t=4.0	強化透明ガラス　t=4.0	網入型板ガラス　t=6.8	網入型板ガラス　t=6.8
付属金物	ステンレスガイドレール、シリンダー錠、取手	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
撤去内容	撤去（三方枠、容摺、レール共）（部分詳細参照）				網入型板ガラスt=6.8[撤去]	

符号・数量	1E AW ギャラリー　数量 1	1F AW ギャラリー　数量 1	2 AW 倉庫　数量 1	3 AW 控室、ステージ　数量 2	4 AW 予備室　数量 1	1 WD 更衣室　数量 1
姿 図						
形 式	連窓引違い窓（ランマ及び下部FIX）	内倒排煙窓付連窓引違い窓　下部FIX窓	連窓引違い窓	スベリ出し窓	連窓引違い窓	片開きドア
材質・仕上	見込100　アルミ	見込100　アルミ	見込70　アルミ	見込40　アルミ	見込70　アルミ	ドア見込40　シナベニア合板　t=6.0 OP
硝 子	網入型板ガラス　t=6.8	網入型板ガラス　t=6.8	強化透明ガラス　t=6.8	強化透明ガラス　t=6.8	網入型板ガラス　t=6.8	ガラスなし
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	丁番、戸当り、ドアチェック、モノロック
撤去内容						

符号・数量	2 WD 更衣室・放送室・管理室　数量 3
姿 図	
形 式	片開きドア
材質・仕上	ドア見込40　シナベニア合板　t=6.0 OP
硝 子	型板ガラス t=4
付属金物	丁番、戸当り、ドアチェック、モノロック
撤去内容	

凡　例

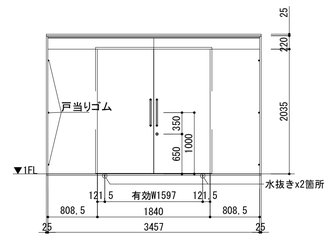
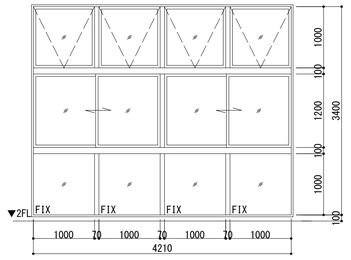
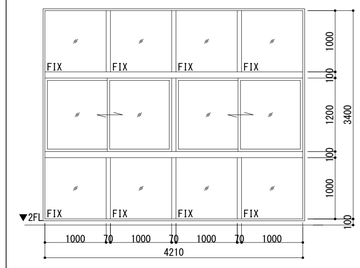
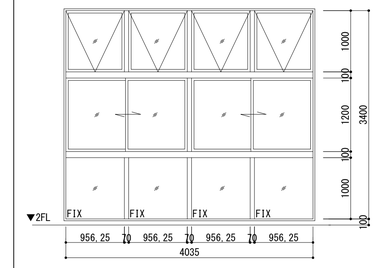
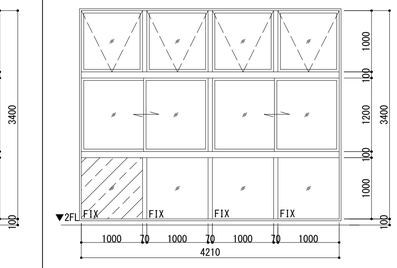
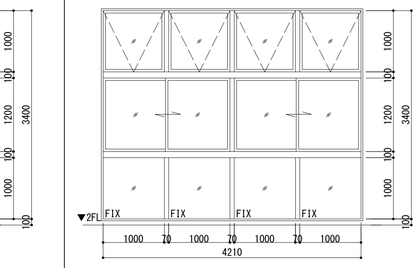
ガラス撤去範囲を示す（ひび割れガラス）

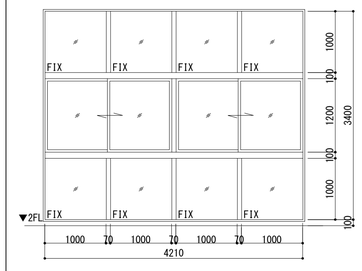
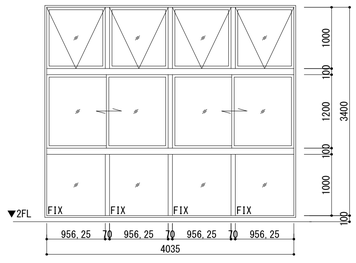
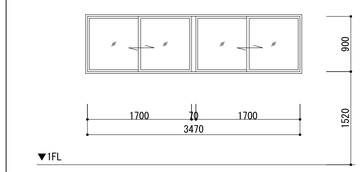
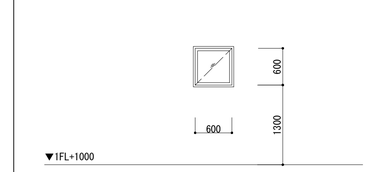
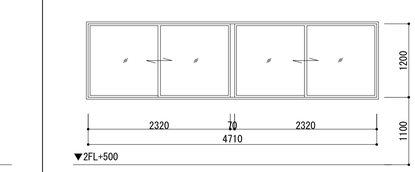
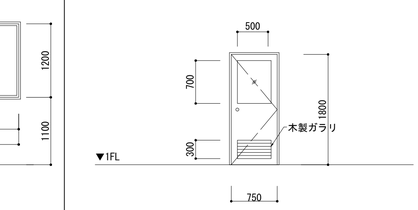
撤去建具を示す

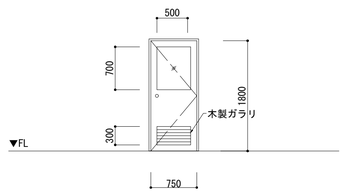
既存建具を示す

工事名	松戸市立小金中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修前 建具表		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:50	図面番号	A-09
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

改修後

符号・数量	1 kSD アリーナ 数量 4	1 kAW ギャラリー 数量 6	1A kAW ギャラリー 数量 1	1B kAW ギャラリー 数量 1	1C kAW ギャラリー 数量 1	1D kAW ギャラリー 数量 5
姿 図						
形 式	鋼製両引きハンガードア	内倒排煙窓付連窓引違い窓 下部FIX窓	連窓引違い窓（ランマ及び下部FIX）	内倒排煙窓付連窓引違い窓 下部FIX窓	内倒排煙窓付連窓引違い窓 下部FIX窓	内倒排煙窓付連窓引違い窓 下部FIX窓
材質・仕上	DP 枠見込255	見込100 アルミ	見込100 アルミ	見込100 アルミ	見込100 アルミ	見込100 アルミ
硝 子		強化透明ガラス t=4.0	強化透明ガラス t=4.0	強化透明ガラス t=4.0	網入型板ガラス t=6.8	網入型板ガラス t=6.8
付属金物	ドアハンドル、引戸錠、ガイドローラー、駆動装置、戸当りゴム、付属金物一式 スチールフラッシュ戸、鋼材t=1.6、枠廻りステンレスt=1.5	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
改修内容	新設（部分詳細参照）	強化透明ガラス①フィルム張[新設] （内貼）	強化透明ガラス①フィルム張[新設] （内貼）	強化透明ガラス①フィルム張[新設] （内貼）	網入型板ガラスt=6.8[新設]、網入型板ガラス④フィルム張[新設]（外貼）	網入型板ガラス④フィルム張[新設]（外貼）

符号・数量	1E kAW ギャラリー 数量 1	1F kAW ギャラリー 数量 1	2 kAW 倉庫 数量 1	3 kAW 控室、ステージ 数量 2	4 kAW 予備室 数量 1	1 kWD 更衣室 数量 1
姿 図						
形 式	連窓引違い窓（ランマ及び下部FIX）	内倒排煙窓付連窓引違い窓 下部FIX窓	連窓引違い窓	スベリ出し窓	連窓引違い窓	片開きドア
材質・仕上	見込100 アルミ	見込100 アルミ	見込70 アルミ	見込40 アルミ	見込70 アルミ	ドア見込40 シナベニア合板 t=6.0 OP
硝 子	網入型板ガラス t=6.8	網入型板ガラス t=6.8	強化透明ガラス t=6.8	強化透明ガラス t=6.8	網入型板ガラス t=6.8	ガラス無し
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	丁番、戸当り、ドアチェック、モノロック
改修内容	網入型板ガラス④フィルム張[新設]（外貼）	網入型板ガラス④フィルム張[新設]（外貼）	強化透明ガラス①フィルム張[新設] （内貼）	強化透明ガラス①フィルム張[新設] （内貼）	網入型板ガラス④フィルム張[新設] （外貼）	型板ガラス⑥フィルム張[新設] （外貼）

符号・数量	2 kWD 更衣室・放送室・管理室 数量 3
姿 図	
形 式	片開きドア
材質・仕上	ドア見込40 シナベニア合板 t=6.0 OP
硝 子	型板ガラス t=4
付属金物	丁番、戸当り、ドアチェック、モノロック
改修内容	型板ガラス⑥フィルム張[新設] （外貼）

■遮熱・飛散防止フィルム貼り仕様一覧表（外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓）

既存硝子＼方角		東・西・南	北
透明硝子	内貼	① 遮熱フィルム 3M NANO70S	⑤ 飛散防止フィルム ３M SH2CLAR
型硝子	外貼	② 遮熱フィルム 3M NANO70SX	⑥ 飛散防止フィルム ３M SH2CLARX
● 強化透明硝子	内貼	① 遮熱フィルム 3M NANO70S	既存のまま
強化型硝子	外貼	② 遮熱フィルム 3M NANO70SX	既存のまま
網入り透明硝子	内貼	③ 遮熱フィルム 3M NANO90S	既存のまま
● 網入り型硝子	外貼	④ 遮熱フィルム 3M NANOMACRX	既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは3Mジャパン(株)同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
ただし、**北側の強化硝子・網入り硝子**に飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま
・硝子交換:既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
:既存の網入り硝子が割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

■飛散フィルム貼り仕様一覧表
（外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓**以外の窓**・・・放送室、器具庫、控室、便所など）

既存硝子＼		全方角・内部
透明硝子	内貼	⑤ 飛散防止フィルム ３M SH2CLAR
● 型硝子	外貼	⑥ 飛散防止フィルム ３M SH2CLARX
強化透明硝子	—	既存のまま
強化型硝子	—	既存のまま
網入り透明硝子	—	既存のまま
網入り型硝子	—	既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは3Mジャパン(株)同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
ただし、**強化硝子・網入り硝子**に飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま
・硝子交換:既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
:既存の網入り硝子が割れている場合は同一硝子に交換する。

凡 例

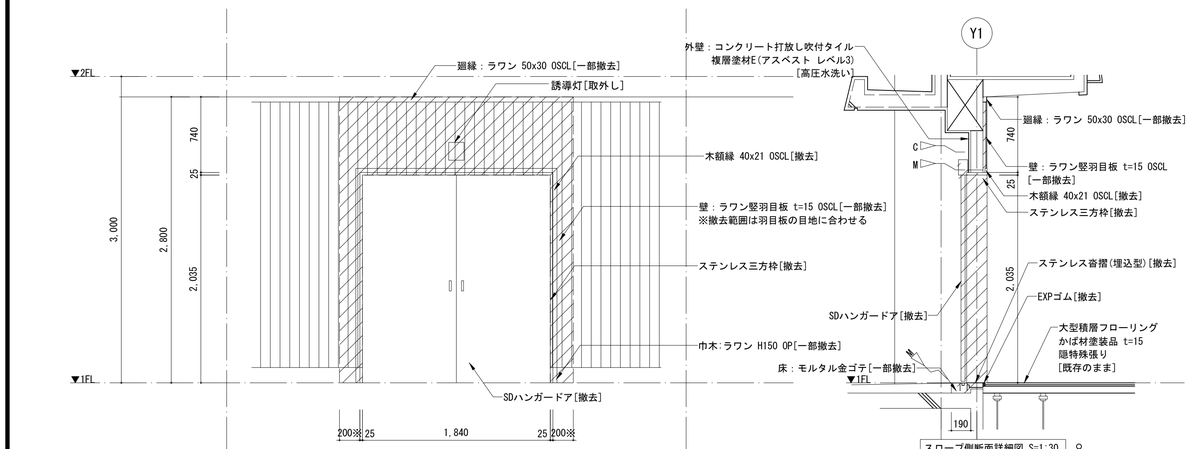
ガラス新設範囲を示す（網入型板ガラスt=6.8）
※ガラス留め、シーリング打替え、セッティングブロック等、副資材を含む

新設建具を示す

既存建具を示す

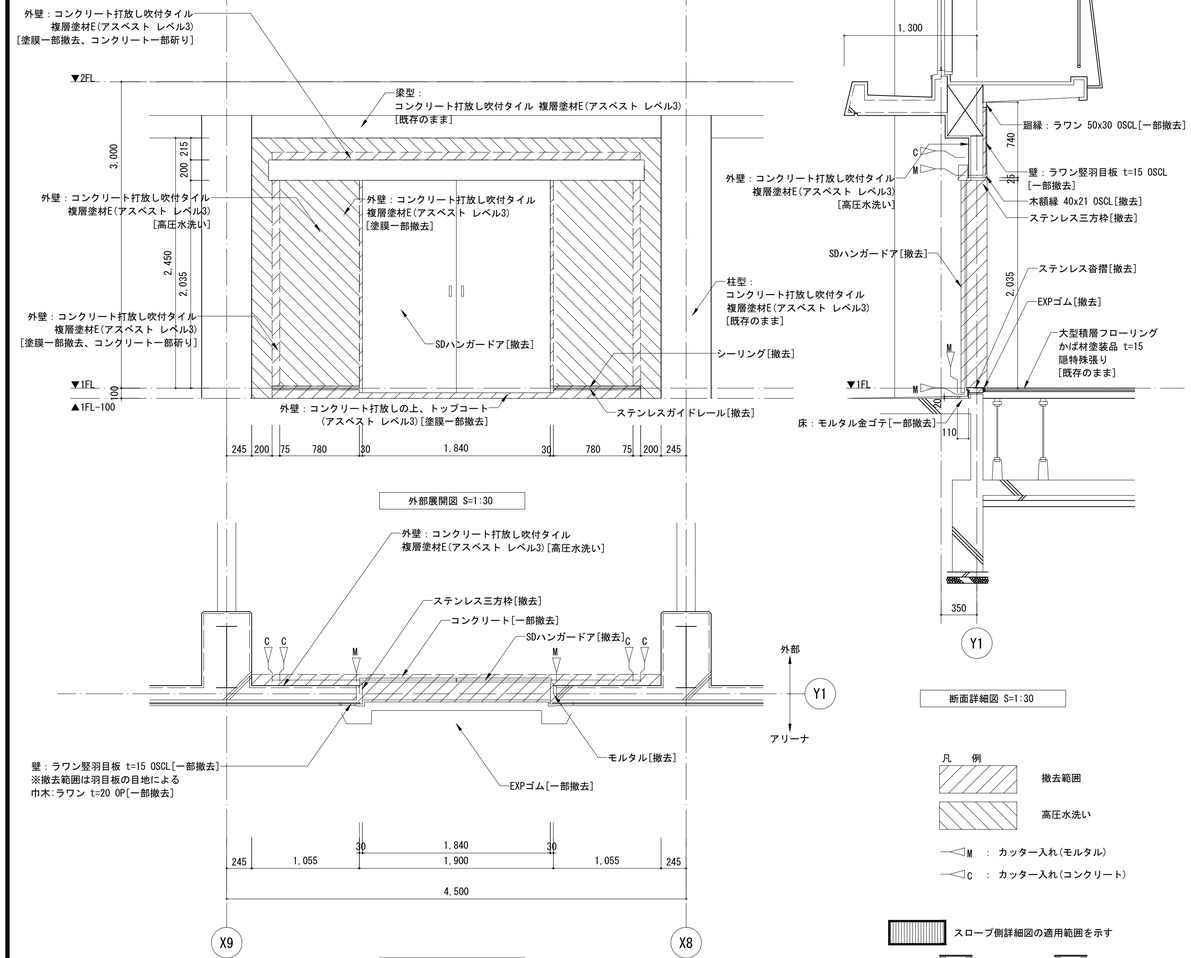
工事名	松戸市立小金中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修後 建具表		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:50	図面番号	A-10
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前



内部展開図 S=1:30

スロープ側断面詳細図 S=1:30



外部展開図 S=1:30

断面詳細図 S=1:30

平面詳細図 S=1:30

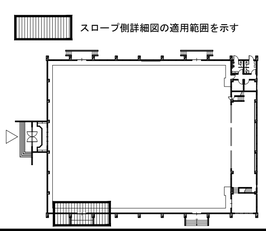
凡　例

撤去範囲

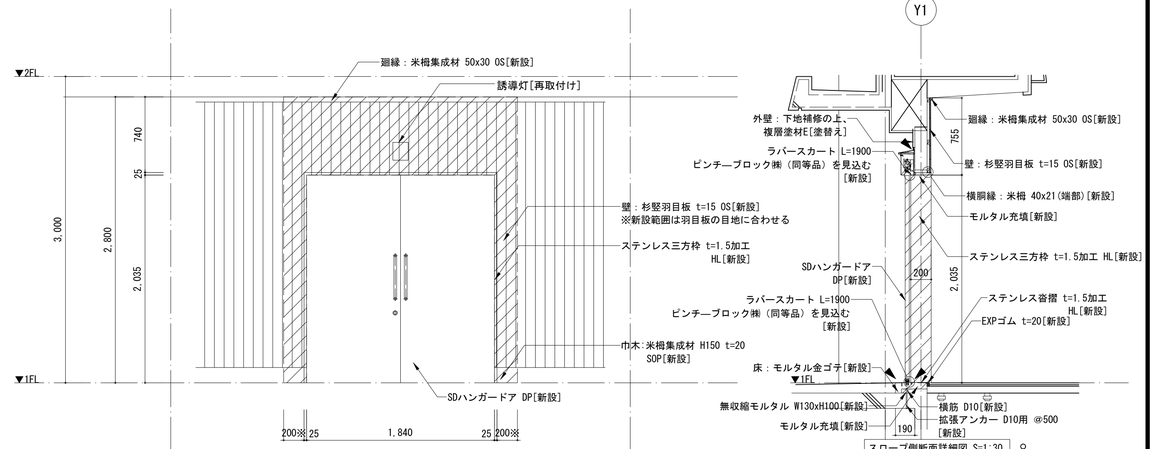
高圧水洗い

M　：　カッター入れ(モルタル)

C　：　カッター入れ(コンクリート)

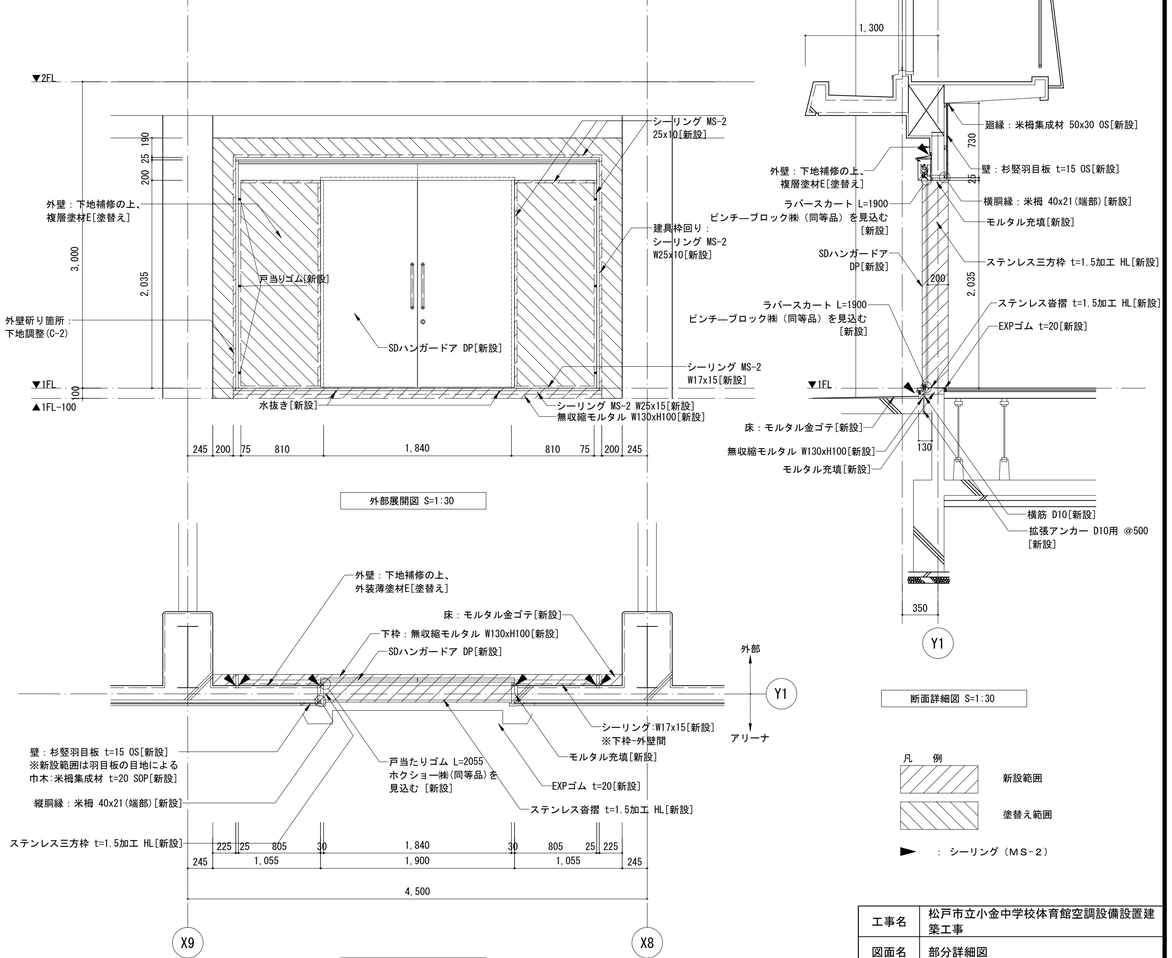


改修後



内部展開図 S=1:30

スロープ側断面詳細図 S=1:30



外部展開図 S=1:30

平面詳細図 S=1:30

断面詳細図 S=1:30

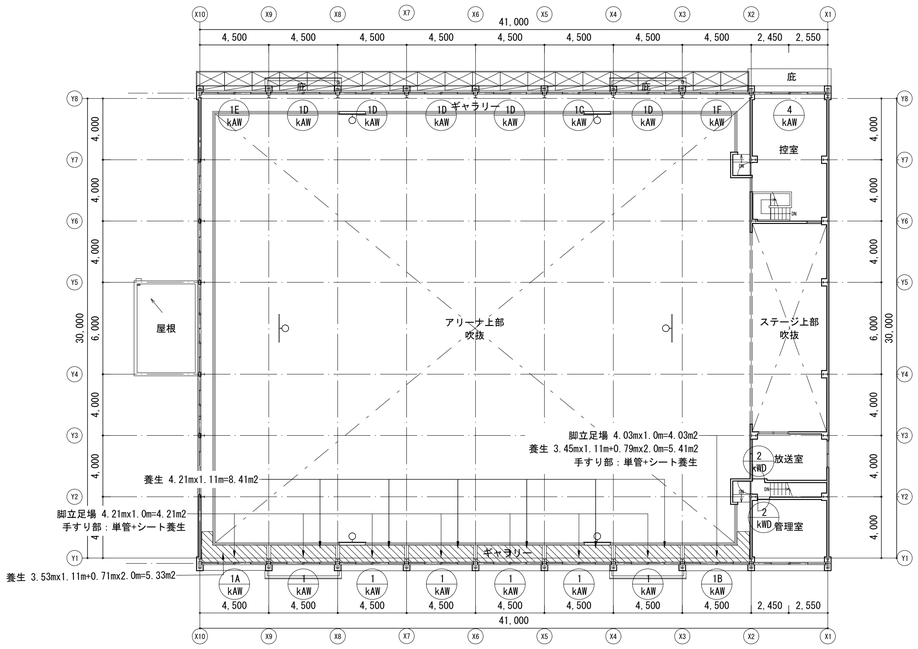
凡　例

新設範囲

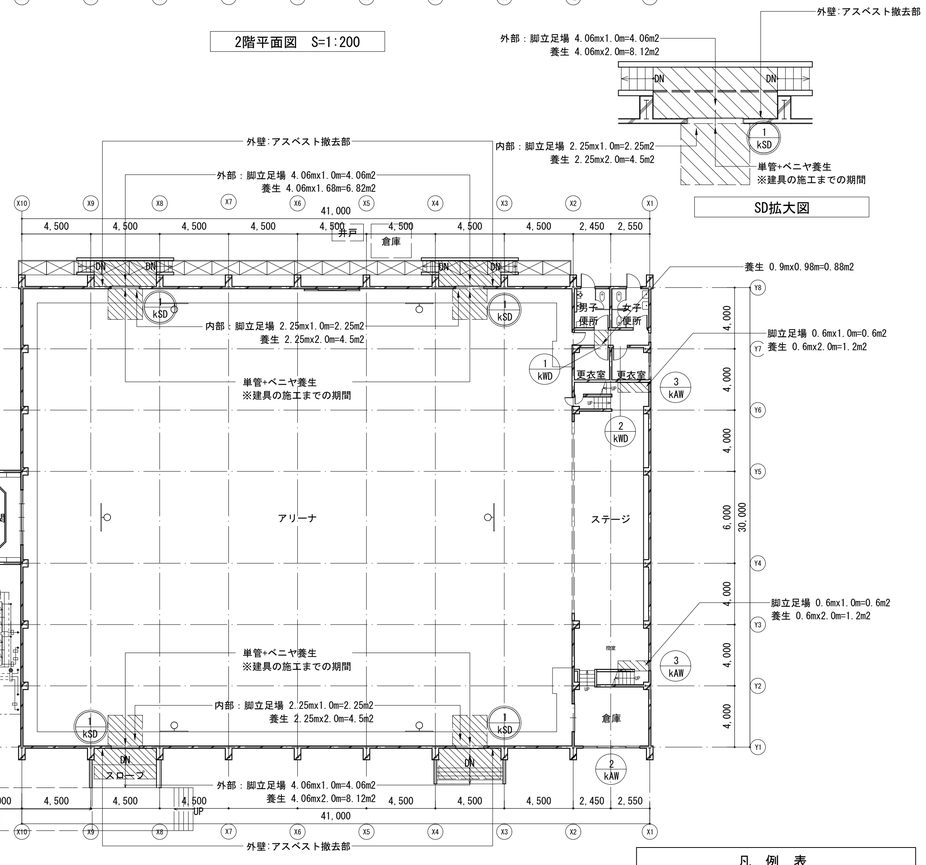
塗替え範囲

►　：　シーリング（MS-2）

工事名	松戸市立小金中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	部分詳細図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	1：30	図面番号	A-11
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



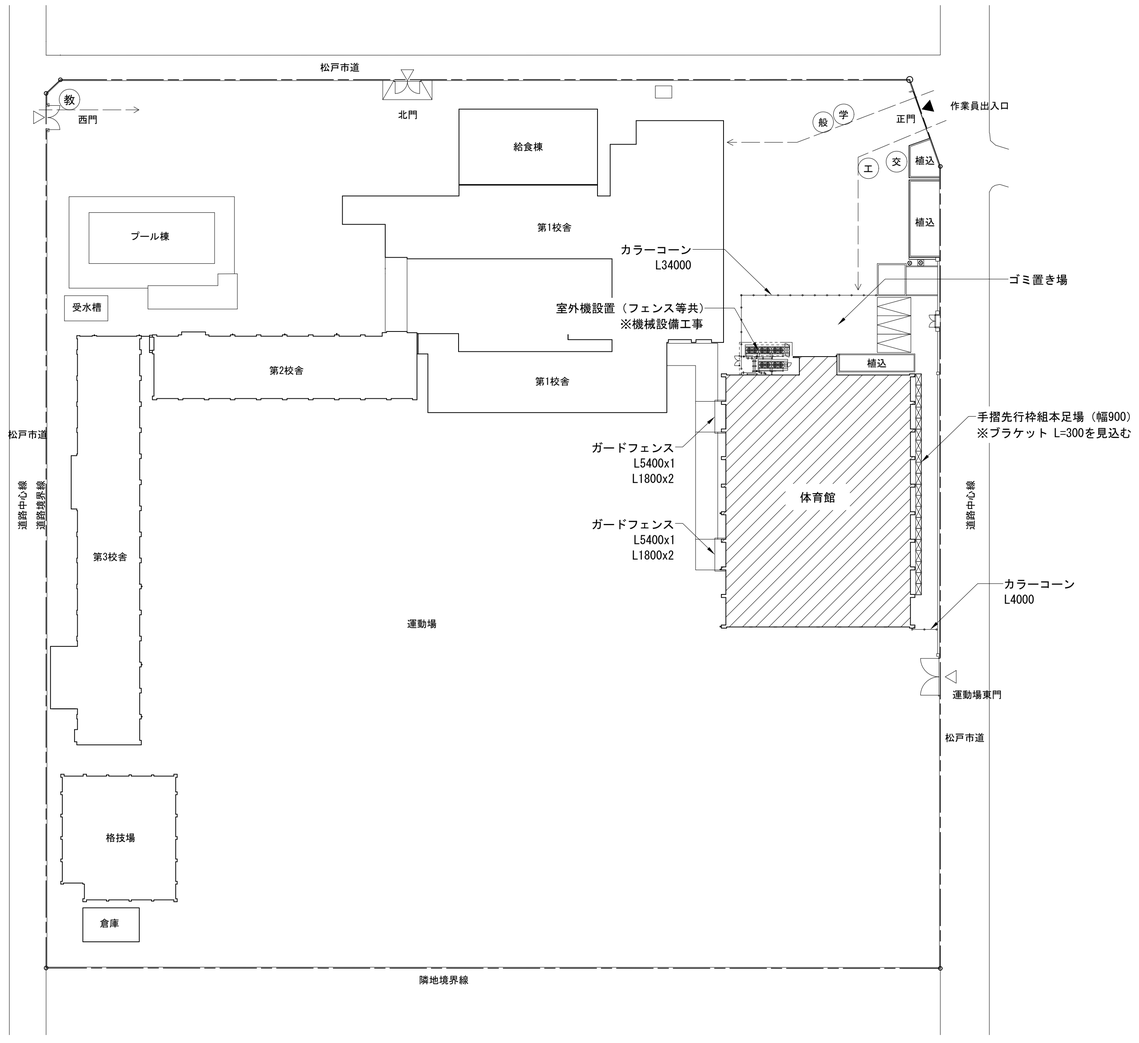
2階平面図　S=1:200



1階平面図　S=1:200

凡　例　表	
	養生・整理清掃（個別）
	手摺先行枠組本足場（幅900） ※特記なき限り、足場高さH6000 養生：ﾈｯﾄ状養生ｼｰﾄ(防災Ⅱ類) 金網式養生枠 H2000
	ブラケット足場(幅300)

SD拡大図



配置図　S=1:500

凡　例　表	
	手摺先行枠組本足場（幅900） ※特記なき限り、足場高さH6000 養生：ﾈｯﾄ状養生ｼｰﾄ(防災Ⅱ類) 金網式養生枠 H2000
▼	作業員出入口
交	交通誘導員
学	生徒・学校関係者を示す
教	教員車両を示す
般	一般車両を示す
工	工事車両を示す
	カラーコーン・バー
	ガードフェンス　H=1800

＜全体仮設計画＞

1.学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い(カラーコーン・バー)を設置する
2.足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
3.工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900x600程度を公衆の見やすい場所に設置
4.工事に使用する重機は、低振動タイプのものとし低速走行にて振動を抑えるものとする
5.工事に使用する揚重機(クレーン車等)は、安全上十分なものを使用すること
6.登下校時の車両の出入りはしないこと

＜特記事項＞

・本図面は参考図として工事を行う際に、必要な仮設を検討し、請負者負担で設置すること。
・仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。

工事名	松戸市立小金中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計画図（案）		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	1:200 1:500	図面番号	A-12
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

松戸市立栗ケ沢中学校体育館空調設備設置建築工事

図面リスト	
意匠図	
図面番号	図面名称
A-00	表紙・図面リスト
A-01	改修工事特記仕様書－１
A-02	改修工事特記仕様書－２
A-03	改修工事特記仕様書－３
A-04	改修工事特記仕様書－４
A-05	配置図・案内図・仕上表
A-06	１階平面図
A-07	２階平面図
A-08	改修前・改修後 建具表キープラン
A-09	改修前・改修後 建具表
A-10	部分詳細図
A-11	仮設計画図（案）

工事名	松戸市立栗ケ沢中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	No Scale	図面番号	A-00
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

松戸市立栗ケ沢中学校体育館空調設備設置建築工事

令和　７年　２月

仕　様　書

Ⅰ　工事概要

1. 工事場所　松戸市小金原九丁目２５番地

2. 敷地面積　26,446㎡

3. 改修建物概要
用　　途：中学校（体育館）
構　　造：S造
階　　数：地上２階
延べ面積：1,208㎡（アリーナ）

4. 工事内容

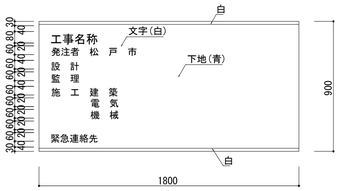
工事種目	工事範囲
2　仮設工事	足場設置・資材置場・ガードフェンス
3　防水改修工事	シーリング
4　外壁改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴う仕上材塗替
5　建具改修工事	SDハンガードア 撤去・新設、フィルム張
6　内装改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴う内装工事
7　塗装改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴う内壁塗装、SDハンガードア塗装
9　環境配慮改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴うアスベスト含有外壁仕上げ材部分除去
10　その他	－

Ⅱ建築工事仕様

1. 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様に記載されれいない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「改修標仕」という。）及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下「標仕」という）による。

2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、・印の付いたものを適用する。
・印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
・印と※印の付いた場合は共に適用する。
(3) 特記事項に記載の［　　］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(5) G 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。

松戸市建築工事現場表示板仕様



(1)材料
1) 耐水合板（ラワン厚み12mm SOP仕上げ）
2) 枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。

(2)注意事項
1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	①運用基準等	・松戸市建築工事に関する提出書類 ・工事写真の撮り方 建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ・松戸市建築工事現場表示板仕様
	②工事実績情報サービス（CORINS）への登録	※ 適用する　［1.1.4］
	③施工計画書	・工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。　［1.2.2］ ・施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。 ・施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。 ・施工図等の内容を変更する必要が生じた場合は監督職員に報告する。
	4 電気保安技術者	・ 工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。　［1.3.3］
	⑤施工条件	※　現場説明書による　［1.3.5］
	⑥発生材の処理等	※ 現場説明書による　・場外搬出適正処理　［1.3.12］
	⑦材料の品質等	［1.4.2］ 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 (3)安定的な供給が可能であること。 (4)法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。 (5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（(社)公共建築協会 他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
	8 化学物質を放散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1）から5）を満たすものとする。 1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 2)保温材、衝撃材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 3)接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 5)1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFoo規格品
	9 特別な材料の工法	様仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	⑩ 技能士	［1.6.2］

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	・鉄筋施工（鉄筋組立作業）
コンクリート工事	・型枠施工
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築　・ALCパネル施工
防水工事	・アスファルト防水工事作業　・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塗膜防水工事作業　・シーリング防水工事作業
石工事	・石材施工（石張り施工）
タイル工事	・タイル張り
木工事	・建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金（内外装板金作業）
金属工事	・内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）
左官工事	・左官
建具工事	・サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア施工 ・鋼製建具施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工
塗装工事	・塗装（建築塗装作業）
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業　・ボード仕上げ工事作業 ・内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）・表装（壁装作業）
植栽工事	・造園

章	項　目	特　記　事　項
	11 化学物質の濃度測定	［1.6.9］ 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定　・行う 測定対象室　・－ 測定箇所数　・－
	⑫ 完成図等	※作成する　・作成しない　［1.8.1～3］［表1.8.1］ ※完成図　ＣＡＤデータ
	13 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。 分類・規格 / 撮影箇所数 / 撮影部数 / 原版の大きさ（㎜） ・カラー　外部（　）内部（　）　※1　・6　※100×125以上 ※キャビネ版 ・ぺた焼き ・（他に外観正面1カットのみ5枚（カラーキャビネ版）提出） ※カラー半切木製パネル 324×400（㎜）　外部（　）内部（　）　※2 ・電子データ　外部（　）内部（　）　※2　※200万画素以上 ※300dpi以上 100×125以上の原版を使う場合は、監督職員にあらかじめぺた焼を提出し確認を受ける。 電子データはRGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。）
	⑭ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	15 設計GL	※図示　・設計GL＝現状GL
	⑯ 工事写真	※着工前、完成写真2部　工事工程写真1部
	⑰ ワンデーレスポンスの実施	ワンデーレスポンスの取り組みについて 1. この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは 受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程 3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。 4. 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。
	⑱ 火災保険等	※火災保険等の証券等の写しを提出すること。
2 仮設工事	① 足場その他	内部足場　種別　※脚立、足場板　・棚足場　［2.2.1］ 外部足場　手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。　［2.2.1］［表2.2.1］ 屋根工事及び小屋組みの建方工事における墜落事故防止対策はJIS A 8971に基づき設置すること。 材料、撤去材等の運搬方法　［2.2.1］［表2.2.1］ ・A1種　※B種　・C種　・D種　・E種 ・定置する足場、作業構台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。
	② 養生	既存部分の養生　※ビニールシート　・合板　厚12　［2.3.1］ 既存家具等の養生　※ビニールシート　・ 固定家具等の養生　※行う　・行わない
	3 仮設間仕切り	仮設間仕切り等の種別　［2.3.2］［表2.3.1］ 種別 / 下地 / 仕上材（厚さ ㎜） / 充てん材 / 塗装 ・A種　※軽量鉄骨　・合板（※9.0 ・ラワン　） / ※無し ・B種　・木下地　※せっこうボード（※12.5 ・　） / 厚さ ㎜ / ・片面 ・C種　・単管下地　防炎シート ・仮設扉　※木製扉 ・鋼製扉　※合板張り程度 ※片面フラッシュ程度　※無し ・有り
	4 監督職員事務所	規模及び仕上げの程度は現場説明書による。　［2.4.1］
	⑤ 工事用水	構内既存の施設　・利用できない　※利用できる（※有償　・無償）　［2.4.1］ ※子メータを設置する。
	⑥ 工事電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）　［2.4.1］
	7 防音パネル	※アルミ製（解体作業期間）
	8 仮門	・キャスターゲート　W= 3.0 m、H= 1.8 m、　箇所 ・キャスターゲート　W= 6.0 m、H= 1.8 m、1箇所
	⑨ 仮囲い	・万能鋼板　H= 2.0 m、L=　m、　箇所 ※成型鋼板　H= 2.0 m、L=　m、　箇所　・図示 ・ガードフェンス　H= 1.8 m　箇所　・図示
	10 仮設道路	・砕石敷（厚さ　㎜　幅　㎜）L=　m （砕石は、再生クラッシャランを使用） ・鋼板敷（厚さ　㎜　幅　㎜　L=　m）　枚
3 防水改修工事	1 アスファルト防水	［3.3.2］［表3.1.1］［表3.3.3～10］

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別
保護防水	※P1B	・B-1　※B-2
	・P1B］・T1B］	・B1-1　※B1-2
	・P2A］	・A1-1　※A1-2
	※P2A	・A-1　※A-2
露出防水	・M4C	・C-1　※C-2
	・M3D　・P0D	・D-1　※D-2
屋内防水	・P1E　・P2E	・E-1　※E-2 〈保護層は図示による〉

アスファルトの種類　※3種　・4種　［3.2.2］［3.3.2］
保護コンクリートのコンクリート種類　・普通コンクリート（18N/＊ S=18㎜）　［3.3.2］［8.11.1］
（溶接金網　径6㎜　100㎜×100㎜敷設）
P0D工法の二重ドレン　※設けない　・設ける　［3.2.5］
M3D、P0D工法の脱気装置　※設けない　・設ける　［3.3.3］
既存露出防水層表面の仕上げ塗装（M4C工法の場合）　・除去する　［3.2.6］
断熱工法の断熱材　厚さ（㎜）　※25　・　［3.3.2］
ただし、特定フロンを含まないもの。
立上り部の保護　［3.3.2］
・れんがの種類　※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形コンクリートブロックとする。
・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ15㎜

2 改質アスファルトシート防水　［3.4.2］［表3.1.1］［表3.4.1～3］

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	厚さ（㎜）
・M4AS工法		・AS-1　・AS-2　・AS-3	
・M3AS工法		・AS-4　・AS-5　・AS-6	
・P0AS工法			
・M3ASI工法		・ASI-1　・ASI-2	
・M4ASI工法			
・P0ASI工法			

脱気装置　※設けない　・設ける

章	項　目	特　記　事　項
	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	［3.5.2］［表3.1.1］［表3.5.1～3］

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料等	使用分類
・P0S工法		・S-F1　・S-M1	・カラー ・シルバー	※非歩行 ・軽歩行
・L3S工法		・S-F2　・S-M2		
・S3S工法				
・M4S工法		・S-M1　・S-M2		
・P0SI工法		・SI-F1　・SI-M1		
・L3SI工法	講堂屋根 階段室A下り屋根	・SI-F2　・SI-M2		
・S4SI工法		・SI-M3		

脱気装置　※設けない　・設ける　［3.5.3］
目地処理　PCコンクリート　［3.5.4］

4 塗膜防水　［3.6.2～4］［表3.1.1］［表3.6.1］

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別
・L4X工法	※図示	・X-1（絶縁工法）
・P0X工法		・X-2（密着工法）

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装（L4X工法の場合）　・活膜を残す　［3.2.6］
脱気装置　※設けない　・設ける　［3.6.3］

5 脱気装置　［3.3.2］［3.4.2］［3.5.2］［3.6.2］［表3.1.1］

種　類	材　質	設置数量
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂　・ABS樹脂 ・ステンレス　・鋳鉄	・約50㎡当たり1箇所
・立上り部脱気型	・合成ゴム　・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス　・銅	・（　）㎡当たり1箇所

⑥ シーリング　［3.1.4］［表3.1.2］
・シーリング充填　・シーリング再充填工法　・シーリング打替え
・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法

シーリング材の種類、施工箇所　［3.7.2］［表3.7.1］
※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類　（記号）
・打ち継ぎ目地、伸縮目地	・ポリウレタン系（PU-2）仕上げあり
・新設建具廻り、金属取合い	・変成シリコーン系（MS-2）仕上げなし
・ガラス廻り	・シリコーン系（SR-1）

7 とい　［3.8.2］［表3.8.1］
・配管用鋼管　※カラー硬質塩化ビニル管　・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管（REP-VU）G
鋼管製といの防露　［3.8.2］［表3.8.3］
・次の箇所に行わない（　　）
防露材のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・
掃除口　※有り　・無し　・
たてどい受金物の取付け　［3.8.3］

8 アルミニウム製笠木　［3.9.2～3］［表3.9.1］

種　類	呼称肉厚（㎜）	製品幅（㎜）	固定間隔	備　考
・150形	※1.1程度	※150	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突き当り部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	※1.8以上	※300		
・350形	※2.0以上	※350		

板材折曲げ形の取付工法　・図示　［3.9.3］

9 折板葺　（13.3.2～3）

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・
形状（㎜）	山高（　）山ピッチ（　）板厚　・0.6　※0.8
材　料（規格等）	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯（GGLCCR-20-AZ150）
軒先面戸板	※有り　・無し
断熱材	・有り（種別：　厚さ：　㎜）　※無し
耐火性能	・30分耐火　※無し

⑩ 保証期間　※ 10年保証とする。

4 外壁改修工事 共通事項
① 施工数量調査　［1.5.2］
調査範囲　※外壁改修範囲　・図示の範囲
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。　また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び剥落を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。
調査報告書の部数　※2部　・

既存塗装面外壁補修想定数量

補修項目	外壁
ひび割れ 0.2mm未満	７．０ｍ
ひび割れ 0.2mm以上	７．０ｍ
欠損部（100×100程度）	２０箇所
一般部浮き	４．０㎡
塗膜脆弱部（既存塗膜除去部）	７．９㎡

工事名	松戸市立栗ケ沢中学校体育館空調設備設置建築工事
図面名	改修工事特記仕様書-1
作成年月日	令和7年2月10日
変更年月日	－
縮　尺	No Scale
図面番号	A-01
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号
松戸市　街づくり部　建築保全課	

章	項目	特記事項
4 外壁改修工事 共通事項	②改修材料	⊙既製調合モルタル 保水率(%): 70.0以上 / 単位容積質量(kg/l): 1.80程度 / 接着強さ(N/*) 標準時: 0.60以上 / 接着強さ(N/*) 温冷繰り返し後: 0.40以上 / 長さ変化率(%): 0.20以上 / 曲げ強さ(N/*): 4.0以上 ⊙パテ状エポキシ樹脂 初期硬化性(標準): 2.0N/*以上 / 接着強さ(標準): 6.0N/*以上 / 圧縮強さ: 50.0N/*以上 / 曲げ強さ: 30.0N/*以上 / 硬化収縮率: 3.0(%)以上 a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。 ・可とう性エポキシ樹脂 性能: 常温物性 1.0N/*以上 / 低温性 1.0N/*以上 / 加熱変化 1.0N/*以上 / 引張接着性 最大引張応力 1.0N/*以上 伸び: 30.0%以上 / 30.0%以上 / 30.0%以上 / 破断時の伸び 10.0%以上 比重 表示値±0.10 押出し性 60秒以下 スランプ 3mm以下 加熱減量 5%以下 a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。 ・タイル部分張替え工法用材料 接着強さ: 標準 0.60以上 / 低温硬化 0.40以上 / アルカリ温水 0.40以上 / 冷熱水中繰返し 0.40以上 / 熱劣化 0.40以上 強度(N/*): 0.60以上 / 0.40以上 / 0.40以上 / 0.40以上 / 0.40以上 凝集破壊率(%): 75以上 / 50以上 / 50以上 / 50以上 / 50以上 皮膜物性: 標準 / 高温 / 低温 / アルカリ温水 / 熱劣化 引張強さ(N/*): 1.00以上 / 1.00以上 / 1.00以上 / 1.00以上 / 1.00以上 伸び(%): 30以上 / 30以上 / 30以上 / 20以上 / 20以上 貯蔵安定性 容積と粘土に著しい変化がないこと。 耐熱性 JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。 a.外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b.タイル、石材、下地等侵すものでないこと。 c.「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 e.ずれ抵抗性があること。 f.混錬終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。 ⊙エポキシ樹脂モルタル 接着強さ: 1.0N/*以上 / 圧縮強さ: 20.0N/*以上 / 曲げ強さ: 10.0N/*以上 a.こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。 b.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 c.「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。 d.形状に異常が無く、垂れが生じないこと。 e.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 ⊙ポリマーセメントモルタル ポリマーセメントモルタルの種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレン一酢ビ系等 曲げ強さ(N/*): 6.0以上 / 圧縮強さ(N/*): 20.0以上 / 接着強さ(N/*) 標準時: 1.0以上 / 接着強さ(N/*) 湿潤時: 0.8以上 / 接着強さ(N/*) 低温時: 0.5以上 表面状態 垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。 透水性 裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 ・ポリマーセメントスラリー 広がり速度(cm/s): 3以上 / 長さ変化率(収縮): 3.0%以下 / 引張接着性(材齢28日): 0.5N/*以上 / 曲げ性能(材齢28日): 5.0N/*以上 / 吸水性(72時間): 15%以下 / 耐久性(劣化曲げ強さ): 6.0N/*以上 保水係数 0.35～0.55 粘調係数 0.50～1.00 ・吸水調整材 項目: 全固形分(%) / 吸水性(g) / 接着強度(N/*) / 界面破断率(%) 品質・性能: 表示値±1%以内 / 30分で1g以下 / 0.98以上 / 50%以下 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁	①ひび割れ部改修工法	※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4] 注入工法の種類 / ひび割れ幅(mm) / 注入口間隔(mm) / 注入量(ml/m) / 備考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～1.0未満 / ※200～300 / ※製造所の仕様による ⊙手動式エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～0.3未満 / ※ 50～100 / ※40 ・ 0.3以上～0.5未満 / ※100～200 / ※70 ・ ・機械式エポキシ樹脂注入工法: 0.5以上～1.0未満 / ※150～250 / ※130 ・ 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜取り) ※行わない [4.3.4] ・行う(抜取り部の補修方法:) ⊙Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] 充填材料 / 品質・規格等 / 備考 ⊙シーリング用材料: ※1成分形又は2成分形 / ポリウレタン系シーリング材 / ※行わない ・行う / ポリマーセメントモルタルの充填 ・可とう性エポキシ樹脂: JIA A 6024 ⊙シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6] ⊙パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024) ・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)
	②欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む)	⊙充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ⊙エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ポリマーセメントモルタル
	③浮き部改修工法	⊙アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法(16本/㎡) [4.1.4][4.4.10] (モルタル笠木・パラペット天端部分)
	4 巾木モルタル塗	・樹脂モルタル T3
4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	1 既存モルタル塗りの撤去	・行う(※監督職員の指示による)
	2 ひび割れ部改修工法	・既存モルタル撤去工法(範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による) ※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.2][4.4.5] 注入工法の種類 / ひび割れ幅(mm) / 注入口間隔(mm) / 注入量(ml/m) / 備考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～1.0未満 / ※200～300 ・手動式エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～0.3未満 / ※50～100 / ※40 ・ 0.3以上～0.5未満 / ※100～200 / ※70 ・ ・機械式エポキシ樹脂注入工法: 0.5以上～1.0未満 / ※150～250 / ※130 ・ 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜取り) ※行わない [4.3.4] ・行う(抜取り部の補修方法:) ・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] 充填材料 / 品質・規格等 / 備考 ・シーリング用材料: ※1成分形又は2成分形 / ポリウレタン系シーリング材 / ※行わない ・行う / ポリマーセメントモルタルの充填 ・可とう性エポキシ樹脂: JIA A 6024 ・シール工法(亀裂が0.2mm未満) [4.1.4][4.2.2][4.4.7] (※既存モルタル面 →既存躯体コンクリート面)。 ・パテ状エポキシ樹脂(JIA A 6024) ・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024) ・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [4.2.2][4.6.3] (※シール工法の範囲 ・監督職員の指示による)
	3 欠損部改修工法	・既存モルタル面の欠損部 [4.1.4][4.4.8～9] 改修工法の種類 / 材料 / 品質・規格等 ・充填工法: エポキシ樹脂モルタル ・モルタル塗替え工法: 改修標仕4.2.2(7)による / 塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない ・図示
	4 浮き部改修工法	[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] 改修工法の種類(モルタルを撤去しない場合) / アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部 / 指定部 / 注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部 / 指定部 / 充填量 注入量 ・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法: ※16 / ※25 / ※狭幅部：5本/m / ※25ml ・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法: ※13 / ※20 / ※12 / ※20 / ※25ml ・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法: ※13 / ※20 / ※12 / ※20 / ※25ml ・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法: ※9 / ※16 / ※25ml ・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法: ※9 / ※16 / ※9 / ※16 / ※25ml ・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法: ※9 / ※16 / ※9 / ※16 / ※25ml アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。
	5 巾木モルタル塗	・樹脂モルタル T3
4-3 外壁改修工事 タイル仕上げ外壁	1 既存タイル張りの撤去	・外壁タイル張り全面 ・部分撤去 [4.5.2] 撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張り付けモルタルまで ・タイルのみ
	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面(・コンクリート面 ・モルタル面) ※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5] ひび割れ幅(mm) / 注入口間隔(mm) / 注入量(ml/m) / 備考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～1.0未満 / ※200～300 / ※ ・手動式エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～0.3未満 / ※50～100 / ※40 ・ 0.3以上～0.5未満 / ※100～200 / ※70 ・ ・機械式エポキシ樹脂注入工法: 0.5以上～1.0未満 / ※150～250 / ※130 ・ 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4] ・行う(抜き取り部の補修方法:) ・Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6] 充填材料 / 品質・規格等 / 備考 ・シーリング用材料: ※1成分形又は2成分形 / ポリウレタン系シーリング材 / ※行わない ・行う / ポリマーセメントモルタルの充填 ・可とう性エポキシ樹脂
	3 欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む)	・充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ・エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ポリマーセメントモルタル

章	項目	特記事項
	4 浮き部改修工法	[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] 改修工法の種類(タイルを撤去しない場合) / アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部 / 指定部 / 注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部 / 指定部 / 充填量 注入量 ・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法: ※16 / ※16 / ※25ml ・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法: ※13 / ※20 / ※12 / ※20 / ※25ml ・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法: ※13 / ※20 / ※12 / ※20 / ※50ml ・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法: ※9 / ※16 / ※25ml ・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法: ※9 / ※16 / ※9 / ※16 / ※25ml ・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法: ※9 / ※16 / ※9 / ※16 / ※50ml ・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法: ※9 / ※16 / ※9 / ※16 / ※50ml アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。
	5 下地処理	サンダーケレンの上、モルタル薄塗 [4.2.2][4.6.3]
	6 タイルクリーニング	工業用塩酸
4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	①既存塗装等の撤去及び下地処理	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4] 工法 / 処理範囲 / 下地面の補修 ⊙サンダー工法: ※補強範囲 図示 / ・ひび割れ部改修工法 ※高圧水洗工法 加圧力 ※12MPa程度: ※塗替え面全体 図示 / ・浮き部改修工法 ・塗膜はく離剤工法: ※既存仕上面全体 / ・欠損部改修工法 ・水洗いエ法: ※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 塗装はく離剤 [4.2.2]
	②下地調整材	※下地調整材C-1 (既存塗装除去部分) [4.2.2][4.6.3] ※微弾性フィラー (既存吹付タイル面・既存複層塗材面) [4.2.2][4.6.3]
	③仕上げ塗材仕上げ	種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4] 種類 / 呼び名 / 仕上げの形状 / 上塗材の種類 ・薄付け仕上塗材: ・外装薄塗材Si / ・可とう形外装薄塗材Si / ・外装薄塗材E / ・可とう形外装薄塗材E / ・防水形外装薄塗材E / ・外装薄塗材S / ・砂壁状 / ・さざ波状 / ・ゆず肌状 / ・凸凹状 / ・平たん状 ⊙複層仕上塗材(既存塗装除去部分): ・複層塗材CE / ・可とう形複層塗材CE / ・複層塗材Si / ⊙複層塗材E / ・複層塗材RE / ・複層塗材RS / ・防水形複層塗材CE / ・防水形複層塗材E / ・防水形複層塗材RE / ・防水形複層塗材RS / ⊙ゆず肌状 / ・凸凹処理 / ・凸凹状 ・可とう形改修用仕上塗材: ・可とう形改修塗材E / ・可とう形改修塗材RE / ・可とう形改修塗材CE / ・平たん状 / ・さざ波状 / ※ゆず肌状 上塗材の種類 耐候性 ※耐候形3種 / ・耐候形1種 溶媒 ※水系 / ・弱溶剤系 / ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 / ・ウレタン系 / ⊙シリコン系 外観 ※つやあり / ・つやなし / ・メタリック 防水形の増塗材 ※行う
	4 その他の仕上げ	防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2](15.6.2) ※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。 ※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。 ・基礎巾木仕上塗材: ※エスケー化研㈱ ベースプロテクト同等品とする / ※菊水化学工業㈱ 基礎ｶﾞｰﾄﾞ同等品とする ・水性反応硬化形軒天用仕上塗材: ※エスケー化研㈱ ノキフレッシュ同等品とする / ※菊水化学工業㈱ ノキテンファイン同等品とする ・ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し保護仕上げ塗材: ※エスケー化研㈱ セラミRC-FR工法同等品とする
5 建具改修工事	①改修工法の適用	[5.1.3] 種類 / かぶせ工法 / 撤去工法 / 備考 ・アルミニウム製建具: ・有り / ・有り ⊙鋼製建具 ⊙外部: ・有り / ⊙有り ・内部 ・鋼製軽量建具 ・ステンレス製建具 ・自動ドア開閉装置 ・重量シャッター
	2 見本の製作等	・特殊な建具の仮組(建具符号 :) [5.1.5]
	3 アルミ製建具	外部に面する建具 [5.2.2][表5.2.1] 種別 / 耐風圧性 / 気密性 / 水密性 / 枠見込み(mm) / 施工箇所 ・A種: S-4 / ※A-3 / ※Ⅲ-4 / ※70 / ・図示 ・B種: S-5 / ・ / ・ / ・100 ・C種: S-6 / A-4 / Ⅲ-5 / 100

章	項目	特記事項
		表面処理 [5.2.4][表5.2.2] ・BA-1種 ・BA-2種(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) 屋内建具 表面処理 ※C-1種又はB-1種 [5.2.4][表5.2.2] ・C-2種又はB-2種(ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
	4 網戸	防虫網 [5.2.3] 網の種別 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ※ステンレス(SUS316)製 形 式 ・外部可動式 ※固定式
	⑤鋼製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1] 耐風圧性能の適用は建具表による 特定防火設備戸 ・適用する [5.4.4]
	6 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1～2]
	7 ステンレス製建具	簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による 表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・適用する [5.1.4]
	8 自動ドア開閉装置	※製造所標準製作の規定寸法許容差による [5.8.2～4][表5.8.1～5] 開閉方法 / 検出装置の種類 ※引き戸: ・光線(反射)センサー ・熱線センサー ・多機能トイレ出入口引き戸: ・音波センサー ・光電センサー ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・多機能トイレスイッチ ・凍結防止装置(適用箇所は建具表による)
	9 自閉式上吊り引戸装置	品質規格 ※改修標仕5.9.3による。 [5.9.3][表5.9.1] ・製造所標準仕様による。
	10 木製建具	※建具表による。 かまち戸の樹種 かまち( ) 鏡板( ) (16.7.2)(表16.7.2) ふすまの上張り ※新鳥の子程度又はビニル紙程度(押入れ等の裏面は除く) (表16.7.3) ・鳥の子 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.7.2) ※F☆☆☆ ・非ホルムアルデヒド系接着剤
	⑪建具用金物	マスターキー ・製作する ※製作しない [5.7.4] 建具用金物 [5.7.2][表5.7.1～3] 錠類はシリンダー箱錠(レバーハンドル)とする。 なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。 ⊙図示による 吊金物 ・丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい) ・ピボットヒンジ
	12 ガラス	・ガラスブロック 改修標仕5.13.5 [5.13.5] 寸法(mm) / 色調 / パターン / 防火認定 ※クリア ・熱線反射 / ※無し ・乳白 ・カラー( ) / ・有り
	13 ガラス留め材及び溝	ガラス留め材 [5.13.2～3] 建具の種類 / 種類 アルミニウム製: ※シーリング材 ・ガスケット(FIX部はシーリング材) 鋼製及び鋼製軽量: ※シーリング材 ステンレス製: ※シーリング材 防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。
	⑭ガラス用フィルム	名称 / 種類 / 張り面 / 性能値 ※ガラス飛散防止フィルム: 第2種 / ※内張り ・外張り / 飛散防止率 D1 ・目かくしフィルム ⊙遮熱フィルム: 第2種 / ※内張り ・外張り / 飛散防止性能あり 品質JIS A 5759による 建具表による [5.13.2]
	15 重量シャッター	[5.10.2][表5.10.1] シャッターの種類 ・一般重量シャッター: 耐風圧性能( )N/㎡ ・外壁用防火シャッター: 耐風圧性能( )N/㎡ ・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター 品質JIS A 4705による 開閉機能 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 危害防止機構 ※障害物感知装置(自動開錠型) [5.10.2] ・シャッターの二段降下方式 一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない [5.10.2]
	16 軽量シャッター	[5.11.2][表5.10.1] 開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 [5.11.3] 形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] ガイドレール等 [表5.10.2] ※鋼板製 ・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm) 耐風圧性能( )N/㎡

工事名	松戸市立栗ケ沢中学校体育館空調設備設置建築工事
図面名	改修工事特記仕様書-2
作成年月日	令和7年2月10日 / 変更年月日 / －
縮尺	No Scale / 図面番号 / A-02
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号
松戸市 街づくり部 建築保全課	

章	項目	特記事項
5 建具改修工事	17 オーバーヘッドドア	[5.13.2～5][表5.13.1～2]

セクション材料による区分	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 (SUS304)

耐風圧性能(　　)N/㎡　JIS A 4715

18 かぎ箱

市販品
形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

章	項目	特記事項
6 内装改修工事	① 改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲　[6.1.3] ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・図示の範囲 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま。 ・図示の範囲
	2 既存床の撤去並びに下地補修	ビニル床シート等の除去　※仕上げ材のみ(接着剤とも)　[6.2.2] ・鋼製床組下地とも(※図示の範囲　・除去範囲全て) カラードフロアの撤去　・機械的除去工法　・目荒し工法 改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の案内　・
	3 既存壁の撤去並びに下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修　[6.3.2][4.3.10] ・図示 ・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強　※行う　・行わない)
	4 木下地等 (AP-1、2)	木材の品質　図示　[6.5.2][表6.5.1] ※改修標準仕様書6.5.2による　・市販品 代用樹種　※改修標仕表6.5.4による　[6.5.2][表6.5.2] ・代用樹種を適用しない箇所(　　) 保存処理木材を適用する箇所(　　)

⑤ 集成材等 Ⓖ(額縁等)　[6.5.2]

品名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・米栂　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	・1種　※2種　・3種	・	
・造作用集成材	※1等　・2等	・タモ	
・化粧ばり造作用集成材	※1等　・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

⑥ 接着剤　[6.5.3]

※F☆☆☆☆
・非ホルムアルデヒド系接着剤

7 防腐、防蟻処理　行う箇所(　　)　[6.5.5]
防腐処理　※行う(※図示　　)
防蟻処理　・行う(※図示　　)
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。

8 床板張り　フローリング及び繊甲板張り床　[6.5.8][6.11.2][表6.5.8]

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合　板	t12mm
		・パーティクルボード	t15mm
床板	※単層フローリング(共仕19.5.2による)	ホルムアルデヒドの放散量	※F☆☆☆☆　・
	・繊甲板	※ひのき	

※フクビ　フリーフロアCP-F同等品

9 軽量鉄骨天井下地　野縁等の種類　[6.6.2]　[表6.6.1～2]
屋外(・19形　※25形)　屋内(※19形　・25形　※角スタッド工法 65形)
既存の埋込みインサート　・使用する　※使用しない　[6.6.4]
あと施工アンカーの確認試験　・行う　※行わない

10 軽量鉄骨壁下地　スタッドの高さが5mを超える場合　※図示　[6.7.3]　[表6.7.1]

11 ビニル床シート張り　[6.8.2]

種類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)
※発砲層のないもの	※NC　・	※無地　・マーブル柄	※2.5
・発砲層のあるもの		※柄物　・無地	
・防滑性ビニル床シート	・NF　・NC	・柄物　・無地	・2.5
・防汚性ビニル床シート			・2.0

工法　※熱溶接工法　・突付け(施工箇所:　　)　[6.8.3]
・防汚性ビニルシート：下記同等品とする。
ロンシール工業㈱ヤニタリウム　t=2.0
タキロンシーアイ㈱ネオクリーン　t=2.0
東リ㈱消臭ＮＳトワレＮＷ　t=2.0

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

12 ビニル床タイル張り　[6.8.2]

種類	JISの記号	厚さ(mm)	備考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS		
・ホモジニアスビニル床タイル	HT		

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

13 帯電防止床タイル張り　[6.8.2]

種類	厚さ(mm)	性能
※コンポジションビニル床タイル	※2　・	体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	1.0×10⁷Ω以下、または、
		漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
		1.0×10⁷Ω未満

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

14 視覚障害者用床タイル(誘導用及び注意喚起用床材)　ブロックパターンはJIS T 9251による　[6.8.2]
色彩は黄色を原則とする。
屋内　※塩化ビニル製　・磁器又は石器質タイル(※300　・　　)
・レンジコンクリート製
屋外　※レンジコンクリート製　・磁器又は石器質タイル(※300　・　　)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

15 ビニル幅木　高さ　(mm)　・60　・75　・100　[6.8.2]
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

章	項目	特記事項
6 合成樹脂塗床		[6.10.2～3][表6.10.1～8]

種類	仕上の種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ工法(※平滑　・防滑) ・厚膜流しのべ工法(※平滑　・防滑) ・樹脂モルタル工法(※平滑　・防滑) ・薄膜型塗床工法(※平滑)

ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970　※F☆☆☆☆　・

17 フローリング張り　[6.11.2～7][表6.11.1～6]

種別	材種	工法	仕上塗装等	備考
・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品	
・大型積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
・単層フローリング	・ブナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
	・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品	
・フローリングブロック	・ブナ	・直張り	※塗装品	

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

18 畳敷き　[6.12.2～3][表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
改修標仕 表6.5.10による床組	※B種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種　・

19 ポリスチレンフォーム床下地材　畳下地　厚さ(mm)　※40　・65　・80
フローリング類　厚さ(mm)　※80　・95

20 カーペット敷き　・繊じゅうたん　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

種別	パイル糸の種類	帯電性	色柄等	備考
・A種	・そ毛糸	人体帯電圧	※無地	
・B種	・紡毛糸	※3kV以下	・柄物(標準品)	
・C種	・紡毛糸			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タフテッドカーペット(JIS L 4405)　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	パイル長(mm)	工法	備考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法	
	※4～6　・	・グリッパー工法	
・レベルループパイル	※4　・		
・カット、ループ併用			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タイルカーペット　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	種類	規格	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※第一種	※500×500	※6.5	
	・第二種			
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下(フリーアクセスフロア新設範囲)

21 石膏ボードその他のボード張り　[6.13.2][表6.13.1]

種類	厚さ(mm)　規格
・硬質木毛セメント板 Ⓖ	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板 Ⓖ	・15　・20　・25　・
・ケイ酸カルシウム板	タイプ2(無石綿)　(・6　・8　・　)
・ロックウール化粧吸音板	※フラットタイプ (※9(不燃)　・12　・　) ・凸凹タイプ (※12(不燃)　・15　・19　・　)
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)	※フラットタイプ9(不燃) ・凸凹タイプ(※12　・15)(不燃)
・せっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(準不燃)
・不燃積層せっこうボード	9.5(不燃)　・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)
・シージングせっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(不燃)
・強化せっこうボード	・12.5(不燃)　・21.0(不燃)
・せっこうラスボード	・9.5　・12.5
・化粧せっこうボード	・9.5(準不燃)
・化粧せっこうボード(木目)	・12.5(不燃)幅440mm程度 模様(※柾目　・板目)専用下地材付き
・難燃合板 Ⓖ	・生地、透明塗料塗り(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗り(ラワン合板程度)厚さ・12
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による　厚さ　・4.0
・ミディアムデンシティファイバーボード Ⓖ	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード Ⓖ	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボーイ(素地) Ⓖ	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ※規制対象外　・第三種　・研磨板　(・スタンダード　・テンパード)
・インシュレーションボード Ⓖ	A級(・天井仕上　・内装仕上　・　) ・9　・12　・15　・18　・
・フレキシブル板	厚さ　・5.0
・(有孔)シナ合板	厚さ　・5.0

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
・適用する　※適用しない

22 吸音材　[表6.13.1]

種類	規格番号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	JIS A 6301	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	JIS A 6301	※25　・

23 壁紙張り(掲示用クロス)　[6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維(織物)	プラ(ビニル)	その他(化学繊維)	紙	防火性能	備考
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	

下地調整　[6.14.3][表7.2.4][表7.2.7]
モルタル、プラスター面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
せっこうボード面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　F☆☆☆☆　[6.14.2]
サンゲツ・リリカラー製品同等品とする。

章	項目	特記事項
	24 モルタル塗り	吸水調整材　[6.15.3]

全面形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/mm²)	界面破断率(%)
表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)
防水剤の種類　建築用モルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント質量の5%	JIS R 5201の試験において	70%以上	95%以上	80%以上
以下	始発　1時間以上			
	終結　10時間以内			

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。
既製目地材　※適用しない　・適用する

25 タイル張り　タイルの種類　[6.16.3]

施工箇所	形状寸法	きじ 磁器	きじ 石器	きじ 陶器	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 有り	役物 無し	色 標準	色 特注	再生材の適用 Ⓖ	備考

役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う(※外装タイル　・　　)
内装タイル　※内装タイル接着剤張り　JIS A 5548 有機系接着剤
接着剤のホルムアルデヒド　※F☆☆☆☆　・

26 セルフレベリング材塗り　セルフレベリング材の種類　[6.17.2][表6.17.1]

種類	フロー値(cm)	凝結時間 始発(分)	凝結時間 終結(時間)	圧縮強度(N/mm²)	下地接着強度(N/mm²)	表面接着強度(N/mm²)	長さ変化(%)	衝撃	備考
せっこう系	19以上	45以上	20以上	15以上	0.5以上	0.4以上	0.05以下	割れ及び剥がれないこと	
セメント系				20以上	0.7以上	0.5以上	0.12以下		

試験方法：日本建築学会品質規準JASS 15 M-103による。

27 断熱材　(19.9.2～3)

種類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	※25 ・100	特定フロンを使用しないもの
	※3種b(スキン層付)	・接地部分	※25	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	——	特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級　・2級
		・一般部	※25	

JIS A 9521に基づく発砲プラスチック
断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。

28 浴室天井材　市販品

材質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	・準不燃品	※200	廻縁は縁付きとし製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	・塗装品 ・木目調		※300 ・100	

29 フリーアクセスフロア　(20.2.2)

施工箇所	構法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は各内装工事による。
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付対応　※製造所の標準仕様　(コンセント本体は別途設備工事)
コンセントの箇所数は図示
配線用取出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1箇所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り(※固定式　・可変式　・施工箇所は図示)

30 可動間仕切　(20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式		※鋼板	※メラミン樹脂又は	・有り	・有り
・スタッドパネル式		(※0.6　・0.8)	アクリル樹脂焼付	(　)	・無し
・パネル式		・		・無し	

遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

31 移動間仕切　(20.2.4)

遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ(36db以上)		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は「23壁紙張り」による。

32 トイレブース　表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板 t40(アルミ製コーナーエッジ付き　指詰め防止)　(20.2.5)
※紙巻器設置位置については下地補強を行うこと。
・特殊UV塗装硬質セメント板(標準色　アルミ製コーナーエッジ(ステンカラー)付き)
笠　木　※アルミ製　・ステンレス製
足形状　※幅木タイプ(ステンレス製)　・足金物タイプ
※防水型(ステンレス巻き)

33 階段滑り止め　材　種　ステンレスSUS304　(20.2.6)
形　状　ピールタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り(・ステンレス製　※ビニル製)　・無し
幅(mm)　約35
取付工法　※接着工法　・埋込工法

34 手すり

種別	施工箇所
※笠木受け：アルミ押出形材 笠木：半硬質耐候製樹脂 二層成形φ40mm ・樹脂被覆Φ34	スロープ

35 黒板及びホワイトボード　(20.2.8)

種類		寸法(mm)	色彩	備考
・黒板	※焼付		※緑　・黒	・平面　※曲面
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面

章	項目	特記事項
	36 表示	衝突防止表示　・図示(市販品　・ステンレス製　径約30mm　・　　)　(20.2.10) (　・両面　・片面　) ・無し 表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。 製造所　監督職員の承諾する製造所。
	37 ブラインド	・既存再使用する(養生方法:　　)　[2.3.1][5.1.6] ・新設する　(20.2.12)

形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横形	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
・縦形	・1本操作コード	・アルミスラット	・80
	※2本操作コード	・クロススラット	・100

	38 ロールスクリーン	防炎性能　※有り 製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する　(20.2.13)

施工箇所	装置 電動	装置 手引	性能 防炎性能	備考

	39 カーテン(暗幕、緞帳等)	・既存再使用する(養生方法：取外し再取付)　[2.3.1][5.1.6] ・新設する　(20.2.14)

施工箇所	形式 片引	形式 引分	装置 電動	装置 ひも引	装置 手引	ひだの種類	性能	備考

	40 カーテンレール	・既存再使用する　[5.1.6] ・新設する　(20.2.14)
		材　種　JIS A 4802　・アルミニウム製　※ステンレス製 形　式　・片引き　・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)
	41 カーテンボックス及びブラインドボックス	※既存再使用する。　[5.1.6] ・新設する。 ・市販品(アルミニウム製) 溝幅×深さ(mm)　・90×150　※120×150　・150×80　・ 色　彩　※B-1　・B-2(※ブラウン　・ブラック　・ステンレスカラー) ※図示
	41 天井点検口	材　質　※アルミニウム製(※額縁タイプ　・目地タイプ)　・既存取外し、再取付
	42 床点検口	材　質　・アルミニウム製(受け枠　※アルミ製　・ステンレス製) ・ステンレス製(受け枠　・ステンレス製(防水、防臭型))
	43 鋼製書架及び物品棚	

種類	規格等	耐荷重による種類

種類	寸法(L=　mm)	適用内容	規格・品質等
・流し台	・900　・1200　・1500	・トラップ付き	
・コンロ台	・600　・700	・バックガード　・有り	
・吊り戸棚	・1200　・900　・600		
・水切り棚	・1200　・900	・トラップ付き	
・作業台	・900　・1200　・1500		

	44 流し台ユニット	
	45 屋内掲示板	枠の材質　※アルミニウム製 表面の材質　※塩ビ発砲シート張り　・
	46 ライニング天板	材　種　・メラミン樹脂化粧板張り(芯材：集成材)　・人工大理石 奥行き(mm)　※図示
	47 用具入れ	材質　メラミン樹脂系化粧板　(12.2.2)(19.7.2) 形状、寸法　※図示 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・
	49 室名札等	・突出し型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(　　箇所) ・平付け型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(　　箇所) ・ピクトサイン　材質：ｱﾙﾐ　ｱﾙﾏｲﾄｼﾙﾊﾞｰ、絵柄：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：200×200　(　7　箇所) ・階数表示　材質：ｽﾃﾝﾚｽ　ﾍｱﾗｲﾝ、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ150×150　(　　箇所)
	50 鋼製床下地(体育館用)	部材規格　大引き、根太鋼：※JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板、亜鉛付着量Z12以上) U字金具、支持台：※JIS G 3302SGHCと同等以上(亜鉛付着量Z12以上) 緩衝材：※JIS K 6385(A種防振ゴム) ※三洋工業㈱ スリーベース101タイプ同等品とする。
	51 アルミ製移動階段	・セノー㈱　HE9724(アルミ合金製、アルマイト処理焼付塗装)同等品とする。
	52 救助袋	・垂直式　○階用

工事名	松戸市立栗ケ沢中学校体育館空調設備設置建築工事
図面名	改修工事特記仕様書-3
作成年月日	令和7年2月10日
変更年月日	—
縮尺	No Scale
図面番号	A-03
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号
松戸市　街づくり部　建築保全課	

7 塗装改修工事

①材料 [7.1.2～3]

塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。
屋内で使用する場合のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は　[7.1.8]
監督職員と協議する。

②下地調整 [7.2.2～7][表7.2.1～7]

下地面の種類	下地調整の種別	備　考
木部	・RA種 ※RB種	新規面はRA種
鉄鋼面	・RA種 ※RB種	
亜鉛めっき鋼面	・RA種 ※RB種	
モルタル、プラスター面	・RA種 ※RB種	
コンクリート、ALC及び押出成形	・RA種 ※RB種	
セメント板面	・RA種 ※RB種	
せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種	

既存下地面等のひび割れ部補修　[表7.2.5～6]
※行う　・行わない
※錆止め　JIS K 5674

③合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) [7.5.2][表7.5.1]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
木部	・A種　※B種	※B種	下塗りJASS 18 M-304
			中塗り及び上塗りJIS K 5516
鉄鋼面	・A種　※B種	※B種	穴埋め及びパテかいJASS 18 M-110
			中塗り及び上塗りJIS K 5516

④鉄鋼面耐候性塗料塗り(DP) [7.8.2～4][表7.8.1～3]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
鉄面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5659
亜鉛めっき面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5659
コンクリート、押出成形セメント板面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5658

下塗りJASS 18 M-109

5 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) [7.9.2][表7.9.1]

新規の塗りの種別　・A種　※B種
塗替えの種別　・A種　※B種
下塗りJIS K 5663　中塗り及び上塗りJIS K 5660

6 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) [7.10.2][表7.10.1]

新規の塗りの種別　・A種　※B種
下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

7 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T) [7.11.2][表7.11.1]

新規の塗りの種別　・A種　※B種
塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種別
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種
	・RC種	※C-3種
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種　・B種
	・RC種	・C-1種　・C-2種

下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

8 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) [7.11.2][表7.11.1]

・A種　※B種
1液形JASS 18 M-301　2液形JASS 18 M-502

9 オイルステイン塗り(OS) [7.12.2]

ワトコオイル製品同等品とする。

10 木材保護塗料塗り(WP) [7.13.2][表7.13.1]

・A種　※B種
JASS 18 M-307

11 ポリウレタン樹脂塗装(2-UC)

フローリングブロック面の塗り種別　・A種　※B種

8 耐震改修工事

『耐震補強工事構造特記仕様書』による。

9 環境配慮(グリーン)改修工事

①一般事項

アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法 [9.1.3]
・封じ込め処理　・囲い込み処理除去工法　(・)除去工法
アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事　(・)図示
分析によるアスベスト(ｱｸﾁﾉﾗｲﾄ、ｱﾓｻｲﾄ、ｱﾝｿﾌｨﾗｲﾄ、ｸﾘｿﾀｲﾙ、ｸﾛｼﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾚﾓﾗｲﾄ)含有の調査
・行う(下表による)　(・)行わない

材料名	調査方法	1材料あたりの試料数
	・JIS A 1481による	※3

2 アスベスト含有吹付材除去工事

吹付アスベストの施工数量調査を行う。

アスベスト粉塵濃度測定　※行う

測定時期及び場所等については下表による。

測定時期	測定場所	測定点数(各処理作業室毎)	備　考
処理作業前	処理作業室内	2又は3点	
	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通
処理作業中	処理作業室内	2点	
	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認
	負圧・除塵装置の排出口(処理作業室外の場合) 施工区画周辺又は敷地境界	1点 4方向各1点	除塵装置の性能確認
処理作業後	処理作業室内	2点	
(隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通

(注)処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。
処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。

建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
関係官公署に届出を行う。　・大気汚染防止法に関する届出　松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出　柏労働基準監督署
本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

3 アスベスト含有吹付材囲い込み工事

軽鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ(核スタッド工法 65形@300)とし、既存天井面には触れない。
関係官公署に届出を行う。　・大気汚染防止法に関する届出　松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出　柏労働基準監督署
養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。
アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。
―内部測定点内訳―
〈1階：　点、2階：　点、3階：　点〉
詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。

4 アスベスト成形板の処理工事

処理を行うアスベスト成形板の仕様等　(・)仕上表による [9.1.5]

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲
石綿板	4	便所
人研ブロック	30	便所

施工調査
アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。
調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。
(1)アスベスト成形板使用部位の確認。
(2)アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。
(3)アスベスト成形板使用数量の確認。

⑤アスベスト含有仕上塗材の除去

アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験的一部除去作業の方法
(1)試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は□500mm程度とする。
(2)試験的除去は剥離剤併用手工具ケレン工法にて実施。

アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法　(・)部分除去　・全面除去

アスベスト含有仕上塗材部分除去作業
(1)部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。
(2)建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。
なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
(集塵機付きﾃﾞｨｽｸｻﾝﾀﾞｰ工法同等とすること)
(3)除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
(4)アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習修了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
(5)廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
(6)アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
(7)関係官公署に届出を行う。
(大気汚染防止法→松戸市環境保全課 労働安全衛生法→柏労働基準監督署)
(8)本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

6 外断熱改修工事

断熱材の種類 [9.2.2]

材料名		厚さ(mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム	
・硬質ウレタンフォーム	・フェノールフォーム	
・ロックウール	・グラスウール	

外装材の種類 [9.2.2]

防火性能

既存外壁仕上材の撤去　・有り　・無し [9.2.3]
下地面の清掃及び下地調整　※断熱材製造所の指定する仕様

通気層　・有り(　mm)　・なし [9.2.4]
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。
特記無き事項は、製造所の仕様による。

7 ガラス改修工事

複層ガラスの厚さ　建具表による [5.14.2]
断熱性・日射遮蔽性による区分　※U3-1　・U3-2

8 屋上緑化改修工事

特記事項は図示 [9.4.2]

9 透水性アスファルト舗装改修工事

路盤材料 [9.5.4][表9.5.3]
※再生クラッシャラン(RC-40)
・クラッシャラン(C-40)又はクラッシャランスラグ(CS-40)
透水性の高いものを使用する。

遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.5.3]
・遮断層　※川砂、海砂又は良質な山砂　・
厚さは図示
・凍上抑制層　※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　切込み砂利　・砂
厚さは図示

盛土に用いる材料 [9.5.3][表9.5.1]
・A種　※B種　・C種　・D種

路床安定処理
※添加材料による安定処理 [9.5.3][表9.5.2]
種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントB種
・生石灰(　)　・消石灰(　)
添加量　kg/㎥(目標CBR ※5以上　・
路床土の支持力比試験　※行う(※乱した土　・乱さない土)
路床締固め度の試験　※行う

アスファルト混合物 [9.5.6][表9.5.5]
車道部　※改質アスファルトⅠ型
歩道部　※ストレートアスファルト

透水性舗装 [9.5.9]
アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う

10 その他

1 舗装工事

歩行者用通路コンクリート版の厚さ　※70mm　・ (22.5.2)(表22.5.1)

部　位	設計基準強度(N/mm)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40
			砕石の場合20又は25
歩行者用通路	18	8	砂利の場合25
			砕石の場合20

砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1)
種別　・A種　・B種

2 植栽工事

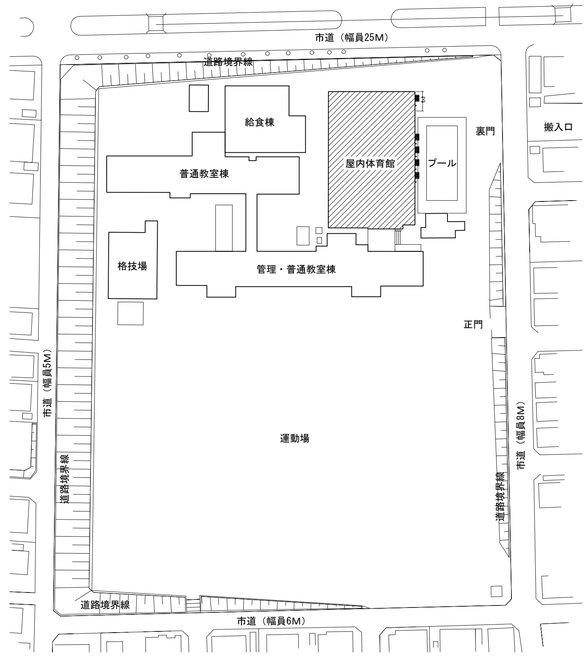
植樹 (22.3.2)

樹　種	寸　法	数　量	備　考

工事名	松戸市立栗ケ沢中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修工事特記仕様書-4		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	No Scale	図面番号	A-04
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



案内図　S=1:2500



配置図　S=1:1100

凡例
工事範囲を示す

外部仕上表

部位		仕上	備考
外壁	改修前	2F:化粧鋼板横張（断熱材入り） 1F:コンクリート打放し+ウレタン系吹付タイル(アスベスト含有)	既存のまま 一部撤去
	改修後	2F:− 1F:下地補修の上、複層塗材E	一部塗替え
出入口	改修前	床:コンクリート	一部撤去
	改修後	−	−

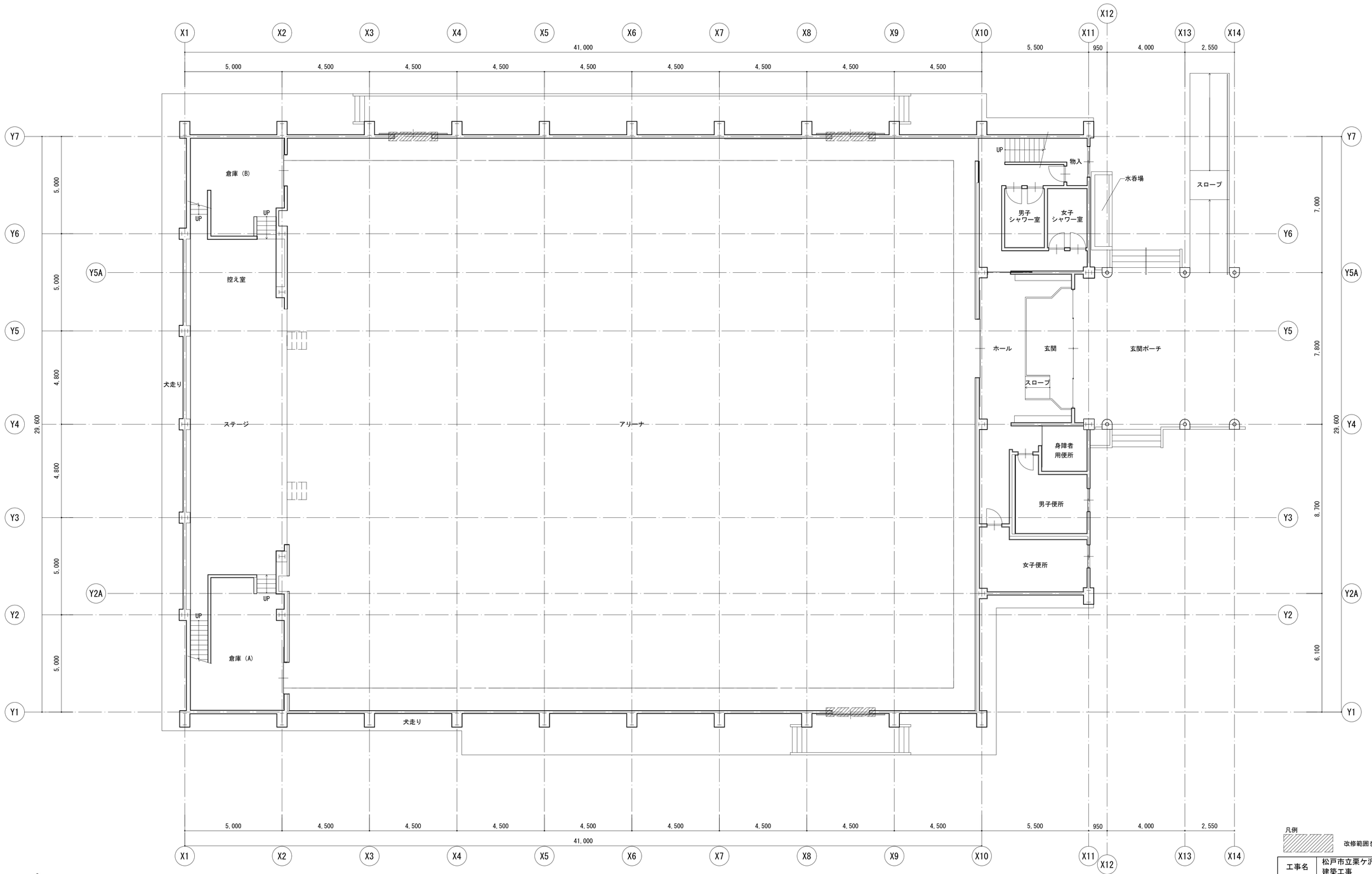
凡例、特記事項

	記号	塗料名		材料	認定番号		
塗料凡例	OP	油性調合ペイント塗装	内装材認定			特記事項	内装仕上材、屋根裏木毛セメント板は、全てF☆☆☆☆とする
	EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り					塗装材（塗料）は、全てF☆☆☆☆とする
	DP	鉄鋼面耐候性塗料塗り					建築材料は、全てアスベスト含有材でない材料を使用とする
	SOP	合成樹脂調合ペイント					
	複層塗材E	合成樹脂エマルジョン系複層仕上材					

内部仕上表

階	室 名	床		床高さ	改修内容範囲	巾 木		床高さ	改修内容範囲	壁(柱・梁型)		改修内容範囲	天 井		天井高さ	改修内容範囲	廻縁	備 考
1	アリーナ	改修前	カバザクラフローリングボード 特殊張り t=18 ポリウレタン樹脂塗装3回塗り EXPゴム	±0	既存のまま 一部撤去	改修前	ラワン OP t=25	＋100	一部撤去	改修前	軽鉄壁下地＋天然木化粧合板 t=15 ウレタン塗装 ※撤去範囲は天然木化粧合板の目地に合わせる	一部撤去	改修前	カラー木毛セメント板t=25 ギャラリー部:コンクリート打放し EP（アスベスト含有）	直天	既存のまま 既存のまま	ラワン50x25 OP	
		改修後	EXPゴム　t=20	±0	一部新設	改修後	額縁：米桐集成材t=25 SOP		新設	改修後	額縁：米桐集成材t=25 SOP	新設	改修後	−				
2	ギャラリー	改修前	モルタル金ゴテ＋長尺塩ビシートt=2.0（アスベスト含有）	±0	既存のまま	改修前	ラワン 25×150 OP	＋150	既存のまま	改修前	有孔シナ合板t=5.5 目透しOP	既存のまま	改修前	アリーナに含む			ラワン30x50 OP	
		改修後	−			改修後	−			改修後	−		改修後	−				

工事名	松戸市立栗ケ沢中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図・仕上表		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	−
縮 尺	1:2500 1:1100	図面番号	A-05
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

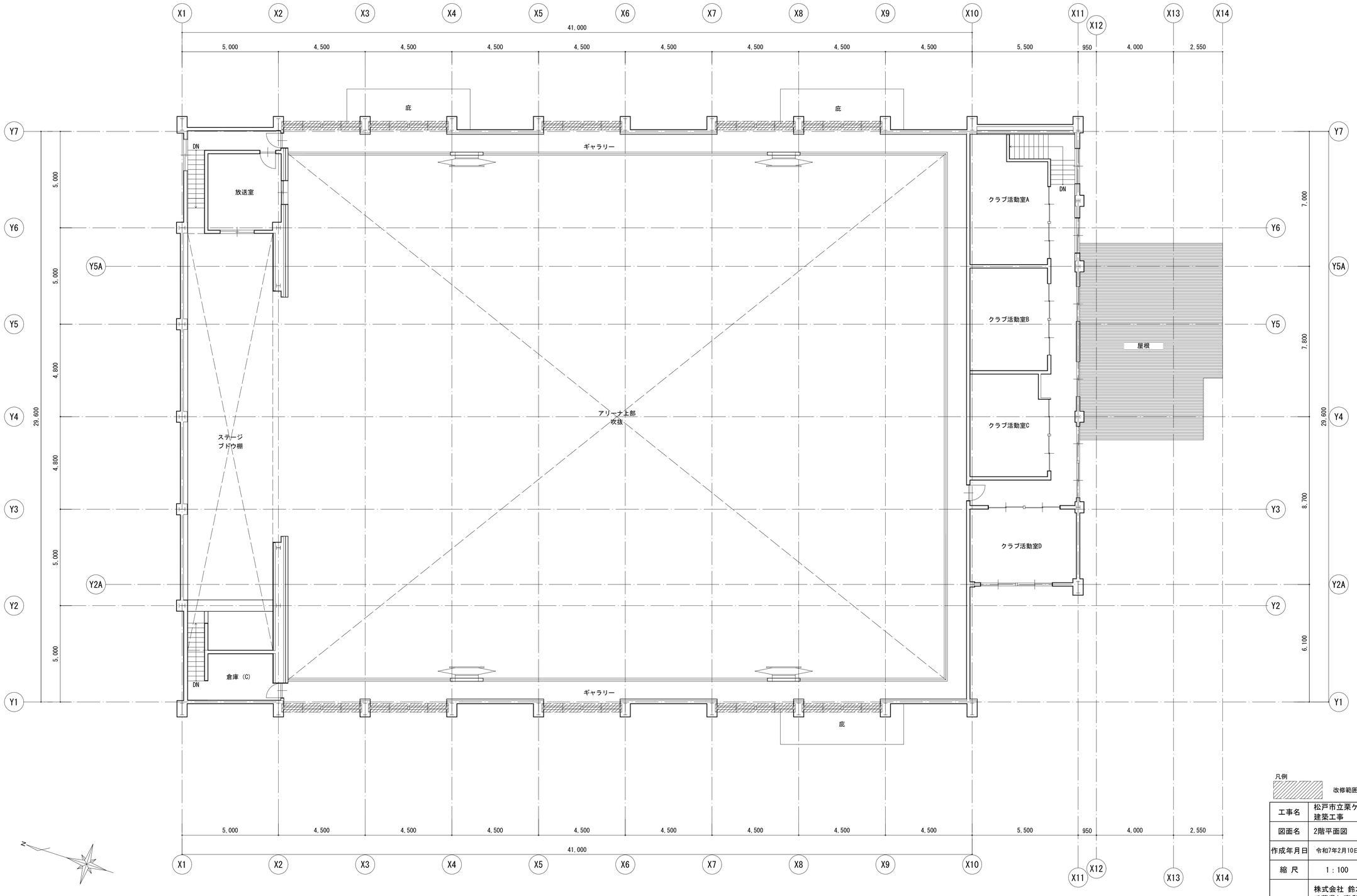


1階平面図 S=1:100

凡例

改修範囲を示す

工事名	松戸市立栗ケ沢中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	1階平面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1：100	図面番号	A-06
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



2階平面図 S=1:100

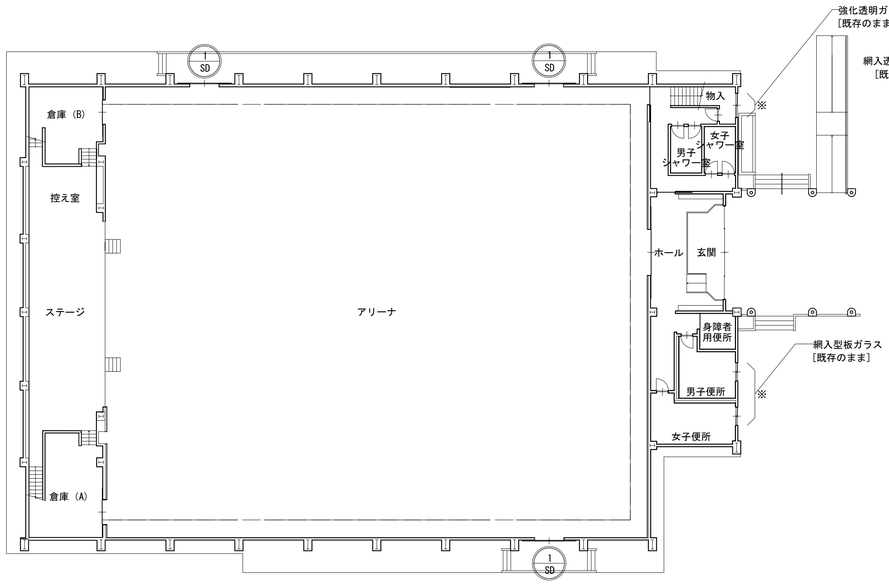
凡例

改修範囲を示す

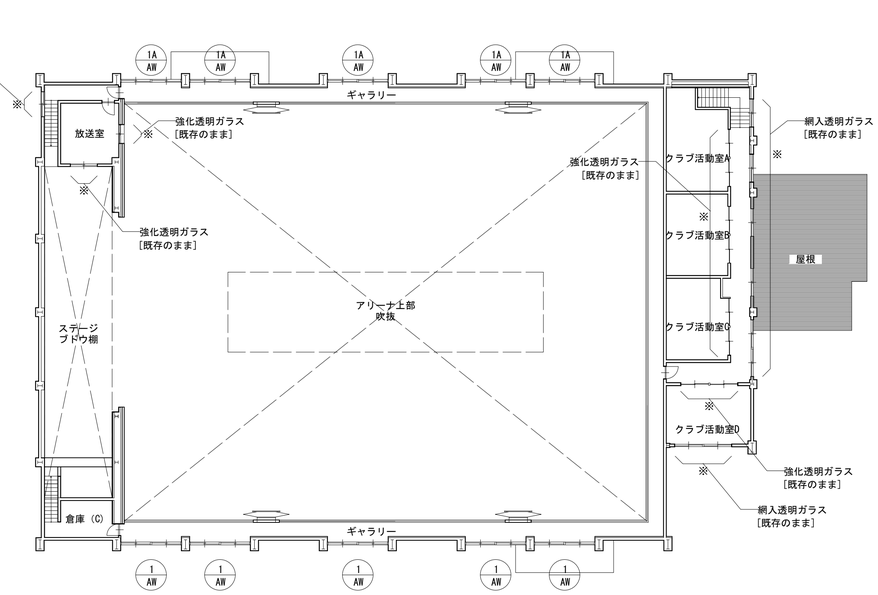
工事名	松戸市立栗ケ沢中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	2階平面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1：100	図面番号	A-07
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

改修前

※印：当該部分のガラスについては、以下の２条件に該当する場合、フィルムは施工せず、既存のままとする。
①外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓、かつ、北側に面する窓
　または、外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓以外の窓
②ガラス種類が以下のいずれか
（透明強化ガラス、型板強化ガラス、透明網入ガラス、型板網入透明ガラス）



1階キープラン　S=1:200

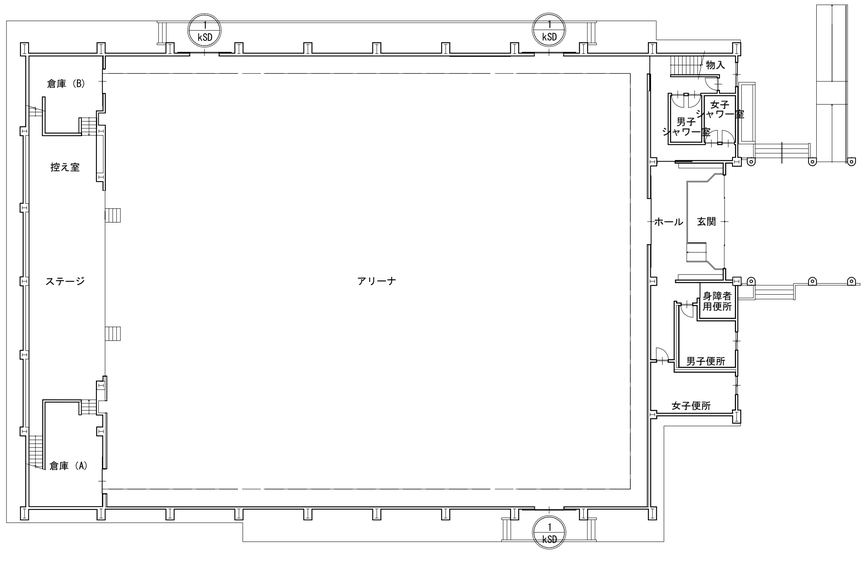


2階キープラン　S=1:200

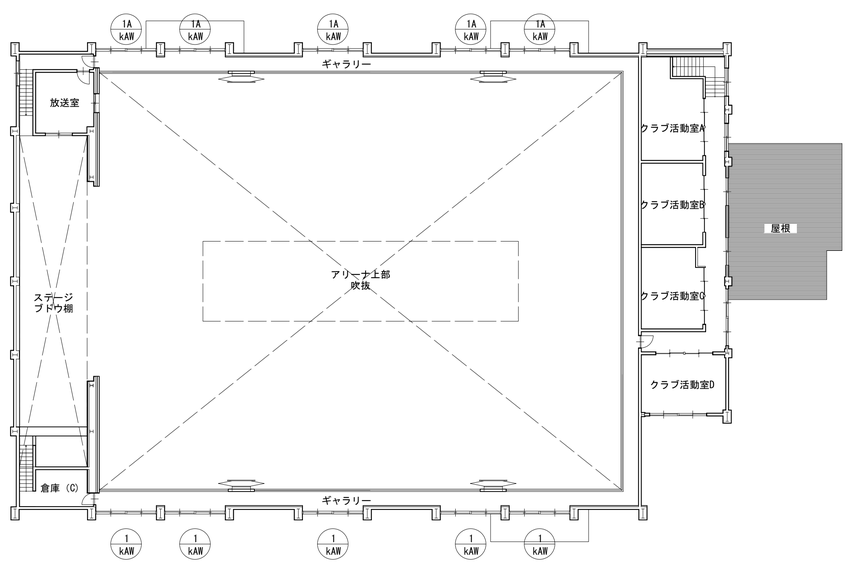
撤去建具を示す

既存建具を示す

改修後



1階キープラン　S=1:200



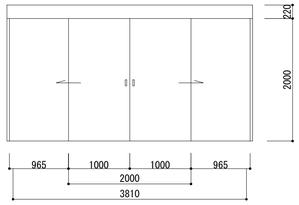
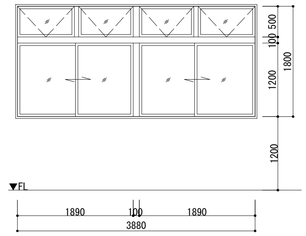
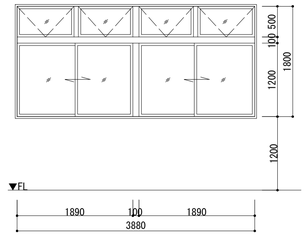
2階キープラン　S=1:200

新設建具を示す

既存建具を示す

工事名	松戸市立栗ケ沢中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修前・改修後 建具キープラン		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:200	図面番号	A-08
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

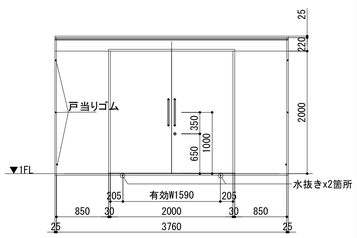
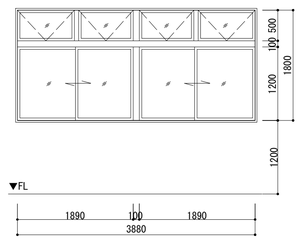
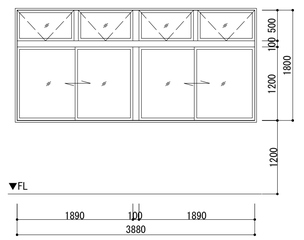
改修前

符号・数量	1 SD アリーナ　数量 3	1 AW 桁側ギャラリー　数量 5	1A AW 桁側ギャラリー　数量 5			
姿　図						
形　式	鋼製両引きハンガー戸	外倒し窓付連窓引違い窓	外倒し窓付連窓引違い窓			
材質・仕上	ドア見込40　枠見込80　スチールOP	見込70　　仕上げ　アルミ	見込70　　仕上げ　アルミ			
硝　子		網入透明ガラスt=6.8	強化透明ガラスt=4			
付属金物	ハンガー車、ハンガーレール、ガイドレール、ガイドローラー、カバー、引手 ストッパー（戸当り）、鎌錠（内側のみ）沓摺SUS304t=2　カバー取り外し可能	クレセント、戸車、戸当り、ハズレ止め、水切、四方アングル 外倒し窓オペレーター	クレセント、戸車、戸当り、ハズレ止め、水切、四方アングル 外倒し窓オペレーター			
撤去内容	撤去（三方枠、沓摺、レール共）（部分詳細参照）					

撤去建具を示す

既存建具を示す

改修後

符号・数量	1 kSD アリーナ　数量 3	1 kAW 桁側ギャラリー　数量 5	1A kAW 桁側ギャラリー　数量 5			
姿　図						
形　式	鋼製両引きハンガードア	外倒し窓付連窓引違い窓	外倒し窓付連窓引違い窓			
材質・仕上	DP　枠見込355、戸見込40	見込70　　仕上げ　アルミ	見込70　　仕上げ　アルミ			
硝　子		網入透明ガラスt=6.8	強化透明ガラスt=4			
付属金物	ドアハンドル、引戸錠、ガイドローラー、駆動装置、戸当りゴム、付属金物一式 スチールフラッシュ戸、鋼材t=1.6、枠廻りステンレスt=1.5	クレセント、戸車、戸当り、ハズレ止め、水切、四方アングル 外倒し窓オペレーター	クレセント、戸車、戸当り、ハズレ止め、水切、四方アングル 外倒し窓オペレーター			
改修内容	新設（部分詳細参照）	網入透明ガラス③フィルム張[新設]（内貼）	強化透明ガラス①フィルム張[新設]（内貼）			

■遮熱・飛散防止フィルム貼り仕様一覧表（外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓）

既存硝子＼方角		東・西・南	北
透明硝子	内貼	① 遮熱フィルム 3M　NANO70S	⑤ 飛散防止フィルム 3M　SH2CLAR
型硝子	外貼	② 遮熱フィルム 3M　NANO70SX	⑥ 飛散防止フィルム 3M　SH2CLARX
● 強化透明硝子	内貼	① 遮熱フィルム 3M　NANO70S	既存のまま
強化型硝子	外貼	② 遮熱フィルム 3M　NANO70SX	既存のまま
● 網入り透明硝子	内貼	③ 遮熱フィルム 3M　NANO90S	既存のまま
網入り型硝子	外貼	④ 遮熱フィルム 3M　NANOMACRX	既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは3Mジャパン(株)同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、**北側の強化硝子・網入り硝子**に飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入り硝子が割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

■飛散フィルム貼り仕様一覧表

（外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓**以外の窓**・・・放送室、器具庫、控室、便所など）

既存硝子		全方角・内部
透明硝子	内貼	⑤ 飛散防止フィルム 3M　SH2CLAR
型硝子	外貼	⑥ 飛散防止フィルム 3M　SH2CLARX
強化透明硝子	—	既存のまま
強化型硝子	—	既存のまま
網入り透明硝子	—	既存のまま
網入り型硝子	—	既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは3Mジャパン(株)同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、**強化硝子・網入り硝子**に飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入り硝子が割れている場合は同一硝子に交換する。

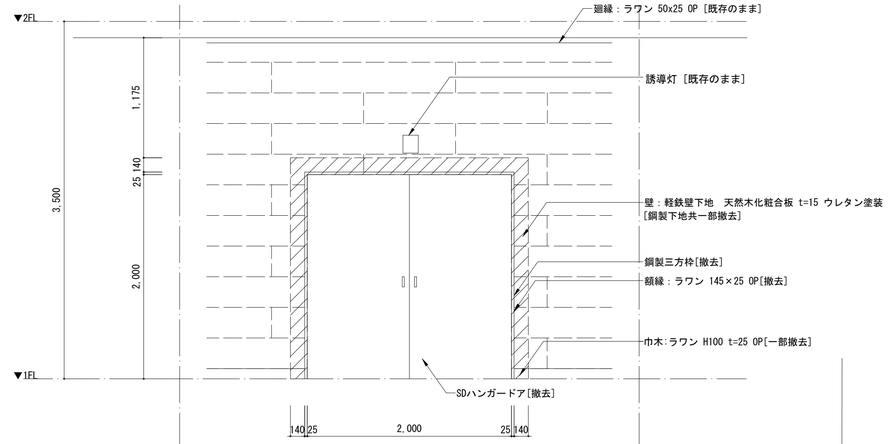
凡　例

新設建具を示す

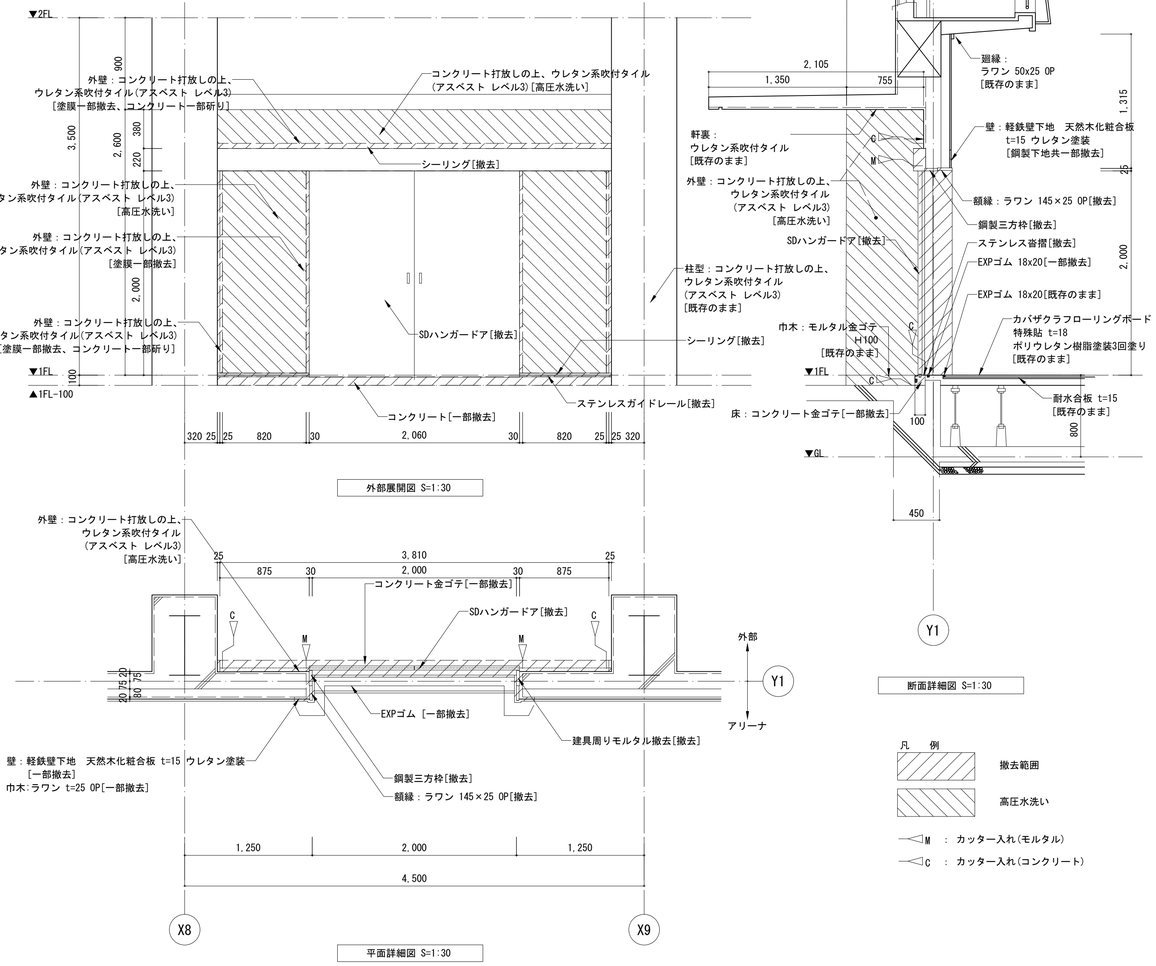
既存建具を示す

工事名	松戸市立栗ケ沢中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修前・改修後 建具表		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	1:50	図面番号	A-09
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

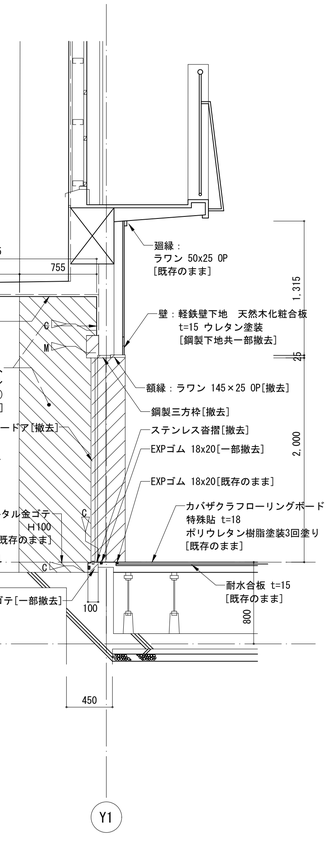
改修前



内部展開図 S=1:30



外部展開図 S=1:30



断面詳細図 S=1:30

平面詳細図 S=1:30

凡　例

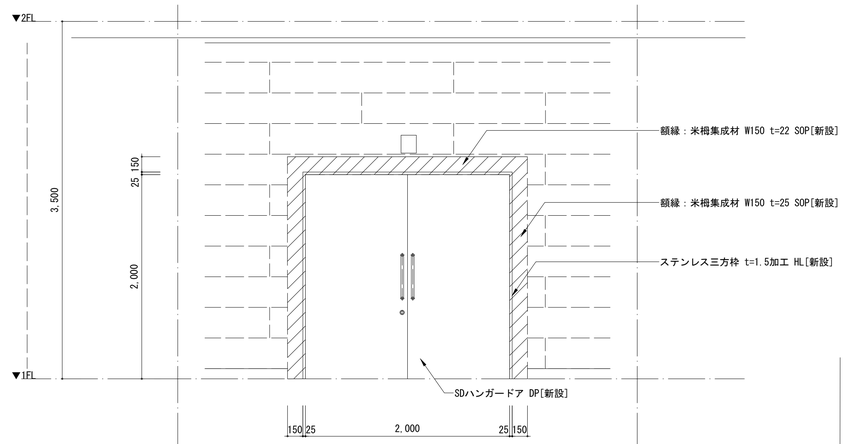
撤去範囲

高圧水洗い

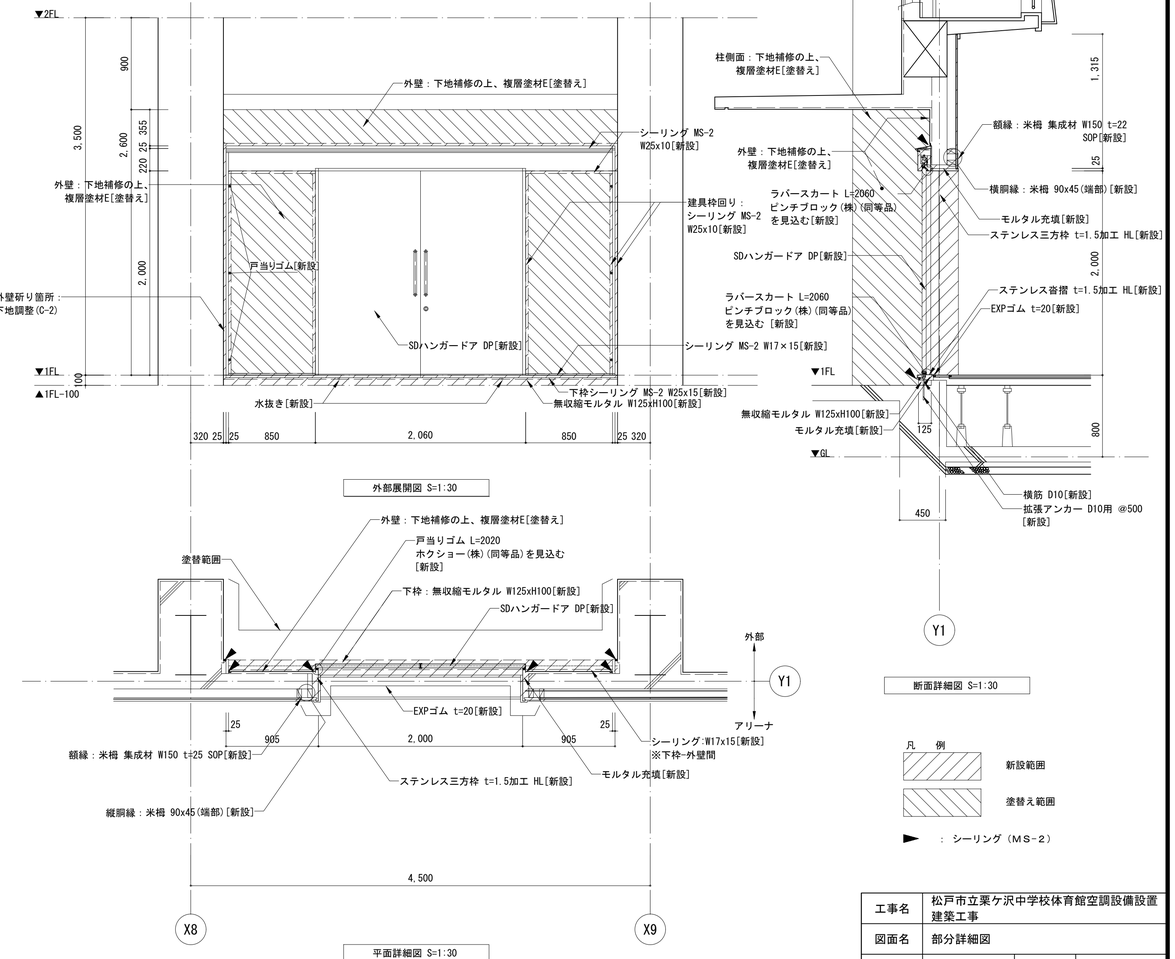
M ： カッター入れ(モルタル)

C ： カッター入れ(コンクリート)

改修後



内部展開図 S=1:30



外部展開図 S=1:30

平面詳細図 S=1:30

断面詳細図 S=1:30

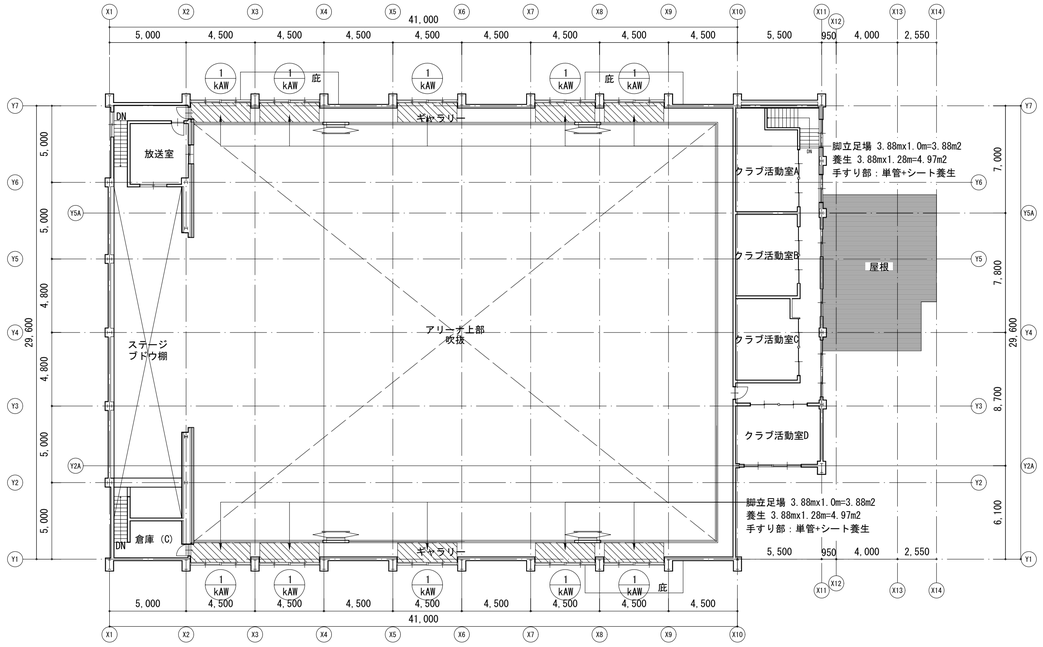
凡　例

新設範囲

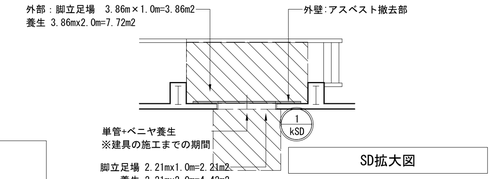
塗替え範囲

▶ ： シーリング（MS-2）

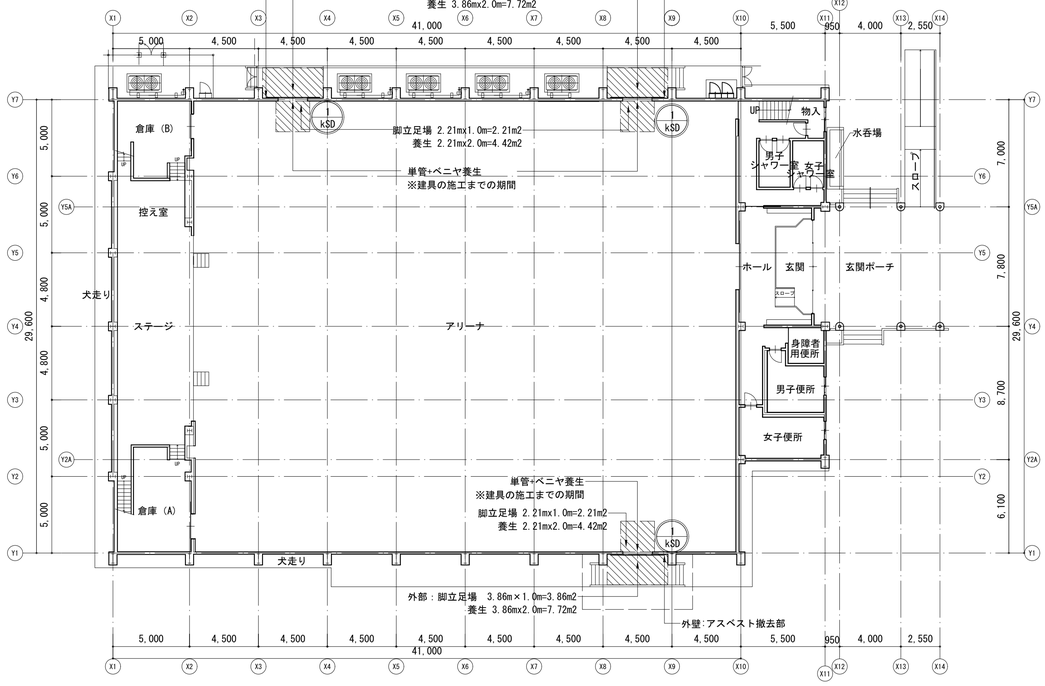
工事名	松戸市立栗ケ沢中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	部分詳細図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1：30	図面番号	A-10
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



2階平面図 S=1:200

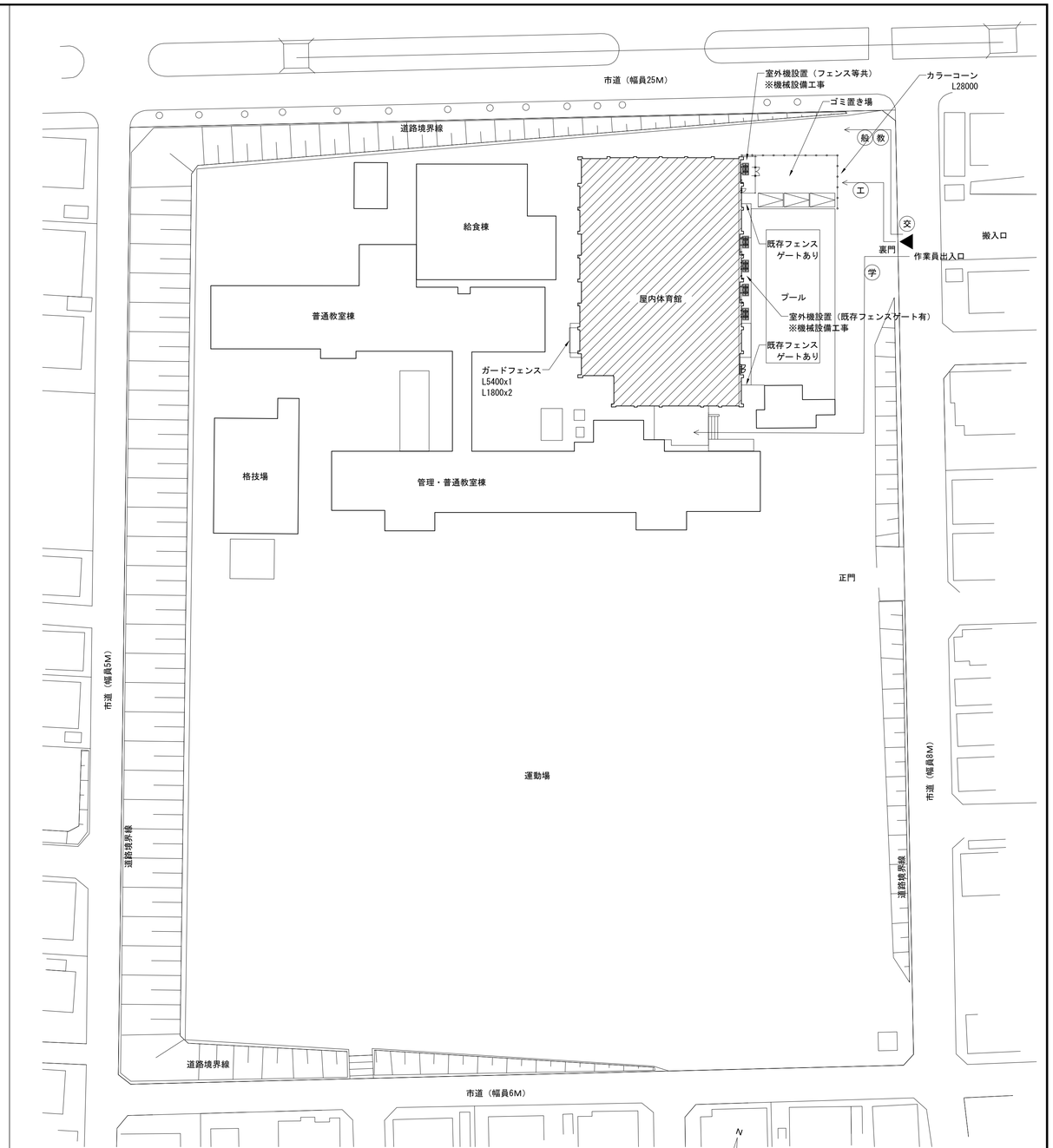


SD拡大図



1階平面図 S=1:200

凡　例　表	
	養生・整理清掃（個別）



配置図 S=1:500

凡　例　表	
▼	作業員出入口
交	交通誘導員
学	生徒・学校関係者を示す
教	教員車両を示す
般	一般車両を示す
工	工事車両を示す
― ―	ガードフェンス H1800
○―○	カラーコーン・バー

＜全体仮設計画＞

1. 学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・バー）を設置する
2. 足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
3. 工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900x600程度を公衆の見やすい場所に設置
4. 工事に使用する重機は、低振動タイプのものとし低速走行にて振動を抑えるものとする
5. 工事に使用する搬重機（クレーン車等）は、安全上十分なものを使用すること
6. 登下校時の車両の出入りはしないこと

＜特記事項＞

・本図面は参考図として工事を行う際に、必要な仮設を検討し、請負者負担で設置すること。
・仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。

工事名	松戸市立栗ケ沢中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計画図（案）		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	1:200 1:500	図面番号	A-11
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

松戸市立新松戸南中学校体育館空調設備設置建築工事

図面リスト	
意匠図	
図面番号	図面名称
A-00	表紙・図面リスト
A-01	改修工事特記仕様書－１
A-02	改修工事特記仕様書－２
A-03	改修工事特記仕様書－３
A-04	改修工事特記仕様書－４
A-05	配置図・案内図・仕上表
A-06	１階平面図
A-07	２階平面図
A-08	改修前・改修後 建具表キープラン
A-09	改修前 建具表
A-10	改修後 建具表
A-11	部分詳細図
A-12	仮設計画図（案）

工事名	松戸市立新松戸南中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	No Scale	図面番号	A-00
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

松戸市立新松戸南中学校体育館空調設備設置建築工事　　令和　7年　2月

仕　様　書

Ⅰ　工事概要

1. 工事場所　　松戸市新松戸南二丁目１２４番地

2. 敷地面積　　17,155㎡

3. 改修建物概要
用　　途：中学校（体育館）
構　　造：S造
階　　数：地上２階
延べ面積：1,200㎡(アリーナ)

4. 工事内容

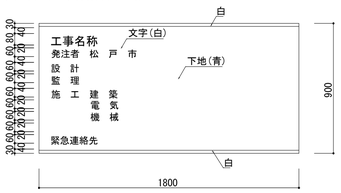
工事種目	工事範囲
2　仮設工事	足場設置・資材置場
3　防水改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴うシーリング
4　外壁改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴う仕上材塗替
5　建具改修工事	SDハンガードア 撤去・新設、ガラス改修工事（フィルム張を含む）
6　内装改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴う内装工事
7　塗装改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴う内壁塗装、SDハンガードア塗装
9　環境配慮改修工事	SDハンガードア 撤去に伴うアスベスト含有外壁仕上げ材部分除去
10　その他	－

Ⅱ建築工事仕様

1. 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様に記載されれいない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）(令和4年版)」(以下、「改修標仕」という。)及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「標仕」という)による。

2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に◯印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、・印の付いたものを適用する。
・印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
・印と※印の付いた場合は共に適用する。
(3) 特記事項に記載の［　　］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(5) G 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。

松戸市建築工事現場表示板仕様



(1)材料
1) 耐水合板（ラワン厚み12mm SOP仕上げ）
2) 枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。

(2)注意事項
1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	①運用基準等	・松戸市建築工事に関する提出書類 ・工事写真の撮り方 建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ・松戸市建築工事現場表示板仕様
	②工事実績情報サービス（CORINS）への登録	※ 適用する　[1.1.4]
	③施工計画書	・工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。　[1.2.2] ・施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。 ・施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。 ・施工図等の内容を変更する必要が生じた場合は監督職員に報告する。
	4 電気保安技術者	・ 工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。　[1.3.3]
	⑤施工条件	※　現場説明書による　[1.3.5]
	⑥発生材の処理等	※ 現場説明書による　・場外搬出適正処理　[1.3.12]
	⑦材料の品質等	[1.4.2] 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 (3)安定的な供給が可能であること。 (4)法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。 (5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（(社)公共建築協会 他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
	8 化学物質を放散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 2)保温材、衝撃材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 3)接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 5)1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFoo規格品
	9 特別な材料の工法	様仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	⑩ 技能士	[1.6.2]

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立作業)
コンクリート工事	・型枠施工
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築　・ALCパネル施工
防水工事	・アスファルト防水工事作業　・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塗膜防水工事作業　・シーリング防水工事作業
石工事	・石材施工(石張り施工)
タイル工事	・タイル張り
木工事	・建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金(内外装板金作業)
金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)
左官工事	・左官
建具工事	・サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア施工 ・鋼製建具施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工
塗装工事	・塗装(建築塗装作業)
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業　・ボード仕上げ工事作業 ・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)　・表装(壁装作業)
植栽工事	・造園

章	項　目	特　記　事　項
	11 化学物質の濃度測定	[1.6.9] 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定　・行う 測定対象室　・－ 測定箇所数　・－
	⑫ 完成図等	※作成する　・作成しない　[1.8.1～3][表1.8.1] ※完成図　ＣＡＤデータ
2 仮設工事	13 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。 ・カラー　外部(　)　内部(　)　※1　・6　※100×125以上 ※キャビネ版 ・べた焼き ・(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出) ※カラー半切木製パネル　外部(　)　内部(　)　※2　・ 324×400(㎜) ・電子データ　外部(　)　内部(　)　※2　※200万画素以上 ※300dpi以上 100×125以上の原版を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。 電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)
	⑭ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	15 設計GL	※図示　・設計GL＝現状GL
	⑯ 工事写真	※着工前、完成写真2部　工事工程写真1部
	⑰ ワンデーレスポンスの実施	ワンデーレスポンスの取り組みについて 1. この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは 受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程 3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。 4. 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。
	⑱ 火災保険等	※火災保険等の証券等の写しを提出すること。
	① 足場その他	内部足場　種別　※脚立、足場板　・棚足場　[2.2.1] 外部足場　手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。　[2.2.1][表2.2.1] 屋根工事及び小屋組みの建方工事における墜落事故防止対策はJIS A 8971に基づき設置すること。 材料、撤去材等の運搬方法　[2.2.1][表2.2.1] ・A種　※B種　・C種　・D種　・E種 ・定置する足場、作業構台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。
	② 養生	既存部分の養生　※ビニールシート　・合板　厚12　[2.3.1] 既存家具等の養生　※ビニールシート　・ 固定家具等の養生　※行う　・行わない
	3 仮設間仕切り	仮設間仕切り等の種別　[2.3.1][表2.3.1] 種　別 / 下　地 / 仕上材(厚さ　㎜) / 充てん材 / 塗　装 ・A種 / ※軽量鉄骨 / ・合板(※9.0 ・ラワン　) / ※無し ・B種 / ・木下地 / ※せっこうボード(※12.5 ・　) / 厚さ　㎜ / ・片面 ・C種 / ・単管下地 / 防炎シート ・仮設扉 / ※木製扉 / ※合板張り程度 / ※無し ・鋼製扉 / ※片面フラッシュ程度 / ・有り
	4 監督職員事務所	規模及び仕上げの程度は現場説明書による。　[2.4.1]
	⑤ 工事用水	構内既存の施設　・利用できない　※利用できる(※有償　・無償)　[2.4.1] ※子メータを設置する。
	⑥ 工事電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる(※有償　・無償)　[2.4.1]
	7 防音パネル	※アルミ製(解体作業期間)
	8 仮囲	・キャスターゲート　W= 3.0 m、H= 1.8 m、　箇所 ・キャスターゲート　W= 6.0 m、H= 1.8 m、1箇所
	9 仮囲い	・万能鋼板　H= 2.0 m、L=　m、　箇所 ※成型鋼板　H= 2.0 m、L=　m、　箇所　・図示 ・ガードフェンス　H= 1.8 m　箇所　・図示
	10 仮設道路	・砕石敷(厚さ　㎜　幅　㎜)　L=　m (砕石は、再生クラッシャランを使用) ・鋼板敷(厚さ　㎜　幅　㎜　L=　m)　枚
3 防水改修工事	1 アスファルト防水	[3.3.2][表3.1.1][表3.3.3～10] 防水改修工法の種類 / 施工箇所 / 新規防水層の種別 保護防水 / ※P1B ・P1B1 ・T1B1 / / ・B-1 ※B-2 ・B1-1 ※B1-2 保護防水 / ・P2A1 / / ・A1-1 ※A1-2 水露出防水 / ※P2A ・M4C / / ・A-1 ※A-2 ・C-1 ※C-2 防水露出・屋内防水 / ・M3D ・P0D ・P1E ・P2E / / ・D-1 ※D-2 ・E-1 ※E-2 〈保護層は図示による〉 アスファルトの種類　※3種　・4種　[3.2.2][3.3.2] 保護コンクリートのコンクリート種類　・普通コンクリート(18N/＊ S=18㎜)　[3.3.2][8.11.1] (溶接金網　径6㎜　100㎜×100㎜敷設) P0D工法の二重ドレン　※設けない　・設ける　[3.2.5] M3D、P0D工法の脱気装置　※設けない　・設ける　[3.3.3] 既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合)　・除去する　[3.2.6] 断熱工法の断熱材　厚さ(㎜)　※25　・　[3.3.2] ただし、特定フロンを含まないもの。 立上り部の保護　[3.3.2] ・れんがの種類　※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形コンクリートブロックとする。 ・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ15㎜
	2 改質アスファルトシート防水	[3.4.2][表3.1.1][表3.4.1～3] 防水改修工法の種類 / 施工箇所 / 新規防水層の種別 / 厚さ(㎜) ・M4AS工法 / / ・AS-1 ・AS-2 ・AS-3 / ・M3AS工法 ・P0AS工法 / / ・AS-4 ・AS-5 ・AS-6 / ・M3ASI工法 ・M4ASI工法 ・P0ASI工法 / / ・ASI-1 ・ASI-2 / 脱気装置　※設けない　・設ける

章	項　目	特　記　事　項
	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	[3.5.2][表3.1.1][表3.5.1～3] 防水改修工法の種類 / 施工箇所 / 新規防水層の種別 / 仕上げ塗料等 / 使用分類 ・P0S工法 / / ・S-F1 ・S-M1 / ・カラー ・シルバー / ※非歩行 ・軽歩行 ・L3S工法 / / ・S-F2 ・S-M2 ・S3S工法 / / / / ・M4S工法 / / ・S-M1 ・S-M2 / ・P0SI工法 / / ・SI-F1 ・SI-M1 / ・L3SI工法 / 講堂屋根 階段室A下り屋根 / ・SI-F2 ・SI-M2 / ・S4SI工法 / / ・SI-M3 / 脱気装置　※設けない　・設ける　[3.5.3] 目地処理　PCコンクリート　[3.5.4]
	4 塗膜防水	[3.6.2～4][表3.1.1][表3.6.1] 防水改修工法の種類 / 施工箇所 / 新規防水層の種別 ・L4X工法 / ※図示 / ・X-1(絶縁工法) ・P0X工法 / / ・X-2(密着工法) 既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合)　・活膜を残す　[3.2.6] 脱気装置　※設けない　・設ける　[3.6.3]
	5 脱気装置	[3.3.2][3.4.2][3.5.2][3.6.2][表3.1.1] 種　類 / 材　質 / 設置数量 ・平面部脱気型 / ・ポリエチレン樹脂　・ABS樹脂 ・ステンレス　・鋳鉄 / ・約50㎡当たり1箇所 ・立上り部脱気型 / ・合成ゴム　・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス　・銅 / ・(　)㎡当たり1箇所
	⑥ シーリング	シーリング改修工法の種類　[3.1.4]　[表3.1.2] ・シーリング充填　・シーリング再充填工法　・シーリング打替え ・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所　[3.7.2]　[表3.7.1] ※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする 施工箇所 / シーリング材の種類　(記号) ・打ち継ぎ目地、伸縮目地 / ・ポリウレタン系(PU-2)仕上げあり ・新設建具廻り、金属取合い / ・変成シリコーン系(MS-2)仕上げなし ・ガラス廻り / ・シリコーン系(SR-1)
	7 とい	といの材種　[3.8.2]　[表3.8.1] ・配管用鋼管　※カラー硬質塩化ビニル管　・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU) G 鋼管製といの防露　[3.8.2]　[表3.8.3] ・次の箇所は行わない(　　) 防露材のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆　・ 掃　除　口　※有り　・無し　・ たてどい受金物の取付け　[3.8.3]
	8 アルミニウム製笠木	[3.9.2～3]　[表3.9.1] 種　類 / 呼称肉厚(㎜) / 製品幅(㎜) / 固定間隔 / 備　考 ・150形 / ※1.2種度 / ※150 / 固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの / 隅角部及び突き当り部等の役物は本体製造所の仕様による。 ・300形 / ※1.8以上 / ※300 ・350形 / ※2.0以上 / ※350 板材折曲げ形の取付工法　・図示　[3.9.3]
	9 折板葺	(13.3.2～3) 形　式　※重ね形　・はぜ締め形　・ 形状(㎜)　山高(　)　山ピッチ(　)　板厚　・0.6　※0.8 材　料　※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (規格等)　(CGLCCR-20-AZ150) 軒先面戸板　※有り　・無し 断　熱　材　・有り(種別：　厚さ：　㎜)　※無し 耐火性能　・30分耐火　※無し
	⑩ 保証期間	※ 10年保証とする。
4 外壁改修工事 共通事項	① 施工数量調査	調査範囲　※外壁改修範囲　・図示の範囲　[1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。　また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び剥落を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。 調査報告書の部数　※2部　・ 既存塗装面外壁補修想定数量 補修項目 / 外壁 ひび割れ 0.2mm未満 / ３．０ｍ ひび割れ 0.2mm以上 / ３．０ｍ 欠損部（100×100程度） / ８箇所 一般部浮き / ２．０㎡ 塗膜脆弱部(既存塗膜除去部) / ４．４㎡

工事名	松戸市立新松戸南中学校体育館空調設備設置建築工事
図面名	改修工事特記仕様書-1
作成年月日	令和7年2月10日
変更年月日	－
縮　尺	No Scale
図面番号	A-01
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号
松戸市　街づくり部　建築保全課	

章	項目	特記事項
4 外壁改修工事 共通事項	②改修材料	⊙既製調合モルタル 保水率(%): 70.0以上 / 単位容積質量(kg/l): 1.80程度 / 接着強さ(N/*) 標準時: 0.60以上 / 接着強さ(N/*) 温冷繰り返し後: 0.40以上 / 長さ変化率(%): 0.20以上 / 曲げ強さ(N/*): 4.0以上 ⊙パテ状エポキシ樹脂 初期硬化性(標準): 2.0N/*以上 / 接着強さ(標準): 6.0N/*以上 / 圧縮強さ: 50.0N/*以上 / 曲げ強さ: 30.0N/*以上 / 硬化収縮率: 3.0(%)以上 a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。 ・可とう性エポキシ樹脂 性能: 常温物性 1.0N/*以上 / 低温性 1.0N/*以上 / 加熱変化 1.0N/*以上 / 引張接着性 最大引張応力 1.0N/*以上 伸び: 30.0%以上 / 30.0%以上 / 30.0%以上 / 破断時の伸び 10.0%以上 比重 表示値±0.10 押出し性 60秒以下 スランプ 3mm以下 加熱減量 5%以下 a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。 ・タイル部分張替え工法用材料 接着強さ: 標準 0.60以上 / 低温硬化 0.40以上 / アルカリ温水 0.40以上 / 冷熱水中繰返し 0.40以上 / 熱劣化 0.40以上 凝集破壊率(%): 75以上 / 50以上 / 50以上 / 50以上 / 50以上 皮膜物性: 標準 / 高温 / 低温 / アルカリ温水 / 熱劣化 引張強さ(N/*): 1.00以上 / 1.00以上 / 1.00以上 / 1.00以上 / 1.00以上 伸び(%): 30以上 / 30以上 / 30以上 / 20以上 / 20以上 貯蔵安定性 容積と粘土に著しい変化がないこと。 耐熱性 JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。 a.外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b.タイル、石材、下地等侵すものでないこと。 c.「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 e.ずれ抵抗性があること。 f.混錬終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。 ⊙エポキシ樹脂モルタル 接着強さ: 1.0N/*以上 / 圧縮強さ: 20.0N/*以上 / 曲げ強さ: 10.0N/*以上 a.こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。 b.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 c.「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。 d.形状に異常が無く、垂れが生じないこと。 e.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 ⊙ポリマーセメントモルタル ポリマーセメントモルタルの種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレン一酢ビ系等 曲げ強さ(N/*): 6.0以上 / 圧縮強さ(N/*): 20.0以上 / 接着強さ(N/*) 標準時: 1.0以上 / 接着強さ(N/*) 湿潤時: 0.8以上 / 接着強さ(N/*) 低温時: 0.5以上 表面状態 垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。 透水性 裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 ・ポリマーセメントスラリー 広がり速度(cm/s): 3以上 / 長さ変化率(収縮): 3.0%以下 / 引張接着性(材齢28日): 0.5N/*以上 / 曲げ性能(材齢28日): 5.0N/*以上 / 吸水性(72時間): 15%以下 / 耐久性(劣化曲げ強さ): 6.0N/*以上 保水係数 0.35～0.55 粘調係数 0.50～1.00 ・吸水調整材 項目: 全固形分(%) 表示値±1%以内 / 吸水性(g) 30分で1g以下 / 接着強度(N/*) 0.98以上 / 界面破断率(%) 50%以下 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁	①ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4] 注入工法の種類: ひび割れ幅(mm) / 注入口間隔(mm) / 注入量(ml/m) / 備考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～1.0未満 / ※200～300 / ※製造所の仕様による ⊙手動式エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～0.3未満 / ※50～100 / ※40・ 0.3以上～0.5未満 / ※100～200 / ※70・ ・機械式エポキシ樹脂注入工法: 0.5以上～1.0未満 / ※150～250 / ※130・ 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜取り) ※行わない [4.3.4] ・行う(抜取り部の補修方法:) ⊙Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] 充填材料: 品質・規格等 / 備考 ⊙シーリング用材料: ※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材 / ポリマーセメントモルタル充填 ※行わない・行う ・可とう性エポキシ樹脂: JIA A 6024 ⊙シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6] ⊙パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024) ・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)
	②欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む)	⊙充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ⊙エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ポリマーセメントモルタル
	③浮き部改修工法	⊙アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法(16本/㎡) [4.1.4][4.4.10] (モルタル笠木・パラペット天端部分)
	4 巾木モルタル塗	・樹脂モルタル T3
4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	1 既存モルタル塗りの撤去	・行う(※監督職員の指示による)
	2 ひび割れ部改修工法	・既存モルタル撤去工法(範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による) ※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.2][4.4.5] 注入工法の種類: ひび割れ幅(mm) / 注入口間隔(mm) / 注入量(ml/m) / 備考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～1.0未満 / ※200～300 ・手動式エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～0.3未満 / ※50～100 / ※40・ 0.3以上～0.5未満 / ※100～200 / ※70・ ・機械式エポキシ樹脂注入工法: 0.5以上～1.0未満 / ※150～250 / ※130・ 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜取り) ※行わない [4.3.4] ・行う(抜取り部の補修方法:) ・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] 注入工法の種類: 品質・規格等 / 備考 ・シーリング用材料: ※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材 / ※行わない・行う ・可とう性エポキシ樹脂: JIA A 6024 ・シール工法(亀裂が0.2mm未満) [4.1.4][4.2.2][4.4.7] (※既存モルタル面 、既存躯体コンクリート面)。 ・パテ状エポキシ樹脂(JIA A 6024) ・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024) ・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [4.2.2][4.6.3] (※シール工法の範囲 ・監督職員の指示による)
	3 欠損部改修工法	・既存モルタル面の欠損部 [4.1.4][4.4.8～9] 改修工法の種類: 材料 / 品質・規格等 ・充填工法: エポキシ樹脂モルタル ・モルタル塗替え工法: 改修標仕4.2.2(7)による / 塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない ・図示
	4 浮き部改修工法	[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] 改修工法の種類(モルタルを撤去しない場合): アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部 / 指定部 / 注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部 / 指定部 / 充填量 注入量 ・アンカーピニング部分 エポキシ樹脂注入工法: ※16 / ※25 / ※狭幅部：5本/m / ※狭幅部：5本/m / ※25ml ・アンカーピニング全面 エポキシ樹脂注入工法: ※13 / ※20 / ※12 / ※20 / ※25ml ※25ml ・アンカーピニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法: ※13 / ※20 / ※12 / ※20 / ※25ml ※50ml ・注入口付アンカーピニング部分 エポキシ樹脂注入工法: ※9 / ※16 / ※25ml ・注入口付アンカーピニング全面 エポキシ樹脂注入工法: ※9 / ※16 / ※9 / ※16 / ※25ml ・注入口付アンカーピニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法: ※9 / ※16 / ※9 / ※16 / ※25ml アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。
	5 巾木モルタル塗	・樹脂モルタル T3
4-3 外壁改修工事 タイル仕上げ外壁	1 既存タイル張りの撤去	・外壁タイル張り全面 ・部分撤去 [4.5.2] 撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張り付けモルタルまで ・タイルのみ
	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面(・コンクリート面 ・モルタル面) ※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5] ひび割れ幅(mm) / 注入口間隔(mm) / 注入量(ml/m) / 備考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～1.0未満 / ※200～300 / ※ ・手動式エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～0.3未満 / ※50～100 / ※40・ 0.3以上～0.5未満 / ※100～200 / ※70・ ・機械式エポキシ樹脂注入工法: 0.5以上～1.0未満 / ※150～250 / ※130・ 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4] ・行う(抜き取り部の補修方法:) ・Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6] 充填材料: 品質・規格等 / 備考 ・シーリング用材料: ※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材 / ※行わない・行う ・可とう性エポキシ樹脂
	3 欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む)	・充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ・エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ポリマーセメントモルタル

章	項目	特記事項
	4 浮き部改修工法	[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] 改修工法の種類(タイルを撤去しない場合): アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部 / 指定部 / 注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部 / 指定部 / 充填量 注入量 ・アンカーピニング部分 エポキシ樹脂注入工法: ※16 / ※16 / ※25ml ・アンカーピニング全面 エポキシ樹脂注入工法: ※13 / ※20 / ※12 / ※20 / ※25ml ※25ml ・アンカーピニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法: ※13 / ※20 / ※12 / ※20 / ※25ml ※50ml ・注入口付アンカーピニング部分 エポキシ樹脂注入工法: ※9 / ※16 / ※25ml ・注入口付アンカーピニング全面 エポキシ樹脂注入工法: ※9 / ※16 / ※9 / ※16 / ※25ml ・注入口付アンカーピニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法: ※9 / ※16 / ※9 / ※16 / ※50ml ・注入口付アンカーピニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法: ※9 / ※16 / ※9 / ※16 / ※50ml アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。
	5 下地処理	サンダーケレンの上、モルタル薄塗 [4.2.2][4.6.3]
	6 タイルクリーニング	工業用塩酸
4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	①既存塗装等の撤去及び下地処理	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4] 工法: 処理範囲 / 下地面の補修 ・サンダー工法: ※補強範囲 図示 / ・ひび割れ部改修工法 ※高圧水洗工法 加圧力 ※12MPa程度: ※塗替え範囲 図示 / ・浮き部改修工法 ⊙塗膜はく離剤工法: ※既存仕上面全体 / ・欠損部改修工法 ・水洗い工法: ※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 塗装はく離剤 [4.2.2]
	②下地調整材	※下地調整材C-1 (既存塗装除去部分) [4.2.2][4.6.3] ※微弾性フィラー (既存吹付タイル面・既存複層塗材面) [4.2.2][4.6.3]
	③仕上げ塗材仕上げ	種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4] 種類: 呼び名 / 仕上げの形状 / 上塗材の種類 ・薄付け仕上塗材: ・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S / ・砂壁状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 ・凸凹状 ・平たん状 / 耐候性 ※耐候形3種 ・耐候形1種 ⊙複層仕上塗材(既存塗装除去部分): ・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材Si ⊙複層塗材E ・複層塗材RE ・複層塗材RS ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS / ⊙ゆず肌状 ・凸凹処理 ・凸凹状 / 溶媒 ※水系 ・弱溶剤系 ・溶剤系 / 樹脂 ※アクリル系 ・ウレタン系 ⊙シリコン系 / 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック / 防水形の増塗材 ※行う ・可とう形改修用仕上塗材: ・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE / ・平たん状 ・さざ波状 ※ゆず肌状
	4 その他の仕上げ	防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2](15.6.2) ※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。 ※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。 ・基礎巾木仕上塗材: ※エスケー化研㈱ ベースプロテクト同等品とする / ※菊水化学工業㈱ 基礎ｶﾞｰﾄﾞ同等品とする ・水性反応硬化形軒天用仕上塗材: ※エスケー化研㈱ ノキフレッシュ同等品とする / ※菊水化学工業㈱ ノキテンファイン同等品とする ・ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し保護仕上げ塗材: ※エスケー化研㈱ セラミRC-FR工法同等品とする
5 建具改修工事	①改修工法の適用	[5.1.3] 種類: かぶせ工法 / 撤去工法 / 備考 ・アルミニウム製建具: ・有り / ・有り ⊙鋼製建具 ⊙外部: ・有り / ⊙有り ・内部 ・鋼製軽量建具 ・ステンレス製建具 ・自動ドア開閉装置 ・重量シャッター
	2 見本の製作等	・特殊な建具の仮組(建具符号 :) [5.1.5]
	3 アルミ製建具	外部に面する建具 [5.2.2][表5.2.1] 種別: 耐風圧性 / 気密性 / 水密性 / 枠見込み(mm) / 施工箇所 ・A種: S-4 / ※A-3 / ※Ⅲ-4 / ※70 / ・図示 ・B種: S-5 / ・ / ・ / ・100 ・C種: S-6 / A-4 / Ⅲ-5 / 100

章	項目	特記事項
		表面処理 [5.2.4][表5.2.2] ・BA-1種 ・BA-2種(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) 屋内建具 表面処理 ※C-1種又はB-1種 [5.2.4][表5.2.2] ・C-2種又はB-2種(ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
	4 網戸	防虫網 [5.2.3] 網の種別 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ※ステンレス(SUS316)製 形 式 ・外部可動式 ※固定式
	⑤鋼製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1] 耐風圧性能の適用は建具表による 特定防火設備戸 ・適用する [5.4.4]
	6 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1～2]
	7 ステンレス製建具	簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による 表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・適用する [5.1.4]
	8 自動ドア開閉装置	※製造所標準製作の規定寸法許容差による [5.8.2～4][表5.8.1～5] 開閉方法: 検出装置の種類 ※引き戸: ・光線(反射)センサー ・熱線センサー ・多機能トイレ出入口引き戸: ・音波センサー ・光電センサー ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・多機能トイレスイッチ ・凍結防止装置(適用箇所は建具表による)
	9 自閉式上吊り引戸装置	品質規格 ※改修標仕5.9.3による。 [5.9.3][表5.9.1] ・製造所標準仕様による。
	10 木製建具	※建具表による。 かまち戸の樹種 かまち( ) 鏡板( ) (16.7.2)(表16.7.2) ふすまの上張り ※新鳥の子程度又はビニル紙程度(押入れ等の裏面は除く) (表16.7.3) ・鳥の子 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.7.2) ※F☆☆☆☆ ・非ホルムアルデヒド系接着剤
	⑪建具用金物	マスターキー ・製作する ※製作しない [5.7.4] 建具用金物 [5.7.2][表5.7.1～3] 錠類はシリンダー箱錠(レバーハンドル)とする。 なお、鋼製建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。 ⊙図示による 吊金物 ・丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい) ・ピボットヒンジ
	12 ガラス	建具表による [5.13.2] ・ガラスブロック 改修標仕5.13.5 [5.13.5] 寸法(mm): 色調 / パターン / 防火認定 ※クリア ・熱線反射 / ※無し ・乳白 ・カラー( ) / ・有り
	13 ガラス留め材及び溝	ガラス留め材 [5.13.2～3] 建具の種類: 種類 アルミニウム製: ※シーリング材 ・ガスケット(FIX部はシーリング材) 鋼製及び鋼製軽量: ※シーリング材 ステンレス製: ※シーリング材 防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。
	⑭ガラス用フィルム	名称: 種類 / 張り面 / 性能値 ※ガラス飛散防止フィルム: 第2種 / ※内張り ・外張り / 飛散防止率 D1 ・目かくしフィルム ⊙遮熱フィルム: 第2種 / ※内張り ⊙外張り / 飛散防止性能あり 品質JIS A 5759による 建具表による [5.13.2]
	15 重量シャッター	[5.10.2][表5.10.1] シャッターの種類 ・一般重量シャッター: 耐風圧性能( )N/㎡ ・外壁用防火シャッター: 耐風圧性能( )N/㎡ ・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター 品質JIS A 4705による 開閉機能 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 危害防止機構 ※障害物感知装置(自動閉鎖型) [5.10.2] ・シャッターの二段降下方式 一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない [5.10.2]
	16 軽量シャッター	[5.11.2][表5.10.1] 開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 [5.11.3] 形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] ガイドレール等 [表5.10.2] ※鋼板製 ・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm) 耐風圧性能( )N/㎡

工事名	松戸市立新松戸南中学校体育館空調設備設置建築工事
図面名	改修工事特記仕様書-2
作成年月日	令和7年2月10日 / 変更年月日 / －
縮尺	No Scale / 図面番号 / A-02
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号
松戸市 街づくり部 建築保全課	

5 建具改修工事

17 オーバーヘッドドア

[5.13.2～5][表5.13.1～2]

セクション材料による区分	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ	※バランス式	・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	・ステンレス鋼板
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	(SUS304)
		・バーチカル形	

耐風圧性能(　　)N/㎡　JIS A 4715

18 かぎ箱

市販品
形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

6 内装改修工事

① 改修範囲

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲　[6.1.3]
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま。
・図示の範囲

2 既存床の撤去並びに下地補修

ビニル床シート等の除去　※仕上げ材のみ(接着剤とも)　[6.2.2]
・鋼製床組下地とも(※図示の範囲　・除去範囲全て)
カラードフロアの撤去　・機械的除去工法　・目荒し工法
改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の案内　・

3 既存壁の撤去並びに下地補修

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修　[6.3.2][4.3.10]
・図示
・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強　※行う　・行わない)

④ 木下地等 (AP-1、2)

木材の品質　図示　[6.5.2][表6.5.1]
※改修標準仕様書6.5.2による　・市販品
代用樹種　※改修標仕表6.5.4による　[6.5.2][表6.5.2]
・代用樹種を適用しない箇所(　　)
保存処理木材を適用する箇所(　　)

⑤ 集成材等 G (額縁等)

[6.5.2]

品　名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	○米栂　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	・1種 ※2種 ・3種	・	
・造作用集成材	※1等 ・2等	・タモ	
・化粧ばり造作用集成材	※1等 ・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

⑥ 接着剤

[6.5.3]
※F☆☆☆☆
・非ホルムアルデヒド系接着剤

7 防腐、防蟻処理

行う箇所(　　)　[6.5.5]
防腐処理　※行う(※図示　　)
防蟻処理　・行う(※図示　　)
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。

8 床板張り

フローリング及び繊甲板張り床　[6.5.8][6.11.2][表6.5.8]

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合　板	t12mm
		・パーティクルボード	t15mm
床板	※単層フローリング(共仕19.5.2による)	ホルムアルデヒドの放散量	※F☆☆☆☆　・
	・繊甲板	※ひのき	

※フクビ　フリーフロアCP-F同等品

9 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　[6.6.2]　[表6.6.1～2]
屋外(・19形 ※25形)　屋内(※19形 ・25形　※角スタッド工法 65形)
既存の埋込みインサート　・使用する ※使用しない　[6.6.4]
あと施工アンカーの確認試験　・行う ※行わない

10 軽量鉄骨壁下地

スタッドの高さが5mを超える場合　※図示　[6.7.3]　[表6.7.1]

11 ビニル床シート張り

[6.8.2]

種　類	JISの記号	色　柄	厚さ(mm)
※発砲層のないもの	※NC　・	※無地 ・マーブル柄	※2.5
・発砲層のあるもの		※柄物 ・無地	
・防滑性ビニル床シート	・NF ・NC	・柄物 ・無地	・2.5
・防汚性ビニル床シート			・2.0

工法　※熱溶接工法　・突付け(施工箇所:　　)　[6.8.3]
・防汚性ビニルシート：下記同等品とする。
ロンシール工業㈱ヤニタリウム　t=2.0
タキロンシーアイ㈱ネオクリーン　t=2.0
東リ㈱消臭ＮＳトワレＮＷ　t=2.0
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

12 ビニル床タイル張り

[6.8.2]

種　類	JISの記号	厚さ(mm)	備　考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS		
・ホモジニアスビニル床タイル	HT		

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

13 帯電防止床タイル張り

[6.8.2]

種　類	厚さ(mm)	性　能
※コンポジションビニル床タイル	※2　・	体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	1.0×10⁷Ω以下、または、
		漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
		1.0×10⁷Ω未満

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

14 視覚障害者用床タイル (誘導用及び注意喚起用床材)

ブロックパターンはJIS T 9251による　[6.8.2]
色彩は黄色を原則とする。
屋内　※塩化ビニル製　・磁器又は石器質タイル(※300　・　　)
・レンジコンクリート製
屋外　※レンジコンクリート製　・磁器又は石器質タイル(※300　・　　)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

15 ビニル幅木

高さ　(mm)　・60　・75　・100　[6.8.2]
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

16 合成樹脂塗床

[6.10.2～3][表6.10.1～8]

種　類	仕上の種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ工法(※平滑　・防滑)
	・厚膜流しのべ工法(※平滑　・防滑)
	・樹脂モルタル工法(※平滑　・防滑)
	・薄膜型塗床工法(※平滑)

ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970　※F☆☆☆☆　・

17 フローリング張り

[6.11.2～7][表6.11.1～6]

種　別	材　種	工　法	仕上塗装等	備考
・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品	
・大型積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
・単層フローリング	・ブナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
	・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品	
・フローリングブロック	・ブナ	・直張り	※塗装品	

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

18 畳敷き

[6.12.2～3][表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
改修標仕 表6.5.10による床組	※B種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種　・

19 ポリスチレンフォーム床下地材

畳下地　厚さ(mm)　※40　・65　・80
フローリング類　厚さ(mm)　※80　・95

20 カーペット敷き

・織じゅうたん　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

種　別	パイル糸の種類	帯電性	色柄等	備考
・A種	・そ毛糸	人体帯電圧	※無地	
・B種	・紡毛糸	※3kV以下	・柄物(標準品)	
・C種	・紡毛糸			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タフテッドカーペット(JIS L 4405)　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	パイル長(mm)	工　法	備考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法	
	※4～6　・	・グリッパー工法	
・レベルループパイル	※4　・		
・カット、ループ併用			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タイルカーペット　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	種　類	規　格	総厚さ(mm)	備　考
※ループパイル	※第一種	※500×500	※6.5	
	・第二種			
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下(フリーアクセスフロア新設範囲)

21 石膏ボードその他のボード張り

[6.13.2][表6.13.1]

種　類	厚さ(mm)　規格
・硬質木毛セメント板 G	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板 G	・15　・20　・25　・
・ケイ酸カルシウム板	タイプ2(無石綿)　(・6　・8　・　)
・ロックウール化粧吸音板	※フラットタイプ (※9(不燃)　・12　・　) ・凸凹タイプ (※12(不燃)　・15　・19　・　)
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)	※フラットタイプ9(不燃) ・凸凹タイプ(※12　・15)(不燃)
・せっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(準不燃)
・不燃積層せっこうボード	9.5(不燃)　化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)
・シージングせっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(不燃)
・強化せっこうボード	・12.5(不燃)　・21.0(不燃)
・せっこうラスボード	・9.5　・12.5
・化粧せっこうボード	・9.5(準不燃)
・化粧せっこうボード(木目)	・12.5(不燃)幅440mm程度 模様(※柾目　・板目)専用下地材付き
・難燃合板 G	・生地、透明塗料塗り(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗り(ラワン合板程度)厚さ・12
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による　厚さ　・4.0
・ミディアムデンシティファイバーボード G	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード G	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボーイ(素地) G ※規制対象外　・第三種	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・研磨板　(・スタンダード　・テンパード)
・インシュレーションボード G	A級(・天井仕上　・内装仕上　・　) ・9　・12　・15　・18　・
・フレキシブル板	厚さ　・5.0
・(有孔)シナ合板	厚さ　・5.0

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
・適用する　※適用しない

22 吸音材

[表6.13.1]

種　類	規格番号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	JIS A 6301	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	JIS A 6301	※25　・

23 壁紙張り (掲示用クロス)

[6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維(織物)	プラ(ビニル)	その他(化学繊維)	紙	防火性能	備　考
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	

下地調整　[6.14.3][表7.2.4][表7.2.7]
モルタル、プラスター面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
せっこうボード面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　F☆☆☆☆　[6.14.2]
サンゲツ・リリカラー製品同等品とする。

24 モルタル塗り

吸水調整材　[6.15.3]

全面形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/mm²)	界面破断率(%)
表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)
防水剤の種類　建築用モルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント質量の5%	JIS R 5201の試験において	70%以上	95%以上	80%以上
以下	始発　1時間以上			
	終結　10時間以内			

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。
既製目地材　※適用しない　・適用する

25 タイル張り

タイルの種類　[6.16.3]

施工箇所	形状寸法	きじ			うわぐすり		役物		色		再生材の適用 G	備考
		磁器	石器	陶器	施ゆう	無ゆう	有り	無し	標準	特注		

役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う(※外装タイル　・　　)
内装タイル　※内装タイル接着剤張り　JIS A 5548 有機系接着剤
接着剤のホルムアルデヒド　※F☆☆☆☆　・

26 セルフレベリング材塗り

セルフレベリング材の種類　[6.17.2][表6.17.1]

種類	フロー値(cm)	凝結時間 始発(分)	凝結時間 終結(時間)	圧縮強度(N/mm²)	下地接着強度(N/mm²)	表面接着強度(N/mm²)	長さ変化(%)	衝撃	備考
せっこう系	19以上	45以上	20以上	15以上	0.5以上	0.4以上	0.05以下	割れ及び剥がれないこと	
セメント系				20以上	0.7以上	0.5以上	0.12以下		

試験方法：日本建築学会品質規準JASS 15 M-103による。

27 断熱材

[19.9.2～3]

種類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	※25 ・100	特定フロンを使用しないもの
	※3種b (スキン層付)	・接地部分	※25	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	——	特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級　・2級
		・一般部	※25	

JIS A 9521に基づく発砲プラスチック
断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。

28 浴室天井材

市販品

材　質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	・準不燃品	※200	廻縁は縁付きとし製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	・塗装品 ・木目調		※300 ・100	

29 フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構　法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は各内装工事による。
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付対応　※製造所の標準仕様　(コンセント本体は別途設備工事)
コンセントの箇所数は図示
配線用取出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1箇所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り(※固定式　・可変式　・施工箇所は図示)

30 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式		※鋼板	※メラミン樹脂又は	・有り	・有り
・スタッドパネル式		(※0.6　・0.8)	アクリル樹脂焼付	(　)	・無し
・パネル式		・		・無し	

遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

31 移動間仕切

(20.2.4)

遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ (36db以上)		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は「23壁紙張り」による。

32 トイレブース

表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板 t40(アルミ製コーナーエッジ付き　指詰め防止)　(20.2.5)
※紙巻器設置位置については下地補強を行うこと。
・特殊UV塗装硬質セメント板(標準色　アルミ製コーナーエッジ(ステンカラー)付き)
笠　木　※アルミ製　・ステンレス製
足形状　※幅木タイプ(ステンレス製)　・足金物タイプ
※防水型(ステンレス巻き)

33 階段滑り止め

材　種　ステンレスSUS304　(20.2.6)
形　状　ピールタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り(・ステンレス製　※ビニル製)　・無し
幅(mm)　約35
取付工法　※接着工法　・埋込工法

34 手すり

種　別	施工箇所
※笠木受け：アルミ押出形材 笠木：半硬質創傷被製樹脂 二層成形φ40mm	スロープ
・樹脂被覆Φ34	

35 黒板及びホワイトボード

(20.2.8)

種　類		寸　法(mm)	色　彩	備　考
・黒板	※焼付		※緑　・黒	・平面　※曲面
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面

36 表示

衝突防止表示　・図示(市販品　・ステンレス製　径約30mm　・　　)　(20.2.10)
(　・両面　・片面　)
・無し
表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。
製造所　監督職員の承諾する製造所。

37 ブラインド

・既存再使用する(養生方法:　　)　[2.3.1][5.1.6]
・新設する　(20.2.12)

形　式	種　類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横形	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
・縦形	・1本操作コード	・アルミスラット	・80
	※2本操作コード	・クロススラット	・100

38 ロールスクリーン

防炎性能　※有り
製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する　(20.2.13)

施工箇所	装　置 電動	装　置 手引	性　能 防炎性能	備　考

39 カーテン (暗幕、緞帳等)

・既存再使用する(養生方法：取外し再取付)　[2.3.1][5.1.6]
・新設する　(20.2.14)

施工箇所	形　式 片引	形　式 引分	装　置 電動	装　置 ひも引	装　置 手引	ひだの種類	性　能	備　考

40 カーテンレール

・既存再使用する　[5.1.6]
・新設する　(20.2.14)
材　種　JIS A 4802 ・アルミニウム製　※ステンレス製
形　式　・片引き　・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)

41 カーテンボックス及びブラインドボックス

※既存再使用する。　[5.1.6]
・新設する。
・市販品(アルミニウム製)
溝幅×深さ(mm)　・90×150　※120×150　・150×80　・
色　彩　※B-1　・B-2(※ブラウン　・ブラック　・ステンレスカラー)
※図示

41 天井点検口

材　質　※アルミニウム製(※額縁タイプ　・目地タイプ)　・既存取外し、再取付

42 床点検口

材　質　・アルミニウム製(受け枠　※アミ製　・ステンレス製)
・ステンレス製(受け枠　・ステンレス製(防水、防臭型))

43 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	耐荷重による種類

44 流し台ユニット

種　類	寸法(L=　mm)	適用内容	規格・品質等
・流し台	・900　・1200　・1500	・トラップ付き	
・コンロ台	・600　・700	・バックガード　・有り	
・吊り戸棚	・1200　・900　・600		
・水切り棚	・1200　・900	・トラップ付き	
・作業台	・900　・1200　・1500		

45 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発砲シート張り　・

46 ライニング天板

材　種　・メラミン樹脂化粧板張り(芯材：集成材)　・人工大理石
奥行き(mm)　※図示

47 用具入れ

材質　メラミン樹脂系化粧板　(12.2.2)(19.7.2)
形状、寸法　※図示
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

49 室名札等

・突出し型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(　　箇所)
・平付け型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(　　箇所)
・ピクトサイン　材質：ｱﾙﾐ　ｱﾙﾏｲﾄｼﾙﾊﾞｰ、絵柄：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：200×200　(　7　箇所)
・階数表示　材質：ｽﾃﾝﾚｽ　ﾍｱﾗｲﾝ、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ150×150　(　　箇所)

50 鋼製床下地 (体育館用)

部材規格　大引き、根太鋼：※JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板、亜鉛付着量Z12以上)
U字金具、支持台：※JIS G 3302SGHCと同等以上(亜鉛付着量Z12以上)
緩衝材：※JIS K 6385(A種防振ゴム)
※三洋工業㈱ スリーベース101タイプ同等品とする。

51 アルミ製移動階段

・セノー㈱　HE9724(アルミ合金製、アルマイト処理焼付塗装)同等品とする。

52 救助袋

・垂直式　○階用

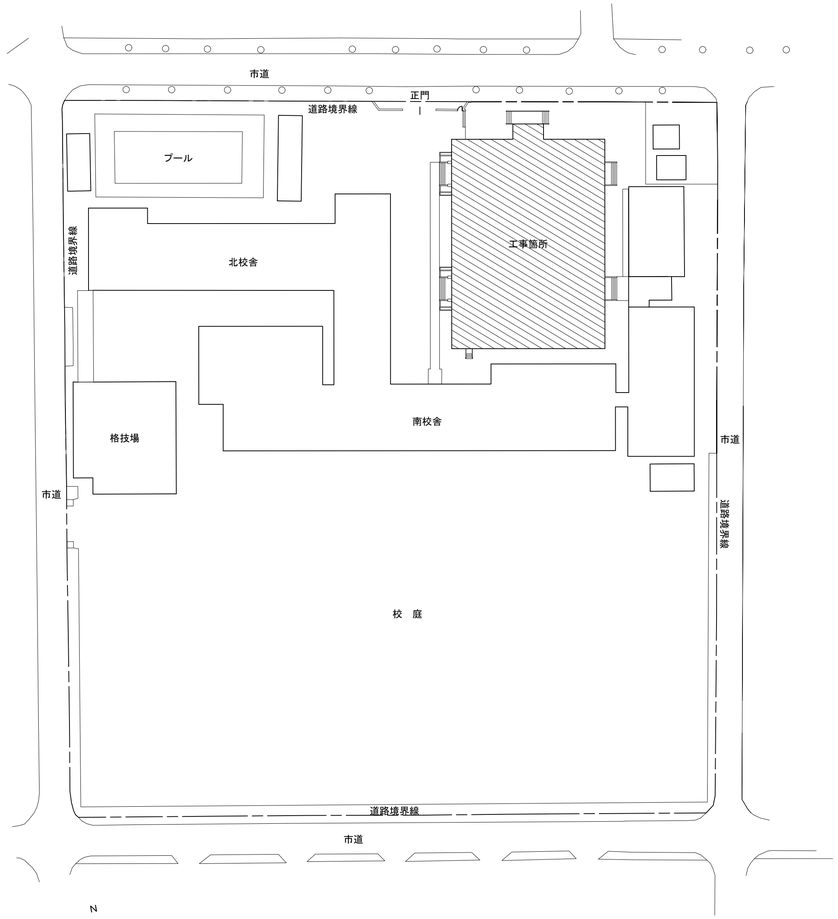
工事名	松戸市立新松戸南中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修工事特記仕様書-3		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	—
縮　尺	No Scale	図面番号	A-03
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

章	項目	特記事項
7 塗装改修工事	①材料	塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。 [7.1.2～3] 屋内で使用する場合のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は監督職員と協議する。 [7.1.8]
	②下地調整	[7.2.2～7][表7.2.1～7] 下地面の種類 / 下地調整の種別 / 備考 木部 / ・RA種 ※RB種 / 新規面はRA種 鉄鋼面 / ・RA種 ※RB種 亜鉛めっき鋼面 / ・RA種 ※RB種 モルタル、プラスター面 / ・RA種 ※RB種 コンクリート、ALC及び押出成形 / ・RA種 ※RB種 セメント板面 / ・RA種 ※RB種 せっこうボード、その他ボード面 / ・RA種 ※RB種 既存下地面等のひび割れ部補修 [表7.2.5～6] ※行う ・行わない ※錆止め JIS K 5674
	③合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	[7.5.2][表7.5.1] 下地の種類 / 新規塗りの種別 / 塗り替えの種別 / 備考 木部 / ・A種 ※B種 / ※B種 / 下塗りJASS 18 M-304 中塗り及び上塗りJIS K 5516 鉄鋼面 / ・A種 ※B種 / ※B種 / 穴埋め及びパテかいJASS 18 M-110 中塗り及び上塗りJIS K 5516
	④鉄鋼面耐候性塗料塗り(DP)	[7.8.2～4][表7.8.1～3] 下地の種類 / 新規塗りの種別 / 塗り替えの種別 / 備考 鉄面 / ※A種 ・B種 / ・A種 ※B種 / JIS K 5659 亜鉛めっき面 / ※A種 ・B種 / ・A種 ※B種 / JIS K 5659 コンクリート、押出成形セメント板面 / ※A種 ・B種 / ・A種 ※B種 / JIS K 5658 下塗りJASS 18 M-109
	5 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	[7.9.2][表7.9.1] 新規の塗りの種別 ・A種 ※B種 塗替えの種別 ・A種 ※B種 下塗りJIS K 5663 中塗り及び上塗りJIS K 5660
	6 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)	[7.10.2][表7.10.1] 新規の塗りの種別 ・A種 ※B種 下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663
	7 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)	[7.11.2][表7.11.1] 新規の塗りの種別 ・A種 ※B種 塗替えの場合 既存塗膜 / 下地調整 / 種別 合成樹脂エマルション模様塗り / ※RB種 / ※A種 ・RC種 / ※C-3種 平滑な塗料塗り / ※RB種 / ・A種 ・B種 ・RC種 / ・C-1種 ・C-2種 下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663
	8 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	[7.11.2][表7.11.1] ・A種 ※B種 1液形JASS 18 M-301 2液形JASS 18 M-502
	⑨オイルステイン塗り(OS)	[7.12.2] ワトコオイル製品同等品とする。
	10 木材保護塗料塗り(WP)	[7.13.2][表7.13.1] ・A種 ※B種 JASS 18 M-307
	11 ポリウレタン樹脂塗装(2-UC)	フローリングブロック面の塗り種別 ・A種 ※B種
8 耐震改修工事		『耐震補強工事構造特記仕様書』による。
9 環境配慮(グリーン)改修工事	①一般事項	アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法 [9.1.3] ・封じ込め処理 ・囲い込み処理除去工法 ○除去工法 アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 ○図示 分析によるアスベスト(ｱｸﾁﾉﾗｲﾄ、ｱﾓｻｲﾄ、ｱﾝｿﾌｨﾗｲﾄ、ｸﾘｿﾀｲﾙ、ｸﾛﾝﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾚﾓﾗｲﾄ)含有の調査 ・行う(下表による) ○行わない 材料名 / 調査方法 / 1材料あたりの試料数 ・JIS A 1481による / ※3
	2 アスベスト含有吹付材除去工事	吹付アスベストの施工数量調査を行う。 アスベスト粉塵濃度測定 ※行う 測定時期及び場所等については下表による。 測定時期 / 測定場所 / 測定点数(各処理作業室毎) / 備考 処理作業前 / 処理作業室内 / 2又は3点 施工区画周辺又は敷地境界 / 2点 / 全工区共通 処理作業中 / 処理作業室内 / 2点 セキュリティゾーン入口 / 1点 / 空気の流れを確認 負圧・除塵装置の排出口(処理作業室外の場合) 施工区画周辺又は敷地境界 / 1点 4方向各1点 / 除塵装置の性能確認 処理作業後 / 処理作業室内 / 2点 (隔離シート撤去前) / 施工区画周辺又は敷地境界 / 4方向各1点 / 全工区共通 (注)処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。 処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。 建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。 除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。 アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任) 石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。 廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任) アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。 関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課 ・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署 本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。
	3 アスベスト含有吹付材囲い込み工事	軽鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ(核スタッド工法 65形@300)とし、既存天井面には触れない。 関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課 ・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署 養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。 アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。 —内部測定点内訳— 〈1階： 点、2階： 点、3階： 点〉 詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。
	4 アスベスト成形板の処理工事	処理を行うアスベスト成形板の仕様等 ・仕上表による [9.1.5] 材料名 / 厚さ(mm) / 処理を行う範囲 石綿板 / 4 / 便所 人研ブロック / 30 / 便所 施工調査 アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。 調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。 (1)アスベスト成形板使用部位の確認。 (2)アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。 (3)アスベスト成形板使用数量の確認。
	⑤アスベスト含有仕上塗材の除去	アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験的一部除去作業の方法 (1)試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は□500mm程度とする。 (2)試験的除去は剥離剤併用手工具ケレン工法にて実施。 アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法 ○部分除去 ・全面除去 アスベスト含有仕上塗材部分除去作業 (1)部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。 (2)建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。 なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。 (集塵機付きﾃﾞｨｽｸｻﾝﾀﾞｰ工法同等とすること) (3)除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。 (4)アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任) 石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。 (5)廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任) (6)アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。 (7)関係官公署に届出を行う。 (大気汚染防止法→松戸市環境保全課 労働安全衛生法→柏労働基準監督署) (8)本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。
	6 外断熱改修工事	断熱材の種類 [9.2.2] 材料名 / 厚さ(mm) ・ビーズ法ポリスチレンフォーム ・押出法ポリスチレンフォーム ・硬質ウレタンフォーム ・フェノールフォーム ・ロックウール ・グラスウール 外装材の種類 [9.2.2] 防火性能 既存外壁仕上材の撤去 ・有り ・無し [9.2.3] 下地面の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様 通気層 ・有り(mm) ・なし [9.2.4] 試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。 特記無き事項は、製造所の仕様による。
	7 ガラス改修工事	複層ガラスの厚さ 建具表による [5.14.2] 断熱性・日射遮蔽性による区分 ※U3-1 ・U3-2
	8 屋上緑化改修工事	特記事項は図示 [9.4.2]
	9 透水性アスファルト舗装改修工事	路盤材料 [9.5.4][表9.5.3] ※再生クラッシャラン(RC-40) ・クラッシャラン(C-40)又はクラッシャランスラグ(CS-40) 透水性の高いものを使用する。 遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.5.3] ・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 ・ 厚さは図示 ・凍上抑制層 ※再生クラッシャラン ・クラッシャラン 切込み砂利 ・砂 厚さは図示 盛土に用いる材料 [9.5.3][表9.5.1] ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 路床安定処理 ※添加材料による安定処理 [9.5.3][表9.5.2] 種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰( ) ・消石灰( ) 添加量 kg/㎥(目標CBR ※5以上 ・ 路床土の支持力比試験 ※行う(※乱した土 ・乱さない土) 路床締固め度の試験 ※行う アスファルト混合物 [9.5.6][表9.5.5] 車道部 ※改質アスファルトⅠ型 歩道部 ※ストレートアスファルト 透水性舗装 [9.5.9] アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う
	10 その他 1 舗装工事	歩行者用通路コンクリート版の厚さ ※70mm ・ (22.5.2)(表22.5.1) 部位 / 設計基準強度(N/mm) / 所定のスランプ(cm) / 粗骨材の最大寸法(mm) 車路及び駐車場 / 24 / 8 / 砂利の場合25又は40 砕石の場合20又は25 歩行者用通路 / 18 / 8 / 砂利の場合25 砕石の場合20 砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1) 種別 ・A種 ・B種
	2 植栽工事	植樹 (22.3.2) 樹種 / 寸法 / 数量 / 備考

工事名	松戸市立新松戸南中学校体育館空調設備設置建築工事
図面名	改修工事特記仕様書-4
作成年月日	令和7年2月10日
変更年月日	－
縮尺	No Scale
図面番号	A-04
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号
松戸市 街づくり部 建築保全課	



案内図 1:2200



配置図 S=1:600

外部仕上表

部位		仕上	備考
外壁	改修前	ベニヤ仮枠打放しアクリルリシン吹付（アスベスト含有） 鉄骨露出部分: EP塗装	一部撤去 既存のまま
	改修後	下地補修の上、複層塗材E -	一部塗替え
出入口	改修前	床:モルタル金ゴテ	一部撤去
	改修後	床:モルタル金ゴテ	一部新設

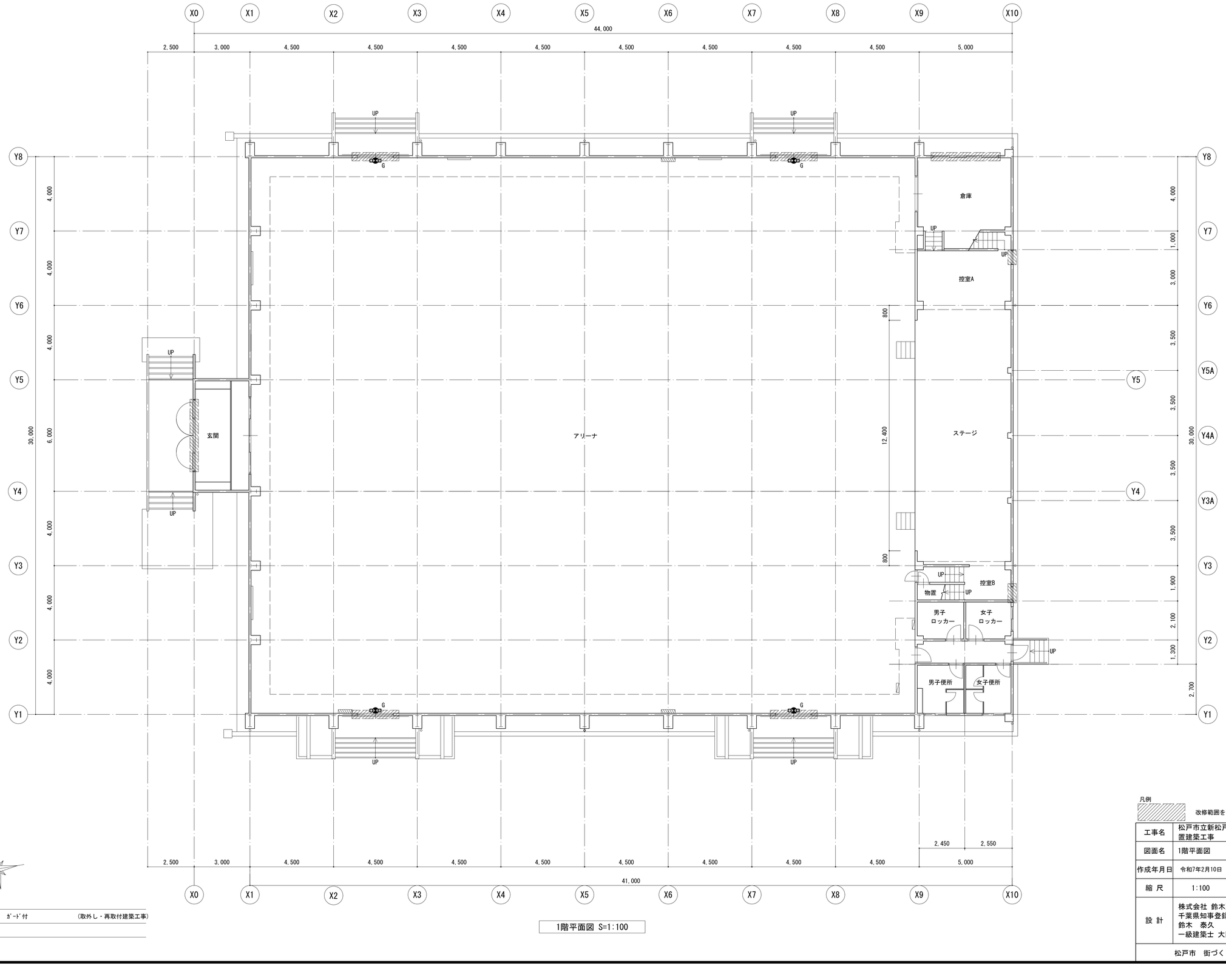
凡例、特記事項

	記号	塗料名	内装材認定	材料	認定番号	特記事項	
塗料凡例	EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り					内装仕上材、屋根裏木毛セメント板は、全てF☆☆☆☆とする
	2-UC	ポリウレタン樹脂塗装					塗装材（塗料）は、全てF☆☆☆☆とする
	SOP	合成樹脂調合ペイント塗装					建築材料は、全てアスベスト含有材でない材料を使用とする
	OP	油性調合ペイント塗装					
	OSV	オイルステインワニス塗り					
	OSCL	オイルステイン+クリアラッカー塗り					
	DP	鉄鋼面耐候性塗料塗り					
	複層塗材E	合成樹脂エマルジョン系複層仕上材					

内部仕上表

階	室 名		床	床高さ	改修内容範囲		巾 木	床高さ	改修内容範囲		壁(柱・梁型)	改修内容範囲		天 井	天井高さ	改修内容範囲	廻縁	備 考
1	アリーナ	改修前	単層フローリングt=18特殊張り（下地張り:t=15 鋼製床下地共） サンダー掛けの上 2-UC塗装 EXPゴム		既存のまま 一部撤去	改修前	ラワン H150 t=20 OP		一部撤去	改修前	1F:ラワン竪羽目板t=12 OSV 2F:有孔シナ合板t=5.5目透張り OP	一部撤去 既存のまま	改修前	木毛板カラーボードt=20 表し 鉄骨部SOP ギャラリー部：ベニヤ仮枠打放し EP(アスベスト含有)		既存のまま	ラワン 50x30 OSV	
		改修後	- EXPゴムt=20		一部新設	改修後	米栂集成材 H150 t=20 SOP	＋150	一部新設	改修後	杉竪羽目板t=12 OSCL	一部新設	改修後	-			米栂集成材 50x30 OSCL	
2	ギャラリー	改修前	モルタル金ゴテ		既存のまま	改修前	樹脂系塗料	＋100	既存のまま	改修前	有孔シナ合板t=5.5目透張り OP	既存のまま 既存のまま	改修前	アリーナに含む		既存のまま		
		改修後	-			改修後	-	＋100		改修後	-		改修後	-				

工事名	松戸市立新松戸南中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図・仕上表		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	-
縮 尺	1:2200　1:600	図面番号	A-05
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



1階平面図 S=1:100

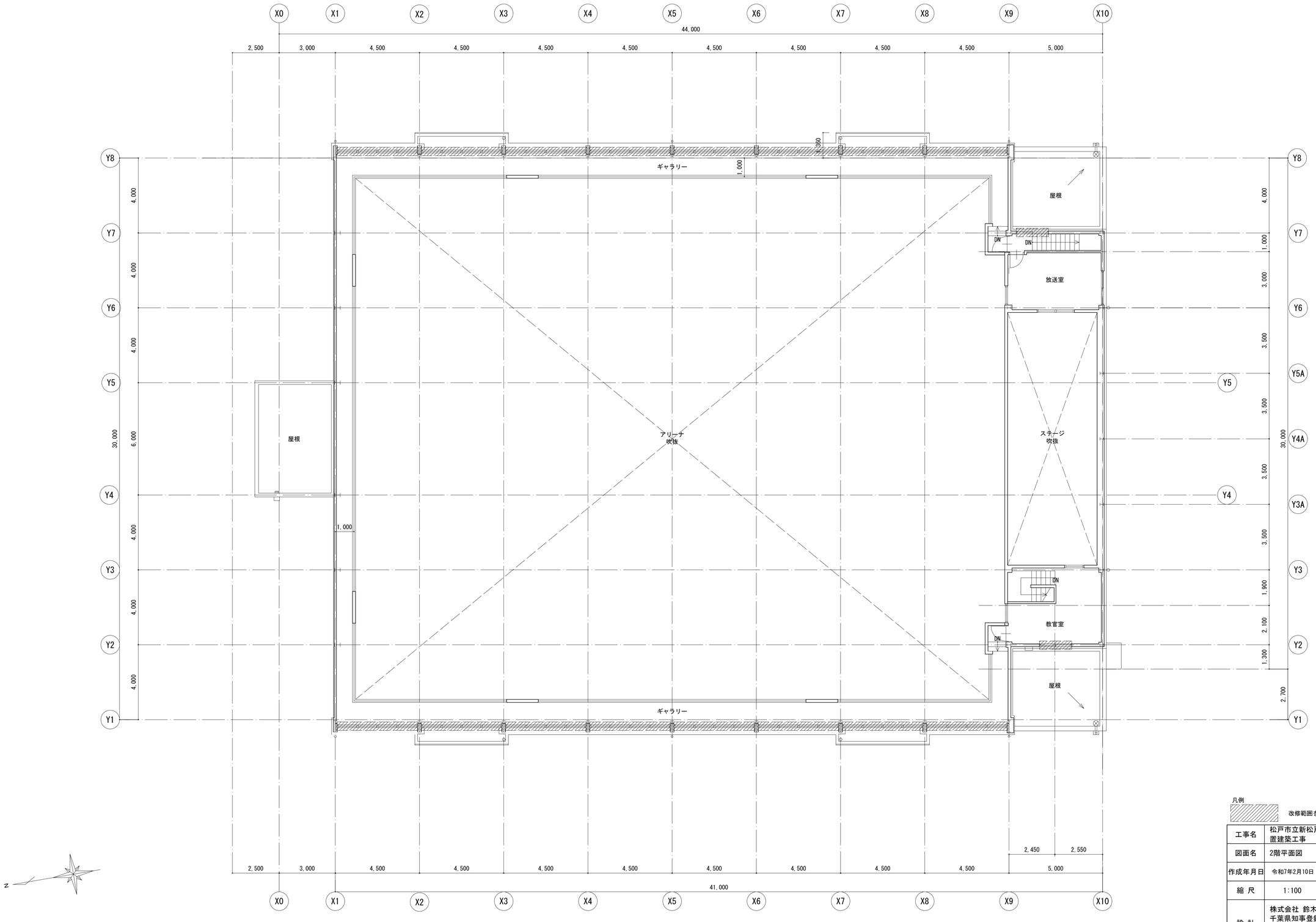
凡例

改修範囲を示す

1.特記なき記号は下記による。

G　避難口誘導灯　C級　ｶﾞｰﾄﾞ付　(取外し・再取付建築工事)

工事名	松戸市立新松戸南中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	1階平面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:100	図面番号	A-06
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



凡例

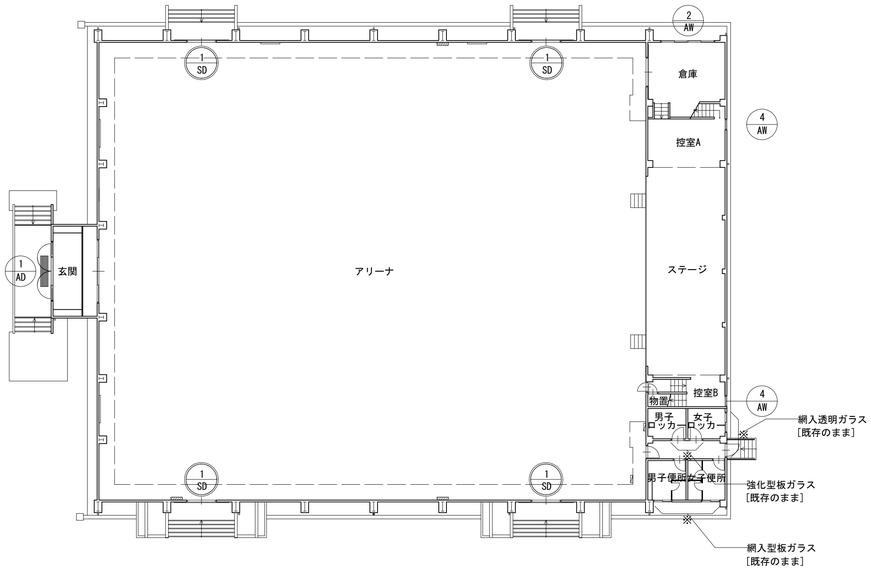
改修範囲を示す

2階平面図 S=1:100

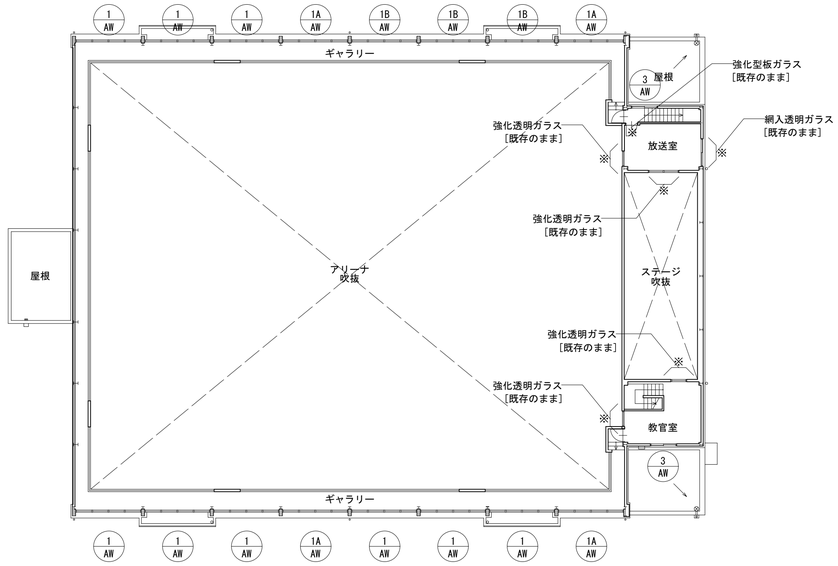
工事名	松戸市立新松戸南中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	2階平面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:100	図面番号	A-07
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

改修前

※印：当該部分のガラスについては、以下の２条件に該当する場合、フィルムは施工せず、既存のままとする。
①外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓、かつ、北側に面する窓
または、外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓以外の窓
②ガラス種類が以下のいずれか
（透明強化ガラス、型板強化ガラス、透明網入ガラス、型板網入透明ガラス）



1階キープラン　S=1:200

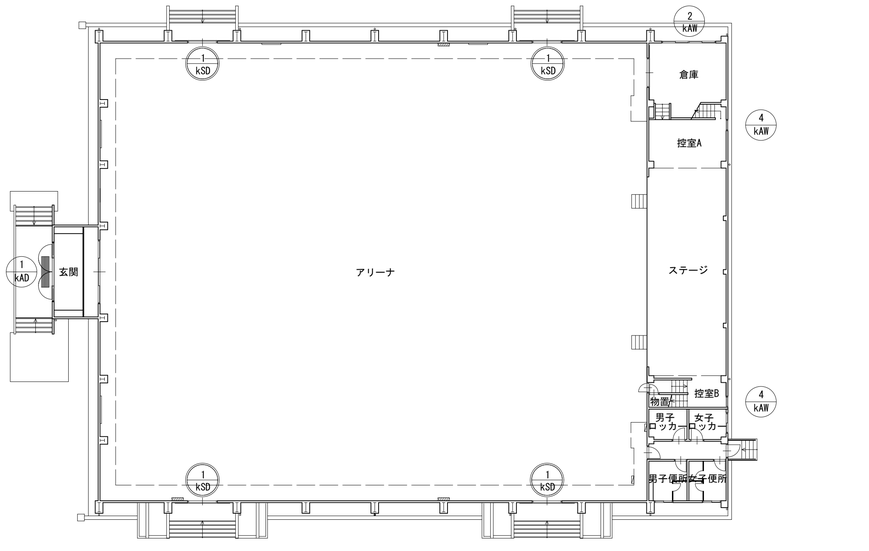


2階キープラン　S=1:200

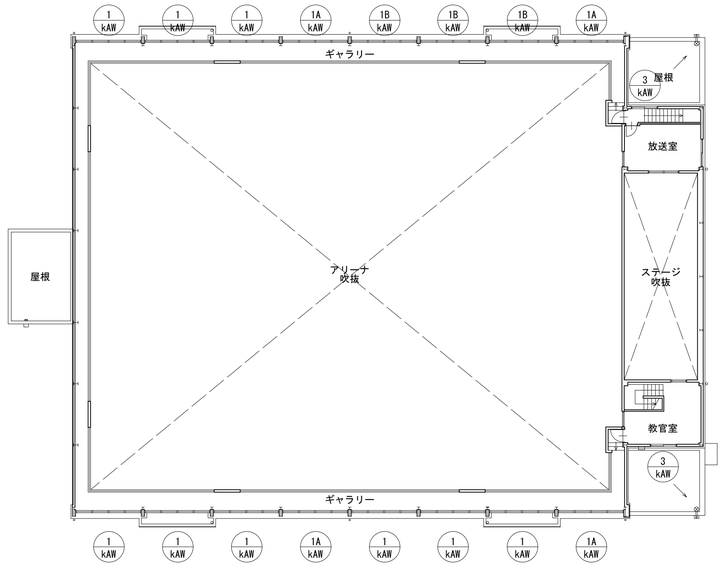
撤去建具を示す

既存建具を示す

改修後



1階キープラン　S=1:200



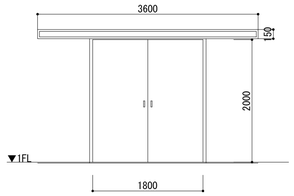
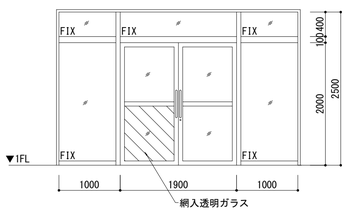
2階キープラン　S=1:200

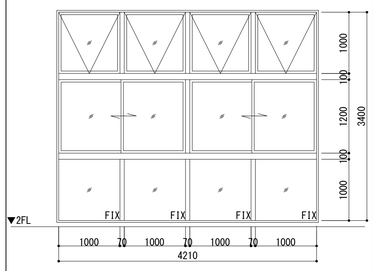
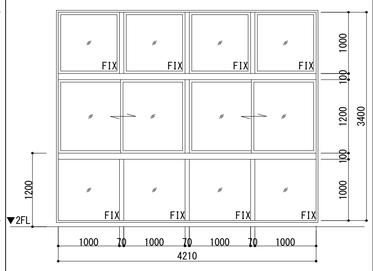
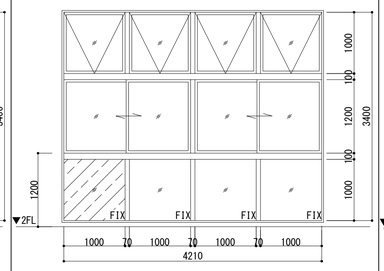
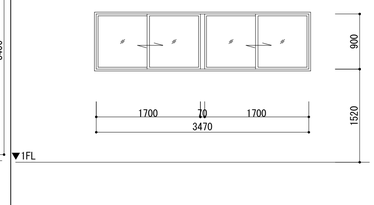
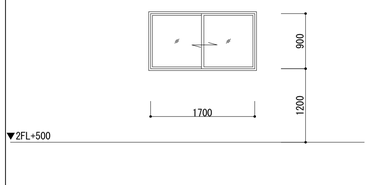
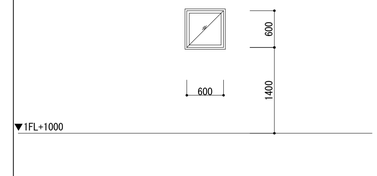
新設建具を示す

既存建具を示す

工事名	松戸市立新松戸南中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修前・改修後 建具キープラン		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:200	図面番号	A-08
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

改修前

符号・数量	1 SD アリーナ　数量 4	1 AD 玄関　数量 1				
姿　図						
形　式	ハンガー式引き分け戸	ランマFIX窓付袖付両開きドア				
材質・仕上	ドア見込40　スチールフラッシュ　OP	見込100　アルミ（B-1種）				
硝　子	-	線入透明ガラスt=6.8　一部：網入透明ガラスt=6.8(姿図参照)				
付属金物	ブラケット、ドアハンガー（カバー付）、戸車、レール、引手、内鍵付 （渡り廊下側のみ鎌鍵付き）　鉄板t=1.6（枠廻りステンレスt=1.5）	フロアヒンジ、取手ステンレス製（ヘアーライン仕上）、シリンダー錠				
撤去内容	撤去（三方枠、容摺、レール共）（部分詳細参照）					

符号・数量	1 AW ギャラリー　数量 9	1A AW ギャラリー　数量 4	1B AW ギャラリー　数量 3	2 AW 倉庫　数量 1	3 AW 階段室・教官室　数量 2	4 AW 控室・ステージ　数量 2
姿　図						
形　式	内側排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	内側排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	内側排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	引違い連窓	引違い窓	スベリ出し窓
材質・仕上	見込100　アルミ（B-1種）	見込100　アルミ（B-1種）	見込100　アルミ（B-1種）	見込70　アルミ（B-1種）	見込70　アルミ（B-1種）	見込70　アルミ（B-1種）
硝　子	網入型板ガラス　t=6.8	網入型板ガラス　t=6.8	網入型板ガラス　t=6.8	網入透明ガラス　t=6.8	網入透明ガラス　t=6.8	網入型板ガラス　t=6.8
付属金物	付属金物一式 戸車外径：30mm以上	付属金物一式 戸車外径：30mm以上	付属金物一式 戸車外径：30mm以上	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
撤去内容			網入型板ガラスt=6.8[撤去]			

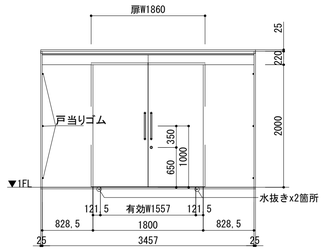
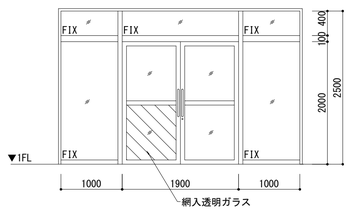
符号・数量	
姿　図	
形　式	
材質・仕上	
硝　子	
付属金物	
撤去内容	

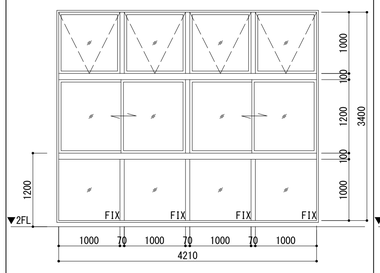
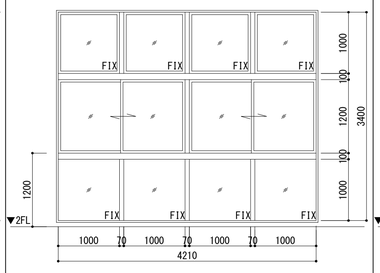
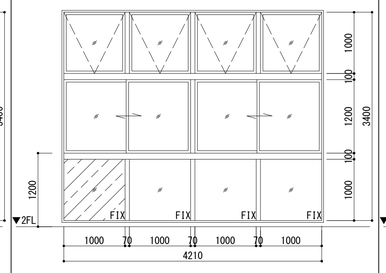
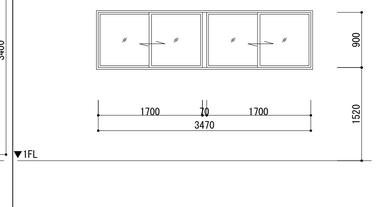
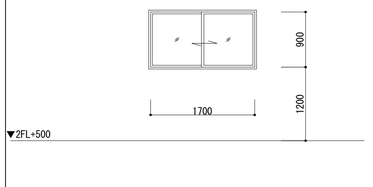
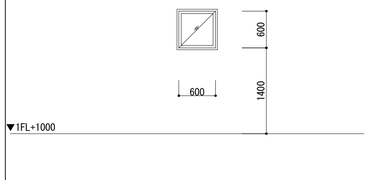
凡　例

- ガラス撤去範囲を示す（ひび割れガラス）
- 網入透明ガラスを示す
- 撤去建具を示す
- 既存建具を示す

工事名	松戸市立新松戸南中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修前 建具表-1		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:50	図面番号	A-09
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

改修後

符号・数量	1 kSD アリーナ　数量 4	1 kAD 玄関　数量 1				
姿　図						
形　式	鋼製両引きハンガードア	ランマFIX窓付袖付両開きドア				
材質・仕上	DP　枠見込285	見込100　アルミ（B-1種）				
硝　子		線入透明ガラスt=6.8　一部：網入透明ガラスt=6.8(姿図参照)				
付属金物	ドアハンドル、引戸錠、ガイドローラー、駆動装置、戸当りゴム、付属金物一式 スチールフラッシュ戸、鋼材t=1.6、枠廻りステンレスt=1.5	フロアヒンジ、取手ステンレス製（ヘアーライン仕上）、シリンダー錠				
改修内容	新設（部分詳細参照）	線入透明ガラス⑤フィルム張[新設]（内貼）				

符号・数量	1 kAW ギャラリー　数量 9	1A kAW ギャラリー　数量 4	1B kAW ギャラリー　数量 3	2 kAW 倉庫　数量 1	3 kAW 階段室・教官室　数量 2	4 kAW 控室・ステージ　数量 2
姿　図						
形　式	内側排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	内側排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	内側排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	引違い連窓	引違い窓	スベリ出し窓
材質・仕上	見込100　アルミ（B-1種）	見込100　アルミ（B-1種）	見込100　アルミ（B-1種）	見込70　アルミ（B-1種）	見込70　アルミ（B-1種）	見込70　アルミ（B-1種）
硝　子	網入型板ガラスt=6.8	網入型板ガラスt=6.8	網入型板ガラスt=6.8	網入透明ガラス　t=6.8	網入透明ガラス　t=6.8	網入型板ガラス　t=6.8
付属金物	付属金物一式 戸車外径：30mm以上	付属金物一式 戸車外径：30mm以上	付属金物一式 戸車外径：30mm以上	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
改修内容	網入型板ガラス④フィルム張[新設]（外貼）	網入型板ガラス④フィルム張[新設]（外貼）	網入型板ガラスt=6.8[新設]、網入型板ガラス④フィルム張[新設]（外貼）	網入透明ガラス③フィルム張[新設]（内貼）	網入透明ガラス③フィルム張[新設]（内貼）	網入型板ガラス④フィルム張[新設]（外貼）

凡　例

- ガラス新設範囲を示す（網入型板ガラスt=4）
  ※ガラス留め、シーリング打替え、セッティングブロック等、副資材を含む
- 網入透明ガラスを示す
- 新設建具を示す
- 既存建具を示す

■遮熱・飛散防止フィルム貼り仕様一覧表（外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓）

既存硝子 ＼ 方角		東・西・南	北
透明硝子	内貼	① 遮熱フィルム 3M　NANO70S	⑤ 飛散防止フィルム 3M　SH2CLAR
型硝子	外貼	② 遮熱フィルム 3M　NANO70SX	⑥ 飛散防止フィルム 3M　SH2CLARX
強化透明硝子	内貼	① 遮熱フィルム 3M　NANO70S	既存のまま
強化型硝子	外貼	② 遮熱フィルム 3M　NANO70SX	既存のまま
● 網入り透明硝子	内貼	③ 遮熱フィルム 3M　NANO90S	既存のまま
● 網入り型硝子	外貼	④ 遮熱フィルム 3M　NANOMACRX	既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは3Mジャパン(株)同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、**北側の強化硝子・網入り硝子**に飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入り硝子が割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

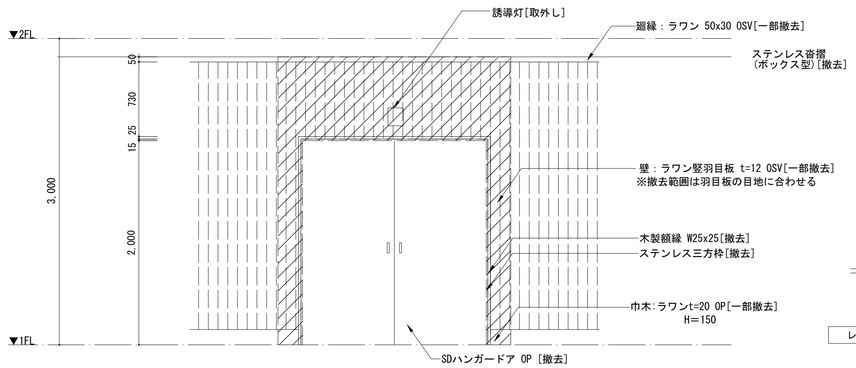
■飛散フィルム貼り仕様一覧表
（外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓**以外の窓**・・・放送室、器具庫、控室、便所など）

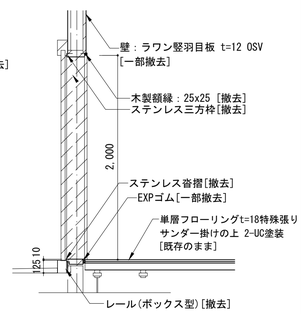
既存硝子 ＼		全方角・内部
● 透明硝子	内貼	⑤ 飛散防止フィルム 3M　SH2CLAR
型硝子	外貼	⑥ 飛散防止フィルム 3M　SH2CLARX
強化透明硝子	—	既存のまま
強化型硝子	—	既存のまま
網入り透明硝子	—	既存のまま
網入り型硝子	—	既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは3Mジャパン(株)同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、**強化硝子・網入り硝子**に飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入り硝子が割れている場合は同一硝子に交換する。
※kAD-1の透明線入硝子については、透明硝子と同じ飛散防止フィルムを施工する。

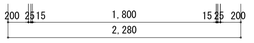
工事名	松戸市立新松戸南中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修後 建具表-1		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	1:50	図面番号	A-10
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

改修前

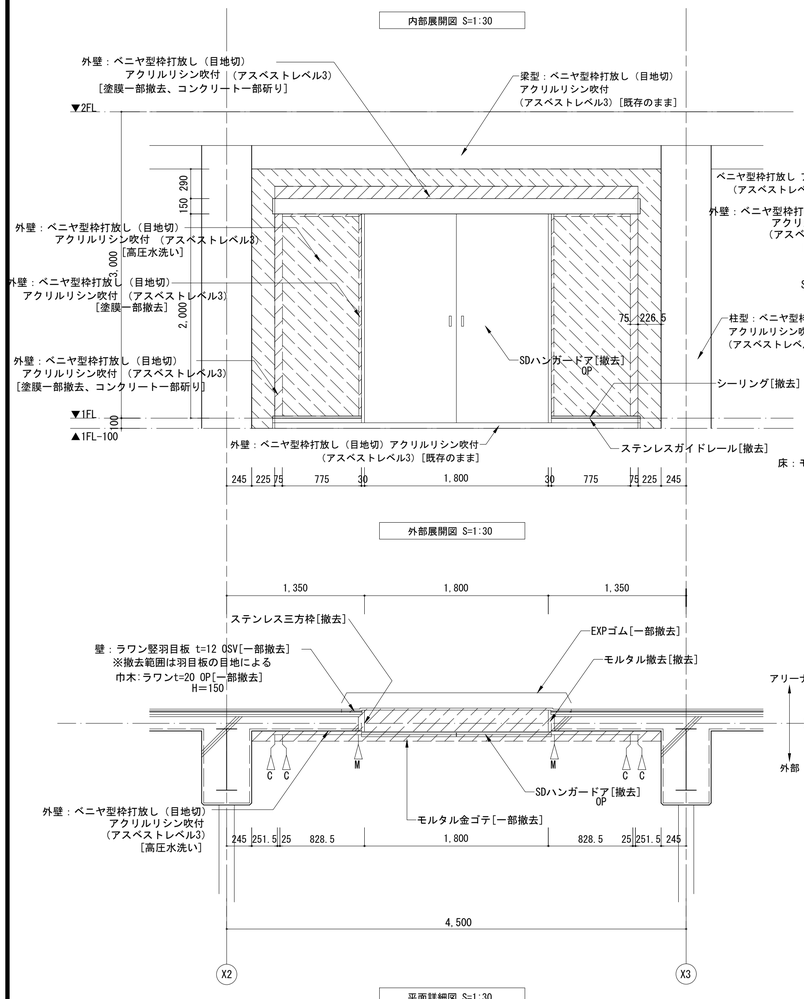




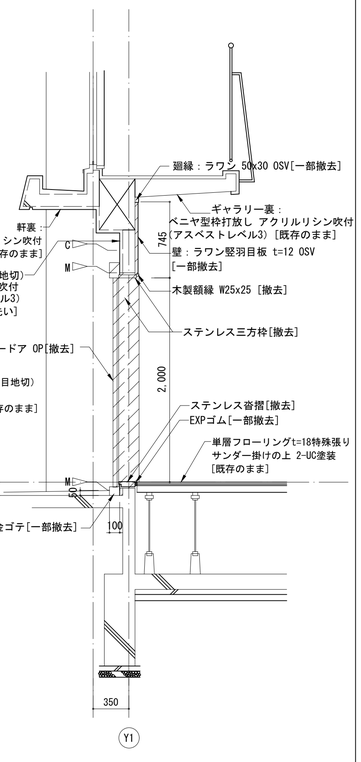
レールボックス型断面詳細図 S=1:30



内部展開図 S=1:30



外部展開図 S=1:30



X2-X3断面詳細図 S=1:30

平面詳細図 S=1:30

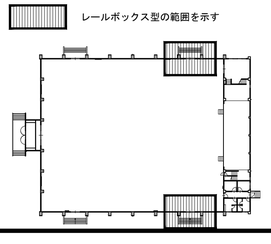
凡　例

撤去範囲

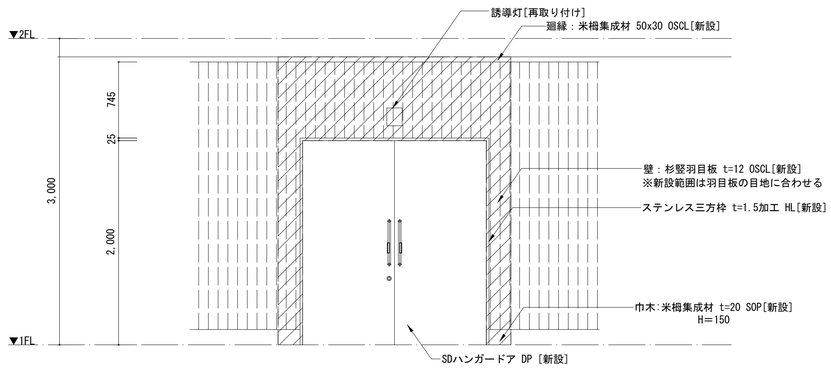
高圧水洗い

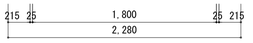
M　：　カッター入れ(モルタル)

C　：　カッター入れ(コンクリート)

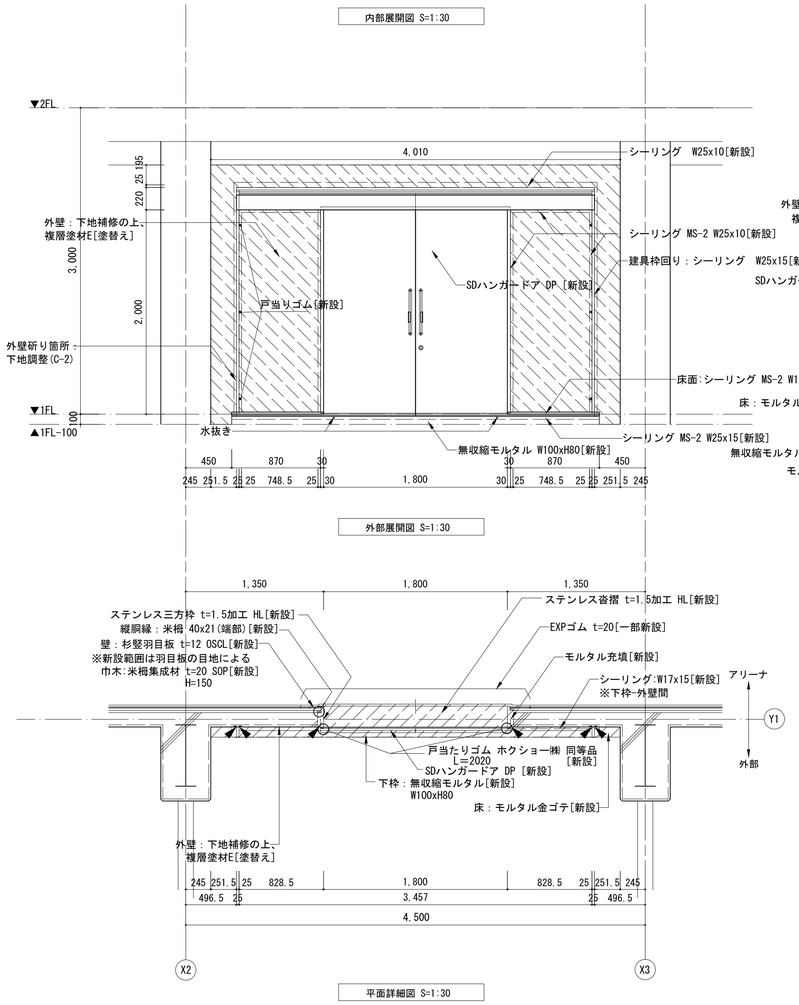


改修後



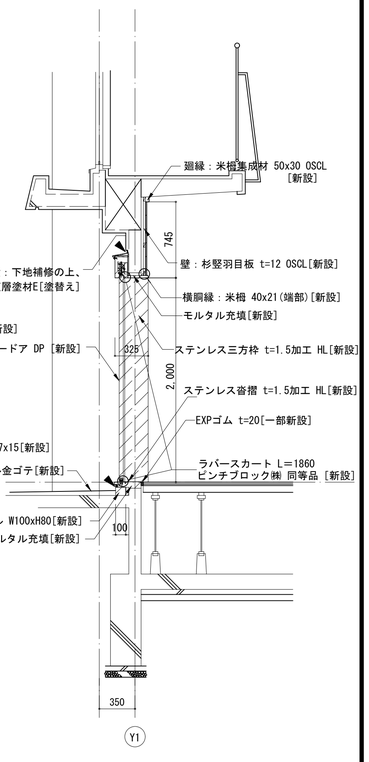


内部展開図 S=1:30



外部展開図 S=1:30

平面詳細図 S=1:30



断面詳細図 S=1:30

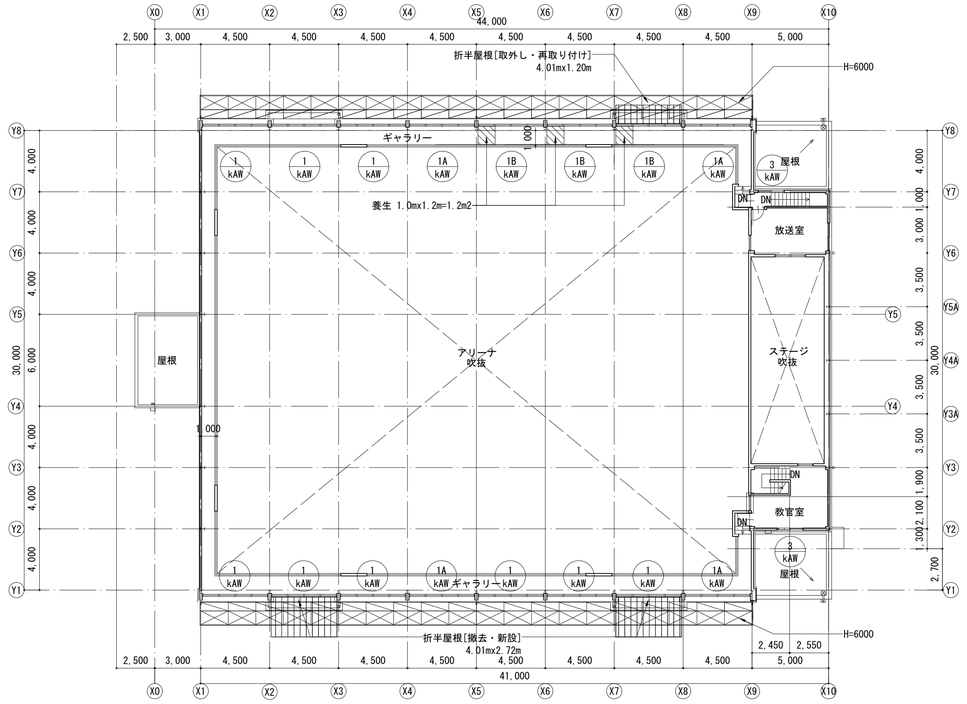
凡　例

新設範囲

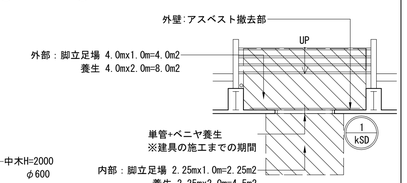
塗替え範囲

►　：　シーリング（ＭＳ－２）

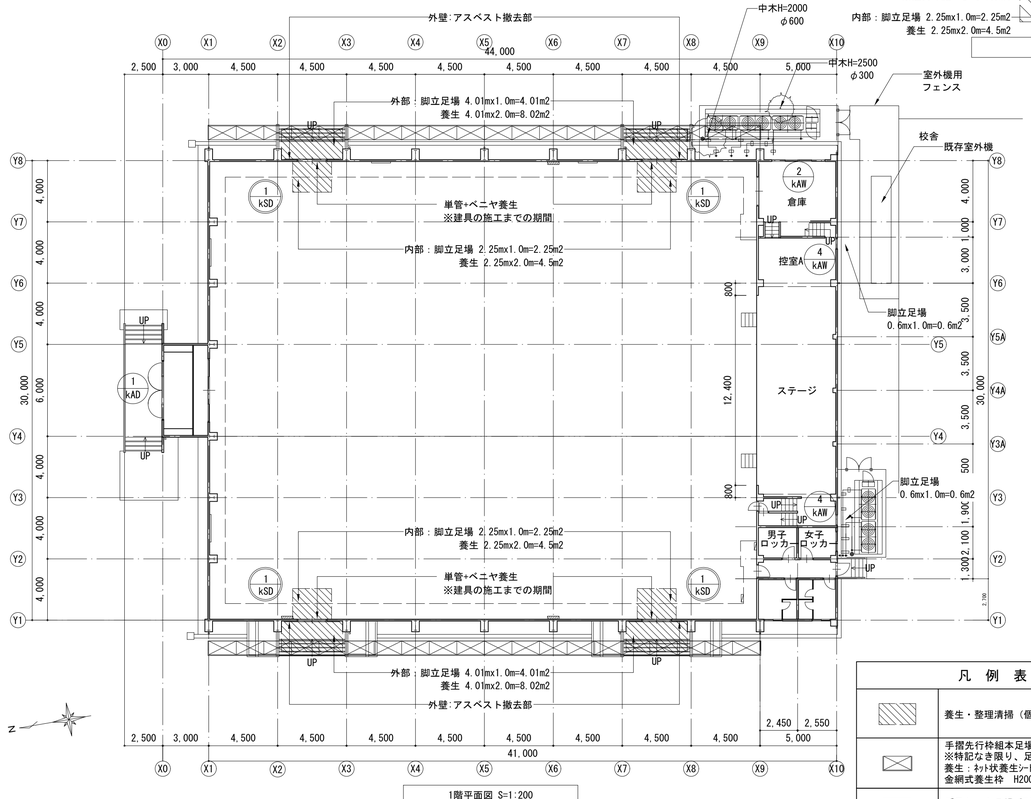
工事名	松戸市立新松戸南中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	部分詳細図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	1：30	図面番号	A-11
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



2階平面図 S=1:200

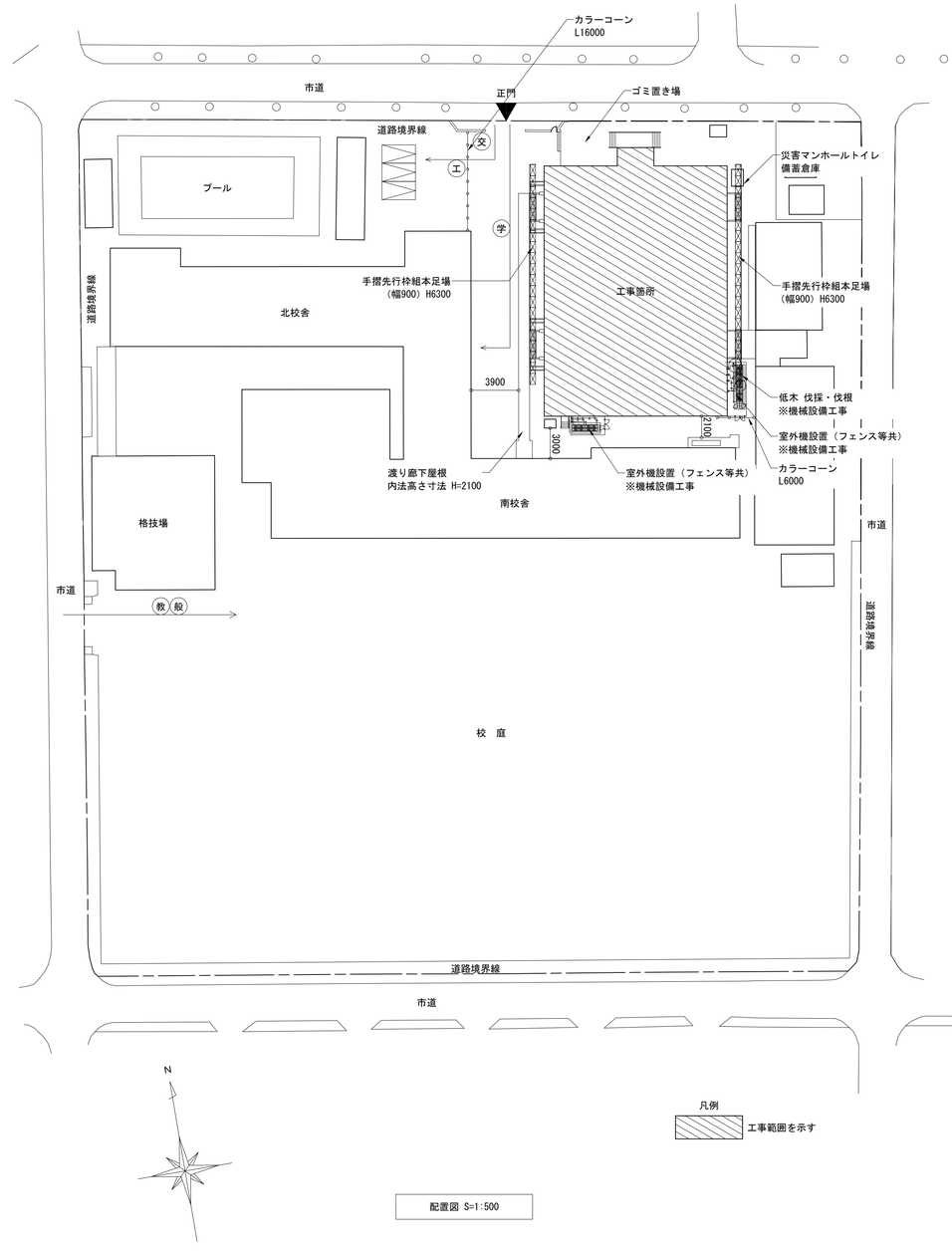


SD拡大図



1階平面図 S=1:200

凡　例　表	
	養生・整理清掃（個別）
	手摺先行枠組本足場 幅900 ※特記なき限り、足場高さH6000 養生：ネット状養生シート(防災Ⅱ類) 金網式養生枠　H2000
	ブラケット足場 幅600



配置図 S=1:500

凡　例　表	
	手摺先行枠組本足場 幅900 ※特記なき限り、足場高さH6000 養生：ネット状養生シート（防災Ⅱ類） 金網式養生枠　H2000
▼	作業員出入口
交	交通誘導員
学	生徒・学校関係者を示す
教	教員車両を示す
般	一般車両を示す
工	工事車両を示す
○——○	カラーコーン・バー

＜全体仮設計画＞

1. 学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・バー）を設置する
2. 足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
3. 工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900x600程度を公衆の見やすい場所に設置
4. 工事に使用する重機は、低振動タイプのものとし低速走行にて振動を抑えるものとする
5. 工事に使用する揚重機（クレーン車等）は、安全上十分なものを使用すること
6. 登下校時の車両の出入りはしないこと

＜特記事項＞

・本図面は参考図として工事を行う際に、必要な仮設を検討し、請負者負担で設置すること。
・仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。

工事名	松戸市立新松戸南中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計画図（案）		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	1:200 1:500	図面番号	A-12
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

松戸市立和名ケ谷中学校体育館空調設備設置建築工事

図面リスト	
意匠図	
図面番号	図面名称
A-00	表紙・図面リスト
A-01	改修工事特記仕様書－１
A-02	改修工事特記仕様書－２
A-03	改修工事特記仕様書－３
A-04	改修工事特記仕様書－４
A-05	配置図・案内図・仕上表
A-06	１階平面図
A-07	２階平面図
A-08	改修前・改修後 建具表キープラン
A-09	改修前 建具表
A-10	改修後 建具表
A-11	部分詳細図
A-12	仮設計画図（案）

工事名	松戸市立和名ケ谷中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	No Scale	図面番号	A-00
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

松戸市立和名ケ谷中学校体育館空調設備設置建築工事

令和　７年　２月

仕　様　書

Ⅰ　工事概要

1. 工事場所　　松戸市和名ケ谷１，３３８番地の１

2. 敷地面積　　25,875㎡

3. 改修建物概要
用　　途：中学校（体育館）
構　　造：S造
階　　数：地上２階
延べ面積：1,200㎡(アリーナ)

4. 工事内容

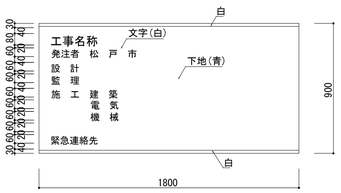
工事種目	工事範囲
2　仮設工事	足場設置・資材置場
3　防水改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴うシーリング
4　外壁改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴う仕上材塗替
5　建具改修工事	SDハンガードア 撤去・新設、ガラス改修工事（フィルム張を含む）
6　内装改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴う内装工事
7　塗装改修工事	SDハンガードア 撤去・新設に伴う内壁塗装、SDハンガードア塗装
9　環境配慮改修工事	SDハンガードア 撤去に伴うアスベスト含有外壁仕上げ材部分除去
10　その他	－

Ⅱ建築工事仕様

1. 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様に記載されれいない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）(令和4年版)」(以下、「改修標仕」という。)及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「標仕」という)による。

2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に◯印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、･印の付いたものを適用する。
･印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
･印と※印の付いた場合は共に適用する。
(3) 特記事項に記載の［　　］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(5) Ⓖ 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。

松戸市建築工事現場表示板仕様



(1)材料
1) 耐水合板（ラワン厚み12mm SOP仕上げ）
2) 枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。

(2)注意事項
1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	①運用基準等	･ 松戸市建築工事に関する提出書類 ･ 工事写真の撮り方 建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ･ 松戸市建築工事現場表示板仕様
	②工事実績情報サービス（CORINS）への登録	※ 適用する　［1.1.4］
	③施工計画書	･ 工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。　［1.2.2］ ･ 施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。 ･ 施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。 ･ 施工図等の内容を変更する必要が生じた場合は監督職員に報告する。
	4 電気保安技術者	・ 工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。　［1.3.3］
	⑤施工条件	※　現場説明書による　［1.3.5］
	⑥発生材の処理等	※ 現場説明書による　・場外搬出適正処理　［1.3.12］
	⑦材料の品質等	［1.4.2］ 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 (3)安定的な供給が可能であること。 (4)法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。 (5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（(社)公共建築協会 他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
	8 化学物質を放散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 2)保温材、衝撃材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 3)接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 5)1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFoo規格品
	⑨特別な材料の工法	様仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	⑩技能士	［1.6.2］

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立作業)
コンクリート工事	・型枠施工
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築　・ALCパネル施工
防水工事	・アスファルト防水工事作業　・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塗膜防水工事作業　・シーリング防水工事作業
石工事	・石材施工(石張り施工)
タイル工事	・タイル張り
木工事	・建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金(内外装板金作業)
金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)
左官工事	･左官
建具工事	･サッシ施工 ･ガラス施工 ・自動ドア施工 ･鋼製建具施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工
塗装工事	･塗装(建築塗装作業)
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業　・ボード仕上げ工事作業 ・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)　・表装(壁装作業)
植栽工事	・造園

章	項　目	特　記　事　項
	11 化学物質の濃度測定	［1.6.9］ 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定　・行う 測定対象室　・－ 測定箇所数　・－
	⑫完成図等	※作成する　・作成しない　［1.8.1～3］［表1.8.1］ ※完成図　ＣＡＤデータ
2 仮設工事	13 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。 分類・規格 / 撮影箇所数 / 撮影部数 / 原版の大きさ(㎜) ・カラー　外部(　)　内部(　)　※1　・6　※100×125以上 ※キャビネ版 ・ぺた焼き ・(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出) ※カラー半切木製パネル　外部(　)　内部(　)　※2　・ 324×400(㎜) ・電子データ　外部(　)　内部(　)　※2　※200万画素以上 ※300dpi以上 100×125以上の原版を使う場合は、監督職員にあらかじめぺた焼を提出し確認を受ける。 電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)
	⑭設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	15 設計GL	※図示　・設計GL＝現状GL
	⑯工事写真	※着工前、完成写真2部　工事工程写真1部
	⑰ワンデーレスポンスの実施	ワンデーレスポンスの取り組みについて 1. この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは 受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程 3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。 4. 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。
	⑱火災保険等	※火災保険等の証券等の写しを提出すること。
	①足場その他	内部足場　種別　※脚立、足場板　・棚足場　［2.2.1］ 外部足場　手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。　［2.2.1］［表2.2.1］ 屋根工事及び小屋組みの建方工事における墜落事故防止対策はJIS A 8971に基づき設置すること。 材料、撤去材等の運搬方法　［2.2.1］［表2.2.1］ ・A種　※B種　・C種　・D種　・E種 ・定置する足場、作業構台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。
	②養生	既存部分の養生　※ビニールシート　・合板　厚12　［2.3.1］ 既存家具等の養生　※ビニールシート　・ 固定家具等の養生　※行う　・行わない
	3 仮設間仕切り	仮設間仕切り等の種別　［2.3.2］［表2.3.1］ 種別 / 下地 / 仕上材(厚さ ㎜) / 充てん材 / 塗装 ・A種　※軽量鉄骨　・合板(※9.0 ・ラワン　) / ※無し ・B種　・木下地　※せっこうボード(※12.5 ・　) / 厚さ ㎜ ・片面 ・C種　・単管下地　防炎シート ・仮設扉　※木製扉　※合板張り程度　※無し ・鋼製扉　※片面フラッシュ程度　・有り
	4 監督職員事務所	規模及び仕上げの程度は現場説明書による。　［2.4.1］
	⑤工事用水	構内既存の施設　・利用できない　※利用できる(※有償　・無償)　［2.4.1］ ※子メータを設置する。
	⑥工事電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる(※有償　・無償)　［2.4.1］
	7 防音パネル	※アルミ製(解体作業期間)
	8 仮門	・キャスターゲート　W= 3.0 m、H= 1.8 m、　箇所 ・キャスターゲート　W= 6.0 m、H= 1.8 m、1箇所
	9 仮囲い	・万能鋼板　H= 2.0 m、L=　m、　箇所 ※成型鋼板　H= 2.0 m、L=　m、　箇所　・図示 ・ガードフェンス　H= 1.8 m　箇所　・図示
	10 仮設道路	・砕石敷(厚さ　㎜　幅　㎜)　L=　m (砕石は、再生クラッシャランを使用) ・鋼板敷(厚さ　㎜　幅　㎜　L=　m)　枚
3 防水改修工事	1 アスファルト防水	［3.3.2］［表3.1.1］［表3.3.3～10］

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別
保護防水	※P1B	・B-1　※B-2
	・P1B[　・T1B]	・B1-1　※B1-2
	・P2A[	・A1-1　※A1-2
	※P2A	・A-1　※A-2
露出防水	・M4C	・C-1　※C-2
	・M3D　・P0D	・D-1　※D-2
屋内防水	・P1E　・P2E	・E-1　※E-2 (保護層は図示による)

アスファルトの種類　※3種　・4種　［3.2.2］［3.3.2］
保護コンクリートのコンクリート種類　・普通コンクリート(18N/＊ S=18㎜)　［3.3.2］［8.11.1］
(溶接金網　径6㎜　100㎜×100㎜敷設)
P0D工法の二重ドレン　※設けない　・設ける　［3.2.5］
M3D、P0D工法の脱気装置　※設けない　・設ける　［3.3.3］
既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合)　・除去する　［3.2.6］
断熱工法の断熱材　厚さ(㎜)　※25　・　［3.3.2］
ただし、特定フロンを含まないもの。
立上り部の保護　［3.3.2］
・れんがの種類　※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形コンクリートブロックとする。
・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ15㎜

2 改質アスファルトシート防水　［3.4.2］［表3.1.1］［表3.4.1～3］

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	厚さ(㎜)
・M4AS工法		・AS-1　・AS-2　・AS-3	
・M3AS工法 ・P0AS工法		・AS-4　・AS-5　・AS-6	
・M3ASI工法 ・M4ASI工法 ・P0ASI工法		・ASI-1　・ASI-2	

脱気装置　※設けない　・設ける

章	項　目	特　記　事　項
3 合成高分子系ルーフィングシート防水		［3.5.2］［表3.1.1］［表3.5.1～3］

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料等	使用分類
・P0S工法		・S-F1　・S-M1	・カラー ・シルバー	※非歩行 ・軽歩行
・L3S工法		・S-F2　・S-M2		
・S3S工法				
・M4S工法		・S-M1　・S-M2		
・P0SI工法		・SI-F1　・SI-M1		
・L3SI工法	講堂屋根 階段室A下り屋根	・SI-F2　・SI-M2		
・S4SI工法		・SI-M3		

脱気装置　※設けない　・設ける　［3.5.3］
目地処理　PCコンクリート　［3.5.4］

4 塗膜防水　［3.6.2～4］［表3.1.1］［表3.6.1］

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別
・L4X工法	※図示	・X-1(絶縁工法)
・P0X工法		・X-2(密着工法)

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合)　・活膜を残す　［3.2.6］
脱気装置　※設けない　・設ける　［3.6.3］

5 脱気装置　［3.3.2］［3.4.2］［3.5.2］［3.6.2］［表3.1.1］

種　類	材　質	設置数量
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂　・ABS樹脂 ・ステンレス　・鋳鉄	・約50㎡当たり1箇所
・立上り部脱気型	・合成ゴム　・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス　・銅	・(　　)㎡当たり1箇所

⑥シーリング　［3.1.4］　［表3.1.2］
･シーリング充填　・シーリング再充填工法　・シーリング打替え
・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法

シーリング材の種類、施工箇所　［3.7.2］　［表3.7.1］
※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類　(記号)
・打ち継ぎ目地、伸縮目地	・ポリウレタン系(PU-2)仕上げあり
･新設建具廻り、金属取合い	･変成シリコーン系(MS-2)仕上げなし
・ガラス廻り	・シリコーン系(SR-1)

7 とい　［3.8.2］　［表3.8.1］
・配管用鋼管　※カラー硬質塩化ビニル管　・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU) Ⓖ
鋼管製といの防露　［3.8.2］　［表3.8.3］
・次の箇所に行わない(　　)
防露材のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆　・
掃除口　※有り　・無し　・
たてどい受金物の取付け　［3.8.3］

8 アルミニウム製笠木　［3.9.2～3］　［表3.9.1］

種　類	呼称肉厚(㎜)	製品幅(㎜)	固定間隔	備　考
・150形	※1.1程度	※150	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突き当り部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	※1.8以上	※300		
・350形	※2.0以上	※350		

板材折曲げ形の取付工法　・図示　［3.9.3］

9 折板葺　(13.3.2～3)

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・
形状　(㎜)	山高(　)　山ピッチ(　)　板厚　・0.6　※0.8
材　料	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯
(規格等)	(CGLCCR-20-AZ150)
軒先面戸板	※有り　・無し
断熱材	・有り(種別：　厚さ：　㎜)　※無し
耐火性能	・30分耐火　※無し

⑩保証期間　※ 10年保証とする。

4 外壁改修工事共通事項
①施工数量調査　調査範囲　※外壁改修範囲　・図示の範囲　［1.5.2］
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。　また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び剥落を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。
調査報告書の部数　※2部　・

既存塗装面外壁補修想定数量

補修項目	外壁
ひび割れ 0.2mm未満	２．０ｍ
ひび割れ 0.2mm以上	２．０ｍ
欠損部（100×100程度）	６箇所
一般部浮き	１．０㎡
塗膜脆弱部(既存塗膜除去部)	２．３㎡

工事名	松戸市立和名ケ谷中学校体育館空調設備設置建築工事
図面名	改修工事特記仕様書-1
作成年月日	令和7年2月10日
変更年月日	－
縮　尺	No Scale
図面番号	A-01
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号
松戸市　街づくり部　建築保全課	

章	項目	特記事項
4 外壁改修工事 共通事項	②改修材料	⊙既製調合モルタル 保水率(%): 70.0以上 / 単位容積質量(kg/l): 1.80程度 / 接着強さ(N/*) 標準時: 0.60以上 / 接着強さ(N/*) 温冷繰り返し後: 0.40以上 / 長さ変化率(%): 0.20以上 / 曲げ強さ(N/*): 4.0以上 ⊙パテ状エポキシ樹脂 初期硬化性(標準): 2.0N/*以上 / 接着強さ(標準): 6.0N/*以上 / 圧縮強さ: 50.0N/*以上 / 曲げ強さ: 30.0N/*以上 / 硬化収縮率: 3.0(%)以上 a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。 ・可とう性エポキシ樹脂 性能: 常温物性 / 低温性 / 加熱変化 / 引張接着性 引張強さ: 1.0N/*以上 / 1.0N/*以上 / 1.0N/*以上 / 最大引張応力 1.0N/*以上 伸び: 30.0%以上 / 30.0%以上 / 30.0%以上 / 破断時の伸び 10.0%以上 比重 表示値±0.10 押出し性 60秒以下 スランプ 3mm以下 加熱減量 5%以下 a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。 ・タイル部分張替え工法用材料 接着強さ: 標準 0.60以上 / 低温硬化 0.40以上 / アルカリ温水 0.40以上 / 冷熱水中繰返し 0.40以上 / 熱劣化 0.40以上 凝集破壊率(%): 75以上 / 50以上 / 50以上 / 50以上 / 50以上 皮膜物性: 標準 / 高温 / 低温 / アルカリ温水 / 熱劣化 引張強さ(N/*): 1.00以上 / 1.00以上 / 1.00以上 / 1.00以上 / 1.00以上 伸び(%): 30以上 / 30以上 / 30以上 / 20以上 / 20以上 貯蔵安定性 容積と粘土に著しい変化がないこと。 耐熱性 JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。 a.外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b.タイル、石材、下地等侵すものでないこと。 c.「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 e.ずれ抵抗性があること。 f.混錬終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。 ⊙エポキシ樹脂モルタル 接着強さ: 1.0N/*以上 / 圧縮強さ: 20.0N/*以上 / 曲げ強さ: 10.0N/*以上 a.こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。 b.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 c.「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。 d.形状に異常が無く、垂れが生じないこと。 e.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 ⊙ポリマーセメントモルタル ポリマーセメントモルタルの種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレン一酢ビ系等 曲げ強さ(N/*): 6.0以上 / 圧縮強さ(N/*): 20.0以上 / 接着強さ(N/*) 標準時: 1.0以上 / 接着強さ(N/*) 湿潤時: 0.8以上 / 接着強さ(N/*) 低温時: 0.5以上 表面状態 垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。 透水性 裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 ・ポリマーセメントスラリー 広がり速度(cm/s): 3以上 / 長さ変化率(収縮): 3.0%以下 / 引張接着性(材齢28日): 0.5N/*以上 / 曲げ性能(材齢28日): 5.0N/*以上 / 吸水性(72時間): 15%以下 / 耐久性(劣化曲げ強さ): 6.0N/*以上 保水係数 0.35～0.55 粘調係数 0.50～1.00 ・吸水調整材 項目: 全固形分(%) / 吸水性(g) / 接着強度(N/*) / 界面破断率 (%) 品質・性能: 表示値±1%以内 / 30分で1g以下 / 0.98以上 / 50%以下 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁	①ひび割れ部改修工法	※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4] 注入工法の種類: ひび割れ幅(mm) / 注入口間隔(mm) / 注入量(ml/m) / 備考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～1.0未満 / ※200～300 / ※製造所の仕様による ⊙手動式エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～0.3未満 / ※ 50～100 / ※40 ・ 0.3以上～0.5未満 / ※100～200 / ※70 ・ ・機械式エポキシ樹脂注入工法: 0.5以上～1.0未満 / ※150～250 / ※130 ・ 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜取り) ※行わない [4.3.4] ・行う(抜取り部の補修方法:) ⊙Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] 充填材料: 品質・規格等 / 備考 ⊙シーリング用材料: ※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材 / ポリマーセメントモルタル充填 ※行わない ・行う ・可とう性エポキシ樹脂: JIA A 6024 ⊙シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6] ⊙パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024) ・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)
	②欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む)	⊙充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ⊙エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ポリマーセメントモルタル
	③浮き部改修工法	⊙アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法(16本/㎡) [4.1.4][4.4.10] (モルタル笠木・パラペット天端部分)
	4 巾木モルタル塗	・樹脂モルタル T3
4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	1 既存モルタル塗りの撤去	・行う(※監督職員の指示による)
	2 ひび割れ部改修工法	・既存モルタル撤去工法(範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による) ※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.2][4.4.5] 注入工法の種類: ひび割れ幅(mm) / 注入口間隔(mm) / 注入量(ml/m) / 備考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～1.0未満 / ※200～300 ・手動式エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～0.3未満 / ※50～100 / ※40 ・ 0.3以上～0.5未満 / ※100～200 / ※70 ・ ・機械式エポキシ樹脂注入工法: 0.5以上～1.0未満 / ※150～250 / ※130 ・ 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜取り) ※行わない [4.3.4] ・行う(抜取り部の補修方法:) ・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] 注入工法の種類: 品質・規格等 / 備考 ・シーリング用材料: ※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材 / ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う ・可とう性エポキシ樹脂: JIA A 6024 ・シール工法(亀裂が0.2mm未満) [4.1.4][4.2.2][4.4.7] (※既存モルタル面 、既存躯体コンクリート面)。 ・パテ状エポキシ樹脂(JIA A 6024) ・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024) ・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [4.2.2][4.6.3] (※シール工法の範囲 ・監督職員の指示による)
	3 欠損部改修工法	・既存モルタル面の欠損部 [4.1.4][4.4.8～9] 改修工法の種類: 材料 / 品質・規格等 ・充填工法: エポキシ樹脂モルタル ・モルタル塗替え工法: 改修標仕4.2.2(7)による / 塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない ・図示
	4 浮き部改修工法	[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] 改修工法の種類(モルタルを撤去しない場合): アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部 / 指定部 / 注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部 / 指定部 / 充填量 注入量 ・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法: ※16 / ※25 / ※狭幅部：5本/m / ※狭幅部：5本/m / ※25ml ・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法: ※13 / ※20 / ※12 / ※20 / ※25ml ・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法: ※13 / ※20 / ※12 / ※20 / ※25ml ・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法: ※9 / ※16 / ※25ml ・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法: ※9 / ※16 / ※9 / ※16 / ※25ml ・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法: ※9 / ※16 / ※9 / ※16 / ※25ml アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。
	5 巾木モルタル塗	・樹脂モルタル T3
4-3 外壁改修工事 タイル仕上げ外壁	1 既存タイル張りの撤去	・外壁タイル張り全面 ・部分撤去 [4.5.2] 撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張り付けモルタルまで ・タイルのみ
	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面(・コンクリート面 ・モルタル面) ※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5] 注入工法の種類: ひび割れ幅(mm) / 注入口間隔(mm) / 注入量(ml/m) / 備考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～1.0未満 / ※200～300 / ※ ・手動式エポキシ樹脂注入工法: 0.2以上～0.3未満 / ※50～100 / ※40 ・ 0.3以上～0.5未満 / ※100～200 / ※70 ・ ・機械式エポキシ樹脂注入工法: 0.5以上～1.0未満 / ※150～250 / ※130 ・ 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4] ・行う(抜き取り部の補修方法:) ・Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6] 充填材料: 品質・規格等 / 備考 ・シーリング用材料: ※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材 / ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う ・可とう性エポキシ樹脂
	3 欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む)	・充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ・エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ポリマーセメントモルタル

章	項目	特記事項
	4 浮き部改修工法	[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] 改修工法の種類(タイルを撤去しない場合): アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部 / 指定部 / 注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部 / 指定部 / 充填量 注入量 ・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法: ※16 / ※16 / ※25ml ・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法: ※13 / ※20 / ※12 / ※20 / ※25ml ・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法: ※13 / ※20 / ※12 / ※20 / ※50ml ・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法: ※9 / ※16 / ※25ml ・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法: ※9 / ※16 / ※9 / ※16 / ※25ml ・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法: ※9 / ※16 / ※9 / ※16 / ※50ml ・注入口付アンカーピニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法: ※9 / ※16 / ※9 / ※16 / ※50ml アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。
	5 下地処理	サンダーケレンの上、モルタル薄塗 [4.2.2][4.6.3]
	6 タイルクリーニング	工業用塩酸
4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	①既存塗装等の撤去及び下地処理	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4] 工法: 処理範囲 / 下地面の補修 ・サンダー工法: ※補強範囲 図示 / ・ひび割れ部改修工法 ※高圧水洗工法 加圧力 ※12MPa程度: ※塗替え範囲 図示 / ・浮き部改修工法 ⊙塗膜はく離剤工法: ※既存仕上面全体 / ・欠損部改修工法 ・水洗い工法: ※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 塗装はく離剤 [4.2.2]
	②下地調整材	※下地調整材C-1 (既存塗装除去部分) [4.2.2][4.6.3] ※微弾性フィラー (既存吹付タイル面・既存複層塗材面) [4.2.2][4.6.3]
	③仕上げ塗材仕上げ	種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4] 種類: 呼び名 / 仕上げの形状 / 上塗材の種類 ・薄付け仕上塗材: ・外装薄塗材Si / ・可とう形外装薄塗材Si / ・外装薄塗材E / ・可とう形外装薄塗材E / ・防水形外装薄塗材E / ・外装薄塗材S / ・砂壁状 / ・さざ波状 / ・ゆず肌状 / ・凸凹状 / ・平たん状 ⊙複層仕上塗材(既存塗装除去部分): ・複層塗材CE / ・可とう形複層塗材CE / ・複層塗材Si / ⊙複層塗材E / ・複層塗材RE / ・複層塗材RS / ・防水形複層塗材CE / ・防水形複層塗材E / ・防水形複層塗材RE / ・防水形複層塗材RS / ⊙ゆず肌状 / ・凸部処理 / ・凸凹状 ・可とう形改修用仕上塗材: ・可とう形改修塗材E / ・可とう形改修塗材RE / ・可とう形改修塗材CE / ・平たん状 / ・さざ波状 / ※ゆず肌状 耐候性 ※耐候形3種 ・耐候形1種 溶媒 ※水系 ・弱溶剤系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ウレタン系 ⊙シリコン系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材 ※行う
	4 その他の仕上げ	防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2](15.6.2) ※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。 ※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。 ・基礎巾木仕上塗材: ※エスケー化研㈱ ベースプロテクト同等品とする / ※菊水化学工業㈱ 基礎ｶﾞｰﾄﾞ同等品とする ・水性反応硬化形軒天用仕上塗材: ※エスケー化研㈱ ノキフレッシュ同等品とする / ※菊水化学工業㈱ ノキテンファイン同等品とする ・ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し保護仕上げ塗材: ※エスケー化研㈱ セラミRC-FR工法同等品とする
5 建具改修工事	①改修工法の適用	[5.1.3] 種類: かぶせ工法 / 撤去工法 / 備考 ・アルミニウム製建具: ・有り / ・有り ⊙鋼製建具 ・外部: ・有り / ⊙有り ・内部 ・鋼製軽量建具 ・ステンレス製建具 ・自動ドア開閉装置 ・重量シャッター
	2 見本の製作等	・特殊な建具の仮組(建具符号 :) [5.1.5]
	3 アルミ製建具	外部に面する建具 [5.2.2][表5.2.1] 種別: 耐風圧性 / 気密性 / 水密性 / 枠見込み(mm) / 施工箇所 ・A種: S-4 / ※A-3 / ※Ⅲ-4 / ※70 / ・図示 ・B種: S-5 / ・ / ・ / ・100 ・C種: S-6 / A-4 / Ⅲ-5 / 100

章	項目	特記事項
		表面処理 [5.2.4][表5.2.2] ・BA-1種 ・BA-2種(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) 屋内建具 表面処理 ※C-1種又はB-1種 [5.2.4][表5.2.2] ・C-2種又はB-2種(ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
	4 網戸	防虫網 [5.2.3] 網の種別 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ※ステンレス(SUS316)製 形 式 ・外部可動式 ※固定式
	⑤鋼製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1] 耐風圧性能の適用は建具表による 特定防火設備戸 ・適用する [5.4.4]
	6 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1～2]
	7 ステンレス製建具	簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による 表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・適用する [5.1.4]
	8 自動ドア開閉装置	※製造所標準製作の規定寸法許容差による [5.8.2～4][表5.8.1～5] 開閉方法: 検出装置の種類 ※引き戸: ・光線(反射)センサー ・熱線センサー ・多機能トイレ出入口引き戸: ・音波センサー ・光電センサー ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・多機能トイレスイッチ ・凍結防止装置(適用箇所は建具表による)
	9 自閉式上吊り引戸装置	品質規格 ※改修標仕5.9.3による。 [5.9.3][表5.9.1] ・製造所標準仕様による。
	10 木製建具	※建具表による。 かまち戸の樹種 かまち( ) 鏡板( ) (16.7.2)(表16.7.2) ふすまの上張り ※新鳥の子程度又はビニル紙程度(押入れ等の裏面は除く) (表16.7.3) ・鳥の子 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.7.2) ※F☆☆☆ ・非ホルムアルデヒド系接着剤
	⑪建具用金物	マスターキー ・製作する ※製作しない [5.7.4] 建具用金物 [5.7.2][表5.7.1～3] 錠類はシリンダー箱錠(レバーハンドル)とする。 なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。 ⊙図示による 吊金物 ・丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい) ・ピボットヒンジ
	12 ガラス	建具表による [5.13.2] ・ガラスブロック 改修標仕5.13.5 [5.13.5] 寸法(mm): 色調 / パターン / 防火認定 ※クリア ・熱線反射 / ※無し ・乳白 ・カラー( ) / ・有り
	13 ガラス留め材及び溝	ガラス留め材 [5.13.2～3] 建具の種類: 種類 アルミニウム製: ※シーリング材 ・ガスケット(FIX部はシーリング材) 鋼製及び鋼製軽量: ※シーリング材 ステンレス製: ※シーリング材 防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。
	⑭ガラス用フィルム	名称: 種類 / 張り面 / 性能値 ※ガラス飛散防止フィルム: 第2種 / ※内張り ・外張り / 飛散防止率 D1 ・目かくしフィルム ⊙遮熱フィルム: 第2種 / ※内張り ⊙外張り / 飛散防止性能あり 品質JIS A 5759による 建具表による [5.13.2]
	15 重量シャッター	[5.10.2][表5.10.1] シャッターの種類 ・一般重量シャッター: 耐風圧性能( )N/㎡ ・外壁用防火シャッター: 耐風圧性能( )N/㎡ ・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター 品質JIS A 4705による 開閉機能 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 危害防止機構 ※障害物感知装置(自動閉鎖型) [5.10.2] ・シャッターの二段降下方式 一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない [5.10.2]
	16 軽量シャッター	[5.11.2][表5.10.1] 開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 [5.11.3] 形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] ガイドレール等 [表5.10.2] ※鋼板製 ・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm) 耐風圧性能( )N/㎡

工事名	松戸市立和名ケ谷中学校体育館空調設備設置建築工事
図面名	改修工事特記仕様書-2
作成年月日	令和7年2月10日 / 変更年月日 / －
縮尺	No Scale / 図面番号 / A-02
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号
松戸市 街づくり部 建築保全課	

章	項目	特記事項
5 建具改修工事	17 オーバーヘッドドア	[5.13.2～5][表5.13.1～2]

セクション材料による区分	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 (SUS304)

耐風圧性能(　　)N/㎡　JIS A 4715

18 かぎ箱

市販品
形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

章	項目	特記事項
6 内装改修工事	① 改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 [6.1.3] ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・図示の範囲 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま。 ・図示の範囲
	2 既存床の撤去並びに下地補修	ビニル床シート等の除去　※仕上げ材のみ(接着剤とも)　[6.2.2] ・鋼製床組下地とも(※図示の範囲　・除去範囲全て) カラードフロアの撤去　・機械的除去工法　・目荒し工法 改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の案内　・
	3 既存壁の撤去並びに下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2][4.3.10] ・図示 ・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強　※行う　・行わない)
	④ 木下地等 (AP-1、2)	木材の品質　図示 [6.5.2][表6.5.1] ※改修標準仕様書6.5.2による　・市販品 代用樹種　※改修標仕表6.5.4による [6.5.2][表6.5.2] ・代用樹種を適用しない箇所(　　) 保存処理木材を適用する箇所(　　)

⑤ 集成材等 G (額縁等) [6.5.2]

品名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	○米栂　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	・1等　※2等　・3等	・	
・造作用集成材	※1等　・2等	・タモ	
・化粧ばり造作用集成材	※1等　・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

⑥ 接着剤 [6.5.3]

※F☆☆☆☆
・非ホルムアルデヒド系接着剤

7 防腐、防蟻処理 行う箇所(　　) [6.5.5]
防腐処理　※行う(※図示　　)
防蟻処理　・行う(※図示　　)
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。

8 床板張り フローリング及び繰甲板張り床 [6.5.8][6.11.2][表6.5.8]

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合　板	t12mm
		・パーティクルボード	t15mm
床板	※単層フローリング(共仕19.5.2による)	ホルムアルデヒドの放散量	
		※F☆☆☆☆　・	
	・繰甲板	※ひのき	

※フクビ　フリーフロアCP-F同等品

9 軽量鉄骨天井下地 野縁等の種類 [6.6.2][表6.6.1～2]
屋外(・19形 ※25形)　屋内(※19形　・25形　※角スタッド工法 65形)
既存の埋込みインサート　・使用する ※使用しない [6.6.4]
あと施工アンカーの確認試験　・行う ※行わない

10 軽量鉄骨壁下地 スタッドの高さが5mを超える場合　※図示 [6.7.3][表6.7.1]

11 ビニル床シート張り [6.8.2]

種類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)
※発砲層のないもの	※NC　・	※無地　・マーブル柄	※2.5
・発砲層のあるもの		※柄物　・無地	
・防滑性ビニル床シート	・NF　・NC	・柄物　・無地	・2.5
・防汚性ビニルシート			・2.0

工法　※熱溶接工法　・突付け(施工箇所:　　) [6.8.3]
・防汚性ビニルシート:下記同等品とする。
ロンシール工業㈱ヤニタリウム　t=2.0
タキロンシーアイ㈱ネオクリーン　t=2.0
東リ㈱消臭ＮＳトワレＮＷ　t=2.0

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

12 ビニル床タイル張り [6.8.2]

種類	JISの記号	厚さ(mm)	備考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS		
・ホモジニアスビニル床タイル	HT		

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

13 帯電防止床タイル張り [6.8.2]

種類	厚さ(mm)	性能
※コンポジションビニル床タイル	※2　・	体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	1.0×10⁷Ω以下、または、
		漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
		1.0×10⁷Ω未満

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

14 視覚障害者用床タイル(誘導用及び注意喚起用床材) ブロックパターンはJIS T 9251による [6.8.2]
色彩は黄色を原則とする。
屋内　※塩化ビニル製　・磁器又は石器質タイル(※300　・　　)
・レンジコンクリート製
屋外　※レンジコンクリート製　・磁器又は石器質タイル(※300　・　　)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

15 ビニル幅木 高さ(mm)　・60　・75　・100 [6.8.2]
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

章	項目	特記事項
	16 合成樹脂塗床	[6.10.2～3][表6.10.1～8]

種類	仕上の種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ工法(※平滑　・防滑)
	・厚膜流しのべ工法(※平滑　・防滑)
	・樹脂モルタル工法(※平滑　・防滑)
	・薄膜型塗床工法(※平滑)

ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970　※F☆☆☆☆　・

17 フローリング張り [6.11.2～7][表6.11.1～6]

種別	材種	工法	仕上塗装等	備考
・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品	
・大型積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
・単層フローリング	・ブナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
	・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品	
・フローリングブロック	・ブナ	・直張り	※塗装品	

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

18 畳敷き [6.12.2～3][表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
改修標仕 表6.5.10による床組	※B種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種　・

19 ポリスチレンフォーム床下地材 畳下地　厚さ(mm)　※40　・65　・80
フローリング類　厚さ(mm)　※80　・95

20 カーペット敷き ・織じゅうたん [6.9.2～3][表6.9.1～2]

種別	パイル糸の種類	帯電性	色柄等	備考
・A種	・そ毛糸	人体帯電圧	※無地	
・B種	・紡毛糸	※3kV以下	・柄物(標準品)	
・C種	・紡毛糸			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タフテッドカーペット(JIS L 4405) [6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	パイル長(mm)	工法	備考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法	
	※4～6　・	・グリッパー工法	
・レベルループパイル	※4　・		
・カット、ループ併用			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タイルカーペット [6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	種類	規格	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※第一種	※500×500	※6.5	
	・第二種			
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下(フリーアクセスフロア新設範囲)

21 石膏ボードその他のボード張り [6.13.2][表6.13.1]

種類	厚さ(mm)　規格
・硬質木毛セメント板 G	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板 G	・15　・20　・25　・
・ケイ酸カルシウム板	タイプ2(無石綿)　・6　・8　・　)
・ロックウール化粧吸音板	※フラットタイプ (※9(不燃)　・12　・　)
	・凸凹タイプ (※12(不燃)　・15　・19　・　)
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)	※フラットタイプ9(不燃) ・凸凹タイプ(※12　・15)(不燃)
・せっこうボード	・12.5(不燃)・9.5(準不燃)
・不燃積層せっこうボード	9.5(不燃)・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)
・シージングせっこうボード	・12.5(不燃)・9.5(不燃)
・強化せっこうボード	・12.5(不燃)・21.0(不燃)
・せっこうラスボード	・9.5　・12.5
・化粧せっこうボード	・9.5(準不燃)
・化粧せっこうボード(木目)	・12.5(不燃)幅440mm程度 模様(※柾目　・板目)専用下地材付き
・難燃合板 G	・生地、透明塗料塗り(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗り(ラワン合板程度)厚さ・12
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による　厚さ　・4.0
・ミディアムデンシティファイバーボード G	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード G	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボーイ(素地) G ※規制対象外　・第三種	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・研磨板　(・スタンダード　・テンパード)
・インシュレーションボード G	A級(・天井仕上　・内装仕上　・　) ・9　・12　・15　・18　・
・フレキシブル板	厚さ　・5.0
・(有孔)シナ合板	厚さ　・5.0

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
・適用する　※適用しない

22 吸音材 [表6.13.1]

種類	規格番号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	JIS A 6301	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	JIS A 6301	※25　・

23 壁紙張り(掲示用クロス) [6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維(織物)	プラ(ビニル)	その他(化学繊維)	紙	防火性能	備考
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	

下地調整 [6.14.3][表7.2.4][表7.2.7]
モルタル、プラスター面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
せっこうボード面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　F☆☆☆☆ [6.14.2]
サンゲツ・リリカラー製品同等品とする。

章	項目	特記事項
	24 モルタル塗り	吸水調整材 [6.15.3]

全固形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/㎟)	界面破断率(%)
表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)
防水剤の種類　建築用モルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間		曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント質量の5%	JIS R 5201の試験において		70%以上	95%以上	80%以上
以下	始発	1時間以上			
	終結	10時間以内			

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。
既製目地材　※適用しない　・適用する

25 タイル張り タイルの種類 [6.16.3]

施工箇所	形状寸法	きじ 磁器	きじ 石器	きじ 陶器	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 有り	役物 無し	色 標準	色 特注	再生材の適用 G	備考

役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う(※外装タイル　・　　)
内装タイル　※内装タイル接着剤張り　JIS A 5548 有機系接着剤
接着剤のホルムアルデヒド　※F☆☆☆☆　・

26 セルフレベリング材塗り セルフレベリング材の種類 [6.17.2][表6.17.1]

種類	フロー値(cm)	凝結時間 始発(分)	凝結時間 終結(時間)	圧縮強度(N/㎟)	下地接着強度(N/㎟)	表面接着強度(N/㎟)	長さ変化(%)	衝撃	備考
せっこう系	19以上	45以上	20以上	15以上	0.5以上	0.4以上	0.05以下	割れ及び剥がれないこと	
セメント系				20以上	0.7以上	0.5以上	0.12以下		

試験方法：日本建築学会品質規準JASS 15 M-103による。

27 断熱材 (19.9.2～3)

種類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	※25 ・100	特定フロンを使用しないもの
	※3種b (スキン層付)	・接地部分	※25	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	——	特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級　・2級
		・一般部	※25	

JIS A 9521に基づく発砲プラスチック
断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。

28 浴室天井材 市販品

材質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	・準不燃品	※200	廻縁は縦付きとし製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	・塗装品 ・木目調		※300 ・100	

29 フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	構法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 G ・5,000 G	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は各内装工事による。
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付対応　※製造所の標準仕様　(コンセント本体は別途設備工事)
コンセントの箇所数は図示
配線用取出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1箇所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り(※固定式　・可変式　・施工箇所は図示)

30 可動間仕切 (20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式		※鋼板	※メラミン樹脂又は	・有り	・有り
・スタッドパネル式		(※0.6　・0.8)	アクリル樹脂焼付	(　)	・無し
・パネル式		・		・無し	

遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

31 移動間仕切 (20.2.4)

遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ (36db以上)		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は「23壁紙張り」による。

32 トイレブース 表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板 t40(アルミ製コーナーエッジ付き　指詰め防止)　(20.2.5)
※紙巻器設置位置については下地補強を行うこと。
・特殊UV塗装硬質セメント板(標準色　アルミ製コーナーエッジ(ステンカラー)付き)
笠　木　※アルミ製　・ステンレス製
足形状　※幅木タイプ(ステンレス製)　・足金物タイプ
※防水型(ステンレス巻き)

33 階段滑り止め 材　種　ステンレスSUS304 (20.2.6)
形　状　ビニルタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り(・ステンレス製　※ビニル製)　・無し
幅(mm)　約35
取付工法　※接着工法　・埋込工法

34 手すり

種別	施工箇所
※笠木受け：アルミ押出形材 笠木：半硬質耐候製樹脂　ニ層成形φ40mm	スロープ
・樹脂被覆Φ34	

35 黒板及びホワイトボード (20.2.8)

種類		寸法(mm)	色彩	備考
・黒板	※焼付		※緑　・黒	・平面　※曲面
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面

章	項目	特記事項
	36 表示	衝突防止表示　・図示(市販品　・ステンレス製　径約30mm　・　　) (20.2.10) (　・両面　・片面　) ・無し 表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。 製造所　監督職員の承諾する製造所。
	37 ブラインド	・既存再使用する(養生方法:　　) [2.3.1][5.1.6] ・新設する (20.2.12)

形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横形	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
・縦形	・1本操作コード	・アルミスラット	・80
	※2本操作コード	・クロススラット	・100

38 ロールスクリーン 防炎性能　※有り
製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する (20.2.13)

施工箇所	装置 電動	装置 手引	性能 防炎性能	備考

39 カーテン(暗幕、緞帳等) ・既存再使用する(養生方法:取外し再取付) [2.3.1][5.1.6]
・新設する (20.2.14)

施工箇所	形式 片引	形式 引分	装置 電動	装置 ひも引	装置 手引	ひだの種類	性能	備考

40 カーテンレール ・既存再使用する [5.1.6]
・新設する (20.2.14)
材　種　JIS A 4802 ・アルミニウム製　※ステンレス製
形　式　・片引き　・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)

41 カーテンボックス及びブラインドボックス ※既存再使用する。 [5.1.6]
・新設する。
・市販品(アルミニウム製)
溝幅×深さ(mm)　・90×150　※120×150　・150×80　・
色　彩　※B-1　・B-2(※ブラウン　・ブラック　・ステンレスカラー)
※図示

41 天井点検口 材　質　※アルミニウム製(※額縁タイプ　・目地タイプ)　・既存取外し、再取付

42 床点検口 材　質　・アルミニウム製(受け枠　※アルミ製　・ステンレス製)
・ステンレス製(受け枠　・ステンレス製(防水、防臭型))

43 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	耐荷重による種類

44 流し台ユニット

種類	寸法(L=　mm)	適用内容	規格・品質等
・流し台	・900　・1200　・1500	・トラップ付き	
・コンロ台	・600　・700	・バックガード　・有り	
・吊り戸棚	・1200　・900　・600		
・水切り棚	・1200　・900	・トラップ付き	
・作業台	・900　・1200　・1500		

45 屋内掲示板 枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発砲シート張り　・

46 ライニング天板 材　種　・メラミン樹脂化粧板張り(芯材:集成材)　・人工大理石
奥行き(mm)　※図示

47 用具入れ 材質　メラミン樹脂系化粧板 (12.2.2)(19.7.2)
形状、寸法　※図示
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

49 室名札等 ・突出し型　金具:ｱﾙﾐ型材、ｶﾞﾗｽ:ｶﾞﾘｶﾞｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字:ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ:270×80H　(　　箇所)
・平付け型　金具:ｱﾙﾐ型材、ｶﾞﾗｽ:ｶﾞﾘｶﾞｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字:ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ:270×80H　(　　箇所)
・ピクトサイン　材質:ｱﾙﾐ　ｱﾙﾏｲﾄｼﾙﾊﾞｰ、絵柄:ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ:200×200　(　7　箇所)
・階数表示　材質:ｽﾃﾝﾚｽ　ﾍｱﾗｲﾝ、文字:ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ150×150　(　　箇所)

50 鋼製床下地(体育館用) 部材規格　大引き、根太鋼:※JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板、亜鉛付着量Z12以上)
U字金具、支持台:※JIS G 3302SGHCと同等以上(亜鉛付着量Z12以上)
緩衝材:※JIS K 6385(A種防振ゴム)
※三洋工業㈱ スリーベース101タイプ同等品とする。

51 アルミ製移動階段 ・セノー㈱　HE9724(アルミ合金製、アルマイト処理焼付塗装)同等品とする。

52 救助袋 ・垂直式　○階用

工事名	松戸市立和名ケ谷中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修工事特記仕様書-3		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	—
縮尺	No Scale	図面番号	A-03
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

7 塗装改修工事

①材料 [7.1.2～3]

塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。

屋内で使用する場合のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は　[7.1.8]

監督職員と協議する。

②下地調整 [7.2.2～7][表7.2.1～7]

下地面の種類	下地調整の種別	備　考
木部	・RA種 ※RB種	新規面はRA種
鉄鋼面	・RA種 ※RB種	
亜鉛めっき鋼面	・RA種 ※RB種	
モルタル、プラスター面	・RA種 ※RB種	
コンクリート、ALC及び押出成形	・RA種 ※RB種	
セメント板面	・RA種 ※RB種	
せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種	

既存下地面等のひび割れ部補修　[表7.2.5～6]

※行う　・行わない

※錆止め　JIS K 5674

③合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) [7.5.2][表7.5.1]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
木部	・A種　※B種	※B種	下塗りJASS 18 M-304
			中塗り及び上塗りJIS K 5516
鉄鋼面	・A種　※B種	※B種	穴埋め及びパテかいJASS 18 M-110
			中塗り及び上塗りJIS K 5516

④鉄鋼面耐候性塗料塗り(DP) [7.8.2～4][表7.8.1～3]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
鉄面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5659
亜鉛めっき面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5659
コンクリート、押出成形セメント板面	※A種　・B種	・A種　※B種	JIS K 5658

下塗りJASS 18 M-109

5 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) [7.9.2][表7.9.1]

新規の塗りの種別　・A種　※B種

塗替えの種別　・A種　※B種

下塗りJIS K 5663　中塗り及び上塗りJIS K 5660

6 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) [7.10.2][表7.10.1]

新規の塗りの種別　・A種　※B種

下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

7 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T) [7.11.2][表7.11.1]

新規の塗りの種別　・A種　※B種

塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種別
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種
	・RC種	※C-3種
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種　・B種
	・RC種	・C-1種　・C-2種

下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

8 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) [7.11.2][表7.11.1]

・A種　※B種

1液形JASS 18 M-301　2液形JASS 18 M-502

⑨オイルステイン塗り(OS) [7.12.2]

ワトコオイル製品同等品とする。

10 木材保護塗料塗り(WP) [7.13.2][表7.13.1]

・A種　※B種

JASS 18 M-307

11 ポリウレタン樹脂塗装(2-UC)

フローリングブロック面の塗り種別　・A種　※B種

8 耐震改修工事

『耐震補強工事構造特記仕様書』による。

9 環境配慮(グリーン)改修工事

①一般事項

アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法 [9.1.3]

・封じ込め処理　・囲い込み処理除去工法　(・)除去工法

アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事　(・)図示

分析によるアスベスト(ｱｸﾁﾉﾗｲﾄ、ｱﾓｻｲﾄ、ｱﾝｿﾌｨﾗｲﾄ、ｸﾘｿﾀｲﾙ、ｸﾛｼﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾚﾓﾗｲﾄ)含有の調査

・行う(下表による)　(・)行わない

材料名	調査方法	1材料あたりの試料数
	・JIS A 1481による	※3

2 アスベスト含有吹付材除去工事

吹付アスベストの施工数量調査を行う。

アスベスト粉塵濃度測定　※行う

測定時期及び場所等については下表による。

測定時期	測定場所	測定点数(各処理作業室毎)	備　考
処理作業前	処理作業室内	2又は3点	
	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通
処理作業中	処理作業室内	2点	
	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認
	負圧・除塵装置の排出口(処理作業室外の場合)	1点	除塵装置の性能確認
	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
処理作業後	処理作業室内	2点	
(隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通

(注)処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。

処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。

建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。

除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。

アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)

石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。

廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)

アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。

関係官公署に届出を行う。　・大気汚染防止法に関する届出　松戸市環境保全課

・労働安全衛生法に関する届出　柏労働基準監督署

本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

3 アスベスト含有吹付材囲い込み工事

軽鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ(核スタッド工法 65形@300)とし、既存天井面には触れない。

関係官公署に届出を行う。　・大気汚染防止法に関する届出　松戸市環境保全課

・労働安全衛生法に関する届出　柏労働基準監督署

養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。

アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。

―内部測定点内訳―

〈1階：　点、2階：　点、3階：　点〉

詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。

4 アスベスト成形板の処理工事

処理を行うアスベスト成形板の仕様等　・仕上表による [9.1.5]

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲
石綿板	4	便所
人研ブロック	30	便所

施工調査

アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。

調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。

(1)アスベスト成形板使用部位の確認。

(2)アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。

(3)アスベスト成形板使用数量の確認。

⑤アスベスト含有仕上塗材の除去

アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験的一部除去作業の方法

(1)試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は□500mm程度とする。

(2)試験的除去は剥離剤併用手工具ケレン工法にて実施。

アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法　(・)部分除去　・全面除去

アスベスト含有仕上塗材部分除去作業

(1)部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。

(2)建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。

なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。

(集塵機付きｻﾞｲｽｸｻﾝﾀﾞｰ工法同等とすること)

(3)除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。

(4)アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)

石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。

(5)廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)

(6)アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。

(7)関係官公署に届出を行う。

(大気汚染防止法→松戸市環境保全課 労働安全衛生法→柏労働基準監督署)

(8)本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

6 外断熱改修工事

断熱材の種類 [9.2.2]

材料名		厚さ(mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム	
・硬質ウレタンフォーム	・フェノールフォーム	
・ロックウール	・グラスウール	

外装材の種類 [9.2.2]

防火性能

既存外壁仕上材の撤去　・有り　・無し [9.2.3]

下地面の清掃及び下地調整　※断熱材製造所の指定する仕様

通気層　・有り(　mm)　・なし [9.2.4]

試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。

特記無き事項は、製造所の仕様による。

7 ガラス改修工事

複層ガラスの厚さ　建具表による [5.14.2]

断熱性・日射遮蔽性による区分　※U3-1　・U3-2

8 屋上緑化改修工事

特記事項は図示 [9.4.2]

9 透水性アスファルト舗装改修工事

路盤材料 [9.5.4][表9.5.3]

※再生クラッシャラン(RC-40)

・クラッシャラン(C-40)又はクラッシャランスラグ(CS-40)

透水性の高いものを使用する。

遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.5.3]

・遮断層　※川砂、海砂又は良質な山砂　・

厚さは図示

・凍上抑制層　※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　切込み砂利　・砂

厚さは図示

盛土に用いる材料 [9.5.3][表9.5.1]

・A種　※B種　・C種　・D種

路床安定処理

※添加材料による安定処理 [9.5.3][表9.5.2]

種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントB種

・生石灰(　)　・消石灰(　)

添加量　kg/㎥(目標CBR ※5以上　・

路床土の支持力比試験　※行う(※乱した土　・乱さない土)

路床締固め度の試験　※行う

アスファルト混合物 [9.5.6][表9.5.5]

車道部　※改質アスファルトⅠ型

歩道部　※ストレートアスファルト

透水性舗装 [9.5.9]

アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う

10 その他

1 舗装工事

歩行者用通路コンクリート版の厚さ　※70mm　・ (22.5.2)(表22.5.1)

部　位	設計基準強度(N/mm²)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40
			砕石の場合20又は25
歩行者用通路	18	8	砂利の場合25
			砕石の場合20

砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1)

種別　・A種　・B種

2 植栽工事

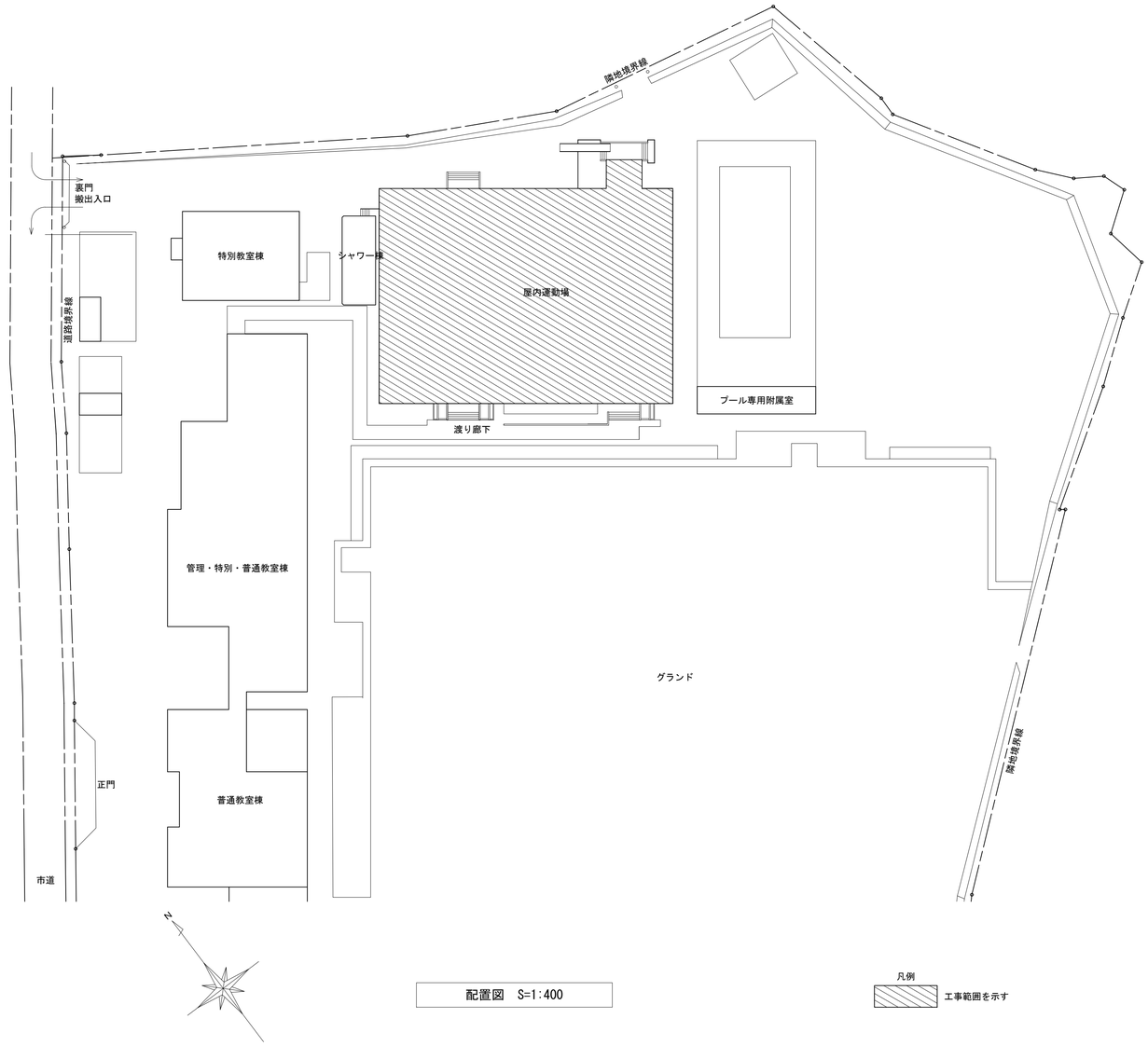
植樹 (22.3.2)

樹　種	寸　法	数　量	備　考

工事名	松戸市立和名ケ谷中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修工事特記仕様書-4		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	No Scale	図面番号	A-04
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



案内図　S=1:2500



配置図　S=1:400

凡例
工事範囲を示す

外部仕上表

部位		仕上	備考
外壁	改修前	1F:コンクリート打放し目地切　アクリルリシン吹付　複層塗材E（アスベスト含有） 2F:カラーガルバリウム鋼板スパンドレルt=0.5（断熱材入り）コーナー役物	一部撤去 既存のまま
	改修後	1F:下地補修の上、複層塗材E 2F:-	一部塗替え
出入口	改修前	モルタル金ゴテ	一部撤去
	改修後	モルタル金ゴテ	一部新設

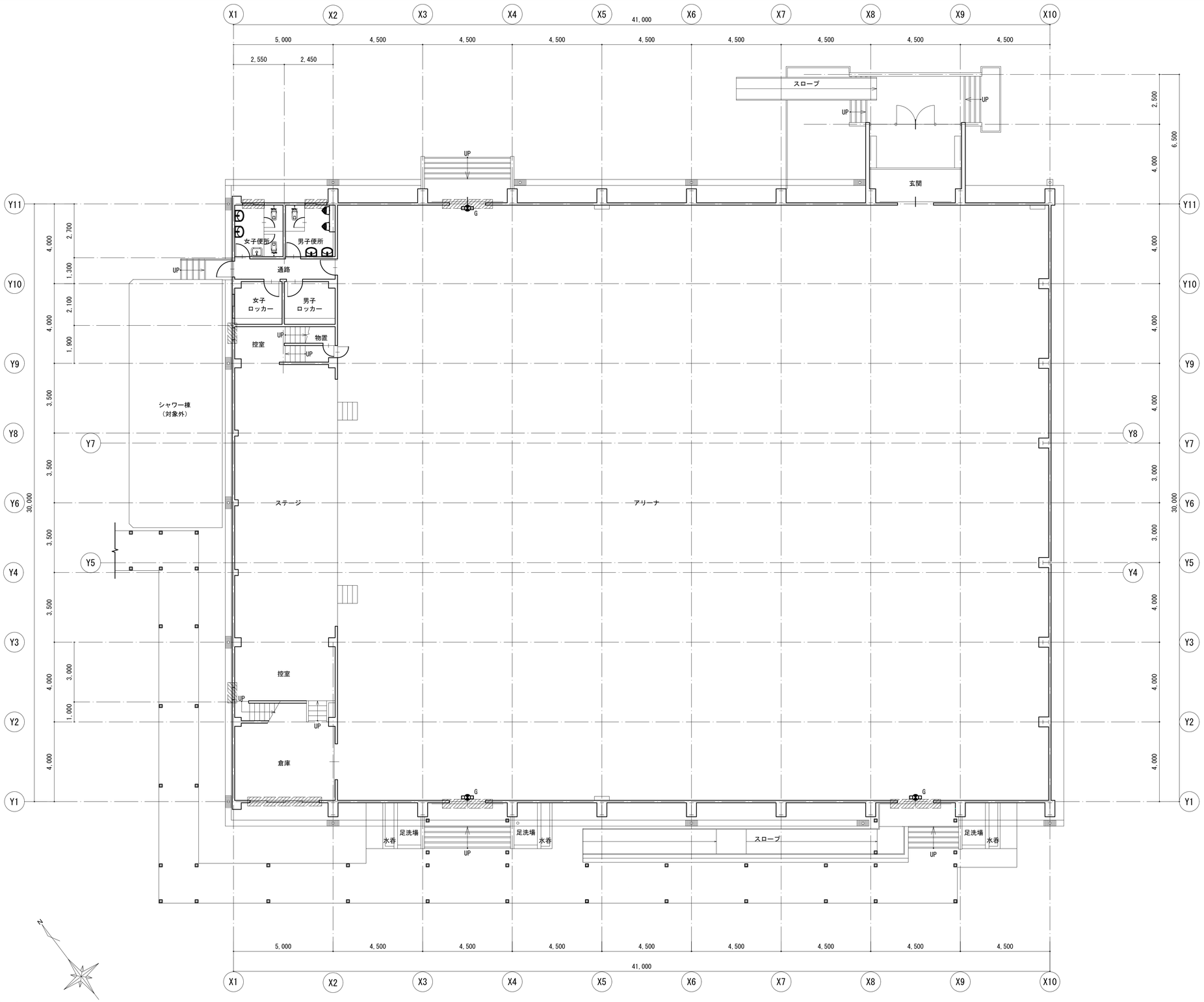
凡例、特記事項

	記号	塗料名	内装材認定	材料	認定番号	特記事項	内装仕上材、屋根裏木毛セメント板は、全てF☆☆☆☆とする
塗料凡例	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント					塗装材（塗料）は、全てF☆☆☆☆とする
	2-UC	2液型ウレタン樹脂ワニス塗り					建築材料は、全てアスベスト含有材でない材料を使用とする
	2-UE	2液型ポリウレタンエナメル塗り					
	SOP	合成樹脂調合ペイント塗装					
	複層塗材E	合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材					
	OS	オイルステイン塗り					
	CL	クリヤラッカー塗り					
	OSCL	オイルステイン塗り+クリヤラッカー塗り					
	DP	鉄鋼面耐候性塗料塗り					
	VP	塩化ビニールペイント					

内部仕上表

階	室 名		床	床高さ	改修内容範囲		巾 木	床高さ	改修内容範囲		壁(柱・梁型)	改修内容範囲		天 井	天井高さ	改修内容範囲	廻縁	備 考
1	アリーナ	改修前	プナフローリングt=18　2-UC　鋼製床組　針葉樹構造用合板t=15 大型積層フローリングカバt=18（表層単板t=6無塗装） EXPゴム	±0	既存のまま 一部撤去	改修前	ラワン H150x20 OP	+150	一部撤去	改修前	腰壁:ラワン竪羽目板t=12 CL	一部撤去 既存のまま	改修前	カラー木毛板t=25 ギャラリー部：コンクリート打放し アクリルリシン吹付（アスベスト含有）		既存のまま 既存のまま	ラワン 50x30 OS	
		改修後	- EXPゴムt=20	±0	一部新設	改修後	米栂集成材 H150x20 SOP	+150	一部新設	改修後	腰壁:杉竪羽目板t=12 OSCL -	一部新設	改修後	-			米栂集成材 50x30 OSCL	
2	ギャラリー	改修前	ノンスリップ型樹脂系塗床 下地調整の上ウレタン樹脂系塗床	±0	既存のまま	改修前	モルタル金ゴテ EP-G		既存のまま	改修前	腰壁:モルタル金ゴテ VP　EP-G更新 壁　:有孔ベニヤ合板t=5.5目透貼　EP-G	既存のまま 既存のまま	改修前	アリーナに含む				
		改修後	-			改修後	-			改修後	-		改修後	-				

工事名	松戸市立和名ケ谷中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図・仕上表		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:2500 1:400	図面番号	A-05
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



1.特記なき記号は下記による。

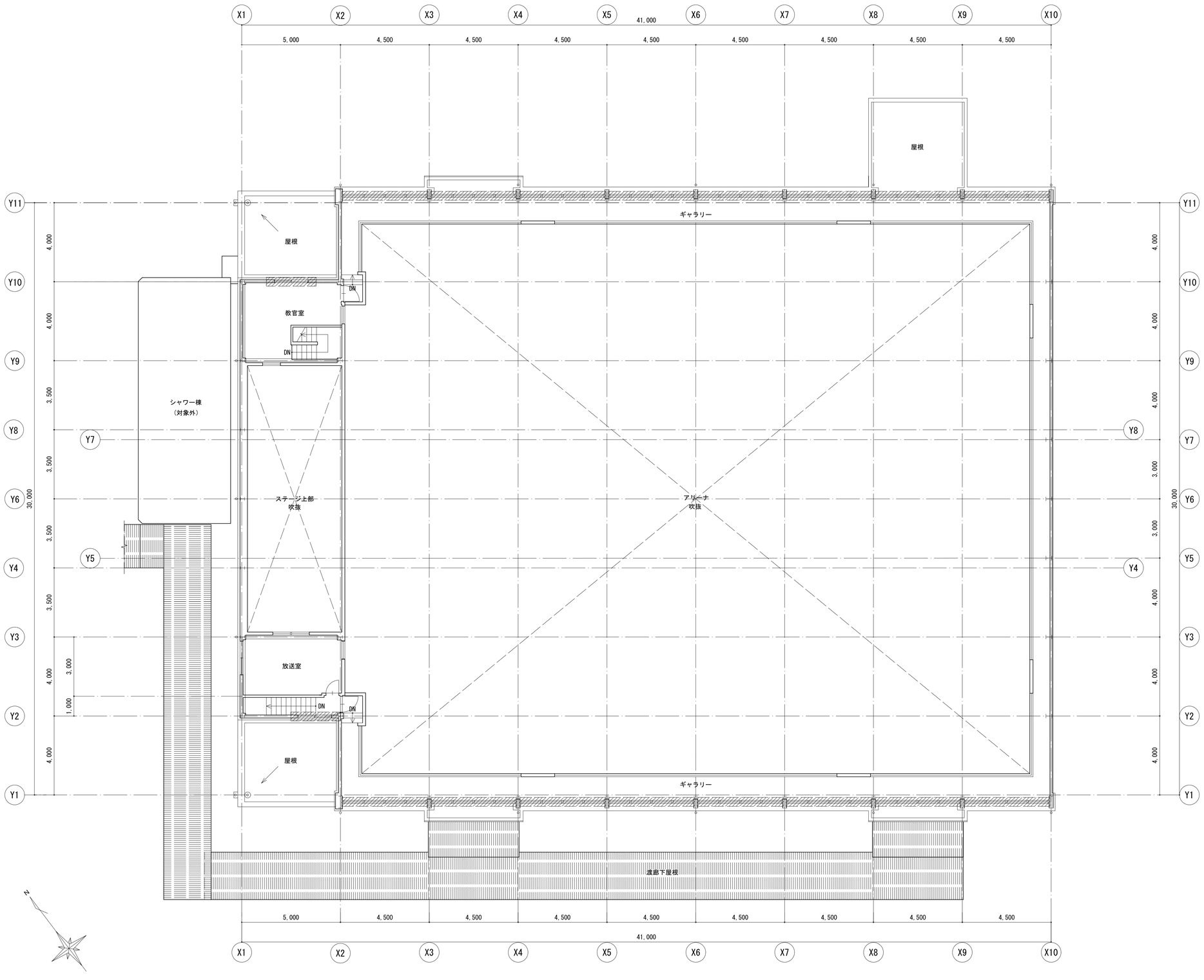
G　避難口誘導灯　C級　ｶﾞｰﾄﾞ付　（取外し・再取付建築工事）

1階平面図　S=1:100

凡例

改修範囲を示す

工事名	松戸市立和名ケ谷中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	1階平面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1：100	図面番号	A-06
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



2階平面図　S=1:100

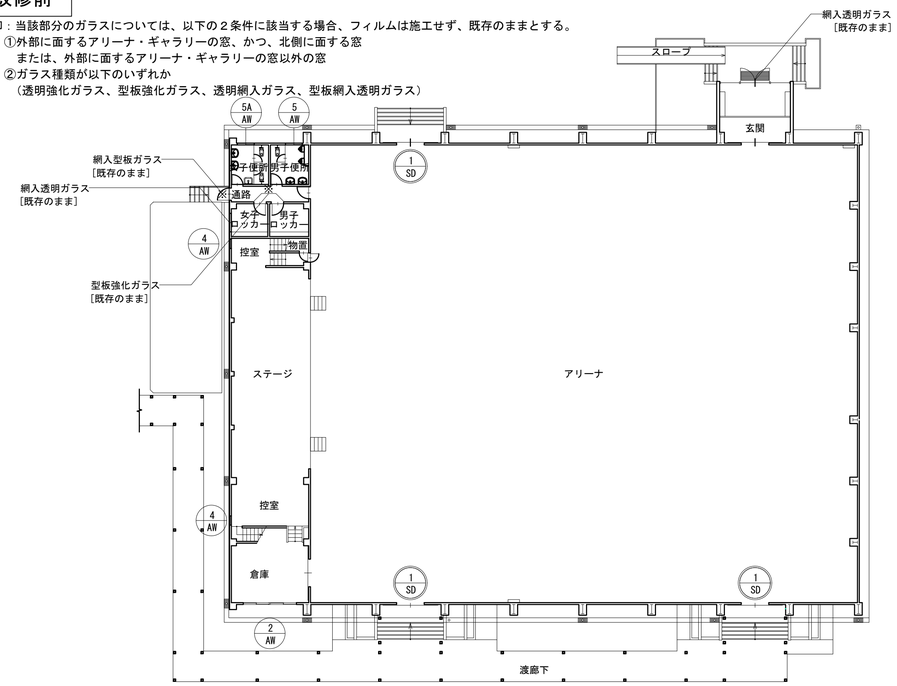
凡例

改修範囲を示す

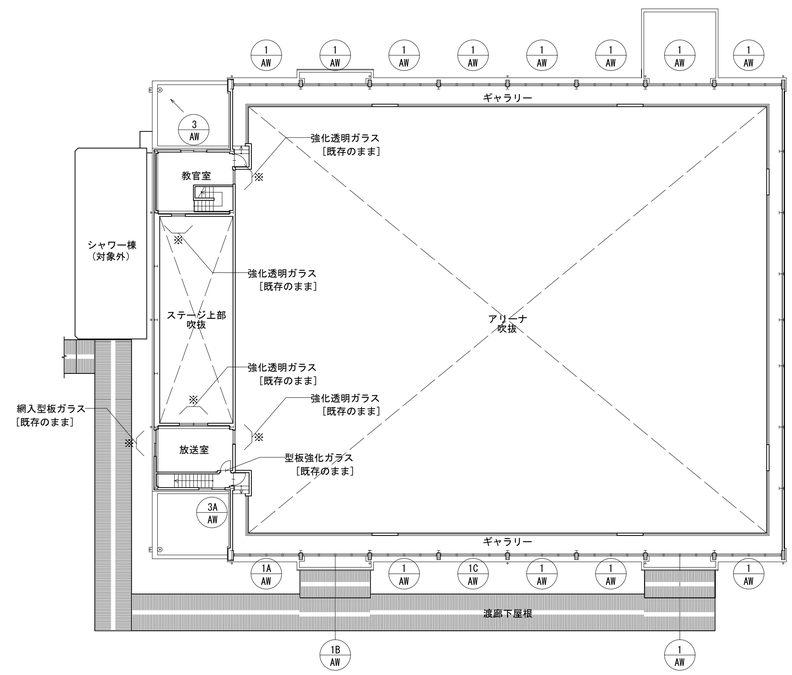
工事名	松戸市立和名ケ谷中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	2階平面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1：100	図面番号	A-07
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

改修前

※印：当該部分のガラスについては、以下の２条件に該当する場合、フィルムは施工せず、既存のままとする。
①外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓、かつ、北側に面する窓
または、外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓以外の窓
②ガラス種類が以下のいずれか
（透明強化ガラス、型板強化ガラス、透明網入ガラス、型板網入透明ガラス）



1階キープラン　S=1:200

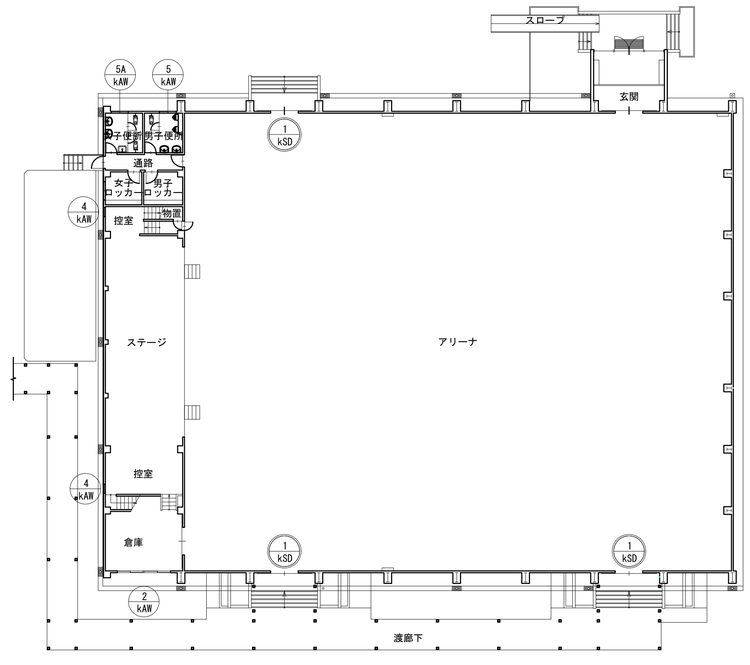


2階キープラン　S=1:200

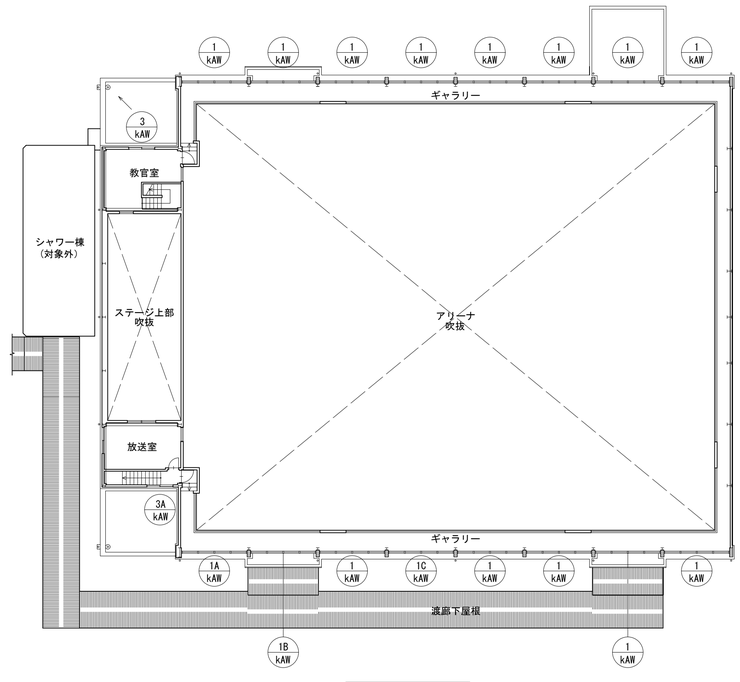
撤去建具を示す

既存建具を示す

改修後



1階キープラン　S=1:200



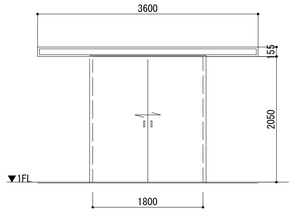
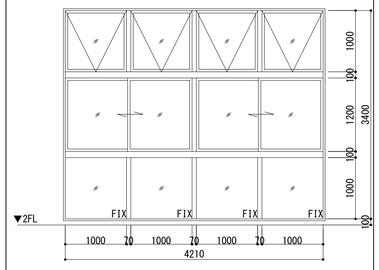
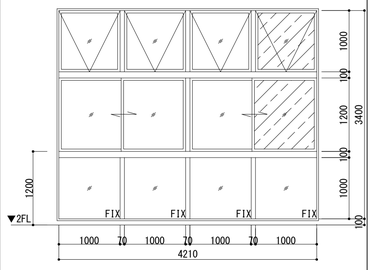
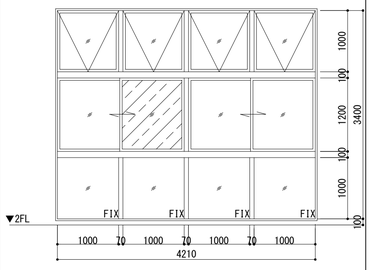
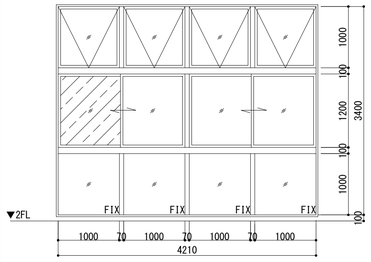
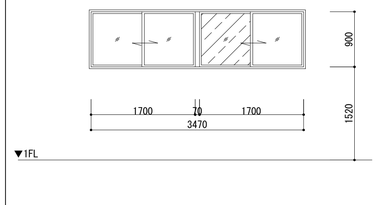
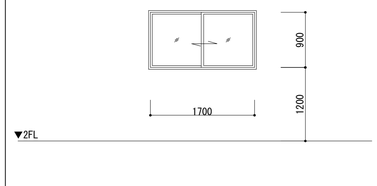
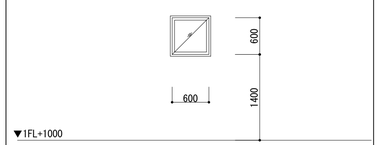
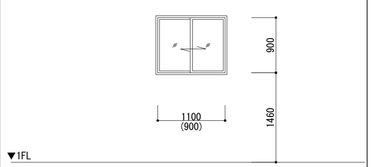
2階キープラン　S=1:200

新設建具を示す

既存建具を示す

工事名	松戸市立和名ケ谷中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修前・改修後 建具キープラン		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:200	図面番号	A-08
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

改修前

符号・数量	1 SD アリーナ　数量 3					
姿　図						
形　式	引違い戸					
材質・仕上	見込40　2-UE					
硝　子	-					
付属金物	レール、滑車、引手 下地調整の上、2-UE					
撤去内容	撤去（三方枠、袖摺、レール共）（部分詳細参照）					
符号・数量	1 AW ギャラリー　数量 13	1A AW ギャラリー　数量 1	1B AW ギャラリー　数量 1	1C AW ギャラリー　数量 1	2 AW 倉庫　数量 1	3 AW x1　3A AW x1　教官室・階段室　数量 2
姿　図						
形　式	内側排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	内側排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	内側排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	内側排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	引違い連窓	引違い窓
材質・仕上	見込70　アルミ（B-1種）	見込100　アルミ（B-1種）	見込70　アルミ（B-1種）	見込70　アルミ（B-1種）	見込70　アルミ（B-1種）	見込70　アルミ（B-1種）
硝　子	網入型板ガラスt=6.8	網入型板ガラスt=6.8	網入型板ガラスt=6.8	網入型板ガラスt=6.8	網入型板ガラスt=6.8	網入透明ガラスt=6.8
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式 AW-3A:二重ロック
撤去内容		網入型板ガラスt=6.8撤去]	網入型板ガラスt=6.8[撤去]	網入型板ガラスt=6.8[撤去]	網入型板ガラスt=6.8[撤去]	
符号・数量	4 AW　控室　数量 2	5 AW ×1　5A AW ×1　男子便所・女子便所　数量 2				
姿　図		( )内はAW-5Aの数値を示す 				
形　式	スベリ出し窓	引違い窓				
材質・仕上	見込40　アルミ（B-1種）	見込70　アルミ（B-1種）				
硝　子	網入透明ガラスt=6.8	型板ガラスt=4				
付属金物	付属金物一式	付属金物一式				
撤去内容						

凡　例

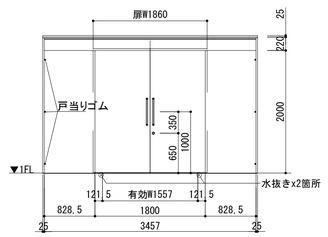
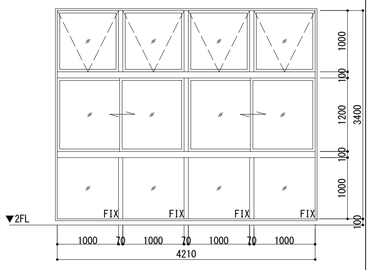
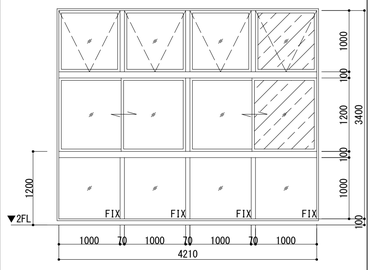
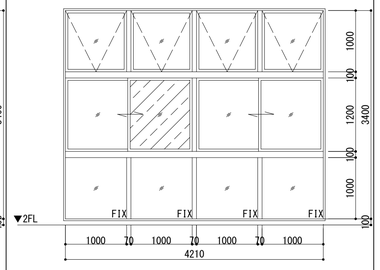
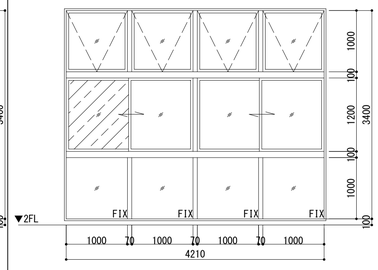
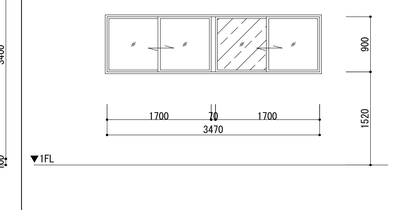
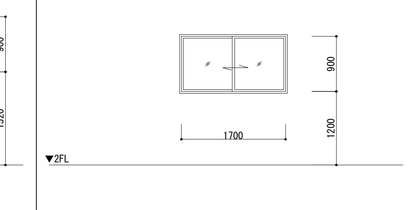
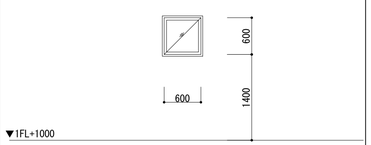
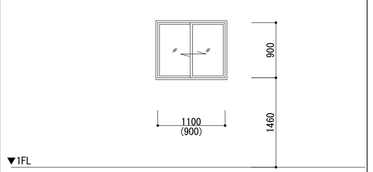
ガラス撤去範囲を示す（ひび割れガラス）

撤去建具を示す

既存建具を示す

工事名	松戸市立和名ケ谷中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修前 建具表		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:50	図面番号	A-09
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

改修後

符号・数量	1 kSD アリーナ　数量 3					
姿　図						
形　式	鋼製両引きハンガードア					
材質・仕上	DP　枠見込260					
硝　子						
付属金物	ドアハンドル、引戸錠、ガイドローラー、駆動装置、戸当りゴム、付属金物一式 スチールフラッシュ戸、鋼材t=1.6、枠廻りステンレスt=1.5					
改修内容	新設（部分詳細参照）					
符号・数量	1 kAW ギャラリー　数量 13	1A kAW ギャラリー　数量 1	1B kAW ギャラリー　数量 1	1C kAW ギャラリー　数量 1	2 kAW 倉庫　数量 1	3 kAW x1　3A kAW x1　教官室・階段室　数量 2
姿　図						
形　式	内側排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	内側排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	内側排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	内側排煙窓付き連窓引違い窓　下部FIX窓	引違い連窓	引違い窓
材質・仕上	見込70　アルミ（B-1種）	見込100　アルミ（B-1種）	見込70　アルミ（B-1種）	見込70　アルミ（B-1種）	見込70　アルミ（B-1種）	見込70　アルミ（B-1種）
硝　子	網入型板ガラスt=6.8	網入型板ガラスt=6.8	網入型板ガラスt=6.8	網入型板ガラスt=6.8	網入型板ガラスt=6.8	網入透明ガラスt=6.8
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式 kAW-3A:二重ロック
改修内容	網入型板ガラス④フィルム張[新設]（外貼）	網入型板ガラスt=6.8[新設]、網入型板ガラス④フィルム張[新設]（外貼）	網入型板ガラスt=6.8[新設]、網入型板ガラス④フィルム張[新設]（外貼）	網入型板ガラスt=6.8[新設]、網入型板ガラス④フィルム張[新設]（外貼）	網入型板ガラスt=6.8[新設]、網入型板ガラス④フィルム張[新設]（外貼）	網入透明ガラス③フィルム張[新設]（内貼）
符号・数量	4 kAW 控室　数量 2	5 kAW ×1　5A kAW ×1　男子便所・女子便所　数量 2				
姿　図		（）内はAW-5Aの数値を示す 				
形　式	スベリ出し窓	引違い窓				
材質・仕上	見込40　アルミ（B-1種）	見込70　アルミ（B-1種）				
硝　子	網入透明ガラスt=6.8	型板ガラスt=4				
付属金物	付属金物一式	付属金物一式				
改修内容	網入透明ガラス③フィルム張[新設]（内貼）	型板ガラス⑥フィルム張[新設]（外貼）				

■遮熱・飛散防止フィルム貼り仕様一覧表（外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓）

既存硝子＼方角		東・西・南	北
透明硝子	内貼	① 遮熱フィルム 3M　NANO70S	⑤ 飛散防止フィルム ３M　SH2CLAR
型硝子	外貼	② 遮熱フィルム 3M　NANO70SX	⑥ 飛散防止フィルム ３M　SH2CLARX
強化透明硝子	内貼	① 遮熱フィルム 3M　NANO70S	既存のまま
強化型硝子	外貼	② 遮熱フィルム 3M　NANO70SX	既存のまま
● 網入り透明硝子	内貼	③ 遮熱フィルム 3M　NANO90S	既存のまま
● 網入り型硝子	外貼	④ 遮熱フィルム 3M　NANOMACRX	既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは3Mジャパン(株)同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、**北側の強化硝子・網入り硝子**に飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま
・硝子交換:既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　:既存の網入り硝子が割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

■飛散フィルム貼り仕様一覧表

（外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓**以外の窓**・・・放送室、器具庫、控室、便所など）

既存硝子		全方角・内部
透明硝子	内貼	⑤ 飛散防止フィルム ３M　SH2CLAR
● 型硝子	外貼	⑥ 飛散防止フィルム ３M　SH2CLARX
強化透明硝子	—	既存のまま
強化型硝子	—	既存のまま
網入り透明硝子	—	既存のまま
網入り型硝子	—	既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは3Mジャパン(株)同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、**強化硝子・網入り硝子**に飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま
・硝子交換:既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　:既存の網入り硝子が割れている場合は同一硝子に交換する。

凡　例

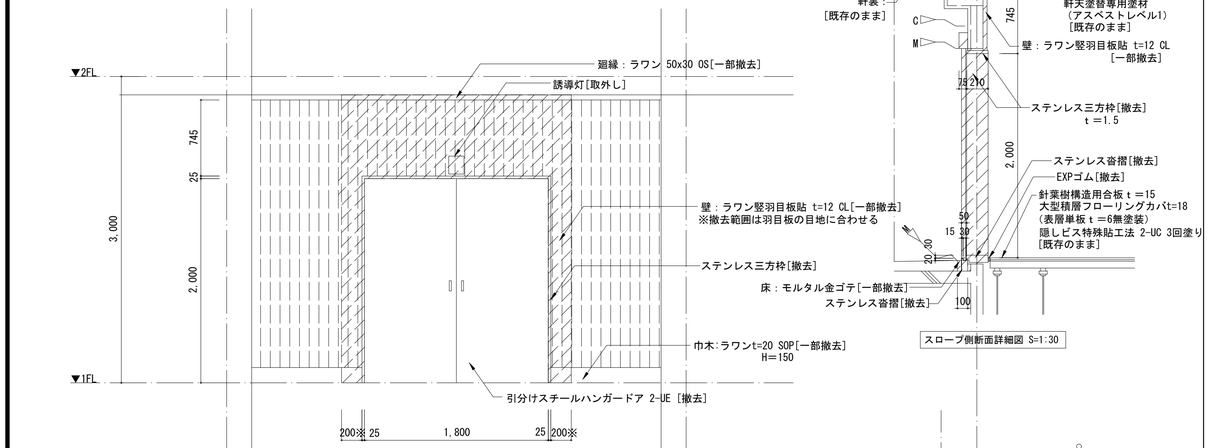
ガラス新設範囲を示す（網入型板ガラスt=6.8）
※ガラス留め、シーリング打替え、セッティングブロック等、副資材を含む

新設建具を示す

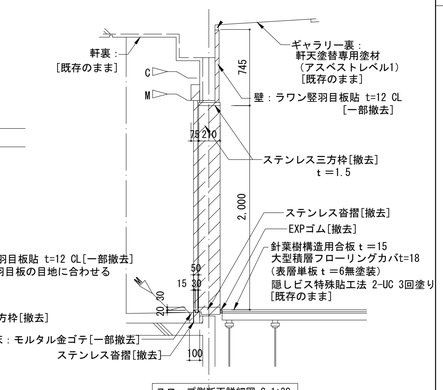
既存建具を示す

工事名	松戸市立和名ケ谷中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修後 建具表		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:50	図面番号	A-10
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

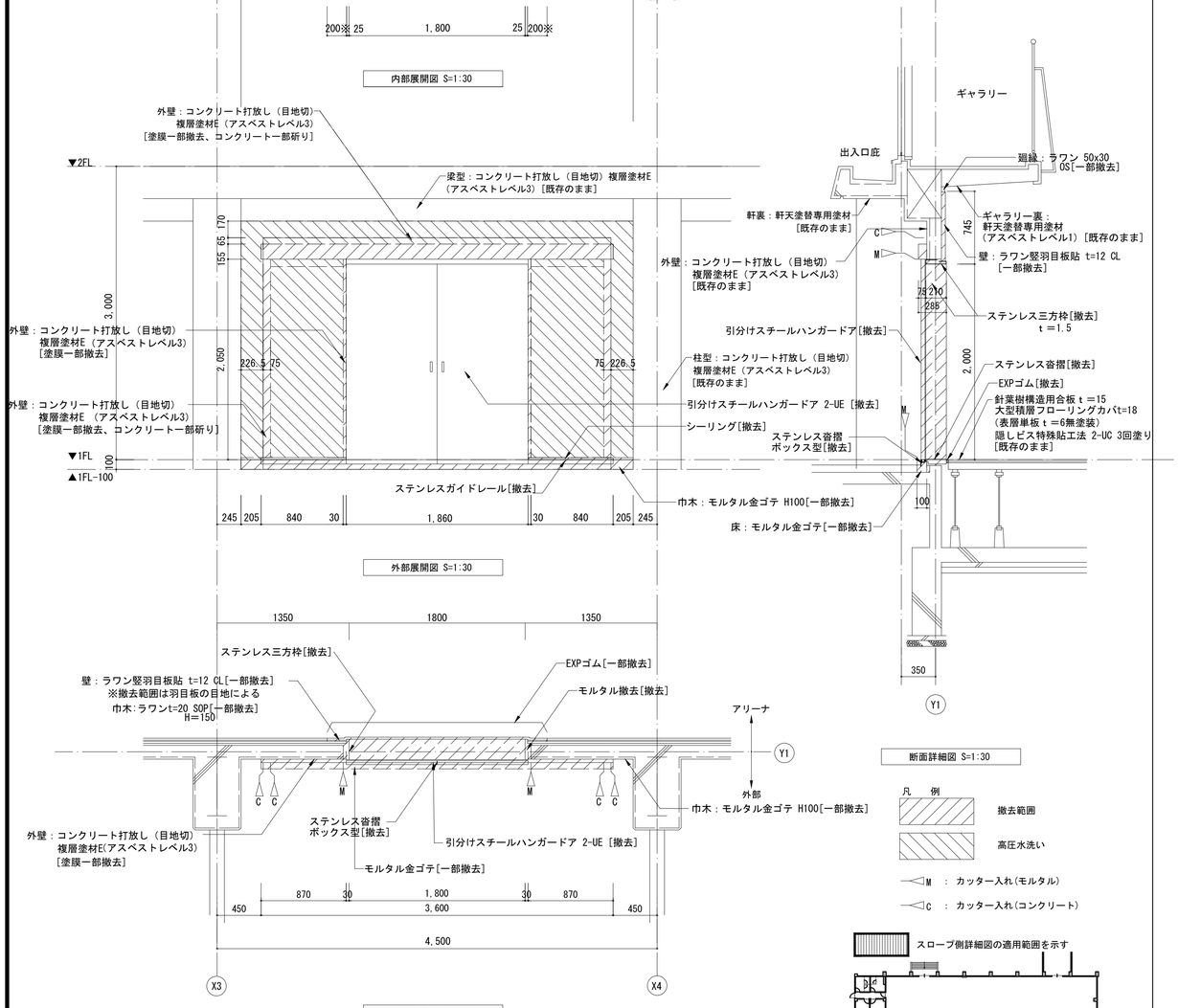
改修前



内部展開図 S=1:30



スロープ側断面詳細図 S=1:30

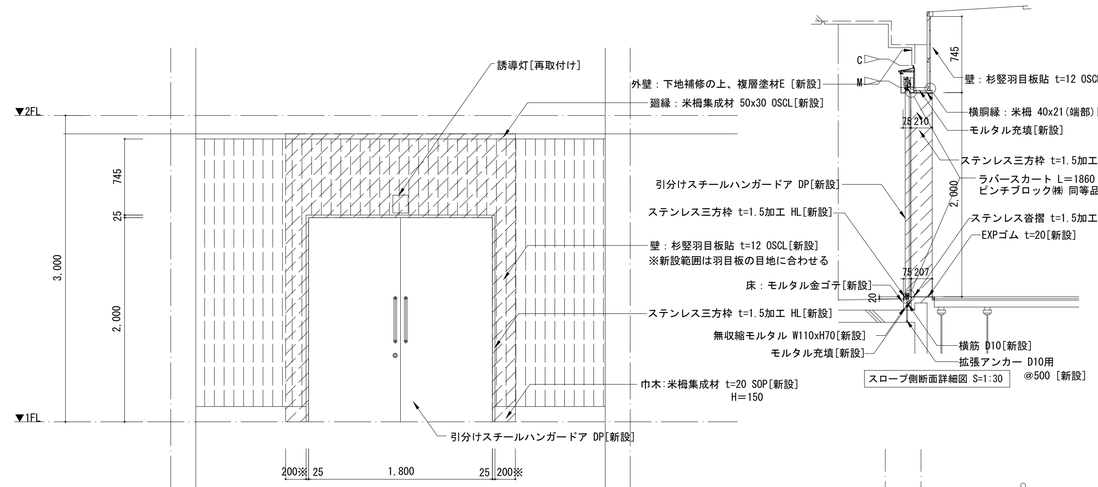


外部展開図 S=1:30

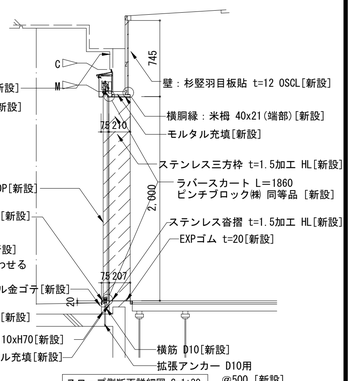
平面詳細図 S=1:30

断面詳細図 S=1:30

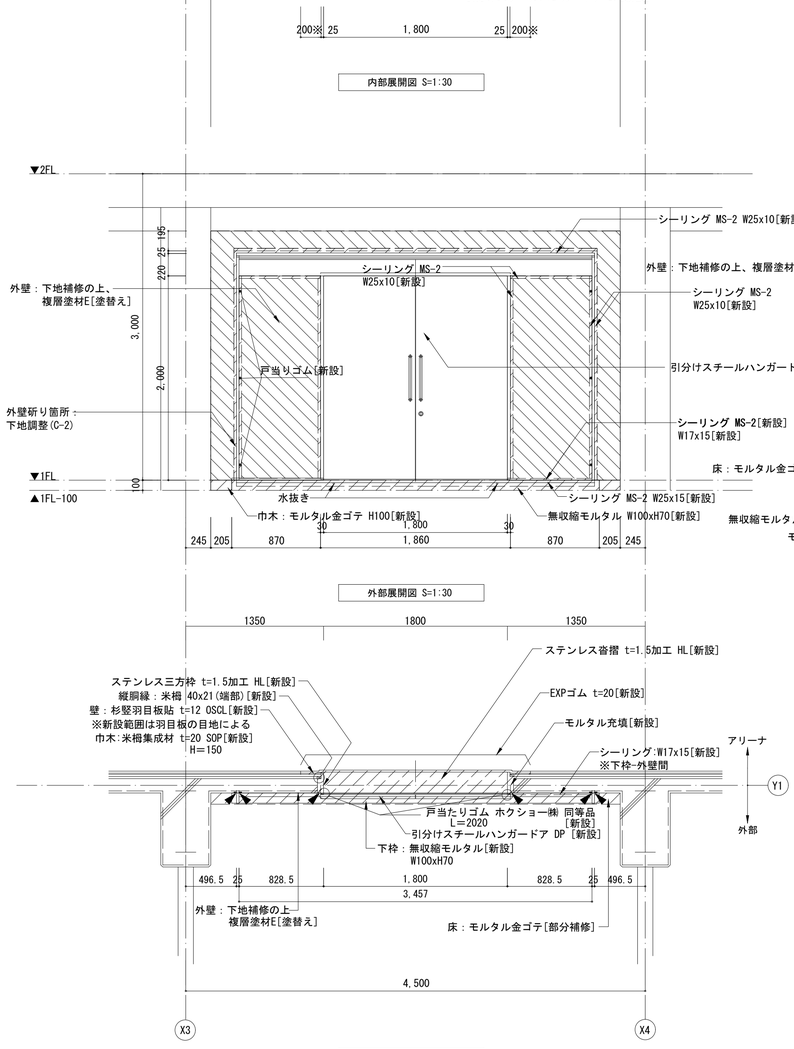
改修後



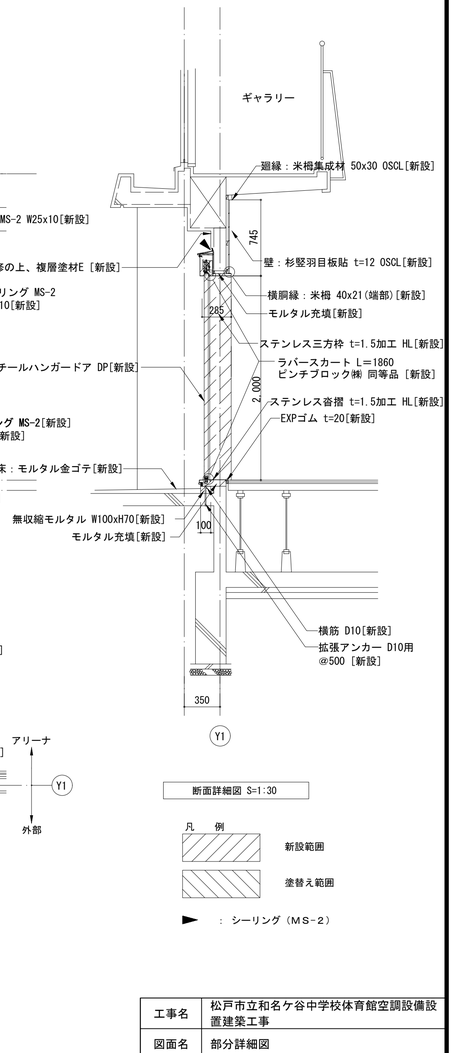
内部展開図 S=1:30



スロープ側断面詳細図 S=1:30



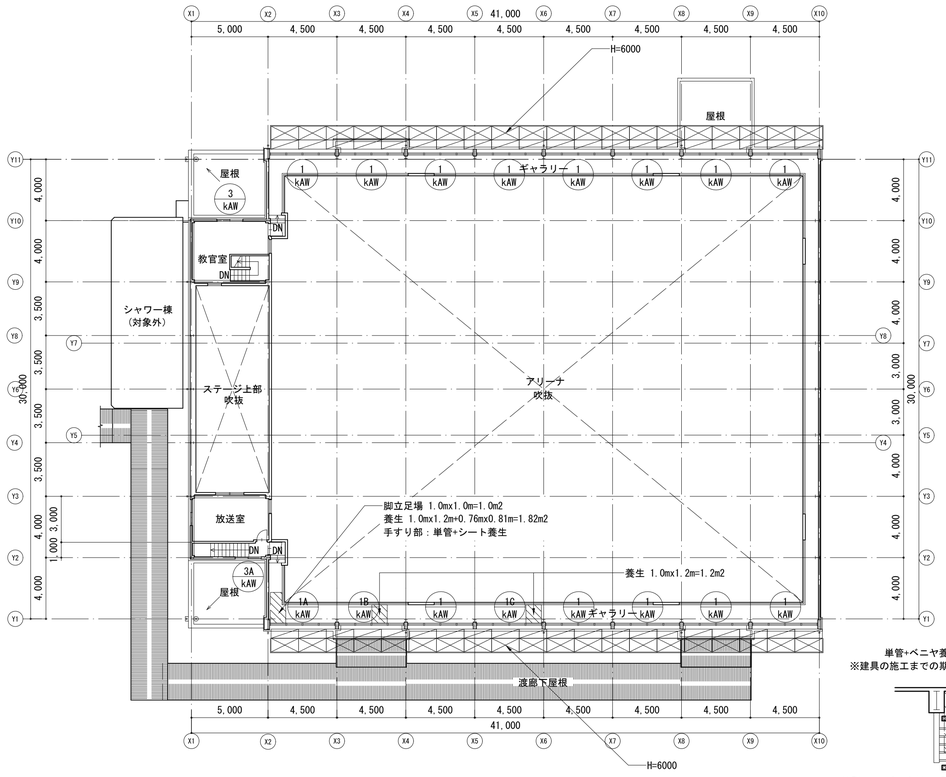
外部展開図 S=1:30



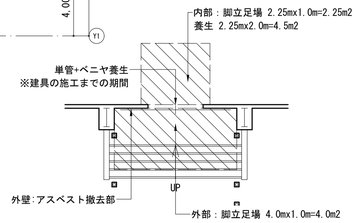
平面詳細図 S=1:30

断面詳細図 S=1:30

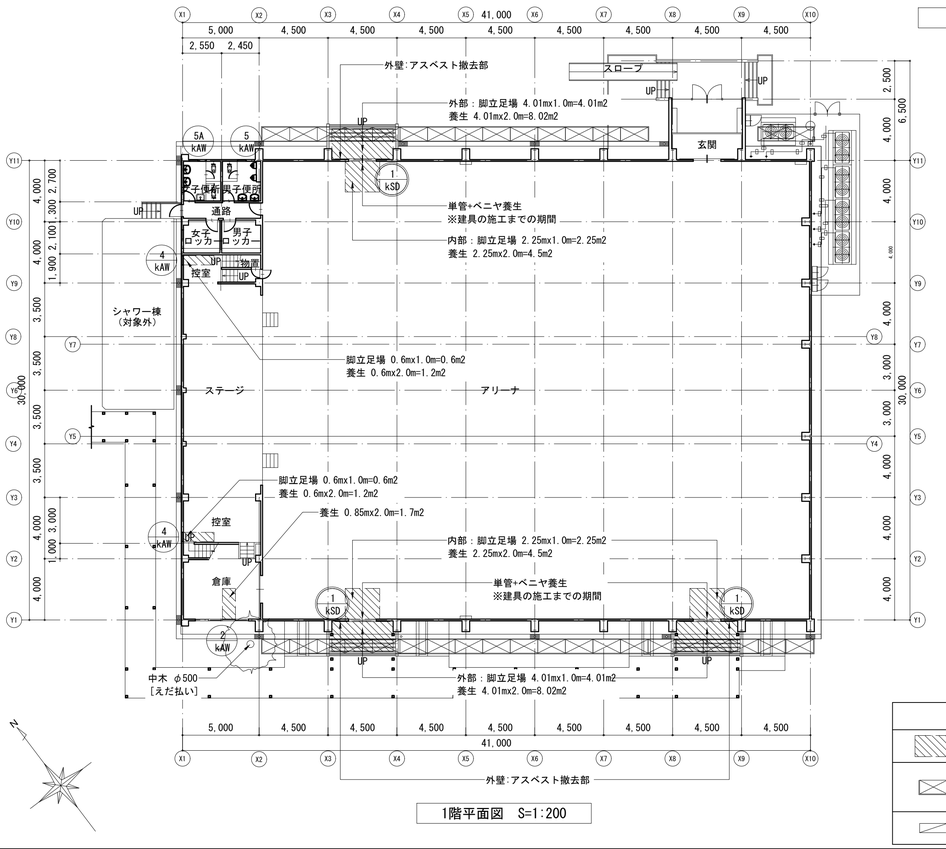
工事名	松戸市立和名ケ谷中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	部分詳細図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:30	図面番号	A-11
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



2階平面図　S=1:200

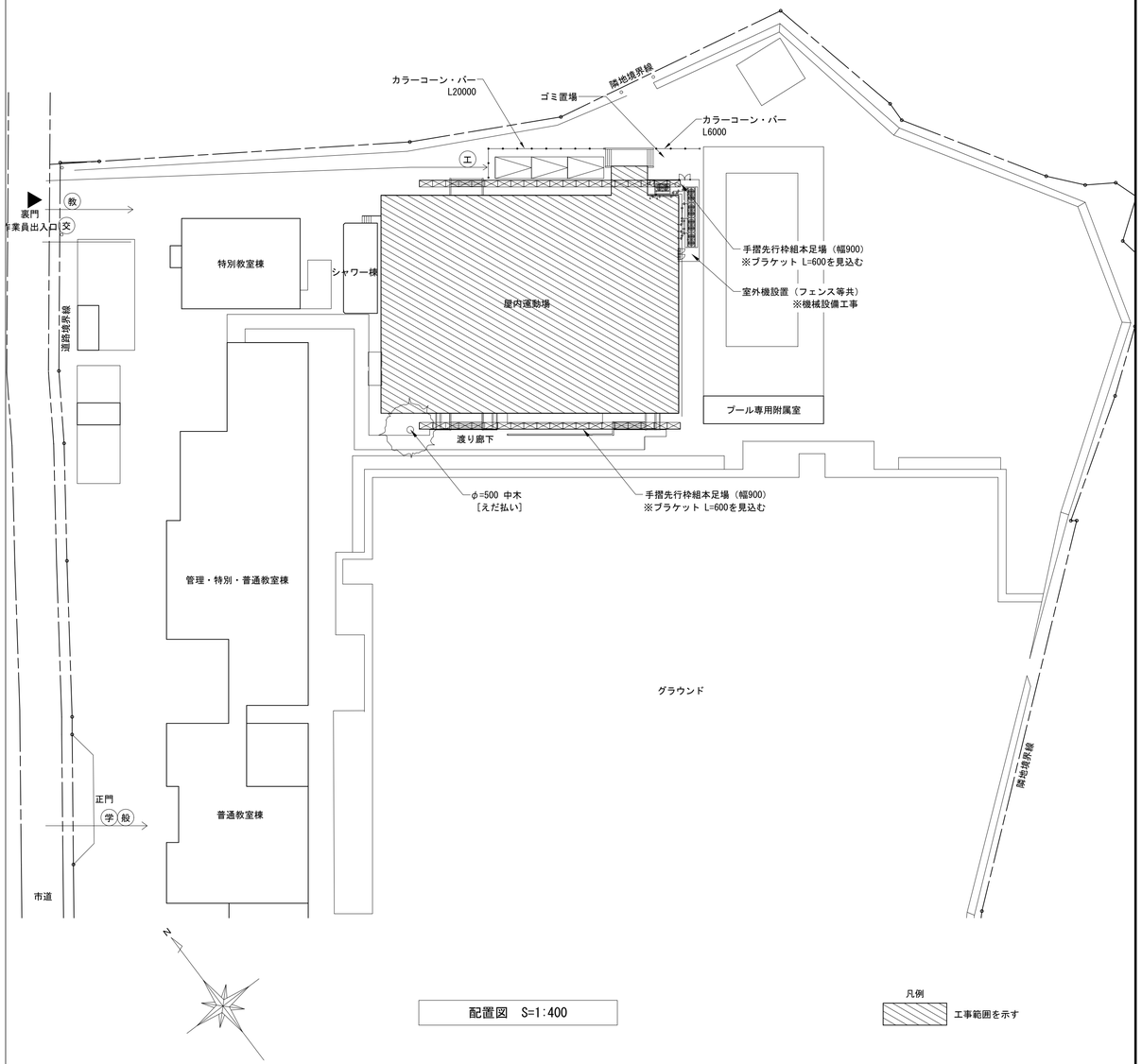


SD拡大図



1階平面図　S=1:200

凡　例　表	
	養生・整理清掃（個別）
	手摺先行枠組本足場（幅900） ※特記なき限り、足場高さH6000 養生：ネット状養生ｼｰﾄ(防災Ⅱ類) 金網式養生枠　H2000
	ブラケット足場（幅600）



配置図　S=1:400

凡例

工事範囲を示す

凡　例　表	
	手摺先行枠組本足場（幅900） ※特記なき限り、足場高さH6000 養生：ネット状養生ｼｰﾄ（防災Ⅱ類） 金網式養生枠　H2000
▼	作業員出入口
交	交通誘導員
学	生徒・学校関係者を示す
教	教員車両を示す
般	一般車両を示す
工	工事車両を示す
	カラーコーン・バー

＜全体仮設計画＞

1. 学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・バー）を設置する
2. 足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
3. 工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900x600程度を公衆の見やすい場所に設置
4. 工事に使用する重機は、低振動タイプのものとし低速走行にて振動を抑えるものとする
5. 工事に使用する揚重機（クレーン車等）は、安全上十分なものを使用すること
6. 登下校時の車両の出入りはしないこと

＜特記事項＞

・本図面は参考図として工事を行う際に、必要な仮設を検討し、請負者負担で設置すること。
・仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。

工事名	松戸市立和名ケ谷中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計画図（案）		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	1:200　1:400	図面番号	A-12
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

松戸市立小金北中学校体育館空調設備設置建築工事

図面リスト	
意匠図	
図面番号	図面名称
A-00	表紙・図面リスト
A-01	改修工事特記仕様書－１
A-02	改修工事特記仕様書－２
A-03	改修工事特記仕様書－３
A-04	改修工事特記仕様書－４
A-05	配置図・案内図・仕上表
A-06	１階平面図
A-07	２階平面図
A-08	改修前・改修後 建具表キープラン
A-09	改修前 建具表-1
A-10	改修前 建具表-2
A-11	改修後 建具表-1
A-12	改修後 建具表-2
A-13	仮設計画図（案）

工事名	松戸市立小金北中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	No Scale	図面番号	A-00
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

松戸市立小金北中学校体育館空調設備設置建築工事　　令和　7年　2月

仕　様　書

Ⅰ　工事概要

1. 工事場所　　松戸市幸田２０６番地

2. 敷地面積　　22,611㎡

3. 改修建物概要
用　　途：中学校（体育館）
構　　造：S造
階　　数：地上２階
延べ面積：1,189㎡（アリーナ）

4. 工事内容

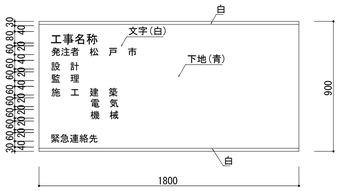
工事種目	工事範囲
2　仮設工事	足場設置・資材置場
3　防水改修工事	–
4　外壁改修工事	–
5　建具改修工事	ガラスフィルム貼り工事
6　内装改修工事	–
7　塗装改修工事	–
8　耐震改修工事	–
9　環境配慮改修工事	–
10　その他	–

Ⅱ建築工事仕様

1. 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様に記載されれいない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「改修標仕」という。）及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下「標仕」という）による。

2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に◯印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、・印の付いたものを適用する。
・印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
・印と※印の付いた場合は共に適用する。
(3) 特記事項に記載の［　　］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(5) G 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。

松戸市建築工事現場表示板仕様



(1)材料
1) 耐水合板（ラワン厚み12mm SOP仕上げ）
2) 枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。

(2)注意事項
1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	①運用基準等	・松戸市建築工事に関する提出書類 ・工事写真の撮り方 建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ・松戸市建築工事現場表示板仕様
	②工事実績情報サービス（CORINS）への登録	※ 適用する　［1.1.4］
	③施工計画書	・工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。　［1.2.2］ ・施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。 ・施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。 ・施工図等の内容を変更する必要が生じた場合は監督職員に報告する。
	4 電気保安技術者	・ 工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。　［1.3.3］
	⑤施工条件	※　現場説明書による　［1.3.5］
	⑥発生材の処理等	※ 現場説明書による　・場外搬出適正処理　［1.3.12］
	⑦材料の品質等	［1.4.2］ 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 (3)安定的な供給が可能であること。 (4)法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。 (5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（(社)公共建築協会 他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
	8 化学物質を放散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 2)保温材、衝撃材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 3)接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ―2―エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 5)1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFoo規格品
	⑨特別な材料の工法	様仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	10 技能士	［1.6.2］

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	・鉄筋施工（鉄筋組立作業）
コンクリート工事	・型枠施工
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築　・ALCパネル施工
防水工事	・アスファルト防水工事作業　・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塗膜防水工事作業　・シーリング防水工事作業
石工事	・石材施工（石張り施工）
タイル工事	・タイル張り
木工事	・建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金（内外装板金作業）
金属工事	・内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）
左官工事	・左官
建具工事	・サッシ施工　・ガラス施工　・自動ドア施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工　・サッシ施工　・ガラス施工
塗装工事	・塗装（建築塗装作業）
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業　・ボード仕上げ工事作業 ・内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）・表装（壁装作業）
植栽工事	・造園

章	項　目	特　記　事　項
	11 化学物質の濃度測定	［1.6.9］ 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定　・行う 測定対象室　・－ 測定箇所数　・－
	⑫完成図等	※作成する　・作成しない　［1.8.1～3］［表1.8.1］ ※完成図　ＣＡＤデータ
	13 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	撮影部数	原版の大きさ（㎜）
・カラー ※キャビネ版 ・ぺた焼き ・（他に外観正面1カットのみ5枚（カラーキャビネ版）提出）	外部（　）内部（　）	※1　・6	※100×125以上 ・
※カラー半切木製パネル 324×400（㎜）	外部（　）内部（　）	※2	
・電子データ	外部（　）内部（　）	※2	※200万画素以上 ※300dpi以上

100×125以上の原版を使う場合は、監督職員にあらかじめぺた焼を提出し確認を受ける。
電子データはRGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。）

	⑭設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	15 設計GL	※図示　・設計GL＝現状GL
	⑯工事写真	※着工前、完成写真2部　工事工程写真1部
	⑰ワンデーレスポンスの実施	ワンデーレスポンスの取り組みについて 1. この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは 受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」とすることとする。 2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程 3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。 4. 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。
	⑱火災保険等	※火災保険等の証券等の写しを提出すること。
2 仮設工事	①足場その他	内部足場　種別　※脚立、足場板　・棚足場　［2.2.1］ 外部足場　手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。　［2.2.1］［表2.2.1］ 屋根工事及び小屋組みの建方工事における墜落事故防止対策はJIS A 8971に基づき設置すること。 材料、撤去材等の運搬方法　［2.2.1］［表2.2.1］ ・A種　※B種　・C種　・D種　・E種 ・定置する足場、作業構台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。
	②養生	既存部分の養生　※ビニールシート　・合板　厚12　［2.3.1］ 既存家具等の養生　※ビニールシート　・ 固定家具等の養生　※行う　・行わない
	3 仮設間仕切り	仮設間仕切り等の種別　［2.3.1］［表2.3.1］

種　別	下　地	仕上材（厚さ　㎜）	充てん材	塗　装
・A種	※軽量鉄骨	・合板（※9.0　・ラワン　）		※無し
・B種	・木下地	※せっこうボード（※12.5　・　）	厚さ　㎜	・片面
・C種	・単管下地	防炎シート		
・仮設扉	※木製扉	※合板張り程度		※無し
	・鋼製扉	※片面フラッシュ程度		・有り

	4 監督職員事務所	規模及び仕上げの程度は現場説明書による。　［2.4.1］
	⑤工事用水	構内既存の施設　・利用できない　※利用できる（※有償　・無償）　［2.4.1］ ※子メータを設置する。
	⑥工事電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）　［2.4.1］
	7 防音パネル	※アルミ製（解体作業期間）
	8 仮囲	・キャスターゲート　W＝3.0ｍ、H＝1.8ｍ、　箇所 ・キャスターゲート　W＝6.0ｍ、H＝1.8ｍ、1箇所
	9 仮囲い	・万能鋼板　H＝2.0ｍ、L＝　ｍ、　箇所 ※成型鋼板　H＝2.0ｍ、L＝　ｍ、　箇所　・図示 ・ガードフェンス　H＝1.8ｍ　箇所　・図示
	10 仮設道路	・砕石敷（厚さ　㎜　幅　㎜）L＝　ｍ （砕石は、再生クラッシャランを使用） ・鋼板敷（厚さ　㎜　幅　㎜　L＝　ｍ）　枚
3 防水改修工事	1 アスファルト防水	［3.3.2］［表3.1.1］［表3.3.3～10］

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別
保護防水	※P1B	・B-1　※B-2
	・P1BI　・T1BI	・BI-1　※BI-2
	・P2AI	・AI-1　※AI-2
	※P2A	・A-1　※A-2
露出防水	・M4C	・C-1　※C-2
	・M3D　・P0D	・D-1　※D-2
屋内防水	・P1E　・P2E	・E-1　※E-2 （保護層は図示による）

アスファルトの種類　※3種　・4種　［3.2.2］［3.3.2］
保護コンクリートのコンクリート種類　・普通コンクリート（18N/＊ S=18㎜）　［3.3.2］［8.11.1］
（溶接金網　径6㎜　100㎜×100㎜敷設）
P0D工法の二重ドレン　※設けない　・設ける　［3.2.5］
M3D、P0D工法の脱気装置　※設けない　・設ける　［3.3.3］
既存露出防水層表面の仕上げ塗装（M4C工法の場合）　・除去する　［3.2.6］
断熱工法の断熱材　厚さ（㎜）　※25　・　［3.3.2］
ただし、特定フロンを含まないもの。
立上り部の保護　［3.3.2］
・れんがの種類　※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形コンクリートブロックとする。
・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ15㎜

	2 改質アスファルトシート防水	［3.4.2］［表3.1.1］［表3.4.1～3］

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	厚さ（㎜）
・M4AS工法		・AS-1　・AS-2　・AS-3	
・M3AS工法		・AS-4　・AS-5　・AS-6	
・P0AS工法			
・M3ASI工法		・ASI-1　・ASI-2	
・M4ASI工法			
・P0ASI工法			

脱気装置　※設けない　・設ける

章	項　目	特　記　事　項
	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	［3.5.2］［表3.1.1］［表3.5.1～3］

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料等	使用分類
・P0S工法		・S-F1　・S-M1	・カラー ・シルバー	※非歩行 ・軽歩行
・L3S工法		・S-F2　・S-M2		
・S3S工法				
・M4S工法		・S-M1　・S-M2		
・P0SI工法		・SI-F1　・SI-M1		
・L3SI工法	講堂屋根 階段室A下り屋根	・SI-F2　・SI-M2		
・S4SI工法		・SI-M3		

脱気装置　※設けない　・設ける　［3.5.3］
目地処理　PCコンクリート　［3.5.4］

	4 塗膜防水	［3.6.2～4］［表3.1.1］［表3.6.1］

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別
・L4X工法	※図示	・X-1（絶縁工法）
・P0X工法		・X-2（密着工法）

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装（L4X工法の場合）　・活膜を残す　［3.6.6］
脱気装置　※設けない　・設ける　［3.6.3］

	5 脱気装置	［3.3.2］［3.4.2］［3.5.2］［3.6.2］［表3.1.1］

種　類	材　質	設置数量
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂　・ABS樹脂 ・ステンレス　・鋳鉄	・約50㎡当たり1箇所
・立上り部脱気型	・合成ゴム　・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス　・銅	・（　　）㎡当たり1箇所

	6 シーリング	シーリング改修工法の種類　［3.1.4］　［表3.1.2］ ・シーリング充填　・シーリング再充填工法　・シーリング打替え ・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法
		シーリング材の種類、施工箇所　［3.7.2］　［表3.7.1］ ※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類　（記号）
・打ち継ぎ目地、伸縮目地	・ポリウレタン系（PU-2）仕上げあり
・新設建具廻り、金属取合い	・変成シリコーン系（MS-2）仕上げなし
・ガラス廻り	・シリコーン系（SR-1）

	7 とい	といの材種　［3.8.2］　［表3.8.1］ ・配管用鋼管　※カラー硬質塩化ビニル管　・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管（REP-VU）G 鋼管製といの防露　［3.8.2］　［表3.8.3］ ・次の箇所は行わない（　　） 防露材のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・
		掃除口　※有り　・無し　・ たてどい受金物の取付け　［3.8.3］
	8 アルミニウム製笠木	［3.9.2～3］　［表3.9.1］

種　類	呼称肉厚（㎜）	製品幅（㎜）	固定間隔	備　考
・150形	※1.2程度	※150	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突き当り部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	※1.8以上	※300		
・350形	※2.0以上	※350		

板材折曲げ形の取付工法　・図示　［3.9.3］

	9 折板葺	（13.3.2～3）

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・
形状（㎜）	山高（　）　山ピッチ（　）　板厚　・0.6　※0.8
材　料	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯
（規格等）	（CGLCCR-20-AZ150）
軒先面戸板	※有り　・無し
断熱材	・有り（種別：　　厚さ：　　㎜）　※無し
耐火性能	・30分耐火　※無し

	10 保証期間	※ 10年保証とする。
4 外壁改修工事 共通事項	1 施工数量調査	調査範囲　※外壁改修範囲（庇上裏含む）　・図示の範囲　［1.5.2］ 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。　また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び剥落を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。 調査報告書の部数　※2部　・

工事名	松戸市立小金北中学校体育館空調設備設置建築工事
図面名	改修工事特記仕様書-1
作成年月日	令和7年2月10日
変更年月日	－
縮　尺	No Scale
図面番号	A-01
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号
松戸市　街づくり部　建築保全課	

章	項目	特記事項
4 外壁改修工事 共通事項	2 改修材料	・既製調合モルタル

保水率 (%)	単位容積質量 (kg/ℓ)	接着強さ(N/＊) 標準時	接着強さ(N/＊) 温冷繰り返し後	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/＊)
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上

・パテ状エポキシ樹脂

初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0N/＊以上	6.0N/＊以上	50.0N/＊以上	30.0N/＊以上	3.0(%)以上

a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・可とう性エポキシ樹脂

性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性
引張強さ	1.0N/＊以上	1.0N/＊以上	1.0N/＊以上	最大引張応力 1.0N/＊以上
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10.0%以上

比重　表示値±0.10
押出し性　60秒以下
スランプ　3mm以下
加熱減量　5%以下
a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・タイル部分張替え工法用材料

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度(N/＊)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
凝集破壊率(%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ(N/＊)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上
伸び(%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上

貯蔵安定性　容積と粘土に著しい変化がないこと。
耐熱性　JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。
a.外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.タイル、石材、下地等侵すものでないこと。
c.「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。
e.ずれ抵抗性があること。
f.混錬終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。

・エポキシ樹脂モルタル

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0N/＊以上	20.0N/＊以上	10.0N/＊以上

a.こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。
b.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
c.「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。
d.形状に異常が無く、垂れが生じないこと。
e.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。

・ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの種類
合成ゴム系、アクリル系、エチレン一酢ビ系等

曲げ強さ (N/＊)	圧縮強さ (N/＊)	接着強さ(N/＊) 標準時	接着強さ(N/＊) 湿潤時	接着強さ(N/＊) 低温時
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態　垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。
透水性　裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
3以上	3.0%以下	0.5N/＊以上	5.0N/＊以上	15%以下	6.0N/＊以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

・吸水調整材

項目	全固形分(%)	吸水性(g)	接着強度(N/＊)	界面破断率(%)
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

章	項目	特記事項
4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁	1 ひび割れ部改修工法	※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※製造所の仕様による	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※ 50～100	※40 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り) ※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法：)

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

・シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6]
・パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

2 欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む) ・充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]
・エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024)
・ポリマーセメントモルタル

3 浮き部改修工法 ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法(16本/㎡) [4.1.4][4.4.10]
(モルタル笠木・パラペット天端部分)

4 巾木モルタル塗 ・樹脂モルタル T3

章	項目	特記事項
4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	1 既存モルタル塗りの撤去	・行う(※監督職員の指示による)
	2 ひび割れ部改修工法	・既存モルタル撤去工法(範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)

※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.2][4.4.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300		
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜取り) ※行わない [4.3.4]
・行う(抜取り部の補修方法：)

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

注入工法の種類	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

・シール工法(亀裂が0.2mm未満) [4.1.4][4.2.2][4.4.7]
(※既存モルタル面 →既存躯体コンクリート面)。
・パテ状エポキシ樹脂(JIA A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [4.2.2][4.6.3]
(※シール工法の範囲 ・監督職員の指示による)

3 欠損部改修工法 ・既存モルタル面の欠損部 [4.1.4][4.4.8～9]

改修工法の種類	材料	品質・規格等
・充填工法	エポキシ樹脂モルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕4.2.2(7)による	塗り厚25mmを超える場合の補強
		※行う ・行わない ・図示

4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ※狭幅部：5本/m	※25	※狭幅部：5本/m		※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml

アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。

5 巾木モルタル塗 ・樹脂モルタル T3

章	項目	特記事項
4-3 外壁改修工事 タイル仕上げ外壁	1 既存タイル張りの撤去	・外壁タイル張り全面 ・部分撤去 [4.5.2]
		撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張り付けモルタルまで ・タイルのみ
	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所 ※既存タイル張り面
		・既存タイル撤去面(・コンクリート面 ・モルタル面)

※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4]
・行う(抜き取り部の補修方法：)

・Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6]

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

3 欠損部改修工法(鉄筋爆裂補修含む) ・充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]
・エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024)
・ポリマーセメントモルタル

章	項目	特記事項
	4 浮き部改修工法	[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4]

改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16			※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml
・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	※9	※16	※50ml
エポキシ樹脂注入タイル固定工法					

アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。

5 下地処理 サンダーケレンの上、モルタル薄塗 [4.2.2][4.6.3]

6 タイルクリーニング 工業用塩酸

章	項目	特記事項
4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	1 既存塗装等の撤去及び下地処理	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※補強範囲 図示	・ひび割れ部改修工法
※高圧水洗工法 加圧力 ※12MPa程度	※塗替え範囲 図示	・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	
・水洗いし工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

塗装はく離剤 [4.2.2]

2 下地調整材 ※下地調整材C-1 (既存塗装除去部分) [4.2.2][4.6.3]
※微弾性フィラー (既存吹付タイル面・既存複層塗材面)
[4.2.2][4.6.3]

3 仕上げ塗材仕上げ 種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4]

種類	呼び名	仕上げの形状	上塗材の種類
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・砂壁状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 ・凸凹状 ・平たん状	耐候性 ※耐候形3種 ・耐候形1種 溶媒 ※水系 ・弱溶剤系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ウレタン系 ・シリコン系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材 ※行う
・複層仕上塗材(既存塗装除去部分)	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・複層塗材RS ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凸凹状	
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ※ゆず肌状	

防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2](15.6.2)
※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。
※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。

4 その他の仕上げ
・基礎巾木仕上塗材 ※エスケー化研㈱ ベースプロテクト同等品とする ※菊水化学工業㈱ 基礎ｶﾞｰﾄﾞ同等品とする
・水性反応硬化形軒天用仕上塗材 ※エスケー化研㈱ ノキフレッシュ同等品とする ※菊水化学工業㈱ ノキテンファイン同等品とする
・ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し保護仕上げ塗材 ※エスケー化研㈱ セラミRC-FR工法同等品とする

章	項目	特記事項
5 建具改修工事	1 改修工法の適用	[5.1.3]

種類	かぶせ工法	撤去工法	備考
・アルミニウム製建具	・有り	・有り	
・鋼製建具 ・外部	・有り	・有り	
・内部			
・鋼製軽量建具			
・ステンレス製建具			
・自動ドア開閉装置			
・重量シャッター			

2 見本の製作等 ・特殊な建具の仮組(建具符号 :) [5.1.5]

3 アルミ製建具 外部に面する建具 [5.2.2][表5.2.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	※A-3	※Ⅲ-4	※70	・図示
・B種	S-5	・	・	・100	
・C種	S-6	A-4	Ⅳ-5	100	

章	項目	特記事項
		表面処理 [5.2.4][表5.2.2] ・BA-1種 ・BA-2種(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
		屋内建具 表面処理 ※C-1種又はB-1種 [5.2.4][表5.2.2] ・C-2種又はB-2種(ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
	4 網戸	防虫網 [5.2.3] 網の種別 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ※ステンレス(SUS316)製 形 式 ・外部可動式 ※固定式
	5 鋼製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1] 耐風圧性能の適用は建具表による 特定防火設備戸 ・適用する [5.4.4]
	6 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1～2]
	7 ステンレス製建具	簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による 表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・適用する [5.1.4]
	8 自動ドア開閉装置	※製造所標準製作の規定寸法許容差による [5.8.2～4][表5.8.1～5]

開閉方法	検出装置の種類
※引き戸	・光線(反射)センサー ・熱線センサー
・多機能トイレ出入口引き戸	・音波センサー ・光電センサー ・タッチスイッチ
	・押しボタンスイッチ ・多機能トイレスイッチ

・凍結防止装置(適用箇所は建具表による)

	9 自閉式上吊り引戸装置	品質規格 ※改修標仕5.9.3による。 [5.9.3][表5.9.1] ・製造所標準仕様による。
	10 木製建具	※建具表による。 かまち戸の樹種 かまち( ) 鏡板( ) (16.7.2)(表16.7.2) ふすまの上張り ※新鳥の子程度又はビニル紙程度(押入れ等の裏面は除く) (表16.7.3) ・鳥の子 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.7.2) ※F☆☆☆ ・非ホルムアルデヒド系接着剤
	11 建具用金物	マスターキー ・製作する ※製作しない [5.7.4] 建具用金物 [5.7.2][表5.7.1～3] 錠類はシリンダー箱錠(レバーハンドル)とする。 なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。 吊金物 ・丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい) ・ピボットヒンジ
	12 ガラス	建具表による [5.13.2] ・ガラスブロック 改修標仕5.13.5 [5.13.5]

寸法(mm)	色調	パターン	防火認定
	※クリア ・熱線反射		※無し
	・乳白 ・カラー( )		・有り

	13 ガラス留め材及び溝	ガラス留め材 [5.13.2～3]

建具の種類	種類
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット(FIX部はシーリング材)
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。

⑭ ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D1
・目かくしフィルム			
・遮熱フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止性能あり

品質JIS A 5759による
建具表による [5.13.2]

	15 重量シャッター	[5.10.2][表5.10.1]

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能( )N/㎡
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能( )N/㎡
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

品質JIS A 4705による
開閉機能
※上部電動式(手動併用) ・上部手動式
危害防止機構 ※障害物感知装置(自動開錠型) [5.10.2]
・シャッターの二段降下方式
一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない [5.10.2]

	16 軽量シャッター	[5.11.2][表5.10.1]

開閉形式
※手動式 ・上部電動式(手動併用)
スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 [5.11.3]
形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4]
ガイドレール等 [表5.10.2]
※鋼板製 ・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm)
耐風圧性能( )N/㎡

工事名	松戸市立小金北中学校体育館空調設備設置建築工事
図面名	改修工事特記仕様書-2
作成年月日	令和7年2月10日
変更年月日	－
縮尺	No Scale
図面番号	A-02
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号
松戸市 街づくり部 建築保全課	

5 建具改修工事

17 オーバーヘッドドア

[5.13.2～5][表5.13.1～2]

セクション材料による区分	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ	※バランス式	・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	・ステンレス鋼板
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	(SUS304)
		・バーチカル形	

耐風圧性能(　　)N/㎡　JIS A 4715

18 かぎ箱

市販品
形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

6 内装改修工事

1 改修範囲

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲　[6.1.3]
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま。
・図示の範囲

2 既存床の撤去並びに下地補修

ビニル床シート等の除去　※仕上げ材のみ(接着剤とも)　[6.2.2]
・鋼製床組下地とも(※図示の範囲　・除去範囲全て)
カラードフロアの撤去　・機械的除去工法　・目荒し工法
改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の案内　・

3 既存壁の撤去並びに下地補修

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修　[6.3.2][4.3.10]
・図示
・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強　※行う　・行わない)

4 木下地等 (AP-1、2)

木材の品質　図示　[6.5.2][表6.5.1]
※改修標準仕様書6.5.2による　・市販品
代用樹種　※改修標仕6.5.4による　[6.5.2][表6.5.2]
・代用樹種を適用しない箇所(　　)
保存処理木材を適用する箇所(　　)

5 集成材等 G (額縁等)

[6.5.2]

品　名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・米栂　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	・1種 ※2種 ・3種	・	
・造作用集成材	※1等 ・2等	・タモ	
・化粧ばり造作用集成材	※1等 ・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

6 接着剤

[6.5.3]
※F☆☆☆☆
・非ホルムアルデヒド系接着剤

7 防腐、防蟻処理

行う箇所(　　)　[6.5.5]
防腐処理　※行う(※図示　　)
防蟻処理　・行う(※図示　　)
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。

8 床板張り

フローリング及び繊甲板張り床　[6.5.8][6.11.2][表6.5.8]

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合　板	t12mm
		・パーティクルボード	t15mm
床板	※単層フローリング(共仕19.5.2による)	ホルムアルデヒドの放散量	※F☆☆☆☆　・
	・繊甲板	※ひのき	

※フクビ　フリーフロアCP-F同等品

9 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　[6.6.2]　[表6.6.1～2]
屋外(・19形　※25形)　屋内(※19形　・25形　※角スタッド工法 65形)
既存の埋込みインサート　・使用する　※使用しない　[6.6.4]
あと施工アンカーの確認試験　・行う　※行わない

10 軽量鉄骨壁下地

スタッドの高さが5mを超える場合　※図示　[6.7.3]　[表6.7.1]

11 ビニル床シート張り

[6.8.2]

種　類	JISの記号	色　柄	厚さ(mm)
※発砲層のないもの	※NC　・	※無地　・マーブル柄	※2.5
・発砲層のあるもの		※柄物　・無地	
・防滑性ビニル床シート	・NF　・NC	・柄物　・無地	・2.5
・防汚性ビニルシート			・2.0

工法　※熱溶接工法　・突付け(施工箇所:　　)　[6.8.3]
・防汚性ビニルシート：下記同等品とする。
ロンシール工業㈱ナニタリウム　t=2.0
タキロンシーアイ㈱ネオクリーン　t=2.0
東リ㈱消臭ＮＳトワレＮＷ　t=2.0

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

12 ビニル床タイル張り

[6.8.2]

種　類	JISの記号	厚さ(mm)	備　考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	CTS		
・ホモジニアスビニル床タイル	HT		

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

13 帯電防止床タイル張り

[6.8.2]

種　類	厚さ(mm)	性　能
※コンポジションビニル床タイル	※2　・	体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	1.0×10⁷Ω以下、または、
		漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
		1.0×10⁷Ω未満

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

14 視覚障害者用床タイル (誘導用及び注意喚起用床材)

ブロックパターンはJIS T 9251による　[6.8.2]
色彩は黄色を原則とする。
屋内　※塩化ビニル製　・磁器又は石器質タイル(※300　・　　)
・レンジコンクリート製
屋外　※レンジコンクリート製　・磁器又は石器質タイル(※300　・　　)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

15 ビニル幅木

高さ　(mm)　・60　・75　・100　[6.8.2]
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536　※F☆☆☆☆　・

16 合成樹脂塗床

[6.10.2～3][表6.10.1～8]

種　類	仕上の種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ工法(※平滑　・防滑)
	・厚膜流しのべ工法(※平滑　・防滑)
	・樹脂モルタル工法(※平滑　・防滑)
	・薄膜型塗床工法(※平滑)

ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970　※F☆☆☆☆　・

17 フローリング張り

[6.11.2～7][表6.11.1～6]

種　別	材　種	工　法	仕上塗装等	備考
・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品	
・大型積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
・単層フローリング	・ブナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
	・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品	
・フローリングブロック	・ブナ	・直張り	※塗装品	

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

18 畳敷き

[6.12.2～3][表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
改修標仕 表6.5.10による床組	※B種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種　・

19 ポリスチレンフォーム床下地材

畳下地　厚さ(mm)　※40　・65　・80
フローリング類　厚さ(mm)　※80　・95

20 カーペット敷き

・繊じゅうたん　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

種　別	パイル糸の種類	帯電性	色柄等	備考
・A種	・そ毛糸	人体帯電圧	※無地	
・B種	・紡毛糸	※3kV以下	・柄物(標準品)	
・C種	・紡毛糸			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タフテッドカーペット(JIS L 4405)　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	パイル長(mm)	工　法	備考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法	
	※4～6　・	・グリッパー工法	
・レベルループパイル	※4　・		
・カット、ループ併用			

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下　・

・タイルカーペット　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	種　類	規　格	総厚さ(mm)	備　考
※ループパイル	※第一種	※500×500	※6.5	
	・第二種			
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

帯電性(JIS L 1021-16)　※人体帯電圧値3kV以下(フリーアクセスフロア新設範囲)

21 石膏ボードその他のボード張り

[6.13.2][表6.13.1]

種　類	厚さ(mm)　規格
・硬質木毛セメント板 G	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板 G	・15　・20　・25　・
・ケイ酸カルシウム板	タイプ2(無石綿)　(・6　・8　・　)
・ロックウール化粧吸音板	※フラットタイプ (※9(不燃)　・12　・　) ・凸凹タイプ (※12(不燃)　・15　・19　・　)
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)	※フラットタイプ9(不燃) ・凸凹タイプ(※12　・15)　(不燃)
・せっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(準不燃)
・不燃積層せっこうボード	9.5(不燃)　化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)
・シージングせっこうボード	・12.5(不燃)　・9.5(不燃)
・強化せっこうボード	・12.5(不燃)　・21.0(不燃)
・せっこうラスボード	・9.5　・12.5
・化粧せっこうボード	・9.5(準不燃)
・化粧せっこうボード(木目)	・12.5(不燃)幅440mm程度 模様(※柾目　・板目)専用下地材付き
・難燃合板 G	・生地、透明塗料塗り(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗り(ラワン合板程度)厚さ・12
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による　厚さ　・4.0
・ミディアムデンシティファイバーボード G	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード G	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボーイ(素地) G ※規制対象外　・第三種	・無研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・研磨板　(・スタンダード　・テンパード)
・インシュレーションボード G	A級(・天井仕上　・内装仕上　・　) ・9　・12　・15　・18　・
・フレキシブル板	厚さ　・5.0
・(有孔)シナ合板	厚さ　・5.0

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
・適用する　※適用しない

22 吸音材

[表6.13.1]

種　類	規格番号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	JIS A 6301	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	JIS A 6301	※25　・

23 壁紙張り (掲示用クロス)

[6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維(織物)	プラ(ビニル)	その他(化学繊維)	紙	防火性能	備　考
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	
						・不燃　・準不燃　・難燃	

下地調整　[6.14.3][表7.2.4][表7.2.7]
モルタル、プラスター面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
せっこうボード面　※RB種　・RA種(施工箇所:　　)
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　F☆☆☆☆　[6.14.2]
サンゲツ・リリカラー製品同等品とする。

24 モルタル塗り

吸水調整材　[6.15.3]

全面形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/mm)	界面破断率(%)
表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)
防水剤の種類　建築用モルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間		曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント質量の5%	JIS R 5201の試験において		70%以上	95%以上	80%以上
以下	始発	1時間以上			
	終結	10時間以内			

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。
既製目地材　※適用しない　・適用する

25 タイル張り

タイルの種類　[6.16.3]

施工箇所	形状寸法	きじ			うわぐすり		役物		色		再生材の適用 G	備考
		磁器	石器	陶器	施ゆう	無ゆう	有り	無し	標準	特注		

役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う(※外装タイル　・　　)
内装タイル　※内装タイル接着剤張り　JIS A 5548 有機系接着剤
接着剤のホルムアルデヒド　※F☆☆☆☆　・

26 セルフレベリング材塗り

セルフレベリング材の種類　[6.17.2][表6.17.1]

種類	フロー値(cm)	凝結時間 始発(分)	凝結時間 終結(時間)	圧縮強度(N/mm)	下地接着強度(N/mm)	表面接着強度(N/mm)	長さ変化(%)	衝撃	備考
せっこう系	19以上	45以上	20以上	15以上	0.5以上	0.4以上	0.05以下	割れ及び剥がれないこと	
セメント系				20以上	0.7以上	0.5以上	0.12以下		

試験方法：日本建築学会品質規準JASS 15 M-103による。

27 断熱材

[19.9.2～3]

種類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	※25 ・100	特定フロンを使用しないもの
	※3種b (スキン層付)	・接地部分	※25	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	——	特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級　・2級
		・一般部	※25	

JIS A 9521に基づく発砲プラスチック
断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。

28 浴室天井材

市販品

材　質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	・準不燃品	※200	廻縁は縞付きとし製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	・塗装品 ・木目調		※300 ・100	

29 フリーアクセスフロア

[20.2.2]

施工箇所	構　法	仕上り高(mm)	適用地震時 水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
	・パネル構法		・1.0 G	・3,000 G	・帯電防止床タイル	
	・溝構法		・0.6 G	・5,000 G	・タイルカーペット	
	・パネル構法		・1.0 G	・3,000 G	・帯電防止床タイル	
	・溝構法		・0.6 G	・5,000 G	・タイルカーペット	
	・パネル構法		・1.0 G	・3,000 G	・帯電防止床タイル	
	・溝構法		・0.6 G	・5,000 G	・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1202号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は各内装工事による。
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付対応　※製造所の標準仕様　(コンセント本体は別途設備工事)
コンセントの箇所数は図示
配線用取出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1箇所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り(※固定式　・可変式　・施工箇所は図示)

30 可動間仕切

[20.2.3]

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式		※鋼板	※メラミン樹脂又は	・有り	・有り
・スタッドパネル式		(※0.6　・0.8)	アクリル樹脂焼付	(　)	・無し
・パネル式		・		・無し	

遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

31 移動間仕切

[20.2.4]

遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ (36db以上)		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は「23壁紙張り」による。

32 トイレブース

表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板 t40(アルミ製コーナーエッジ付き　指詰め防止)　(20.2.5)
※紙巻器設置位置については下地補強を行うこと。
・特殊UV塗装硬質セメント板(標準色　アルミ製コーナーエッジ(ステンカラー)付き)
笠　木　※アルミ製　・ステンレス製
足形状　※幅木タイプ(ステンレス製)　・足金物タイプ
※防水型(ステンレス巻き)

33 階段滑り止め

材　種　ステンレスSUS304　(20.2.6)
形　状　ピールタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り(・ステンレス製　※ビニル製)　・無し
幅(mm)　約35
取付工法　※接着工法　・埋込工法

34 手すり

種　別	施工箇所
※笠木受け：アルミ押出形材 笠木：半硬質耐候製樹脂 二層成形φ40mm	スロープ
・樹脂被覆Φ34	

35 黒板及びホワイトボード

[20.2.8]

種　類		寸　法(mm)	色　彩	備　考
・黒板	※焼付		※緑　・黒	・平面　※曲面
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面

36 表示

衝突防止表示　・図示(市販品　・ステンレス製　径約30mm　・　　)　(20.2.10)
(　・両面　・片面　)
・無し
表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。
製造所　監督職員の承諾する製造所。

37 ブラインド

・既存再使用する(養生方法:　　)　[2.3.1][5.1.6]
・新設する　(20.2.12)

形　式	種　類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横形	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
・縦形	・1本操作コード	・アルミスラット	・80
	※2本操作コード	・クロススラット	・100

38 ロールスクリーン

防炎性能　※有り
製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する　(20.2.13)

施工箇所	装　置 電動	装　置 手引	性　能 防炎性能	備　考

39 カーテン (暗幕、緞帳等)

・既存再使用する(養生方法：取外し再取付)　[2.3.1][5.1.6]
・新設する　(20.2.14)

施工箇所	形　式 片引	形　式 引分	装　置 電動	装　置 ひも引	装　置 手引	ひだの種類	性　能	備　考

40 カーテンレール

・既存再使用する　[5.1.6]
・新設する　(20.2.14)
材　種　JIS A 4802　・アルミニウム製　※ステンレス製
形　式　・片引き　・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)

41 カーテンボックス及びブラインドボックス

※既存再使用する。　[5.1.6]
・新設する。
・市販品(アルミニウム製)
溝幅×深さ(mm)　・90×150　※120×150　・150×80　・
色　彩　※B-1　・B-2(※ブラウン　・ブラック　・ステンレスカラー)
※図示

41 天井点検口

材　質　※アルミニウム製(※額縁タイプ　・目地タイプ)　・既存取外し、再取付

42 床点検口

材　質　・アルミニウム製(受け枠　※アルミ製　・ステンレス製)
・ステンレス製(受け枠　・ステンレス製(防水、防臭型))

43 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	耐荷重による種類

44 流し台ユニット

種　類	寸法(L=　mm)	適用内容	規格・品質等
・流し台	・900　・1200　・1500	・トラップ付き	
・コンロ台	・600　・700	・バックガード　・有り	
・吊り戸棚	・1200　・900　・600		
・水切り棚	・1200　・900	・トラップ付き	
・作業台	・900　・1200　・1500		

45 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発砲シート張り　・

46 ライニング天板

材　種　・メラミン樹脂化粧板張り(芯材：集成材)　・人工大理石
奥行き(mm)　※図示

47 用具入れ

材質　メラミン樹脂系化粧板　(12.2.2)(19.7.2)
形状、寸法　※図示
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

49 室名札等

・突出し型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(　　箇所)
・平付け型　金具：ｱﾙﾐ型材、ｹｰｽ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ樹脂、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：270×80H　(　　箇所)
・ピクトサイン　材質：ｱﾙﾐ　ｱﾙﾏｲﾄｼﾙﾊﾞｰ、絵柄：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ：200×200　(　7　箇所)
・階数表示　材質：ｽﾃﾝﾚｽ　ﾍｱﾗｲﾝ、文字：ｼﾙｸ印刷、ｻｲｽﾞ150×150　(　　箇所)

50 鋼製床下地 (体育館用)

部材規格　大引き、根太鋼：※JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板、亜鉛付着量Z12以上)
U字金具、支持台：※JIS G 3302SGHCと同等以上(亜鉛付着量Z12以上)
緩衝材：※JIS K 6385(A種防振ゴム)
※三洋工業㈱ スリーベース101タイプ同等品とする。

51 アルミ製移動階段

・セノー㈱　HE9724(アルミ合金製、アルマイト処理焼付塗装)同等品とする。

52 救助袋

・垂直式　○階用

工事名	松戸市立小金北中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修工事特記仕様書-3		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	—
縮　尺	No Scale	図面番号	A-03
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		

松戸市　街づくり部　建築保全課

7 塗装改修工事

1 材料

塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。 [7.1.2～3]
屋内で使用する場合のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・
改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は監督職員と協議する。 [7.1.8]

2 下地調整

[7.2.2～7][表7.2.1～7]

下地面の種類	下地調整の種別	備　考
木部	・RA種 ※RB種	新規面はRA種
鉄鋼面	・RA種 ※RB種	
亜鉛めっき鋼面	・RA種 ※RB種	
モルタル、プラスター面	・RA種 ※RB種	
コンクリート、ALC及び押出成形	・RA種 ※RB種	
セメント板面	・RA種 ※RB種	
せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種	

既存下地面等のひび割れ部補修 [表7.2.5～6]
※行う ・行わない
※錆止め JIS K 5674

3 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)

[7.5.2][表7.5.1]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
木部	・A種 ※B種	※B種	下塗りJASS 18 M-304
			中塗り及び上塗りJIS K 5516
鉄鋼面	・A種 ※B種	※B種	穴埋め及びパテかいJASS 18 M-110
			中塗り及び上塗りJIS K 5516

4 鉄鋼面耐候性塗料塗り(DP)

[7.8.2～4][表7.8.1～3]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備　考
鉄面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5659
亜鉛めっき面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5659
コンクリート、押出成形セメント板面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5658

下塗りJASS 18 M-109

5 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)

[7.9.2][表7.9.1]
新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
塗替えの種別 ・A種 ※B種
下塗りJIS K 5663 中塗り及び上塗りJIS K 5660

6 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)

[7.10.2][表7.10.1]
新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

7 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)

[7.11.2][表7.11.1]
新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種別
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種
	・RC種	※C-3種
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種 ・B種
	・RC種	・C-1種 ・C-2種

下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

8 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)

[7.11.2][表7.11.1]
・A種 ※B種
1液形JASS 18 M-301 2液形JASS 18 M-502

9 オイルステイン塗り(OS)

[7.12.2]
ワトコオイル製品同等品とする。

10 木材保護塗料塗り(WP)

[7.13.2][表7.13.1]
・A種 ※B種
JASS 18 M-307

11 ポリウレタン樹脂塗装(2-UC)

フローリングブロック面の塗り種別 ・A種 ※B種

8 耐震改修工事

『耐震補強工事構造特記仕様書』による。

9 環境配慮(グリーン)改修工事

1 一般事項

アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法 [9.1.3]
・封じ込め処理 ・囲い込み処理除去工法 ・除去工法
アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 ・図示
分析によるアスベスト(ｱｸﾁﾉﾗｲﾄ、ｱﾓｻｲﾄ、ｱﾝｿﾌｨﾗｲﾄ、ｸﾘｿﾀｲﾙ、ｸﾛﾝﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾚﾓﾗｲﾄ)含有の調査
・行う(下表による) ・行わない

材料名	調査方法	1材料あたりの試料数
	・JIS A 1481による	※3

2 アスベスト含有吹付材除去工事

吹付アスベストの施工数量調査を行う。

アスベスト粉塵濃度測定 ※行う

測定時期及び場所等については下表による。

測定時期	測定場所	測定点数(各処理作業室毎)	備　考
処理作業前	処理作業室内	2又は3点	
	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通
処理作業中	処理作業室内	2点	
	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認
	負圧・除塵装置の排出口(処理作業室外の場合)	1点	除塵装置の性能確認
	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
処理作業後	処理作業室内	2点	
(隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通

(注)処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。
処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。

建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署
本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

3 アスベスト含有吹付材囲い込み工事

軽鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ(核スタッド工法 65形@300)とし、既存天井面には触れない。
関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署
養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。
アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。
―内部測定点内訳―
〈1階： 点、2階： 点、3階： 点〉
詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。

4 アスベスト成形板の処理工事

処理を行うアスベスト成形板の仕様等 ・仕上表による [9.1.5]

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲
石綿板	4	便所
人研ブロック	30	便所

施工調査
アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。
調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。
(1)アスベスト成形板使用部位の確認。
(2)アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。
(3)アスベスト成形板使用数量の確認。

5 アスベスト含有仕上塗材の除去

アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験的一部除去作業の方法
(1)試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は□500mm程度とする。
(2)試験的除去は剥離剤併用手工具ケレン工法にて実施。

アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法 ・部分除去 ・全面除去

アスベスト含有仕上塗材部分除去作業
(1)部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。
(2)建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。
なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
(集塵機付きﾃﾞｨｽｸｻﾝﾀﾞｰ工法同等とすること)
(3)除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
(4)アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
(5)廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
(6)アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
(7)関係官公署に届出を行う。
(大気汚染防止法→松戸市環境保全課 労働安全衛生法→柏労働基準監督署)
(8)本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

6 外断熱改修工事

断熱材の種類 [9.2.2]

材料名		厚さ(mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム	
・硬質ウレタンフォーム	・フェノールフォーム	
・ロックウール	・グラスウール	

外装材の種類 [9.2.2]

防火性能

既存外壁仕上材の撤去 ・有り ・無し [9.2.3]
下地面の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様

通気層 ・有り(mm) ・なし [9.2.4]
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。
特記無き事項は、製造所の仕様による。

7 ガラス改修工事

複層ガラスの厚さ 建具表による [5.14.2]
断熱性・日射遮蔽性による区分 ※U3-1 ・U3-2

8 屋上緑化改修工事

特記事項は図示 [9.4.2]

9 透水性アスファルト舗装改修工事

路盤材料 [9.5.4][表9.5.3]
※再生クラッシャラン(RC-40)
・クラッシャラン(C-40)又はクラッシャランスラグ(CS-40)
透水性の高いものを使用する。

遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.5.3]
・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 ・
厚さは図示
・凍上抑制層 ※再生クラッシャラン ・クラッシャラン 切込み砂利 ・砂
厚さは図示

盛土に用いる材料 [9.5.3][表9.5.1]
・A種 ※B種 ・C種 ・D種

路床安定処理
※添加材料による安定処理 [9.5.3][表9.5.2]
種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種
・生石灰( ) ・消石灰( )
添加量 kg/㎥(目標CBR ※5以上 ・
路床土の支持力比試験 ※行う(※乱した土 ・乱さない土)
路床締固め度の試験 ※行う

アスファルト混合物 [9.5.6][表9.5.5]
車道部 ※改質アスファルトⅠ型
歩道部 ※ストレートアスファルト

透水性舗装 [9.5.9]
アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う

10 その他

1 舗装工事

歩行者用通路コンクリート版の厚さ ※70mm ・ (22.5.2)(表22.5.1)

部　位	設計基準強度(N/mm)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40
			砕石の場合20又は25
歩行者用通路	18	8	砂利の場合25
			砕石の場合20

砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1)
種別 ・A種 ・B種

2 植栽工事

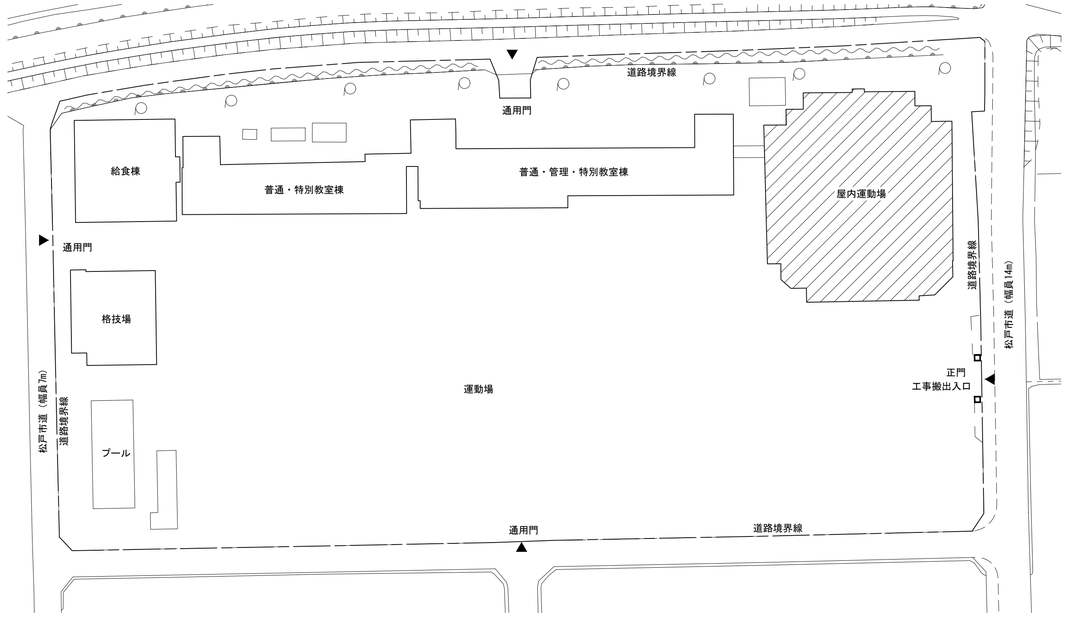
植樹 (22.3.2)

樹　種	寸　法	数　量	備　考

工事名	松戸市立小金北中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修工事特記仕様書-4		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	No Scale	図面番号	A-04
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



案内図　1：2500



凡例
工事範囲を示す

配置図　1：700

外部仕上表

部位		仕上	備考
外壁	改修前	RC部:コンクリート打放し＋打放しタイル（弾性ウレタンエナメル仕上）	既存のまま
		巾木 コンクリート打放し目地割れ＋吹付タイル（弾性ウレタンエナメル仕上）	既存のまま
		打放し:増打t=20　外壁：アスベスト含有	既存のまま
	改修後		

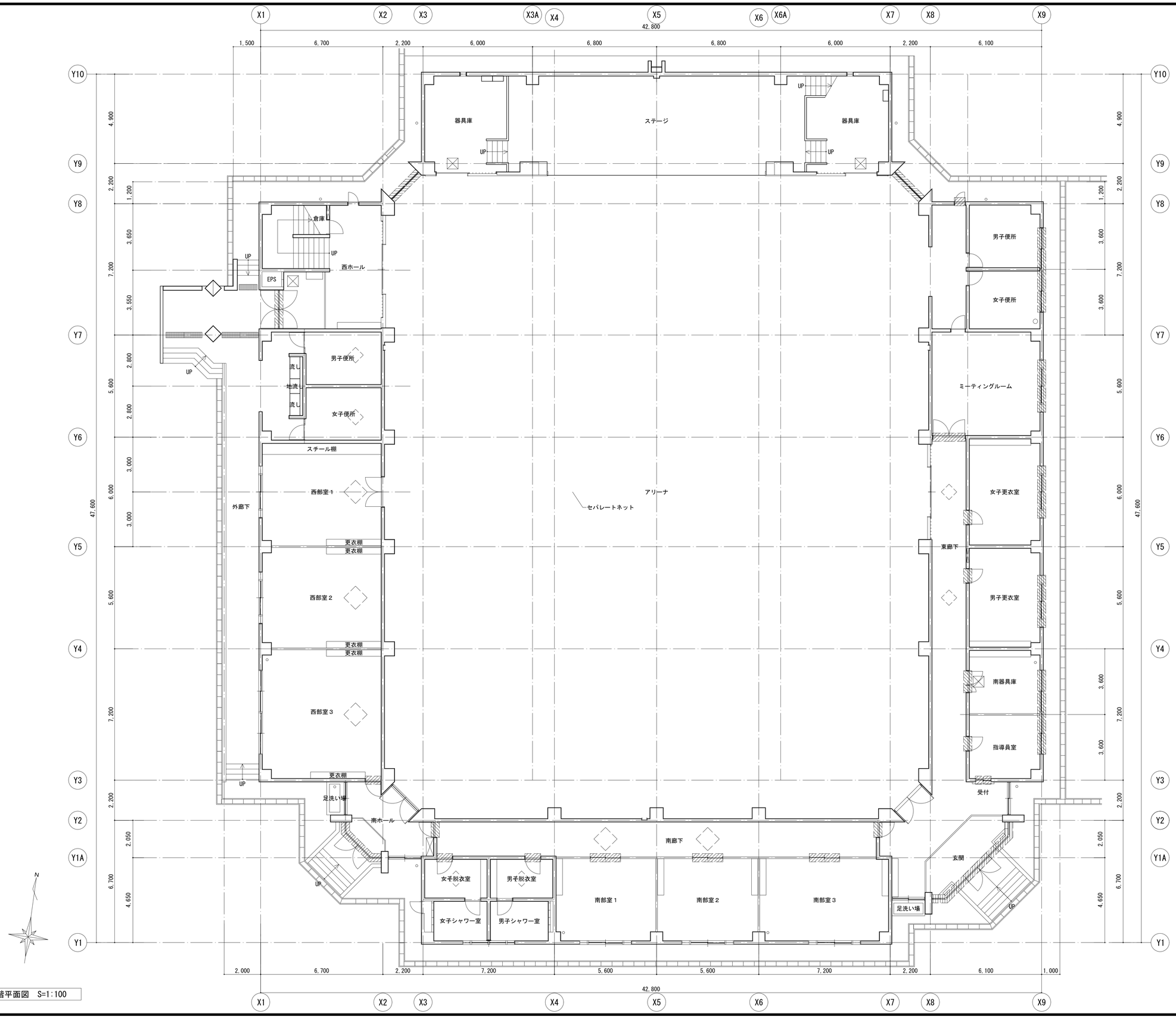
凡例、特記事項

	記号	塗料名		材料	認定番号		内装仕上材、屋根裏木毛セメント板は、全てF☆☆☆☆とする
塗料凡例	OSCL	オイルステイン＋クリヤラッカー塗り	内装材認定			特記事項	塗装材（塗料）は、全てF☆☆☆☆とする
	DP	鉄鋼面耐候性塗料塗り					建築材料は、全てアスベスト含有材でない材料を使用とする

内部仕上表

階	室 名		床	床高さ	改修内容範囲		巾 木	床高さ	改修内容範囲		壁(柱・梁型)		天 井	天井高さ	改修内容範囲	廻縁	備 考
1	アリーナ	改修前	体育館用鋼製床下地（制振鋼板デッキプレート形）＋コンパネt=15＋イタヤカエデフローリングボード特殊張り t=15　（アスベスト）			改修前	ラワン OSCL			改修前	木軸杉等＋ラワンt=15　竪羽目張り OSCL 打放し弾性アクリルゴム塗材 ローラー塗り	改修前	打放し弾性アクリルゴム塗材 ローラー塗り 木毛板t=25 打込み				
		改修後				改修後				改修後		改修後	-				
2	ギャラリー	改修前	モルタル金ゴテ仕上 弾性ウレタン塗床（ゆず肌）			改修前	モルタル金ゴテ仕上 弾性ウレタン塗床（ゆず肌）			改修前	打放し弾性アクリルゴム塗材 ローラー塗り モルタル塗材：アスベスト含有	改修前	ギャラリー部：打放し弾性アクリルゴム塗材 ローラー塗り アスベスト含有				手すり:スチール
		改修後	-			改修後	-			改修後	-	改修後	-				

工事名	松戸市立小金北中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図・仕上表		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:2500 1:700	図面番号	A-05
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

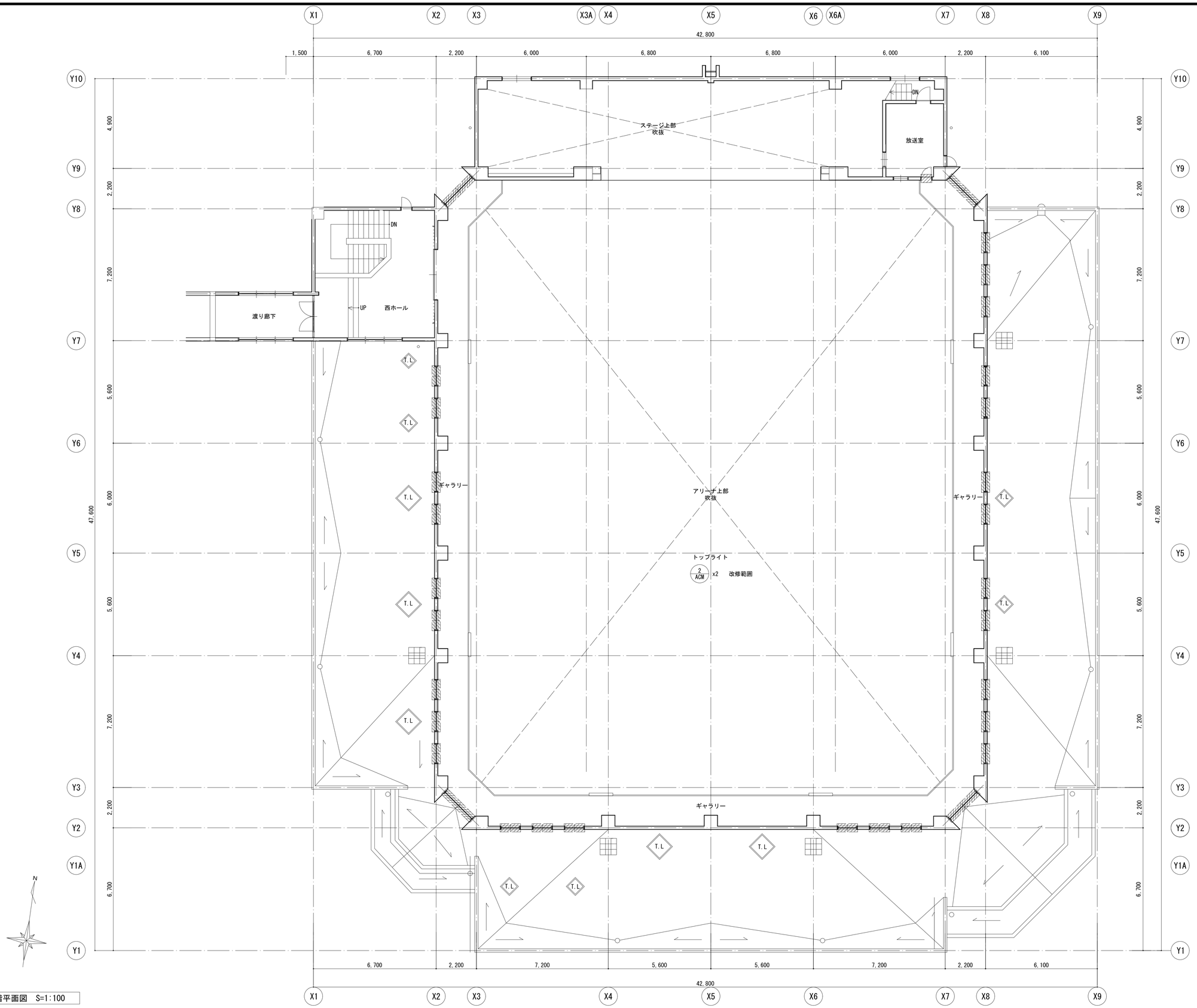


1階平面図　S=1:100

凡例

改修範囲を示す

工事名	松戸市立小金北中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	1階平面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:100	図面番号	A-06
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



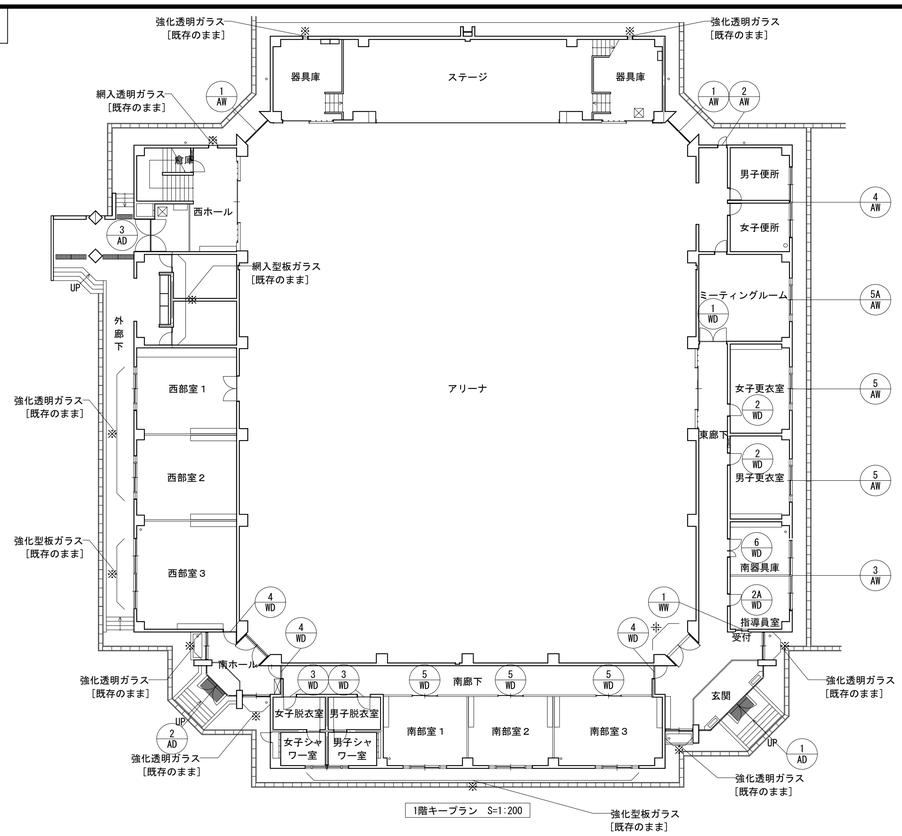
2階平面図　S=1:100

凡例

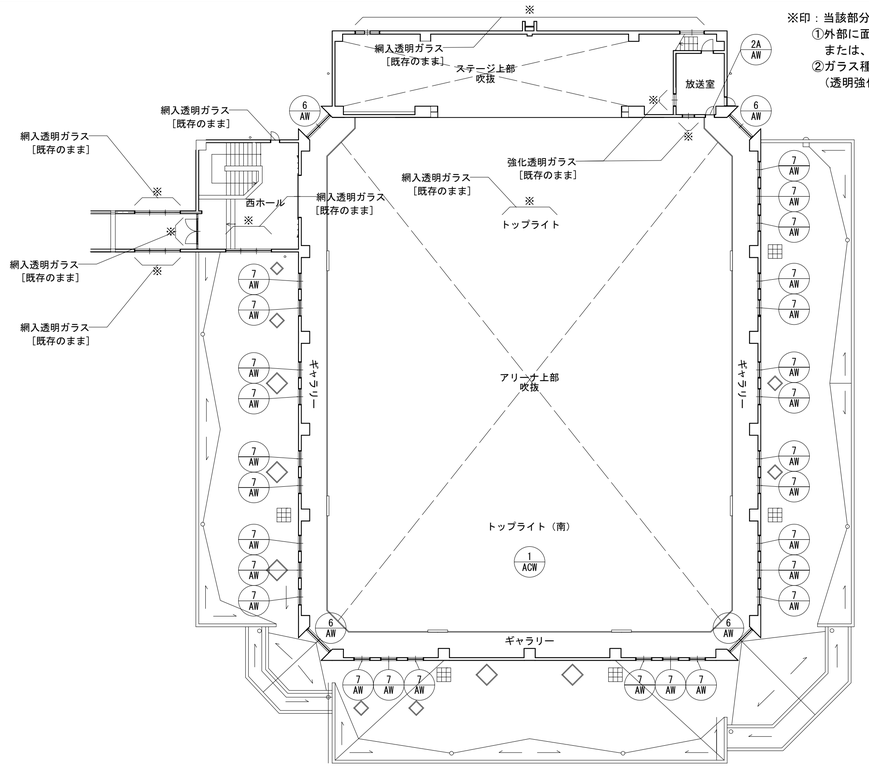
改修範囲を示す

工事名	松戸市立小金北中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	2階平面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:100	図面番号	A-07
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

改修前



1階キープラン　S=1:200

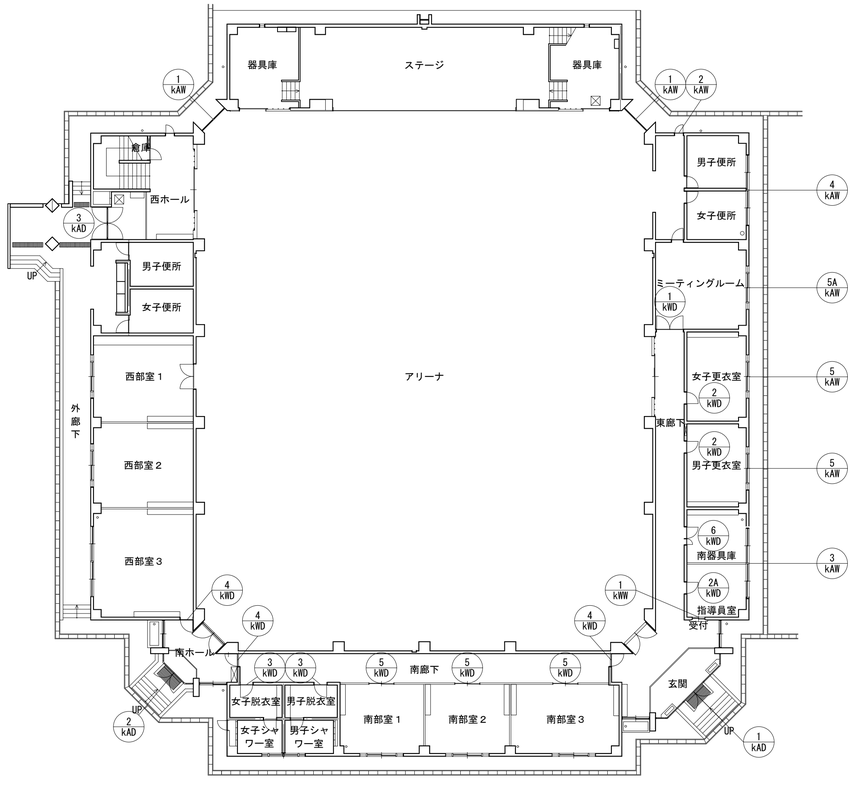


2階キープラン　S=1:200

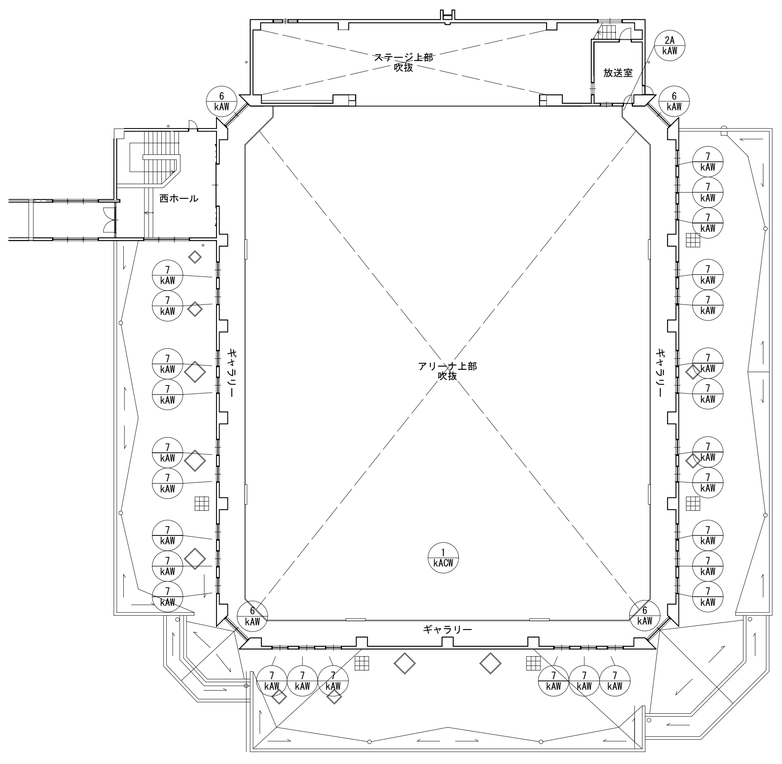
※印：当該部分のガラスについては、以下の２条件に該当する場合、フィルムは施工せず、既存のままとする。
①外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓、かつ、北側に面する窓
　または、外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓以外の窓
②ガラス種類が以下のいずれか
（透明強化ガラス、型板強化ガラス、透明網入ガラス、型板網入透明ガラス）

既存建具を示す

改修後



1階キープラン　S=1:200

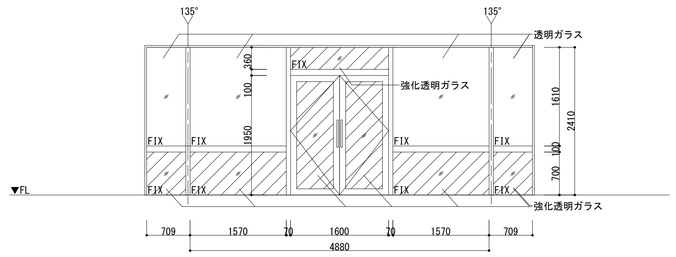
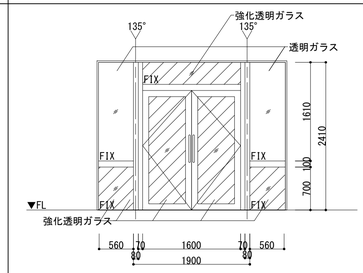
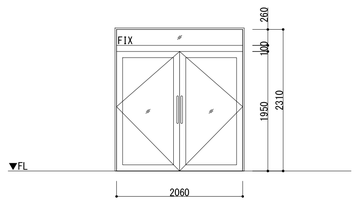
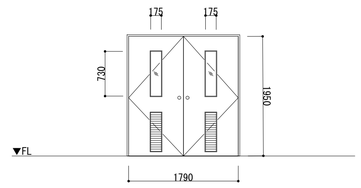
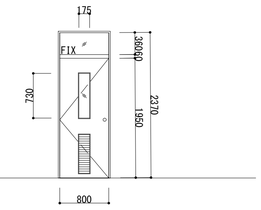


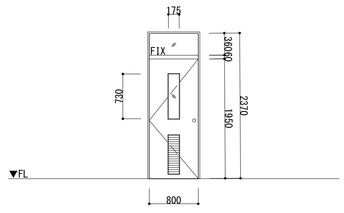
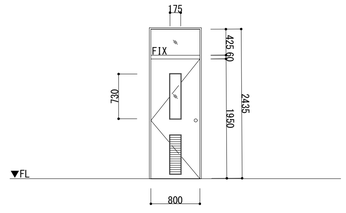
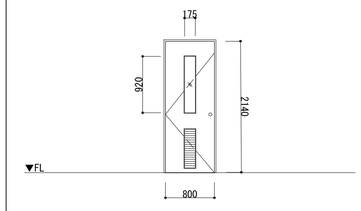
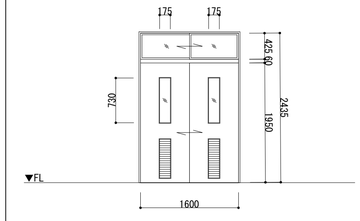
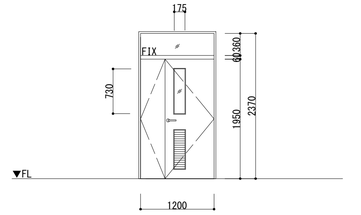
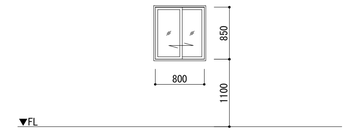
2階キープラン　S=1:200

既存建具を示す

工事名	松戸市立小金北中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修前・改修後 建具キープラン		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:200	図面番号	A-08
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

改修前

符号・数量	1 AD 玄関 数量 1	2 AD 南ホール 数量 1	3 AD 西ホール 数量 1	1 WD ミーティング室 数量 1	2 WD 男女更衣室 数量 2
姿 図					
形 式	FIX窓付両開き框戸	FIX窓付両開き框戸	ランマFIX窓付両開き框戸	両開き戸	FIX窓付片開き戸
材質・仕上	見込70 アルミ 三方アルミ額：40x25	見込70 アルミ 三方アルミ額：40x25	見込70 アルミ	見込40 OP	見込40 OP
硝 子	透明ガラスt=4 一部：強化透明ガラスt=4（姿図参照）	透明ガラスt=4 一部：強化透明ガラスt=4.5	欄間：透明ガラスt=4 扉部：網入透明ガラスt=4	型板ガラスt=4	ランマ：型板ガラスt=4 ドア：型板ガラスt=4 腰：アクリル
付属金物	沓摺SUS、フロアヒンジ、本締錠、引手、押板、戸当り、上落	沓摺SUS、フロアヒンジ、本締錠、引手、押板、戸当り、上落	フロアヒンジ、本締錠、引手、押板、戸当り、上落 床見切りSUS	ドアチェック、丁番、箱錠、戸当り、ガラリ額	ドアチェック、丁番、箱錠、締まり金物、戸当り、ガラリ額
撤去内容					

符号・数量	2A WD 指導員室 数量 1	3 WD 男女脱衣室 数量 2	4 WD 廊下、南ホール 数量 3	5 WD 南部屋 数量 3	6 WD 南器具庫 数量 1	1 WW 玄関 数量 1
姿 図						
形 式	FIX窓付片開き戸	FIX窓付片開き戸	片開き戸	引違い戸	ランマFIX窓付親子開き戸	カウンター窓
材質・仕上	見込40 OP	見込40 OP	見込40 OP	見込40 OP	見込40 OP	見込40 OP
硝 子	ランマ：透明ガラスt=4 ドア：型板ガラスt=4 腰：アクリル	型板ガラスt=4	型板ガラスt=4	型板ガラスt=4	型板ガラスt=4	透明ガラスt=3
付属金物	ドアチェック、丁番、箱錠、締まり金物、戸当り、ガラリ額	ドアチェック、丁番、箱錠、締り金物、戸当り、ガラリ額	ドアチェック、丁番、箱錠、戸当り、ガラリ額	箱錠、引手、レール	ドアチェック、丁番、箱錠、締まり金物、戸当り、ガラリ額	締まり金物、レール
撤去内容						

符号・数量	
姿 図	
形 式	
材質・仕上	
硝 子	
付属金物	
撤去内容	

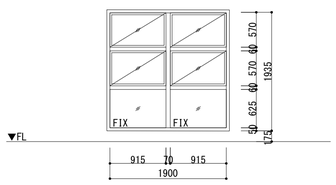
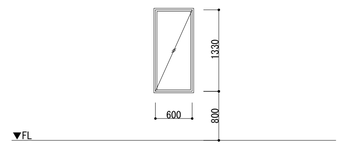
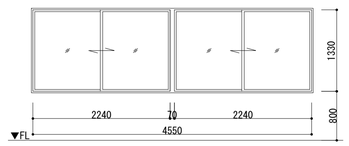
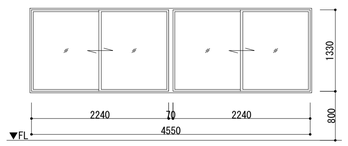
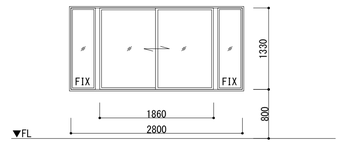
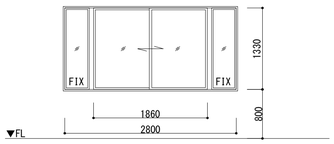
凡 例

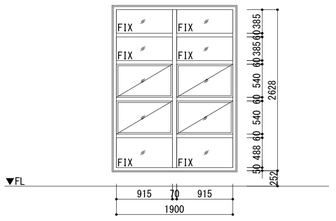
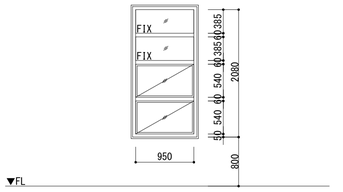
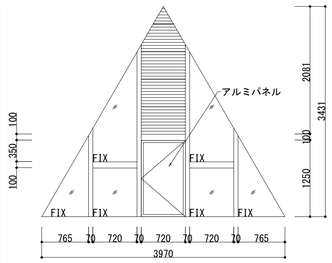
現況の強化透明ガラスの範囲を示す

既存建具を示す

工事名	松戸市立小金北中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修前 建具表-1		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:50	図面番号	A-09
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前

符号・数量	1 AW アリーナ　数量 2	2 AW x1　2A AW x1　便所前室・放送室　数量 2	3 AW 南器具庫、指導室　数量 1	4 AW 便所　数量 1	5 AW 男女更衣室　数量 2	5A AW ミーティングルーム　数量 1
姿　図						
形　式	FIX窓付連窓滑り出し3段窓	滑り出し窓	連窓引違い窓	連窓引違い窓	袖FIX窓付引違い窓	袖FIX窓付引違い窓
材質・仕上	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込70　アルミ
硝　子	透明ポリカーボネイト板t=5	透明ガラスt=4 2A:型板ガラスt=6	左部：型板ガラスt=6 右部：透明ガラスt=5	型板ガラスt=6	型板ガラスt=4	透明ガラスt=4
付属金物	額縁：AL2.0 曲100 L7970　外額縁：AL2.0 曲100 L5970 水切り：AL2.0 曲150 L2000	水切、締まり金物	水切、締まり金物	水切、締まり金物	水切、締まり金物	水切、締まり金物
撤去内容						

符号・数量	6 AW ギャラリー　数量 4	7 AW ギャラリー　数量 27	1 ACW トップライト（南側）　数量 1
姿　図			
形　式	FIX窓付連窓とり出し5段窓	FIX窓付連窓とり出し4連窓	ガラリ引き戸付窓
材質・仕上	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込150　アルミ
硝　子	強化透明ガラスt=4	強化透明ガラスt=4	透明ガラスt=6（フィルム張り）
付属金物	額縁：AL2.0 曲100 L9356　外額縁：AL2.0 曲100 L7356 水切り：AL2.0 曲150 L2000	額縁：AL2.0 曲100 L6360　外額縁：AL2.0 曲100 L5310 水切り：AL2.0 曲150 L1050	水切、締まり金物、戸当り 結露留め付、カーテンウォール素材
撤去内容			既存フィルム[撤去]
符号・数量			
姿　図			
形　式			
材質・仕上			
硝　子			
付属金物			
撤去内容			

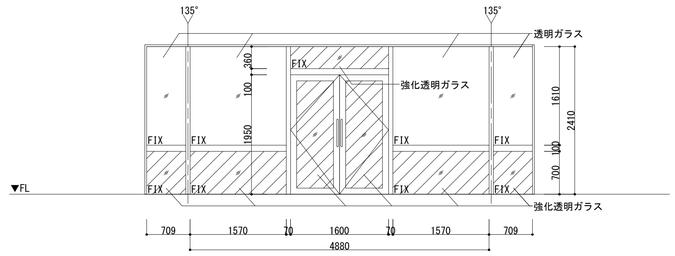
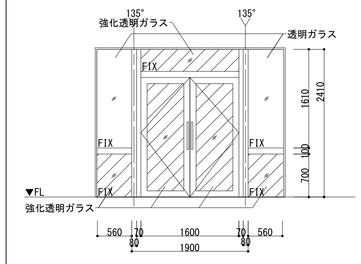
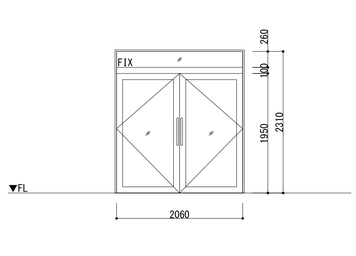
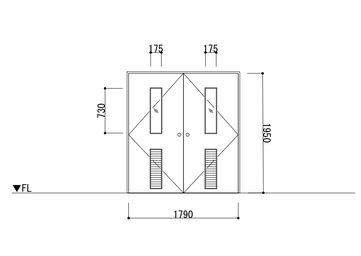
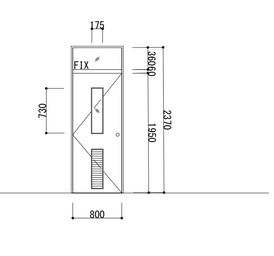
凡　例

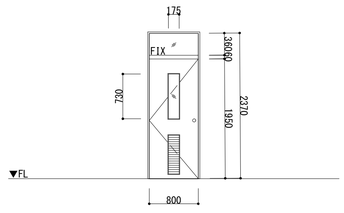
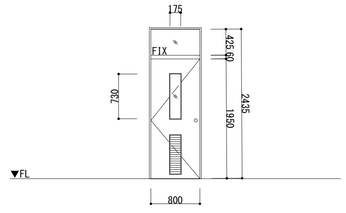
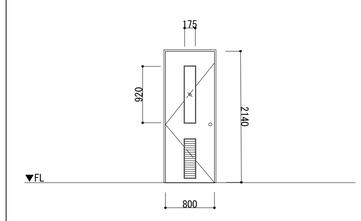
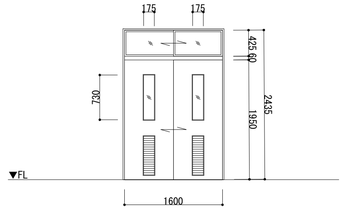
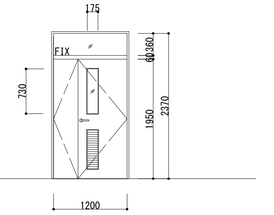
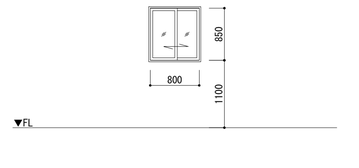
＊／＊　既存建具を示す

工事名	松戸市立小金北中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修前 建具表-2		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:50	図面番号	A-10
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

改修後

飛散防止フィルム張[新設] 右部：(内貼)

符号・数量	1 kAD 玄関　数量 1	2 kAD 南ホール　数量 1	3 kAD 西ホール　数量 1	1 kWD ミーティング室　数量 1	2 kWD 男女更衣室　数量 2
姿 図					
形 式	FIX窓付両開き框戸	FIX窓付両開き框戸	ランマFIX窓付両開き框戸	両開き戸	FIX窓付片開き戸
材質・仕上	見込70 アルミ 三方アルミ額：40x25	見込70 アルミ 三方アルミ額：40x25	見込70 アルミ	見込40 OP	見込40 OP
硝 子	透明ガラスt=4 一部：強化透明ガラスt=4（姿図参照）	透明ガラスt=4 一部：強化透明ガラスt=4.5	欄間：透明ガラスt=4 扉部：網入透明ガラスt=4	型板ガラスt=4	ランマ：型板ガラスt=4 ドア：型板ガラスt=4 腰：アクリル
付属金物	沓摺SUS、フロアヒンジ、本締錠、引手、押板、戸当り、上落	沓摺SUS、フロアヒンジ、本締錠、引手、押板、戸当り、上落	フロアヒンジ、本締錠、引手、押板、戸当り、上落 床見切りSUS	ドアチェック、丁番、箱錠、戸当り、ガラリ額	ドアチェック、丁番、箱錠、締まり金物、戸当り、ガラリ額
改修内容	透明ガラス⑤フィルム張［新設］(内貼)	透明ガラス⑤フィルム張［新設］(内貼)	透明ガラス⑤フィルム張［新設］(内貼)	型板ガラス⑥フィルム張[新設］(外貼)	型板ガラス⑥フィルム張[新設］(外貼)

符号・数量	2A kWD 指導員室　数量 1	3 kWD 男女脱衣室　数量 2	4 kWD 廊下、南ホール　数量 3	5 kWD 南部屋　数量 3	6 kWD 南器具庫　数量 1	1 kWW 玄関　数量 1
姿 図						
形 式	FIX窓付片開き戸	FIX窓付片開き戸	片開き戸	引違い戸	ランマFIX窓付親子開き戸	カウンター窓
材質・仕上	見込40 OP	見込40 OP	見込40 OP	見込40 OP	見込40 OP	見込40 OP
硝 子	ランマ：透明ガラスt=4 ドア：型板ガラスt=4 腰：アクリル	型板ガラスt=4	型板ガラスt=4	型板ガラスt=4	型板ガラスt=4	透明ガラスt=3
付属金物	ドアチェック、丁番、箱錠、締まり金物、戸当り、ガラリ額	ドアチェック、丁番、箱錠、締り金物、戸当り、ガラリ額	ドアチェック、丁番、箱錠、戸当り、ガラリ額	箱錠、引手、レール	ドアチェック、丁番、箱錠、締まり金物、戸当り、ガラリ額	締まり金物、レール
改修内容	ランマ:透明ガラス⑤フィルム張［新設］(内貼) ドア ：型板ガラス⑥フィルム張[新設］(外貼)	型板ガラス⑥フィルム張[新設］(外貼)	型板ガラス⑥フィルム張[新設］(外貼)	型板ガラス⑥フィルム張[新設］(外貼)	型板ガラス⑥フィルム張[新設］(外貼)	透明ガラス⑤フィルム張［新設］(内貼)

凡 例

強化透明ガラスの範囲を示す

既存建具を示す

■遮熱・飛散防止フィルム貼り仕様一覧表（外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓）

	既存硝子＼方角		東・西・南	北
●	透明硝子	内貼	① 遮熱フィルム 3M NANO70S	⑤ 飛散防止フィルム 3M SH2CLAR
	型硝子	外貼	② 遮熱フィルム 3M NANO70SX	⑥ 飛散防止フィルム 3M SH2CLARX
●	強化透明硝子	内貼	① 遮熱フィルム 3M NANO70S	既存のまま
	強化型硝子	外貼	② 遮熱フィルム 3M NANO70SX	既存のまま
	網入り透明硝子	内貼	③ 遮熱フィルム 3M NANO90S	既存のまま
	網入り型硝子	外貼	④ 遮熱フィルム 3M NANOMACRX	既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは3Mジャパン(株)同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
ただし、**北側の強化硝子・網入り硝子**に飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
：既存の網入り硝子が割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

※kAW-1のポリカーボネートについては、アウトガス対策のため、ポリカーボネート用下張り(SH2CL-P)の上、遮熱フィルム(NANO70S)を施工する。

■飛散フィルム貼り仕様一覧表

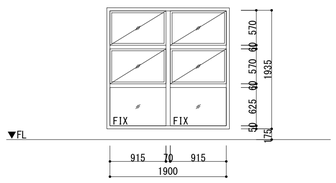
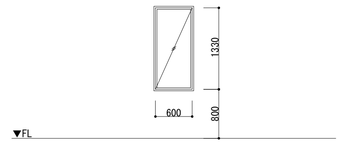
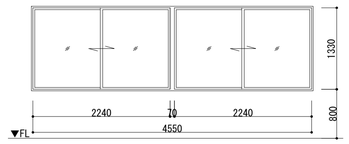
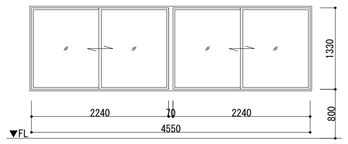
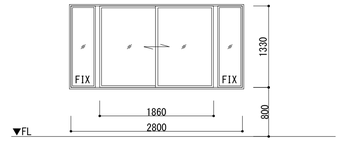
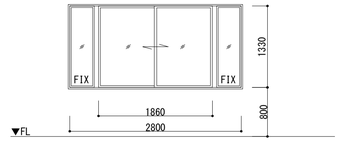
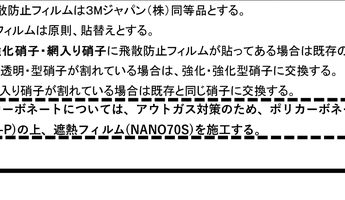
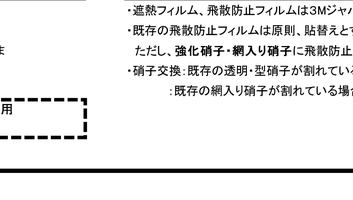
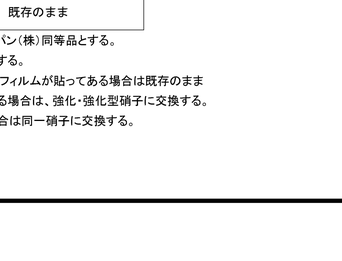
（外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓**以外の窓**・・・放送室、器具庫、控室、便所など）

	既存硝子		全方角・内部
●	透明硝子	内貼	⑤ 飛散防止フィルム 3M SH2CLAR
●	型硝子	外貼	⑥ 飛散防止フィルム 3M SH2CLARX
	強化透明硝子	—	既存のまま
	強化型硝子	—	既存のまま
	網入り透明硝子	—	既存のまま
	網入り型硝子	—	既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは3Mジャパン(株)同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
ただし、**強化硝子・網入り硝子**に飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
：既存の網入り硝子が割れている場合は同一硝子に交換する。

工事名	松戸市立小金北中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修後 建具表-1		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮 尺	1:50	図面番号	A-11
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修後

符号・数量	1 kAW アリーナ　数量 2	2 kAW x1　2A kAW x1　便所前室・放送室　数量 2	3 kAW 南器具庫、指導室　数量 1	4 kAW 便所　数量 1	5 kAW 男女更衣室　数量 2	5A kAW ミーティングルーム　数量 1
姿　図						
形　式	FIX窓付連窓滑り出し3段窓	滑り出し窓	連窓引違い窓	連窓引違い窓	袖FIX窓付引違い窓	袖FIX窓付引違い窓
材質・仕上	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込70　アルミ
硝　子	透明ポリカーボネイト板t=5	透明ガラスt=4 2A:型板ガラスt=6	左部：型板ガラスt=6 右部：透明ガラスt=5	型板ガラスt=6	型板ガラスt=4	透明ガラスt=4
付属金物	額縁：AL2.0 曲100 L7970　外額縁：AL2.0 曲100 L5970 水切り：AL2.0 曲150 L2000	水切、締まり金物	水切、締まり金物	水切、締まり金物	水切、締まり金物	水切、締まり金物
改修内容	フィルム張①(ポリカーボネイト用下張りを見込む)［新設］(内貼)	2:透明ガラス⑤フィルム張［新設］(内貼) 2A:型板ガラス⑥フィルム張［新設］(外貼)	左部：型板ガラス⑥フィルム張[新設］(外貼) 右部：透明ガラス⑤フィルム張［新設］(内貼)	型板ガラス⑥フィルム張[新設］(外貼)	型板ガラス⑥フィルム張[新設］(外貼)	透明ガラス⑤フィルム張［新設］(内貼)
符号・数量	6 kAW ギャラリー　数量 4	7 kAW ギャラリー　数量 27	1 kACW トップライト（南側）　数量 1			
姿　図						
形　式	FIX窓付連窓とり出し5段窓	FIX窓付連窓とり出し4連窓	ガラリ引き戸付窓			
材質・仕上	見込70　アルミ	見込70　アルミ	見込150　アルミ			
硝　子	強化透明ガラスt=4	強化透明ガラスt=4	透明ガラスt=6			
付属金物	額縁：AL2.0 曲100 L9356　外額縁：AL2.0 曲100 L7356 水切り：AL2.0 曲150 L2000	額縁：AL2.0 曲100 L6360　外額縁：AL2.0 曲100 L5310 水切り：AL2.0 曲150 L1050	水切、締まり金物、戸当り 結露留め付、カーテンウォール素材			
改修内容	強化透明ガラス①フィルム張［新設］(内貼)	強化透明ガラス①フィルム張［新設］(内貼)	透明ガラス①フィルム張［新設］(内貼)			

凡　例

＊
＊　既存建具を示す

■遮熱・飛散防止フィルム貼り仕様一覧表（外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓）

	既存硝子＼方角		東・西・南	北
●	透明硝子	内貼	① 遮熱フィルム 3M　NANO70S	⑤ 飛散防止フィルム 3M　SH2CLAR
	型硝子	外貼	② 遮熱フィルム 3M　NANO70SX	⑥ 飛散防止フィルム 3M　SH2CLARX
●	強化透明硝子	内貼	① 遮熱フィルム 3M　NANO70S	既存のまま
	強化型硝子	外貼	② 遮熱フィルム 3M　NANO70SX	既存のまま
	網入り透明硝子	内貼	③ 遮熱フィルム 3M　NANO90S	既存のまま
	網入り型硝子	外貼	④ 遮熱フィルム 3M　NANOMACRX	既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは3Mジャパン(株)同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、**北側の強化硝子・網入り硝子**に飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入り硝子が割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

※kAW-1のポリカーボネートについては、アウトガス対策のため、ポリカーボネート用下張り(SH2CL-P)の上、遮熱フィルム(NANO70S)を施工する。

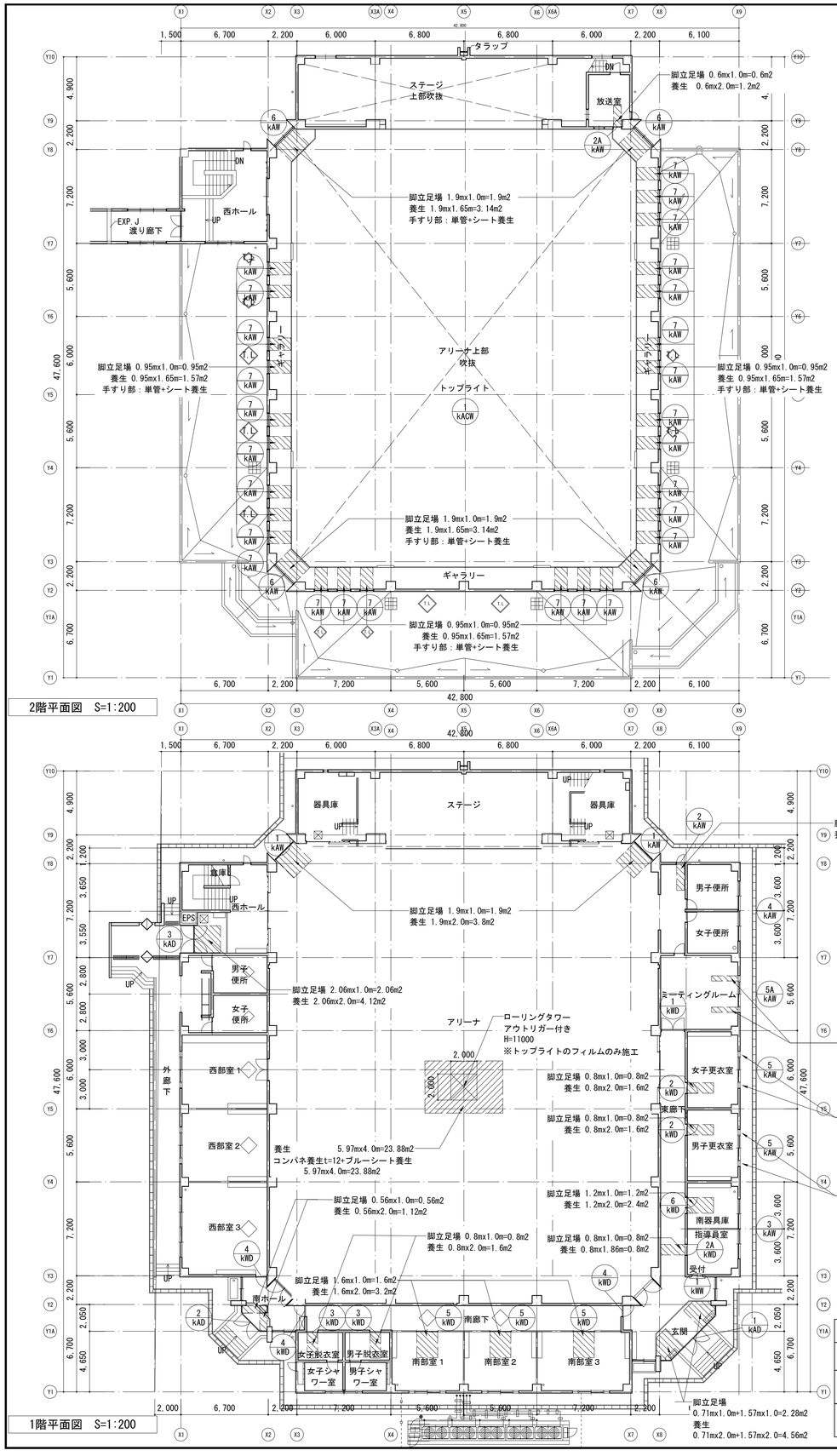
■飛散フィルム貼り仕様一覧表

（外部に面するアリーナ・ギャラリーの窓**以外の窓**・・・放送室、器具庫、控室、便所など）

	既存硝子		全方角・内部
●	透明硝子	内貼	⑤ 飛散防止フィルム 3M　SH2CLAR
●	型硝子	外貼	⑥ 飛散防止フィルム 3M　SH2CLARX
	強化透明硝子	—	既存のまま
	強化型硝子	—	既存のまま
	網入り透明硝子	—	既存のまま
	網入り型硝子	—	既存のまま

・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは3Mジャパン(株)同等品とする。
・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
　ただし、**強化硝子・網入り硝子**に飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま
・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
　　：既存の網入り硝子が割れている場合は同一硝子に交換する。

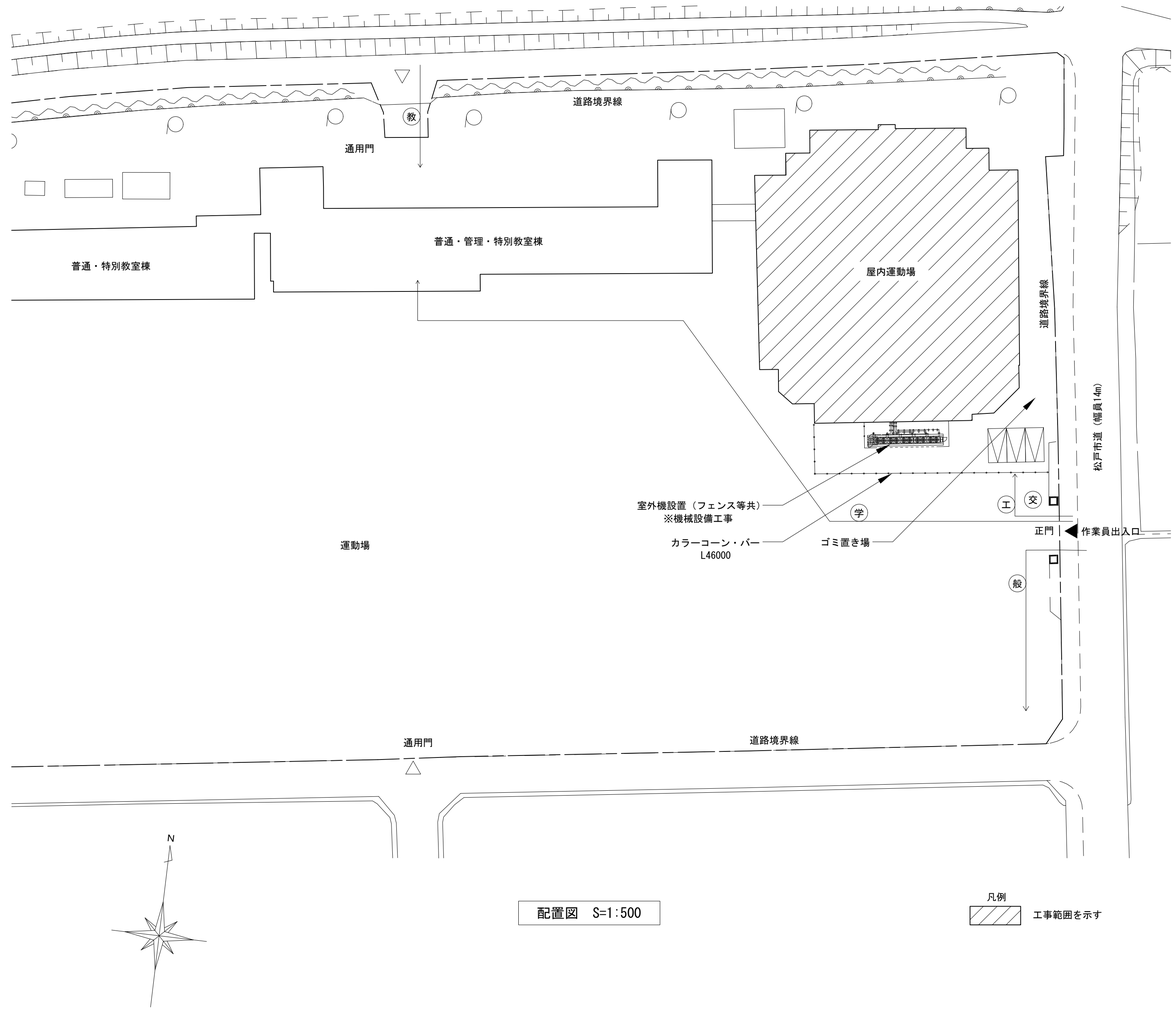
工事名	松戸市立小金北中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	改修後 建具表-2		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	1:50	図面番号	A-12
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			



2階平面図　S=1:200

1階平面図　S=1:200

凡　例　表	
	養生・整理清掃（個別）
	コンパネ+ブルーシート養生
	ローリングタワー



配置図　S=1:500

凡例
工事範囲を示す

凡　例　表	
▼	作業員出入口
交	交通誘導員
学	生徒・学校関係者を示す
教	教員車両を示す
般	一般車両を示す
工	工事車両を示す
○―――○	カラーコーン・バー

＜全体仮設計画＞

1. 学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・バー）を設置する
2. 足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
3. 工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900x600程度を公衆の見やすい場所に設置
4. 工事に使用する重機は、低振動タイプのものとし低速走行にて振動を抑えるものとする
5. 工事に使用する揚重機（クレーン車等）は、安全上十分なものを使用すること
6. 登下校時の車両の出入りはしないこと

＜特記事項＞

・本図面は参考図として工事を行う際に、必要な仮設を検討し、請負者負担で設置すること。
・仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。

工事名	松戸市立小金北中学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計画図（案）		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	－
縮　尺	1:200 1:500	図面番号	A-13
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

《 松戸市建築工事提出書類等一覧表 》（2025.7）

１．工事名称　　松戸市立第一中学校ほか９校体育館空調設備設置建築工事

２．工事場所　　松戸市岩瀬５８７番地ほか９か所

３．工　　期　　令和　　年　　月　　日　から　令和　８年　３月１９日　まで

４．CADデータの貸与　　■有　　□無

※1.基準等にある「建」とは「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版」を指す。
※2.基準等にある「電」とは「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和7年版」を指す。
※3.基準等にある「機」とは「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和7年版」を指す。
※4.基準等にある「請負契約〇〇条」は「工事請負契約書」を指す。

	摘　要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工事着工前に提出	■工事実績情報（工事カルテ）の登録 （受注登録工事カルテ受領書、受注登録データ） ※契約額が500万円以上（契約後10日以内に登録） 【契約後14日以内】	報告	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4 松戸市建設工事適正化指導要綱	
	■電気保安技術者通知書 （資格者証の写し） 【契約後14日以内】	承諾	1	建1.3.3 電1.3.2 機1.3.2	
	■施工体制台帳･下請業者選定通知書･施工体系図 【下請契約後14日以内に提出（下請契約がない場合不要）】	報告	2	請負契約第7条 建1.1.5 電1.1.5 機1.1.5 松戸市建設工事適正化指導要綱	代表者
	■実施工程表 ※建築・電気・機械などの関連工事工程も記載 【初回打合せ後速やかに】	承諾	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	■総合施工計画書 １．組織表(現場代理人、主任技術者、工事用電力設備の保安責任者など)、緊急連絡体制、仮設計画図 ２．工事概要、建物概要、予想される災害・公害対策、出入口の管理、危険箇所の点検方法、火災予防、養生・片付け、工事の保険、関係官公署その他の関係機関への届出等一覧表など 【初回打合せ後速やかに】	報告	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	

	摘　要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工事中に提出	■設計図書の照査報告書 【適宜】	報告	1	請負契約第19条	代表者
	■工種別施工計画書 ※資格者名簿・資格者証、使用資機材、使用材料・機材品質証明書などを添付	承諾	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	主任技術者 及び現場代理人
	■施工図等（施工図、製作図、カタログ等） ※施工図、製作図は主任・現場が全ての図面に記名	承諾	1	建1.2.3 電1.2.3 機1.2.3	主任技術者 及び現場代理人
	■発生材処理計画書 産廃業者と契約書の写し（単価記載） 産廃業者の許可書の写し 再資源利用（促進）計画書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 ※登録は契約額が100万円以上 【廃棄物搬出前】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	□月報（出来高・進捗表） 【月初め7日以内】	報告	1		
	□定例打合せ記録 【適宜】	報告	1		
	■詳細工程表（月間工程表） ※年末年始・GW・夏季等については、 安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載 【前月末日まで】	報告	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	□地業（既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭等）工事結果報告書	報告	1	建1.5.4	主任技術者 及び現場代理人
	□試験結果報告書	報告	1	建1.4.5 建1.5.6 電1.4.5 電1.5.4 機1.4.5 機1.5.5	主任技術者 及び現場代理人
	□発生土処理報告書	報告	1		
	■発生材処理報告書 産廃業者ﾏﾆﾌｪｽﾄの写し（E票） 再資源利用（促進）実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	□出来高検査 １出来高検査願 ２出来高報告書	報告	1	請負契約第39条	
	□現場休止届（年末年始・GW・夏季等） ※安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載	報告	1		

	摘　要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
完成後に提出	■関係官公署その他の関係機関への届出等 【工事完了後速やかに】	報告	1		
	■しゅん工届 【工事完了後速やかに】		1	建1.6.1 電1.6.1 機1.6.1	
	■自主検査記録（現場代理人以外の検査とする） 【工事完了後速やかに】	報告	1		
	■工事写真（建築工事写真撮影基準に準拠）			建1.2.4 電1.2.4	代表者
	■１工事記録写真	写真帳	1	機1.2.4	
	■２完成写真 【工事完了後速やかに】	写真帳	1		
	■完成図 ＰＤＦ，ＣＡＤデータ	ＣＤもしくはＤＶＤ	2	建1.7.2 電1.7.2 機1.7.2	
	■電子納品 電子媒体 電子媒体納品書	ＣＤもしくはＤＶＤ	2 1	※松戸市建築事業に係る電子納品運用ガイドライン（案）	
	■工事実績情報（工事カルテ）の登録 （竣工登録工事カルテ受領書、竣工登録データ） ※500万以上	報告書	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4	
	■引渡し関係 ■１予備品等引渡通知書（リスト共） □２キーボックス		3		
	□防水工事に関する保証書 各種防水仕様による保証書（特記仕様による） 元請業者、製造業者及び防水施工業者の連名	保証書	3		
	■保全に関する資料 □１建築物等の利用に関する説明書 ■２保守に関する説明書（機器取扱説明書を含む） ■３機器性能試験成績書 ■４官公署届出書類	原則、 ＣＤもしくはＤＶＤ	 2 2 1 1	建1.7.3 電1.7.3 機1.7.3	
	□５総合試運転報告書 □６総合試運転調整報告書		1 1	電1.7.3 機1.7.3	

《 松戸市建築工事検査・立会い一覧表 》建築工事編（2025.7）

1．工事名称　　松戸市立第一中学校ほか９校体育館空調設備設置建築工事

2．工事場所　　松戸市岩瀬５８７番地ほか９か所

3．工　　期　　令和　　年　　月　　日　から　令和　8年　3月１９日　まで

標　仕：公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版
改標仕：公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版

No	検査・立会い項目	基準等	備　考
1	検査		
	■１　品質管理検査(必要に応じて)	標　仕　1. 3.6	
		改標仕　1 .3.6	
	■２　材料の検査(承諾済は除く)	標　仕　1. 4.4	
		改標仕　1. 4.4	
	■３　施工の検査等	標　仕　1. 5.5	
		改標仕　1. 7.5	
	□４　敷地の状況確認及び縄張り	標　仕　2. 2.1	
	□５　ベンチマーク	標　仕　2. 2.2	
	□６　遣方	標　仕　2. 2.3	
	□７　根切り	標　仕　3. 2.1	
		改標仕　8.28.3	
	□８　地業工事　掘削深さ及び支持層	標　仕　4. 5.5	
	（ｱｰｽｽﾄﾞﾘﾙ工法、ﾘﾊﾞｰｽ工法、ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ工法）		
	□９　配筋検査	標　仕　5. 1.3	
		改標仕　8. 3.1	
	□10　コンクリート打ち込み後補修	標　仕　6. 9.6	
		改標仕　8. 8.6	
	□11　高力ボルト締付確認の記録	標　仕　7. 4.8	
		改標仕　8.14.8	
		改標仕　8.20.7	
	□12　鉄骨建方	標　仕　7.10.5	
	□13　鉄骨現場組立て	改標仕　8.19.3	
	□14　鋼板巻組立て	改標仕　8.23.6	
	□15　防水層の施工	標　仕　9. 1.3	
		改標仕　3. 1.3	
	□16　タイル張施工後の接着力試験不合格の場合	標　仕　11. 1.7	
		改標仕　4. 4.8	
		改標仕　6.16.2	
	■17　部分使用		
	□18　出来高		
2	立会い		
	■１　材料の検査に伴う試験	標　仕　1. 4.5	
		改標仕　1. 4.5	
	■２　監督職員の指示による立会い	標　仕　1. 5.8	
		改標仕　1. 7.8	
	□３　地業工事の試験による立会い	標　仕　4. 2.1	
	（杭又は支持地盤の位置及び土質の試験）	改標仕　8.28.4	